

2025年度

# 学生便覧

国際言語文化学部

現代人間学部

社会情報学環

女性キャリアデザイン学環



KYOTO NOTRE DAME  
UNIVERSITY



### *Notre Dame Mission Commitment*

「ノートルダム」はキリストの母、聖母マリアのことです。  
「ノートルダム」を校名にいただく私たちは、「徳と知」の精神のもと、  
聖母マリアにならって、人としての成長を目指します。

『尊ぶ』 人と自分、物と自然の全てに敬意をもって向き合います。  
『対話する』 心をこめて聴き、かかわりから学び、真理を探究します。  
『共感する』 心を開き、人や時代の要請に敏感な感性を持ちます。  
『行動する』 対話し、決断し、責任を持って

人々の幸せと世界平和のために行動します。

神への深い信頼が聖母マリアをこのような生き方へと導きました。  
私たちも、人間を超える大きな力に支えられている確信が持てますように。



### 学章(University Emblem)について

京都ノートルダム女子大学の学章の中央には聖書が置かれ、それには「徳と知」の意味をもつ「Virtus et Scientia」とラテン語で書かれています。そしてこれを導くイエス・キリストと聖母マリアの頭文字であるJとMを学章の中央上部に記し、その教育が本学において達成されるようにと「KYOTO NOTRE DAME UNIVERSITY」の文字で縁取っています。

中央の聖書を支えているのは、月桂樹と棕櫚（しゅろ）で、月桂樹は学業の成就を意味し、棕櫚（しゅろ）はその目標に達した喜びをあらわしています。

2025 年 度

# 学 生 便 覧

## 目 次

国 際 言 語 文 化 学 部  
現 代 人 間 学 部  
社 会 情 報 学 環  
女性キャリアデザイン学環

京都ノートルダム女子大学





# 学 生 便 覧

## 目 次

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| 1. 大学機構図 .....                        | 5 頁 |
| 2. 学歌 (Notre Dame College Song) ..... | 7   |
| 3. 教育理念・方針等                           |     |
| (1) ミッション・コミットメント .....               | 9   |
| (2) 教育理念と建学の精神 .....                  | 9   |
| (3) 卒業研究を目標とした学びの道筋 .....             | 10  |
| (4) ND6 .....                         | 11  |
| (5) NDカリキュラム・マップ .....                | 11  |
| (6) 京都ノートルダム女子大学 3つの方針 .....          | 12  |
| 4. 履修登録にあたって .....                    | 21  |
| 5. 国際言語文化学部 授業科目の履修・登録                |     |
| (1) 英語英文学科の履修方法について .....             | 31  |
| (2) 国際日本文化学科の履修方法について .....           | 36  |
| 6. 現代人間学部 授業科目の履修・登録                  |     |
| (1) 生活環境学科の履修方法について .....             | 41  |
| (2) 心理学科の履修方法について .....               | 45  |
| (3) こども教育学科の履修方法について .....            | 50  |
| 7. 社会情報学環 授業科目の履修・登録 .....            | 55  |
| 8. 女性キャリアデザイン学環 授業科目の履修・登録 .....      | 59  |
| 9. キャリア教育 .....                       | 63  |
| 10. 履修科目表                             |     |
| (1) 共通教育科目・学際教育科目 .....               | 65  |
| (2) 英語英文学科専門教育科目 .....                | 69  |
| (3) 国際日本文化学科専門教育科目 .....              | 72  |
| (4) 生活環境学科専門教育科目 .....                | 75  |
| (5) 心理学科専門教育科目 .....                  | 78  |
| (6) こども教育学科専門教育科目 .....               | 81  |
| (7) 社会情報学環 専門教育科目 .....               | 84  |
| (8) 女性キャリアデザイン学環 専門教育科目 .....         | 86  |
| (9) 免許・資格・プログラム関係 .....               | 88  |
| 11. 他大学等科目の履修について                     |     |
| (1) 大学コンソーシアム京都の単位互換科目の履修について .....   | 91  |
| (2) 放送大学の単位互換科目の履修について .....          | 92  |

## 12. 免許・資格課程、各種プログラム

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 教育職員免許状 .....                 | 93  |
| (2) 学校図書館司書教諭 .....               | 111 |
| (3) 司書 .....                      | 113 |
| (4) 保育士 .....                     | 115 |
| (5) 二級建築士（国家試験受験資格） .....         | 118 |
| (6) フードスペシャリスト（受験資格） .....        | 120 |
| (7) 公認心理師（国家試験受験資格） .....         | 122 |
| (8) 認定心理士・認定心理士（心理調査） .....       | 124 |
| (9) 社会調査士 .....                   | 126 |
| (10) 産業カウンセラー .....               | 127 |
| (11) 准学校心理士 .....                 | 128 |
| (12) 社会福祉主事任用資格 .....             | 130 |
| (13) 児童指導員・児童心理司・児童福祉司 任用資格 ..... | 132 |
| (14) 上級情報処理士 .....                | 133 |
| (15) プレゼンテーション実務士 .....           | 135 |
| (16) 観光実務士 .....                  | 137 |
| (17) 実践キャリア実務士 .....              | 139 |
| (18) 情報活用力プログラム .....             | 141 |
| (19) エアラインプログラム .....             | 144 |
| (20) 日本語教員養成課程 .....              | 147 |

## 13. 留学・海外研修等

|                                             |     |
|---------------------------------------------|-----|
| (1) 米国姉妹大学留学制度 .....                        | 151 |
| (2) 学生申請留学制度 .....                          | 153 |
| (3) 韓国カトリック大学交換留学制度（派遣） .....               | 155 |
| (4) ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学交換留学制度（派遣） ..... | 157 |
| (5) セメスター認定留学制度 .....                       | 160 |
| (6) 海外研修・海外キャリア実習 .....                     | 163 |

## 14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

|                                                      |     |
|------------------------------------------------------|-----|
| (1) 授業・試験の欠席の取扱い .....                               | 165 |
| (2) 試験の実施要領について .....                                | 166 |
| (3) 暴風警報、暴風雪警報又は特別警報発令時、交通機関不通時の授業及び試験の取扱いについて ..... | 169 |

## 15. 学生納入金（学費）・経済的支援について

|                     |     |
|---------------------|-----|
| (1) 学生納入金（学費） ..... | 171 |
| (2) 奨学金制度 .....     | 171 |

## 16. 各部局等の案内

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| (1) ND教育センター .....    | 175 |
| (2) 国際教育センター .....    | 176 |
| (3) 図書館情報センター .....   | 177 |
| (4) キャリアセンター .....    | 178 |
| (5) 心理臨床センター .....    | 180 |
| (6) カトリック教育センター ..... | 181 |
| (7) 教務課 .....         | 182 |
| (8) 学事課 .....         | 184 |
| (9) 国際教育課 .....       | 185 |
| (10) 学生課 .....        | 187 |
| (11) 保健室・学生相談室 .....  | 192 |
| (12) 財務課 .....        | 193 |

## 17. 科目名英訳対照表等

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| (1) ローマ字表記の指定（ヘボン式） .....         | 195 |
| (2) 科目名の英訳対照表（共通教育科目） .....       | 196 |
| (3) 科目名の英訳対照表（国際言語文化学部） .....     | 197 |
| (4) 科目名の英訳対照表（現代人間学部） .....       | 200 |
| (5) 科目名の英訳対照表（社会情報学環） .....       | 206 |
| (6) 科目名の英訳対照表（女性キャリアデザイン学環） ..... | 207 |
| (7) 科目名の英訳対照表（資格関係） .....         | 209 |

## 18. 京都ノートルダム女子大学学則・規程等 .....

211

## 19. 校舎・教室等配置図

|                  |     |
|------------------|-----|
| (1) 校舎配置図 .....  | 269 |
| (2) 教室等配置図 ..... | 269 |

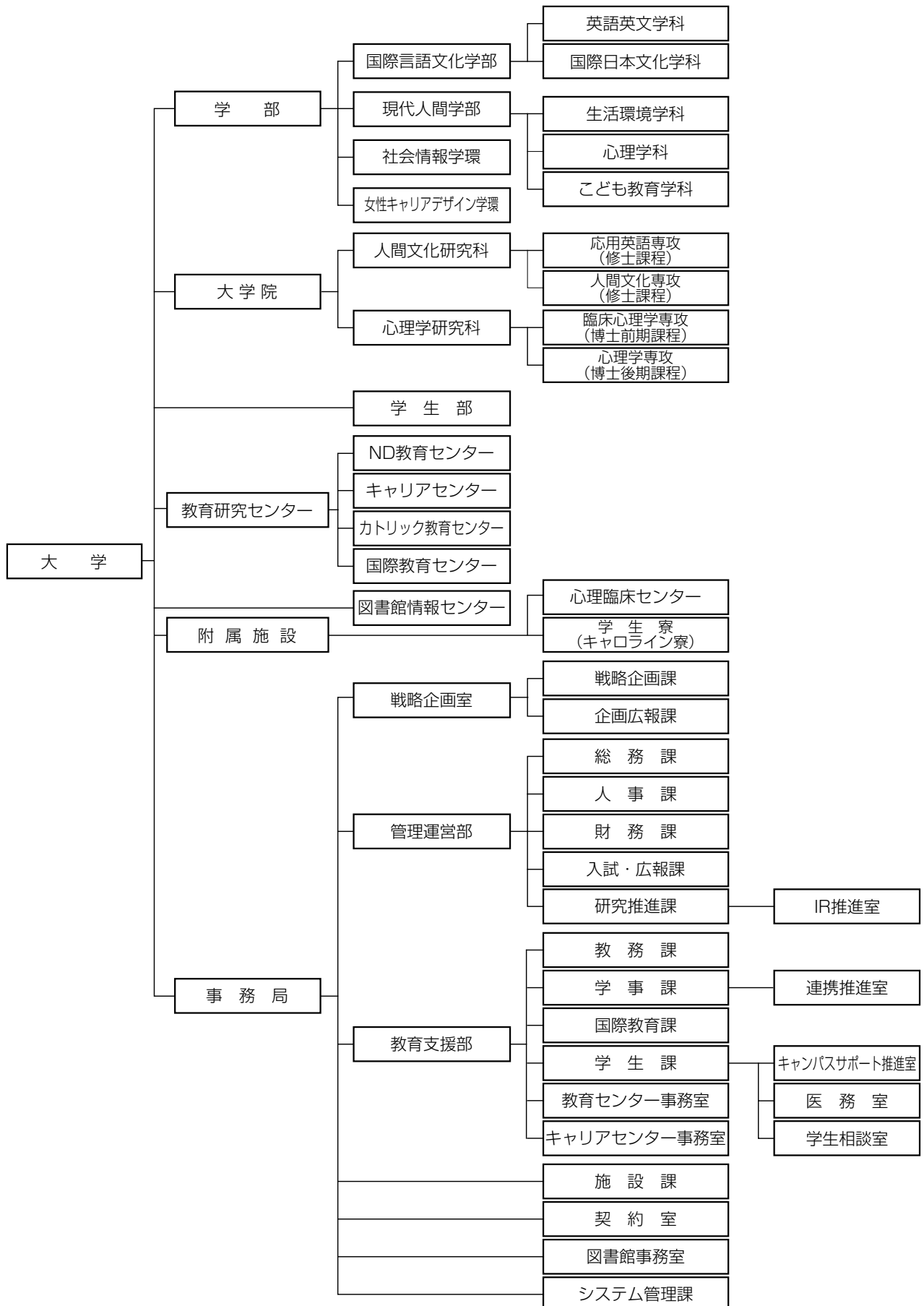


## 1. 大学機構図



# 1. 大学機構図

(2025年4月1日現在)







## 2. 学 歌

(Notre Dame College Song)

## 学歌

学徳、教養の府よ、  
あたたく比叡ふところに抱かれて、  
汝の建学の由来は、いみじくも  
その御名を慕いかたどるもの。

聖母マリアよ、

われらきみをほめ迎え、  
あらためてまことをちかいまつる。  
言動も、思いも、  
きみが栄光を汚すまじ。

日毎ここ学舎に、人の世のならいを思い、  
幾百年の収穫の智にすぎり、  
女たるわれを高めん、  
学びおさむべし、いやましに。

聖母マリアよ、

われらきみをほめ迎え、  
あらためてまことをちかいまつる。  
言動も、思いも、  
きみが栄光を汚すまじ。

(意識 渡辺 純 名誉教授)

## 2. 学 歌 (Notre Dame College Song)

Lyrics : Sr. Mary Eugenia Laker SSND

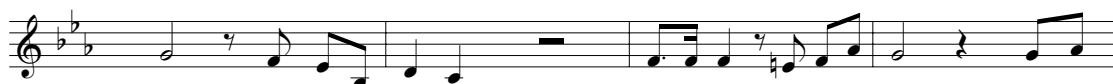
Music : Sr. Mary Helen Fellenz SSND



1. Seat of learn - ing, vir - tue, cul - ture, Couched in Hi - ei's warm em - brace.  
2. Dai - ly here life's ways we pon - der; Know - ledge gleaned from cent - uries' store



Won - drous is your struc - ture's sto - ry, Planned by Her whose Name you trace. No - tre  
Aids our quest for wo - man's stature, At - tain we must, yet more and more. No - tre



Dame, we praise, we greet you; Loy - al - ty we pledge a - new. Nei - ther



thought, nor word, nor ac - tion Shall dim the Glo - ry of your Name.

*Seat of learning, virtue, culture,  
Couched in Hiei's warm embrace.*

*Wondrous is your structure's story,  
Planned by Her whose Name you trace.*

*Notre Dame, we praise, we greet you;  
Loyalty we pledge anew.  
Neither thought, nor word, nor action  
Shall dim the Glory of your Name.*

*Daily here life's ways we ponder;  
Knowledge gleaned from centuries' store  
Aids our quest for woman's stature,  
Attain we must, yet more and more.*

*Notre Dame, we praise, we greet you;  
Loyalty we pledge anew.  
Neither thought, nor word, nor action  
Shall dim the Glory of your Name.*



### 3. 教育理念・方針等

- (1) ミッション・コミットメント
- (2) 教育理念と建学の精神
- (3) 卒業研究を目標とした学びの道筋
- (4) ND6
- (5) NDカリキュラム・マップ
- (6) 京都ノートルダム女子大学 3つの方針



## 3-(1) ミッション・コミットメント

学校法人ノートルダム女学院では、建学の精神である「徳と知」をよりわかりやすく4つの行動で表し、ミッション・コミットメントとしている。

「ノートルダム」はキリストの母、聖母マリアのことです。

「ノートルダム」を校名にいただく私たちは、「徳と知」をモットーとして、聖母マリアにならい、人としての成長を目指します。

『尊ぶ』人と自分、物と自然の全てに敬意をもって向き合います。

『対話する』心をこめて聴き、かわりから学び、真理を探究します。

『共感する』心を開き、人や時代の要請に敏感な感性を持ちます。

『行動する』対話し、決断し、責任を持って人々の幸せと世界平和のために行動します。

神への深い信頼が聖母マリアをこのような生き方へと導きました。

私たちも、人間を超える大きな力に支えられている確信が持てますように。

## 3-(2) 教育理念と建学の精神

### 1. 基本理念 京都ノートルダム女子大学学則 第1条・第2条

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、深く専門の学芸を教授研究するとともに、カトリック精神及び日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成して我が国文化の推進に寄与することを目的とする。

2 本学は、その目的の実現のため、教育、研究活動を通じて社会との連携を深めるとともに、社会の発展に寄与するものとする。

第2条 本学に国際言語文化学部及び現代人間学部を置く。

(1) 国際言語文化学部は、言語・歴史・文学・思想・芸術・倫理・宗教など、人々の生活形成の様式と内容の総体である「文化」という視点から、「人間」存在の意味やその営みのありさまを学際的に学び、文化の多様性を理解し、異文化に対する寛容な国際感覚を身につけ、幅広く社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

(2) 現代人間学部は、人間やその生活、社会、自然に対する総合的な理解に基づく実践的な能力を身につけた人材を養成するため、学際的な学びを深め、専門知識の向上に相乗効果を発揮させた総合的な教育研究を行うことを目的とする。

第2条の2 本学に大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）に定める学部等連係課程実施基本組織として、社会情報学環及び女性キャリアデザイン学環を置く。

(1) 社会情報学環は、社会における情報の意味とその働きを理解し、情報を科学的に取り扱うための基礎的な知識・技能と態度を身につけるとともに、自ら問いを立て、主体的に解決をめざせる能力を身につけることを目的とし、社会学、心理学、教育学など関連する人文・社会諸科学による学際的な教育研究を行う。

(2) 女性キャリアデザイン学環は、多様な文化を理解し、異文化に対する態度、プレゼンテーション力やICT活用力を養うと同時に、海外留学等による実践的な学びと、生涯を通して人が成長し、社会性を獲得し、周囲を巻き込んで課題解決する力を身につける一連の営みに関する理論的な学びとを往還しながらライフキャリア形成のあり方を考究し、文学、社会学、心理学、教育学など関連する人文諸科学による学際的・総合的な教育研究を行う。

### 2. 建学の精神

京都ノートルダム女子大学は、キリスト教精神による女性の教育と「徳と知（Virtus et Scientia）」を兼ね備えた女性を育成することを建学の精神としている。

「徳」とは、倫理観を基本に人々のために十分行き届いた行動をすること、つまり善の行為ができる人に備わるものである。また「知」とは、社会のリーダーシップをとるに必要な高度な知識を指す。深い倫理観を身につけ、人々に対して常に配慮のある態度や振る舞いで接する能力を持つ人は、美德の人として尊敬される。

本学はこれをモットーとして、「徳と知」を備えた全人的な人間形成を目指す教育を行っている。

### 3-(3) 卒業研究を目標とした学びの道筋

本学では、全ての学科において卒業研究を必修としている。このことは、卒業研究は本学での学びの集大成であるということとを意味しており、その研究では、最終的に学生は論文や制作物を研究成果物として発表する。学生が目標とすべき各学年での到達目標、卒業研究成果物の全学評価基準は以下を確認すること。

#### 1. 対話から始まる学び

本学のカリキュラムは、学びの集大成としての卒業研究に向かって、先に述べた「ミッション・コミットメント」の4つの行動のうちの「対話する」を中心に組み立てられている。4年間を通して、対話するための「ことば」の力を育て、「問いを立てることができる」ことを目指す。各学年で重視される学修のポイント、到達目標、重点科目を以下の表に示す。各学年末にこれらの到達目標に沿って、自身の学修を振り返り、今後の学修計画を検討する。

| 学年                                                                           | 学修のポイント                                                      | 到達目標                                                   | 重点科目                      |
|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|---------------------------|
| 1年次                                                                          | 大学生としての授業の受け方を教員との対話で知る。大学にあるセンターなどの活用法を職員との対話で知る。           | アカデミックな文章の書き方になじみ、引用など知的財産に配慮する方法を知り、簡単なレポートの作成ができる。   | 文章作成法I<br>各学科の基礎演習        |
| 2年次                                                                          | 授業中に学んだ内容を学生同士の対話の中で深化していく。批判的思考をもちながら、学生同士での対話による学びを促進する。   | レポートの作成に際し、学生同士の協力の下で、序論・本論・結論のような章立てにより論を立てることができる。   | アカデミック・ライティング<br>各学科の専門科目 |
| ※ 2年次をめどに「問いを立てることができること」を授業の中で目指す。<br>※ 3年次以降は1～2年次までに培ったスキルを活かし、卒業研究に取り組む。 |                                                              |                                                        |                           |
| 3年次                                                                          | 学んだ内容から着想して主体的に先行研究にあたり、自らの研究主題を確立する。資料との対話を通して、目的や仮説の設定を行う。 | 卒業研究のテーマをみつけ、自分の興味ある内容に対して、仮説を立てるなど、研究を進める土台を築くことができる。 | 各学科の演習（3年次生ゼミ）            |
| 4年次                                                                          | 卒業研究において卒業論文などの形にして研究成果を発信する。自分の研究についての自己評価・相互評価を行う。         | 自分の卒業研究を完成し、その自己評価ができる。他者の研究の相互評価もできるようにする。            | 卒業研究                      |

#### 2. 卒業研究成果物に対する全学評価基準（ルーブリック）

基準の詳細や基準に到達するための学修の進め方は、各学科で具体的に説明を行うとともに、卒業研究の手引き等で別途案内する。

| 項目                             | D（不合格）                            | C                                    | B                               | A                                      |
|--------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------|
| 新規性・独自性                        | 必ずしも新しい知見を提供しているとは言えない            | 従来の研究から容易に予測されるものの、一応新しい知見を提供している    | 従来の研究の到達点を更新する、新規性を有した知見を提供している | 従来の研究とは異なる発想により、独創的な知見を提供している          |
| 有用性・公共性                        | 得られた知見が社会的に意義がなく研究分野の発展にほとんど有益でない | 得られた知見が社会的に有意義な部分があるか研究分野の発展に一部有益である | 得られた知見が社会的に有意義であるか研究分野の発展に有益である | 得られた知見が社会的に有意義でかつ研究分野の発展に極めて有益である      |
| 先行研究への言及（必要かつ十分な先行研究に言及していること） | 先行研究への言及が乏しい                      | 限られた先行研究のみに言及している                    | 国内または国外で発表された先行研究について広く言及している   | 国内または国外で発表された先行研究について幅広く言及し、適切に位置づけている |
| 一貫性（設定された問いと結論が対応している）         | 問いと結論が対応していない                     | 問いと結論の対応に修正の余地がある                    |                                 | 問いと結論の対応および研究方法のどちらも申し分ない              |
| 信頼性（適切な研究方法が選択されている）           | 適切な研究方法が選択されていない                  | 研究方法に修正の余地がある                        | 研究方法は妥当でありその結果は信用できる            | 研究方法が妥当であり考察など提示された内容が信用できる            |
| 形式（執筆要領を遵守し正しく言語を使用している）       | 執筆要領が十分理解されていない                   | 卒業論文としては、形式的な面で大幅な修正が必要である           | 軽微な修正を施せば、形式的には卒業論文とできる水準である    | 形式的な面で問題はない                            |

基準の詳細や基準に到達するための学修の進め方は、各学科で具体的に説明を行うとともに、卒業研究の手引き等で別途案内する。



## 3-(4) ND6

ミッション・コミットメント、全学の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、卒業（学位授与）時に身につけておくべき力を設定している。

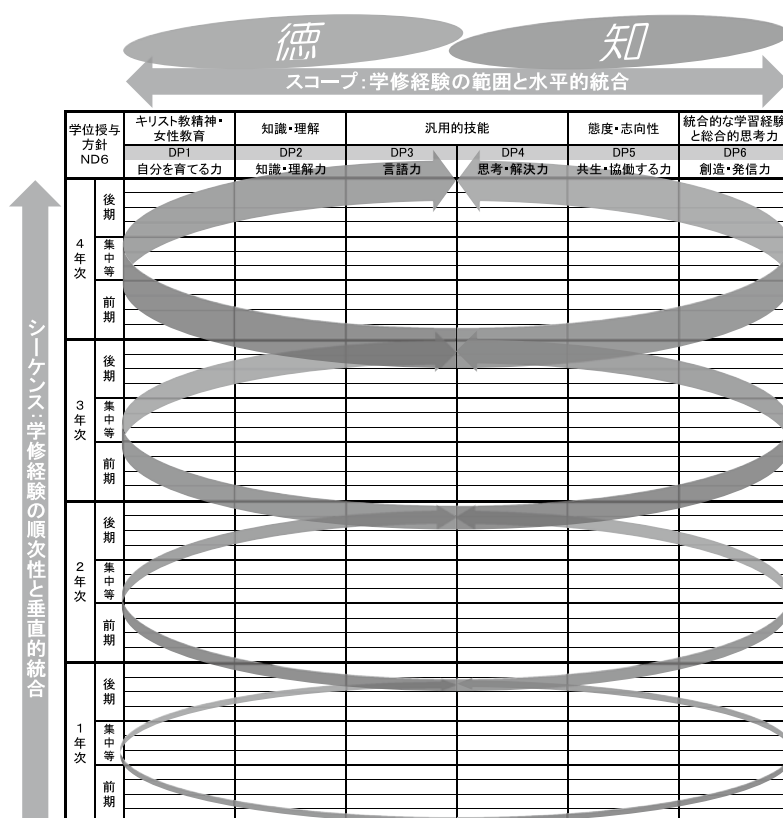
ND6は、「3つの方針」（12頁参照）をはじめ「カリキュラム・マップ」や「コースナンバー」（22頁参照）にも示されており、履修する科目でどのような力が身につくのかを知ることができる。

|                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| キリスト教精神・女性教育    | DP1 : 自分を育てる力               |
| 知識・理解           | DP2 : 知識・理解力                |
| 汎用的技能           | DP3 : 言語力      DP4 : 思考・解決力 |
| 態度・志向性          | DP5 : 共生・協働する力              |
| 統合的な学習経験と総合的思考力 | DP6 : 創造・発信力                |

## 3-(5) NDカリキュラム・マップ

「ND6」を基に、縦軸を「シーケンス」、横軸を「スコープ」として各科目を座標上の1箇所位置づけ、科目の体系性・連関を可視化したものが「NDカリキュラム・マップ」である。

このマップを用いることにより、目標とする学修成果に向かう道筋を鳥瞰しながら、現在地を客観的に把握することができる。なお、各学科のマップは、それぞれの「授業科目の履修・登録」頁に掲載している。



### 3-(6) 京都ノートルダム女子大学 3つの方針

本学では以下のとおり、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程の編成及び実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を定めている。また、これらの方針のもと、主体的に学び、研究を深める意欲のある入学者を受け入れるために、次のとおり全学および各学部学科において入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）を設定している。

**全学共通部分**（学則第1条…「深く専門の学芸を教授研究」「カトリック精神および日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成」）

| 目指すべき人材像                                                                                       | 4年間で育てたい力<br>(ND6) | ディプロマポリシー<br>(卒業認定・学位授与方針) | カリキュラムポリシー<br>(教育課程編成・実施方針)                                                                                                                                                                                                                                                    | アドミッションポリシー<br>(入学受入れ方針)                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性                                  | キリスト教精神・女性教育       | DP1. 自分を育てる力               | <b>【編成方針】</b><br>・キリスト教精神に基づいた「常識」と「良識」を有し、自立した女性として人生を切り開くための知識を身につけるためのベースとなる科目を「カトリック教育」に配置する。<br>・自立した女性として人生を切り開くための知識を身につける科目を「自己の形成」に配置する。<br><b>【実施方針】</b><br>・キリスト教精神の基礎を学ぶ科目を全学必修として行い、多角的な視野からキリスト教精神を学ぶ科目を選択必修として行う。<br>・アクティブラーニングを積極的に取り入れ、主体的に学ぶ内容の授業を行う。       | <b>【期待する能力】</b><br>本学の建学の理念であるキリスト教精神に触れ、理解しようとする。他者や社会に奉仕する中で自己の人格を高めようとする。<br><b>【選考方法】</b><br>自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、面接                 |
| 人間やその生活、社会、自然などについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性                                          | 知識・理解              | DP2. 知識・理解力                | <b>【編成方針】</b><br>・幅広い知識と教養、新しい事柄を理解する力を身につけられる科目を配置する。<br>・多様な教養科目群に「人間と文化」「人間と社会」「人間と自然」「人間と情報」「教育の基礎」という区分を設けて科目を配置する。<br><b>【実施方針】</b><br>・生活、社会、自然、情報、教育等に関する幅広い知識と教養を身につけるとともに、理解を深化させることを目指し、自己の問題として認識できるような授業を展開する。                                                    | <b>【期待する能力】</b><br>高等学校における学習内容を基礎として、各専門分野に資する知識と理解の土台がある。<br><b>【選考方法】</b><br>自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート、学力試験、口頭試問、資格検定                 |
| グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性                  | 言語力                | DP3. 言語力                   | <b>【編成の方針】</b><br>・研究論文執筆をにらんだアカデミックライティング科目を「自己の形成」に配置する。<br>・段階的に英語および他の言語について学べる科目を「外国語」に配置する。<br><b>【実施の方針】</b><br>・レベルや目的別に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。                                                                                                                       | <b>【期待する能力】</b><br>高等学校卒業程度の国語力をもち、英語などの外国語で読み、書き、聞く、話す意欲がある。<br><b>【選考方法】</b><br>自己記入書(志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問、資格検定、英作文            |
| 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性                            | 汎用的技能              | DP4. 思考・解決力                | <b>【編成の方針】</b><br>・適切な情報処理のため、その考え方の基礎から応用、発展までの科目を「人間と情報」に配置する。<br>・主体的に批判的・論理的な思考を展開でき、課題に対し問題解決に向かう提案ができる力を身につけられる科目を配置する。<br><b>【実施の方針】</b><br>・情報処理の基礎能力を身につけるための科目を全学必修とし、実践的に学んだうえで、これからの社会に必要な情報に関する知識などを身につける教育を行う。<br>・主体的に批判的・論理的な思考を展開でき、課題に対し問題解決に向かう提案ができる授業を行う。 | <b>【期待する能力】</b><br>課題について粘り強く考えようとし、広い視野をもって、自らの考えを柔軟に評価・修正できる。<br><b>【選考方法】</b><br>自己記入書(志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問                   |
| 他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性                | 態度・志向性             | DP5. 共生・協働する力              | <b>【編成の方針】</b><br>・「自己の形成」「カトリック教育」を中心に、他者との関係の中で自立した女性として生きていく態度を身につけるための科目を配置する。<br><b>【実施の方針】</b><br>・自己の形成、キャリア教育など、アクティブラーニングによる教育を行う。<br>・他者を尊重し、対話などコミュニケーションを重視した参加型の授業を行う。                                                                                            | <b>【期待する能力】</b><br>人と協力してともに問題解決しようとする意欲をもち、集団での活動経験(部活動、課外活動、ボランティアなど)を活かし、様々な学習に能動的に参加できる。<br><b>【選考方法】</b><br>自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、面接 |
| 総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性 | 総合的な学習経験と総合的思考力    | DP6. 創造・発信力                | <b>【編成の方針】</b><br>・自らの学修成果をまとめ、発信することができるための基礎を身につける科目を配置する。<br><b>【実施の方針】</b><br>・アクティブラーニングを取り入れた科目において、主体的に取り組む授業を行う。                                                                                                                                                       | <b>【期待する能力】</b><br>自らが学習したことを他者に明確に説明しようとし、さらに学習を通じて新たなアイデアやものを創り出そうとする。<br><b>【選考方法】</b><br>自己記入書(志望理由書、自己アピール)、レポート、学力試験、面接、口頭試問          |

| 目指すべき人材像                                                                                       | 4年間で育てたい力<br>(ND6) | ディプロマポリシー<br>(卒業認定・学位授与方針) | カリキュラムポリシー<br>(教育課程編成・実施方針)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | アドミッションポリシー<br>(入学受入れ方針)                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性                                  | キリスト教精神・女性教育       | DP1. 自分を育てる力               | <p>・キリスト教精神に基づいた共感能力と幅広い教養を備えている。</p> <p>・自立した女性として国際社会に貢献できる資質を身につけている。</p> <p>【編成方針】</p> <p>・キリスト教精神に基づいたホスピタリティを養うための専門関連科目を1、2年次に渡り配置する。</p> <p>・自立した女性として、国際社会に貢献できる資質を身につけるために、専門基礎科目に「英語キャリア戦略」を配置する。</p> <p>・同じく、専門基幹科目からは「英語英文学基礎演習」を1年次に配置する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・1年次においてキリスト教精神に関する基礎的な学修を行う。</p> <p>・国際社会のあり方と女性の生き方を関連付けて理解し、それらを自己の問題として認識できるよう授業を行う。</p>                                 | <p>【期待する能力】</p> <p>英語という言葉に関心があり、同時に英語圏の文化、歴史、社会、コミュニケーションに幅広く関心を持っている。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書</p>                             |
| 人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性                                        | 知識・理解              | DP2. 知識・理解力                | <p>【編成方針】</p> <p>・英語圏の文化及び言語・コミュニケーション、英語教育についての多様な側面をバランス良く学び、文化、社会、言語についての幅広い知識と教養を学修できるよう科目を配置する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・専門基幹科目から英語圏文学、言語、コミュニケーション各概論科目を1年次に設け、各専門分野に関する基礎知識の獲得を目指す。</p> <p>・専門講読、研究方法論を2年次に配置し、英語英文学演習（ゼミ）に向けて、各専門における研究のあり方を学ぶ。</p> <p>・教育に関する基礎知識を獲得する機会を提供する。</p>                                                                                                                  | <p>【期待する能力】</p> <p>英語圏の文化や文学に関心があり、高校卒業程度の教科書記載内容の知識を持っている。</p> <p>【選考方法】</p> <p>調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、学力試験、レポート</p>                                  |
| グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性                  | 汎用的技能              | DP3. 言語力                   | <p>【編成方針】</p> <p>・英語を媒介としたコミュニケーション力をはぐくむために、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野に関するテーマを英語で学習するCLIL（内容言語統合型学習）に基づく専門基礎科目を設定する。</p> <p>・英語圏文学、言語、コミュニケーション各専門分野における書き言葉を使いこなす英語力を伸ばすために、1～3年次に必修科目として配置する。</p> <p>・英語に関するより専門的・実践的な学びの機会を提供するために、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野における専門展開科目を、2、3年次中心に設定する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。</p> <p>・グローバル社会へ対応すべく、議論や発表の場において、英語を自分の言葉として運用できる力を養成する。</p> | <p>【期待する能力】</p> <p>高校卒業程度の英語力を持ち、読む、書く、話す、聞く、の英語における4分野の向上に努めることができる。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、調査書、学力試験、資格検定、英作文</p>                                     |
| 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性                            |                    | DP4. 思考・解決力                | <p>【編成方針】</p> <p>・基礎的な情報収集・分析能力および論理的思考力をはぐくむために、共通教育科目「人間と情報」に選択必修科目を設定する。</p> <p>・現代社会における課題に論理的思考力をもって対応できる力を身に付けるため、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野における専門展開科目を2、3年次中心に配置する。</p> <p>・より高度で専門的な論理的思考力と課題解決力を身につけるための科目を専門教育科目3・4年次に必修科目として配置する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・主体的に分析・問題解決に向かう機会となるよう、グループワークやプレゼンテーション等を積極的に取り入れる。</p>                                                                                    | <p>【期待する能力】</p> <p>英語という言葉・英語圏の文化・社会に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探究するための情報収集力を一定レベル習得している。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、学力試験、レポート</p> |
| 他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性                | 態度・志向性             | DP5. 共生・協働する力              | <p>【編成方針】</p> <p>・英語を媒介としたコミュニケーション力をはぐくむために、CLILに基づく専門基礎科目を設定する。</p> <p>・英語圏文学、言語、コミュニケーション各専門分野における書き言葉を使いこなす英語力を伸ばすために、1～3年次に必修科目として配置する。</p> <p>・英語に関するより専門的・実践的な学びの機会を提供するために、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野における専門展開科目を、2、3年次中心に設定する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。</p> <p>・「グローバル・リベラルアーツ」「英語英文学」2領域における専門教育との関連性・系統性に留意して授業を行う。</p>                                            | <p>【期待する能力】</p> <p>高校卒業程度の英語力を持ち、読む、書く、話す、聞く、の英語における4分野の向上に努めることができる。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、調査書、学力試験、資格検定、英作文</p>                                     |
| 総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性 | 総合的な学習経験と総合的思考力    | DP6. 創造・発信力                | <p>【編成方針】</p> <p>・基礎的な情報収集・分析能力および論理的思考力をはぐくむために、共通教育科目「人間と情報」に選択必修科目を設定する。</p> <p>・現代社会における課題に論理的思考力をもって対応できる力を身に付けるため、英語圏文学、言語、コミュニケーション各分野における専門展開科目を2、3年次中心に配置する。</p> <p>・より高度で専門的な論理的思考力と課題解決力を身につけるための科目を専門教育科目3・4年次に必修科目として配置する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・主体的に分析・問題解決に向かう機会を与えるため、グループワークやプレゼンテーション等を積極的に取り入れる。</p>                                                                                   | <p>【期待する能力】</p> <p>英語という言葉・英語圏の文化・社会に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探究するための情報収集力を一定レベル習得している。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、学力試験、レポート</p> |



国際言語文化学部 国際日本文化学科

| 目指すべき人材像                                                                                       | 4年間で育てたい力<br>(ND6) | ディプロマポリシー<br>(卒業認定・学位授与方針) | カリキュラムポリシー<br>(教育課程編成・実施方針)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | アドミッションポリシー<br>(入学受入れ方針)                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性                                  | キリスト教精神・女性教育       | DP1. 自分を育てる力               | <p>・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を備えている。</p> <p>・自立した女性として社会に貢献できる資質を身につけている。</p> <p>【編成方針】</p> <p>・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性や奉仕の精神をはぐくむために、共通教育科目「カトリック教育」に必修科目および選択必修科目を設定する。</p> <p>・同じく、キリスト教と哲学・音楽などを関連させた科目を専門教育科目に配置する。</p> <p>・自立した女性として社会に貢献できる資質を身につけるために、共通教育科目「ライフキャリア形成」に選択必修科目を設定する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・1年次においてキリスト教精神に関する基礎的な学修を行う。</p> <p>・現代社会のあり方と女性の生き方を関連付けて理解し、それらを自己の問題として認識できるよう授業を行う。</p>                                                                   | <p>〔期待する能力〕</p> <p>世界の諸国・地域や日本の文化・言語について学ぶ意欲があり、他者とのコミュニケーションや社会との関わりの中で、自己の人格を高めることに興味・関心があり、努力しようとしている。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、レポート、面接</p>     |
| 人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性                                        | 知識・理解              | DP2. 知識・理解力                | <p>・「日本語日本文化」「国際文化」の2領域にわたる基礎知識、国際的な視野と教養をもっている。</p> <p>・「日本語日本文化」および「国際文化」に関する事象について考察するために必要な基礎的な技能を身につけている。</p> <p>【編成方針】</p> <p>・専門教育科目に「日本語日本文化」と「国際文化」の2領域を設定し、領域横断的に学修できるよう科目を配置する。</p> <p>・領域間・科目間の関連性・系統性に留意して科目を配置する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・学生の興味関心に応じた学びの機会を提供する。</p> <p>・各領域に関する基礎知識の確かな獲得を目指す。</p> <p>・獲得した知識の理解を深め、自分の考察に生かせるよう指導を行う。</p>                                                                                                                    | <p>〔期待する能力〕</p> <p>世界の諸国・地域や日本、およびその文化や言語について関心を持ち、高等学校卒業程度の教科書記載内容の知識を持っている。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、学力試験、レポート、面接</p>                       |
| グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性                  | 汎用的技能              | DP3. 言語力                   | <p>・多様化、複雑化する現代社会が抱える諸課題に人文学的観点から対応する態度をもっている。</p> <p>・上記を実現するために必要な日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。</p> <p>【編成方針】</p> <p>・基礎的な英語力をはぐくむために、共通教育科目「外国語」に必修科目を設定する。</p> <p>・英語に関するより専門的・実践的な学びや、英語以外の言語についての学びの機会を提供するために、共通教育科目「外国語」に選択必修科目を設定する。</p> <p>・書き言葉・話し言葉の両面を使いこなす国語力を伸ばすための科目を専門教育科目に配置する。</p> <p>・社会人としてのプレゼンテーション能力を鍛えるための科目を専門教育科目に配置する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。</p> <p>・獲得した国語力・プレゼンテーション能力を、様々な場面で生かすように指導する。</p> | <p>〔期待する能力〕</p> <p>高等学校卒業程度の国語力を持ち、書き言葉、話し言葉の両面でコミュニケーション力に磨きをかけることに関心を持っている。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、学力試験、レポート、面接</p>                       |
| 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性                            |                    | DP4. 思考・解決力                | <p>・現代社会のさまざまな課題について人文学的観点から考察できる。</p> <p>・上記の課題解決に貢献するために不可欠な情報を収集・分析する能力と論理的な思考力を身につけている。</p> <p>【編成方針】</p> <p>・基礎的な情報収集・分析能力および論理的思考力をはぐくむために、共通教育科目「人間と情報」に選択必修科目を設定する。</p> <p>・同じく、関連科目を専門教育科目1・2年次に必修科目として配置する。</p> <p>・より高度で専門的な論理的思考力と課題解決力を身につけるための科目を専門教育科目3・4年次に必修科目として配置する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・グループワークやフィールドワーク等を積極的に取り入れる。</p>                                                                                                                             | <p>〔期待する能力〕</p> <p>世界の諸国・地域や日本の文化・言語に関するさまざまな課題について関心があり、それらを解決・探求するための文献調査や情報検索の方法について、ある程度習得している。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、学力試験、レポート、面接</p> |
| 他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性                | 態度・志向性             | DP5. 共生・協働する力              | <p>・獲得したコミュニケーション能力を土台に、さまざまな他者と共生・協働する力を身につけている。</p> <p>【編成方針】</p> <p>・共生・協働の意義を理解するために、国際関係や多文化理解等に関する科目を専門教育科目に配置する。</p> <p>・日本語を通じたコミュニケーション能力を体系的に向上させるための科目を専門教育科目「基礎」に必修科目として配置する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・コミュニケーション能力をはぐくむ授業ではグループワークを重視する。</p>                                                                                                                                                                                                                      | <p>〔期待する能力〕</p> <p>他者との基本的なコミュニケーション力があり、他者と共生・協働して、社会への貢献を行うことに関心がある。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、レポート、面接</p>                                        |
| 総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性 | 統合的な学修経験と総合的思考力    | DP6. 創造・発信力                | <p>・自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、その成果をまとめ、発信することができる。</p> <p>【編成方針】</p> <p>自ら「問い」を立て、探究する能力を身につけるための科目を専門教育科目1～4年次に必修科目として体系的に配置する。</p> <p>【実施方針】</p> <p>・興味関心や意欲を大切にし、主体的に課題に取り組む授業を行う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <p>〔期待する能力〕</p> <p>世界や日本の文化・言語に関連して、ユニークな発想による企画や研究・制作を行い、社会に発信することに関心がある。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>調査書、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、資格検定、レポート、面接</p>                               |

| 目指すべき人材像                                                                                       | 4年間で育てたい力<br>(ND6) | ディプロマポリシー<br>(卒業認定・学位授与の方針) | カリキュラムポリシー<br>(教育課程編成・実施方針)                                                                                                              | アドミッションポリシー<br>(入学者受入れ方針)                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性                                  | キリスト教精神・女性教育       | DP1. 自分を育てる力                | ・キリスト教精神に基づいて豊かな人間性と奉仕の精神を養い、人の生活を生活環境の側面からとらえている。<br>・よりよい暮らしの創造や地域社会の実現に貢献できる態度を身につけている。                                               | 【期待する能力】<br>社会に貢献できるよう自分を高めたいと考え、自分の生活や人生を主体的に築いていく意欲をもっている。<br>【選考方法】<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート                        |
| 人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性                                        | 知識・理解              | DP2. 知識・理解力                 | ・衣食住、家族・生活経営、福祉に関する幅広い知識を身につけている。<br>・人の生活を生活環境の側面からとらえ、暮らしにかかわる多様な課題を理解できる力を身につけている。                                                    | 【期待する能力】<br>入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、家族や個人の暮らしに必要な衣食住、家族・生活経営、福祉について、自ら積極的に学び知識を身につけたいと考えている。<br>【選考方法】<br>学力試験、レポート、調査書 |
| グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性                  | 汎用的技能              | DP3. 言語力                    | ・多様化、複雑化する現代社会が抱える諸問題を暮らしの視点から解決へと導くために、人の生活を生活環境の側面からとらえる。<br>・相手の立場を考えながら、場に応じたコミュニケーションができる力を身につけている。                                 | 【期待する能力】<br>学んだ知識や技術を用い、言語を介して積極的に他者と関わるということに関心がある。<br>【選考方法】<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート                                |
| 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性                            |                    | DP4. 思考・解決力                 | ・現代社会のさまざまな課題に対して、人の生活を生活環境の側面からとらえる。<br>・生活のあり方や生活における課題の本質を探り、より良い方向を見出す力を身につける。<br>・衣食住、家族・生活経営、福祉に関する専門的な知識と技術を自他の生活課題を解決するために活用できる。 | 【期待する能力】<br>身近な生活環境に関心を持ち、生活をより良くするために、身につけた知識や技能を役立てる力を養いたいと考えている。<br>【選考方法】<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート                 |
| 他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性                | 態度・志向性             | DP5. 共生・協働する力               | ・人の生活を生活環境の側面からとらえ、一人ひとりの人間をかけがえのない存在としてとらえる。<br>・他者に共感でき、ともに考え、よりよい暮らしに必要なものを協働して創り出す力を身につけている。                                         | 【期待する能力】<br>周りと協力しながら、相手の立場に立って物事を考えようと努力し、行動したいと考えている。<br>【選考方法】<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート                             |
| 総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性 | 統合的な学修経験と総合的思考力    | DP6. 創造・発信力                 | ・人の生活を生活環境の側面からとらえ、地域における生活課題を解決するための情報収集ができる。<br>・新たな価値の創造に取り組み、その成果を適切に発信する力を身につけている。                                                  | 【期待する能力】<br>より良い生活の創造に関わり、自分の考えを発信したいと考えている。<br>【選考方法】<br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート                                        |

## 現代人間学部 心理学科

| 目指すべき人材像                                                                                       | 4年間で育てたい力<br>(ND6) | ディプロマポリシー<br>(卒業認定・学位授与方針) | カリキュラムポリシー<br>(教育課程編成・実施方針)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | アドミッションポリシー<br>(入学受入れ方針)                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性                                  | キリスト教精神・女性教育       | DP1. 自分を育てる力               | <p>・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を備えている。</p> <p>・社会の安寧と人々の幸福の実現に貢献できる態度を身につけている。</p> <p>【編成の方針】</p> <p>・共通教育科目におけるキリスト教精神や女性の生き方についての学びに加えて、現代社会における豊かな人間性と人々の幸福の実現に貢献できる力を身につけられる科目を配置する。</p> <p>【実施の方針】</p> <p>・心理学基礎演習IIにおいて、アカデミックスキルに加えて、心理学を生かした多様性理解や社会貢献を学ぶ。また、上級生をモデルとして正課・課外問わず、ボランティア活動や地域連携・貢献の志向や主体的態度、キャリア意識を養う。</p>                     | <p>〔期待する能力〕</p> <p>豊かな人間性、および、自己成長への意欲と他者の理解や奉仕の精神を備えている。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書</p>                                                     |
| 人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性                                        | 知識・理解              | DP2. 知識・理解力                | <p>・心理学およびその関連領域についての基礎知識を身につけている。</p> <p>・心理学の基礎知識を基にさらに新しい事柄を理解する力を身につけている。</p> <p>【編成の方針】</p> <p>・専門展開科目として、「基礎・発達心理学」「社会・産業心理学」「臨床心理学」の3領域の知識・理解に関する科目を配置する。</p> <p>・専門関連科目として、現代社会におけるビジネスやメディア、福祉の知識・理解に関する科目を配置する。</p> <p>【実施の方針】</p> <p>・心理学の主要領域に関する基礎知識を身につけるとともに、現代社会のニーズに幅広く視野を広げながら、心理学およびその関連領域について学ぶ。</p>                          | <p>〔期待する能力〕</p> <p>心理学およびその関連領域について知識や技能を習得し、科学的分析と深い人間理解に基づいて、現代社会の要請に応じた実践的問題解決能力や産業界で活躍できる力を身につけたいと考えている。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>調査書、学力試験、レポート</p>               |
| グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性                  | 汎用的技能              | DP3. 言語力                   | <p>・現代社会の諸問題を解決へと導くために必要な日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと運用能力を身につけている。</p> <p>・多様化・複雑化する現代社会が抱える諸問題について、心理学的視点から考察し、人々との対話を通して解決することができる。</p> <p>【編成の方針】</p> <p>・共通教育科目で学ぶ、世界の様々な言語の学修に加え、専門基礎科目に、心理学専門の英語と日本語の理解・活用に関係する科目を配置する。</p> <p>【実施の方針】</p> <p>・共通教育において、多様な言語でコミュニケーションが行える語学力を修得する。</p> <p>・専門科目において、心理学的視点から社会的課題を考察・解決し、それを発信する言語活用力を養う。</p> | <p>〔期待する能力〕</p> <p>さまざまな文化背景をもつ人々や社会に対して、純粋な関心と偏見なく理解する姿勢を持ち、母語や外国語によるコミュニケーションを通じた心の理解への意欲を持っている。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>調査書、資格検定、学力試験、レポート、面接</p>                 |
| 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性                            |                    | DP4. 思考・解決力                | <p>・人間の心と行動に関する情報を収集・分析する科学的技能と論理的思考力を身につけている。</p> <p>・現代社会のさまざまな課題に対して、問題解決に向かう提案ができる。</p> <p>【編成の方針】</p> <p>・専門基礎科目に、心理学研究法、心理統計、心理実験、心理テストなど心理学的な思考・解決力やスキルを身につけるための科目を配置する。</p> <p>【実施の方針】</p> <p>・人間の心と行動に関する情報を適切に収集・分析する力を身につける。</p> <p>・現代社会のさまざまな課題に対して、論理的・批判的な思考を展開し、課題解決できる力を養う。</p>                                                  | <p>〔期待する能力〕</p> <p>人間の思考や行動、人間関係や社会構造に興味を持ち、心理学への学習意欲や問題探求心に優れ、様々な問題や事象について論理的に考え、解決策を追求することに熱意がある。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、学力試験、レポート、調査書</p> |
| 他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性                | 態度・志向性             | 共生・協働する力<br>DP5.           | <p>・一人ひとりの人間をかけがえない存在として尊び、社会で不利な立場に置かれた人々を含むさまざまな人々とコミュニケーションを図る力を身につけている。</p> <p>・他者と共生・協働することができる実践力を身につけている。</p> <p>【編成の方針】</p> <p>・心理カウンセリングや社会・ビジネス心理の観点から、人々との共生・協働のありかたについて学ぶ科目を、専門展開科目および専門関連科目に配置する。</p> <p>【実施の方針】</p> <p>・社会で不利な立場におかれた人々を含むさまざまな人々の心理について理解を深める。</p> <p>・対話やコミュニケーションを重視した参加型の授業を通して、多様な人々と共生・協働する力を養う。</p>          | <p>〔期待する能力〕</p> <p>人の個性を理解・尊重し、ともに成長しともに生活する姿勢を備え、現代社会に生きる人々が抱える心理的諸問題の解決と支援に貢献したいと考えている。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>自己記入書（志望理由書、自己アピール）、面接、調査書</p>                     |
| 総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性 | 総合的な学修経験と総合的思考力    | DP6. 創造・発信力                | <p>・専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、得られた分析結果から新たな価値を創造する力を有している。</p> <p>・心の諸問題に対して適切に判断し対処する力を身につけている。</p> <p>【編成の方針】</p> <p>・心理学の学習成果をまとめ、創造的に発信する力を育てる、心理学演習、卒業研究等の科目を配置する。</p> <p>・実践的に自らの学習成果を社会活動に位置づける科目として、心理カウンセリングや社会・ビジネスに関する演習・実習科目を配置する。</p> <p>【実施の方針】</p> <p>・卒業研究を最終目標とし、主体的に研究や課題に取り組み、学習成果を論理的に表現する力を身につける。</p>                     | <p>〔期待する能力〕</p> <p>心理学の学びを通して、現代社会における諸問題について、新たな発想での気づきや提案をしていく意欲がある。</p> <p>〔選考方法〕</p> <p>面接、調査書、学力試験、レポート</p>                                                  |



| 目指すべき人材像                                                                                       | 4年間で育てたい力<br>(ND6) |               | ディプロマポリシー<br>(卒業認定・学位授与方針)                                                                          | カリキュラムポリシー<br>(教育課程編成・実施方針)                                                                                                                                                                                                             | アドミッションポリシー<br>(入学受入れ方針)                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性                                  | キリスト教精神・女性教育       | DP1. 自分を育てる力  | ・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を有している。<br>・教育者及び保育者として、職業的役割を自覚し、こどもの教育に貢献できる態度を身につけている。                  | 【編成方針】<br>・キリスト教精神や女性の生き方について学ぶ機会を設ける。<br>・現代社会における豊かな人間性と奉仕の精神を土台とした教育者、保育者としてのあるべき姿を学ぶ機会を設ける。<br>・学科専門科目として「保育者論」「教職論」を設置する。<br>【実施方針】<br>・教育者及び保育者としての人間性を有した自立した女性を育むための教育を行う。                                                      | 〔期待する能力〕<br>教育や保育に携わる人間として、社会に貢献できるよう関連する知識や技能を習得するのみならず、良好な人間関係を築こうとする。<br>〔選考方法〕<br>面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書       |
| 人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性                                        | 知識・理解              | DP2. 知識・理解力   | ・教育や保育、およびその関連領域についての基礎知識を有している。<br>・身につけた基礎知識を基に新しい教育や保育に関する事柄を理解する力を身につけている。                      | 【編成方針】<br>・教育や保育に関する基礎的科目となる専門基礎科目として「保育原理」「教育原理」「特別支援教育」等の科目を設置する。<br>【実施方針】<br>・教育や保育に関する、基礎知識を習得できる教育を行う。                                                                                                                            | 〔期待する能力〕<br>入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、多くの学問や人間と関わり、積極的に他者を理解したいと考えている。<br>〔選考方法〕<br>学力試験、調査書、レポート               |
| グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性                  | 汎用的技能              | DP3. 言語力      | ・教育や保育領域のグローバル化、また、日本語を母国語としないこどもや家庭に対応することの重要性を理解している。<br>・日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。 | 【編成方針】<br>・共通教育科目で学ぶ、多様な言語の学修に加え、「外国語（英語）」、「国際理解教育」などを設置する。<br>【実施方針】<br>・教育者及び保育者に求められる語学力や国際理解力を4年間にわたって向上できるように教育を行う。                                                                                                                | 〔期待する能力〕<br>学んだ知識や技術を用い、一人ひとりの言語力の相違に気づき、一人ひとりの個性に応じた対応をしようとする。<br>〔選考方法〕<br>面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、レポート、資格検定、学力試験 |
| 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性                            |                    | DP4. 思考・解決力   | ・教育や保育に関するさまざまな課題に対して、情報を収集・分析する科学的技能と論理的思考力を身につけている。                                               | 【編成方針】<br>・教育や保育における問題場面において、知識・理解をもとに、問題解決する力を育てるために、「領域に関する専門的事項」「保育内容の指導法」及び「教科に関する専門的事項」「各教科の指導法」等の科目を設置する。<br>【実施方針】<br>・教育実習、保育実習を見据えて、2年生から、教育や保育に関する実践力育成を意図した教育を行う。                                                            | 〔期待する能力〕<br>自分の考えだけでなく、人の考えを聞き、また深く考え、問題があっても解決しようとする力がある。<br>〔選考方法〕<br>面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、レポート、調査書、学力試験           |
| 他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性                | 態度・志向性             | DP5. 共生・協働する力 | ・教育や保育場面で関わる全ての人たちと、よりよいこどもの成長を支えるために、共生・協働する力を身につけている。                                             | 【編成の方針】<br>・様々な特性を持つこども、様々な価値観を持つ保護者と共生・協働できるように「福祉」「心理」「特別支援」「教育相談」等に関する科目を設置する。<br>・教育や保育現場で他者と連携・協働できる力を育むために教育現場・保育現場との連携を踏まえた科目を設置する。<br>【実施の方針】<br>・様々な人々と共生・協働できるように、対話を重視した参加型の授業を実践する。<br>・講義形式の科目においてもアクティブ・ラーニングを取り入れた教育を行う。 | 〔期待する能力〕<br>学習活動に参加し、共生し協働しながら困難に立ち向かうことで何かを成し遂げようとする。<br>〔選考方法〕<br>面接、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書                         |
| 総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性 | 統合的な学習経験と総合的思考力    | DP6. 創造・発信力   | ・教育や保育に関する自らの疑問や課題に基づき研究に取り組み、客観的な分析を通して、教育や保育の諸問題について、適切に判断する力を身につけている。                            | 【編成の方針】<br>・教育や保育実践力を高めるため、また教育者及び保育者育成の集大成として「保育実習」「教育実習」「保育・教職実践演習」「教職実践演習」を設置する。<br>・自らの学びの成果をまとめ、創造的に発信する力を育むために「卒業研究」を設置する。<br>【実施の方針】<br>・主体的に学習に取り組むことができるように、学生の学びを支援する教育を行う。                                                   | 〔期待する能力〕<br>様々な想像をし、意見を交換することで、更に想像力を発揮し、自分の考えを発信したいと考えている。<br>〔選考方法〕<br>面接、レポート、自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書               |

## 社会情報学環

| 目指すべき人材像                                                                                       | 4年間で育てたい力<br>(ND6) |               | ディプロマポリシー<br>(卒業認定・学位授与方針)                                                                                                                                                                                             | カリキュラムポリシー<br>(教育課程編成・実施方針)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | アドミッションポリシー<br>(入学受入れ方針)                                                                                                         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性                                  | キリスト教精神・女性教育       | DP1. 自分を育てる力  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を有している。</li> <li>・情報を文化・生活環境・心理・教育の側面からとらえ、よりよい社会の構築に向けて考え、行動することができる。</li> </ul>                                                                      | <b>【編成方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通教育科目におけるキリスト教精神や女性の生き方についての学びに加えて、1・2年次では大学で必要な学びの基礎を養成する演習系の専門基礎科目を配置する。</li> </ul> <b>【実施方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年次では大学で必要な学びの基礎および情報の活用に関する基礎的な学びやスキルを実践的に修得する。</li> <li>・自己の描くキャリアを具体化させる知識および態度を養成する。</li> </ul>                                                                                                          | <b>【期待する能力】</b><br>社会に貢献できるよう自分を高めたいと考え、情報を活用し自分の生活や人生を主体的に築いていく意欲をもっている。<br><b>【選考方法】</b><br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート    |
| 人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性                                        | 知識・理解              | DP2. 知識・理解力   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情報・情報科学・データサイエンス・AI(人工知能)および4学科の関連領域に関する幅広い知識を身につけている。</li> <li>・適切な情報を収集し、確かな手続きを踏まえて分析した情報をもとに、暮らしや社会の貢献に関わる多様な課題を理解できる力を身につけている。</li> </ul>                               | <b>【編成方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次では、「社会情報概論」「情報の科学と倫理」をはじめ、社会情報・データサイエンスについて総体的に学ぶ社会情報基礎科目を中心に配置する。</li> <li>・2年次以降は、段階的に専門的知識が修得できるよう社会情報展開科目等の科目群を配置する。</li> </ul> <b>【実施方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次では、基礎的な社会情報およびデータサイエンスに関する知識を修得し理解を深める。</li> <li>・2年次以降は、社会情報に隣接する文化・生活環境・心理・教育等の幅広い知識と教養を養成する。</li> </ul>                                                  | <b>【期待する能力】</b><br>入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、情報や数理を、自ら積極的に学び知識を身につけたいと考えている。<br><b>【選考方法】</b><br>学力試験、レポート、調査書            |
| グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性                  | 汎用的技能              | DP3. 言語力      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会が抱える諸問題を社会情情的視野から、人々との対話に基づいて解決することができる。</li> <li>・現代社会の諸問題を解決するため、日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。</li> </ul>                                                      | <b>【編成方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通教育科目では、多言語のコミュニケーションスキルや読み書き能力を養う科目を配置している。</li> <li>・専門科目においては、プレゼンテーションやスピーチに関する科目を配置し、他者に発信したり、コミュニケーションを行う素地を養成する科目を配置する。</li> </ul> <b>【実施方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通教育科目では、グローバル化の時代に対応すべく、多様な言語でコミュニケーションが行える語学力を修得する。</li> <li>・専門科目においては、他者に発信したり、コミュニケーションを行う能力やスキルを修得する。</li> </ul>                                     | <b>【期待する能力】</b><br>基礎的な国語力・英語力を有し、学んだ知識や技術を用い、言語を介して積極的に他者と関わるといことに関心がある。<br><b>【選考方法】</b><br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート    |
| 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性                            |                    | DP4. 思考・解決力   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸課題を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、社会における生活のあり方やそのなかでの情報の扱い方の本質を探り、より良い方向を見出す力を身につける。</li> <li>・社会情報に加え、4学科に関する専門的な知識と技術も根拠として用い、自他の課題を解決するために活用できる。</li> </ul>                    | <b>【編成方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年次では大学で必要な学びの基礎を養成する演習科目の他、社会情報に関する基礎科目を配置する。</li> <li>・1・2年次で修得した社会情報の基礎科目を基盤とし、さらに応用的な技術や技能を身につけるための科目を実践科目や展開科目に配置する。</li> </ul> <b>【実施方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年次では大学で必要な学びの基礎および情報の活用に関する基礎的な学びやスキルを実践的に修得する。</li> <li>・現代社会の多様な課題を見極め、問題を解決するための方策を論理的に思考する力を養う。</li> </ul>                                              | <b>【期待する能力】</b><br>社会の情勢に関心を持ち、生活をより良くするために、身につけた知識や技能を活用し社会に貢献したいと考えている。<br><b>【選考方法】</b><br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート    |
| 他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけた女性                                            | 態度・志向性             | DP5. 共生・協働する力 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の現状を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、一人ひとりの人間をかけがえのない存在として尊び、対話を中心に、他者に共感できる力を身につけている。</li> <li>・多様な課題を抱える人に寄り添う態度を身につけ、他者と協働しながら関わる支援者として社会・地域・コミュニティの諸問題の解決に貢献できる技術をもっている。</li> </ul> | <b>【編成方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次の基礎的な学びをさらに発展させ、専門への学びへと繋げるため、2年次に「社会情報発展演習Ⅰ・Ⅱ」を配置する。</li> <li>・人との関わり方や社会において様々な課題を抱える人々について理解し、寄り添う態度を身に付けるため、心理・社会系分野の科目を展開科目として配置する。</li> </ul> <b>【実施方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年次の基礎的な学びをさらに発展させるとともに、専門への学びを深め、多様な人と共生・協働する力を養う。</li> <li>・社会情報やデータサイエンスを活用し、社会の現状や多様な方意を抱える人の問題点や解決方法を身に付け、問題解決しようとする力を身に付ける。</li> </ul> | <b>【期待する能力】</b><br>対話やコミュニケーションを軸に周り協力しながら、相手の立場に立って物事を考えようと努力し、行動したいと考えている。<br><b>【選考方法】</b><br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール) 調査書、レポート |
| 総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性 | 統合的な学習経験と総合的思考力    | DP6. 創造・発信力   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の現状を社会情報やデータサイエンスの側面からとらえ、総合的な学修経験を活かし、課題を解決するために必要に応じて新たな価値の創造に取り組み、その成果を適切に発信する力を身につける。</li> <li>・諸問題の解決に向けて主体的に行動できる態度・能力・技術を社会で発揮できる。</li> </ul>                         | <b>【編成方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通教育科目や専門教育科目で培った知識やスキルを実際に活用する力を発揮する「社会情報フィールド研修」や「社会情報演習」「インターンシップ」等の演習科目を配置する。</li> <li>・専門知識やスキルをもとに、学習成果を創造的に発信することを目的とした「卒業研究」の科目を配置する。</li> </ul> <b>【実施方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情報・データサイエンスおよび隣接する4学科の専門的かつ実践的な学修経験をもとに、主体的に問題解決に向けて取り組む力を身に付ける。</li> <li>・専門知識や実践的な学習経験を新たな提案や作品制作の形で創造的にまとめ、社会に発信する力を身に付ける。</li> </ul>   | <b>【期待する能力】</b><br>より良い情報社会の創造に関わり、自分の考えを発信したいと考えている。<br><b>【選考方法】</b><br>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート                        |



# 女性キャリアデザイン学環

| 目指すべき人材像                                                                                       | 4年間で育てたい力<br>(ND6) | ディプロマポリシー<br>(卒業認定・学位授与方針) | カリキュラムポリシー<br>(教育課程編成・実施方針)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | アドミッションポリシー<br>(入学受入れ方針)                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性                                  | キリスト教精神・女性教育       | DP1. 自分を育てる力               | <p>【編成方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キリスト教精神に基づいた豊かな人間性や奉仕の精神をはぐくむために、共通教育科目「カトリック教育」に必修科目および選択必修科目を設定する。</li> <li>ライフキャリアおよびビジネスキャリアを設計・形成できる力を涵養するために、女性キャリアデザイン連携科目を系統的に編成する。</li> </ul> <p>【実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年次においてキリスト教精神に関する基礎的な学修を行う。</li> <li>連携科目においてはライフキャリア・ビジネスキャリア形成力の涵養を意識しつつ授業を行い、主体的に学び続ける力の基礎を築く。</li> </ul>                                             | <p>【期待する能力】</p> <p>ひとりの人間として自立しつつ他者と共に生きていくことに関心があり、自らの生活や人生を主体的に築いていこうという意欲を持っている。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート</p>        |
| 人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性                                        | 知識・理解              | DP2. 知識・理解力                | <p>【編成方針】</p> <p>ライフキャリアおよびビジネスキャリア形成に関する基礎知識を獲得するための概論科目を配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広い視点からライフキャリアおよびビジネスキャリア形成について理解できるように、幅広い分野の関連科目を配置する。</li> </ul> <p>【実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフキャリアおよびビジネスキャリアに関する基礎知識の確かな獲得を目指す。</li> </ul>                                                                                                                                        | <p>【期待する能力】</p> <p>入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有するとともに、キャリアデザインに関わる知識について積極的に学びたいと考えている。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、学力試験、レポート、調査書</p> |
| グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性                  | 汎用的技能              | DP3. 言語力                   | <p>【編成方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語による実践的なコミュニケーションスキルを涵養するための科目を配置する。</li> <li>外国語による基礎的なコミュニケーションスキルを涵養するために、共通教育科目に「外国語」を設定する。</li> </ul> <p>【実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レベルや目的、興味関心に応じた内容で、実践的・主体的に学べる授業を行う。</li> </ul>                                                                                                                                                     | <p>【期待する能力】</p> <p>基礎的な国語力・英語力を有し、言語を介して自分を表現することや他者を理解することに関心がある。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、学力試験、レポート、調査書、資格検定</p>               |
| 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性                            |                    | DP4. 思考・解決力                | <p>【編成方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践的な情報収集・分析・活用能力や思考力、判断力、企画力を涵養するための科目を配置する。</li> </ul> <p>【実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践的経験を通して上記の力を獲得できるように、グループワークやフィールドワーク等を積極的に取り入れる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                           | <p>【期待する能力】</p> <p>身につけた知識や技能を実際に活用することに関心があり、それを通じて自ら成長していきたいと考えている。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート</p>                      |
| 他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性                | 態度・志向性             | DP5. 共生・協働する力              | <p>【編成方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共生・協働の意義を理解するための科目を配置する。</li> <li>リーダーシップ／フォロワーシップおよびホスピタリティを涵養するための科目を配置する。</li> <li>実践的経験を通して共生力・協働力を涵養するための科目を配置する。</li> </ul> <p>【実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記の力を実際に発揮する機会を授業内で積極的に設ける。</li> </ul>                                                                                                                                         | <p>【期待する能力】</p> <p>対話を通じて他者を理解し自分を理解してもらおうという姿勢があり、周りや協力しながら自分の役割を果たしていきたいと考えている。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート</p>          |
| 総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性 | 総合的な学修経験と総合的思考力    | DP6. 創造・発信力                | <p>【編成方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自らの学修経験を省察し、次の学びや実践に生かす力をもっている。</li> <li>自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、その成果をまとめ、発信することができる。</li> </ul> <p>【実施方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学内・外における多様な実践的な学修経験と省察の機会を提供するための科目を配置する。</li> <li>自ら「問い」を立て、探究する能力を涵養するための科目を女性キャリアデザイン連携科目1～4年次に必修科目として体系的に配置する。</li> <li>学修経験と省察のサイクルを通じて持続的な成長を後押しできるよう指導する。</li> <li>興味関心や意欲を大切に、主体的に課題に取り組む授業を行う。</li> </ul> | <p>【期待する能力】</p> <p>さまざまな場で実践的な学びを体験したいという意欲があり、そこで得た経験を自らのキャリアデザインに活かしていきたいと考えている。</p> <p>【選考方法】</p> <p>面接、自己記入書(志望理由書、自己アピール)、調査書、レポート</p>         |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について



## 4. 履修登録にあたって

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について



## 4 履修登録にあたって

### はじめに

京都ノートルダム女子大学での学修は、自分が何を学ぶべきかを、あなた自身が決めるところから始まる。その最初の段階が毎年度始めに行う「履修登録」である。「履修登録」とは、その年度にどの科目を履修するかを申請する、いわば自分の時間割を組立てる手続きのことである。

履修する科目を選ぶには、まず本学での目標を自分なりに定め、その達成に向けて4年間のおおよその計画を立て、それを年度ごとに見直した上で必要な科目を検討することが必要となる。「卒業後の自分」をしっかりとイメージし、その年度に何を学ぶべきかを自分自身で考えていくこと、このプロセス自体があなたの成長の一助となり、さらに目標に向けて努力を重ねること、大学生活は充実したものとなるであろう。

### 1. 履修計画

履修登録に取りかかる前に、4年間を見通した上でその年度の履修計画を立てることが大切である。『学生便覧』（この冊子）の「授業科目の履修・登録」（5. 国際言語文化学部、6. 現代人間学部、7. 社会情報学環、8. 女性キャリアデザイン学環）及びオリエンテーション等で配付される資料をよく読み、自分の興味・関心や目指す職業を考えて、各年次で履修する科目をまずは大まかに決めておく。その際、「履修科目表」（65～89頁）に記載されている科目の配当学年や履修条件、隔年開講（1年置きの開講）かどうかなどに十分注意すること。

なお、履修計画の作成にあたってわからないことがあれば、オフィスアワーや履修相談日を利用して指導担当教員に相談すること。

### 2. シラバス

本学の教育理念や各学科等の教育目標をふまえ、個々の授業科目の具体的な教育目標、内容と方法などを詳しく記載した、いわば授業のメニューのようなものが「シラバス」である。シラバスを読むことで、履修する科目を選択する際の指針になるだけでなく、日々の授業で何をどのように勉強するかが確かめやすくなる。上記の「履修科目表」等とあわせ、積極的に活用してもらいたい。なお、シラバスはwebで公開されており、教務課・学事課のサイト <http://notredame.ac.jp/instec/> や本学ポータルサイトUNIPAから確認することができる。

### 3. 授業科目の区分

- (1) 授業科目は共通教育科目、専門教育科目、学際教育科目及び免許・資格科目からなっている。
- (2) 授業科目の構成と本年度開講される科目は、「受講科目一覧表」（教務課・学事課サイト参照）のとおりである。

### 4. コースナンバリング

コースナンバリングとは、授業科目に適切な番号（コースナンバー）を付けることで学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性をわかりやすく示したものである。

コースナンバーを参照することで、レベルや分野に応じた適切な授業科目を選択でき、履修計画を立てやすくなる。

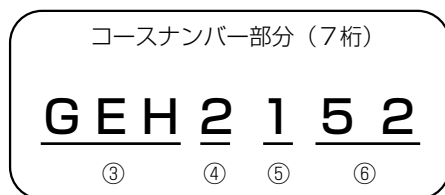
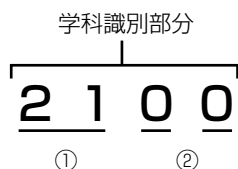
#### コースナンバー

本学では、授業科目に固有の番号として、アルファベット3文字、数字4桁の計7桁を基本として設定している。シラバス・授業時間割等には、その番号の末尾に3桁以内でクラスや他学科開放等を示す枝番を付したものを記載し、履修すべき授業が容易に識別できるようにしている。また、コースナンバーの前には4桁の学科識別番号を記載し、共通教育科目、学科専門教育科目、資格等に関する科目、基礎科目、展開科目、必修科目、選択科目といった、科目の別を認識できるようになっている。

特徴的なのは、本学の卒業（学士課程プログラム修了）時に身につけておくべき力を6つに分類した「ND6」（11頁参照）を表示している点である。1～6の数字により、学士力を構成するどのような力を育てることを主として想定した科目なのかが読み取れる。

## 【番号の並びの規則】

例)



## 学科識別部分

①学科等の別（上2桁）

| 学科等別             | 番号  |
|------------------|-----|
| 共通教育             | 1 1 |
| 国際言語文化学部英語英文学科   | 2 1 |
| 国際言語文化学部国際日本文化学科 | 2 2 |
| 現代人間学部生活環境学科     | N2  |
| 現代人間学部心理学科       | N4  |
| 現代人間学部こども教育学科    | N6  |
| 社会情報学環           | R1  |
| 女性キャリアデザイン学環     | R2  |
| 教職に関する科目         | 3 1 |
| 司書教諭に関する科目       | 3 2 |
| 司書に関する科目         | 3 3 |
| その他資格関係          | 4 1 |

②位置づけ等（下2桁）

3桁目 基礎科目・基幹科目＝1、展開科目＝2、関連科目＝3、卒業研究・専門演習＝4（教養科目＝0）

4桁目 必修科目＝1、選択（選択必修含む）科目＝2、自由科目＝3

## コースナンバー部分（7桁）

③学問分野：学科・分野別等に設定（表1のとおり）。

④段階

| 段階別         | 番号 |
|-------------|----|
| 導入レベル       | 0  |
| 学士課程レベル     | 1  |
|             | 2  |
|             | 3  |
|             | 4  |
| 修士課程レベル     | 5  |
| 博士課程（後期）レベル | 6  |
| レベル設定不能     | 9  |

⑤ND6

| ND6       |      | 番号 |
|-----------|------|----|
| 自分を育てる力   |      | 1  |
| 知識・理解力    |      | 2  |
| 言語力       |      | 3  |
| 思考・解決力    |      | 4  |
| 共生・協働する力  |      | 5  |
| 創造・発信力    |      | 6  |
| 卒業要件以外の科目 | 資格関係 | 8  |
|           | その他  | 9  |

⑥通し番号：＋の位は標準的な期間の別を示す。（前期・通年は0、夏期休業期間・後期は5を初期値とする）。

## 枝番（3桁）

⑦クラス：A、B…。

クラス分けなしはN。他学科開放 有＝1、無＝0

⑧使用言語：英語＝E、日本語＝J、2言語＝T

表1 (コースナンバリングの分野略号)

| 学科・分野                    | 記号  | 英語名称                                                |
|--------------------------|-----|-----------------------------------------------------|
| 共通教育科目                   |     | General Education                                   |
| 教養科目                     |     |                                                     |
| 人間と文化                    | GEH | General Education of Humanities                     |
| 人間と社会                    | GES | General Education of Social Science                 |
| 人間と自然                    | GEN | General Education of Natural Science                |
| 人間と情報                    | GEI | General Education of Informatics                    |
| 教育の基礎                    | GET | Fundamentals of Teaching                            |
| 基盤科目                     |     |                                                     |
| カトリック教育                  | GCE | Fundamentals of Catholic Education                  |
| 自己の形成                    | GCP | Fundamentals of Career Preparation                  |
| 外国語(英語)                  | GBE | Basics of English                                   |
| 外国語(英語以外)                | GBF | Basics of Other Foreign Languages                   |
| 外国語(日本語)                 | GBJ | Basics of Japanese Language                         |
| スポーツウェルネス                | GSW | Basics of Sports and Wellness                       |
| 英語英文学科専門教育科目             |     | Department of English Language and Literature       |
| 専門基礎科目                   | EGB | Basics of English Language and Literature           |
| 専門基幹科目                   | EGF | Fundamentals of English Language and Literature     |
| 専門展開科目(グローバルコミュニケーション領域) | EGE | Advanced Courses in Global Communications           |
| 専門展開科目(英語文化領域)           | EGL | Advanced Courses in English Language and Literature |
| 専門関連科目                   | EGR | Related Courses in English Language and Literature  |
| 英語教育領域                   |     |                                                     |
| エアラインプログラム科目             |     |                                                     |
| 医療サポート英語プログラム科目          |     |                                                     |
| プレゼンテーション実務士科目           |     |                                                     |
| 専門演習・卒業研究                | EGS | Seminar and Graduation Study                        |
| 国際日本文化学科専門教育科目           |     | Department of Japanese and Global Cultures          |
| 基礎科目                     | CSB | Basics of Cross-Cultural Studies                    |
| 展開科目                     | CSA | Advanced Courses in Cross-Cultural Studies          |
| 日本語日本文化領域                |     |                                                     |
| 国際文化領域                   |     |                                                     |
| 専門演習・卒業研究                | CSS | Seminar and Graduation Study                        |
| 生活環境学科専門教育科目             |     | Department of Human Life Environments               |
| 基幹科目                     | SLF | Fundamentals of Human Life Environments             |
| 基礎科目                     | SLB | Basics of Human Life Environments                   |
| 展開科目                     |     |                                                     |
| 衣生活領域                    | LDA | Advanced Courses in Life Design                     |
| 食生活領域                    | LDR | Related Courses in Life Design                      |
| 住生活領域                    |     |                                                     |
| 生活経営領域                   |     |                                                     |
| 家庭科教育領域                  |     |                                                     |
| 福祉領域                     | SWA | Advanced Courses in Social Work                     |
| 関連科目                     |     |                                                     |
| 専門演習・卒業研究                | SLS | Seminar and Graduation Study                        |
| 心理学科専門教育科目               |     | Department of Psychology                            |
| 専門基礎科目                   | PSB | Basics of Psychology                                |
| 展開科目                     | PSA | Advanced Courses in Psychology                      |
| 基礎・発達心理学領域               |     |                                                     |
| 社会・産業心理学領域               |     |                                                     |
| 臨床心理学領域                  |     |                                                     |
| 関連科目                     | PSR | Related Courses in Psychology                       |
| 社会・ビジネス領域                |     |                                                     |
| 福祉領域                     | SWA | Advanced Courses in Social Work                     |
| メディア・コミュニケーション領域         |     |                                                     |
| 専門演習・卒業研究                | PSS | Seminar and Graduation Study                        |

|                                                                                             |                                               |                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| こども教育学科専門教育科目<br>基礎科目<br>展開科目<br>幼小共通科目<br>幼保共通科目・幼稚園科目・保育士科目<br>小学校科目<br>関連科目<br>専門演習・卒業研究 | EDB<br>EDA<br>EDN<br>EDI<br>EDP<br>EDR<br>EDS | Department of Child Education<br>Basics of Child Education<br>Advanced Courses in Child Education<br><br>Related Courses in Child Education<br>Seminar and Graduation Study |
| 社会情報学環専門教育科目                                                                                | INF                                           | School of Social Informatics                                                                                                                                                |
| 女性キャリアデザイン学環専門教育科目                                                                          | WCD                                           | School of Women's Career Development                                                                                                                                        |
| 中等教職課程<br>教職に関する科目                                                                          | TEA                                           | Subjects for Teacher's Certificate                                                                                                                                          |
| 司書教諭課程<br>司書教諭に関する科目                                                                        | TLI                                           | Subjects for Teacher Librarian's Certificate                                                                                                                                |
| 司書課程<br>司書に関する科目                                                                            | LIB                                           | Subjects for Librarian's Certificate                                                                                                                                        |
| 日本語教員養成課程<br>日本語教員養成課程に関する科目                                                                | JLT                                           | Subjects for Japanese Language Teacher's Program                                                                                                                            |

## 5. 単位制

- (1) 授業科目の履修は単位制によって行われる。各科目の単位は「履修科目表」のとおりである。
- (2) 1単位の授業科目は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することが標準とされ、授業の方法に応じ、教育効果や授業時間外の学修等を考慮して科目ごとに定められる。半年の科目の場合、2時間（1コマ）の授業で、講義・演習は1～2単位、実験・実習・実技は1単位が標準であるが、これらを組合せる等の方法で行われる科目もある。
- (3) 単位の基礎となる授業時間

| 講 時  | 1コマ（2時間）の時間              | 1コマを2分割する場合の授業時間 |                 | 3時間連続                  |
|------|--------------------------|------------------|-----------------|------------------------|
|      |                          | 前半               | 後半              |                        |
| 1 講時 | 9 : 00～10 : 30<br>(90分)  | 9 : 00～ 9 : 45   | 9 : 45～10 : 30  | 3時間連続の場合は開始時から135分とする。 |
| 2 講時 | 10 : 45～12 : 15<br>(90分) | 10 : 45～11 : 30  | 11 : 30～12 : 15 |                        |
| 3 講時 | 13 : 10～14 : 40<br>(90分) | 13 : 10～13 : 55  | 13 : 55～14 : 40 |                        |
| 4 講時 | 14 : 55～16 : 25<br>(90分) | 14 : 55～15 : 40  | 15 : 40～16 : 25 |                        |
| 5 講時 | 16 : 35～18 : 05<br>(90分) | 16 : 35～17 : 20  | 17 : 20～18 : 05 |                        |

- (4) 授業時間の出席時数
  - ① 年度始めに履修科目を登録し、原則として各科目の授業時数の「3分の2以上」出席し、かつ成績が60点以上であった場合に単位が認められる。
  - ② 出席時数の最終判断は、科目担当教員が行う。
- (5) 試験の実施要領

平常試験、定期試験、追試験、再試験などについては、「14-(2)試験の実施要領について」（166頁）を新学期の始めまでに必ず読んで実施要領を遵守すること。

## 6. 卒業の要件

- (1) 卒業するためには、本学に4年以上在学し、所定の授業科目の単位を124単位以上修得しなければならない。
- (2) 本学は学年制を厳密に実施していないので、1年経てば自動的に進級（学年進行）する。
- (3) 授業科目は必修科目、選択科目（選択必修科目を含む）及び自由科目に分かれている。必修科目は必ず履修しなければならない科目であり、選択必修科目とは一定の限られた科目群から1科目又は数科目を履修するよう決められている場合をいう。選択科目は必修科目以外の科目から各自が選択して履修できる科目である。自由科目は卒業要件単位数に算入されない。



- (4) 必修科目は学年別に配当され、授業時間やクラスが指定されるので、指定学年で履修するように努力すること。

## 7. 外国人留学生の履修方法

### ◇ 共通教育科目

外国人留学生については、外国語（計8単位）は以下のとおり履修する。

- (1) 次の外国語計6単位を全員が履修すること。この6単位は、外国語の必要単位数（英語に関する科目4単位を含む）に充てることができる。

日本語講読Ⅰ(1)、日本語講読Ⅱ(1)、日本語表現Ⅰ(1)、日本語表現Ⅱ(1)、日本語特講Ⅰ(1)、日本語特講Ⅱ(1)

- (2) 上記(1)の6単位を含め外国語科目から計8単位を選択し、全員が必ず履修しなければならない。

## 8. 他大学及び留学で履修した単位等

- (1) 学則第17条及び第17条の2に定める在学中に他大学等で修得した単位は、審査の上60単位まで卒業要件単位として認定される。

- ① 他大学等で修得した単位を、本学で修得したとみなして認定される単位数。  
② 学則第31条に定める留学により修得した単位を、本学で修得したとみなして認定された単位数。  
③ TOEIC等の成果を本学の科目（情報演習Ⅰb・Ⅱ、TOEICⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、TOEFLⅠ・Ⅱ、留学英語Ⅰ・Ⅱ）の履修によると認められた単位数。

以上3通りの単位の合計が、60単位を超えない範囲で本学の卒業要件単位として認められるが、修得単位の構成上、必ずしも60単位にならない場合がある。

- (2) 学則第16条に定める入学前に修得した単位は、審査の上60単位まで卒業要件単位として認定される。

- ① 他大学等で修得した単位を、本学で修得したとみなして認定される単位数。  
② TOEIC等の成果を本学の科目（情報演習Ⅰb・Ⅱ、TOEICⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、TOEFLⅠ・Ⅱ、留学英語Ⅰ・Ⅱ）の履修によると認められた単位数。

以上2通りの単位の合計が、60単位を超えない範囲で本学の卒業要件単位として認められるが、修得単位の構成上、必ずしも60単位にならない場合がある（編入学の場合を除く）。

- (3) (1)及び(2)で認定される単位数は、合わせて60単位を超えないものとする。

なお、(1)③、(2)②については、単位認定の条件を満たした日（TOEIC等を受験した日又は資格が認定された日）の翌日から起算して3年を経過した日の属する学期の授業最終日を申請期限とする。

## 9. 免許・資格・各種プログラム等関係科目

免許・資格取得、各種プログラム等の科目については、「12. 免許・資格課程、各種プログラム」（93頁～）の説明を熟読し、必要な科目をみれのないように履修すること。

## 10. 履修登録の概要

- (1) 履修登録（以下単に「登録」ともいう）とは、毎年度始めにその年度に履修する全ての授業科目を大学（教務課）に届出る手続きのことをいう。

- (2) 登録は、本人が責任をもって行うこと。登録期間にやむを得ず登録ができない事情が生じた時は必ず事前に教務課に連絡すること。

- (3) 履修登録の手順

履修登録の手続きは、おおむね以下のような手順で進む（詳しくは毎年度に配付する「履修登録の手引き」を参照すること）。学生用WEBシステム（UNIPA）を使用する。ただし、他大学等の科目など一部の科目は登録及び単位認定方法が異なる。登録していない科目の単位は修得できないので慎重に作業を行うこと。

| 1年                | 2～4年  | 主な履修登録スケジュール                                                                                                                                                                                           |
|-------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月（オリエンテーションウィーク） | 3月上旬  | ①シラバス（WEB）、履修登録の手引き、授業時間割表などの資料WEB公開<br>→よく読んで履修計画を立て、履修登録関係書類を作成する。                                                                                                                                   |
|                   | 2月～3月 | ②履修指導<br>→各オリエンテーション、取得を希望する資格の説明会などには必ず出席し、必要であれば指導担当教員等に相談する。                                                                                                                                        |
|                   | 3月中旬  | ③成績通知（新2～4年次生のみ）<br>→必要に応じて履修計画を修正する。                                                                                                                                                                  |
|                   | 3月下旬  | ④履修登録説明会<br>→「学生便覧（本冊子）1年次に配布」、「履修登録の手引き」、「ND手帳」などの資料公開、各自で履修登録関係書類を完成させる。<br>⑤定員設定科目の1次募集（抽選）<br>⑥WEB履修登録<br>→定員設定科目（抽選）の1次募集結果発表（UNIPA）作成した「時間割表（履修計画書）」に従いWEB画面から各自で入力する。「時間割表（履修計画書）」をmanabaで提出する。 |
| 前期授業開始後<br>約1週間   |       | ⑦前期履修検討（登録修正）期間、空きのある定員設定科目の再募集<br>→WEB登録画面から各自で登録し、修正したものをmanabaで提出する。クラス指定科目は原則として変更できない。                                                                                                            |
| 4月中旬              |       | ⑧登録確認（UNIPA）<br>→申請したとおりに登録されているか確認する（履修登録の完了）。                                                                                                                                                        |
| 5月中旬              |       | ⑨前期履修中止届出期間（前期科目・通年科目）                                                                                                                                                                                 |
| 後期授業開始後<br>約1週間   |       | ⑩後期履修検討（登録修正）期間、空きのある定員設定科目の再募集<br>→前期と同様だが、通年科目は変更できない。                                                                                                                                               |
| 10月中旬             |       | ⑪後期登録確認<br>→前期⑧と同様。                                                                                                                                                                                    |
| 10月下旬             |       | ⑫後期履修中止届出期間（後期科目のみ）                                                                                                                                                                                    |

#### (4) 他学科等科目の履修

「履修科目表」の科目名の前に☆印が付いている科目（所属学部等が適当と認めるものに限る）は、他学部等に所属の学生が履修できる科目で、学際教育科目の単位として下表の単位数を上限として卒業要件に算入される。

| 学部・学環・学科     |          | 学際教育科目として卒業要件に算入される単位 |
|--------------|----------|-----------------------|
| 国際言語文化学部     | 英語英文学科   | 0～16                  |
|              | 国際日本文化学科 | 0～26                  |
| 現代人間学部       | 生活環境学科   | 0～24                  |
|              | 心理学科     | 0～16                  |
|              | こども教育学科  | 0～16                  |
| 社会情報学環       |          | 0～20                  |
| 女性キャリアデザイン学環 |          | 0～30                  |

#### (5) クラス分け・クラス指定

科目名の末尾の（A）（B）などの記号はクラス分けを示している（小文字のa、b…などはクラス分けでなく固有科目名の一部）。同じ科目の複数のクラスを履修することはできない。クラス指定される科目については、特別な事情（同一講時の別の科目を履修しなければ卒業できない等）のある場合を除き、クラスの変更はできない。

#### (6) 配当学年

授業科目には履修を推奨する学年が指定されている。自分の学年より低い学年に指定（配当）されている科目は履修できるが、上級学年に配当されている科目は履修できない。

## (7) 履修登録単位数の上限 (CAP制)

無理なく学修を進めるため、1年間及び1学期間に履修登録できる単位数には上限が設けられている。4年間で卒業するために、計画的に単位を修得すること。

## 【全学部・学環共通】

| 年次  |     | 1年次 |    | 2年次 |    | 3年次 |    | 4年次 |    |
|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| 前 期 | 後 期 | 26  | 26 | 26  | 26 | 26  | 26 | 26  | 26 |
| 年 間 |     | 46  |    | 46  |    | 46  |    | 46  |    |

(注) 1 学部が別に定めるところにより所定の単位を優れた成績で修得した学生については、翌年度の上限単位数を、上表の各欄の単位数に4を加えた数とすることができる。

2 学則第17条及び第17条の2の規定により本学以外での学修を認定する単位、長期休業期間に実施される集中科目の単位及び海外研修等通常の時期に履修登録できない授業科目の単位を含まない。

3 教育上特に必要と認めるときは、学長は教授会の議を経て、当該学生の上限の単位数を変更して適用することができる。

## (8) 前提科目とその他の履修条件

科目Aの単位を既に修得していることが科目Bを履修するための条件である場合、科目Aを科目Bの「前提科目」といい、「履修科目表」の備考欄に**前提科目**マークで示されている（下表参照）。前提科目Aが未修得のままで科目Bを登録しようとすると、例外なく「登録エラー」となりその科目は登録できない。

また、「登録エラー」には関係しないが、**前提科目**以外の履修条件等が指定されている科目がある。先に履修しておくべき科目や、あらかじめ必要となる学力レベルなどが示しており、これらの条件を満たした人を対象に授業が行われるので、原則としてこれに従うこと（英語英文学科の専門教育科目については、指定された条件を満たさずに当該科目の履修を希望する場合は科目担当教員又は学科の許可が必要である）。

## 【前提科目が設定されている科目】

| 学科等        | 科 目 名      | 前提科目                                                 |
|------------|------------|------------------------------------------------------|
| 英語<br>英文   | 医療サポート英語Ⅱ  | 医療サポート英語Ⅰ                                            |
|            | 臨床の医学・病院研修 | 女性と健康                                                |
| 国際<br>日本文化 | アラビア語の世界   | アラビア語                                                |
| 生活<br>環境   | インテリア装飾学   | 住居製図Ⅰ                                                |
|            | 発展調理学実習    | 調理学実習                                                |
|            | 住居製図Ⅱ      | 住居製図Ⅰ                                                |
|            | 建築材料学      | 建築一般構造                                               |
|            | 建築法規       | 建築一般構造                                               |
|            | 住計画演習Ⅰ     | 住居製図Ⅰ、住居製図Ⅱ                                          |
|            | 住計画演習Ⅱ     | 住計画演習Ⅰ                                               |
|            | 建築施工       | 建築一般構造                                               |
|            | ビジネスの基礎Ⅱ   | ビジネスの基礎Ⅰ                                             |
| 心理         | 心理学応用実験演習  | 心理学実験演習Ⅰ又は心理学実験演習Ⅱ                                   |
|            | 心理学情報処理    | 推測統計学Ⅰ                                               |
|            | 心理的アセスメント  | 心理テスト演習                                              |
| こども<br>教育  | 保 育 実 習 Ⅱ  | 保育原理、保育者論、<br>保育実習指導Ⅰ-1、保育実習指導Ⅰ-2<br>保育実習Ⅰ-1、保育実習Ⅰ-2 |
| 社会情<br>報学環 | ビジネスの基礎Ⅱ   | ビジネスの基礎Ⅰ                                             |

(注) 心理実習、初等教育実習Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb、中等教育実習Ⅰ・Ⅱ、教職実践演習については別に条件が定められている。

## (9) 留意事項

- 登録した科目でないと履修（単位修得）できない。
- 登録の変更や追加は定められた期間に許可された科目についてのみ認められる。
- 必修科目の単位を修得できなかったときは、当該科目を再履修しなければならない。
- 選択必修科目の単位を修得できなかった場合は、その科目の属する科目区分の他の選択必修科目を履修してこれに代えることができる。

- ⑤ 同一名の科目は、履修して合格した最初の1科目の単位のみ認められる。年度によって担当者・講義内容の異なる同一名の科目も同様の扱いとなるので注意すること。
- ⑥ 同一講時に履修できるのは1科目のみで、2科目以上を登録することはできない（隔週の科目、半年を前後半に分割する科目を除く）。
- ⑦ 登録までに履修に関する説明会が実施されるので出席すること。web上で実施される場合は必ず視聴すること。
- ⑧ 授業時間は、学生の個人的事情で変更されることはない。履修科目の組合せに留意して計画を立てること。
- ⑨ 受講者数が5名以下の場合は、原則として開講されない。ただし、必修科目、選択必修科目、教職・司書などの資格関係科目を除く。

## 11. 成績評価について

- (1) 授業科目の成績評価は、筆記・口述試験、論文、レポート、実験、実習、実技及び授業参加度などで行われる。
- (2) 授業科目の成績評価は、原則として半年毎に授業担当者から教務課に提出される。ただし、通年及び夏期集中の科目は学年末に提出される。
- (3) 成績の評点は、100点を満点とし、60点以上を合格とする。
- (4) 成績通知の評価については、次の基準により換算して成績通知等に記載する。

|        |                  |     |              |
|--------|------------------|-----|--------------|
| 90点以上  | 秀                | (A) | } ( ) 内は英語表記 |
| 80～89点 | 優                | (B) |              |
| 70～79点 | 良                | (C) |              |
| 60～69点 | 可                | (D) |              |
| 59点以下  | 不可               |     |              |
| 評価なし   | ／（試験欠席、出席日数不足など） |     |              |

ただし、学則第16条、第17条及び第17条の2の規定により本学以外での学修を認定した科目は「認」（英文は「T」）で示される。100点を満点とする評価が難しい科目は「合格」（英文は「P」）又は「不可」で示される。

なお、成績証明書については「不可」及び「／」は記載しない。

- (5) 履修した科目の成績評価及び修得単位は、原則として学期末に学生ポータルサイト（UNIPA）で通知する。ただし、通年及び夏期集中の授業科目は原則として学年末に通知する。
- (6) 受取った成績について疑問があるときは、以下の場合に限り、「成績評価に関する確認書」（所定用紙）を教務課に提出することができる。

①成績の誤記入等、授業担当教員の誤りであると思われるもの

②シラバス等により周知している成績評価の方法に沿っていないと思われるもの

成績通知後1週間以内（詳細は別途UNIPAで通知）に提出すること。ただし、卒業又は修了の判定の対象者については、これにかかわらず速やかに提出すること。教務課から教員へ問合せ、後日回答する。

## 12. GPA (Grade Point Average) について

GPA (Grade Point Average) とは、成績評価に応じた得点=GP (Grade Point、0～4の5段階) を履修登録総単位数で割って1単位あたりの平均値を出したもので、履修指導や留学・奨学金等の選考などに使われる。大学によって得点や平均の算出方法が異なるが、本学では以下のとおり（小数点以下第3位を切り捨てる）とする。

$$\frac{4 \times \text{「秀」の修得単位数} + 3 \times \text{「優」の修得単位数} + 2 \times \text{「良」の修得単位数} + 1 \times \text{「可」の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数（「不可」「／」の単位数を含む）}}$$

不合格科目や途中で放棄した科目はGP「0」となり、GPA評価が下がるので、履修登録に際しては細心の注意を払うこと。学部が特に必要と認める場合を除き、一度合格した科目は再履修できない。

なお、履修中止をした科目は、成績評価の対象外となるためGPAには影響しない。

100点満点での評価とGPとの関係は下表のとおり。

|     | 成績評点<br>(100点満点)              | 成績通知・成績証明の評価 |      | GP  | 証明書の記載 |
|-----|-------------------------------|--------------|------|-----|--------|
|     |                               |              | 英語表記 |     |        |
| 合格  | 90～100                        | 秀            | A    | 4   | する     |
|     | 80～ 89                        | 優            | B    | 3   | する     |
|     | 70～ 79                        | 良            | C    | 2   | する     |
|     | 60～ 69                        | 可            | D    | 1   | する     |
|     | 他大学で修得した単位等                   | 認            | T    | 対象外 | する     |
|     | 素点評価しない科目                     | 合格           | P    | 対象外 | する     |
| 不合格 | 59以下                          | 不可           |      | 0   | しない    |
|     | 評価なし<br>(放棄・試験欠席など)           | /            |      | 0   | しない    |
|     | 再履修した場合、その科目の過去の<br>(不合格の) 成績 | (元のまま残る)     |      | 対象外 | しない    |

GPAの対象となる科目は以下のとおりとする。

- (1) 共通教育科目
- (2) 専門教育科目
- (3) 学際教育科目
- (4) 再履修した場合の最新の成績

ただし、以下の科目の成績はGPAの対象外とする（分母に含めない、又はGPを算出しない）。

- 「認（T）」「合格（P）」で評価される科目の成績
- 卒業要件に算入されない成績
- 再履修した場合、その科目の過去の成績

### 13. 履修中止について

大学の定める履修中止届出期間に教務課に届出た場合に限り、履修中止を認める。いったん履修中止した科目について、同じ開講期間に履修を復活させることはできない。また、履修中止とした科目の単位数は、履修登録単位数から控除する。履修中止届出期間は開講期間により異なり、次のとおりとする。

| 開講期間                               | 履修中止届出期間                                                                         |
|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 前期<br>前期前半<br>後期<br>後期前半           | 各学期開始後1ヶ月程度の時期に設ける                                                               |
| 通年                                 | 前期開始後1ヶ月程度の時期に設ける                                                                |
| 前期後半<br>前期集中<br>後期後半<br>後期集中<br>集中 | 授業時数の2分の1を超えない日までに届出ること。<br>ただし、届出期限の前回の授業から届出期限までに事務取扱日のない場合は、翌事務取扱日に速やかに届出ること。 |

### 14. オフィス・アワー

教員が週1回（平日）、授業や履修相談及び学生生活などの質問・相談に応じるため、オフィス・アワーを設け研究室等に待機している。質問・相談があれば、この時間を積極的に活用すること。

各教員のオフィス・アワーについては、UNIPA（PC版）で確認すること。なお、原則として予約不要だが各教員の指示に従うこと。

### 15. 掲示及び学生ポータルサイトによる通知・連絡について

履修登録の不備、休講、補講、教室の変更、試験日程などの授業関係、免許・資格関係及び留学その他の通知・連絡事項は、全て、学生ポータルサイトUNIPA、manaba、学内掲示で行うので、常にサイトをチェックするとともに登校・下校の際は必ず**掲示板**に注意すること。



## ◇国際言語文化学部◇

## 5. 授業科目の履修・登録

- (1) 英語英文学科の履修方法について
- (2) 国際日本文化学科の履修方法について





## 5-(1) 英語英文学科の履修方法について

### 1. 卒業に必要な単位

科目区分別の卒業に必要な最低限の単位数（卒業の要件）

| 科 目 区 分                    |             |                  | 必修 | 選択必修 | 左 欄 以 外<br>からの選択 | 計   |
|----------------------------|-------------|------------------|----|------|------------------|-----|
| 共<br>通<br>教<br>育<br>科<br>目 | 教 養 科 目     | 人間と文化            |    | 2    | 1～               |     |
|                            |             | 人間と社会            |    | 2    |                  |     |
|                            |             | 人間と自然            |    | 2    |                  |     |
|                            |             | 人間と情報            |    | 1    |                  |     |
|                            |             | 教育の基礎            |    |      |                  |     |
|                            | 基 盤 科 目     | カトリック教育          | 2  | 4    |                  |     |
|                            |             | 自己の形成            |    | 2    |                  |     |
|                            |             | 外国語              |    | 8    |                  |     |
| スポーツとウェルネス                 |             |                  |    |      |                  |     |
| 専<br>門<br>教<br>育<br>科<br>目 | 専 門 基 礎 科 目 |                  | 12 | 20   | 10～              | 124 |
|                            | 専 門 基 幹 科 目 |                  | 10 |      |                  |     |
|                            | 展 開 科 目     | グローバルコミュニケーション領域 |    | 20   |                  |     |
|                            |             | 英語文化領域           |    |      |                  |     |
|                            | 専 門 関 連 科 目 | 英語教育領域           |    |      |                  |     |
|                            |             | エアラインプログラム科目     |    |      |                  |     |
|                            |             | 医療サポート英語プログラム科目  |    |      |                  |     |
|                            |             | プレゼンテーション実務士科目   |    |      |                  |     |
| 専 門 演 習 ・ 卒 業 研 究          |             | 12               |    |      |                  |     |
| 学 際 教 育 科 目                |             |                  |    |      | 0～16             |     |
| 合 計                        |             |                  | 36 | 61   | 27               | 124 |

### 2. 履修方法

以下の1～3の各科目区分の必要単位数を満たしつつ、同時に1～3の合計が124単位以上になるように履修しなければならない。各科目区分の最低必要単位数を合計しても124単位にはならないので注意すること。

以下、（ ）内の数字は単位数を示す。

#### 1. 共通教育科目（24単位以上）

専門知識を社会的な視点から再認識し、幅広い学問分野に関心を持ちながら成長するために重要な科目群である。多面的な視野を持ち、知識と技能を社会貢献に結びつける力を身につけるため、共通教育科目は4年間を通して学ぶことが必要である。

##### (1) 必修科目と履修単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

##### (2) 選択必修科目と履修単位数について

教養科目の「人間と文化」、「人間と社会」、「人間と自然」の3領域から各2単位以上、「人間と情報」の情報演習Ⅰa

(1) 若しくは情報演習Ⅰb (1) 又は情報演習Ⅱ (1) から1単位以上、基盤科目の「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、「自己の形成」から2単位以上、「外国語」から8単位以上（英語に関する科目4単位以上を含む。）、全体から選択1単位以上を必ず履修しなければならない。

##### (3) 外国人留学生の外国語の履修について

外国人留学生は、以下の日本語の科目を履修すること。なお、その内の4単位は、「外国語」の英語に関する科目4単位に充てることができる。

#### 1年次に履修する科目

日本語講読Ⅰ（1）、日本語講読Ⅱ（1）、日本語表現Ⅰ（1）、日本語表現Ⅱ（1）、

#### 2年次に履修する科目

日本語特講Ⅰ（1）、日本語特講Ⅱ（1）

#### (4) 1年次に履修すべき科目と単位数について

##### 必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

##### 選択必修科目

教養科目：情報演習Ⅰa（1）若しくは情報演習Ⅰb（1）又は情報演習Ⅱ（1）から1単位以上

基盤科目：「外国語」から英語に関する科目4単位以上

#### 2. 専門教育科目（84単位以上）

##### (1) 必修科目と履修単位数について

専門基礎科目の必修科目12単位、専門基幹科目の必修科目10単位及び専門演習・卒業研究12単位の合計34単位は全員が必ず履修しなければならない。

- ◇ 1年次に履修する科目    Academic EnglishⅠ（2）、Academic EnglishⅡ（2）、英語英文学基礎演習Ⅰ（2）、英語英文学基礎演習Ⅱ（2）、英米文学概論（2）、言語学概論（2）、コミュニケーション学概論（2）
- ◇ 2年次に履修する科目    Academic EnglishⅢ（2）、Academic EnglishⅣ（2）、
- ◇ 3年次に履修する科目    Academic EnglishⅤ（2）、Academic EnglishⅥ（2）、英語英文学演習Ⅰ（2）、英語英文学演習Ⅱ（2）
- ◇ 4年次に履修する科目    卒業研究（8）

##### (2) 選択必修科目と履修単位数について

専門基礎科目から選択必修科目計20単位以上、専門展開科目から選択必修科目計20単位以上を履修しなければならない。

##### (3) 選択科目と履修単位数について

上記（1）、（2）を除く専門科目から計10単位以上を選択し、必ず履修しなければならない。

#### 3. 学際教育科目

共生プロジェクト実践、海外文化研修、海外ボランティア実践および他学部・他学環・他学科の専門教育科目のうち、科目を設置した学部・学環・学科が認めた専門教育科目（履修科目表の科目名に☆印を付した科目）を選択し履修できる。履修した科目の単位は16単位を上限として卒業要件単位に算入される。

#### 4. ゼミへの所属について

「英語英文学演習Ⅰ・Ⅱ」（3年次）及び「卒業研究」（4年次）は、本学科専任教員が担当するゼミの1つに所属して行われる。所属したゼミで個別に研究課題を設定し、それに取り組み、最終的に4年次で卒業研究（卒業論文）の完成を目指す。事前に自分の希望する研究領域についてよく考え、シラバスを読み各ゼミの内容をよく理解しておくこと。

##### 所属ゼミ決定のプロセス

日程は事前に周知するのでUNIPAやmanabaからの連絡に注意しておくこと。

① 1年次3月末～2年次4月初旬    新2年次生オリエンテーション。

※「2年次オリエンテーション」では履修モデルを配布するほか、ゼミ分属のために必要なゼミに関する注意事項と履修モデル配布し、前提条件やプレゼミ（「研究方法論」または「専門講読」）などを説明する。

② 2年次11月～12月    ゼミ分属説明会。

※「ゼミ分属説明会」では、ゼミの詳しい内容や所属までのスケジュール及び、ゼミ分属の条件など重要な説明をするので必ず出席すること（欠席するとゼミ選択において不利になることがある）。

③ 2年次    希望ゼミを選択し、書面で学事課に提出。

※各ゼミの希望者数に大きな偏りが生じた場合は調整を行う。

④ 2年次    所属ゼミの決定

#### 5. 卒業研究について

卒業研究に関する提出物をそれぞれ決められた書式に従って、期日までに提出しなければならない。詳細はUNIPAやmanabaからの連絡、または手引き等で確認すること。

※3年次後期以降に留学を希望する学生に関しては、必ず事前にゼミ担当教員と相談すること。そのうえで、留学中も連絡し指導を受けること。

※掲示内容や説明会資料等を学事課からメールで送るので、留学先で連絡のつくメールアドレスを学事課に必ず連絡する

こと。

(学事課 E-mail : gakuji@notredame.ac.jp)

## 6. 海外留学について

海外留学を行うためには、1年次終了時において、英語英文学科必修科目を全て修得済みであることが必要である。その他の「海外留学条件」は、151頁「海外研修・留学」のそれぞれの留学のページを参照のこと。

## 7. Testingプログラム

### (1) TOEIC IP

正規のTOEICテストと全く同じ方法で、団体として任意に利用できるテストである。本学では国際教育課主催のTOEIC IPを受験し、客観的に自分の英語の実力を知る機会を設けている。各学生は定められた日程でそれを受験すること。

### (2) 学科指定TOEIC

毎年12月に実施される「学科指定TOEIC・IP」を全員受験すること。基準点【1年次：300点／2年次：325点／3年次：350点】に必ず達すること。 ※任意でTOEICの公開テストを受験した場合、スコアを学事課に提出すること

## 8. プログラム、資格認定制度

### (1) エアラインプログラム

このプログラムは、全学の履修プログラムとして開設しており、ANA（全日本空輸）の元客室乗務員が直接指導する科目を中心に展開し、航空業界を目指す学生はもちろんのこと、幅広くビジネスで率先力たろうとする学生を対象にホスピタリティを教授するものである。詳細は144頁「エアラインプログラム」を参照のこと。

### (2) 医療サポート英語プログラム

京都には多くの外国人が滞在し、海外から高度な医療を求めて来日する外国人の増加も見込まれている。このような中で、外国人が日本においても安心して医療を受けられ、また帰国後の療養へと繋げていけることは大変重要なことである。

このプログラムは、これまでの外国語教育に加えて、京都府立医科大学と共同して附属病院での実習も組入れた、外国人の医療支援に対応できる医療語学の専門性を有した人材育成を行う。本学科が取組んできたホスピタリティを基盤に語学力のある高度な医療サポートスタッフの養成を目指している。

所定の単位（計20単位）を修得した者には英語英文学科より修了書を授与する。

### 3. 履修単位表

( ) 数字は単位数

| 区分   | 卒業に要する単位 (124)                |                                                                                                                         |         |                                                                                                                                                    |                               |                                            |               |
|------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------|---------------|
|      | 共通教育科目 (24～)                  |                                                                                                                         |         | 専門教育科目 (84～)                                                                                                                                       |                               |                                            | 学際教育科目 (0～16) |
|      | 必修 (2)                        | 選択必修 (21)                                                                                                               | 選択 (1～) | 必修 (34)                                                                                                                                            | 選択必修 (40)                     | 選択 (10～)                                   | 選択            |
| 1 年次 | ・キリスト教学 (1)<br>・キリスト教音楽概論 (1) | 教養科目<br>「人間と文化」<br>「人間と社会」<br>「人間と自然」の<br>3領域から各2単位<br>以上<br><br>「人間と情報」の<br>情報演習Ⅰaまたは<br>情報演習Ⅰbまたは<br>情報演習Ⅱから<br>1単位以上 |         | ・ Academic English I (2)<br>・ Academic English II (2)<br>・ 英語英文学基礎演習Ⅰ (2)<br>・ 英語英文学基礎演習Ⅱ (2)<br>・ 英米文学概論 (2)<br>・ 言語学概論 (2)<br>・ コミュニケーション学概論 (2) | 専門展開科目から<br>選択必修科目<br>計20単位以上 | 必修及び選<br>択必修以外<br>の専門教育<br>科目から計<br>10単位以上 |               |
| 2 年次 |                               | 基盤科目<br>「カトリック教育」<br>の選択科目から<br>4単位以上、                                                                                  |         | ・ Academic English III (2)<br>・ Academic English IV (2)                                                                                            |                               |                                            |               |
| 3 年次 |                               | 「自己の形成」の選<br>択科目から2単位<br>以上<br><br>「外国語」の選択科<br>目から8単位(英語<br>に関する科目4単<br>位を含む)以上                                        |         | ・ Academic English V (2)<br>・ Academic English VI (2)<br>・ 英語英文学演習Ⅰ (2)<br>・ 英語英文学演習Ⅱ (2)                                                          |                               |                                            |               |
| 4 年次 |                               | 外国人留学生に<br>あっては、日本語<br>の科目4単位の修<br>得をもって英語に<br>関する科目4単位<br>に充てることができる                                                   |         | ・ 卒業研究 (8)                                                                                                                                         |                               |                                            |               |

(注1) 授業科目については「履修科目表」で確認すること。

(注2) 授業科目の履修・登録にあたっては、「履修登録の手引き」「開講科目表」「講義概要(シラバス)」及び「授業時間表」を参照すること。

## 5. カリキュラム・マップ

| 学位<br>授与<br>方針<br>NDB | キリスト教精神・女性教育    | 知識・理解              |                                    | 汎用的技能                            |                                  |                      |                                                       | 態度・志向性 |  | 統合的な学習経験と総合的思考力 |  |
|-----------------------|-----------------|--------------------|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------|-------------------------------------------------------|--------|--|-----------------|--|
|                       |                 | DP1                | DP2                                | DP3                              | DP4                              | DP5                  | DP6                                                   |        |  |                 |  |
|                       |                 | 自分を育てる力            | 知識・理解力                             | 言語力                              | 思考・解決力                           | 共生・協働する力             | 創造・発展力                                                |        |  |                 |  |
| 4年                    | 後期              |                    |                                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       | 集中              |                    |                                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       | 前期              |                    |                                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
| 3年                    | 後期              |                    | EGL3250 Global Literature Workshop | EGB3354 Academic English VI      | EGE3402 Persuasive Communication | EGR3550 ビジネスマナー演習    | EGE3652 Global Career Skills Development              |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGR3250 英語科教育法Ⅳ                    | EGE3352 Communication Skills Ⅱ   | EGL3406 ことばの音と形態                 | EGS3550 英語英文学演習Ⅱ     |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGR3252 英語教材作成演習                   | GBE3350 実用英語基礎                   | EGL3458 ことばと意味                   |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBE3351 身近な英文法Ⅱ                  | EGL3403 対人コミュニケーション              |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  | EGL3450 映画論                      |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  | EGL3453 アメリカの社会と文化               |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       | 集中              |                    |                                    |                                  | EGL3455 ことばと社会                   |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  | EGR3450 応用言語学                    |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  | EGF3505 エアポート研修      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  | EGR3500 旅行観光実習       |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  | GCP3502 インターンシップⅠ    |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  | GCP3503 インターンシップⅡ    |                                                       |        |  |                 |  |
| 前期                    |                 | EGR3200 英語科教育法Ⅲ    | EGB3304 Academic English V         | EGE3404 Argumentation and Debate | EGE3505 Women in Leadership      |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 | EGR3202 外国語としての日本語 | EGE3302 Communication Skills Ⅰ     | EGL3459 イギリスの社会と文化               | EGE3553 Comparative Culture      |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | GBE3301 留学の英会話                     | EGL3456 異文化間コミュニケーション            | EGR3552 ホスピタリティ&キャリア             |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | GBE3302 おもてなしの英会話                  | GEI3400 AIとデータサイエンス              | EGS3500 英語英文学演習Ⅰ                 |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | GBE3303 ビジネス英会話                    |                                  | GCP3504 社会とキャリア                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  | EGR2550 エアライン・ビジネス論              |                      |                                                       |        |  |                 |  |
| 2年                    | 後期              | GCE2150 キリスト教と日本文化 | EGF2250 専門講読（英文学）                  | EGE2355 Academic English IV      | CSA2457 プレゼンテーション演習              | EGR2550              |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 | GCE2151 キリスト教美術    | EGF2251 専門講読（米文学）                  | EGE2356 English Seminar Ma       | EGL2450 英文学作品研究                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGF2254 研究方法論（コミュニケーション学）          | EGL2357 English Seminar Mb       | EGL2451 米文学作品研究                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGF2255 研究方法論（英語教育学）               | EGE2358 English Seminar Mc       | GEI2451 AIとデータサイエンス入門            |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGF2256 研究方法論（言語学）                 | EGE2359 English Seminar Md       | GEI2452 プログラミング演習                |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGF2257 研究方法論（社会言語学）               | EGE2355 TOEIC Ⅳ                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGF2200 英米文学概論                     | EGE2360 海外留学Ⅰ a                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGF2201 言語学概論                      | EGE2361 海外留学Ⅱ a                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGF2202 コミュニケーション概論                | EGE2362 海外留学Ⅱ b                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGR2252 こども英語指導法（実践編）              | EGE2363 海外留学Ⅱ c                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGR2250 英語科教育法Ⅱ                    | EGE2364 海外留学Ⅱ e                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | GEI2250 情報技術リテラシー                  | EGR2351 医療サポート英語Ⅱ                |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       | 集中              |                    |                                    | GBE2356 英語実践（4技能）Ⅱ               |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBE2357 夢って見える英語表現               |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBL2350 日本語特論Ⅱ                   |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | EGR2253 臨床の医学・病院研修                 | GCP2250 アカデミック・ライティング            |                                  |                      | GCP2500 キャリア形成ゼミ                                      |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  |                      | GCP2551 海外キャリア実習                                      |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  |                      | EGE2502 Intercultural Communication and Acculturation |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  |                      | EGE2503 Study Abroad Preparation                      |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
| 1年                    | 後期              | EGF1150 英語英文学基礎演習Ⅱ | GEH1250 日本文学                       | EGE1350 Academic English Ⅱ       | GEI1450 SNSコミュニケーションスキル          | GEN1551 自然災害からの防災・減災 |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 | GCE1104 宗教と芸術      | GEH1250 ヨーロッパ近現代史                  | EGE1351 English Seminar Ⅱa       |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 | GCE1151 聖書とキリスト教   | GEH1253 文化人類学                      | EGE1357 English Seminar Ⅱb       |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 | GCE1152 キリスト教音楽    | GEH1254 哲学入門                       | EGE1358 English Seminar Ⅱc       |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 | GEN1150 生命倫理       | GEH1255 日本の歴史と文化                   | EGE1359 English Seminar Ⅱd       |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 | GES1150 ジェンダー論     | GEN1250 暮らしと電気・エネルギー               | EGE1354 英文法Ⅱ                     |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 | GSW1150 体育講義       | GEN1250 憲法と人権                      | EGE1355 TOEIC Ⅱ                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | GES1251 暮らしの経済学                    | EGE1356 TOEFL Ⅱ                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | GET1250 特別支援教育                     | GBE1352 英語理解Ⅱ                    |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBE1353 英語表現Ⅱ                    |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBF1350 フランス語                    |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBF1351 アラビア語                    |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       | 集中              |                    |                                    | GBF1352 中国語Ⅱ                     |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBF1353 コリア語Ⅱ                    |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBU1350 日本語読解Ⅱ                   |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBU1351 日本語表現Ⅱ                   |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | IDE1252 海外文化研修                     | GBE1355 海外研修（語学）Ⅱ a              |                                  | GCP1501 キャリア実習Ⅰ      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBE1356 海外研修（語学）Ⅱ b              |                                  | GCP1502 キャリア実習Ⅱ      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    | GBF1354 海外研修（語学）Ⅰ                |                                  | IDE1500 共生プロジェクト実践   |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  | IDE1501 海外ボランティア実践   |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  | EGR1500 エアライン・サービス論  |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  | GCP1500 ホスピタリティⅡ     |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    |                                    |                                  |                                  | GES1500 ボランティア概論     |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 | 前期                 | EGF1100 英語英文学基礎演習Ⅰ                 | GEH1200 外国文学                     | EGE1311 Academic English Ⅰ       | GEI1400 情報演習Ⅰ a      | EGR1500                                               |        |  |                 |  |
| GCE1104 キリスト教文学       | GEH1201 日本の近現代史 |                    | EGE1312 English Seminar Ⅰa         | GEI1401 情報演習Ⅰ b                  | GCP1500                          |                      |                                                       |        |  |                 |  |
| GCE1105 キリスト教音楽概論     | GEH1202 アジア近現代史 |                    | EGE1313 English Seminar Ⅰb         | GEN1400 身近な自然科学                  | GES1500                          |                      |                                                       |        |  |                 |  |
| GCP1101 女性とライフキャリア    | GEI200 情報科学と倫理  |                    | EGE1314 English Seminar Ⅰc         | GEN1450 暮らしの統計学                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
| GEH1150 歴史の中の女性       | GENI203 日常の数学   |                    | EGE1315 English Seminar Ⅰd         | GET1400 教育心理学                    |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
| GSW1100 体育実技          | GESI200 暮らしの法律学 |                    | EGE1304 英文法Ⅰ                       |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
| GSW1151 健康スポーツ演習      | GESI201 国際関係論入門 |                    | EGE1305 TOEIC Ⅰ                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       | GESI202 社会学概論   |                    | EGE1306 TOEFL Ⅰ                    |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       | GET1200 教育原理    |                    | GBE1302 英語理解Ⅰ                      |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       | GSW1200 女性と健康   |                    | GBE1303 英語表現Ⅰ                      |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | GBF1300 ドイツ語                       |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |
|                       |                 |                    | GBF1301 スペイン語                      |                                  |                                  |                      |                                                       |        |  |                 |  |

## 5-(2) 国際日本文化学科の履修方法について

### 1. 卒業に必要な単位

科目区分別の卒業に必要な最低限の単位数（卒業の要件）

| 科 目 区 分                    |                   |            | 必修 | 選択必修 | 左 欄 以 外<br>からの選択 | 計   |
|----------------------------|-------------------|------------|----|------|------------------|-----|
| 共<br>通<br>教<br>育<br>科<br>目 | 教 養 科 目           | 人間と文化      |    | 2    | 3～               | 124 |
|                            |                   | 人間と社会      |    | 2    |                  |     |
|                            |                   | 人間と自然      |    | 2    |                  |     |
|                            |                   | 人間と情報      |    | 1    |                  |     |
|                            |                   | 教育の基礎      |    |      |                  |     |
|                            | 基 盤 科 目           | カトリック教育    | 2  | 4    |                  |     |
|                            |                   | 自己の形成      |    | 2    |                  |     |
|                            |                   | 外国語        |    | 8    |                  |     |
|                            |                   | スポーツとウェルネス |    |      |                  |     |
| 専 門 教 育 科 目                | 基 礎 科 目           |            | 10 |      |                  |     |
|                            | 展 開 科 目           | 学科共通選択科目   |    |      | 46～              |     |
|                            |                   | 日本語日本文化領域  |    |      |                  |     |
|                            |                   | 国際文化領域     |    |      |                  |     |
|                            | 専 門 演 習 ・ 卒 業 研 究 |            | 16 |      |                  |     |
| 学 際 教 育 科 目                |                   |            |    |      | 0～26             |     |
| 合 計                        |                   |            | 28 | 21   | 75               | 124 |

### 2. 履修方法

以下の1～3の各科目区分の必要単位数を満たしつつ、同時に1～3の合計が124単位以上になるように履修しなければならない。各科目区分の最低必要単位数を合計しても124単位にはならないので注意すること。

以下、（ ）内の数字は単位数を示す。

#### 1. 共通教育科目（26単位以上）

専門知識を社会的な視点から再認識し、幅広い学問分野に関心を持ちながら成長するために重要な科目群である。多面的な視野を持ち、知識と技能を社会貢献に結びつける力を身につけるため、共通教育科目は4年間を通して学ぶことが必要である。

##### (1) 必修科目と履修単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

##### (2) 選択必修科目と履修単位数について

教養科目の「人間と文化」、「人間と社会」、「人間と自然」の3領域から各2単位以上、「人間と情報」の情報演習Ⅰa

(1) 若しくは情報演習Ⅰb（1）又は情報演習Ⅱ（1）から1単位以上、基盤科目の「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、「自己の形成」から2単位以上、「外国語」から8単位以上（英語に関する科目4単位以上を含む。）、全体から選択3単位以上を必ず履修しなければならない。

##### (3) 外国人留学生の外国語の履修について

外国人留学生は、以下の日本語の科目を履修すること。なお、その内の4単位は、「外国語」の英語に関する科目4単位に充てることができる。

1年次に履修する科目

日本語講読Ⅰ（1）、日本語講読Ⅱ（1）、日本語表現Ⅰ（1）、日本語表現Ⅱ（1）、

2年次に履修する科目

日本語特講Ⅰ（1）、日本語特講Ⅱ（1）

## (4) 1年次に履修すべき科目と単位数について

## 必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

## 選択必修科目

教養科目：情報演習Ⅰa（1）若しくは情報演習Ⅰb（1）又は情報演習Ⅱ（1）から1単位以上

基盤科目：「外国語」から英語に関する科目4単位以上

## 2. 専門教育科目（72単位以上）

## (1) 必修科目と履修単位数について

基礎科目の必修科目計10単位、専門演習・卒業研究計16単位は、全員が必ず履修しなければならない。

- ◇ 1年次に履修する科目 基礎演習Ⅰ（2）、基礎演習Ⅱ（2）、日本語コミュニケーションⅠ（2）、日本語コミュニケーションⅡ（2）
- ◇ 2年次に履修する科目 発展演習Ⅰ（2）、発展演習Ⅱ（2）、日本語コミュニケーションⅢ（2）
- ◇ 3年次に履修する科目 専門演習Ⅰ（2）、専門演習Ⅱ（2）
- ◇ 4年次に履修する科目 卒業研究（8）

## (2) 選択科目と履修単位数について

展開科目から計46単位以上を選択し、必ず履修しなければならない。

## 3. 学際教育科目

共生プロジェクト実践、海外文化研修、海外ボランティア実践および他学部・他学環・他学科の専門教育科目のうち、科目を設置した学部・学環・学科が認めた専門教育科目（履修科目表の科目名に☆印を付した科目）を選択し履修できる。履修した科目の単位は26単位を上限として卒業要件単位に算入される。

## 4. 国際観光プログラムについて

国際観光プログラムは、国際観光都市である京都をフィールドとして、文化交流や発信のあり方、観光やツーリズムの概要について学ぶとともに、日本と世界の文化に広く光を当て、幅広い教養を身につけることを目的としている。本プログラムの基盤科目には、語学やホスピタリティに関する科目が設定されており、高いコミュニケーション能力を養うことができるほか、実践型の研修に参加する科目もあり、他者と協働する力、リーダーシップ、情報を収集し適切に処理する力、計画を立案し実行する力、課題を解決する力などを育成する。

プログラムの修了者には、国際日本文化学科より修了証を授与する。

本プログラムは、国際的な広い視野と教養を持ち、文化の違いをふまえ、他者と共生・協働する力を身につけるという本学科の教育理念に基づき、2021年度に開設された。卒業後は、旅行業界、ホテル業界などの観光分野だけでなく、行政機関などその他関連分野で即戦力となれるような社会人材の養成を旨とするものである。

## (1) プログラム科目履修について

本プログラムを履修する学生は、国際日本文化学科の必修科目をすべて履修していなければならない。

## (2) プログラム修了判定について

国際日本文化学科より修了証が授与されるためには、国際日本文化学科の所定の単位を修得し、国際日本文化学科を卒業すること、かつ国際観光プログラムの単位を20単位以上（必修・選択必修・選択含む）修得しなければならない。必修科目は4単位。選択必修科目は6単位のうち4単位以上を修得しなければならない。選択科目は12単位以上で、国際日本文化学科科目、英語英文学科科目、共通教育科目から自由に選択できる。上記の条件をすべて満たした履修生について、学科がプログラム修了の可否を判定する。詳細については履修登録説明会等で説明する。科目表は本学ホームページ「在学生の方へ\_教務課・学事課サイト\_資格単位修得確認表」参照。

問い合わせ先：国際日本文化学科 鷲見朗子

## 5. ゼミへの所属について

「専門演習Ⅰ・Ⅱ」（3年次）及び「卒業研究」（4年次）は、本学科専任教員が担当するゼミの1つに所属して行われる。所属したゼミで個別に研究課題を設定し、それに取り組み、最終的に4年次で卒業研究（卒業論文・卒業制作）の完成を目指す。事前に自分の希望する研究領域についてよく考え、シラバスを読み各ゼミの内容をよく理解しておくこと。

## 所属ゼミ決定のプロセス

- ① 2年次11月又は12月にゼミ分属説明会を実施する。
- ② 希望ゼミを選択し、書面で学事課に学生が各自提出する。
- ③ 各ゼミの希望者数に大きな偏りが生じた場合は調整を行う。
- ④ 所属ゼミを決定する。

※「ゼミ分属説明会」では、ゼミの詳しい内容や所属までのスケジュールなど重要な説明をするので必ず出席すること。

と。(欠席するとゼミ選択において不利になることがある。)説明会の日程はmanabaやUNIPAにて周知するのでmanabaやUNIPAに注意しておくこと。

6. 卒業研究について

卒業研究に関する提出物をそれぞれ決められた書式に従って、期日までに提出しなければならない。詳細は掲示や手引き等で確認すること。



### 3. 履修単位表

( ) 数字は単位数

| 区分    | 卒業に要する単位 (124)                |                                                                                                                                                                                                             |         |                                                                            |                        |               |
|-------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------|
|       | 共通教育科目 (26～)                  |                                                                                                                                                                                                             |         | 専門教育科目 (72～)                                                               |                        | 学際教育科目 (0～26) |
|       | 必修 (2)                        | 選択必修 (21)                                                                                                                                                                                                   | 選択 (3～) | 必修 (26)                                                                    | 選択 (46～)               | 選択            |
| 1 年 次 | ・キリスト教学 (1)<br>・キリスト教音楽概論 (1) | 教養科目<br>「人間と文化」<br>「人間と社会」<br>「人間と自然」の<br>3領域から各2単位<br>以上<br><br>「人間と情報」の<br>情報演習 I aまたは<br>情報演習 I bまたは<br>情報演習 II から<br>1単位以上<br><br>基盤科目<br>「カトリック教育」の<br>選択科目から<br>4単位以上、<br>「自己の形成」の選択<br>科目から<br>2単位以上 |         | ・基礎演習 I (2)<br>・基礎演習 II (2)<br>・日本語コミュニケーション I (2)<br>・日本語コミュニケーション II (2) | 必修以外の展開科目<br>から計46単位以上 |               |
| 2 年 次 |                               | 「外国語」の選択科目<br>から8単位 (英語に関<br>する科目4単位を含<br>む)以上<br>外国人留学生に<br>あっては、日本語の<br>科目4単位の修得を<br>もって英語に関する<br>科目4単位に充てる<br>ことができる                                                                                     |         | ・発展演習 I (2)<br>・発展演習 II (2)<br>・日本語コミュニケーション III (2)                       |                        |               |
| 3 年 次 |                               |                                                                                                                                                                                                             |         | ・専門演習 I (2)<br>・専門演習 II (2)                                                |                        |               |
| 4 年 次 |                               |                                                                                                                                                                                                             |         | ・卒業研究 (8)                                                                  |                        |               |

(注1) 授業科目については「履修科目表」で確認すること。

(注2) 授業科目の履修・登録にあたっては、「履修登録の手引き」「開講科目表」「講義概要 (シラバス)」及び「授業時間表」を参照すること。

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について

## 4. カリキュラム・マップ

| 学位<br>授与<br>方針<br>ND6 |         | キリスト教精神・女性教育 |                | 知識・理解        |              | 汎用的技能       |             | 態度・志向性          |                  | 統合的な学習経験と総合的思考力 |               |             |           |       |
|-----------------------|---------|--------------|----------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-----------------|------------------|-----------------|---------------|-------------|-----------|-------|
|                       |         | DP1          |                | DP2          |              | DP3         |             | DP4             |                  | DP5             |               | DP6         |           |       |
|                       |         | 自分を育てる力      |                | 知識・理解力       |              | 言語力         |             | 思考・解決力          |                  | 共生・協働する力        |               | 創造・発信力      |           |       |
| 4<br>年                | 後期      |              |                |              |              |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       | 集中等     |              |                |              |              |             |             |                 |                  |                 |               | CSS4600     | 卒業研究      |       |
|                       | 前期      |              |                |              |              |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
| 3<br>年                | 後期      | CSA3158      | キリスト教文化        | CSA3254      | 日本文学特講       | GBE3352     | TOEICⅢ      |                 |                  | CSA3551         | ビジネスマナー演習     | CSS3650     | 専門演習Ⅱ     |       |
|                       | 集中等     |              |                | CSA3252      | ヨーロッパ文化論     | GBE3351     | 身近な英文法Ⅱ     |                 |                  | CSA3550         | クールジャパン論      |             |           |       |
|                       |         |              |                | CSA3251      | 日本近代文学講読     | GBE3350     | 実用英語基礎      |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                | CSA3250      | 日本年中行事論      |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                | CSA3203      | 現代音楽事情       |             |             |                 |                  | GCP3503         | インターンシップⅡ     | CSA3600     | フィールド実践演習 |       |
|                       | 前期      |              |                | CSA3202      | 外国語としての日本語   |             |             |                 | GCP3502          | インターンシップⅠ       |               |             |           |       |
| 2<br>年                | 後期      |              |                | CSA3207      | 比較文学講読       | GBE3304     | TOEICⅢ      | GEI400          | AIとデータサイエンス      | GCP3504         | 社会とキャリア       | CSS3600     | 専門演習Ⅰ     |       |
|                       |         |              |                | CSA3201      | 日本美術特講       | GBE3303     | ビジネス英会話     | CSA3401         | 物語舞台論            | CSA3500         | 地域ツーリズム論      |             |           |       |
|                       |         |              |                |              |              | GBE3302     | おもてなしの英会話   |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                |              |              | GBE3301     | 留学の英会話      |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         | 集中等          | GCE2151        | キリスト教美術      | CSA2258      | 古文書読解       | GCP2350     | アカデミック・ライティング   | GEI452           | プログラミング演習       | CSA2561       | 読字活動と子どもの権利 | CSS2650   | 発展演習Ⅱ |
|                       |         |              | GCE2150        | キリスト教と日本文化   | CSA2257      | 音楽表現学       | GBL2350     | 日本語特講Ⅱ          | GEI451           | AIとデータサイエンス入門   | CSA2550       | 観光文化論       |           |       |
|                       |         |              | CSA2157        | キリスト教とことば    | CSA2256      | 西洋美術史Ⅱ      | GBE2359     | 留学英語Ⅱ           | CSA2457          | プレゼンテーション演習     |               |             |           |       |
|                       |         |              | CSA4151        | キリスト教音楽特講    | CSA2255      | 京都学         | GBE2358     | TOEICⅡ          | CSA2451          | 異文化・異文化学        |               |             |           |       |
|                       |         |              |                |              | GEI250       | 情報技術リテラシー   | GBE2357     | 歌って覚える英語表現      | CSA2419          | 西洋美術史特講         |               |             |           |       |
|                       |         |              |                |              | CSA2274      | アジア文化論      | GBE2356     | 英語実践（4技能）Ⅱ      | CSA2403          | 京都フィールドワーク研究    |               |             |           |       |
|                       |         |              |                |              | CSA2273      | 日本思想        | CSA2353     | 日本語研究           |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                |              | CSA2268      | 多文化理解       | CSA2352     | 日本語文法           |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                | CSA2265      | 漢文学特講        |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                | CSA2264      | 日中近代文学比較論    |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                | CSA2260      | 子どもの読書とメディア  |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                | CSA2259      | インターネット社会論   |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | CSA2250        | 日本古典文学講読     |              |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       | 前期      | GCP2101      | 子育てとワークライフバランス | CSA2207      | 西洋美術史Ⅰ       | GBE2310     | 旅行の英会話      | GEI450          | 情報処理             | GCP2551         | 海外キャリア実習      |             |           |       |
|                       |         | GCE2101      | キリスト教思想        | CSA2203      | 京都資料講        | GBE2309     | 日常の英会話      | GEI400          | 情報演習Ⅱ            | GCP2550         | キャリア形成ゼミ      |             |           |       |
|                       |         | CSA2123      | 哲学とキリスト教       | CSA2202      | 日本伝統文化論      | GBE2306     | 英語実践（4技能）Ⅰ  | CSA2411         | 情報・メディアの文化とリテラシー | CSS2600         | 日本語コミュニケーションⅡ | CSS2600     | 発展演習Ⅰ     |       |
|                       |         | CSA2101      | ホスピタリティ・スキル演習  | CSA2201      | 書写研究         | CSA2305     | プレゼンテーション概論 | CSA2406         | 日本語の朗読           |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                | GSW2200      | 人体の構造と機能及び疾病 | GBL2300     | 日本語特講Ⅰ      |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                | GEI2250      | 教育社会学        | GBF2301     | コリア語Ⅲ       |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              |                | GEI200       | アルゴリズム基礎     | GBF2300     | 中国語Ⅲ        |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | CSA2223        | 西洋思想史        | GBE2315      | 英語リスニング     |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | CSA2220        | 漢文学入門        | GBE2314      | 留学英語Ⅰ       |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | CSA2219        | 英語文化概論       | GBE2313      | TOEICⅠ      |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | CSA2218        | 図書館情報技術論     | GBE2312      | 身近な英文法Ⅰ     |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | CSA2212        | 日本美術史        | GBE2311      | 文学で覚える英語表現  |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
| 後期                    |         |              | CSA2417        | アラブ・イスラーム文化論 | CSA2301      | アラビア語の世界    |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       | GSW1150 | 体育講義         | CSA1257        | メディアコンテンツ表現法 | GBU1351      | 日本語表現Ⅱ      | GEI450      | SNSコミュニケーションスキル | GEN1551          | 自然災害からの防災・減災    | CSB1650       | 基礎演習Ⅱ       |           |       |
|                       | GES1150 | ジェンダー論       | CSA1256        | 日本の歴史と文化     | GBU1350      | 日本語表現Ⅰ      | CSA1450     | 観光ビジネス論         | CSB1550          | 日本語コミュニケーションⅡ   |               |             |           |       |
|                       | GEN1150 | 生命倫理         | CSA1254        | 国際日本文化論      | GBF1353      | コリア語Ⅱ       |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       | GCE1152 | キリスト教音楽      | CSA1253        | 現代出版事情       | GBF1352      | 中国語Ⅱ        |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       | GCE1151 | 聖書とキリスト教     | GET1250        | 特別支援教育       | GBF1351      | アラビア語       |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       | GCE1150 | 宗教と芸術        | GES1251        | 暮らしの経済学      | GBF1350      | フランス語       |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GES1250        | 憲法と人権        | GBE1353      | 英語表現Ⅱ       |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GEN1250        | 暮らしと電気・エネルギー | GBE1352      | 英語理解Ⅱ       |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GEH1254        | 哲学入門         | CSA1350      | 日本語教育論Ⅱ     |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GEH1253        | 文化人類学        |              |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GEH1252        | ヨーロッパ近現代史    |              |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
| 1<br>年                | 集中等     |              |                | GEH1250      | 日本文学         |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | CSA1252        | 現代ジャーナリズム入門  |              |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | IDC1252        | 海外文化研修       | GBF1354      | 海外研修（語学）Ⅰ   |             |                 | IDC1501          | 海外ボランティア実践      |               |             |           |       |
|                       |         |              |                |              | GBE1356      | 海外研修（語学）Ⅱ b |             |                 | IDC1500          | 共生プロジェクト実践      |               |             |           |       |
|                       |         |              |                |              | GBE1355      | 海外研修（語学）Ⅱ a |             |                 | GCP1502          | キャリア実習Ⅱ         |               |             |           |       |
|                       |         |              |                |              |              |             |             |                 | GCP1501          | キャリア実習Ⅰ         |               |             |           |       |
| 前期                    | GSW1151 | 健康スポーツ演習     | CSA1201        | 国語学概論        | GBU1301      | 日本語表現Ⅰ      | GET1400     | 教育心理学           | GES1500          | ボランティア概論        | CSB1600       | 基礎演習Ⅰ       |           |       |
|                       | GSW1100 | 体育実技         | GSW1200        | 女性と健康        | GBU1300      | 日本語講読Ⅱ      | GEN1450     | 暮らしの統計学         | GCP1500          | ホスピタリティ入門       |               |             |           |       |
|                       | GEH1150 | 歴史の中の女性      | GET1200        | 教育原理         | GBF1303      | コリア語Ⅰ       | GEN1400     | 身近な自然科学         | CSB1500          | 日本語コミュニケーションⅠ   |               |             |           |       |
|                       | GCP1101 | 女性とライフキャリア   | GES1202        | 社会学概論        | GBF1302      | 中国語Ⅰ        | GEI1401     | 情報演習Ⅰ b         |                  |                 |               |             |           |       |
|                       | GCE1105 | キリスト教音楽概論    | GES1201        | 国際関係論入門      | GBF1301      | スペイン語       | GEI1400     | 情報演習Ⅰ a         |                  |                 |               |             |           |       |
|                       | GCE1104 | キリスト教        | GES1200        | 暮らしの法科学      | GBF1300      | ドイツ語        | CSA1401     | 観光学概論           |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GEN1203        | 日常の中の数学      | GBE1303      | 英語表現Ⅰ       |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GEI1200        | 情報の科学と倫理     | GBE1302      | 英語理解Ⅰ       |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GEH1202        | 東アジア近現代史     | CSA1300      | 日本語教育論Ⅰ     |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GEH1201        | 日本近現代史       |              |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | GEH1200        | 外国文学         |              |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |
|                       |         |              | CSA1255        | 中東文化論        |              |             |             |                 |                  |                 |               |             |           |       |

## ◇現代人間学部◇

## 6. 授業科目の履修・登録

- (1) 生活環境学科の履修方法について
- (2) 心理学科の履修方法について
- (3) こども教育学科の履修方法について



## 6-(1) 生活環境学科の履修方法について

### 1. 卒業に必要な単位

科目区分別の卒業に必要な最低限の単位数（卒業の要件）

| 科 目 区 分                    |         |            | 必修 | 選択必修 | 左 欄 以 外<br>からの選択 | 計   |
|----------------------------|---------|------------|----|------|------------------|-----|
| 共<br>通<br>教<br>育<br>科<br>目 | 教 養 科 目 | 人間と文化      |    | 2    | 1～               |     |
|                            |         | 人間と社会      |    | 2    |                  |     |
|                            |         | 人間と自然      |    | 2    |                  |     |
|                            |         | 人間と情報      |    | 1    |                  |     |
|                            |         | 教育の基礎      |    |      |                  |     |
|                            | 基 盤 科 目 | カトリック教育    | 2  | 4    |                  |     |
|                            |         | 自己の形成      |    | 2    |                  |     |
|                            |         | 外国語        |    | 8    |                  |     |
|                            |         | スポーツとウェルネス |    |      |                  |     |
| 専<br>門<br>教<br>育<br>科<br>目 | 基 幹 科 目 |            | 6  |      |                  | 124 |
|                            | 基 礎 科 目 |            | 2  | 4    |                  |     |
|                            | 展 開 科 目 | 衣生活領域      |    |      | 52～              |     |
|                            |         | 食生活領域      |    |      |                  |     |
|                            |         | 住生活領域      |    |      |                  |     |
|                            |         | 生活経営領域     |    |      |                  |     |
|                            |         | 福祉領域       |    |      |                  |     |
|                            |         | 家庭科教育領域    |    |      |                  |     |
|                            | 関 連 科 目 |            |    |      |                  |     |
| 専 門 演 習 ・ 卒 業 研 究          |         | 12         |    |      |                  |     |
| 学 際 教 育 科 目                |         |            |    |      | 0～24             |     |
| 合 計                        |         |            | 22 | 25   | 77               | 124 |

### 2. 履修方法

以下の1～4の各科目区分の必要単位数を満たしつつ、同時に1～4の合計が124単位以上になるように履修しなければならない。各科目区分の最低必要単位数を合計しても124単位にはならないので注意すること。

以下、（ ）内の数字は単位数を示す。

#### 1. 共通教育科目（24単位以上）

専門知識を社会的な視点から再認識し、幅広い学問分野に関心を持ちながら成長するために重要な科目群である。多面的な視野を持ち、知識と技能を社会貢献に結びつける力を身につけるため、共通教育科目は4年間を通して学ぶことが必要である。

##### (1) 必修科目と履修単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

##### (2) 選択必修科目と履修単位数について

教養科目の「人間と文化」、「人間と社会」、「人間と自然」の3領域から各2単位以上、「人間と情報」の情報演習Ⅰa

(1) 若しくは情報演習Ⅰb (1) 又は情報演習Ⅱ (1) から1単位以上、基盤科目の「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、「自己の形成」から2単位以上、「外国語」から8単位以上（英語に関する科目4単位以上を含む。）、全体から選択1単位以上を必ず履修しなければならない。

##### (3) 外国人留学生の外国語の履修について

外国人留学生は、以下の日本語の科目を履修すること。なお、その内の4単位は、「外国語」の英語に関する科目4単位に充てることができる。

1年次に履修する科目

日本語講読Ⅰ（1）、日本語講読Ⅱ（1）、日本語表現Ⅰ（1）、日本語表現Ⅱ（1）、

2年次に履修する科目

日本語特講Ⅰ（1）、日本語特講Ⅱ（1）

(4) 1年次に履修すべき科目と単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

選択必修科目

教養科目：情報演習Ⅰa（1）若しくは情報演習Ⅰb（1）又は情報演習Ⅱ（1）から1単位以上

基盤科目：「外国語」から英語に関する科目4単位以上

2. 専門教育科目（76単位以上）

(1) 必修科目と履修単位数について

基幹科目の必修科目計6単位、基礎科目の必修科目2単位、専門演習・卒業研究計12単位は、全員が必ず履修しなければならない。

◇ 1年次に履修する科目 生活環境基礎演習Ⅰ（2）、生活環境基礎演習Ⅱ（2）、生活環境概論（2）

◇ 2年次に履修する科目 生活環境キャリアデザインⅠ（2）

◇ 3年次に履修する科目 生活環境特論（4）

◇ 4年次に履修する科目 卒業研究（8）

(2) 選択必修科目と単位数について

基礎科目の以下に示す選択科目から4単位以上を必ず履修しなければならない。

衣生活概論（2）、食生活概論（2）、住居学概論（2）、現代社会と家庭経営（2）、生活と福祉（2）

(3) 選択科目と履修単位数について

展開科目及び関連科目から計52単位以上を選択し、必ず履修しなければならない。

3. 学際教育科目

共生プロジェクト実践、海外文化研修、海外ボランティア実践および他学部・他学環・他学科の専門教育科目のうち、科目を設置した学部・学環・学科が認めた専門教育科目（履修科目表の科目名に☆印を付した科目）を選択し履修できる。履修した科目の単位は24単位を上限として卒業要件単位に算入される。

4. 資格取得に必要な科目

資格取得を目指す場合は、免許・資格に示されている各資格の科目表で確認すること。

5. ゼミへの所属について

「生活環境特論」（3年次）及び「卒業研究」（4年次）は、本学科専任教員が担当するゼミの1つに所属して行われる。所属したゼミで個別に研究課題を設定し、それに取組み、最終的に4年次で卒業研究（卒業論文）の完成を目指す。事前に自分の希望する研究領域についてよく考え、シラバスやゼミ選択説明会配付資料を読み各ゼミの内容をよく理解しておくこと。

(1) 所属ゼミ決定のプロセス

① 2年次12月 ゼミ選択説明会。

② 希望ゼミを選択し、書面で学事課に提出。

③ 各ゼミの希望者数に大きな偏りが生じた場合は調整を行う。

④ 所属ゼミの決定

※「ゼミ選択説明会」では、ゼミの詳しい内容や所属までのスケジュールなど重要な説明をするので、必ず出席すること。（欠席するとゼミ選択において不利になることがある。）説明会の日程は掲示にて周知するので、掲示板に注意しておくこと。

6. 卒業研究について

卒業研究に関する提出物をそれぞれ決められた書式に従って、期日までに提出しなければならない。詳細は掲示や手引き等で確認すること。

7. グレイスプログラム

グレイスプログラムは、学生が、洗練された感性と高い専門性を身につけ、パーソナル（自己）ブランドを築くことで、将来のキャリア選択の機会を広げることが出来るようになることを目的としている。

「自分を高め、生活や人生を主体的に築く力を身につける」本学科の教育理念に基づき設置するもので、上質なホスピタリティを実践することができる女性の養成を目指す。

グレイスプログラムの科目群から20単位以上（必修・選択必修含む）修得し、生活環境学科を卒業する者には、生活環境学科から修了書を授与する。

科目表は、本学ホームページ「在学生の方へ\_教務課・学事課サイト\_資格単位修得確認表で確認すること。

### 3. 履修単位表

( ) 数字は単位数

| 区分   | 卒業に要する単位 (124)                |                                                                                                                                                           |         |                                                    |                                                                                           |          |               |
|------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------|
|      | 共通教育科目 (24～)                  |                                                                                                                                                           |         | 専門教育科目 (76～)                                       |                                                                                           |          | 学際教育科目 (0～24) |
|      | 必修 (2)                        | 選択必修 (21)                                                                                                                                                 | 選択 (1～) | 必修 (20)                                            | 選択必修 (4～)                                                                                 | 選択 (52～) | 選択            |
| 1 年次 | ・キリスト教学 (1)<br>・キリスト教音楽概論 (1) | 教養科目<br>「人間と文化」<br>「人間と社会」<br>「人間と自然」の3領域から各2単位以上<br><br>「人間と情報」の情報演習Iaまたは情報演習Ibまたは情報演習IIから1単位以上<br><br>基盤科目<br>「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、「自己の形成」の選択科目から2単位以上 |         | ・生活環境基礎演習 I (2)<br>・生活環境基礎演習 II (2)<br>・生活環境概論 (2) | 基礎科目から計4単位以上<br><br>衣生活概論 (2)<br>食生活概論 (2)<br>住居学概論 (2)<br>現代社会と家庭経営 (2)<br><br>生活と福祉 (2) |          |               |
| 2 年次 |                               | 「外国語」の選択科目から8単位 (英語に関する科目4単位を含む) 以上<br>外国人留学生にあつては、日本語の科目4単位の修得をもって英語に関する科目4単位に充てることができる                                                                  |         | ・生活環境キャリアデザイン I (2)                                |                                                                                           |          |               |
| 3 年次 |                               |                                                                                                                                                           |         | ・生活環境特論 (4)                                        |                                                                                           |          |               |
| 4 年次 |                               |                                                                                                                                                           |         | ・卒業研究 (8)                                          |                                                                                           |          |               |

(注1) 授業科目については「履修科目表」で確認すること。

(注2) 授業科目の履修・登録にあたっては、「履修登録の手引き」「開講科目表」「講義概要 (シラバス)」及び「授業時間表」を参照すること。

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について

## 4. カリキュラム・マップ

| 学位授与<br>方針ND6 | キリスト教精神・女性教育 |         | 知識・理解          |               | 汎用的技能        |           | 態度・志向性        |             | 統合的な学習経験と総合的思考力 |            |                 |               |       |
|---------------|--------------|---------|----------------|---------------|--------------|-----------|---------------|-------------|-----------------|------------|-----------------|---------------|-------|
|               | DP1          | DP2     | DP2            | DP3           | DP4          | DP5       | DP6           |             |                 |            |                 |               |       |
|               | 自分を育てる力      | 知識・理解力  | 言語力            | 思考・解決力        | 共生・協働する力     | 創造・発得力    |               |             |                 |            |                 |               |       |
| 4<br>年        | 後期           |         |                |               |              |           | SLS4600       | 卒業研究        |                 |            |                 |               |       |
| 3<br>年        | 後期           |         | LDA3200        | 染色加工学         | GBE3350      | 実用英語基礎    | LDA3450       | 家族社会学       | LDA3552         | 発展調理学実習    | LDA3650         | フードコーディネーター論  |       |
|               |              |         | LDA3251        | インテリア設備学      | GBE3351      | 身近な英文法Ⅱ   |               |             |                 |            | LDA3653         | アパレルデザイン演習    |       |
|               |              |         | LDR3250        | 建築施工          | GBE3352      | TOEICⅣ    |               |             |                 |            | LDA3654         | ライフプランニング実習   |       |
|               |              |         | LDR3253        | ソーシャルマーケティング論 |              |           |               |             |                 |            | LDA3655         | 家庭科教育法Ⅳ       |       |
|               |              |         | LDR3254        | 女性起業論         |              |           |               |             |                 |            | LDA3656         | 保育学           |       |
|               | 集中<br>前期     |         |                |               | GBE3301      | 留学の英会話    | SLS3401       | 生活環境特論      | GCP3502         | インターンシップⅠ  | LDR3650         | 住計画演習Ⅱ        |       |
|               |              |         |                |               | GBE3302      | おもてなしの英会話 |               |             | GCP3503         | インターンシップⅡ  | SLS3600         | 生活環境キャリアデザインⅡ |       |
|               |              |         |                |               | GBE3303      | ビジネス英会話   |               |             | LDA3602         | コミュニティ活動実践 |                 |               |       |
|               |              |         | LDA3201        | 建築材料学         | GBE3304      | TOEICⅢ    | GEI3400       | AIとデータサイエンス | EDI3500         | 家族援助論      | LDA3602         | 家庭科教育法Ⅲ       |       |
|               |              |         | LDR3202        | 色彩学           |              |           |               |             | GCP3504         | 社会とキャリア    | LDR3600         | 住計画演習Ⅰ        |       |
| 2<br>年        | 後期           | GCE2150 | キリスト教と日本文化     | GEI2550       | 情報技術リテラシー    | GBE2356   | 英語実践(4技能)Ⅱ    | GEI2451     | AIとデータサイエンス入門   | LDA2550    | 食品加工学(実験を含む)    | LDA2651       | 住居製図Ⅱ |
|               |              | GCE2151 | キリスト教美術        | LDA2250       | 服飾心理学        | GBE2357   | 数えて見える英語表現    | GEI2452     | プログラミング演習       |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDA2252       | 住環境学         | GBE2358   | TOEICⅡ        | LDA2451     | 調理学             |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDA2253       | 住居学          | GBE2359   | 留学英語Ⅱ         | LDA2452     | 建築法規            |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDA2255       | 衣生活管理学       | GBL2350   | 日本語特論Ⅱ        | SWA2453     | 介護と福祉           |            |                 |               |       |
|               | 集中<br>前期     |         |                | LDA2256       | ライフプランニング論   | GCP2360   | アカデミック・ライティング |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDR2250       | 食品安全性学       | LDA2351   | 家庭科教育法Ⅱ       |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDR2251       | 食品流通論        |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDR2252       | ビジネスの基礎Ⅱ     |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | SWA2251       | 障害者と福祉       |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
| 1<br>年        | 後期           | LDR2100 | 生活デザイン         |               |              | GBE2309   | 日常の英会話        | GEI2400     | 情報演習Ⅱ           | GCP2500    | キャリア形成ゼミ        |               |       |
|               |              | SLS2102 | 生活環境キャリアデザインⅠ  |               |              | GBE2310   | 旅行の英会話        | GEI2450     | 情報処理            | GCP2551    | 海外キャリア実習        |               |       |
|               |              |         |                |               |              | GBE2311   | 文字で見る英語表現     |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                |               |              | GBE2313   | TOEICⅠ        |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              | GCE2101 | キリスト教思想        | EDI2210       | こども家庭福祉      | GBE2306   | 英語実践(4技能)Ⅰ    | LDA2400     | アパレル造形学(実習を含む)  | LDA2500    | 食品官能評価演習(実験を含む) | LDA2600       | 住居製図Ⅰ |
|               | 集中<br>前期     | GCP2101 | 子育てとワークライフバランス | EDI2211       | 現代社会と福祉      | GBE2312   | 身近な英文法Ⅰ       | LDA2401     | 食品学             | LDR2500    | フードスペシャリスト論     |               |       |
|               |              |         |                | GEI2200       | アルゴリズム基礎     | GBE2314   | 留学英語Ⅰ         | LDA2402     | 食品官能評価論         |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | GET2250       | 教育社会学        | GBE2315   | 英語リスニング       | LDA2403     | 栄養学             |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDA2200       | 衣生活材料科学      | GBF2300   | 中国語Ⅲ          | LDA2406     | 家族関係            |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDA2201       | 建築一般構造       | GBF2301   | ロシア語Ⅲ         | LDA2408     | 住環境デザイン         |            |                 |               |       |
| 1<br>年        | 後期           |         |                | LDA2205       | 生活経済学        | GBJ2300   | 日本語特論Ⅰ        | LDA2409     | 家庭科教育法Ⅰ         |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDR2201       | ビジネスの基礎Ⅰ     |           |               | LDA2450     | アパレルデザイン        |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | SWA2205       | 人体の構造と機能及び疾病 |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | SWA2207       | 生活と社会保険      |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | SWA2208       | 高齢者と福祉       |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | SWA2209       | こころの健康       |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              | GCE1150 | 宗教と芸術          | GEH1250       | 日本文学         | GBE1352   | 英語理解Ⅱ         | GEI1450     | SNSコミュニケーションスキル | GEN1551    | 自然災害からの防災・減災    |               |       |
|               |              | GCE1151 | 聖書とキリスト教       | GEH1252       | ヨーロッパ近現代史    | GBE1353   | 英語表現Ⅱ         | SLB1450     | 現代社会と家庭経営       |            |                 |               |       |
|               |              | GCE1152 | キリスト教音楽        | GEH1253       | 文化人類学        | GBF1350   | フランス語         |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              | GEN1150 | 生命倫理           | GEH1254       | 哲学入門         | GBF1351   | アラビア語         |             |                 |            |                 |               |       |
| 1<br>年        | 集中<br>前期     | GES1150 | ジェンダー論         | GEH1255       | 日本の歴史と文化     | GBF1352   | 中国語Ⅱ          |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              | GSW1150 | 体育講義           | GES1250       | 憲法と人権        | GBF1353   | ロシア語Ⅱ         |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | GES1251       | 暮らしの経済学      | GBJ1350   | 日本語読解Ⅱ        |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | GET1250       | 特別支援教育       | GBJ1351   | 日本語表現Ⅱ        |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | LDA1251       | 暮らしと電気・エネルギー |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | SLB1200       | 衣生活概論        |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | SLB1250       | 食生活概論        |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | SLS1251       | 生活環境基礎演習Ⅱ    |           |               |             |                 |            |                 |               |       |
|               |              | GSW1151 | 健康スポーツ演習       | IDE1252       | 海外文化研修       | GBE1355   | 海外研修(語学)Ⅱ a   |             |                 | GCP1500    | ホスピタリティ入門       |               |       |
|               |              |         |                |               |              | GBE1356   | 海外研修(語学)Ⅱ b   |             |                 | GCP1501    | キャリア実習Ⅰ         |               |       |
| 1<br>年        | 後期           |         |                |               |              | GBF1302   | 中国語Ⅰ          |             |                 | GCP1502    | キャリア実習Ⅱ         |               |       |
|               |              |         |                |               |              | GBF1303   | ロシア語Ⅰ         |             |                 | IDE1500    | 共生プロジェクト実践      |               |       |
|               |              |         |                |               |              | GBF1354   | 海外研修(語学)Ⅰ     |             |                 | IDE1501    | 海外ボランティア実践      |               |       |
|               |              | GCE1104 | キリスト教美術        | GEH1200       | 外国文学         | GBE1302   | 英語理解Ⅰ         | GEI1400     | 情報演習Ⅰ a         | GES1500    | ボランティア概論        |               |       |
|               |              | GCE1105 | キリスト教音楽概論      | GEH1201       | 日本近現代史       | GBE1303   | 英語表現Ⅰ         | GEI1401     | 情報演習Ⅰ b         |            |                 |               |       |
|               |              | GCP1101 | 女性とライフキャリア     | GEH1202       | 東アジア近現代史     | GBF1300   | ドイツ語          | GEN1400     | 身近な自然科学         |            |                 |               |       |
|               |              | GEH1150 | 歴史の中の女性        | GEI1200       | 情報の科学と倫理     | GBF1301   | スペイン語         | GEN1450     | 暮らしの統計学         |            |                 |               |       |
|               |              | GSW1100 | 体育実技           | GEN1203       | 日常の中の数学      | GBJ1300   | 日本語読解Ⅰ        | GET1400     | 教育心理学           |            |                 |               |       |
|               |              | GSW1151 | 健康スポーツ演習       | GES1200       | 暮らしの法律学      | GBJ1301   | 日本語表現Ⅰ        | LDA1450     | 消費生活            |            |                 |               |       |
|               |              |         |                | GES1201       | 国際関係論入門      | SLS1301   | 生活環境基礎演習Ⅰ     |             |                 |            |                 |               |       |



## 6-(2) 心理学科の履修方法について

### 1. 卒業に必要な単位

科目区分別の卒業に必要な最低限の単位数（卒業の要件）

| 科 目 区 分                    |                   |                  | 心理カウンセリングコース |      |                  |     | 社会・ビジネス心理コース |      |                  |     |  |
|----------------------------|-------------------|------------------|--------------|------|------------------|-----|--------------|------|------------------|-----|--|
|                            |                   |                  | 必修           | 選択必修 | 左 欄 以 外<br>からの選択 | 計   | 必修           | 選択必修 | 左 欄 以 外<br>からの選択 | 計   |  |
| 共<br>通<br>教<br>育<br>科<br>目 | 教 養 科 目           | 人間と文化            |              | 2    | 1～               | 124 |              | 2    | 1～               | 124 |  |
|                            |                   | 人間と社会            |              | 2    |                  |     |              | 2    |                  |     |  |
|                            |                   | 人間と自然            |              | 2    |                  |     |              | 2    |                  |     |  |
|                            |                   | 人間と情報            |              | 1    |                  |     |              | 1    |                  |     |  |
|                            |                   | 教育の基礎            |              |      |                  |     |              |      |                  |     |  |
|                            | 基 盤 科 目           | カトリック教育          | 2            | 4    |                  |     | 2            | 4    |                  |     |  |
|                            |                   | 自己の形成            |              | 2    |                  |     | 2            | 2    |                  |     |  |
|                            |                   | 外国語              |              | 8    |                  |     | 8            | 8    |                  |     |  |
|                            |                   | スポーツとウェルネス       |              |      |                  |     |              |      |                  |     |  |
| 専<br>門<br>教<br>育<br>科<br>目 | 専 門 基 礎 科 目       |                  | 20           | 24   | 20～              | 18  | 26           | 22～  | 124              |     |  |
|                            | 展 開 科 目           | 基礎・発達心理学領域       |              |      |                  |     |              |      |                  |     |  |
|                            |                   | 社会・産業心理学領域       |              |      |                  |     |              |      |                  | 6   |  |
|                            |                   | 臨床心理学領域          | 8            |      |                  |     |              |      |                  |     |  |
|                            | 関 連 科 目           | 社会・ビジネス領域        |              |      |                  |     |              |      |                  |     |  |
|                            |                   | 福祉領域             |              |      |                  |     |              |      |                  |     |  |
|                            |                   | メディア・コミュニケーション領域 |              |      |                  |     |              |      |                  |     |  |
|                            | 専 門 演 習 ・ 卒 業 研 究 |                  | 12           |      |                  |     | 12           |      |                  |     |  |
| 学 際 教 育 科 目                |                   |                  |              |      | 0～16             |     |              | 0～16 |                  |     |  |
| 合 計                        |                   |                  | 42           | 45   | 37               | 124 | 38           | 47   | 39               | 124 |  |

### 2. 履修コースの分属について

#### (1) コース分属について

心理学科では、2年次前期より「心理カウンセリングコース」「社会・ビジネス心理コース」の各履修コースに分属し（定員なし）、各履修コースで定められた必修及び選択必修科目を履修しなければならない。コース分属は1年次後期に行うガイダンスでコースの説明を受けた上で、コースの希望届を提出し決定する。

#### (2) コース変更について

2年次後期に開催するゼミ分属説明会において、コース分属の最終説明を行い、コース変更の有無に関わらず、全員に3年次前期からの所属コースを確認する。コース変更を希望する者は、2年次後期の定められた期日までに、コース変更届（ゼミ分属の調査を兼ねる）にコース変更の理由を記載し提出することにより、3年次前期からのコース変更が認められる。その後は原則として、コース変更は認められない。

#### (3) 各履修コース内容と定員

| 履修コース        | コースの目的                                                              | 定 員 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------|-----|
| 心理カウンセリングコース | 臨床心理学と関連した演習科目の履修により医療、教育、福祉の現場に役立つカウンセリングの理論とスキルを身につけた女性の育成を目的とする。 | なし  |
| 社会・ビジネス心理コース | 社会調査を基軸に企業や公的機関等と連携した実践的な学びにより産業の現場で役立つスキルを身につけた女性の育成を目的とする。        |     |

#### (4) 各履修コースの必修及び選択必修科目

各履修コースの必修及び選択必修科目については、78頁の「履修科目表」で確認すること。

### 3. 履修方法

以下の1～3の各科目区分の必要単位数を満たしつつ、同時に1～3の合計が124単位以上になるように履修しなければならない。各科目区分の最低必要単位数を合計しても124単位にはならないので注意すること。

以下、( ) 内の数字は単位数を示す。

#### 1. 共通教育科目 (24単位以上)

専門知識を社会的な視点から再認識し、幅広い学問分野に関心を持ちながら成長するために重要な科目群である。多面的な視野を持ち、知識と技能を社会貢献に結びつける力を身につけるため、共通教育科目は4年間を通して学ぶことが必要である。

##### (1) 必修科目と履修単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学 (1)、キリスト教音楽概論 (1)

##### (2) 選択必修科目と履修単位数について

教養科目の「人間と文化」、「人間と社会」、「人間と自然」の3領域から各2単位以上、「人間と情報」の情報演習Ⅰa

(1) 若しくは情報演習Ⅰb (1) 又は情報演習Ⅱ (1) から1単位以上、基盤科目の「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、「自己の形成」から2単位以上、「外国語」から8単位以上 (英語に関する科目4単位以上を含む。)、全体から選択1単位以上を必ず履修しなければならない。

##### (3) 外国人留学生の外国語の履修について

外国人留学生は、以下の日本語の科目を履修すること。なお、その内の4単位は、「外国語」の英語に関する科目4単位に充てることができる。

1年次に履修する科目

日本語講読Ⅰ (1)、日本語講読Ⅱ (1)、日本語表現Ⅰ (1)、日本語表現Ⅱ (1)、

2年次に履修する科目

日本語特講Ⅰ (1)、日本語特講Ⅱ (1)

##### (4) 1年次に履修すべき科目と単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学 (1)、キリスト教音楽概論 (1)

選択必修科目

教養科目：情報演習Ⅰa (1) 若しくは情報演習Ⅰb (1) 又は情報演習Ⅱ (1) から1単位以上

基盤科目：「外国語」から英語に関する科目4単位以上

#### 2. 専門教育科目 (84単位以上)

##### (1) コース共通の必修科目と履修単位数について

専門基礎科目の必修科目計14単位、専門演習・卒業研究計12単位は、全員が必ず履修しなければならない。

◇ 1年次に履修する科目 心理学概論 (2)、心理学統計法 (2)、心理学基礎演習Ⅰ (2)、心理学基礎演習Ⅱ (2)、心理学実験演習Ⅰ (2)

◇ 2年次に履修する科目 心理学研究法 (2)、推測統計学Ⅰ (2)

◇ 3年次に履修する科目 心理学演習 (4)

◇ 4年次に履修する科目 卒業研究 (8)

##### (2) コースごとの必修科目と履修単位数について

###### ●心理カウンセリングコース

コース共通の必修科目に加え、専門基礎科目及び展開科目計14単位を必ず履修しなければならない。

◇ 1年次に履修する科目 心理テスト論 (2)

◇ 2年次に履修する科目 心理テスト演習 (2)、質問紙調査法 (2)、臨床心理学概論 (2)

◇ 3年次に履修する科目 心理カウンセリング実践 (面接技法) (2)、関係行政論 (2)、精神疾患とその治療 (2)

###### ●社会・ビジネス心理コース

コース共通の必修科目に加え、専門基礎科目及び展開科目計10単位を必ず履修しなければならない。

◇ 1年次に履修する科目 現代社会調査入門 (2)、社会・集団・家族心理学 (2)

◇ 2年次に履修する科目 心理学実験演習Ⅱ (2)、推測統計学Ⅱ (2)、消費者行動の心理学 (2)

##### (3) 選択必修科目と履修単位数について

###### ●心理カウンセリングコース

専門基礎科目と専門展開科目から選択科目計24単位以上を選択し、必ず履修しなければならない。

●社会・ビジネス心理コース

専門基礎科目と専門展開科目から選択科目計26単位以上を選択し、必ず履修しなければならない。

(4) 選択科目と履修単位数について

上記(1)(2)(3)を除く専門教育科目から心理カウンセリングコースは計20単位、社会ビジネスコースは計22単位以上選択し、必ず履修しなければならない。

3. 学際教育科目

共生プロジェクト実践、海外文化研修、海外ボランティア実践および他学部・他学環・他学科の専門教育科目のうち、科目を設置した学部・学環・学科が認めた専門教育科目（履修科目表の科目名に☆印を付した科目）を選択し履修できる。履修した科目の単位は16単位を上限として卒業要件単位に算入される。

4. ゼミへの所属について

「心理学演習」（3年次）及び「卒業研究」（4年次）は、本学科専任教員が担当するゼミの1つに所属して行われる。所属したゼミで個別に研究課題を設定し、それに取組み、最終的に4年次で卒業研究（卒業論文）の完成を目指す。事前に自分の希望する研究領域についてよく考え、シラバスを読み各ゼミの内容をよく理解しておくこと。

(1) 所属ゼミ決定のプロセス

①2年次11月 ゼミ選択説明会。

②希望ゼミを選択し、指定された方法で提出。

③各ゼミの希望者数に大きな偏りが生じた場合は調整を行う。

④所属ゼミの決定

※「ゼミ選択説明会」では、ゼミの詳しい内容や所属までのスケジュールなど重要な説明をするので必ず出席すること。（欠席するとゼミ選択において不利になることがある。）説明会の日程は掲示にて周知するので掲示板に注意しておくこと。

5. 卒業研究について

卒業研究に関する提出物をそれぞれ決められた書式に従って、期日までに提出しなければならない。詳細は掲示や手引き等で確認すること。

## 4. 履修単位表

( ) 数字は単位数

| 区分   | 卒業に要する単位 (124)                |                                                                                                                                                                                                     |         |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                      |             |               |
|------|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------|
|      | 共通教育科目 (24～)                  |                                                                                                                                                                                                     |         | 専門教育科目 (84～)                                                                                                                                                                          |                                                                                                                      |             | 学際教育科目 (0～16) |
|      | 必修 (2)                        | 選択必修 (21)                                                                                                                                                                                           | 選択 (1～) | 必修 [40]《36》                                                                                                                                                                           | 選択必修 [24]《26》                                                                                                        | 選択 [20]《22》 | 選択            |
| 1 年次 | ・キリスト教学 (1)<br>・キリスト教音楽概論 (1) | 教養科目<br>「人間と文化」<br>「人間と社会」<br>「人間と自然」の<br>3領域から各2単位<br>以上<br><br>「人間と情報」の<br>情報演習 I aまたは<br>情報演習 I bまたは<br>情報演習 II から<br>1単位以上<br><br>基盤科目<br>「カトリック教育」の選<br>択科目から4単位以上、<br>「自己の形成」の選択科<br>目から2単位以上 |         | コース共通<br>・心理学概論 (2)<br>・心理学統計法 (2)<br>・心理学基礎演習 I (2)<br>・心理学基礎演習 II (2)<br>・心理学実験演習 I (2)<br><br>心理カウンセリングコース<br>・心理テスト論 [2]<br><br>社会・ビジネス心理コース<br>・現代社会調査入門 《2》<br>・社会・集団・家族心理学 《2》 | 心理カウンセリング<br>コース<br>専門基礎科目と専門展<br>開科目から選択科目計<br>24単位以上<br><br>社会・ビジネス心理<br>コース<br>専門基礎科目と専門展<br>開科目から選択科目計<br>26単位以上 |             |               |
| 2 年次 |                               | 「外国語」の選択科目か<br>ら8単位 (英語に関する<br>科目4単位を含む)以上<br>外国人留学生にあっ<br>ては、日本語の科目4<br>単位の修得をもって英<br>語に関する科目4単位<br>に充てることができる                                                                                     |         | コース共通<br>・心理学研究法 (2)<br>・推測統計学 I (2)<br><br>心理カウンセリングコース<br>・心理テスト演習 [2]<br>・質問紙調査法 [2]<br>・臨床心理学概論 [2]<br><br>社会・ビジネス心理コース<br>・心理学実験演習 II 《2》<br>・推測統計学 II 《2》<br>・消費者行動の心理学 《2》     |                                                                                                                      |             |               |
| 3 年次 |                               |                                                                                                                                                                                                     |         | コース共通<br>・心理学演習 (4)<br><br>心理カウンセリングコース<br>・心理カウンセリング実践<br>(面接技法) [2]<br>・関係行政論 [2]<br>・精神疾患とその治療 [2]                                                                                 |                                                                                                                      |             |               |
| 4 年次 |                               |                                                                                                                                                                                                     |         | コース共通<br>・卒業研究 (8)                                                                                                                                                                    |                                                                                                                      |             |               |

(注1) [ ] は心理カウンセリングコース、《 》 は社会・ビジネス心理コース履修者の履修単位を示す。

(注2) 授業科目については「履修科目表」で確認すること。

(注3) 授業科目の履修・登録にあたっては、「履修登録の手引き」「開講科目表」「講義概要 (シラバス)」及び「授業時間表」を参照すること。

## 5. カリキュラム・マップ

| 学位授与<br>方針ND6 | キリスト教精神・女性教育   |                        | 知識・理解                |                       | 汎用的技能                    |                                 | 態度・志向性           |                            | 統合的な学習経験と総合的思考力 |                              |
|---------------|----------------|------------------------|----------------------|-----------------------|--------------------------|---------------------------------|------------------|----------------------------|-----------------|------------------------------|
|               | DP1<br>自分を育てる力 |                        | DP2<br>知識・理解力        |                       | DP3<br>言語力               |                                 | DP4<br>思考・解決力    |                            | DP5<br>共生・協働する力 |                              |
| 4<br>年        | 後期             |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               | 集中等            |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 | PSA4601 心理実習<br>PSS4602 卒業研究 |
|               | 前期             |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
| 3<br>年        | 後期             |                        | PSA3254 産業・組織心理学     | GBE3350 実用英語基礎        | EGL3403 対人コミュニケーション      | CSA3650 クールジャパン論                | PSA3651 認知行動療法概論 | PSA3651 心理実習 (心理支援の実務)     |                 |                              |
|               |                |                        | PSA3256 司法・犯罪心理学     | GBE3351 身近な英文法Ⅱ       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               | 集中等            |                        | PSA3259 神経・生理心理学     | GBE3352 TOEICⅣ        |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA3254 女性犯罪論        |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               | 前期             |                        | PSA4603 公認心理師の職業     |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA3255 関係行政論        |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | LDR3202 色彩学          | GBE3301 留学の英会話        | EGL3456 異文化間コミュニケーション    | GCP3602 インターンシップⅠ               |                  | PSS3600 心理学演習              |                 |                              |
|               |                |                        | PSA3201 高齢者の心理学      | GBE3302 おもてなしの英会話     | GEI9400 AIとデータサイエンス      | GCP3603 インターンシップⅡ               |                  | PSA3601 心理カウンセリング実践 (面接技法) |                 |                              |
|               |                |                        | PSA3202 精神疾患とその治療    | GBE3303 ビジネス英会話       | PSB3400 心理学情報処理          | PSA3602 スクールカウンセリング論 (教育・学校心理学) | PSA3603 心理学的支援法  | PSB3602 心理学応用実験演習          |                 |                              |
|               |                |                        | PSA3203 福祉心理学        | GBE3304 TOEICⅢ        | PSR3401 消費生活             |                                 |                  |                            |                 |                              |
| 2<br>年        | 後期             | GCE2150 キリスト教と日本文化     | EDI2253 こども家庭支援の心理学  | GBE2356 英語実践 (4技能)Ⅱ   | GEI8451 AIとデータサイエンス入門    | PSA2552 家族臨床心理学                 |                  | PSA2600 社会・ビジネス心理フィールド研修   |                 |                              |
|               |                | GCE2151 キリスト教美術        | GEI2250 情報技術リテラシー    | GBE2357 歌って見える英語表現    | GEI8452 プログラミング演習        |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA2207 感情・人格心理学     | GBE2358 TOEICⅡ        | PSA2451 心理的アセスメント        |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA2251 現代青年の心理学     | GBE2359 留学英語Ⅱ         | PSB2401 心理学研究法           |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA2252 脳科学心理学       | GBLJ250 日本語特講Ⅱ        | PSB2450 推測統計学Ⅱ           |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA2254 学習・言語心理学     | GCP2350 アカデミック・ライティング |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSR2250 食品流通論        | PSB2351 心理学英文講義       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | SWA2209 こころの健康       |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | SWA2251 障害者と福祉       |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               | 集中等            |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
| 1<br>年        | 後期             | GCE2101 キリスト教思想        | EDI2210 こども家庭福祉      | CSA2305 プレゼンテーション概論   | CSA2411 情報・メディアの文化とリテラシー | GCP2500 キャリア形成セミナー              |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GCP2101 子育てとワークライフバランス | EDI2211 現代社会と福祉      | GBE2306 英語実践 (4技能)Ⅰ   | EGL2400 ことばとコミュニケーション    | GCP2501 海外キャリア実習                |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | GEI2200 アルゴリズム基礎     | GBE2307 日常の英会話        | GEI2400 情報演習Ⅱ            | PSA2500 対人関係論                   |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | GEI2250 教育社会学        | GBE2310 旅行の英会話        | GEI2450 情報処理             | PSA2502 障害者・障害児心理学              |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA2201 発達心理学概論      | GBE2311 文法で見る英語表現     | LDA2450 アプリデザイン          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA2203 消費者行動の心理学    | GBE2312 身近な英文法Ⅰ       | PSB2402 推測統計学Ⅰ           |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA2204 臨床心理学概論      | GBE2313 TOEICⅠ        | PSB2403 心理テスト演習          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA2205 知覚・認知心理学     | GBE2314 留学英語Ⅰ         | PSB2404 質問紙調査法           |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA2255 健康・医療心理学     | GBE2315 英語リスニング       | PSB2405 心理学実験演習Ⅱ         |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSR2201 ビジネスの基礎Ⅰ     | GBF2300 中国語Ⅲ          | PSR2401 住環境デザイン          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               | 集中等            |                        | PSR2205 生活経済学        | GBF2301 コリア語Ⅲ         |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | SWA2205 人体の構造と機能及び疾病 | GBLJ2300 日本語特講Ⅰ       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | SWA2207 生活と社会保障      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
| 前期            | 後期             | GCE1150 宗教と芸術          | GBE1250 日本文学         | GBE1352 英語理解Ⅱ         | GEI1450 SNSコミュニケーションスキル  | GEN1551 自然災害からの防災・減災            |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GCE1151 聖書とキリスト教       | GBE1252 ヨーロッパ近現代史    | GBE1353 英語表現Ⅱ         | PSB1453 心理学統計法           | PSA1552 社会・集団・家族心理学             |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GCE1152 キリスト教音楽        | GBE1253 文化人類学        | GBF1350 フランス語         | PSB1455 心理学実験演習Ⅰ         |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GEN1150 生命倫理           | GBE1254 哲学入門         | GBF1351 アラビア語         | PSB1456 心理テスト論           |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GES1150 ジェンダー論         | GBE1255 日本の歴史と文化     | GBF1352 中国語Ⅱ          |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GSW1150 体育講義           | GEN1250 暮らしと電気・エネルギー | GBF1353 コリア語Ⅱ         |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | GES1250 憲法と人権        | GBLJ1350 日本語特講Ⅱ       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | GES1251 暮らしの経済学      | GBLJ1351 日本語表現Ⅱ       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | GET1250 特別支援教育       | PSB1350 心理学基礎演習Ⅱ      |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSA1250 教育心理学概論      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               | 集中等            |                        | PSR1251 現代ジャーナリズム入門  |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | IDE1252 海外文化研修       | GBE1355 海外研修 (語学)Ⅱ a  |                          | GCP1501 キャリア実習Ⅰ                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      | GBE1356 海外研修 (語学)Ⅱ b  |                          | GCP1502 キャリア実習Ⅱ                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      | GBF1354 海外研修 (語学)Ⅰ    |                          | IDE1500 共生プロジェクト実践              |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          | IDE1501 海外ボランティア実践              |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          | GCP1500 ホスピタリティ入門               |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          | GES1500 ボランティア概論                |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          | PSA1500 心理カウンセリング概論             |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        |                      |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
| 前期            | 後期             | GCE1104 キリスト教美術        | GEN1200 外国文学         | GBE1302 英語理解Ⅰ         | GEI1400 情報演習Ⅰ a          | GCP1500 ホスピタリティ入門               |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GCE1105 キリスト教音楽概論      | GEN1201 日本近現代史       | GBE1303 英語表現Ⅰ         | GEI1401 情報演習Ⅰ b          | GES1500 ボランティア概論                |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GCP1101 女性とライフキャリア     | GEN1202 東アジア近現代史     | GBF1300 ドイツ語          | GEN1400 身近な自然科学          | PSA1500 心理カウンセリング概論             |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GEN1150 歴史の中の女性        | GEN1200 情報の科学と倫理     | GBF1301 スペイン語         | GEN1450 暮らしの統計学          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GSW1100 体育実技           | GEN1203 日常の中の数学      | GBF1302 中国語Ⅰ          | PSA1400 現代社会調査入門         |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                | GSW1151 健康スポーツ演習       | GES1200 暮らしの法科学      | GBF1303 コリア語Ⅰ         |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                | PSB1100 心理学基礎演習Ⅰ       | GES1201 国際関係論入門      | GBLJ1300 日本語特講Ⅰ       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | GES1202 社会学概論        | GBLJ1301 日本語表現Ⅰ       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | GET1200 教育原理         |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | GSW1200 女性と健康        |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |
|               |                |                        | PSB1200 心理学概論        |                       |                          |                                 |                  |                            |                 |                              |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について

## 6-(3) こども教育学科の履修方法について

### 1. 卒業に必要な単位

科目区分別の卒業に必要な最低限の単位数（卒業の要件）

| 科 目 区 分           |         |            | 幼児教育コース |      |                  |     | 初等教育コース |      |                  |     |    |    |
|-------------------|---------|------------|---------|------|------------------|-----|---------|------|------------------|-----|----|----|
|                   |         |            | 必修      | 選択必修 | 左 欄 以 外<br>からの選択 | 計   | 必修      | 選択必修 | 左 欄 以 外<br>からの選択 | 計   |    |    |
| 共通<br>教育<br>科目    | 教養科目    | 人間と文化      |         | 2    | 1～               | 124 |         | 2    | 1～               | 124 |    |    |
|                   |         | 人間と社会      |         | 2    |                  |     |         | 2    |                  |     |    |    |
|                   |         | 人間と自然      |         | 2    |                  |     |         | 2    |                  |     |    |    |
|                   |         | 人間と情報      |         | 1    |                  |     |         | 1    |                  |     |    |    |
|                   | 基盤科目    | カトリック教育    | 2       | 4    |                  |     | 2       | 4    |                  |     |    |    |
|                   |         | 自己の形成      |         | 2    |                  |     |         | 2    |                  |     |    |    |
|                   |         | 外国語        |         | 8    |                  |     |         | 8    |                  |     |    |    |
|                   |         | スポーツとウェルネス |         |      |                  |     |         |      |                  |     |    |    |
| 専門<br>教育<br>科目    | 基 礎 科 目 |            | 13      |      | 11               | 124 | 13      |      | 11               | 124 |    |    |
|                   | 展開科目    | 保育士科目      |         |      |                  |     |         |      |                  |     |    |    |
|                   |         | 幼保共通科目     | 6       |      |                  |     |         |      |                  |     |    |    |
|                   |         | 幼稚園科目      |         | 6    |                  |     | 34      |      |                  |     | 32 | 11 |
|                   |         | 幼小共通科目     |         | 2    |                  |     |         | 2    |                  |     |    |    |
|                   |         | 小学校科目      |         |      |                  |     |         | 12   |                  |     |    |    |
|                   | 関 連 科 目 |            |         |      |                  |     |         |      |                  |     |    |    |
| 専 門 演 習 ・ 卒 業 研 究 |         | 12         |         |      | 12               |     |         |      |                  |     |    |    |
| 学 際 教 育 科 目       |         |            |         |      | 0～16             |     |         | 0～16 |                  |     |    |    |
| 合 計               |         |            | 33      | 63   | 28               | 124 | 29      | 67   | 28               | 124 |    |    |

### 2. 履修コースの分属について

こども教育学科では、1年次後期に各履修コースに分属し、各履修コースで定められた必修及び選択必修科目を履修しなければならない。

分属にあたっては、1年次前期終了前に行うガイダンスで説明を受けること。ガイダンス等の詳細については、必ず掲示板等で確認すること。

#### 1. 各履修コース内容と定員

| 履修コース         | コース内容                                                                                                                               | 定 員 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 幼 児 教 育 コ ー ス | 幼児教育の振興の視点に立ち、幼稚園教諭一種免許状に加えて保育士資格も有した、心理学、対人援助の理論や技術、基礎的な英語力を持ち、特別な支援を要する幼児に対し、適切な配慮を行いながら、乳幼児の子育て・子育てを支援する、保育者の育成を目的とする。           | 60人 |
| 初 等 教 育 コ ー ス | 「確かな学力」を身につけるため小学校の各教科・領域に関する知識と実践的指導力の基礎とともに、心理学、対人援助の理論や技術、基礎的な英語力を持ち、特別な支援を要する児童に対し、適切な配慮を行いながら、人間形成力をはぐくむことのできる教員を育成することを目的とする。 | なし  |

#### 2. 各履修コースの必修及び選択必修科目

各履修コースの必修及び選択必修科目については、81頁の「履修科目表」で確認すること。

#### 3. 実習費用

保育所、幼稚園、小学校における実習においては、実習にかかる実費を徴収する。

### 3. 履修方法

以下の1～3の各科目区分の必要単位数を満たしつつ、同時に1～3の合計が124単位以上になるように履修しなければならない。各科目区分の最低必要単位数を合計しても124単位にはならないので注意すること。

以下、( ) 内の数字は単位数を示す。

#### 1. 共通教育科目 (24単位以上)

専門知識を社会的な視点から再認識し、幅広い学問分野に関心を持ちながら成長するために重要な科目群である。多面的な視野を持ち、知識と技能を社会貢献に結びつける力を身につけるため、共通教育科目は4年間を通して学ぶことが必要である。

##### (1) 必修科目と履修単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学 (1)、キリスト教音楽概論 (1)

##### (2) 選択必修科目と履修単位数について

教養科目の「人間と文化」、「人間と社会」、「人間と自然」の3領域から各2単位以上、「人間と情報」の情報演習 I a

(1) 若しくは情報演習 I b (1) 又は情報演習 II (1) から1単位以上、基盤科目の「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、「自己の形成」から2単位以上、「外国語」から8単位以上（英語に関する科目4単位以上を含む。）、全体から選択1単位以上を必ず履修しなければならない。

##### (3) 外国人留学生の外国語の履修について

外国人留学生は、以下の日本語の科目を履修すること。なお、その内の4単位は、「外国語」の英語に関する科目4単位に充てることができる。

1年次に履修する科目

日本語講読 I (1)、日本語講読 II (1)、日本語表現 I (1)、日本語表現 II (1)、

2年次に履修する科目

日本語特講 I (1)、日本語特講 II (1)

##### (4) 1年次に履修すべき科目と単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学 (1)、キリスト教音楽概論 (1)

選択必修科目

教養科目：情報演習 I a (1) 若しくは情報演習 I b (1) 又は情報演習 II (1) から1単位以上

基盤科目：「外国語」から英語に関する科目4単位以上

#### 2. 専門教育科目 (84単位以上)

##### (1) コース共通の必修科目及び選択必修科目と履修単位数について

基礎科目13単位、専門演習・卒業研究12単位の必修科目計25単位、展開科目の教育と社会及び教育経営論から選択必修2単位以上は、全員が必ず履修しなければならない。

◇ 1年次に履修する科目 こども教育概論 (2)、こども教育基礎演習 (2)、こども教育フィールド研修 (1)、教職論 (2)、教育原理 (2)、教育心理学 (2)、特別支援教育論 (2)

◇ 2年次に履修する科目 教育社会学 (2) 及び教育経営論 (2) から2単位以上選択必修

◇ 3年次に履修する科目 こども教育演習 (4)

◇ 4年次に履修する科目 卒業研究 (8)

##### (2) コースごとの必修科目と履修単位数について

###### ●幼児教育コース

コース共通の必修科目に加え、展開科目から以下の必修6単位を必ず履修しなければならない。

◇ 1年次に履修する科目 保育内容総論 (2)、幼児理解の理論と方法 (2)

◇ 3年次に履修する科目 保育・教育課程論 (2)

###### ●初等教育コース

コース共通の必修科目に加え、展開科目から以下の必修2単位を必ず履修しなければならない。

◇ 2年次に履修する科目 教育課程論 (2)

##### (3) コースごとの選択必修科目と履修単位について

###### ●幼児教育コース

展開科目から計42単位以上を選択し、必ず履修しなければならない。なお、以下に示す科目から6単位以上を必ず履修しなければならない。

- ◇ 2年次に履修する科目 保育内容（健康）（2）、保育内容（人間関係）（2）、保育内容（環境）（2）、保育内容（言葉）（2）、保育内容（表現）（2）

●初等教育コース

展開科目から計46単位以上を選択し、必ず履修しなければならない。なお、以下に示す科目から12単位以上を必ず履修しなければならない。

- ◇ 2年次に履修する科目 国語科指導法（2）、社会科指導法（2）、算数科指導法（2）、理科指導法（2）、生活科指導法（2）、音楽科指導法（2）、図工科指導法（2）、家庭科指導法（2）、体育科指導法（2）、外国語（英語）指導法（2）
- ◇ 3年次に履修する科目 道徳の指導法（2）、特別活動・総合的な学習の時間の指導法（2）、生徒指導・進路指導の理論及び方法（2）

(4) 選択科目と履修単位数について

上記(1)(2)(3)を除く専門教育科目から11単位以上を選択し、必ず履修しなければならない。

3. 学際教育科目

共生プロジェクト実践、海外文化研修、海外ボランティア実践および他学部・他学環・他学科の専門教育科目のうち、科目を設置した学部・学環・学科が認めた専門教育科目（履修科目表の科目名に☆印を付した科目）を選択し履修できる。履修した科目の単位は16単位を上限として卒業要件単位に算入される。

4. ゼミへの所属について

「こども教育演習」（3年次）及び「卒業研究」（4年次）は、本学科専任教員が担当するゼミの1つに所属して行われる。所属したゼミで個別に研究課題を設定し、それに取組み、最終的に4年次で卒業研究（卒業論文）の完成を目指す。事前に自分の希望する研究領域についてよく考え、各ゼミの内容をよく理解しておくこと。

(1) 所属ゼミ決定のプロセス

- ①2年次後期 ゼミ選択説明会。
- ②希望ゼミを選択し、指定された方法で希望するゼミを提出。
- ③各ゼミの希望者数に大きな偏りが生じた場合は調整を行う。
- ④所属ゼミの決定

※「ゼミ選択説明会」では、ゼミの詳しい内容や所属までのスケジュールなど重要な説明をするので必ず出席すること。（欠席するとゼミ選択において不利になることがある。）説明会の日程は掲示にて周知するので掲示板に注意しておくこと。

5. 卒業研究について

卒業研究に関する提出物をそれぞれ決められた書式に従って、期日までに提出しなければならない。詳細は掲示や手引き等で確認すること。



## 4. 履修単位表

( ) 数字は単位数

| 区分   | 卒業に要する単位 (124)                |                                                                                                                                                                                              |         |                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |          |               |
|------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------|
|      | 共通教育科目 (24～)                  |                                                                                                                                                                                              |         | 専門教育科目 (84～)                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |          | 学際教育科目 (0～16) |
|      | 必修 (2)                        | 選択必修 (21)                                                                                                                                                                                    | 選択 (0～) | 必修 [31] [27]                                                                                                                                                             | 選択必修 [42] [46]                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 選択 (11～) | 選択            |
| 1 年次 | ・キリスト教学 (1)<br>・キリスト教音楽概論 (1) | 教養科目<br>「人間と文化」<br>「人間と社会」<br>「人間と自然」の<br>3領域から<br>各2単位以上<br><br>「人間と情報」の<br>情報演習Ⅰaまたは<br>情報演習Ⅰbまたは<br>情報演習Ⅱから<br>1単位以上<br><br>基盤科目<br>「カトリック教育」の選<br>択科目から4単位以上、<br>「自己の形成」の選択科<br>目から2単位以上 |         | コース共通<br>・こども教育概論 (2)<br>・こども教育基礎演習 (2)<br>・こども教育フィールド研<br>修 (1)<br>・教職論 (2)<br>・教育原理 (2)<br>・教育心理学 (2)<br>・特別支援教育論 (2)<br><br>幼児教育コース<br>・保育内容総論 [2]<br>・幼児理解の理論と方法 [2] |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |          |               |
| 2 年次 |                               | 「外国語」の選択科目か<br>ら8単位 (英語に関する<br>科目4単位を含む)以上<br>外国人留学生にあっ<br>ては、日本語の科目4<br>単位の修得をもって英<br>語に関する科目4単位<br>に充てることができる                                                                              |         | 初等教育コース<br>・教育課程論 [2]                                                                                                                                                    | ・教育社会学 (2)<br>・教育経営論 (2)<br>から2単位以上<br><br>幼児教育コース<br>・保育内容 (健康) [2]<br>・保育内容 (人間関係) [2]<br>・保育内容 (環境) [2]<br>・保育内容 (言葉) [2]<br>・保育内容 (表現) [2]<br>から6単位以上<br><br>初等教育コース<br>・国語科指導法 [2]<br>・社会科指導法 [2]<br>・算数科指導法 [2]<br>・理科指導法 [2]<br>・生活科指導法 [2]<br>・音楽科指導法 [2]<br>・図工科指導法 [2]<br>・家庭科指導法 [2]<br>・体育科指導法 [2]<br>・外国語 (英語)指導法 [2]<br>※2・3年次の科目から<br>合計12単位以上 |          |               |
| 3 年次 |                               |                                                                                                                                                                                              |         | コース共通<br>・こども教育演習 (4)<br><br>幼児教育コース<br>・保育・教育課程論 [2]                                                                                                                    | 初等教育コース<br>・道徳の指導法 [2]<br>・特別活動・総合的な<br>学習の時間の指導法 [2]<br>・生徒指導・進路指導<br>の理論及び方法 [2]<br>※2・3年次の科目から<br>合計12単位以上                                                                                                                                                                                                                                                 |          |               |
| 4 年次 |                               |                                                                                                                                                                                              |         | コース共通<br>・卒業研究 (8)                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |          |               |

(注1) [ ] は幼児教育コース、【 】 は初等教育コース履修者の履修単位を示す。

(注2) 授業科目については「履修科目表」で確認すること。

(注3) 授業科目の履修・登録にあたっては、「履修登録の手引き」「開講科目表」「講義概要 (シラバス)」及び「授業時間表」を参照すること。

## 5. カリキュラム・マップ

| 学位授与方針<br>ND6 |     | キリスト教精神・女性教育   | 知識・理解                          | 汎用的技能                 |                          | 態度・志向性                   | 統合的な学習経験と総合的思考力           |
|---------------|-----|----------------|--------------------------------|-----------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|
|               |     | DP1<br>自分を育てる力 | DP2<br>知識・理解力                  | DP3<br>言語力            | DP4<br>思考・解決力            | DP5<br>共生・協働する力          | DP6<br>創造・発信力             |
| 4年            | 後期  |                |                                |                       |                          |                          | ED1461 保育・教職実践演習(幼)       |
|               | 集中等 |                |                                |                       |                          |                          | ED1461 教職実践演習             |
|               | 前期  |                |                                |                       |                          |                          | ED1461 初等教育実習Ⅰa           |
| 3年            | 後期  |                |                                |                       |                          |                          | ED1462 初等教育実習Ⅱa           |
|               | 集中等 |                |                                |                       |                          |                          | EDS460 卒業研究               |
|               | 前期  |                | EDP4200 初等教材開発論                |                       |                          | EDN4500 国際理解教育           |                           |
| 2年            | 後期  |                | EDN3250 教育評価                   | GBE3350 実用英語基礎        | EDB3450 特別支援教育フィールド・スタディ | ED13550 障害児保育            | ED13551 保育相談支援            |
|               | 集中等 |                | EDN3252 教育の方法及び技術              | GBE3351 身近な英文法Ⅱ       | ED13450 乳児保育Ⅱ            |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | GBE3352 TOEICⅣ        | EDN3402 情報教育             |                          |                           |
| 1年            | 後期  |                |                                |                       |                          | EDN3451 食と健康の教育          |                           |
|               | 集中等 |                |                                |                       |                          | EDP3402 物的・精神的な学習の時機の指導法 |                           |
|               | 前期  |                |                                |                       |                          | GCP3502 インターンシップⅠ        | ED13556 保育実習Ⅱ             |
| 4年            | 後期  |                |                                |                       |                          | GCP3503 インターンシップⅡ        | EDN3600 教育実習事前事後指導        |
|               | 集中等 |                |                                |                       |                          |                          | EDP3600 初等教育実習Ⅰb          |
|               | 前期  |                |                                |                       |                          |                          | EDP3601 初等教育実習Ⅱb          |
| 3年            | 後期  |                |                                |                       |                          |                          | EDP3600 介護等体験             |
|               | 集中等 |                |                                |                       |                          |                          | EDS3600 こども教育演習           |
|               | 前期  |                |                                |                       |                          |                          | EDP3601 音楽アンサンブル演習        |
| 2年            | 後期  |                | ED13202 こどもの食と栄養               | GBE3301 留学の英会話        | EDB3452 障害者教育論           | ED13500 家族援助論            |                           |
|               | 集中等 |                | ED13204 乳児保育Ⅰ                  | GBE3302 おもてなしの英会話     | ED13400 保育表現演習           | GCP3504 社会とキャリア          |                           |
|               | 前期  |                | ED13205 保育・教育課程論               | GBE3303 ビジネス英会話       | EDN3401 環境教育             |                          |                           |
| 1年            | 後期  |                | ED13206 コミュニティと福祉              | GBE3304 TOEICⅢ        | EDN3403 教育相談の理論及び方法      |                          |                           |
|               | 集中等 |                | ED13251 こどもの保健演習               |                       | EDP3401 消費生活             |                          |                           |
|               | 前期  |                | EDN3201 スクールカウンセリング論(教育・学校心理学) |                       | EDP3403 ICT活用教育          |                          |                           |
| 4年            | 後期  |                | EDN3202 教育方法論                  |                       | GE13400 AIとデータサイエンス      |                          |                           |
|               | 集中等 |                | EDP3200 道徳の指導法                 |                       |                          |                          |                           |
|               | 前期  |                | EDP3203 生徒指導・進路指導の理論及び方法       | GBE2366 英語実践(4技能)Ⅱ    | EDB2450 肢体不自由者教育論        | ED12550 社会的養護            | ED12551 社会的養護内容           |
| 3年            | 後期  |                | ED12253 こども家庭支援の心理学            | GBE2367 歌って覚える英語表現    | ED12450 保育内容(音楽)         |                          | ED12550 保育実習指導Ⅰ-2         |
|               | 集中等 |                | EDN2250 教育課程論                  | GBE2368 TOEICⅡ        | ED12454 保育内容(表現)         |                          |                           |
|               | 前期  |                | EDN2253 学習・言語心理学               | GBE2369 留学英語Ⅱ         | EDP2450 音楽科指導法           |                          |                           |
| 2年            | 後期  |                | EDN2254 教育経営論                  | GBL2350 日本語特論Ⅱ        | EDP2451 図工科指導法           |                          |                           |
|               | 集中等 |                | EDN2255 教育史                    | GCP2350 アカデミック・ライティング | EDP2452 家庭科指導法           |                          |                           |
|               | 前期  |                | EDP2250 書写                     |                       | EDP2453 体育科指導法           |                          |                           |
| 1年            | 後期  |                | EDP2251 子どもの読書とメディア            |                       | EDP2454 外国語(英語)指導法       |                          |                           |
|               | 集中等 |                | GE12250 情報技術リテラシー              |                       | GE12451 AIとデータサイエンス入門    |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                |                       | GE12452 プログラミング演習        |                          |                           |
| 4年            | 後期  |                |                                |                       |                          | GCP2500 キャリア形成セミナー       | CNS2801 子供のネット・安全教育の理論と実践 |
|               | 集中等 |                |                                |                       |                          | GCP2551 海外キャリア実習         | ED12601 保育実習Ⅰ-1           |
|               | 前期  |                |                                |                       |                          |                          | ED12602 保育実習Ⅰ-2           |
| 3年            | 後期  |                | GCE2101 キリスト教思想                | ED1202 保育音楽演習         | GBE2306 英語実践(4技能)Ⅰ       | EDN2501 教育社会学            | ED12600 保育実習指導Ⅰ-1         |
|               | 集中等 |                | GCE2101 子育てとワークライフバランス         | ED1203 保育音楽演習         | GBE2309 日常の英会話           |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | ED1204 保育音楽演習         | GBE2310 旅行の英会話           |                          |                           |
| 2年            | 後期  |                |                                | ED1205 幼児と健康          | GBE2311 文学で覚える英語表現       |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | ED1206 幼児と人間関係        | GBE2312 身近な英文法Ⅰ          |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | ED1207 幼児と環境          | GBE2313 TOEICⅠ           |                          |                           |
| 1年            | 後期  |                |                                | ED1208 幼児と音楽          | GBE2314 留学英語Ⅰ            |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | ED1210 こども家庭福祉        | GBE2315 英語リスニング          |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | ED1211 現代社会と福祉        | GBF2300 中国語Ⅲ             |                          |                           |
| 4年            | 後期  |                |                                | ED1212 幼児と表現          | GBF2301 コリア語Ⅲ            |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | ED1252 こどもの保健         | GBL2300 日本語特論Ⅰ           |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | EDP2200 家庭            | GE12400 情報処理             |                          |                           |
| 3年            | 後期  |                |                                | EDP2201 外国語(英語)       |                          |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | EDP2202 音楽            |                          |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | EDP2203 図工            |                          |                          |                           |
| 2年            | 後期  |                |                                | EDP2204 体育            |                          |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | GE12200 アルゴリズム基礎      |                          |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | GSW2200 人体の構造と機能及び疾病  |                          |                          |                           |
| 1年            | 後期  |                |                                |                       |                          |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                |                       |                          |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                |                       |                          |                          |                           |
| 4年            | 後期  |                | GCE1150 宗教と芸術                  | EDB1251 特別支援教育        | GBE1352 英語理解Ⅱ            | ED11450 保育内容総論           | GEN1551 自然災害からの防災・減災      |
|               | 集中等 |                | GCE1151 聖書とキリスト教               | ED1250 保育原理           | GBE1353 英語表現Ⅱ            | ED11452 幼児理解の理論と方法       | EDR1852 ビデオ実技(幼保)         |
|               | 前期  |                | GCE1152 キリスト教音楽                | ED1251 保育者論           | GBF1350 フランス語            | GE11450 SNSコミュニケーションスキル  | EDR1853 ビデオ実技(小)          |
| 3年            | 後期  |                | GEN1150 生命倫理                   | EDP1250 社会            | GBF1351 アラビア語            |                          |                           |
|               | 集中等 |                | GES1150 ジェンダー論                 | EDP1251 理科            | GBF1352 中国語Ⅱ             |                          |                           |
|               | 前期  |                | GSW1150 体育講義                   | EDP1252 国語            | GBF1353 コリア語Ⅱ            |                          |                           |
| 2年            | 後期  |                |                                | EDP1253 算数            | GBJ1350 日本語演説Ⅱ           |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | EDP1254 生活            | GBJ1351 日本語表現Ⅱ           |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | GEH1250 日本文学          |                          |                          |                           |
| 1年            | 後期  |                |                                | GEH1252 ヨーロッパ(近現代史)   |                          |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | GEH1253 文化人類学         |                          |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | GEH1254 哲学入門          |                          |                          |                           |
| 4年            | 後期  |                |                                | GEH1255 日本の歴史と文化      |                          |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | GEN1250 暮らしと電気・エネルギー  |                          |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | GES1250 憲法と人権         |                          |                          |                           |
| 3年            | 後期  |                |                                | GES1251 暮らしの経済学       |                          |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | IDE1252 海外文化研修        | GBE1355 海外研修(語学)Ⅱa       | GCP1501 キャリア実習Ⅰ          |                           |
|               | 前期  |                |                                |                       | GBE1356 海外研修(語学)Ⅱb       | GCP1502 キャリア実習Ⅱ          |                           |
| 2年            | 後期  |                |                                |                       | GBF1354 海外研修(語学)Ⅰ        | IDE1500 共生プロジェクト実践       |                           |
|               | 集中等 |                |                                |                       |                          | IDE1501 海外ボランティア実践       |                           |
|               | 前期  |                |                                |                       |                          |                          |                           |
| 1年            | 後期  |                |                                |                       |                          |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                |                       |                          |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                |                       |                          |                          |                           |
| 4年            | 後期  |                | EDB1100 教職論                    | EDB1201 教育原理          | GBE1302 英語理解Ⅰ            | EDB1401 教育心理学            | EDB1500 こども教育フィールド研修      |
|               | 集中等 |                | GCE1104 キリスト教                  | EDB1202 こども教育概論       | GBE1303 英語表現Ⅰ            | GE11400 情報演習Ⅰa           | GCP1500 ホスピタリティ入門         |
|               | 前期  |                | GCE1105 キリスト教音楽概論              | EDB1203 こども教育基礎演習     | GBF1300 ドイツ語             | GE11401 情報演習Ⅰb           | GES1500 ボランティア概論          |
| 3年            | 後期  |                | GCP1101 女性とライフキャリア             | GBF1200 外国文学          | GBF1301 スペイン語            | GEN1400 身近な自然科学          |                           |
|               | 集中等 |                | GEH1150 歴史の中の女性                | GEH1201 日本近現代史        | GBF1302 中国語Ⅰ             | GEN1450 暮らしの統計学          |                           |
|               | 前期  |                | GSW1100 体育実技                   | GEH1202 東アジア近現代史      | GBF1303 コリア語Ⅰ            |                          |                           |
| 2年            | 後期  |                | GSW1151 健康スポーツ演習               | GEN1200 情報の科学と倫理      | GBJ1300 日本語演説Ⅰ           |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | GEN1203 日常の中の数学       | GBJ1301 日本語表現Ⅰ           |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | GES1200 暮らしの法律学       |                          |                          |                           |
| 1年            | 後期  |                |                                | GES1201 国際関係論入門       |                          |                          |                           |
|               | 集中等 |                |                                | GES1202 社会学概論         |                          |                          |                           |
|               | 前期  |                |                                | GSW1200 女性と健康         |                          |                          |                           |

## ◇社会情報学環◇

### 7. 授業科目の履修・登録

- ・社会情報学環の履修方法について



## 7 社会情報学環の履修方法について

### 1. 卒業に必要な単位

科目区分別の卒業に必要な最低限の単位数（卒業の要件）

| 科 目 区 分                    |                   |          | 必修 | 選択必修 |   | 左 欄 以 外<br>からの選択 | 計   |
|----------------------------|-------------------|----------|----|------|---|------------------|-----|
| 共<br>通<br>教<br>育<br>科<br>目 | 教 養 科 目           | 人間と文化    |    | 4    |   | 8～               | 124 |
|                            |                   | 人間と社会    |    | 4    |   |                  |     |
|                            |                   | 人間と自然    |    | 2    |   |                  |     |
|                            |                   | 人間と情報    | 2  |      |   |                  |     |
|                            |                   | 教育の基礎    |    |      |   |                  |     |
|                            | 基 盤 科 目           | カトリック教育  | 2  | 4    |   |                  |     |
|                            |                   | 自己の形成    |    | 2    |   |                  |     |
|                            |                   | 外国語      |    | 8    |   |                  |     |
| スポーツとウェルネス                 |                   |          |    |      |   |                  |     |
| 専 門 教 育 科 目                | 基 礎 科 目           |          | 10 | 12   | 6 | 6～               |     |
|                            | 実 践 科 目           |          | 1  | 9    |   |                  |     |
|                            | 展 開 科 目           | 国際日本文化領域 |    | 12   |   |                  |     |
|                            |                   | 生活環境領域   |    |      |   |                  |     |
|                            |                   | 心理領域     |    |      |   |                  |     |
|                            |                   | 教育・こども領域 |    |      |   |                  |     |
|                            | 専 門 演 習 ・ 卒 業 研 究 |          | 12 |      |   |                  |     |
| 学 際 教 育 科 目                |                   |          |    |      |   | 0～20             |     |
| 合 計                        |                   |          | 27 | 63   |   | 34               | 124 |

### 2. 履修方法

以下の1～3の各科目区分の必要単位数を満たしつつ、同時に1～3の合計が124単位以上になるように履修しなければならない。各科目区分の最低必要単位数を合計しても124単位にはならないので注意すること。

以下、（ ）内の数字は単位数を示す。

#### 1. 共通教育科目（36単位以上）

専門知識を社会的な視点から再認識し、幅広い学問分野に関心を持ちながら成長するために重要な科目群である。多面的な視野を持ち、知識と技能を社会貢献に結びつける力を身につけるため、共通教育科目は4年間を通して学ぶことが必要である。

##### (1) 必修科目と履修単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

教養科目：「人間と情報」領域のAIとデータサイエンス入門（2）

##### (2) 選択必修科目と履修単位数について

教養科目の「人間と文化」及び「人間と社会」の2領域から各4単位以上及び「人間と自然」領域から2単位以上、基盤科目の「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、「自己の形成」から2単位以上、「外国語」から8単位以上（英語に関する科目4単位以上を含む。）、全体から選択8単位以上を必ず履修しなければならない。

##### (3) 外国人留学生の外国語の履修について

外国人留学生は、以下の日本語の科目を履修すること。なお、その内の4単位は、「外国語」の英語に関する科目4単位に充てることができる。

1年次に履修する科目

日本語講読Ⅰ（1）、日本語講読Ⅱ（1）、日本語表現Ⅰ（1）、日本語表現Ⅱ（1）、

2年次に履修する科目

日本語特講Ⅰ（1）、日本語特講Ⅱ（1）

(4) 1年次に履修すべき科目と単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

教養科目：AIとデータサイエンス入門（2）

選択必修科目

基盤科目：「外国語」から英語に関する科目4単位以上

2. 専門教育科目（68単位以上）

(1) 必修科目と履修単位数について

社会情報基礎科目計10単位、社会情報実践科目1単位、専門演習・卒業研究12単位の計23単位は、全員が必ず履修しなければならない。

- ◇ 1年次に履修する科目 社会情報概論（2）、社会情報基礎演習Ⅰ（2）、社会情報基礎演習Ⅱ（2）、
- ◇ 2年次に履修する科目 社会情報発展演習Ⅰ（1）、社会情報発展演習Ⅱ（1）、情報処理（2）、情報演習Ⅱ（1）
- ◇ 3年次に履修する科目 社会情報演習（4）
- ◇ 4年次に履修する科目 卒業研究（8）

(2) 選択必修科目と履修単位数について

社会情報基礎科目から12単位以上、社会情報実践科目の選択科目から9単位以上、社会情報基礎科目及び社会情報実践科目の全体から選択6単位以上、社会情報展開科目の中から12単位以上を選択し、必ず履修しなければならない。

(3) 選択科目と履修単位数について

上記（1）（2）（3）を除く専門教育科目から6単位以上選択し、必ず履修しなければならない。

3. 学際教育科目

共生プロジェクト実践、海外文化研修、海外ボランティア実践および他学部・他学環・他学科の専門教育科目のうち、科目を設置した学部・学環・学科が認めた専門教育科目（履修科目表の科目名に☆印を付した科目）を選択し履修できる。履修した科目の単位は20単位を上限として卒業要件単位に算入される。

4. ゼミへの所属について

「社会情報演習」（3年次）及び「卒業研究」（4年次）は、本課程専任教員が担当するゼミの1つに所属して行われる。所属したゼミで個別に研究課題を設定し、それに取組み、最終的に4年次で卒業研究（卒業論文）の完成を目指す。事前に自分の希望する研究領域についてよく考え、シラバスを読み各ゼミの内容をよく理解しておくこと。

(1) 所属ゼミ決定のプロセス

①2年次11月 ゼミ選択説明会。

②希望ゼミを選択し、指定された方法で学事課に提出。

③各ゼミの希望者数に大きな偏りが生じた場合は調整を行う。

④所属ゼミの決定

※「ゼミ選択説明会」では、ゼミの詳しい内容や所属までのスケジュールなど重要な説明をするので必ず出席すること。（欠席するとゼミ選択において不利になることがある。）説明会の日程は掲示にて周知するので掲示板に注意しておくこと。

5. 卒業研究について

卒業研究に関する提出物をそれぞれ決められた書式に従って、期日までに提出しなければならない。詳細は掲示や手引き等で確認すること

### 3. 履修単位表

( ) 数字は単位数

| 区分   | 卒業に要する単位 (124)                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                     |         |                                                                                                                                      |                                                                                                                  |         |               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------|
|      | 共通教育科目 (36～)                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                     |         | 専門教育科目 (68～)                                                                                                                         |                                                                                                                  |         | 学際教育科目 (0～20) |
|      | 必修 (4)                                                                                                            | 選択必修 (18)                                                                                                                                                                                                           | 選択 (8～) | 必修 (23)                                                                                                                              | 選択必修 (39)                                                                                                        | 選択 (6～) | 選択            |
| 1 年次 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教学 (1)</li> <li>・キリスト教音楽概論 (1)</li> <li>・AIとデータサイエンス入門 (2)</li> </ul> | 教養科目<br>「人間と文化」「人間と社会」の2領域から各4単位以上<br>「人間と自然」領域から2単位以上<br><br>基盤科目<br>「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、<br>「自己の形成」の選択科目から2単位以上<br><br>「外国語」の選択科目から8単位 (英語に関する科目4単位を含む) 以上<br>外国人留学生にあつては、日本語の科目4単位の修得をもって英語に関する科目4単位に充てることができる |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情報概論 (2)</li> <li>・社会情報基礎演習 I (2)</li> <li>・社会情報基礎演習 II (2)</li> </ul>                     | 「社会情報基礎科目」から12単位以上<br><br>「社会情報実践科目」の選択科目から9単位以上<br><br>「社会情報基礎科目」「社会情報実践科目」の全体から6単位以上<br><br>「社会情報展開科目」から12単位以上 |         |               |
| 2 年次 |                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情報発展演習 I (1)</li> <li>・社会情報発展演習 II (1)</li> <li>・情報処理 (2)</li> <li>・情報演習 II (1)</li> </ul> |                                                                                                                  |         |               |
| 3 年次 |                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会情報演習 (4)</li> </ul>                                                                        |                                                                                                                  |         |               |
| 4 年次 |                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                     |         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業研究 (8)</li> </ul>                                                                          |                                                                                                                  |         |               |

(注1) 授業科目については「履修科目表」で確認すること。

(注2) 授業科目の履修・登録にあたっては、「履修登録の手引き」「開講科目表」「講義概要 (シラバス)」及び「授業時間表」を参照すること。

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について

## 4. カリキュラム・マップ

| 学位授与<br>方針ND6 | キリスト教精神・女性教育 |  | 知識・理解              |                        | 汎用的技能                                               |                                                    | 態度・志向性             | 統合的な学習経験と総合的思考力 |                 |
|---------------|--------------|--|--------------------|------------------------|-----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|--------------------|-----------------|-----------------|
|               | DP1          |  | DP2                |                        | DP3                                                 |                                                    | DP5                | DP6             |                 |
|               | 自分を育てる力      |  | 知識・理解力             |                        | 言語力                                                 |                                                    | 共生・協働する力           | 創造・発信力          |                 |
| 4<br>年<br>次   | 後期           |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               | 集中等          |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               | 前期           |  |                    |                        |                                                     |                                                    | EDN4500            | 国際理解教育          | INF4600 卒業研究    |
|               |              |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
| 3<br>年<br>次   | 後期           |  | LDR3253<br>LDR3254 | ソーシャルマーケティング論<br>女性起業論 | GBE3301<br>GBE3302<br>GBE3350<br>GBE3351<br>GBE3352 | 留学の英会話<br>おもてなしの英会話<br>実用英語基礎<br>身近な英文法Ⅱ<br>TOEICⅡ | EDN3402<br>LDA3450 | 情報教育<br>家族社会学   | INF3650 情報科教育法Ⅱ |
|               | 集中等          |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               | 前期           |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               |              |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
| 2<br>年<br>次   | 後期           |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               | 集中等          |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               | 前期           |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               |              |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
| 1<br>年<br>次   | 後期           |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               | 集中等          |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               | 前期           |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |
|               |              |  |                    |                        |                                                     |                                                    |                    |                 |                 |



## ◇女性キャリアデザイン学環◇

### 8. 授業科目の履修・登録

- ・女性キャリアデザイン学環の履修方法について



## 8 女性キャリアデザイン学環の履修方法について

### 1. 卒業に必要な単位

科目区分別の卒業に必要な最低限の単位数（卒業の要件）

| 科 目 区 分     |         |                                | 必修 | 選択必修 | 左 欄 以 外<br>からの選択 | 計   |
|-------------|---------|--------------------------------|----|------|------------------|-----|
| 共通教育科目      | 教 養 科 目 | 人間と文化                          |    | 2    | 3～               | 124 |
|             |         | 人間と社会                          |    | 2    |                  |     |
|             |         | 人間と自然                          |    | 2    |                  |     |
|             |         | 人間と情報                          |    | 1    |                  |     |
|             |         | 教育の基礎                          |    |      |                  |     |
|             | 基 盤 科 目 | カトリック教育                        | 2  | 4    |                  |     |
|             |         | 自己の形成                          |    | 2    |                  |     |
|             |         | 外国語                            |    | 8    |                  |     |
|             |         | スポーツとウェルネス                     |    |      |                  |     |
| 専門教育科目      | 基 盤 科 目 |                                | 6  | 10   | 14～              |     |
|             | 展 開 科 目 |                                |    | 10   |                  |     |
|             | 実践・統合科目 | ワークショップ及び<br>フィールドワーク科目群       | 2  | 6    |                  |     |
|             |         | ワークショップ及び<br>フィールドワーク科目群<br>以外 |    | 4    |                  |     |
|             |         | 専 門 演 習 ・ 卒 業 研 究              |    | 16   |                  |     |
| 学 際 教 育 科 目 |         |                                |    |      | 0～30             |     |
| 合 計         |         |                                | 26 | 51   | 47               | 124 |

### 2. 履修方法

以下の1～3の各科目区分の必要単位数を満たしつつ、同時に1～3の合計が124単位以上になるように履修しなければならない。各科目区分の最低必要単位数を合計しても124単位にはならないので注意すること。

以下、（ ）内の数字は単位数を示す。

#### 1. 共通教育科目（26単位以上）

専門知識を社会的な視点から再認識し、幅広い学問分野に関心を持ちながら成長するために重要な科目群である。多面的な視野を持ち、知識と技能を社会貢献に結びつける力を身につけるため、共通教育科目は4年間を通して学ぶことが必要である。

##### (1) 必修科目と履修単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

##### (2) 選択必修科目と履修単位数について

教養科目の「人間と文化」、「人間と社会」、「人間と自然」の3領域から各2単位以上、「人間と情報」の情報演習Ⅰa

(1) 若しくは情報演習Ⅰb（1）又は情報演習Ⅱ（1）から1単位以上、基盤科目の「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、「自己の形成」から2単位以上、「外国語」から8単位以上（英語に関する科目4単位以上を含む。）、全体から選択3単位以上を必ず履修しなければならない。

##### (3) 外国人留学生の外国語の履修について

外国人留学生は、以下の日本語の科目を履修すること。なお、その内の4単位は、「外国語」の英語に関する科目4単位に充てることができる。

1年次に履修する科目

日本語講読Ⅰ（1）、日本語講読Ⅱ（1）、日本語表現Ⅰ（1）、日本語表現Ⅱ（1）、  
2年次に履修する科目

日本語特講Ⅰ（1）、日本語特講Ⅱ（1）

(4) 1年次に履修すべき科目と単位数について

必修科目

基盤科目：キリスト教学（1）、キリスト教音楽概論（1）

選択必修科目

教養科目：情報演習Ⅰa（1）若しくは情報演習Ⅰb（1）又は情報演習Ⅱ（1）から1単位以上

基盤科目：「外国語」から英語に関する科目4単位以上

2. 専門教育科目（68単位以上）

(1) 必修科目と履修単位数について

基盤科目計6単位、専門演習・卒業研究計16単位は、全員が必ず履修しなければならない。

- ◇ 1年次に履修する科目 女性キャリアデザイン概論（2）、基礎演習Ⅰ（2）、基礎演習Ⅱ（2）
- ◇ 2年次に履修する科目 発展演習Ⅰ（2）、発展演習Ⅱ（2）
- ◇ 3年次に履修する科目 専門演習（4）
- ◇ 4年次に履修する科目 卒業研究（8）

(2) 選択必修科目と履修単位数について

基盤科目から10単位以上、展開科目から10単位以上、実践・統合科目の「ワークショップ」及び「フィールドワーク」科目群から計8単位以上、実践・統合科目（「ワークショップ」及び「フィールドワーク」科目群を除く。）から4単位以上を履修しなければならない。

◇「ワークショップ」「フィールドワーク」科目群の履修について

- ①「ワークショップ(Will)」、「ワークショップ(Can)」又は「ワークショップ(Must)」のうち1科目及び「フィールドワークⅠ(Will)」の計2科目4単位を修得する。
- ②「ワークショップ」並びに「フィールドワークⅡ」、「フィールドワークⅢ」及び「フィールドワークⅣ」のいずれかの科目から2科目4単位を修得する。
- ③①及び②の4科目8単位には、(Will)、(Can)、(Must)及び(Ref)の全てを含めるように修得する。  
※「ワークショップ」「フィールドワーク」は、適切な科目選択のために、事前に説明会や指導教員との面談を実施する。実習内容や実習の目的などを理解したうえで履修することが必要であるため、説明会等には必ず参加すること。

(3) 選択科目と履修単位数について

上記(1)(2)を除く専門教育科目から14単位以上選択し、合計68単位以上必ず履修しなければならない。

3. 学際教育科目

共生プロジェクト実践および他学部・他学環・他学科の専門教育科目のうち、科目を設置した学部・学環・学科が認めた専門教育科目（履修科目表の科目名に☆印を付した科目）を選択し履修できる。履修した科目の単位は30単位を上限として卒業要件単位に算入される。

4. ゼミへの所属について

「専門演習」（3年次）及び「卒業研究」（4年次）は、本学環教員が担当するゼミの1つに所属して行われる。所属したゼミで個別に研究課題を設定し、それに取組み、最終的に4年次で卒業研究（卒業論文・卒業制作）の完成を目指す。事前に自分の希望する研究領域についてよく考え、シラバスを読み各ゼミの内容をよく理解しておくこと。

所属ゼミ決定のプロセス

- ①2年次にゼミ分属説明会を実施する。
- ②希望ゼミを選択し、所定の様式で学生が各自提出する。
- ③各ゼミの希望者数に大きな偏りが生じた場合は調整を行う。
- ④所属ゼミを決定する。

※「ゼミ分属説明会」では、ゼミの詳しい内容や所属までのスケジュールなど重要な説明をするので必ず出席すること。（欠席するとゼミ選択において不利になることがある。）説明会の日程はmanabaやUNIPAにて周知するので常日頃から見ておくこと。

5. 卒業研究について

卒業研究に関する提出物をそれぞれ決められた書式に従って、期日までに提出しなければならない。詳細は掲示や手引き等で確認すること。

### 3. 履修単位表

( ) 数字は単位数

| 区分   | 卒業に要する単位 (124)                |                                                                                                                                                              |         |                                               |                                                                                                                 |          |               |
|------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------|
|      | 共通教育科目 (26～)                  |                                                                                                                                                              |         | 専門教育科目 (68～)                                  |                                                                                                                 |          | 学際教育科目 (0～30) |
|      | 必修 (2)                        | 選択必修 (21)                                                                                                                                                    | 選択 (3～) | 必修 (22)                                       | 選択必修 (32)                                                                                                       | 選択 (14～) | 選択            |
| 1 年次 | ・キリスト教学 (1)<br>・キリスト教音楽概論 (1) | 教養科目<br>「人間と文化」<br>「人間と社会」<br>「人間と自然」の3領域から各2単位以上<br><br>「人間と情報」の情報演習Ⅰaまたは情報演習Ⅰbまたは情報演習Ⅱから1単位以上<br><br>基盤科目<br>「カトリック教育」の選択科目から4単位以上、<br>「自己の形成」の選択科目から2単位以上 |         | ・女性キャリアデザイン概論 (2)<br>・基礎演習Ⅰ (2)<br>・基礎演習Ⅱ (2) | 基盤科目から10単位以上、展開科目から10単位以上、実践・統合科目の「ワークショップ」及び「フィールドワーク」科目群から計8単位以上、実践・統合科目（「ワークショップ」及び「フィールドワーク」科目群を除く。）から4単位以上 |          |               |
| 2 年次 |                               | 「外国語」の選択科目から8単位（英語に関する科目4単位を含む）以上<br><br>外国人留学生にあっては、日本語の科目4単位の修得をもって英語に関する科目4単位に充てることができる。                                                                  |         | ・発展演習Ⅰ (2)<br>・発展演習Ⅱ (2)                      |                                                                                                                 |          |               |
| 3 年次 |                               |                                                                                                                                                              |         | ・専門演習 (4)                                     |                                                                                                                 |          |               |
| 4 年次 |                               |                                                                                                                                                              |         | ・卒業研究 (8)                                     |                                                                                                                 |          |               |

(注1) 授業科目については「履修科目表」で確認すること。

(注2) 授業科目の履修・登録にあたっては、「履修登録の手引き」「開講科目表」「講義概要（シラバス）」及び「授業時間表」を参照すること。

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について

## 4. カリキュラム・マップ

| 学年履<br>方針ND6 |          | キリスト教精神・女性教育 |  | 知識・理解   |               | 汎用的技能   |                 | 態度・志向性  |                          | 統合的な学習経験と総合的思考力 |                     |                  |                                               |             |                  |
|--------------|----------|--------------|--|---------|---------------|---------|-----------------|---------|--------------------------|-----------------|---------------------|------------------|-----------------------------------------------|-------------|------------------|
|              |          | DP1          |  | DP2     |               | DP3     |                 | DP4     |                          | DP5             |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          | 自分を育てる力      |  | 知識・理解力  |               | 言語力     |                 | 思考・解決力  |                          | 共生・協働する力        |                     |                  |                                               |             |                  |
| 次<br>年       | 集中<br>前期 |              |  |         |               |         |                 |         |                          |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
| 3<br>年次      | 集中<br>後期 |              |  | LDR3253 | ソーシャルマーケティング論 | GBE3350 | 実用英語基礎          | EGE3402 | Persuasive Communication | EGR3550         | ビジネスマナー演習           | EGE3552          | Global Career Skills Development              |             |                  |
|              |          |              |  | LDR3254 | 女性起業論         | GBE3351 | 身近な英文法Ⅱ         | EGL3403 | 対人コミュニケーション              |                 |                     |                  | LDA3654                                       | ライフプランニング実習 |                  |
|              |          |              |  | PSA3254 | 産業・組織心理学      | GBE3352 | TOEICⅣ          | LDA3450 | 家族社会学                    |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         |                          | WCD3400         | フィールドワークⅡ (Will)    | EGR3505          | エアポート研修                                       | WCD3600     | フィールドワークⅡ (Will) |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         |                          | WCD3401         | フィールドワークⅡ (Can)     | EGR3601          | 旅行観光実習                                        | WCD3601     | フィールドワークⅡ (Can)  |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         |                          | WCD3402         | フィールドワークⅡ (Must)    | GCP3502          | インターンシップⅠ                                     | WCD3602     | フィールドワークⅡ (Must) |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         |                          | WCD3403         | フィールドワークⅡ (Ref)     | GCP3503          | インターンシップⅡ                                     | WCD3603     | フィールドワークⅡ (Ref)  |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         |                          |                 | LDA3502             | コミュニケーション実践      | WCD3604                                       | 専門演習        |                  |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         |                          |                 | WCD3500             | フィールドワークⅢ (Will) |                                               |             |                  |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         |                          |                 | WCD3501             | フィールドワークⅢ (Can)  |                                               |             |                  |
| 2<br>年次      | 集中<br>前期 |              |  | EDI3206 | コミュニティと福祉     | GBE3301 | 留学の英会話          | EGE3404 | Argumentation and Debate | EGE3550         | Women in Leadership |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  | LDR3203 | マーケティング論      | GBE3302 | おもてなしの英会話       | EGL3456 | 異文化間コミュニケーション            | EGR3552         | ホスピタリティ&キャリア        |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  |         |               | GBE3303 | ビジネス英会話         | GEI3400 | AⅠとデータサイエンス              | GCP3504         | 社会とキャリア             |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  |         |               | GBE3304 | TOEICⅢ          |         |                          |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  | GCE2150 | キリスト教と日本文化    | CSA2255 | 京都学             | GBE2256 | 英語実践 (4技能)Ⅱ              | CSA2403         | 京都フィールドワーク研究        | CSA2561          | 働き方と子どもの権利                                    | WCD2600     | 発展演習Ⅱ            |
|              |          |              |  | GCE2151 | キリスト教美術       | CSA2260 | 子どもの読書とメディア     | GBE2257 | 数えて見える英語表現               | CSA2457         | プレゼンテーション演習         | EGR2550          | エアライン・ビジネス論                                   |             |                  |
|              |          |              |  |         |               | CSA2268 | 多文化理解           | GBE2258 | TOEICⅡ                   | GEI2451         | AⅠとデータサイエンス入門       |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  |         |               | EGE2250 | Global Issues   | GBJ2250 | 日本語特講Ⅱ                   | GEI2452         | プログラミング演習           |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  |         |               | GEI2250 | 情報技術リテラシー       | GCP2250 | アカデミック・ライティング            |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  |         |               | GET2250 | 教育史             | GBE2259 | 留学英語Ⅱ                    |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
| 1<br>年次      | 集中<br>後期 |              |  | INF2250 | ICTビジネス論      |         |                 |         |                          |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  | LDA2256 | ライフプランニング論    |         |                 |         |                          |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  | CSA1257 | メディアコンテンツ表現法  |         |                 |         |                          |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  | CSA1253 | 現代出版事情        |         |                 |         |                          |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  | LDR2252 | ビジネスの基礎Ⅱ      |         |                 |         |                          |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         | WCD2400                  | ワークショップ (Ref)   | GCP2500             | キャリア形成ゼミ         |                                               |             |                  |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         |                          | GCP2551         | 海外キャリア実習            |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  | EGE2101 | ホスピタリティ・スキル演習 | CSA2203 | 京都資料論           | CSA2305 | プレゼンテーション概論              | CSA2406         | 日本語の朗読              | EGE2502          | Intercultural Communication and Acculturation |             |                  |
|              |          |              |  |         |               |         |                 |         |                          |                 |                     |                  |                                               |             |                  |
|              |          |              |  | GCE2101 | キリスト教思想       | EGE2201 | Popular Culture | EGE2202 | Public Speaking          | EGL2400         | ことばとコミュニケーション       | EGE2503          | Study Abroad Preparation                      |             |                  |

## 9. キャリア教育

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録に  
あたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリア  
デザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の  
履修について



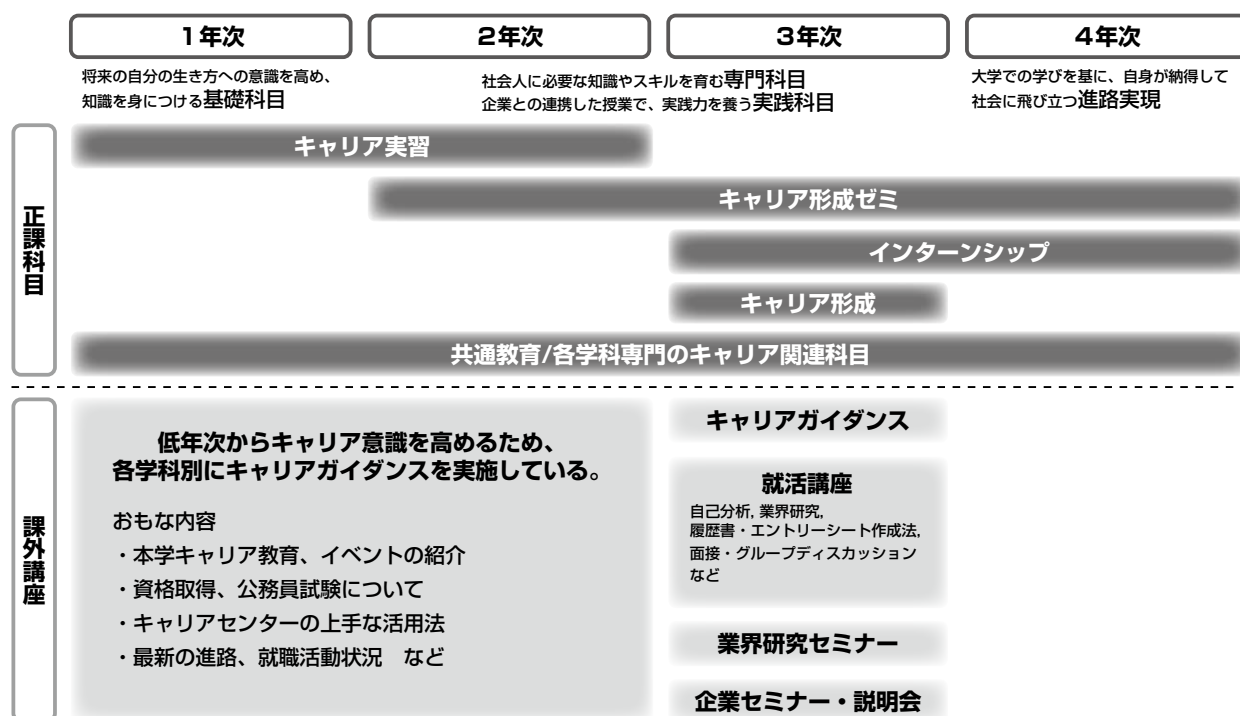


## 9 キャリア教育

本学では、「キャリア」という言葉を「職業の経歴」という意味に限定せず「人生」ひいては「生き方」といった意味で捉えている。人生100年時代と言われる中で学生がどのような人生を送りたいのか、どのような選択を行うべきかを主体的に考える「ライフプランニング」を構築するため、就業力を自己開発する実践キャリア教育に取り組んでいる。

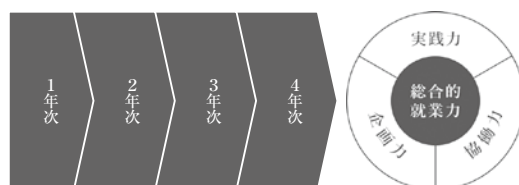
### 1. キャリア形成支援

初年次から卒業まで学生のキャリア発達にあわせて学部・学科・学年ごとに段階的なライフキャリア形成科目を開講している。必要な知識を身につけ、行動・実践することで力に変え、自身が納得して進路実現できるよう支援している。



### 2. キャリア教育の達成目標

社会で必要とされる「社会人基礎力」をはじめ、柔軟な思考力や問題解決力を身につけるプログラムを設計している。また、京都ノートルダム女子大学の特性を生かし、女性ならではの課題や可能性を考慮したキャリアプランニング力を低年次から受講可能な複数のライフキャリア形成科目を通じて高めている。



低年次よりライフプランニングへの意識を高め、企画力、協働性、実践力を身に付ける。最終的には卒業時に総合的な就業力を身に付けることを目標としている。

### 3. PBL型「キャリア形成ゼミ」

理論と実践を結びつけた教育の一環として展開している。企業や地域・団体から提示された課題の解決やプランの立案など、現実の課題に取り組む授業（ゼミ）を複数実施している。また、グループで企画提案からプレゼンテーションまで取り組むことにより、協調性など社会に必要な多くのスキルを培う。



## 10. 履修科目表

- (1) 共通教育科目・学際教育科目
- (2) 英語英文学科専門教育科目
- (3) 国際日本文化学科専門教育科目
- (4) 生活環境学科専門教育科目
- (5) 心理学科専門教育科目
- (6) こども教育学科専門教育科目
- (7) 社会情報学環専門教育科目
- (8) 女性キャリアデザイン学環専門教育科目
- (9) 免許・資格・プログラム関係

## 履修科目表の見方

### 1 他学科等科目

科目名の前に☆印が付いている科目は、他学部・他学環・他学科所属の学生が履修できる科目。なお、履修できる科目であっても学年配当や履修条件があるので、それらを遵守すること。

### 2 配当学年

標準的な履修年次を示している。配当学年より下の年次では履修できないが、その年次に履修できなかった場合は上の年次で履修することができる。

### 3 前提科目

科目Aの単位を既に修得していることが科目Bを履修するための条件である場合、科目Aを科目Bの「前提科目」といい、備考欄に **前提科目** マークで示している。前提科目Aが未修得のまま科目Bを登録しようとすると、例外なく「登録エラー」となりその科目は登録できないので十分注意すること。

### 4 前提科目以外の履修条件

備考欄には前提科目のほか、「『〇〇学Ⅰ』履修者であること」などと指示している場合がある。これらは上記3の「登録エラー」には関係しないが、先に履修しておくべき科目や、あらかじめ必要となる学力レベルなどを示したものである。これらの条件を満たした人を対象に授業が行われるので、原則として従うこと（英語英文学科の専門教育科目については、指定された条件を満たさずに当該科目の履修を希望する場合は科目担当教員又は学科の許可が必要。）。

### 5 備考欄のその他の記載について

- ・ 1年置きに開講される科目は、次のとおり記載している。  
隔年開講1＝西暦が奇数の年に開講される。  
隔年開講2＝西暦が偶数の年に開講される。

# 10-(1) 共通教育科目

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目             | クラス<br>別 | 単位 | 必修                                                          | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備                                                                            | 考 |
|----------------|-------------|---------------------|----------|----|-------------------------------------------------------------|----------|----------|-----|----------------|------------------------------------------------------------------------------|---|
| 【教養科目】         |             |                     |          |    |                                                             |          |          |     |                |                                                                              |   |
| 人間と文化          |             |                     |          |    |                                                             |          |          |     |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEH 1250    | 日本文学                |          | 2  | 2単位<br>以上<br>選択<br>必修<br><br>〔社会<br>情報学<br>環〕は<br>4単位<br>以上 | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEH 1200    | 外国文学                |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEH 1201    | 日本近現代史              |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEH 1202    | 東アジア近現代史            |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEH 1252    | ヨーロッパ近現代史           |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEH 1150    | 歴史の中の女性             |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEH 1253    | 文化人類学               |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEH 1254    | 哲学入門                |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                | 〔兼〕社会情報学環専門教育科目                                                              |   |
| 1102           | GEH 1255    | 日本の歴史と文化            |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                | 〔兼〕国際日本文化学科専門教育科目                                                            |   |
| 人間と社会          |             |                     |          |    |                                                             |          |          |     |                |                                                                              |   |
| 1102           | GES 1200    | 暮らしの法律学             |          | 2  | 2単位<br>以上<br>選択<br>必修<br><br>〔社会<br>情報学<br>環〕は<br>4単位<br>以上 | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GES 1250    | 憲法と人権               |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GES 1251    | 暮らしの経済学             |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GES 1201    | 国際関係論入門             |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GES 1202    | 社会学概論               |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GES 1150    | ジェンダー論              |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GES 1500    | ボランティア概論            |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                                              |   |
| 人間と自然          |             |                     |          |    |                                                             |          |          |     |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEN 1400    | 身近な自然科学             |          | 2  | 2単位<br>以上<br>選択<br>必修                                       | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEN 1450    | 暮らしの統計学             |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                | 〔兼〕社会情報学環専門教育科目                                                              |   |
| 1102           | GEN 1150    | 生命倫理                |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEN 1250    | 暮らしと電気・エネルギー        |          | 2  |                                                             | 1        | 講義       | 後期  |                | 〔兼〕生活環境学科専門教育科目・<br>社会情報学環専門教育科目<br>集中                                       |   |
| 1102           | GEN 1203    | 日常の中の数学             |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                | メディア利用<br>(学則第13条第2項適用)                                                      |   |
| 1102           | GEN 1551    | 自然災害からの防災・減災        |          | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                                              |   |
| 人間と情報          |             |                     |          |    |                                                             |          |          |     |                |                                                                              |   |
| 1102           | GEI 1400    | 情報演習Ⅰ a             | A～E      | 1  | 1単位<br>以上<br>選択<br>必修                                       | 1        | 演習       | 前期  | ○              | 「情報演習Ⅰ b」の単位を修得した<br>ものは履修できない<br>各クラス定員40人<br>〔兼〕社会情報学環専門教育科目               |   |
| 1102           | GEI 1401    | 情報演習Ⅰ b             |          | 1  |                                                             | 1        | 演習       | 前期  | ○              | メディア利用<br>(学則第13条第2項適用)<br>「情報演習Ⅰ a」の単位を修得した<br>ものは履修できない<br>〔兼〕社会情報学環専門教育科目 |   |
| 1102           | GEI 2400    | 情報演習Ⅱ               | A～D      | 1  |                                                             | 1・2      | 演習       | 前・後 |                | 各クラス定員35人<br>〔兼〕社会情報学環専門教育科目                                                 |   |
| 1102           | GEI 2450    | 情報処理                | A～C      | 2  |                                                             | 2        | 講義<br>演習 | 前・後 |                | 各クラス定員35人<br>〔兼〕社会情報学環専門教育科目                                                 |   |
| 1102           | GEI 1200    | 情報の科学と倫理            |          | 2  |                                                             | 1        | 講義       | 前期  |                | メディア利用<br>(学則第13条第2項適用)<br>〔兼〕社会情報学環専門教育科目                                   |   |
| 1102           | GEI 1450    | SNSコミュニケーション<br>スキル |          | 2  |                                                             | 1        | 講義       | 後期  |                | メディア利用<br>(学則第13条第2項適用)<br>〔兼〕社会情報学環専門教育科目                                   |   |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録に  
あたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリア  
デザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の  
履修について

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目            | クラス<br>別 | 単位 | 必修                       | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備 考                                                 |
|----------------|-------------|--------------------|----------|----|--------------------------|----------|----------|-----|----------------|-----------------------------------------------------|
| 1102           | GEI 2451    | AIとデータサイエンス入門      | A・B      | 2  | <input type="checkbox"/> | 1・2      | 講義       | 後期  | 社              | <input type="checkbox"/> 社会情報学環必修、主要授業科目            |
| 1102           | GEI 3400    | AIとデータサイエンス        |          | 2  |                          | 3        | 講義       | 前期  |                | 〔兼〕社会情報学環専門教育科目                                     |
| 1102           | GEI 2200    | アルゴリズム基礎           |          | 2  |                          | 2        | 講義       | 前期  |                | 〔兼〕社会情報学環専門教育科目                                     |
| 1102           | GEI 2250    | 情報技術リテラシー          | A・B      | 2  |                          | 2        | 講義       | 後期  |                | 各クラス定員35人<br>〔兼〕社会情報学環専門教育科目                        |
| 1102           | GEI 2452    | プログラミング演習          |          | 2  |                          | 2        | 演習       | 後期  |                | 定員35人<br>〔兼〕社会情報学環専門教育科目                            |
| 教育の基礎          |             |                    |          |    |                          |          |          |     |                |                                                     |
| 1102           | GET 1200    | 教育原理               |          | 2  |                          | 1        | 講義       | 前期  |                | 〔兼〕こども教育学科専門教育科目・<br>社会情報学環専門教育科目<br>教科及び教職に関する科目   |
| 1102           | GET 2250    | 教育社会学              |          | 2  |                          | 2        | 講義       | 前期  |                | 〔兼〕こども教育学科専門教育科目・<br>社会情報学環専門教育科目<br>教科及び教職に関する科目   |
| 1102           | GET 1250    | 特別支援教育             |          | 2  |                          | 1        | 講義       | 後期  |                | 〔兼〕こども教育学科専門教育科目・<br>社会情報学環専門教育科目<br>教科及び教職に関する科目   |
| 1102           | GET 1400    | 教育心理学              |          | 2  |                          | 1        | 講義       | 前期  |                | 心理学科の学生は履修できない<br>〔兼〕こども教育学科専門教育科目・<br>教科及び教職に関する科目 |
| 【基盤科目】         |             |                    |          |    |                          |          |          |     |                |                                                     |
| カトリック教育        |             |                    |          |    |                          |          |          |     |                |                                                     |
| 1111           | GCE 1104    | キリスト教学             | A～D      | 1  | ○                        | 1        | 講義       | 前期  | ○              | 7.5コマ クラス指定                                         |
| 1111           | GCE 1105    | キリスト教音楽概論          | A～D      | 1  | ○                        | 1        | 講義       | 前期  | ○              | 7.5コマ クラス指定                                         |
| 1112           | GCE 1151    | 聖書とキリスト教           |          | 2  | 4単位<br>以上<br>選択<br>必修    | 1        | 講義       | 後期  | ○              |                                                     |
| 1112           | GCE 2150    | キリスト教と日本文化         |          | 2  |                          | 2        | 講義       | 後期  |                |                                                     |
| 1112           | GCE 2101    | キリスト教思想            |          | 2  |                          | 2        | 講義       | 前期  |                |                                                     |
| 1112           | GCE 2151    | キリスト教美術            |          | 2  |                          | 2        | 講義       | 後期  |                | メディア利用<br>(学則第13条第2項適用)                             |
| 1112           | GCE 1152    | キリスト教音楽            |          | 2  |                          | 1        | 講義       | 後期  | ○              |                                                     |
| 1112           | GCE 1150    | 宗教と芸術              |          | 2  |                          | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                     |
| 自己の形成          |             |                    |          |    |                          |          |          |     |                |                                                     |
| 1112           | GCP 1101    | 女性とライフキャリア         |          | 2  | 2単位<br>以上<br>選択<br>必修    | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                | 〔兼〕女性キャリアデザイン学環<br>専門教育科目                           |
| 1112           | GCP 2101    | 子育てとワークライフバ<br>ランス |          | 1  |                          | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                | 7.5コマ<br>〔兼〕女性キャリアデザイン学環<br>専門教育科目                  |
| 1112           | GCP 1500    | ホスピタリティ入門          | A・B      | 2  |                          | 1        | 講義       | 前・後 |                | 〔兼〕女性キャリアデザイン学環<br>専門教育科目                           |
| 1112           | GCP 2350    | アカデミック・ライティング      |          | 2  |                          | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                | 〔兼〕社会情報学環専門教育科目                                     |
| 1112           | GCP 3504    | 社会とキャリア            |          | 2  |                          | 3        | 講義       | 前期  |                |                                                     |
| 1112           | GCP 2500    | キャリア形成ゼミ           |          | 2  |                          | 2        | 演習       | 通   |                | 集中                                                  |
| 1112           | GCP 1501    | キャリア実習Ⅰ            |          | 1  |                          | 1・2      | 実習       | 通   |                | 集中                                                  |
| 1112           | GCP 1502    | キャリア実習Ⅱ            |          | 1  |                          | 1・2      | 実習       | 通   |                | 集中                                                  |
| 1112           | GCP 3502    | インターンシップⅠ          |          | 1  |                          | 3・4      | 実習       | 通   |                | 集中                                                  |
| 1112           | GCP 3503    | インターンシップⅡ          |          | 1  |                          | 3・4      | 実習       | 通   |                | 集中                                                  |
| 1112           | GCP 2551    | 海外キャリア実習           | A～D      | 2  |                          | 2・3・4    | 実習       | 夏・春 |                | 集中<br>〔兼〕女性キャリアデザイン学環<br>専門教育科目                     |

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目     | クラス<br>別    | 単位 | 必修                                                          | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備                 | 考 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|----|-------------------------------------------------------------|----------|----------|-----|----------------|-------------------|---|
| 外国語            |             |             |             |    |                                                             |          |          |     |                |                   |   |
| 1112           | GBE 1302    | 英語理解Ⅰ       | A～H・<br>J～K | 1  | 8単位<br>以上選<br>択必修<br>(英語<br>に関す<br>る科目<br>4単位<br>以上を<br>含む) | 1・2・3・4  | 演習       | 前期  | ○              | 各クラス定員20人         |   |
| 1112           | GBE 1303    | 英語表現Ⅰ       | A～H・<br>J～M | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前期  | ○              | 各クラス定員20人         |   |
| 1112           | GBE 1352    | 英語理解Ⅱ       | A～H・<br>J～K | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  | ○              | 各クラス定員20人         |   |
| 1112           | GBE 1353    | 英語表現Ⅱ       | A～H・<br>J～M | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  | ○              | 各クラス定員20人         |   |
| 1112           | GBE 2309    | 日常の英会話      | A～C         | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前・後 |                | 各クラス定員25人         |   |
| 1112           | GBE 2310    | 旅行の英会話      | A・B         | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前・後 |                | 各クラス定員25人         |   |
| 1112           | GBE 3301    | 留学の英会話      | A・B         | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前・後 |                | 各クラス定員25人         |   |
| 1112           | GBE 3302    | おもてなしの英会話   | A～C         | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前・後 |                | 各クラス定員25人         |   |
| 1112           | GBE 3303    | ビジネス英会話     | A・B         | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前・後 |                | 各クラス定員30人         |   |
| 1112           | GBE 2357    | 歌って覚える英語表現  |             | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  |                | 定員25人             |   |
| 1112           | GBE 2311    | 文学で覚える英語表現  | A・B         | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前・後 |                |                   |   |
| 1112           | GBE 2315    | 英語リスニング     |             | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前期  |                | 定員25人             |   |
| 1112           | GBE 3350    | 実用英語基礎      |             | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  |                |                   |   |
| 1112           | GBE 2312    | 身近な英文法Ⅰ     | A・B         | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前期  |                | 英語英文学科の学生は履修できない  |   |
| 1112           | GBE 3351    | 身近な英文法Ⅱ     | A・B         | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  |                | 英語英文学科の学生は履修できない  |   |
| 1112           | GBE 2306    | 英語実践(4技能)Ⅰ  |             | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前期  |                | 集中                |   |
| 1112           | GBE 2356    | 英語実践(4技能)Ⅱ  |             | 1  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  |                | 集中                |   |
| 1112           | GBE 2313    | TOEICⅠ      | A・B         | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前・後 |                | 〔兼〕英語英文学科専門教育科目   |   |
| 1112           | GBE 2358    | TOEICⅡ      | A・B         | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                | 〔兼〕英語英文学科専門教育科目   |   |
| 1112           | GBE 3304    | TOEICⅢ      |             | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                | 〔兼〕英語英文学科専門教育科目   |   |
| 1112           | GBE 3352    | TOEICⅣ      |             | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                | 〔兼〕英語英文学科専門教育科目   |   |
| 1112           | GBE 2314    | 留学英語Ⅰ       |             | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                | 英語英文学科の学生は履修できない  |   |
| 1112           | GBE 2359    | 留学英語Ⅱ       |             | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                | 英語英文学科の学生は履修できない  |   |
| 1112           | GBF 1300    | ドイツ語        |             | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前期  |                | 週2コマ 定員40人        |   |
| 1112           | GBF 1350    | フランス語       | A・B         | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  |                | 週2コマ 各クラス定員40人    |   |
| 1112           | GBF 1301    | スペイン語       | A・B         | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前期  |                | 週2コマ 各クラス定員40人    |   |
| 1112           | GBF 1351    | アラビア語       |             | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  |                | 週2コマ 定員40人        |   |
| 1112           | GBF 1302    | 中国語Ⅰ        | A～D         | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前・後 |                | 週2コマ 初級 各クラス定員40人 |   |
| 1112           | GBF 1352    | 中国語Ⅱ        |             | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  |                | 週2コマ 中級 定員40人     |   |
| 1112           | GBF 2300    | 中国語Ⅲ        |             | 2  |                                                             | 2・3・4    | 演習       | 前期  |                | 週2コマ 上級           |   |
| 1112           | GBF 1303    | ロシア語Ⅰ       | A～C         | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 前・後 |                | 週2コマ 初級 各クラス定員40人 |   |
| 1112           | GBF 1353    | ロシア語Ⅱ       |             | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 後期  |                | 週2コマ 中級 クラス定員40人  |   |
| 1112           | GBF 2301    | ロシア語Ⅲ       |             | 2  |                                                             | 2・3・4    | 演習       | 前期  |                | 週2コマ 上級           |   |
| 1112           | GBF 1354    | 海外研修(語学)Ⅰ   |             | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 夏   |                | 集中                |   |
| 1112           | GBE 1355    | 海外研修(語学)Ⅱ a |             | 2  |                                                             | 1・2・3    | 演習       | 春   |                | 集中                |   |
| 1112           | GBE 1356    | 海外研修(語学)Ⅱ b | A～C         | 2  |                                                             | 1・2・3・4  | 演習       | 夏   |                | 集中                |   |
| 1112           | GBJ 1300    | 日本語講読Ⅰ      |             | 1  |                                                             | 1        | 演習       | 前期  | }              | 外国人留学生は履修すること     |   |
| 1112           | GBJ 1350    | 日本語講読Ⅱ      |             | 1  |                                                             | 1        | 演習       | 後期  |                |                   |   |
| 1112           | GBJ 1301    | 日本語表現Ⅰ      |             | 1  |                                                             | 1        | 演習       | 前期  |                |                   |   |
| 1112           | GBJ 1351    | 日本語表現Ⅱ      |             | 1  |                                                             | 1        | 演習       | 後期  |                |                   |   |
| 1112           | GBJ 2300    | 日本語特講Ⅰ      |             | 1  |                                                             | 2        | 演習       | 前期  |                |                   |   |
| 1112           | GBJ 2350    | 日本語特講Ⅱ      |             | 1  |                                                             | 2        | 演習       | 後期  |                |                   |   |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録に  
あたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリア  
デザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の  
履修について

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目      | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備                              | 考 |
|----------------|-------------|--------------|----------|----|----|----------|----------|-----|----------------|--------------------------------|---|
| スポーツとウェルネス     |             |              |          |    |    |          |          |     |                |                                |   |
| 1112           | GSW 1200    | 女性と健康        |          | 2  |    | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                |   |
| 1112           | GSW 2200    | 人体の構造と機能及び疾病 |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期  |                | [兼]生活環境学科専門教育科目・<br>心理学科専門教育科目 |   |
| 1112           | GSW 1150    | 体育講義         |          | 1  |    | 1        | 講義       | 後期  |                | 前期半7.5コマ                       |   |
| 1112           | GSW 1100    | 体育実技         |          | 1  |    | 1        | 実習       | 前期  |                |                                |   |
| 1112           | GSW 1151    | 健康スポーツ演習     |          | 2  |    | 1        | 演習       | 前・後 |                |                                |   |

必要な単位数は、各学環・学科の「履修方法について」のページを参照のこと。

○ 必修科目（共通）    □ 社会情報学環必修科目

[兼] 所属学環・学科専門教育科目と備考に記載されている科目は、当該学環・学科では共通教育科目ではなく専門教育科目として開設されているため、注意すること。

## 10－(1) 学際教育科目

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目    | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備                               | 考 |
|----------------|-------------|------------|----------|----|----|----------|----------|-----|----------------|---------------------------------|---|
| 【学際教育科目】       |             |            |          |    |    |          |          |     |                |                                 |   |
| 2500           | IDE 1500    | 共生プロジェクト実践 |          | 2  |    | 1・2・3・4  | 演習       | 通   |                | 集中                              |   |
| 2500           | IDE 1252    | 海外文化研修     |          | 1  |    | 1・2・3・4  | 演習       | 夏・春 |                | 集中<br>[兼]女性キャリアデザイン学環専<br>門教育科目 |   |
| 2500           | IDE 1501    | 海外ボランティア実践 |          | 1  |    | 1・2・3・4  | 演習       | 夏・春 |                | 集中<br>[兼]女性キャリアデザイン学環専<br>門教育科目 |   |



# 10－(2) 英語英文学科専門教育科目

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目                 | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備                                 | 考 |
|----------------|-------------|-------------------------|----------|----|----|----------|----------|----|----------------|-----------------------------------|---|
| 【専門基礎科目】       |             |                         |          |    |    |          |          |    |                |                                   |   |
| 2111           | EGB1311     | Academic English I      | A・B      | 2  | ○  | 1        | 演習       | 前期 | ○              | クラス指定                             |   |
| 2111           | EGB1360     | Academic English II     | A・B      | 2  | ○  | 1        | 演習       | 後期 | ○              | クラス指定                             |   |
| 2111           | EGB2315     | Academic English III    | A・B      | 2  | ○  | 2        | 演習       | 前期 | ○              | クラス指定                             |   |
| 2111           | EGB2365     | Academic English IV     | A・B      | 2  | ○  | 2        | 演習       | 後期 | ○              | クラス指定                             |   |
| 2112           | EGB1312     | English Seminar I a     |          | 2  |    | 1        | 演習       | 前期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB1313     | English Seminar I b     |          | 2  |    | 1        | 演習       | 前期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB1314     | English Seminar I c     | A・B      | 2  |    | 1        | 演習       | 前期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB1315     | English Seminar I d     |          | 2  |    | 1        | 演習       | 前期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB1366     | English Seminar II a    |          | 2  |    | 1        | 演習       | 後期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB1367     | English Seminar II b    | A・B      | 2  |    | 1        | 演習       | 後期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB1368     | English Seminar II c    |          | 2  |    | 1        | 演習       | 後期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB1369     | English Seminar II d    |          | 2  |    | 1        | 演習       | 後期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB2316     | English Seminar III a   |          | 2  |    | 2        | 演習       | 前期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB2317     | English Seminar III b   | A・B      | 2  |    | 2        | 演習       | 前期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB2318     | English Seminar III c   | A・B      | 2  |    | 2        | 演習       | 前期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB2319     | English Seminar III d   | A・B      | 2  |    | 2        | 演習       | 前期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB2366     | English Seminar IV a    |          | 2  |    | 2        | 演習       | 後期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB2367     | English Seminar IV b    | A・B      | 2  |    | 2        | 演習       | 後期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB2368     | English Seminar IV c    | A・B      | 2  |    | 2        | 演習       | 後期 | ○              |                                   |   |
| 2112           | EGB2369     | English Seminar IV d    | A・B      | 2  |    | 2        | 演習       | 後期 | ○              |                                   |   |
| 2111           | EGB3304     | Academic English V      | A～D      | 2  | ○  | 3        | 演習       | 前期 | ○              | クラス指定                             |   |
| 2111           | EGB3354     | Academic English VI     | A～D      | 2  | ○  | 3        | 演習       | 後期 | ○              | クラス指定                             |   |
| 2112           | EGB3302     | Communication Skills I  |          | 1  |    | 3        | 演習       | 前期 |                |                                   |   |
| 2112           | EGB3352     | Communication Skills II |          | 1  |    | 3        | 演習       | 後期 |                | 「Communication Skills I」の履修者であること |   |
| 2112           | EGB1304     | 英文法 I                   |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期 |                |                                   |   |
| 2112           | EGB1354     | 英文法 II                  |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期 |                | 「英文法 I」の履修者であること                  |   |
| 2112           | EGB1305     | TOEIC I                 | A・B      | 2  |    | 1        | 講義       | 前期 |                |                                   |   |
| 2112           | EGB1355     | TOEIC II                | A・B      | 2  |    | 1        | 講義       | 後期 |                |                                   |   |
| 2112           | EGB2305     | TOEIC III               |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                   |   |
| 2112           | EGB2355     | TOEIC IV                |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                                   |   |
| 2112           | EGB1306     | TOEFL I                 |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期 |                |                                   |   |
| 2112           | EGB1356     | TOEFL II                |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期 |                |                                   |   |
| 2112           | EGB2360     | ☆海外留学 I a               |          | 1  |    | 2        | 演習       | 後期 |                | 集中                                |   |
| 2112           | EGB2310     | ☆海外留学 I b               |          | 1  |    | 2・3      | 演習       | 前期 |                | 集中                                |   |
| 2112           | EGB2361     | ☆海外留学 II a              |          | 2  |    | 2        | 演習       | 後期 |                | 集中                                |   |
| 2112           | EGB2311     | ☆海外留学 II b              |          | 2  |    | 2・3      | 演習       | 前期 |                | 集中                                |   |
| 2112           | EGB2362     | ☆海外留学 III a             |          | 4  |    | 2        | 演習       | 後期 |                | 集中                                |   |
| 2112           | EGB2312     | ☆海外留学 III b             |          | 4  |    | 2・3      | 演習       | 前期 |                | 集中                                |   |
| 2112           | EGB2363     | ☆海外留学 III c             |          | 4  |    | 2        | 演習       | 後期 |                | 集中                                |   |
| 2112           | EGB2313     | ☆海外留学 III d             |          | 4  |    | 2・3      | 演習       | 前期 |                | 集中                                |   |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について

| 科目<br>種別<br>番号                    | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目                                       | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備 考                                                           |
|-----------------------------------|-------------|-----------------------------------------------|----------|----|----|----------|----------|----|----------------|---------------------------------------------------------------|
| 2112                              | EGB2364     | ☆海外留学Ⅲ e                                      |          | 4  |    | 2        | 演習       | 後期 |                | 集中                                                            |
| 2112                              | EGB2314     | ☆海外留学Ⅲ f                                      |          | 4  |    | 2・3      | 演習       | 前期 |                | 集中                                                            |
| <b>【専門基幹科目】</b>                   |             |                                               |          |    |    |          |          |    |                |                                                               |
| 2111                              | EGF1100     | 英語英文学基礎演習Ⅰ                                    | A～D      | 2  | ○  | 1        | 演習       | 前期 | ○              | クラス指定                                                         |
| 2111                              | EGF1150     | 英語英文学基礎演習Ⅱ                                    | A～D      | 2  | ○  | 1        | 演習       | 後期 | ○              | クラス指定                                                         |
| 2111                              | EGF2200     | ☆英米文学概論                                       |          | 2  | ○  | 1        | 講義       | 後期 | ○              |                                                               |
| 2111                              | EGF2201     | ☆言語学概論                                        |          | 2  | ○  | 1        | 講義       | 後期 | ○              |                                                               |
| 2111                              | EGF2202     | ☆コミュニケーション学概論                                 |          | 2  | ○  | 1        | 講義       | 後期 | ○              |                                                               |
| 2112                              | EGF2250     | 専門講読(英文学)                                     |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 | ○              | クラス指定                                                         |
| 2112                              | EGF2251     | 専門講読(米文学)                                     |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 | ○              | クラス指定                                                         |
| 2112                              | EGF2254     | 研究方法論(コミュニケーション学)                             |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 | ○              |                                                               |
| 2112                              | EGF2255     | 研究方法論(英語教育学)                                  | A・B      | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 | ○              | クラス指定                                                         |
| 2112                              | EGF2256     | 研究方法論(言語学)                                    | A・B      | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 | ○              |                                                               |
| <b>【専門展開科目(グローバルコミュニケーション領域)】</b> |             |                                               |          |    |    |          |          |    |                |                                                               |
| 2122                              | EGE3553     | Comparative Culture                           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGE2202     | Global Japan Studies                          |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGE3550     | Women in Leadership                           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGE2201     | Popular Culture                               |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGE3402     | Persuasive Communication                      |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGE2302     | Public Speaking                               |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 前期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGE3404     | Argumentation and Debate                      |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 前期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGE3652     | Global Career Skills Development              |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGE2502     | Intercultural Communication and Acculturation |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              | 「異文化間コミュニケーション」を修得したものは履修できない                                 |
| 2122                              | EGE2503     | Study Abroad Preparation                      |          | 1  |    | 2        | 演習       | 前期 | ○              | 集中 全7.5コマ                                                     |
| <b>【専門展開科目(英語文化領域)】</b>           |             |                                               |          |    |    |          |          |    |                |                                                               |
| 2122                              | EGL2200     | ☆英文学の歴史                                       |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGL2201     | ☆米文学の歴史                                       |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGL2450     | ☆英文学作品研究                                      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGL2451     | ☆米文学作品研究                                      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGL3450     | ☆映画論                                          |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGL3459     | ☆イギリスの社会と文化                                   |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGL3453     | ☆アメリカの社会と文化                                   |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGL3250     | Global Literature Workshop                    |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGL2202     | ☆英語の歴史                                        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGL2453     | ☆ことばのしくみ                                      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              |                                                               |
| 2122                              | EGL3458     | ☆ことばと意味                                       |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGL3455     | ☆ことばと社会                                       |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                | 「言語学概論」又は「英語の歴史」の履修者であること                                     |
| 2122                              | EGL3406     | ☆ことばの音と形態                                     |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGL3403     | ☆対人コミュニケーション                                  |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                                                               |
| 2122                              | EGL3456     | ☆異文化間コミュニケーション                                |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                | 「Intercultural Communication and Acculturation」を修得したものは履修できない |
| 2122                              | EGL2400     | ☆ことばとコミュニケーション                                |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              |                                                               |

| 科目<br>種別<br>番号     | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目        | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備 考                                              |
|--------------------|-------------|----------------|----------|----|----|----------|----------|-----|----------------|--------------------------------------------------|
| <b>【専門関連科目】</b>    |             |                |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| 英語教育領域             |             |                |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| 2132               | EGR2200     | 英語科教育法Ⅰ        |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期  | ○              |                                                  |
| 2132               | EGR2250     | 英語科教育法Ⅱ        |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期  | ○              |                                                  |
| 2132               | EGR3200     | 英語科教育法Ⅲ        |          | 2  |    | 3        | 演習       | 前期  | ○              | 英語英文学科の必修科目(1.2年次配当)を履修済みであること                   |
| 2132               | EGR3250     | 英語科教育法Ⅳ        |          | 2  |    | 3        | 演習       | 後期  | ○              | 「英語科教育法Ⅰ・Ⅱ」履修済みであること<br>学科の定めたTOEICの基準点を満たしていること |
| 2132               | EGR2202     | ☆こども英語指導法(理論編) |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  | ○              |                                                  |
| 2132               | EGR2252     | ☆こども英語指導法(実践編) |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  | ○              | 「こども英語指導法(理論編)」の履修者であること                         |
| 2132               | EGR3450     | ☆応用言語学         |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                |                                                  |
| 2132               | EGR3252     | ☆英語教材作成演習      |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期  |                | (隔年開講1)                                          |
| 2132               | EGR3202     | ☆外国語としての日本語    |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | 定員30人                                            |
| エアラインプログラム科目       |             |                |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| 2132               | EGR2550     | ☆エアライン・ビジネス論   |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期  |                |                                                  |
| 2132               | EGR1500     | ☆エアライン・サービス論   |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期  |                |                                                  |
| 2132               | EGR3500     | ☆旅行観光業研究       |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 夏期  |                | 集中(隔年開講1)                                        |
| 2132               | EGR4500     | ☆ホテルビジネス研究     |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 夏期  |                | 集中(隔年開講2)                                        |
| 2132               | EGR2101     | ☆ホスピタリティ・スキル演習 |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前・後 |                | 各クラス定員16人                                        |
| 2132               | EGR2350     | ☆接遇のための日本語     |          | 1  |    | 2・3・4    | 演習       | 前期  |                | 定員20人                                            |
| 2132               | EGR3550     | ☆ビジネスマナー演習     |          | 1  |    | 3・4      | 演習       | 後期  |                | 各クラス定員16人                                        |
| 2132               | EGR3552     | ☆ホスピタリティ&キャリア  |          | 1  |    | 3・4      | 演習       | 前・後 |                | 各クラス定員16人                                        |
| 2132               | EGR3505     | ☆エアポート研修       |          | 1  |    | 2・3      | 演習       | 夏期  |                | 集中 定員20人<br>履修許可者のみ履修可                           |
| 医療サポート英語プログラム科目    |             |                |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| 2132               | EGR2300     | ☆医療サポート英語Ⅰ     |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 前期  |                |                                                  |
| 2132               | EGR2351     | ☆医療サポート英語Ⅱ     |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期  |                | 前提科目<br>「医療サポート英語Ⅰ」                              |
| 2132               | EGR2253     | ☆臨床の医学・病院研修    |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 夏期  |                | 集中<br>前提科目<br>「女性と健康」                            |
| プレゼンテーション実務士科目     |             |                |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| 2132               | CSA2305     | ☆プレゼンテーション概論   |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                | 定員35人                                            |
| 2132               | CSA2457     | ☆プレゼンテーション演習   |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期  |                | 定員30人                                            |
| <b>【専門演習・卒業研究】</b> |             |                |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| 2141               | EGS3500     | 英語英文学演習Ⅰ       |          | 2  | ○  | 3        | 演習       | 前期  | ○              | クラス指定                                            |
| 2141               | EGS3550     | 英語英文学演習Ⅱ       |          | 2  | ○  | 3        | 演習       | 後期  | ○              | クラス指定                                            |
| 2141               | EGS4600     | 卒業研究           |          | 8  | ○  | 4        |          | 通年  | ○              | クラス指定 4年次生で卒業論文を作成(原則として、使用言語を英語とする)             |

**【専門教育科目】**

①専門基礎科目の必修科目12単位、専門基礎科目の選択必修科目としてEnglish SeminarⅠa・English SeminarⅠb・English SeminarⅠc・English SeminarⅠd、English SeminarⅡa・English SeminarⅡb・English SeminarⅡc・English SeminarⅡd、English SeminarⅢa、English SeminarⅢb、English SeminarⅢc、English SeminarⅢd、English SeminarⅣa、English SeminarⅣb、English SeminarⅣc、English SeminarⅣdのうちから20単位、専門基幹科目の必修科目10単位及び専門演習・卒業研究12単位、合計54単位を修得する。

上記の54単位に加え、専門展開科目から選択必修20単位以上を修得し、専門教育科目全体で84単位以上を修得する。

## 10－(3) 国際日本文化学科専門教育科目

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授業科目           | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備            | 考 |
|----------------|-------------|----------------|----------|----|----|----------|----------|-----|----------------|--------------|---|
| <b>【基礎科目】</b>  |             |                |          |    |    |          |          |     |                |              |   |
| 2211           | CSB 1600    | 基礎演習Ⅰ          |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 前期  | ○              | クラス指定        |   |
| 2211           | CSB 1650    | 基礎演習Ⅱ          |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 後期  | ○              | クラス指定        |   |
| 2211           | CSB 1500    | 日本語コミュニケーションⅠ  |          | 2  | ○  | 1        | 講義       | 前期  | ○              | 文章表現を含む。     |   |
| 2211           | CSB 1550    | 日本語コミュニケーションⅡ  |          | 2  | ○  | 1        | 講義       | 後期  | ○              | 文章表現を含む。     |   |
| 2211           | CSB 2500    | 日本語コミュニケーションⅢ  |          | 2  | ○  | 2        | 講義       | 前期  | ○              | 文章表現を含む。     |   |
| <b>【展開科目】</b>  |             |                |          |    |    |          |          |     |                |              |   |
| 学科共通選択科目       |             |                |          |    |    |          |          |     |                |              |   |
| 2222           | CSA 1254    | ☆国際日本文化論       |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期  | ○              |              |   |
| 2222           | CSA 2219    | ☆言語文化概論        |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期  | ○              | 漢字文化史（隔年開講2） |   |
| 2222           | CSA 1401    | 観光学概論          |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期  |                |              |   |
| 2222           | CSA 2550    | 観光文化論          |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期  |                |              |   |
| 2222           | CSA 1450    | 観光ビジネス論        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                |              |   |
| 2222           | CSA 3500    | 地域ツーリズム論       |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |              |   |
| 2232           | CSA 2305    | ☆プレゼンテーション概論   |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  | ○              | 定員35人        |   |
| 2232           | CSA 2457    | ☆プレゼンテーション演習   |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期  | ○              | 定員30人        |   |
| 2222           | CSA 3600    | フィールド実践演習      |          | 1  |    | 2・3・4    | 演習       | 通年  | ○              | 集中           |   |
| 2222           | CSA 2101    | ☆ホスピタリティ・スキル演習 |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前・後 |                |              |   |
| 2222           | CSA 3551    | ビジネスマナー演習      |          | 1  |    | 3・4      | 演習       | 後期  |                |              |   |
| 日本語日本文化領域      |             |                |          |    |    |          |          |     |                |              |   |
| 2222           | CSA 1200    | 国文学概論          |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期  | ○              | 国文学史を含む。     |   |
| 2222           | CSA 1201    | 国語学概論          |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期  | ○              | 音声言語を含む。     |   |
| 2222           | CSA 2220    | ☆漢文学入門         |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期  | ○              |              |   |
| 2222           | CSA 2265    | ☆漢文学特講         |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | （隔年開講1）      |   |
| 2222           | CSA 2250    | ☆日本古典文学講読      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  | ○              |              |   |
| 2222           | CSA 3251    | ☆日本近代文学講読      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | （隔年開講1）      |   |
| 2222           | CSA 2352    | ☆日本語文法         |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  | ○              |              |   |
| 2222           | CSA 2353    | ☆日本語研究         |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  | ○              |              |   |
| 2222           | CSA 1300    | ☆日本語教育論Ⅰ       |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期  |                |              |   |
| 2222           | CSA 1350    | ☆日本語教育論Ⅱ       |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期  |                |              |   |
| 2222           | CSA 2406    | ☆日本語の朗読        |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 前期  | ○              |              |   |
| 2222           | CSA 3202    | 外国語としての日本語     |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | 定員30人        |   |
| 2222           | CSA 2201    | 書写研究           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                | 定員20人        |   |
| 2222           | CSA 3254    | ☆日本文学特講        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | （隔年開講2）      |   |
| 2222           | CSA 2202    | ☆日本伝統文化論       |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |              |   |
| 2222           | CSA 3250    | ☆日本年中行事論       |          | 2  |    | 3・4      | 講義       | 後期  |                |              |   |
| 2222           | CSA 2255    | ☆京都学           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                |              |   |
| 2222           | CSA 2403    | ☆京都フィールドワーク研究  |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | 定員25人        |   |

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授業科目              | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備                       | 考 |
|----------------|-------------|-------------------|----------|----|----|----------|----------|----|----------------|-------------------------|---|
| 2222           | CSA 2203    | 京都資料論             |          | 1  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                | 全7.5コマ<br>司書に関する科目を兼ねる  |   |
| 2222           | CSA 2258    | ☆古文書読解            |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2260    | ☆子どもの読書とメディア      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                | (隔年開講2)司書に関する科目を<br>兼ねる |   |
| 2222           | CSA 1253    | 現代出版事情            |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 | ○              | 司書に関する科目を兼ねる            |   |
| 2222           | CSA 1252    | ☆現代ジャーナリズム入門      |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 1256    | 日本の歴史と文化          |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2273    | ☆日本思想             |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2212    | ☆日本美術史            |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 3201    | ☆日本美術特講           |          | 2  |    | 3・4      | 講義       | 前期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2451    | ☆異界・妖怪学           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 3401    | ☆物語舞台論            |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                         |   |
| 国際文化領域         |             |                   |          |    |    |          |          |    |                |                         |   |
| 2222           | CSA 1203    | 比較文化概論            |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 1204    | ☆国際関係論            |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2268    | 多文化理解             |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期 | ○              | (隔年開講2)                 |   |
| 2222           | CSA 3550    | ☆クールジャパン論         |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 3252    | ☆ヨーロッパ文化論         |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2274    | ☆アジア文化論           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 | ○              |                         |   |
| 2222           | CSA 1255    | ☆中東文化論            |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                | (隔年開講1)                 |   |
| 2222           | CSA 4217    | ☆アラブ・イスラーム文化論     |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              | (隔年開講2)                 |   |
| 2222           | CSA 2301    | ☆アラビア語の世界         |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                | 前提科目 アラビア語              |   |
| 2222           | CSA 2264    | ☆日中近代語彙比較論        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 | ○              | (隔年開講2)                 |   |
| 2222           | CSA 3207    | ☆比較文学講読           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              | (隔年開講1)                 |   |
| 2222           | CSA 2207    | ☆西洋美術史I           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              | (隔年開講1)                 |   |
| 2222           | CSA 2256    | ☆西洋美術史II          |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 | ○              | (隔年開講2)                 |   |
| 2222           | CSA 2419    | ☆西洋美術史特講          |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                | (隔年開講2)                 |   |
| 2222           | CSA 1212    | ☆音楽文化概論           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 | ○              | (隔年開講2)                 |   |
| 2222           | CSA 4151    | ☆キリスト教音楽特講        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2257    | ☆音楽表現学            |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                | (隔年開講2)                 |   |
| 2222           | CSA 3203    | ☆現代音楽事情           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2223    | ☆西洋思想史            |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                | (隔年開講1)                 |   |
| 2222           | CSA 2157    | ☆キリスト教とことば        |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期 | ○              | (隔年開講2)                 |   |
| 2222           | CSA 3158    | ☆キリスト教文化          |          | 2  |    | 1・2      | 演習       | 後期 | ○              | (隔年開講1)                 |   |
| 2222           | CSA 2123    | ☆哲学とキリスト教         |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期 |                | (隔年開講2)                 |   |
| 2222           | CSA 2411    | ☆情報・メディアの文化とリテラシー |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2259    | ☆インターネット社会論       |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2218    | 図書館情報技術論          |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                | 定員46人<br>司書に関する科目を兼ねる   |   |
| 2222           | CSA 1257    | メディアコンテンツ表現法      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                         |   |
| 2222           | CSA 2561    | ☆識字活動と子どもの権利      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                | (隔年開講1)                 |   |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録に  
あたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリア  
デザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の  
履修について

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授業科目  | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備     | 考 |
|----------------|-------------|-------|----------|----|----|----------|----------|----|----------------|-------|---|
| 専門演習・卒業研究      |             |       |          |    |    |          |          |    |                |       |   |
| 2241           | CSS 2600    | 発展演習Ⅰ |          | 2  | ○  | 2        | 演習       | 前期 | ○              | クラス指定 |   |
| 2241           | CSS 2650    | 発展演習Ⅱ |          | 2  | ○  | 2        | 演習       | 後期 | ○              | クラス指定 |   |
| 2241           | CSS 3600    | 専門演習Ⅰ |          | 2  | ○  | 3        | 演習       | 前期 | ○              | クラス指定 |   |
| 2241           | CSS 3650    | 専門演習Ⅱ |          | 2  | ○  | 3        | 演習       | 後期 | ○              | クラス指定 |   |
| 2241           | CSS 4600    | 卒業研究  |          | 8  | ○  | 4        |          | 通年 | ○              | クラス指定 |   |

基礎科目の必修科目10単位、専門演習・卒業研究の必修科目16単位、展開科目及び関連科目から選択46単位以上修得する。

○ 必修科目

## 10－(4) 生活環境学科専門教育科目

| 科目種別番号        | コースナンバー  | 授業科目            | クラス別 | 単位 | 必修 | 配当学年 | 授業形態 | 期間 | 主要授業科目 | 備考                           |
|---------------|----------|-----------------|------|----|----|------|------|----|--------|------------------------------|
| <b>【基幹科目】</b> |          |                 |      |    |    |      |      |    |        |                              |
| N211          | SLF 1301 | 生活環境基礎演習Ⅰ       |      | 2  | ○  | 1    | 演習   | 前期 | ○      |                              |
| N211          | SLF 1251 | 生活環境基礎演習Ⅱ       |      | 2  | ○  | 1    | 演習   | 後期 | ○      |                              |
| N211          | SLF 2102 | 生活環境キャリアデザインⅠ   |      | 2  | ○  | 2    | 演習   | 通年 | ○      |                              |
| N212          | SLF 3600 | 生活環境キャリアデザインⅡ   |      | 2  |    | 3    | 演習   | 通年 |        |                              |
| <b>【基礎科目】</b> |          |                 |      |    |    |      |      |    |        |                              |
| N211          | SLB 1203 | ☆生活環境概論         |      | 2  | ○  | 1    | 講義   | 前期 | ○      |                              |
| N212          | SLB 1200 | 衣生活概論           |      | 2  |    | 1    | 講義   | 後期 | ○      |                              |
| N212          | SLB 1250 | 食生活概論           |      | 2  |    | 1    | 講義   | 後期 | ○      |                              |
| N212          | SLB 1205 | 住居学概論           |      | 2  |    | 1    | 講義   | 前期 | ○      |                              |
| N212          | SLB 1450 | 現代社会と家庭経営       |      | 2  |    | 1    | 講義   | 後期 | ○      |                              |
| N212          | SLB 1206 | 生活と福祉           |      | 2  |    | 1    | 講義   | 前期 | ○      |                              |
| <b>【展開科目】</b> |          |                 |      |    |    |      |      |    |        |                              |
| 衣生活領域         |          |                 |      |    |    |      |      |    |        |                              |
| N222          | LDA 2200 | ☆衣生活材料学         |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 | ○      |                              |
| N222          | LDA 2400 | アパレル造形学(実習を含む)  |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 |        | 週1.5コマ<br>定員16人              |
| N222          | LDA 2250 | ☆服飾心理学          |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 | ○      |                              |
| N222          | LDA 2255 | 衣生活管理学          |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 |        |                              |
| N222          | LDA 3200 | ☆染色加工学          |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 | ○      |                              |
| N222          | LDA 3501 | 衣生活実験           |      | 2  |    | 3    | 実習   | 前期 |        | 週2コマ<br>定員8人                 |
| N222          | LDA 2450 | ☆アパレルデザイン       |      | 2  |    | 3    | 講義   | 前期 | ○      |                              |
| N222          | LDA 3653 | アパレルデザイン演習      |      | 2  |    | 3    | 演習   | 後期 |        | 週2コマ<br>定員16人                |
| 食生活領域         |          |                 |      |    |    |      |      |    |        |                              |
| N222          | LDR 2251 | ☆食品流通論          |      | 2  |    | 1    | 講義   | 後期 |        |                              |
| N222          | LDA 2401 | ☆食品学            |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 | ○      |                              |
| N222          | LDA 2402 | 食品官能評価論         |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 | ○      | 「食品官能評価演習(実習を含む)」を同年度に履修すること |
| N222          | LDA 2403 | ☆栄養学            |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 |        |                              |
| N222          | LDR 2500 | フードスペシャリスト論     |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 |        |                              |
| N222          | LDA 2500 | 食品官能評価演習(実験を含む) |      | 1  |    | 2    | 演習   | 前期 |        | 「食品官能評価」を同年度に履修すること          |
| N222          | LDA 2550 | 食品加工学(実験を含む)    |      | 3  |    | 2    | 講義   | 後期 | ○      | 週2コマ                         |
| N222          | LDR 2250 | ☆食品安全性学         |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 |        |                              |
| N222          | LDA 2451 | ☆調理学            |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 | ○      |                              |
| N222          | LDA 3650 | フードコーディネート論     |      | 2  |    | 3    | 講義   | 後期 |        |                              |
| N222          | LDA 3500 | 調理学実習           |      | 2  |    | 3    | 実習   | 前期 |        | 週2コマ<br>定員24人                |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について

| 科目種別番号 | コースナンバー  | 授業科目           | クラス別 | 単位 | 必修 | 配当学年 | 授業形態 | 期間 | 主要授業科目 | 備考                                              |
|--------|----------|----------------|------|----|----|------|------|----|--------|-------------------------------------------------|
| N222   | LDA 3552 | 発展調理学実習        |      | 2  |    | 3    | 実習   | 後期 |        | 週2コマ<br><b>前提科目</b><br>調理学実習<br>定員24人           |
| 住生活領域  |          |                |      |    |    |      |      |    |        |                                                 |
| N222   | LDA 2201 | ☆建築一般構造        |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 | ○      |                                                 |
| N222   | LDA 2408 | ☆住環境デザイン       |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 | ○      |                                                 |
| N222   | LDA 2600 | 住居製図 I         |      | 1  |    | 2    | 演習   | 前期 |        | 定員16人                                           |
| N222   | LDA 2252 | ☆住環境学          |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 | ○      |                                                 |
| N222   | LDA 2253 | ☆住居史           |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 |        |                                                 |
| N222   | LDA 2452 | ☆建築法規          |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 |        | <b>前提科目</b><br>建築一般構造                           |
| N222   | LDA 2651 | 住居製図 II        |      | 1  |    | 2    | 演習   | 後期 |        | <b>前提科目</b><br>住居製図 I<br>定員16人                  |
| N222   | LDA 3201 | ☆建築材料学         |      | 2  |    | 3    | 講義   | 前期 | ○      | <b>前提科目</b><br>建築一般構造                           |
| N222   | LDR 3600 | 住計画演習 I        |      | 2  |    | 3    | 演習   | 前期 |        | 週1.5コマ<br><b>前提科目</b> 住居製図 I 及び住居製図 II<br>定員16人 |
| N222   | LDA 3251 | インテリア装飾学       |      | 2  |    | 3    | 講義   | 後期 |        | <b>前提科目</b><br>住居製図 I<br>定員16人                  |
| N222   | LDR 3650 | 住計画演習 II       |      | 2  |    | 3    | 演習   | 後期 |        | 週1.5コマ<br><b>前提科目</b><br>住計画演習 I<br>定員16人       |
| N222   | LDR 3250 | ☆建築施工          |      | 2  |    | 3    | 講義   | 後期 |        | <b>前提科目</b><br>建築一般構造                           |
| 生活経営領域 |          |                |      |    |    |      |      |    |        |                                                 |
| N222   | LDA 1450 | ☆消費生活          |      | 2  |    | 1    | 講義   | 前期 |        |                                                 |
| N222   | LDA 2205 | ☆生活経済学         |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 |        |                                                 |
| N222   | LDA 2406 | ☆家族関係          |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 | ○      |                                                 |
| N222   | LDR 2201 | ☆ビジネスの基礎 I     |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 |        | 定員30人                                           |
| N222   | LDR 2252 | ☆ビジネスの基礎 II    |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 |        | <b>前提科目</b><br>ビジネスの基礎 I<br>定員20人               |
| N222   | LDA 2256 | ☆ライフプランニング論    |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 | ○      |                                                 |
| N222   | LDR 3203 | ☆マーケティング論      |      | 2  |    | 3    | 講義   | 前期 | ○      |                                                 |
| N222   | LDA 3502 | コミュニティ活動実践     |      | 2  |    | 3    | 演習   | 通期 | ○      | 集中                                              |
| N222   | LDA 3654 | ライフプランニング実習    |      | 2  |    | 3    | 実習   | 後期 |        | 週2コマ                                            |
| N222   | LDA 3450 | ☆家族社会学         |      | 2  |    | 3    | 講義   | 後期 | ○      |                                                 |
| N222   | LDR 3253 | ☆ソーシャルマーケティング論 |      | 2  |    | 3    | 講義   | 後期 |        |                                                 |
| N222   | LDR 3254 | ☆女性起業論         |      | 2  |    | 3    | 講義   | 後期 |        |                                                 |
| 福祉領域   |          |                |      |    |    |      |      |    |        |                                                 |
| N222   | SWA 2207 | ☆生活と社会保障       |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 | ○      |                                                 |
| N222   | SWA 2208 | ☆高齢者と福祉        |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 | ○      |                                                 |
| N222   | SWA 3201 | ☆コミュニティと福祉     |      | 2  |    | 3    | 講義   | 前期 | ○      |                                                 |
| N222   | SWA 2453 | ☆介護と福祉         |      | 2  |    | 2    | 演習   | 後期 |        |                                                 |
| N222   | SWA 2209 | ☆こころの健康        |      | 2  |    | 2    | 講義   | 前期 |        |                                                 |
| N222   | SWA 2251 | ☆障害者と福祉        |      | 2  |    | 2    | 講義   | 後期 | ○      |                                                 |



| 科目種別番号    | コースナンバー  | 授業科目          | クラス別 | 単位 | 必修 | 配当学年  | 授業形態     | 期間 | 主要授業科目 | 備考          |
|-----------|----------|---------------|------|----|----|-------|----------|----|--------|-------------|
| 家庭科教育領域   |          |               |      |    |    |       |          |    |        |             |
| N222      | LDA 2409 | 家庭科教育法Ⅰ       |      | 2  |    | 2     | 講義<br>演習 | 前期 |        |             |
| N222      | LDA 2351 | 家庭科教育法Ⅱ       |      | 2  |    | 2     | 講義<br>演習 | 後期 |        |             |
| N222      | LDA 3602 | 家庭科教育法Ⅲ       |      | 2  |    | 3     | 講義<br>演習 | 前期 |        |             |
| N222      | LDA 3655 | 家庭科教育法Ⅳ       |      | 2  |    | 3     | 講義<br>演習 | 後期 |        |             |
| 【関連科目】    |          |               |      |    |    |       |          |    |        |             |
| N232      | EDⅠ 2211 | ☆現代社会と福祉      |      | 2  |    | 2     | 講義       | 前期 | ○      |             |
| N232      | LDA 1251 | 暮らしと電気・エネルギー  |      | 2  |    | 1     | 講義       | 後期 |        | 集中          |
| N232      | LDR 2100 | 生活デザイン        |      | 2  |    | 2・3・4 | 演習       | 通年 | ○      | 集中          |
| N232      | LDR 3202 | ☆色彩学          |      | 2  |    | 2     | 講義       | 前期 |        | 定員30人       |
| N232      | EDⅠ 2210 | ☆こども家庭福祉      |      | 2  |    | 2     | 講義       | 前期 |        |             |
| N232      | SWA 2205 | ☆人体の構造と機能及び疾病 |      | 2  |    | 2     | 講義       | 前期 |        |             |
| N232      | PSA 3202 | 精神疾患とその治療     |      | 2  |    | 3     | 講義       | 前期 |        |             |
| N232      | EDⅠ 3500 | ☆家族援助論        |      | 2  |    | 3     | 講義       | 前期 |        |             |
| N232      | LDA 3656 | 保育学           |      | 2  |    | 3     | 講義       | 後期 |        |             |
| 専門演習・卒業研究 |          |               |      |    |    |       |          |    |        |             |
| N241      | SLS 3401 | 生活環境特論        |      | 4  | ○  | 3     | 演習       | 通年 | ○      |             |
| N241      | SLS 4600 | 卒業研究          |      | 8  | ○  | 4     |          | 通年 | ○      | 学則第18条第2項適用 |

必修科目として基幹科目6単位、基礎科目2単位、専門演習・卒業研究12単位の計20単位を修得し、選択必修科目として基礎科目から4単位、展開科目及び関連科目の中から52単位以上を修得する。

## 10－(5) 心理学科専門教育科目

| 科目<br>種別<br>番号    | コース<br>ナンバー | 授業科目                 | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備考                                                             |
|-------------------|-------------|----------------------|----------|----|----|----------|----------|-----|----------------|----------------------------------------------------------------|
| <b>基礎科目</b>       |             |                      |          |    |    |          |          |     |                |                                                                |
| N411              | PSB 1200    | ☆心理学概論               |          | 2  | ○  | 1        | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |
| N411              | PSB 1453    | 心理学統計法               |          | 2  | ○  | 1        | 講義       | 後期  | ○              |                                                                |
| N411              | PSB 1100    | 心理学基礎演習Ⅰ             |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 前期  | ○              |                                                                |
| N411              | PSB 1350    | 心理学基礎演習Ⅱ             |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 後期  | ○              |                                                                |
| N411              | PSB 1455    | 心理学実験演習Ⅰ             |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 後期  | ○              |                                                                |
| N412              | PSB 2405    | 心理学実験演習Ⅱ             |          | 2  | ▲  | 2        | 演習       | 前期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSB 1456    | 心理テスト論               |          | 2  | △  | 1        | 講義       | 後期  | ○              |                                                                |
| N411              | PSB 2401    | 心理学研究法               |          | 2  | ○  | 2        | 講義       | 後期  | ○              |                                                                |
| N411              | PSB 2402    | 推測統計学Ⅰ               | A・B      | 2  | ○  | 2        | 演習       | 前期  | ○              | クラス指定                                                          |
| N412              | PSB 2450    | 推測統計学Ⅱ               | A・B      | 2  | ▲  | 2        | 演習       | 後期  | ○              | クラス指定                                                          |
| N412              | PSB 2403    | 心理テスト演習              |          | 2  | △  | 2        | 演習       | 前期  | ○              |                                                                |
| N412              | PSB 2404    | 質問紙調査法               |          | 2  | △  | 2        | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |
| N412              | PSB 2351    | 心理学英文講読              |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期  |                |                                                                |
| N412              | PSB 3602    | 心理学応用実験演習            |          | 2  |    | 3        | 演習       | 前期  |                | 前提科目「心理学実験演習Ⅰ」<br>又は「心理学実験演習Ⅱ」<br>「推測統計学Ⅰ・Ⅱ」を履修して<br>いることが望ましい |
| N412              | PSB 3400    | 心理学情報処理              | A・B      | 2  |    | 3        | 演習       | 前・後 | ○              | 前提科目<br>推測統計学Ⅰ                                                 |
| <b>展開科目</b>       |             |                      |          |    |    |          |          |     |                |                                                                |
| <b>基礎・発達心理学領域</b> |             |                      |          |    |    |          |          |     |                |                                                                |
| N422              | PSA 2205    | ☆知覚・認知心理学            |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSA 2254    | ☆学習・言語心理学            |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSA 3258    | 神経・生理心理学             |          | 2  |    | 3・4      | 講義       | 後期  |                |                                                                |
| N422              | PSA 1250    | ☆教育心理学概論             |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSA 2201    | ☆発達心理学概論             |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSA 2251    | ☆現代青年の心理学            |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 後期  |                |                                                                |
| N422              | PSA 3201    | ☆高齢者の心理学             |          | 2  |    | 3・4      | 講義       | 前期  |                |                                                                |
| <b>社会・産業心理学領域</b> |             |                      |          |    |    |          |          |     |                |                                                                |
| N422              | PSA 1552    | ☆社会・集団・家族心理学         |          | 2  | ▲  | 1        | 講義       | 後期  | ○              |                                                                |
| N412              | PSA 1400    | 現代社会調査入門             |          | 2  | ▲  | 1        | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSA 2500    | ☆対人関係論               |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSA 2203    | ☆消費者行動の心理学           |          | 2  | ▲  | 2・3      | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSA 2600    | 社会・ビジネス心理フィールド研<br>修 |          | 2  |    | 2        | 演習       | 後期  | ○              | 集中                                                             |
| N422              | PSA 2252    | 服飾心理学                |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期  |                |                                                                |
| N422              | PSA 3254    | ☆産業・組織心理学            |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期  |                |                                                                |
| <b>臨床心理学領域</b>    |             |                      |          |    |    |          |          |     |                |                                                                |
| N422              | PSA 1500    | ☆心理カウンセリング概論         |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSA 2204    | 臨床心理学概論              |          | 2  | △  | 2        | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |
| N422              | PSA 2207    | ☆感情・人格心理学            |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 後期  |                |                                                                |
| N422              | PSA 2502    | ☆障害者・障害児心理学          |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期  | ○              |                                                                |

| 科目<br>種別<br>番号   | コース<br>ナンバー | 授業科目                       | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備                                                                                   | 考 |
|------------------|-------------|----------------------------|----------|----|----|----------|----------|----|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|---|
| N422             | PSA 2552    | ☆家族臨床心理学                   |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| N422             | PSA 2451    | 心理的アセスメント                  |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                | 前提科目<br>心理テスト演習                                                                     |   |
| N422             | PSA 3502    | スクールカウンセリング論(教育・<br>学校心理学) |          | 2  |    | 3・4      | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N422             | PSA 3503    | 心理学的支援法                    |          | 2  |    | 3・4      | 講義       | 前期 | ○              |                                                                                     |   |
| N422             | PSA 3255    | 関係行政論                      |          | 2  | △  | 3        | 講義       | 夏期 |                | 集中                                                                                  |   |
| N422             | PSA 3202    | 精神疾患とその治療                  |          | 2  | △  | 3        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N422             | PSA 3256    | 司法・犯罪心理学                   |          | 2  |    | 3・4      | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| N422             | PSA 3550    | 認知行動療法概論                   |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| N412             | PSA 3601    | 心理カウンセリング実践(面接技<br>法)      |          | 2  | △  | 3        | 演習       | 前期 | ○              |                                                                                     |   |
| N422             | PSA 3651    | 心理演習(心理支援の実際)              |          | 2  |    | 3        | 演習       | 後期 | ○              | 履修制限を行う                                                                             |   |
| N422             | PSA 4203    | 公認心理師の職責                   |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期 | ○              |                                                                                     |   |
| N422             | PSA 3203    | 福祉心理学                      |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N422             | PSA 2255    | 健康・医療心理学                   |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N422             | PSA 4601    | 心理実習                       |          | 2  |    | 4        | 実習       | 通年 | ○              | 選考合格者のみ履修可<br>集中<br>見学実習(80時間以上、事前事後<br>指導を含む)<br>「心理演習(心理支援の実際)」を<br>履修していることが望ましい |   |
| 関連科目             |             |                            |          |    |    |          |          |    |                |                                                                                     |   |
| 社会・ビジネス領域        |             |                            |          |    |    |          |          |    |                |                                                                                     |   |
| N432             | PSR 1251    | 現代ジャーナリズム入門                |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | PSR 2401    | 住環境デザイン                    |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | PSR 2250    | 食品流通論                      |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | PSR 3401    | 消費生活                       |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | PSR 2201    | ビジネスの基礎 I                  |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | PSR 2205    | 生活経済学                      |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | PSR 3203    | マーケティング論                   |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | PSR 3254    | 女性起業論                      |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| 福祉領域             |             |                            |          |    |    |          |          |    |                |                                                                                     |   |
| N432             | EDI 2211    | ☆現代社会と福祉                   |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | SWA 2209    | ☆こころの健康                    |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | SWA 3201    | ☆コミュニティと福祉                 |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | SWA 2205    | ☆人体の構造と機能及び疾病              |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | SWA 2207    | ☆生活と社会保障                   |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | SWA 2251    | ☆障害者と福祉                    |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | EDI 2210    | ☆こども家庭福祉                   |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | EDI 2253    | こども家庭支援の心理学                |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| メディア・コミュニケーション領域 |             |                            |          |    |    |          |          |    |                |                                                                                     |   |
| N432             | EGL 2400    | ☆ことばとコミュニケーション             |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | EGL 3403    | ☆対人コミュニケーション               |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | EGL 3456    | ☆異文化間コミュニケーション             |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | CSA 2411    | ☆情報・メディアの文化とリテラシー          |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | CSA 3550    | ☆クールジャパン論                  |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | CSA 2305    | ☆プレゼンテーション概論               |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | LDA 2450    | ☆アパレルデザイン                  |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期 |                |                                                                                     |   |
| N432             | LDR 3202    | ☆色彩学                       |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                | 定員30人                                                                               |   |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録に  
あたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリア  
デザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の  
履修について

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授業科目  | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備           | 考 |
|----------------|-------------|-------|----------|----|----|----------|----------|----|----------------|-------------|---|
| 専門演習・卒業研究      |             |       |          |    |    |          |          |    |                |             |   |
| N441           | PSS 3600    | 心理学演習 |          | 4  | ○  | 3        | 演習       | 通年 | ○              |             |   |
| N441           | PSS 4602    | 卒業研究  |          | 8  | ○  | 4        |          | 通年 | ○              | 学則第18条第2項適用 |   |

必修26単位、合計84単位以上修得すること。

ただし、コースごとに必修と選択必修を定める（心理カウンセリングコースは、コース必修科目（心理テスト演習、質問紙調査法、心理カウンセリング実践（面接技法）、心理テスト論、臨床心理学概論、関係行政論、精神疾患とその治療）14単位、必修以外の専門基礎科目と専門展開科目から24単位以上修得すること。社会・ビジネス心理コースは、コース必修科目（心理学実験演習Ⅱ、現代社会調査入門、推測統計学Ⅱ、社会・集団・家族心理学、消費者行動の心理学）10単位、必修以外の専門基礎科目と専門展開科目から26単位以上修得すること。）。

○ 必修科目（コース共通）

△ 心理カウンセリングコース必修科目

▲ 社会・ビジネス心理コース必修科目

# 10-(6) こども教育学科専門教育科目

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授業科目             | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 履修コース別   |          | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備考                                                           |
|----------------|-------------|------------------|----------|----|----|----------|----------|----------|----------|----|----------------|--------------------------------------------------------------|
|                |             |                  |          |    |    |          | 幼児<br>教育 | 初等<br>教育 |          |    |                |                                                              |
| 基礎科目           |             |                  |          |    |    |          |          |          |          |    |                |                                                              |
| N611           | EDB 1202    | ☆こども教育概論         |          | 2  | ○  | 1        | ◇        |          | 講義       | 前期 | ○              | メディア利用（学則第13条第2項適用）                                          |
| N611           | EDB 1203    | こども教育基礎演習        |          | 2  | ○  | 1        | ◇        |          | 演習       | 前期 | ○              |                                                              |
| N611           | EDB 1500    | こども教育フィールド研修     |          | 1  | ○  | 1        | ◇        |          | 演習       | 前期 | ○              | 集中                                                           |
| N611           | EDB 1100    | 教職論              |          | 2  | ○  | 1        | ◇        |          | 講義       | 前期 | ○              | [共通開設]                                                       |
| N611           | EDB 1201    | 教育原理             |          | 2  | ○  | 1        | □        |          | 講義       | 前期 | ○              | [共通開設]                                                       |
| N611           | EDB 1401    | 教育心理学            |          | 2  | ○  | 1        | □        |          | 講義       | 前期 | ○              | [共通開設]                                                       |
| N611           | EDB 1251    | 特別支援教育           |          | 2  | ○  | 1        | ◇        |          | 講義       | 後期 | ○              | [共通開設]                                                       |
| N612           | EDB 2400    | 知的障害者教育論         |          | 2  |    | 2        |          |          | 講義       | 前期 |                |                                                              |
| N612           | EDB 2450    | 肢体不自由者教育論        |          | 2  |    | 2        |          |          | 講義       | 後期 |                |                                                              |
| N612           | EDB 3452    | 病弱者教育論           |          | 2  |    | 3        |          |          | 講義       | 前期 |                |                                                              |
| N612           | EDB 3450    | 特別支援教育フィールド・スタディ |          | 2  |    | 3        | ■        |          | 講義       | 後期 |                |                                                              |
| 展開科目           |             |                  |          |    |    |          |          |          |          |    |                |                                                              |
| 保育士科目          |             |                  |          |    |    |          |          |          |          |    |                |                                                              |
| N622           | EDI 2202    | 保育音楽演習           |          | 1  |    | 2        | □        | ×        | 演習       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2203    | 保育造形演習           |          | 1  |    | 2        | □        | ×        | 演習       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2204    | 保育体育演習           |          | 1  |    | 2        | □        | ×        | 演習       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3204    | 乳児保育Ⅰ            |          | 2  |    | 3        | □        | ×        | 講義       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3450    | 乳児保育Ⅱ            |          | 1  |    | 3        | □        | ×        | 演習       | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3550    | 障害児保育            |          | 2  |    | 3        | □        | ×        | 演習       | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2252    | こどもの保健           |          | 2  |    | 2        | □        |          | 講義       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3251    | こどもの保健演習         |          | 1  |    | 2        | □        | ×        | 演習       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3202    | こどもの食と栄養         |          | 2  |    | 3        | □        | ×        | 演習       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3500    | ☆家族援助論           |          | 2  |    | 3        | □        |          | 講義       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3551    | 保育相談支援           |          | 1  |    | 3        | □        | ×        | 演習       | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2253    | こども家庭支援の心理学      |          | 2  |    | 2        | □        |          | 講義       | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 1250    | 保育原理             |          | 2  |    | 1        | □        |          | 講義       | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 1251    | 保育者論             |          | 2  |    | 1        | □        |          | 講義       | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2600    | 保育実習指導Ⅰ－1        |          | 1  |    | 2        | □        | ×        | 演習       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2650    | 保育実習指導Ⅰ－2        |          | 1  |    | 2        | □        | ×        | 演習       | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3651    | 保育実習指導Ⅱ          |          | 1  |    | 3        | □        | ×        | 演習       | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2601    | 保育実習Ⅰ－1          |          | 2  |    | 2        | □        | ×        | 実習       | 夏期 |                | 集中                                                           |
| N622           | EDI 2602    | 保育実習Ⅰ－2          |          | 2  |    | 2        | □        | ×        | 実習       | 春期 |                | 集中                                                           |
| N622           | EDI 3655    | 保育実習Ⅱ            |          | 2  |    | 3        | □        | ×        | 実習       | 春期 |                | 集中<br>前提科目<br>保育原理、保育者論、保育実習指導Ⅰ－1、保育実習指導Ⅰ－2、保育実習Ⅰ－1及び保育実習Ⅰ－2 |
| N622           | EDI 2210    | ☆こども家庭福祉         |          | 2  |    | 2        | □        |          | 講義       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2211    | ☆現代社会と福祉         |          | 2  |    | 2        | □        |          | 講義       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3206    | ☆コミュニティと福祉       |          | 2  |    | 3        | ■        |          | 講義       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2550    | 社会的養護            |          | 2  |    | 2        | □        |          | 講義       | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 2551    | 社会的養護内容          |          | 1  |    | 2        | □        |          | 演習       | 後期 |                |                                                              |
| 幼保共通科目         |             |                  |          |    |    |          |          |          |          |    |                |                                                              |
| N622           | EDI 3205    | 保育・教育課程論         |          | 2  |    | 3        | ▲□       |          | 講義       | 前期 | ○              |                                                              |
| N622           | EDI 1450    | 保育内容総論           |          | 2  |    | 1        | ▲□       |          | 演習       | 後期 | ○              |                                                              |
| N622           | EDI 2205    | 幼児と健康            |          | 1  |    | 2        | ■        |          | 講義       | 前期 |                | 全7.5Jr                                                       |
| N622           | EDI 2206    | 幼児と人間関係          |          | 1  |    | 2        | ■        |          | 講義       | 前期 |                | 全7.5Jr                                                       |
| N622           | EDI 2207    | 幼児と環境            |          | 1  |    | 2        | ■        |          | 講義       | 前期 |                | 全7.5Jr                                                       |
| N622           | EDI 2208    | 幼児と言葉            |          | 1  |    | 2        | ■        |          | 講義       | 前期 |                | 全7.5Jr                                                       |
| N622           | EDI 2212    | 幼児と表現            |          | 1  |    | 2        | ■        |          | 講義       | 前期 |                | 全7.5Jr                                                       |
| N622           | EDI 1452    | 幼児理解の理論と方法       |          | 2  |    | 1        | ▲□       |          | 講義<br>演習 | 後期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 3400    | 保育表現演習           |          | 1  |    | 3        | ■        | ×        | 演習       | 前期 |                |                                                              |
| N622           | EDI 4651    | 保育・教職実践演習（幼）     |          | 2  |    | 4        | □        | ×        | 演習       | 後期 | ○              | 前提科目<br>別に定める。                                               |
| 幼稚園科目          |             |                  |          |    |    |          |          |          |          |    |                |                                                              |
| N622           | EDI 2400    | 保育内容（健康）         |          | 2  |    | 2        | □        |          | 演習       | 前期 | ○              |                                                              |
| N622           | EDI 2401    | 保育内容（人間関係）       |          | 2  |    | 2        | □        |          | 演習       | 前期 | ○              |                                                              |
| N622           | EDI 2402    | 保育内容（環境）         |          | 2  |    | 2        | □        |          | 演習       | 前期 | ○              |                                                              |
| N622           | EDI 2450    | 保育内容（言葉）         |          | 2  |    | 2        | □        |          | 演習       | 後期 | ○              |                                                              |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授業科目                   | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 履修コース別                   |          | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備考                      |
|----------------|-------------|------------------------|----------|----|----|----------|--------------------------|----------|----------|----|----------------|-------------------------|
|                |             |                        |          |    |    |          | 幼児<br>教育                 | 初等<br>教育 |          |    |                |                         |
| N622           | EDI 2454    | 保育内容（表現）               |          | 2  |    | 2        | <input type="checkbox"/> |          | 演習       | 後期 | ○              |                         |
| N622           | EDI 4601    | 初等教育実習Ⅰ a              |          | 2  |    | 4        |                          |          | 実習       | 通年 | ○              | 集中<br>前提科目<br>別に定める。    |
| N622           | EDI 4602    | 初等教育実習Ⅱ a              |          | 2  |    | 4        |                          |          | 実習       | 通年 | ○              | 集中<br>前提科目<br>別に定める。    |
| 幼小共通科目         |             |                        |          |    |    |          |                          |          |          |    |                |                         |
| N622           | EDN 2501    | 教育社会学                  |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              | } [共通開設]<br>選択必修        |
| N622           | EDN 2254    | 教育経営論                  |          | 2  |    | 2        | ■                        |          | 講義       | 後期 | ○              |                         |
| N622           | EDN 2255    | 教育史                    |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 後期 | ○              | [共通開設]                  |
| N622           | EDN 2250    | 教育課程論                  |          | 2  |    | 2        |                          | △        | 講義       | 後期 | ○              | [共通開設]                  |
| N622           | EDN 3252    | 教育の方法及び技術              |          | 2  |    | 3        |                          |          | 講義       | 後期 | ○              | [共通開設]                  |
| N622           | EDN 3202    | 教育方法学                  |          | 1  |    | 3        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              | [共通開設]<br>前半7.5JY       |
| N622           | EDN 3250    | 教育評価                   |          | 2  |    | 3        |                          |          | 講義       | 後期 | ○              | [共通開設]                  |
| N622           | EDN 3403    | 教育相談の理論及び方法            |          | 2  |    | 3        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              | [共通開設]                  |
| N622           | EDN 3600    | 教育実習事前事後指導             |          | 1  |    | 3・4      |                          |          | 講義       | 通年 | ○              | 集中                      |
| N622           | EDN 4651    | 教職実践演習                 |          | 2  |    | 4        |                          |          | 演習       | 後期 | ○              | 集中<br>前提科目<br>別に定める。    |
| N622           | EDN 2401    | 障害者・障害児心理学             |          | 2  |    | 2        | ■                        |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDN 2253    | 学習・言語心理学               |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 後期 |                |                         |
| N622           | EDN 3201    | スクールカウンセリング論(教育・学校心理学) |          | 2  |    | 3        |                          |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDN 3401    | 環境教育                   |          | 2  |    | 3        | ■                        |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDN 3402    | ☆情報教育                  |          | 2  |    | 3        |                          |          | 講義       | 後期 |                |                         |
| N622           | EDN 3451    | 食と健康の教育                |          | 2  |    | 3        |                          |          | 講義       | 後期 |                |                         |
| N622           | EDN 4500    | ☆国際理解教育                |          | 2  |    | 4        |                          |          | 講義       | 前期 |                | メディア利用(学則第13<br>条第2項適用) |
| N622           | EDP 3600    | 初等教育実習Ⅰ b              |          | 2  |    | 3        |                          |          | 実習       | 通年 | ○              | 集中<br>前提科目<br>別に定める。    |
| N622           | EDP 3601    | 初等教育実習Ⅱ b              |          | 2  |    | 3        |                          |          | 実習       | 通年 | ○              | 集中<br>前提科目<br>別に定める。    |
| 小学校科目          |             |                        |          |    |    |          |                          |          |          |    |                |                         |
| N622           | EDP 1252    | 国語                     |          | 2  |    | 1        |                          |          | 講義       | 後期 |                |                         |
| N622           | EDP 1253    | 算数                     |          | 2  |    | 1        |                          |          | 講義       | 後期 |                |                         |
| N622           | EDP 1254    | 生活                     |          | 2  |    | 1        |                          |          | 講義       | 後期 |                |                         |
| N622           | EDP 2202    | 音楽                     |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDP 2203    | 図工                     |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDP 2204    | 体育                     |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDP 1250    | 社会                     |          | 2  |    | 1        |                          |          | 講義       | 後期 |                |                         |
| N622           | EDP 1251    | 理科                     |          | 2  |    | 1        |                          |          | 講義       | 後期 |                |                         |
| N622           | EDP 2250    | 書写                     |          | 1  |    | 2        |                          |          | 実習       | 後期 |                |                         |
| N622           | EDP 2200    | 家庭                     |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDP 2201    | 外国語（英語）                |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDP 2400    | 国語科指導法                 |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 2401    | 社会科指導法                 |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 2402    | 算数科指導法                 |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 2403    | 理科指導法                  |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 2404    | 生活科指導法                 |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 2450    | 音楽科指導法                 |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 後期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 2451    | 図工科指導法                 |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 後期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 2452    | 家庭科指導法                 |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 後期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 2453    | 体育科指導法                 |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 後期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 2454    | 外国語（英語）指導法             |          | 2  |    | 2        |                          |          | 講義       | 後期 | ○              |                         |
| N622           | EDP 3200    | 道徳の指導法                 |          | 2  |    | 3        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              | [共通開設]                  |
| N622           | EDP 3402    | 特別活動・総合的な学習の時間の指導法     |          | 2  |    | 2・3      |                          |          | 講義       | 後期 | ○              | [共通開設]                  |
| N622           | EDP 3403    | I C T活用教育              |          | 1  |    | 3        |                          |          | 講義       | 前期 |                | [共通開設]<br>後半7.5JY       |
| N622           | EDP 3203    | 生徒指導・進路指導の理論及び方法       |          | 2  |    | 3        |                          |          | 講義       | 前期 | ○              | [共通開設]                  |
| N622           | EDP 4200    | 初等教材開発論                |          | 2  |    | 4        |                          |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDP 3401    | 消費生活                   |          | 2  |    | 1        |                          |          | 講義       | 前期 |                |                         |
| N622           | EDR 3600    | 介護等体験                  |          | 1  |    | 2・3      |                          |          | 実習       | 通期 |                | 集中                      |
| 関連科目           |             |                        |          |    |    |          |                          |          |          |    |                |                         |
| N632           | EDR 1601    | ピアノ実技                  |          | 1  |    | 1        |                          |          | 演習       | 前期 |                |                         |
| N632           | EDR 1652    | ピアノ実技（幼保）              |          | 1  |    | 1        | <input type="checkbox"/> | ×        | 演習       | 後期 |                |                         |
| N632           | EDR 1653    | ピアノ実技（小）               |          | 1  |    | 1        | ×                        |          | 演習       | 後期 |                |                         |

| 科目<br>種別<br>番号   | コース<br>ナンバー | 授業科目              | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 履修コース別   |          | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備考              |
|------------------|-------------|-------------------|----------|----|----|----------|----------|----------|----------|----|----------------|-----------------|
|                  |             |                   |          |    |    |          | 幼児<br>教育 | 初等<br>教育 |          |    |                |                 |
| N632             | EDR 3601    | ☆音楽アンサンブル演習       |          | 1  |    | 3        |          |          | 演習       | 前期 |                |                 |
| N632             | EDR 2251    | 子どもの読書とメディア       |          | 2  |    | 2・3・4    |          |          | 講義       | 後期 |                | (隔年開講2)         |
| N633             | TLI 2800    | 学校経営と学校図書館        |          | 2  |    | 2・3・4    | ×        |          | 講義       | 前期 |                | 卒業要件に含まない       |
| N633             | TLI 2850    | 学校図書館メディアの構成      |          | 2  |    | 2・3・4    | ×        |          | 講義       | 後期 |                | 卒業要件に含まない       |
| N633             | TLI 2801    | 学習指導と学校図書館        |          | 2  |    | 2・3・4    | ×        |          | 講義       | 前期 |                | 卒業要件に含まない       |
| N633             | TLI 2851    | 読書と豊かな人間性         |          | 2  |    | 2・3・4    | ×        |          | 講義       | 後期 |                | 卒業要件に含まない       |
| N633             | TLI 2802    | 情報メディアの活用         |          | 2  |    | 2・3・4    | ×        |          | 講義       | 前期 |                | 卒業要件に含まない       |
| N633             | CNS 2601    | ☆子供のネット安全教育の理論と実践 |          | 2  |    | 2・3・4    |          |          | 講義       | 通年 |                | 集中<br>卒業要件に含まない |
| <b>専門演習・卒業研究</b> |             |                   |          |    |    |          |          |          |          |    |                |                 |
| N641             | EDS 3600    | こども教育演習           |          | 4  | ○  | 3        | ◇        |          | 演習       | 通年 | ○              |                 |
| N641             | EDS 4601    | 卒業研究              |          | 8  | ○  | 4        | ◇        |          |          | 通年 | ○              | 学則第18条第2項適用     |

基礎科目13単位及び専門演習・卒業研究12単位の必修科目計25単位、展開科目の教育社会学及び教育経営論から選択必修2単位以上、展開科目の選択科目から46単位以上修得し、専門教育科目全体で合計84単位以上修得する。

ただし、以下のとおりコース必修科目を含めて修得しなければならない。

①幼児教育コース

保育・教育課程論、保育内容総論、幼児理解の理論と方法 合計6単位必修  
保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（環境）、保育内容（言葉）、  
保育内容（表現）から6単位以上選択必修

②初等教育コース

教育課程論 2単位必修  
国語科指導法、社会科指導法、算数科指導法、理科指導法、生活科指導法、音楽科指導法、  
図工科指導法、家庭科指導法、体育科指導法、外国語（英語）指導法、道德の指導法、  
生徒指導・進路指導の理論及び方法、特別活動・総合的な学習の時間の指導法 から12単位以上選択必修

○ 必修科目（コース共通）

▲ 幼児教育コースの必修科目

△ 初等教育コースの必修科目

× 当該コースに適用されない科目

[共通開設] は中等教職課程と共通開設科目であることを示している。

保育士養成課程の履修条件は、以下のとおりとする。

| 履修コース欄の記号 | 授業科目の区分等                                |
|-----------|-----------------------------------------|
| □         | 保育士養成課程の必修科目                            |
| ■         | 保育士養成課程の選択必修科目                          |
| ◇         | 保育士資格取得科目ではないが、学校独自に開設している、卒業要件として必修の科目 |

①必修科目

共通教育科目 4単位

専門教育科目 61単位

合計 65単位

②選択科目（選択必修科目を含む。）

共通教育科目の情報演習Ⅰa、Ⅰb及びⅡあるいは情報処理から2単位以上選択必修、共通教育科目の外国語[日常の英会話(Ⅰ)、旅行の英会話(Ⅰ)、留学の英会話(Ⅰ)、おもてなしの英会話(Ⅰ)、ビジネス英会話(Ⅰ)、英語実践(4技能)Ⅰ、英語実践(4技能)Ⅱ]から選択必修

共通教育科目の憲法と人権及び専門教育科目(■の科目)から6単位以上選択必修

③保育士資格取得科目以外の科目で、学校独自に開設している卒業のための必修科目  
専門教育科目 21単位(◇の科目)



## 10-(7) 社会情報学環 専門教育科目

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授業科目              | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当学<br>年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備 考                                              |
|----------------|-------------|-------------------|----------|----|----|----------|----------|-----|----------------|--------------------------------------------------|
| <b>【基礎科目】</b>  |             |                   |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| R111           | INF 1200    | ☆社会情報概論           |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 前期  | ○              |                                                  |
| R111           | INF 1401    | 社会情報基礎演習Ⅰ         |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 前期  | ○              |                                                  |
| R111           | INF 1451    | 社会情報基礎演習Ⅱ         |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 後期  | ○              |                                                  |
| R111           | INF 2500    | 社会情報発展演習Ⅰ         |          | 1  | ○  | 2        | 演習       | 前期  | ○              |                                                  |
| R111           | INF 2550    | 社会情報発展演習Ⅱ         |          | 1  | ○  | 2        | 演習       | 後期  | ○              |                                                  |
| R112           | GEI 1200    | 情報の科学と倫理          |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期  | ○              | メディア利用(学則第13条 第2項適用)                             |
| R112           | GEH 1254    | 哲学入門              |          | 2  |    | 1・2・3・4  | 講義       | 後期  |                |                                                  |
| R112           | CSA 2259    | ☆インターネット社会論       |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  | ○              |                                                  |
| R112           | INF 2250    | ☆ICTビジネス論         |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 後期  | ○              |                                                  |
| R112           | GEN 1450    | 暮らしの統計学           |          | 2  |    | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  |                |                                                  |
| R112           | INF 3401    | AIとデータサイエンス       |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期  | ○              |                                                  |
| R112           | INF 2252    | 情報技術リテラシー         |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期  | ○              |                                                  |
| R112           | INF 2451    | プログラミング演習         |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期  | ○              |                                                  |
| R112           | GEI 2200    | アルゴリズム基礎          |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期  | ○              |                                                  |
| R111           | GEI 2450    | 情報処理              |          | 2  | ○  | 2        | 講義<br>演習 | 前・後 | ○              |                                                  |
| R112           | GEI 1450    | SNSコミュニケーションスキル   |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期  |                | メディア利用(学則第13条 第2項適用)                             |
| R112           | CSA 2305    | ☆プレゼンテーション概論      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |                                                  |
| <b>【実践科目】</b>  |             |                   |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| R112           | GCP 2350    | アカデミック・ライティング     |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前・後 |                |                                                  |
| R112           | GEI 1400    | 情報演習Ⅰa            |          | 1  |    | 1        | 演習       | 前期  | ○              | 「情報演習Ⅰb」の単位を修得したものは履修できない                        |
| R112           | GEI 1401    | 情報演習Ⅰb            |          | 1  |    | 1        | 演習       | 前期  | ○              | メディア利用(学則第13条第2項適用)<br>「情報演習Ⅰa」の単位を修得したものは履修できない |
| R111           | GEI 2400    | 情報演習Ⅱ             |          | 1  | ○  | 1・2      | 演習       | 前・後 | ○              |                                                  |
| R112           | INF 2450    | プログラミング実践         |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期  | ○              |                                                  |
| R112           | CSA 2457    | ☆プレゼンテーション演習      |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期  |                |                                                  |
| R112           | INF 2600    | 社会情報フィールド研修       |          | 2  |    | 2        | 実習       | 通年  | ○              | 集中                                               |
| R112           | INF 2603    | 社会情報キャリア実習        |          | 2  |    | 2・3      | 実習       | 通年  |                | 集中                                               |
| R112           | INF 2604    | 社会情報海外キャリア実習      |          | 2  |    | 2・3      | 実習       | 通年  |                | 集中                                               |
| R112           | INF 3200    | ☆情報通信ネットワーク       |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期  |                |                                                  |
| R112           | INF 3601    | ☆インタラクティブメディア演習   |          | 2  |    | 3        | 実習       | 前期  |                | 集中                                               |
| R112           | CNS 2601    | ☆子供のネット安全教育の理論と実践 |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義<br>演習 | 通年  |                | 集中                                               |
| <b>【展開科目】</b>  |             |                   |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| 国際日本文化領域       |             |                   |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| R122           | CSA 1254    | ☆国際日本文化論          |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期  |                |                                                  |
| R122           | CSA 1204    | ☆国際関係論            |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期  |                |                                                  |
| R122           | CSA 2123    | ☆哲学とキリスト教         |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期  |                |                                                  |
| R122           | CSA 1252    | ☆現代ジャーナリズム入門      |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期  |                |                                                  |
| R122           | CSA 2411    | ☆情報・メディアの文化とリテラシー |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |                                                  |
| R122           | CSA 2218    | 図書館情報技術論          |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                | 定員46人<br>司書に関する科目を兼ねる                            |
| R122           | CSA 2260    | ☆子どもの読書とメディア      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | (隔年開講2)司書に関する科目を兼ねる                              |
| R122           | CSA 1257    | メディアコンテンツ表現法      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                |                                                  |
| 生活環境領域         |             |                   |          |    |    |          |          |     |                |                                                  |
| R122           | LDA 2205    | ☆生活経済学            |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期  |                |                                                  |
| R122           | SLB 1450    | 現代社会と家庭経営         |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期  |                |                                                  |



| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授業科目           | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当学<br>年 | 授業<br>形態 | 期間 | 主要<br>授業<br>科目 | 備 考                        |
|----------------|-------------|----------------|----------|----|----|----------|----------|----|----------------|----------------------------|
| R122           | LDA 3450    | ☆家族社会学         |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | LDA 1450    | ☆消費生活          |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | LDA 2256    | ☆ライフプランニング論    |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | LDR 2201    | ☆ビジネスの基礎 I     |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                | 定員30人                      |
| R122           | LDR 2252    | ☆ビジネスの基礎 II    |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                | 前提科目<br>ビジネスの基礎 I<br>定員20人 |
| R122           | LDR 3203    | ☆マーケティング論      |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | LDR 3253    | ☆ソーシャルマーケティング論 |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | LDR 3254    | ☆女性起業論         |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | LDA 1251    | 暮らしと電気・エネルギー   |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期 |                | 集中                         |
| R122           | LDA 2250    | ☆服飾心理学         |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | LDA 2408    | ☆住環境デザイン       |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                            |
| 心理領域           |             |                |          |    |    |          |          |    |                |                            |
| R122           | PSA 1250    | ☆教育心理学概論       |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | PSA 2201    | ☆発達心理学概論       |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | PSA 2251    | ☆現代青年の心理学      |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | PSA 3201    | ☆高齢者の心理学       |          | 2  |    | 3・4      | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | PSA 2502    | ☆障害者・障害児心理学    |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | PSA 2205    | ☆知覚・認知心理学      |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | PSA 2254    | ☆学習・言語心理学      |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | PSA 2500    | ☆対人関係論         |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | PSA 2552    | ☆家族臨床心理学       |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | PSA 1500    | ☆心理カウンセリング概論   |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | PSA 2203    | ☆消費者行動の心理学     |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期 |                |                            |
| 教育・こども領域       |             |                |          |    |    |          |          |    |                |                            |
| R122           | EDB 1201    | 教育原理           |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | EDN 2255    | 教育史            |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | EDN 3202    | 教育方法学          |          | 1  |    | 3        | 講義       | 前期 |                | 前半7.5コマ                    |
| R122           | EDP 3403    | ICT活用教育        |          | 1  |    | 3        | 講義       | 前期 |                | 後半7.5コマ                    |
| R122           | EDN 3402    | ☆情報教育          |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | EDN 3401    | 環境教育           |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | EDN 4500    | ☆国際理解教育        |          | 2  |    | 4        | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | EDP 1253    | 算数             |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | INF 2501    | 教育社会学          |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | INF 2251    | 特別支援教育         |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期 |                |                            |
| R122           | INF 2402    | 情報メディアの活用      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | INF 3400    | 情報科教育法 I       |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期 |                |                            |
| R122           | INF 3650    | 情報科教育法 II      |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期 |                |                            |
| 【専門演習・卒業研究】    |             |                |          |    |    |          |          |    |                |                            |
| R141           | INF 3600    | 社会情報演習         |          | 4  | ○  | 3        | 演習       | 通年 | ○              |                            |
| R141           | INF 4600    | 卒業研究           |          | 8  | ○  | 4        |          | 通年 | ○              | 学則第18条第2項適用                |

必修科目として社会情報基礎科目10単位、社会情報実践科目1単位、専門演習・卒業研究12単位の計23単位を修得し、選択必修科目として社会情報基礎科目から12単位以上、社会情報実践科目の選択科目から9単位以上、社会情報基礎科目及び社会情報実践科目の全体から選択6単位以上、社会情報展開科目の中から12単位以上、全体から選択6単位以上、合計68単位以上を修得する。

# 10-(8) 女性キャリアデザイン学環 専門教育科目

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授業科目                | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備 考                              |
|----------------|-------------|---------------------|----------|----|----|----------|----------|-----|----------------|----------------------------------|
| <b>【基盤科目】</b>  |             |                     |          |    |    |          |          |     |                |                                  |
| R211           | WCD 1200    | ☆女性キャリアデザイン概論       |          | 2  | ○  | 1        | 講義       | 前期  | ○              |                                  |
| R211           | WCD 1100    | 基礎演習Ⅰ               |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 前期  | ○              |                                  |
| R211           | WCD 1400    | 基礎演習Ⅱ               |          | 2  | ○  | 1        | 演習       | 後期  | ○              |                                  |
| R212           | GCP 1101    | 女性とライフキャリア          |          | 2  |    | 1・2・3・4  | 講義       | 前期  | ○              |                                  |
| R212           | GCP 2101    | 子育てとワークライフバランス      |          | 1  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  | ○              | 7.5コマ                            |
| R212           | LDA 2256    | ☆ライフプランニング論         |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R212           | LDR 2201    | ☆ビジネスの基礎Ⅰ           |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期  | ○              | 定員30人                            |
| R212           | LDR 2252    | ☆ビジネスの基礎Ⅱ           |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期  | ○              | <b>前提科目</b><br>ビジネスの基礎Ⅰ<br>定員20人 |
| R212           | GCP 1500    | ホスピタリティ入門           |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前・後 | ○              |                                  |
| R212           | CSA 2305    | ☆プレゼンテーション概論        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  | ○              |                                  |
| R212           | EGE 3550    | Women in Leadership |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  | ○              |                                  |
| <b>【展開科目】</b>  |             |                     |          |    |    |          |          |     |                |                                  |
| R222           | SLB 1450    | 現代社会と家庭経営           |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | LDA 1450    | 消費生活                |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | LDA 2205    | 生活経済学               |          | 2  |    | 2        | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | LDA 3450    | ☆家族社会学              |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | WCD 2500    | 生涯学習概論              |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | LDR 3203    | ☆マーケティング論           |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期  | ○              |                                  |
| R222           | LDR 3253    | ☆ソーシャルマーケティング論      |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期  | ○              |                                  |
| R222           | LDR 3254    | ☆女性起業論              |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | INF 2250    | ☆ICTビジネス論           |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | PSA 2203    | ☆消費者行動の心理学          |          | 2  |    | 2・3      | 講義       | 前期  | ○              |                                  |
| R222           | PSA 3254    | ☆産業・組織心理学           |          | 2  |    | 3        | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | EGR 3552    | ☆ホスピタリティ&キャリア       |          | 1  |    | 3・4      | 演習       | 前・後 | ○              |                                  |
| R222           | EGR 3500    | ☆旅行観光業研究            |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 夏期  |                | 集中(隔年開講1)                        |
| R222           | EGR 4500    | ☆ホテルビジネス研究          |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 夏期  |                | 集中(隔年開講2)                        |
| R222           | EGR 1500    | ☆エアライン・サービス論        |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | EGR 2550    | ☆エアライン・ビジネス論        |          | 2  |    | 2        | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | CSA 1252    | ☆現代ジャーナリズム入門        |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | CSA 1253    | 現代出版事情              |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | CSA 1257    | メディアコンテンツ表現法        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | CSA 2203    | 京都資料論               |          | 1  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | CSA 2255    | ☆京都学                |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | WCD 1204    | 図書館概論               |          | 2  |    | 1        | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | WCD 2501    | 図書館サービス概論           |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | CSA 2260    | ☆子どもの読書とメディア        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | (隔年開講2)                          |
| R222           | EDI 3206    | ☆コミュニティと福祉          |          | 2  |    | 3        | 講義       | 前期  | ○              |                                  |
| R222           | PSA 1552    | 社会・集団・家族心理学         |          | 2  |    | 1        | 講義       | 後期  | ○              |                                  |
| R222           | CSA 1204    | ☆国際関係論              |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | CSA 1203    | 比較文化概論              |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | CSA 2268    | 多文化理解               |          | 2  |    | 1・2      | 講義       | 後期  | ○              | (隔年開講2)                          |
| R222           | CSA 2561    | ☆識字活動と子どもの権利        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | (隔年開講1)                          |
| R222           | EGE 2201    | Popular Culture     |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | WCD 2250    | ☆Global Issues      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                |                                  |
| R222           | EGL 2400    | ☆ことばとコミュニケーション      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | EGL 3456    | ☆異文化間コミュニケーション      |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |                                  |
| R222           | EGL 3403    | ☆対人コミュニケーション        |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                |                                  |

| 科目<br>種別<br>番号     | コース<br>ナンバー | 授業科目                                          | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 | 授業<br>形態 | 期間  | 主要<br>授業<br>科目 | 備 考                    |
|--------------------|-------------|-----------------------------------------------|----------|----|----|----------|----------|-----|----------------|------------------------|
| R222               | CSA 2406    | ☆日本語の朗読                                       |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 前期  | ○              |                        |
| R222               | EGR 2350    | ☆接遇のための日本語                                    |          | 1  |    | 2・3・4    | 演習       | 前期  |                |                        |
| <b>【実践・統合科目】</b>   |             |                                               |          |    |    |          |          |     |                |                        |
| R222               | LDA 3654    | ライフプランニング実習                                   |          | 2  |    | 3        | 実習       | 後期  |                | 週2コマ                   |
| R222               | EGR 2101    | ☆ホスピタリティ・スキル演習                                |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前・後 | ○              |                        |
| R222               | EGR 3550    | ☆ビジネスマナー演習                                    |          | 1  |    | 3・4      | 演習       | 後期  | ○              |                        |
| R222               | EGR 3505    | ☆エアポート研修                                      |          | 1  |    | 2・3      | 演習       | 夏期  |                | 集中 定員20人<br>履修許可者のみ履修可 |
| R222               | CSA 2403    | ☆京都フィールドワーク研究                                 |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 後期  |                | 定員25人                  |
| R222               | LDA 3502    | コミュニティ活動実践                                    |          | 2  |    | 3        | 演習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | GCP 2551    | 海外キャリア実習                                      |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 夏・春 |                | 集中                     |
| R222               | IDE 1252    | 海外文化研修                                        |          | 1  |    | 1・2・3・4  | 演習       | 夏・春 |                | 集中                     |
| R222               | IDE 1501    | 海外ボランティア実践                                    |          | 1  |    | 1・2・3・4  | 演習       | 夏・春 |                | 集中                     |
| R222               | CSA 2457    | ☆プレゼンテーション演習                                  |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期  | ○              |                        |
| R222               | EGE 2503    | Study Abroad Preparation                      |          | 1  |    | 2        | 演習       | 前期  | ○              | 集中                     |
| R222               | EGE 3652    | Global Career Skills Development              |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期  | ○              |                        |
| R222               | EGE 2502    | Intercultural Communication and Acculturation |          | 2  |    | 2・3・4    | 講義       | 前期  |                |                        |
| R222               | EGE 3404    | Argumentation and Debate                      |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 前期  |                |                        |
| R222               | EGE 2302    | Public Speaking                               |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 前期  |                |                        |
| R222               | WCD 3404    | Persuasive Communication                      |          | 2  |    | 2・3・4    | 演習       | 後期  |                |                        |
| R222               | WCD 1201    | ワークショップ (Will)                                |          | 2  |    | 1・2・3・4  | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 1202    | ワークショップ (Can)                                 |          | 2  |    | 1・2・3・4  | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 1203    | ワークショップ (Must)                                |          | 2  |    | 1・2・3・4  | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 2400    | ワークショップ (Ref)                                 |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 1101    | フィールドワーク I (Will)                             |          | 2  | ○  | 1        | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 1102    | フィールドワーク I (Can)                              |          | 2  |    | 1        | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 1103    | フィールドワーク I (Must)                             |          | 2  |    | 1        | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 1104    | フィールドワーク I (Ref)                              |          | 2  |    | 1        | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3400    | フィールドワーク II (Will)                            |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3401    | フィールドワーク II (Can)                             |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3402    | フィールドワーク II (Must)                            |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3403    | フィールドワーク II (Ref)                             |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3500    | フィールドワーク III (Will)                           |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3501    | フィールドワーク III (Can)                            |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3502    | フィールドワーク III (Must)                           |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3503    | フィールドワーク III (Ref)                            |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3600    | フィールドワーク IV (Will)                            |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3601    | フィールドワーク IV (Can)                             |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3602    | フィールドワーク IV (Must)                            |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| R222               | WCD 3603    | フィールドワーク IV (Ref)                             |          | 2  |    | 2・3・4    | 実習       | 通年  | ○              | 集中                     |
| <b>【専門演習・卒業研究】</b> |             |                                               |          |    |    |          |          |     |                |                        |
| R241               | WCD 2402    | 発展演習 I                                        |          | 2  | ○  | 2        | 演習       | 前期  | ○              |                        |
| R241               | WCD 2600    | 発展演習 II                                       |          | 2  | ○  | 2        | 演習       | 後期  | ○              |                        |
| R241               | WCD 3604    | 専門演習                                          |          | 4  | ○  | 3        | 演習       | 通年  | ○              |                        |
| R241               | WCD 4600    | 卒業研究                                          |          | 8  | ○  | 4        |          | 通年  | ○              | 学則第18条第2項適用            |

3. 教育理念・方針等

4. 履修登録にあたって

5. 国際言語文化学部

6. 現代人間学部

7. 社会情報学環

8. 女性キャリアデザイン学環

9. キャリア教育

10. 履修科目表

11. 他大学等科目の履修について

## 10ー(9) 免許・資格・プログラム関係

### 【教職に関する科目】

#### ●国際言語文化学部・生活環境学科・社会情報学環共通

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目            | クラス<br>別 | 単位 | 必修       | 配当学年  | 授業<br>形態 | 期間 | 備 考<br>([共通開設]は、初等教職課程と共通<br>開設科目であることを示している)                                                                 |
|----------------|-------------|--------------------|----------|----|----------|-------|----------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【教科及び教職に関する科目】 |             |                    |          |    |          |       |          |    |                                                                                                               |
| 3103           | TEA 2805    | 教職論                |          | 2  | ○        | 2     | 講義       | 前期 | [共通開設]                                                                                                        |
| 3103           | GET 1200    | 教育原理               |          | 2  | ○        | 1     | 講義       | 前期 | [共通開設] [兼] 共通教育科目                                                                                             |
| 3103           | TEA 2856    | 教育史                |          | 2  |          | 2     | 講義       | 後期 | [共通開設]                                                                                                        |
| 3103           | GET 1400    | 教育心理学              |          | 2  | ○        | 1     | 講義       | 前期 | [共通開設] [兼] 共通教育科目                                                                                             |
| 3103           | GET 2250    | 教育社会学              |          | 2  | △        | 2     | 講義       | 前期 | [共通開設]<br>△のどちらか1科目選択必修<br>[兼] 共通教育科目                                                                         |
| 3103           | TEA 2857    | 教育経営論              |          | 2  | △        | 2     | 講義       | 後期 | [共通開設]<br>△のどちらか1科目選択必修                                                                                       |
| 3103           | GET 1250    | 特別支援教育             |          | 2  | ○        | 1     | 講義       | 後期 | [共通開設] [兼] 共通教育科目                                                                                             |
| 3103           | TEA 1851    | 教育課程論              |          | 2  | ○        | 1・2・3 | 講義       | 後期 | [共通開設]                                                                                                        |
| 3103           | TEA 2810    | 国語科教育法Ⅰ            |          | 2  | ○<br>(国) | 2     | 講義       | 前期 | 国語科必修                                                                                                         |
| 3103           | TEA 2860    | 国語科教育法Ⅱ            |          | 2  | ○<br>(国) | 2     | 講義       | 後期 | 国語科必修<br>「国語科教育法Ⅰ」を履修済みであること                                                                                  |
| 3103           | TEA 3810    | 国語科教育法Ⅲ            |          | 2  | ○<br>(国) | 3     | 演習       | 前期 | 国語科必修<br>「国語科教育法Ⅰ・Ⅱ」を履修済みであること                                                                                |
| 3103           | TEA 3860    | 国語科教育法Ⅳ            |          | 2  | ○<br>(国) | 3     | 演習       | 後期 |                                                                                                               |
| 3103           | TEA 2807    | 道徳の指導法             |          | 2  | ○        | 2・3   | 講義       | 前期 | [共通開設]                                                                                                        |
| 3103           | TEA 2853    | 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 |          | 2  | ○        | 2・3   | 講義       | 後期 | [共通開設]                                                                                                        |
| 3103           | TEA 3850    | 教育の方法及び技術          |          | 2  | △△       | 3     | 講義<br>演習 | 後期 | [共通開設]<br>△△のどちらか1科目選択必修                                                                                      |
| 3103           | TEA 3851    | 教育方法学              |          | 1  | △△       | 3     | 講義       | 前期 | [共通開設] 前半7.5コマ<br>△△のどちらか1科目選択必修                                                                              |
| 3103           | TEA 3852    | 教育評価               |          | 2  |          | 3     | 講義       | 後期 | [共通開設]                                                                                                        |
| 3103           | TEA 3853    | ICT活用教育            |          | 1  | ○        | 3     | 講義       | 前期 | [共通開設] 後半7.5コマ                                                                                                |
| 3103           | TEA 2855    | 生徒指導・進路指導の理論及び方法   |          | 2  | ○        | 2・3   | 講義       | 前期 | [共通開設]                                                                                                        |
| 3103           | TEA 2851    | 教育相談の理論及び方法        |          | 2  | ○        | 2・3   | 講義       | 前期 | [共通開設]                                                                                                        |
| 3103           | TEA 4855    | 中等教育実習事前事後指導       |          | 1  | ○        | 4     | 講義       | 通年 | 集中<br>各教科の指導法の合格者であること。教育実習と同一年度に履修すること                                                                       |
| 3103           | TEA 4856    | 中等教育実習Ⅰ            |          | 2  | ○        | 4     | 実習       | 通年 | 集中<br><b>前提科目</b><br>別に定める                                                                                    |
| 3103           | TEA 4857    | 中等教育実習Ⅱ            |          | 2  | ○<br>(中) | 4     | 実習       | 通年 | 集中<br>中学校必修<br><b>前提科目</b><br>別に定める                                                                           |
| 3103           | TEA 4851    | 教職実践演習             |          | 2  | ○        | 4     | 演習       | 後期 | 4年次生前期の履修登録時点において免許取得に係る科目の単位を全て修得見込みであること(中学校又は高等学校のいずれか)、及び「教職実践演習」開始時までに教育実習を問題なく終えていることを履修要件とする<br>[共通開設] |
| 3103           | TEA 2861    | 介護等体験              |          | 1  | ○<br>(中) | 2・3   | 実習       | 通年 | 集中<br>中学校免許取得者に必要                                                                                             |

## 【学校図書館司書教諭に関する科目】

## ●国際言語文化学部・生活環境学科・社会情報学環共通

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目      | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当学年  | 授業<br>形態 | 期間 | 備 | 考 |
|----------------|-------------|--------------|----------|----|----|-------|----------|----|---|---|
| 【司書教諭に関する科目】   |             |              |          |    |    |       |          |    |   |   |
| 3203           | T L I 2800  | 学校経営と学校図書館   |          | 2  | ○  | 2・3・4 | 講義       | 前期 |   |   |
| 3203           | T L I 2850  | 学校図書館メディアの構成 |          | 2  | ○  | 2・3・4 | 講義       | 後期 |   |   |
| 3203           | T L I 2801  | 学習指導と学校図書館   |          | 2  | ○  | 2・3・4 | 講義       | 前期 |   |   |
| 3203           | T L I 2851  | 読書と豊かな人間性    |          | 2  | ○  | 2・3・4 | 講義       | 後期 |   |   |
| 3203           | T L I 2802  | 情報メディアの活用    |          | 2  | ○  | 2・3・4 | 講義       | 前期 |   |   |

## 【図書館司書に関する科目】

| 科目<br>種別<br>番号 | コース<br>ナンバー | 授 業 科 目     | クラス<br>別 | 単位 | 必修                | 配当学年  | 授業<br>形態 | 期間 | 備                        | 考 |
|----------------|-------------|-------------|----------|----|-------------------|-------|----------|----|--------------------------|---|
| 【司書に関する科目】     |             |             |          |    |                   |       |          |    |                          |   |
| 3303           | L I B 2800  | 生涯学習概論      |          | 2  | ○                 | 2・3・4 | 講義       | 前期 |                          |   |
| 3303           | L I B 1800  | 図書館概論       |          | 2  | ○                 | 1     | 講義       | 前期 |                          |   |
| 3303           | L I B 3850  | 図書館制度・経営論   |          | 2  | ○                 | 3・4   | 講義       | 後期 |                          |   |
| 3303           | L I B 2801  | 図書館情報技術論    |          | 2  | ○                 | 2・3・4 | 講義       | 前期 |                          |   |
| 3303           | L I B 2802  | 図書館サービス概論   |          | 2  | ○                 | 2・3・4 | 講義       | 前期 | 「図書館概論」履修者であること          |   |
| 3303           | L I B 2803  | 情報サービス論     |          | 2  | ○                 | 2・3・4 | 講義       | 前期 |                          |   |
| 3303           | L I B 3800  | 児童サービス論     |          | 2  | ○                 | 3・4   | 講義       | 前期 |                          |   |
| 3303           | L I B 2850  | 情報サービス演習Ⅰ   |          | 2  | ○                 | 2・3・4 | 演習       | 後期 |                          |   |
| 3303           | L I B 2851  | 情報サービス演習Ⅱ   |          | 2  | ○                 | 2・3・4 | 演習       | 後期 | 「情報サービス論」履修者であること（同時履修可） |   |
| 3303           | L I B 1850  | 図書館情報資源概論   |          | 2  | ○                 | 1・2   | 講義       | 後期 |                          |   |
| 3303           | L I B 2804  | 情報資源組織論     |          | 2  | ○                 | 2・3・4 | 講義       | 前期 | 「図書館概論」履修者であること          |   |
| 3303           | L I B 2852  | 情報資源組織演習Ⅰ   |          | 2  | ○                 | 2・3・4 | 演習       | 後期 | 「図書館概論」「情報資源組織論」履修者であること |   |
| 3303           | L I B 2853  | 情報資源組織演習Ⅱ   |          | 2  | ○                 | 2・3・4 | 演習       | 後期 | 「図書館概論」「情報資源組織論」履修者であること |   |
| 3303           | L I B 2856  | 現代出版事情      |          | 2  | 2科目<br>以上選択<br>必修 | 2・3・4 | 講義       | 後期 |                          |   |
| 3303           | L I B 2857  | 子どもの読書とメディア |          | 2  |                   | 2・3・4 | 講義       | 後期 | (隔年開講2)                  |   |
| 3303           | L I B 2807  | 京都資料論       |          | 1  |                   | 2・3・4 | 講義       | 前期 | 全7.5コマ                   |   |
| 3303           | L I B 2806  | 図書・図書館史     |          | 2  |                   | 2・3・4 | 講義       | 前期 |                          |   |
| 3303           | L I B 2855  | 図書館総合演習     |          | 1  |                   | 2・3・4 | 演習       | 後期 |                          |   |
| 3303           | L I B 4800  | 図書館実習       |          | 1  |                   | 4     | 実習       | 通年 | 集中                       |   |

## 【日本語教員養成課程に関する科目】

| 科目<br>種別<br>番号    | コース<br>ナンバー | 授業科目     | クラス<br>別 | 単位 | 必修 | 配当学年 | 授業<br>形態 | 期間 | 備  | 考 |
|-------------------|-------------|----------|----------|----|----|------|----------|----|----|---|
| 【日本語教員養成課程に関する科目】 |             |          |          |    |    |      |          |    |    |   |
| 4103              | JLT 2850    | 日本語教授法   |          | 2  | ○  | 2・3  | 講義       | 前期 |    |   |
| 4103              | JLT 3801    | 日本語教育実践Ⅰ |          | 2  | ○  | 3    | 実習       | 前期 | 集中 |   |
| 4103              | JLT 3851    | 日本語教育実践Ⅱ |          | 2  |    | 3    | 実習       | 後期 | 集中 |   |



## 11. 他大学等科目の履修について

- (1) 大学コンソーシアム京都の単位互換科目の履修について
- (2) 放送大学の単位互換科目の履修について





## 11-(1) 大学コンソーシアム京都の単位互換科目の履修について

大学コンソーシアム京都においては、京都地域の大学・短期大学間の教育交流事業などの一環として単位互換制度を実施している。

本学はこの制度に参加しているので、本学学生も大学コンソーシアム京都の科目を履修することができる。

### 1. 科目の概要等

大学コンソーシアム京都のWEBサイト (<https://www.consortium.or.jp/>) に、「単位互換・京カレッジポータルサイト」、「単位互換特設Webサイト」が3月に公開されるので、科目・シラバス等はそちらで確認することができる。出願期間等については、manabaオンライン事務局にて通知する。

### 2. 授業料等

大学コンソーシアム京都の科目を履修するときの授業料は無料である。ただし、演習・実習等の科目及び教材等の費用については、科目を開設する大学の定める額を必要とする。

### 3. 履修対象学年

大学コンソーシアム京都の科目を履修できるのは、本学においては2年次生前期から4年次生（卒業年次生）前期までとする。

### 4. 単位の認定

- (1) 他大学にて修得した単位については、その大学の証明に基づき、本学開設科目に照らし、内容及び単位数が同等以上であるかどうかについて教務委員会で審査の上、教授会の議を経て相当する科目に認定する。
- (2) 他大学等において修得した単位等のうち、本学開設科目に相当しないものについては、卒業要件単位に算入されない。
- (3) 学則第16条、第17条及び第17条の2に定めるとおり、大学コンソーシアム京都の単位互換科目（他大学・短期大学の開講科目）等の履修やTOEIC等の成果により認定された単位は、留学等で認定された単位及び入学前の既修単位等と合わせ、60単位を超えることができない。

### 5. 出願手続き

- (1) 大学コンソーシアム京都の単位互換科目を履修しようとする者は、3月下旬～4月上旬又は9月中旬～下旬に出願手続きをするものとする。
- (2) 出願は、大学コンソーシアム京都が定めた方法で行う。

### 6. 履修許可

- (1) 大学コンソーシアム京都の科目を開設する大学では各科目について募集定員を定めているため、応募人数が超過した場合は各科目開設大学において選考が行われる。
- (2) 履修の可否については、4月上旬頃又は10月上旬頃に科目開設大学からメールにて通知される。

### 7. 履修登録上の注意事項

大学コンソーシアム京都の単位互換科目は定員が超過すると、科目開設大学において受講者数の制限を行う場合がある。このため出願科目の履修が許可されない場合や、修得した単位が卒業要件単位に算入されない場合があるので、本学の履修登録に際してはあくまで本学の科目を履修することによって要卒単位数を確保するよう心掛けること。

## 11－(2) 放送大学の単位互換科目の履修について

本学では放送大学との単位互換制度を実施している。放送大学の科目の履修については以下を参照すること。

### 1. 授業料等

授業料は1単位あたり6,000円、選考料及び入学料は無料である。

### 2. 履修対象学年

原則として、2年次生前期から4年次生（卒業年次生）前期までとする。

### 3. 単位の認定

- (1) 放送大学で修得した単位については、放送大学の証明に基づき、本学開設科目に照らし、内容及び単位数が同等以上であるかどうかについて教務委員会で審査の上、教授会の議を経て相当する科目に認定する。
- (2) 放送大学の開設科目のうち、本学開設科目に相当しないものについては、単位認定されない。
- (3) 学則第16条、第17条及び第17条の2に定めるとおり、他大学・短期大学等の開講科目の履修やTOEIC等の成果により認定された単位は、留学等で認定された単位及び入学前既修単位等と合わせ、60単位を超えることができない。

### 4. 出願手続き

1月上旬及び7月上旬に出願について掲示するので、確認し、出願手続きを行う。

### 5. 履修許可

履修可否については、4月下旬及び9月下旬に通知される。

### 6. 履修登録上の注意事項

出願科目の履修が許可されない場合があるので、本学の履修登録に際してはあくまで本学の科目を履修することによって単位数を確保すること。

## 12. 免許・資格課程、各種プログラム

- (1) 教育職員免許状
- (2) 学校図書館司書教諭
- (3) 司書
- (4) 保育士
- (5) 二級建築士（国家試験受験資格）
- (6) フードスペシャリスト（受験資格）
- (7) 公認心理師（国家試験受験資格）
- (8) 認定心理士・認定心理士（心理調査）
- (9) 社会調査士
- (10) 産業カウンセラー
- (11) 准学校心理士
- (12) 社会福祉主事任用資格
- (13) 児童指導員・児童心理司・児童福祉司 任用資格
- (14) 上級情報処理士
- (15) プレゼンテーション実務士
- (16) 観光実務士
- (17) 実践キャリア実務士
- (18) 情報活用力プログラム
- (19) エアラインプログラム
- (20) 日本語教員養成課程

## 免許・資格一覧

| 免許・資格等           |                      | 国際言語文化学部 |          | 現代人間学部 |      |    |         | 社会情報学環 | 女性キャリアデザイン学環 | 参照頁 | 備 考  |                     |
|------------------|----------------------|----------|----------|--------|------|----|---------|--------|--------------|-----|------|---------------------|
|                  |                      | 英語英文学科   | 国際日本文化学科 | 生活環境学科 | 心理学科 |    | こども教育学科 |        |              |     |      |                     |
|                  |                      |          |          |        | 心カ   | 社ビ | 幼児教育    |        |              |     |      | 初等教育                |
| 教育職員免許状          | 中学校 1 種・高等学校 1 種(英語) | ◎        |          |        |      |    |         |        |              | P93 |      |                     |
|                  | 中学校 1 種・高等学校 1 種(国語) |          | ◎        |        |      |    |         |        |              |     |      |                     |
|                  | 中学校 1 種・高等学校 1 種(家庭) |          |          | ◎      |      |    |         |        |              |     |      |                     |
|                  | 高等学校 1 種(情報)         |          |          |        |      |    |         | ◎      |              |     |      |                     |
|                  | 小学校 1 種              |          |          |        |      |    | ◎       |        |              |     |      |                     |
|                  | 幼稚園 1 種              |          |          |        |      |    | ◎       | ◎      |              |     |      |                     |
| 学校図書館司書教諭        |                      | ○        | ○        | ○      |      |    |         | ○      | ○            |     | P111 | 教職課程(小・中・高)履修者のみ    |
| 司書               |                      | ○        | ○        | ○      | ○    | ○  | ○       | ○      | ○            |     | P113 |                     |
| 保育士              |                      |          |          |        |      |    | ◎       |        |              |     | P115 |                     |
| 二級建築士（国家試験受験資格）  |                      |          |          | ◎      |      |    |         |        |              |     | P118 |                     |
| フードスペシャリスト（受験資格） |                      |          |          | ◎      |      |    |         |        |              |     | P120 |                     |
| 公認心理師（国家試験受験資格）  |                      |          |          |        | ◎    | ◎  |         |        |              |     | P122 | 実務経験あるいは大学院進学が必要    |
| 認定心理士            |                      |          |          |        | ◎    | ◎  |         |        |              |     | P124 |                     |
| 認定心理士（心理調査）      |                      |          |          |        | ◎    | ◎  |         |        |              |     |      |                     |
| 社会調査士            |                      |          |          |        | ◎    | ◎  |         |        |              |     | P126 |                     |
| 産業カウンセラー         |                      |          |          |        | ◎    | ◎  |         |        |              |     | P127 |                     |
| 准学校心理士           |                      |          |          |        | ◎    | ◎  | ◎       | ◎      |              |     | P128 |                     |
| 社会福祉主事任用資格       |                      | ○        | ○        | ○      | ○    | ○  | ○       | ○      | ○            | ○   | P130 |                     |
| 児童指導員任用資格        |                      |          |          |        | ○    | ○  | ○       | ○      |              |     | P132 |                     |
| 児童心理司任用資格        |                      |          |          |        | ◎    | ◎  |         |        |              |     |      |                     |
| 児童福祉司任用資格        |                      |          |          |        | ○    | ○  | ○       | ○      |              |     |      | 卒業後 1 年以上<br>実務経験必要 |
| 上級情報処理士          |                      | ○        | ○        | ○      | ○    | ○  | ○       | ○      | ○            | ○   | P133 |                     |
| プレゼンテーション実務士     |                      | ○        | ○        |        |      |    |         |        | ○            | ○   | P135 |                     |
| 観光実務士            |                      |          | ◎        |        |      |    |         |        |              |     | P137 |                     |
| 実践キャリア実務士        |                      |          |          |        |      |    |         |        |              | ◎   | P139 |                     |
| 情報活用カプログラム       |                      | ○        | ○        | ○      | ○    | ○  | ○       | ○      | ○            | ○   | P141 |                     |
| エアラインプログラム       |                      | ○        | ○        | ○      | ○    | ○  | ○       | ○      | ○            | ○   | P144 |                     |
| 日本語教員養成課程        |                      | ○        | ○        | ○      | ○    | ○  | ○       | ○      | ○            | ○   | P147 | 登録日本語教員にかかる課程       |

心カ=心理カウンセリングコース

社ビ=社会・ビジネス心理コース

幼児教育=幼児教育コース

初等教育=初等教育コース

◎=その学科、コースでのみ取得可能な免許・資格

○=取得可能な免許・資格

△=取得を目指す場合は担当教員へ相談する必要がある免許・資格

(注 1) 教職課程と司書課程を同時に履修することは極めて困難である。その他、複数の免許・資格取得について制限が設けられているものがあるので、各学部学科の指導に従うこと。

(注 2) 編入学、単位互換、転学部等により既修得単位の認定を受ける場合、本学の卒業要件単位として認められる単位であっても、免許・資格取得のための科目の単位としては認められないことがあるので、必ず登録前に履修指導を受け、取得希望の免許・資格に必要な要件を確認すること。

(注 3) 科目によって卒業要件単位数に含まれないものもあるので注意すること。

## 12-① 教育職員免許状

英語英文学科・国際日本文化学科・生活環境学科・こども教育学科・社会情報学環

### はじめに

公立・私立の別なく、学校教育法第1条に定める学校の教員となるためには、教育職員免許法に基づいて教職課程を修め、必要な科目の単位を完全に修得して教育職員免許状を取得しなければならない。

しかしながら、教育職員免許状は、ただ単位を修得すれば得られるというのではなく、免許状を取得しようとする者が、真に教師となるにふさわしい要件を備えていなければ授与されない性格のものである。その要件とは、次代を担う子どもたちを教育するために何が必要かを常に考え、自己に不足している資質や知識を謙虚に反省し、よい教師となるために努力と研究を惜しまないような、情熱と探究心を持っているかどうかということである。

「教師になる気はまったくないが、とりあえず資格は取りたい」といった生半可な気持ちで教職課程を履修しようとする者は、ただちにそのような安易な考えを捨て、今一度自分は何のためにこの課程で学ぼうとするのかについて、改めて考え直す必要がある。

課程修得の最終段階において、各履修者は学校現場へ赴き、実際の教室で教育実習を行うが、これは決していい加減な心かげで臨んではならないものである。なぜなら、教育実習は、実習校の先生方に多大な負担をかけ、幼児・児童・生徒にとっての貴重な学習時間を奪い、その場を借りる形で実施されるものだからである。

実習校が教育実習生を受け入れる条件として、

- ①実習生が教育への熱意に溢れ、教師になる意志も強く、教員採用試験合格に向けて努力していること
- ②平素から一般学生よりも学業に熱心で、成績評価もよく、正しい判断力と強い責任感をもつ人格者であること

といった項目を履修者に求めることが多い。

以上のことをよく思量し、教職免許がどういう意味をもつ資格であるかということを、本課程の履修開始にあたり、しっかり認識しておくべきである。

### 1. 教職課程履修方法

#### 取得できる免許状

|                      |                 |              |                     |         |
|----------------------|-----------------|--------------|---------------------|---------|
| 国際<br>言語<br>文化<br>学部 | 英語英文学科          |              | 中学校教諭一種<br>高等学校教諭一種 | 外国語（英語） |
|                      | 国際日本文化学科        |              | 中学校教諭一種<br>高等学校教諭一種 | 国語      |
| 現代<br>人間<br>学部       | 生活環境学科          |              | 中学校教諭一種<br>高等学校教諭一種 | 家庭      |
|                      | こども<br>教育<br>学科 | 幼児教育コース（幼・保） | 幼稚園教諭一種             |         |
|                      |                 | 初等教育コース（小・幼） | 幼稚園教諭一種<br>小学校教諭一種  |         |
|                      | 社会情報学環          |              | 高等学校教諭一種            | 情報      |

#### 免許状の所要資格

免許状を取得するには、教職課程を修了するとともに、基礎資格として「学士の学位を有すること」、つまり卒業することが条件である。

これらに加え、小学校及び中学校の免許状の授与申請には、定められた学校・施設において行う介護等の体験（特別支援学校2日間、社会福祉施設その他の施設5日間の計7日間）の証明書が原則として必要である。

## 免許状の授与

免許状は卒業決定後、大学所在地の都道府県教育委員会から授与される。4年次において免許状取得見込みの者は、11月に行われる説明会に出席し、免許状授与の一括申請手続きを行わなければならない。申請手数料として一教科一校種につき、3,360円（2024年度の場合）が必要となる。

## 免許状取得に必要な科目

免許状取得に必要な科目は「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」に区分される。これらに加え、文部科学省令で別に定める科目がある。（以後、これらの科目を総称して「教職科目」という。）

① 「教科及び教科の指導法に関する科目」

それぞれの教科を教えるために、各教科の学習指導要領などから見て必要な科目が指定されている。

② 「教育の基礎的理解に関する科目等」

専門教科の知識のみに偏った教師が生まれないように、教育の理念・哲学や教育方法に関する専門的な勉強をして、教育者としての知識・技能を身につける目的で設けられている。

③ 「大学が独自に設定する科目」

本学では、一部の科目を除き「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」の最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てる。

④ 文部科学省令で別に定める科目

「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」各2単位、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」あるいは「情報機器の操作」のどちらかから2単位が必要である。

## 履修の制限

教職課程受講にあたっての誓約書に違反した者は、教育実習の履修は認められない。また、試験に関して不正行為のあった者は、教職課程の履修を続ける資格を失う。

## 教職課程に関する主な業務の分担

|                                                                                                                       |                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 教職課程の履修に関する問合せ<br>2. 実習校との事務連絡、教育実習関係業務<br>3. 介護等体験関係業務<br>4. 教育実習・介護等体験の欠席手続き<br>5. 教員採用試験関係業務（大学推薦等）<br>6. 教職大学院 | ND教育センター                                                                      |
| 7. 免許状の一括申請業務・申請手数料納入                                                                                                 | 教務課                                                                           |
| 8. 教職科目の授業・運営<br>9. 教科教育法・教育実習受講者の決定<br>10. 教育実習授業巡視                                                                  | 国際言語文化学部 英語英文学科・国際日本文化学科<br>現代人間学部 生活環境学科・こども教育学科<br>社会情報学環（学部等長、学科主任、その他の教員） |
| 11. 教員採用試験関係業務（私立求人案内等）                                                                                               | キャリアセンター                                                                      |
| 12. 京都地区大学教職課程協議会等<br>（各大学・教育委員会・実習校間の全体協議など）                                                                         | 教職課程担当教員                                                                      |
| 13. 教育実習委託費・介護等体験費の納入                                                                                                 | 財務課                                                                           |
| 14. 介護等体験・教育実習保険加入<br>15. 実習期間中の通学定期用学割証の申込み<br>（使用開始の1ヵ月前まで）                                                         | 学生課                                                                           |

## 連絡について

教職課程に関する連絡は、主にmanaba、UNIPA、教職課程掲示板（ソフィア館1階）で行うので各自こまめに確認すること。学生課届出の連絡先は最新のものにしておくこと。

## 教職ルーム（ソフィア館1階ND教育センター事務室内）について

教職課程履修者が各自自習、模擬授業の準備等に利用することができる。各教科の教科書・参考書等があるので、教員採用試験に向けての勉強に役立ててほしい。

稀に教職員が利用することがあるが、空いていれば自由に利用してよい。



## 留意事項等

- (1) 教職科目の履修にあたっては、卒業のための必修科目と時間割が重なるなどの特別な事情がない限り、配当学年を遵守すること。配当学年に従わない場合は4年間で免許状を取得できないことがある。
- (2) 中学校と高等学校の同一教科（英語、国語又は家庭）の免許状を同時に得ようとすることは、さほど困難ではない。両免許の所要資格をほぼ同時に充足することができるので、中・高ともに取得するよう努めること。
- (3) 教職課程と司書課程を同時に履修し免許・資格を得ることは極めて困難である。
- (4) 在学中に取り残した教職科目の単位を卒業後に補う場合、下記の科目（各教科の指導法及び実習関係科目）は本学の科目等履修生として補うことができない（本学大学院生が学部科目等履修をする場合を除く）。その他の教職科目は、本学学生の教職課程の円滑な履修にさしつかえない場合、履修が許可される。  
「英語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「国語科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「家庭科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、「情報科教育法Ⅰ・Ⅱ」「中等教育実習事前事後指導」、「教育実習事前事後指導」、「中等教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「初等教育実習Ⅰa・Ⅱa・Ⅰb・Ⅱb」、「介護等体験」、「教職実践演習」、「保育・教職実践演習（幼）」（ただし、教職実践演習に関しては、本学卒業後2年を超えない期間に履修することができるが、履修した学期において免許状取得見込みがある場合に限る。）
- (5) 姉妹大学等への留学によって修得した単位の認定にあたっては、教職科目としての認定は原則としてできない。なお、帰国後に教職科目を履修する場合には、登録前に必ずND教育センター（教職担当）に相談すること。
- (6) 教員免許状授与と申請及び介護等体験申込等の書類作成に際しては、外国籍の者にあっては「外国人登録原票記載事項証明書」のとおり氏名を記入すること。
- (7) 教員採用試験に向けての説明会及び対策講座についてはその都度掲示等で告知する。
- (8) 免許状取得を希望する者は、各年次に行われるオリエンテーションに必ず出席し、教職課程の履修についての説明・指導を受けること。日程は掲示等で各自確認すること。

## 2. 教育実習

### 教育実習生に求められること

教職課程を順調に履修し各教科の教育法に合格した者について教育実習を行う。

教育実習では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校、それぞれの教育現場において実際に教壇に立つとともに幼児・児童・生徒とのかかわり・学級管理・校務などの実習を行う。他の授業と異なり、教育現場に多大の迷惑をかけることになるので、実習を行う学生自身が責任を持って取組まなければならない。

教育実習を行う学生は、次のような条件にあてはまることを求められている。

- ① 教師として学力・人格ともに相応しい適性と能力を備えていること。
- ② 将来教職に就く意志が強く、原則として公立学校教員採用試験を受験すること。
- ③ 所定の科目について履修を完了し、教壇に立つのに十分な学力と指導力を身に付けていること。
- ④ 実習校の教育方針に従い、協力ができること。

## ●英語英文学科・国際日本文化学科・生活環境学科・社会情報学環

### 参加の前提・受講資格

教育実習に参加し得る者は、4年次の年度始めに各学科等において決定される。これらの学生は、次の事項を全て行って初めて実習に参加できる。

#### 《中学校教諭一種・高等学校教諭一種》

3年次後期終了時点で、原則として、以下の①から④に示す全ての科目を履修し単位を修得していること。

- ①「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「教科に関する専門的事項」を扱う必修科目5科目以上
- ②「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」を扱う必修科目4科目（英・国日・生環）、必修科目2科目（社情）全て
- ③「教育の基礎的理解に関する科目」の必修科目5科目全てと選択必修科目いずれか1科目
- ④「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の必修科目5科目全てと選択必修科目いずれか1科目

## 教育実習事前事後指導

事前指導は、4年次の4月～5月に集中的に行われ、皆出席が必要である。実習心得、実習手続、人権教育、特別支援教育、その他（シラバス参照）、評価のためのテストやレポートの提出をしなければならない。年間の予定は、掲示等で確認すること。なお、事後指導は、4年次の11月に集中的に行う。

## 教育実習費等の納入

実習期間（2～4週間）に応じて、所定の金額を、期日までに財務課に納付する。実習先の学校によって実習期間や費用の取扱いが異なるため、金額（1校につき11,000円～22,000円程度）は個別に通知する。全額を教育実習委託費として実習先の学校又は教育委員会に納める。

ほかに、賠償責任等の保険費用、健康診断書等の発行手数料、交通費、給食代、証明書発行手数料などの実費が必要である。

## 時期・期間

原則として、4年次の5月～10月に実施。中学校免許は3～4週間（少なくとも120時間、4単位相当）、高等学校免許のみの場合は2週間（少なくとも60時間、2単位相当）必要である。

## 教育実習校

大学近隣の中学校・高等学校とするのが望ましい。3年次進級前に教育実習についてのオリエンテーションを受講後、実習の前年度に希望者自身で交渉の上、承諾を得るものとする（ノートルダム女学院及び一部地域の学校の場合を除く）。

## オリエンテーションと登録、予備調査等

1年次、2年次及び3年次にオリエンテーションと登録、予備調査等が行われる。3年次進級前に教育実習の概要や実習校依頼手続きその他について指導を受け、誓約書を提出しなければならない。いずれも内容が極めて重要なので代理出席は認められない。

## ●こども教育学科

### 参加の前提・受講資格

教育実習に参加し得る者は、実習年度の始めに学科において決定される。これらの学生は、次の事項を全て行って初めて実習に参加できる。

#### 《幼稚園教諭一種》

4年次の「初等教育実習Ⅰa」については、以下の①、②を満たしていること。

- ① 3年次後期までに卒業要件単位93単位以上を修得していること。
- ② 以下の要件を満たしていること。

イ 「教育原理」と、「保育者論」「教職論」のうちいずれか1科目の計2科目4単位を修得済みであること。

ロ 「保育内容総論」「保育内容（健康）」「保育内容（人間関係）」「保育内容（環境）」「保育内容（言葉）」「保育内容（表現）」の6科目12単位を修得済みであること。

ハ 領域に関する専門的事項の科目の、5科目5単位を修得済みであること。

ニ 「教育心理学」「特別支援教育」と、「教育社会学」「教育経営論」のうちいずれか1科目の計3科目6単位を修得済みであること。

ホ 「教育方法学」及び「幼児理解の理論と方法」の2科目3単位を修得済みであること。

ヘ 「保育・教育課程論」及び「教育相談の理論及び方法」の2科目4単位を修得済み又は履修中であること。

#### 《小学校教諭一種》

3年次の「初等教育実習Ⅰb」については、以下の①、②を満たしていること。

- ① 2年次後期までに卒業要件単位62単位以上を修得していること。
- ② 以下の要件を満たしていること。

イ 「教育原理」及び「教職論」の2科目4単位を修得済みであること。

ロ 各教科の指導法の10科目20単位を修得済みであること。

ハ 教科に関する専門的事項の科目のうち、8単位を修得済みであること。



- 二 「教育心理学」「特別支援教育」と、「教育社会学」「教育経営論」のうちいずれか1科目の計3科目6単位を修得済みであること。
- ホ 「教育課程論」、「教育方法学」及び「ICT活用教育」の3科目4単位を修得済み又は履修中であること。
- ヘ 「道徳の指導法」「特別活動・総合的な学習の時間の指導法」「生徒指導・進路指導の理論及び方法」及び「教育相談の理論及び方法」の4科目8単位を修得済み又は履修中であること。

## 教育実習事前事後指導

事前指導は、小学校は3年次前期（集中）、幼稚園は4年次（集中）に行われ、皆出席が必要である。実習心得、実習手続、人権教育、特別支援教育、その他（シラバス参照）、評価のためのテスト又はレポートを数回提出しなければならない。年間の予定は、掲示等で確認すること。なお、事後指導は教育実習が終った年度の11月に集中的に行う。

## 教育実習費等の納入

実習期間（2～4週間）に応じて所定の金額を、期日までに財務課に納付する。実習先の学校によって実習期間や費用の取扱いが異なるため、金額（1校につき11,000円～22,000円程度）は個別に通知する。全額を教育実習委託費として実習先の学校又は教育委員会に納める。

ほかに、賠償責任等の保険費用、健康診断書等の発行手数料、交通費、給食代、証明書発行手数料などの実費が必要である。

## 時期・期間

### 《幼児教育コース》

原則として4年次の5月～10月に幼稚園実習120時間（原則として4週間）を行う。

### 《初等教育コース》

原則として3年次9月～10月・4年次の6月～9月。3年次に小学校実習120時間（原則として4週間）、4年次に幼稚園実習60時間（2週間）を行うことを基本とする。

## 教育実習校

教育実習校は、大学近隣の幼稚園・小学校とし、教育実習についてのオリエンテーションを受講後、実習の前年度に希望者自身で交渉の上、承諾を得るものとする（ノートルダム学院小学校及び一部地域の学校の場合を除く）。出身校での実習を希望する場合は別途届出を行う。実習期間は、原則として幼稚園免許・小学校免許は4週間（少なくとも120時間、4単位相当）必要である。

## オリエンテーションと登録、予備調査等

1年次、2年次及び3年次にオリエンテーションと登録、予備調査等が行われる。教育実習の概要や実習校依頼手続きその他について指導を受け、誓約書を提出しなければならない。いずれも内容が極めて重要なので代理出席は認められない。

## 3. 介護等体験

小学校・中学校の免許状を取得するためには、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（平成9年法律第90号）に定められる介護等の体験（以下「介護等体験」という）を行うことが原則として必要である（平成10年度以後入学者から適用）。これを行った証明書を添付しなければ、小学校・中学校の免許状の申請ができない。

介護等体験は教育実習と同様、受入れ先の学校や施設に本来の仕事以外の大きな負担を強いるものである。生徒や施設利用者にも多大の迷惑をかけることとなるので、教職に就く強い意志を持たない者が安易な気持ちで参加することは厳に慎まなければならない。

介護等体験は、「個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めること」「人の心の痛みがわかる人づくり、各人の価値観の相違を認められる心を持った人づくりの実現」といった法の趣旨により、義務教育に従事する教員の免許状取得希望者に義務づけられている。

（介護等に関する専門的知識及び技術を有する者又は身体上の障害により介護等の体験を行うことが困難な者として文部科学省令で定めるものについては免除される。）

なお、体験内容は受入れ先の特徴や考え方によって異なるが、担当者の指示に従って行う。

時期・期間

- ・英語英文学科・国際日本文化学科・生活環境学科：2年次の後期以降に事前指導を行い、3年次（4年次でも可）に体験を実施する。
- ・こども教育学科：1年次の後期以降に事前指導を行い、2年次で体験を実施する。

事前指導には全て出席しなければならない（シラバス参照）。指定された特別支援学校で2日間、社会福祉施設その他の施設で5日間の計7日間にわたり、「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験」を行わなければならないこととなっている。

申込みと受入れ先の決定

申込みは大学経由で都道府県単位に行い、通常は特別支援学校については教育委員会が、社会福祉施設その他の施設については社会福祉協議会が、それぞれ受入れ先の割り当てを決定する。いったん申込みと辞退することはできないので、教職を目指す意志が固まらない者、続けるかどうか迷っている者は安易に申込みないこと。

費用

体験に要する費用は都道府県によって異なるが、京都府の場合、社会福祉施設での体験費用8,250円（2024年度の場合）を大学を通じて納入する。ほかに、テキスト代、賠償責任等の保険費用、健康診断書等の発行手数料、交通費、昼食代、証明書発行手数料、寄宿舍での体験や遠隔地で実施する場合の宿泊費などの実費が必要である。

スケジュール

介護等体験の大まかな流れは以下のとおり（年間の予定は、掲示等で確認すること）。ただし、都道府県によって異なる部分がある。これらを全て行わないと実施ができない場合があるので、告知等の掲示に注意し漏れないようにすること。

|       |                                                                                       |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 登録時   | 教職オリエンテーションに出席し、教職課程を履修する決意をした上で登録届を提出する。（履修登録の際、取得を希望する免許状の「資格申請」を行うこと。）             |
| 説明会   | 介護等体験を行う場合は必ず出席すること。<br>介護等体験の概要説明。意志確認ののち申込・誓約書の提出。諸手続き等について。                        |
| 事前指導  | 上級生体験談。書類作成等。<br>特別講師による講義。<br>簡単な介助の体験。<br>体験日誌の記入、報告書類、受入れ先への連絡、証明書についてなど。<br>直前指導。 |
| 手続き   | 都道府県別に諸手続き等に関する説明を適宜行うことがある。ND教育センターからの連絡を見逃さないこと。<br>教育委員会・社会福祉協議会に大学から一括して申込みを行う。   |
| 介護等体験 | 教育委員会・社会福祉協議会が割り当てた学校・施設、日程で介護等体験を行う。                                                 |
| 事後指導  | 介護等体験を通して学んだ事を振り返り、教職を目指す者としての自覚を深める。                                                 |

留意事項

生徒や施設利用者と直接ふれあう介護等体験では、特に健康状態に対する十分な注意が必要である。このため、年度当初の健康診断を必ず受診し、胸部X線検査を受けること（事情があり検査を受けられない場合は速やかにND教育センターに相談すること）。受入れ施設によっては別に検便等の検査（有料）を求められる場合がある。

4. 教職実践演習

●教員としての資質能力を最終確認する

教職実践演習では、教職課程をはじめとした科目の履修やさまざまな活動を通じて、教員として最小限必要な資質能力が形成されたのか、そして本学の教員養成に対する理念に基づいた資質能力が身についているのかなど、教員としての適格性を最終確認することを目的とする。また、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようにする。

## ●履修要件

教職実践演習は、4年次生前期の履修登録時点において免許取得に係る科目の単位を全て修得見込みであること(幼稚園・小学校・中学校・高等学校のいずれか)、及び教職実践演習開始時までに教育実習を問題なく終えていることを履修要件とする。

## ●授業内容

これまでに学んだ教職および教科に関する知識と、教育実習体験を通して得られた実践的指導力との統合を図りつつ、主に以下の4つの事項について、ロールプレイング・グループ討議・模擬授業・事例研究・外部講師による講話などを取り入れながら授業を進め、教師としての資質の向上を図る。

- ① 使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項
- ② 社会性や対人関係能力に関する事項
- ③ 幼児・児童・生徒理解や学級経営等に関する事項
- ④ 教科・保育内容等の指導力に関する事項

なお、こうした多様な方法を取り入れた授業という性質上、2コマ連続の開講方式を導入する。

## ●その他

学習状況が著しく不良で、教員としての実践的指導力の適格性がないと判断する場合は、全担当教員の合意の上で、評定点にかかわらず不合格となる場合がある。

## 5. 免許状取得までの各年次の主なスケジュール

### 【英語英文学科・国際日本文化学科・生活環境学科・社会情報学環】

| 年次 | 主要スケジュール（詳細は掲示板等で確認すること） |                                                                                              | 教職に関する科目等の標準的な履修年次                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 履修登録時                    | 1年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。                                                                       | 憲法と人権、体育講義、体育実技、健康スポーツ演習、情報演習Ⅰa、情報演習Ⅰb、英語実践（4技能）Ⅰ、英語実践（4技能）Ⅱ<br><br>教育原理（家庭科）<br>暮らしと電気・エネルギー                                                                                                                                                                          |
|    | 12月                      | 教職課程説明会                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 3月                       | 教職課程オリエンテーション<br>履修カルテ入力<br>教育実習予備調査<br>履修指導                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 2  | 履修登録時                    | 2年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。<br>取得を希望する免許状の「資格申請」をする（UNIPA）。                                       | 教育史、教育経営論、教職論、教育心理学、教育社会学、特別支援教育、情報演習Ⅱ、情報処理<br><br>英語科教育法Ⅰ、英語科教育法Ⅱ<br>国語科教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ<br>家庭科教育法Ⅰ、家庭科教育法Ⅱ<br><br>日常の英会話、旅行の英会話、留学の英会話、おもてなしの英会話、ビジネス英会話、AIとデータサイエンス入門<br><br>（英語科）<br>Persuasive Communication、<br>Public Speaking、Argumentation and Debate             |
|    | 10月頃                     | 介護等体験説明会                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 11月頃                     | 教育実習報告会                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 3月                       | 教職課程オリエンテーション<br>履修カルテ入力<br>教育実習依頼指導(1)<br>誓約書提出・実習依頼校申請<br>教職課程特別講座（履修指導を含む）<br>介護等体験事前指導開始 |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 3  | 履修登録時                    | 3年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。<br>教育実習要件を確認し、前提科目を履修する。<br>取得を希望する免許状の「資格申請」を確認する（UNIPA）。            | 教育課程論、道徳の指導法、特別活動・総合的な学習の時間の指導法、生徒指導・進路指導の理論及び方法、教育相談の理論及び方法<br><br>英語科教育法Ⅲ、英語科教育法Ⅳ<br>国語科教育法Ⅲ、国語科教育法Ⅳ<br>家庭科教育法Ⅲ、家庭科教育法Ⅳ<br>情報科教育法Ⅰ、情報科教育法Ⅱ<br><br>教育評価、ICT活用教育<br>教育の方法及び技術、教育方法学、介護等体験<br><br>（英語科）<br>Communication SkillsⅠ、Communication SkillsⅡ<br>（情報科）<br>環境教育 |
|    | 4月頃                      | 教育実習依頼指導(2)                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 5～2月頃                    | 介護等体験7日間                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 11月頃                     | 教育実習報告会                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 12月頃                     | 介護等体験事後指導<br>司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 3月                       | 教職課程オリエンテーション<br>履修カルテ入力<br>教職課程特別講座（履修指導を含む）                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 4  | 履修登録時                    | 4年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。<br>必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。<br>取得を希望する免許状の「資格申請」を確認する（UNIPA）。             | 中等教育実習事前事後指導、中等教育実習Ⅰ、中等教育実習Ⅱ<br><br>（情報科）<br>国際理解教育<br><br>教職実践演習                                                                                                                                                                                                      |
|    | 4月                       | 教育実習事前指導開始<br>教育実習の確定登録<br>教育実習費の納入                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 4～9月                     | 実習校への通学時間などを調べ、実習校と打合せて実習の準備をする。                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 5～10月                    | 教育実習<br>教育実習終了後履修カルテ入力                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 11月頃                     | 教育実習事後指導<br>教育実習報告会                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 12月頃                     | 免許状授与一括申請手続<br>司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 3月頃                      | 教員採用状況調査                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|    | 3月                       | 卒業式後、免許状交付                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                        |

教員採用試験のスケジュールについては、各都道府県・政令指定都市及び私立学校により異なるので、各自で確認すること。

## 【こども教育学科（幼稚園教諭）】

| 年次 | 主要スケジュール（詳細は掲示板等で確認すること） |                                                                                                           | 教職に関する科目等の標準的な履修年次                                                     |
|----|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 履修登録時                    | 1年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。                                                                                    | 憲法と人権、体育講義、体育実技、健康スポーツ演習、情報演習Ⅰa、情報演習Ⅰb、英語実践（4技能）Ⅰ、英語実践（4技能）Ⅱ           |
|    | 7月頃                      | 履修コース分属ガイダンス                                                                                              |                                                                        |
|    | 12月                      | 教職課程説明会                                                                                                   | 教育原理、保育者論、教職論、教育心理学、特別支援教育、幼児理解の理論と方法、保育内容総論                           |
|    | 3月                       | 教職課程オリエンテーション<br>履修カルテ入力<br>教育実習予備調査<br>履修指導                                                              |                                                                        |
| 2  | 履修登録時                    | 2年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。<br>取得を希望する免許状の「資格申請」をする（UNIPA）。                                                    | 教育史、教育社会学、教育経営論、幼児と健康、幼児と人間関係、幼児と環境、幼児と言葉、幼児と表現、保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） |
|    | 11月頃                     | 教育実習報告会                                                                                                   |                                                                        |
|    | 3月                       | 教職課程オリエンテーション<br>履修カルテ入力<br>教育実習依頼指導（1）<br>誓約書提出・実習依頼申請<br>教育実習予備調査<br>教職課程特別講座（履修指導含む）                   | 日常の英会話、旅行の英会話、留学の英会話、おもてなしの英会話、ビジネス英会話、情報演習Ⅱ、情報処理                      |
|    |                          |                                                                                                           |                                                                        |
| 3  | 履修登録時                    | 3年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。<br>必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。<br>教育実習要件を確認し、前提科目を履修する。<br>取得を希望する免許状の「資格申請」を確認する（UNIPA）。 | 保育・教育課程論、教育方法学、教育の方法及び技術、教育評価、教育相談の理論及び方法、環境教育、情報教育、食と健康の教育            |
|    | 4月頃                      | 教育実習依頼指導（2）                                                                                               |                                                                        |
|    | 11月頃                     | 教育実習報告会                                                                                                   |                                                                        |
|    | 12月頃                     | 司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）                                                                                   |                                                                        |
|    | 3月                       | 教職課程オリエンテーション<br>履修カルテ入力<br>教職課程特別講座（履修指導含む）                                                              |                                                                        |
| 4  | 履修登録時                    | 4年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。<br>必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。<br>取得を希望する免許状の「資格申請」を確認する（UNIPA）。                          | 教育実習事前事後指導、初等教育実習Ⅰa、初等教育実習Ⅱa、保育・教職実践演習（幼）、教職実践演習、国際理解教育                |
|    | 4月頃                      | 教育実習事前指導開始<br>教育実習費の納入                                                                                    |                                                                        |
|    | 4～9月                     | 実習園への通園時間などを調べ、実習園と打合せて実習の準備をする                                                                           |                                                                        |
|    | 5～10月                    | 教育実習<br>教育実習終了後履修カルテ入力                                                                                    |                                                                        |
|    | 11月頃                     | 教育実習事後指導<br>教育実習報告会                                                                                       |                                                                        |
|    | 12月頃                     | 免許状授与一括申請手続<br>司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）                                                                    |                                                                        |
|    | 3月頃                      | 教員採用状況調査                                                                                                  |                                                                        |
|    | 3月                       | 卒業式後、免許状交付                                                                                                |                                                                        |

教員採用試験のスケジュールについては、各都道府県・政令指定都市及び私立学校により異なるので、各自で確認すること。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金（学費）・経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図



## 【こども教育学科（小学校教諭）】

| 年次 | 主要スケジュール（詳細は掲示板等で確認すること） |                                                                                             | 教職に関する科目等の標準的な履修年次                                                                                                                 |
|----|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 履修登録時                    | 1年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。                                                                      | 憲法と人権、体育講義、体育実技、健康スポーツ演習、情報演習Ⅰa、情報演習Ⅰb、英語実践（4技能）Ⅰ、英語実践（4技能）Ⅱ                                                                       |
|    | 7月頃                      | 履修コース分属ガイダンス                                                                                |                                                                                                                                    |
|    | 10月頃                     | 介護等体験説明会                                                                                    |                                                                                                                                    |
|    | 12月                      | 教職課程説明会                                                                                     |                                                                                                                                    |
|    | 3月                       | 教職課程オリエンテーション<br>履修カルテ入力<br>教育実習依頼指導（1）<br>誓約書提出・実習依頼校申請<br>教育実習予備調査<br>履修指導<br>介護等体験事前指導開始 | 教育原理、教職論、教育心理学、特別支援教育、国語、社会、算数、理科、生活                                                                                               |
|    |                          |                                                                                             |                                                                                                                                    |
|    |                          |                                                                                             |                                                                                                                                    |
|    |                          |                                                                                             |                                                                                                                                    |
| 2  | 履修登録時                    | 2年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。<br>取得を希望する免許状の「資格申請」する（UNIPA）。<br>教育実習要件を確認し、前提科目を履修する。              | 教育史、教育社会学、教育経営論、教育課程論、書写、音楽、図工、家庭、体育、外国語（英語）、国語科指導法、社会科指導法、算数科指導法、理科指導法、生活科指導法、音楽科指導法、図工科指導法、家庭科指導法、体育科指導法、外国語（英語）指導法              |
|    | 4月頃                      | 教育実習依頼指導（2）                                                                                 |                                                                                                                                    |
|    | 5～2月頃                    | 介護等体験7日間                                                                                    |                                                                                                                                    |
|    | 11月頃                     | 教育実習報告会                                                                                     |                                                                                                                                    |
|    | 12月頃                     | 介護等体験事後指導                                                                                   | 日常の英会話、旅行の英会話、留学の英会話、おもてなしの英会話、ビジネス英会話、情報演習Ⅱ、情報処理                                                                                  |
|    | 3月                       | 教職課程オリエンテーション<br>履修カルテ入力<br>教職課程特別講座（履修指導含む）                                                |                                                                                                                                    |
| 3  | 履修登録時                    | 3年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。<br>必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。<br>取得を希望する免許状の「資格申請」を確認する（UNIPA）。            | 道徳の指導法、特別活動・総合的な学習の時間の指導法、教育方法学、教育の方法及び技術、教育評価、ICT活用教育、生徒指導・進路指導の理論及び方法、教育相談の理論及び方法、教育実習事前事後指導、初等教育実習Ⅰb、初等教育実習Ⅱb、環境教育、情報教育、食と健康の教育 |
|    | 4月頃                      | 教育実習事前指導開始<br>教育実習費の納入                                                                      |                                                                                                                                    |
|    | 4～9月                     | 実習校への通学時間などを調べ、実習校と打合せて実習の準備をする                                                             |                                                                                                                                    |
|    | 9～10月                    | 教育実習<br>教育実習終了後履修カルテ入力                                                                      |                                                                                                                                    |
|    | 11月頃                     | 教育実習事後指導<br>教育実習報告会                                                                         |                                                                                                                                    |
|    | 12月頃                     | 司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）                                                                     |                                                                                                                                    |
|    | 3月                       | 教職課程オリエンテーション<br>履修カルテ入力<br>教職課程特別講座（履修指導含む）                                                |                                                                                                                                    |
| 4  | 履修登録時                    | 4年次の配当科目で履修可能な科目を履修する。<br>必要単位の不足はないか綿密に検討し直す。<br>取得を希望する免許状の「資格申請」を確認する（UNIPA）。            | 教職実践演習、初等教材開発論、国際理解教育                                                                                                              |
|    | 11月頃                     | 教育実習報告会                                                                                     |                                                                                                                                    |
|    | 12月頃                     | 免許状授与一括申請手続<br>司書教諭講習修了証書一括申請手続（該当者のみ）                                                      |                                                                                                                                    |
|    | 3月頃                      | 教員採用状況調査                                                                                    |                                                                                                                                    |
|    | 3月                       | 卒業式後、免許状交付                                                                                  |                                                                                                                                    |

教員採用試験のスケジュールについては、各都道府県・政令指定都市及び私立学校により異なるので、各自で確認すること。

## 6. 履修科目及び単位表

履修科目及び単位表をよく確認の上、登録時には十分注意し、計画的に履修すること。

| 免許教科        |        | 法規上必要な最低修得単位数              |                          |                        |                                                         |                |                  |    |
|-------------|--------|----------------------------|--------------------------|------------------------|---------------------------------------------------------|----------------|------------------|----|
|             |        | 教科及び教職に関する科目               |                          |                        |                                                         |                |                  | 合計 |
|             |        | 領域及び保育<br>内容の指導法<br>に関する科目 | 教科及び教科<br>の指導法に<br>関する科目 | 教育の基礎的<br>理解に関する<br>科目 | 道徳、総合的な<br>学習の時間等<br>の指導法及び<br>生徒指導、教育<br>相談等に関する<br>科目 | 教育実践に<br>関する科目 | 大学が独自に<br>設定する科目 |    |
| 外国語<br>(英語) | 中学校一種  |                            | 28                       | 10                     | 10                                                      | 7              | 4                | 59 |
|             | 高等学校一種 |                            | 24                       | 10                     | 8                                                       | 5              | 12               | 59 |
| 国 語         | 中学校一種  |                            | 28                       | 10                     | 10                                                      | 7              | 4                | 59 |
|             | 高等学校一種 |                            | 24                       | 10                     | 8                                                       | 5              | 12               | 59 |
| 家 庭         | 中学校一種  |                            | 28                       | 10                     | 10                                                      | 7              | 4                | 59 |
|             | 高等学校一種 |                            | 24                       | 10                     | 8                                                       | 5              | 12               | 59 |
| 情 報         | 中学校一種  |                            | 28                       | 10                     | 10                                                      | 7              | 4                | 59 |
|             | 高等学校一種 |                            | 24                       | 10                     | 8                                                       | 5              | 12               | 59 |
| 幼稚園一種       |        | 16                         |                          | 10                     | 4                                                       | 7              | 14               | 51 |
| 小学校一種       |        |                            | 30                       | 10                     | 10                                                      | 7              | 2                | 59 |

注) 「大学が独自に設定する科目」の単位には、当該科目以外の科目の余剰単位を算入する。余剰単位とは、最低修得単位数(幼37単位、小57単位、中55単位、高47単位)を超えて修得した単位をいう。

## 文部科学省令(教育職員免許法施行規則第66条の6)で別に定める科目(全学共通)

| 免許法施行規則に定める<br>科目区分  | 最低<br>修得<br>単<br>位<br>数 | 本学開設授業科目    |                        |             |          | 備 考     |
|----------------------|-------------------------|-------------|------------------------|-------------|----------|---------|
|                      |                         | コース<br>ナンバー | 授業科目                   | 単<br>位<br>数 | 配当<br>学年 |         |
| 日本国憲法                | 2                       | GES 1250    | ○憲法と人権                 | 2           | 1        |         |
| 体育                   | 2                       | GSW 1150    | 体育講義                   | 1           | 1        | 2単位選択必修 |
|                      |                         | GSW 1100    | 体育実技                   | 1           | 1        |         |
|                      |                         | GSW 1151    | 健康スポーツ演習               | 2           | 1        |         |
| 外国語コミュニケーション         | 2                       | GBE 2309    | 日常の英会話                 | 1           | 1・2・3・4  | 2単位選択必修 |
|                      |                         | GBE 2310    | 旅行の英会話                 | 1           | 1・2・3・4  |         |
|                      |                         | GBE 3301    | 留学の英会話                 | 1           | 1・2・3・4  |         |
|                      |                         | GBE 3302    | おもてなしの英会話              | 1           | 1・2・3・4  |         |
|                      |                         | GBE 3303    | ビジネス英会話                | 1           | 1・2・3・4  |         |
|                      |                         | GBE 2306    | 英語実践(4技能)Ⅰ             | 1           | 1・2・3・4  |         |
|                      |                         | GBE 2356    | 英語実践(4技能)Ⅱ             | 1           | 1・2・3・4  |         |
|                      |                         | EGB 3302    | Communication Skills Ⅰ | 1           | 3        |         |
|                      |                         | EGB 3352    | Communication Skills Ⅱ | 1           | 3        |         |
|                      |                         | EGE 2302    | Public Speaking        | 2           | 2・3・4    |         |
| 数理、データ活用及び人工知能に関する科目 | 2                       | GEI 2451    | AIとデータサイエンス入門          | 2           | 1・2      | 2単位選択必修 |
|                      |                         | GEI 1400    | 情報演習Ⅰa                 | 1           | 1        |         |
|                      |                         | GEI 1401    | 情報演習Ⅰb                 | 1           | 1        |         |
|                      |                         | GEI 2400    | 情報演習Ⅱ                  | 1           | 1・2      |         |
|                      |                         | GEI 2450    | 情報処理                   | 2           | 2        |         |
| 情報機器の操作              |                         |             |                        |             |          |         |

注) (1) ○印は免許状取得の必修科目。

(2) 1年次に配当されている科目は、なるべく1年次に履修しておくこと。

(3) 情報演習Ⅰa、情報演習Ⅰb、情報演習Ⅱについて、教職課程の科目として必要な場合は、検定試験等による単位認定ではなく本学開講科目を履修すること。

※2023年度以降入学者用

外国語（英語）（中学一種・高校一種共通）

【英語英文学科】

教科及び教職に関する科目（教科及び教科の指導法に関する科目に限る。）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等         |                                                   |                 | 最低修得<br>単位数<br>(本学の最<br>低単位数) | 左の科目区分等に対応する本学開設授業科目 |                                                   |     |   |          | 備 考            |  |
|------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------|----------------------|---------------------------------------------------|-----|---|----------|----------------|--|
| 科目区分                         | 各科目に含めること<br>が必要な事項                               |                 |                               | コース<br>ナンバー          | 授業科目                                              | 単位数 |   | 配当<br>学年 |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               |                      |                                                   | 中   | 高 |          |                |  |
| 教科及び<br>教科の指<br>導法に関<br>する科目 | 教科に 関<br>する 専 門<br>的 事 項                          | 英語学             | 中28(28)<br>高24(24)            | EGF 2201             | ○言語学概論                                            | 2   | 2 | 1        | △から1科目<br>選択必修 |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGL 2202             | 英語の歴史                                             | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGL 3406             | ことばの音と形態                                          | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGR 3450             | ○応用言語学                                            | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   | 英語文学            |                               | EGF 2200             | ○英米文学概論                                           | 2   | 2 | 1        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGL 2200             | 英文学の歴史                                            | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGL 2201             | 米文学の歴史                                            | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGF 2250             | 専門講読(英文学)                                         | 2   | 2 | 2        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGF 2251             | 専門講読(米文学)                                         | 2   | 2 | 2        |                |  |
|                              |                                                   | 英語コミュ<br>ニケーション |                               | EGB 1311             | ○Academic English I                               | 2   | 2 | 1        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGB 1360             | ○Academic English II                              | 2   | 2 | 1        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGB 2315             | ○Academic English III                             | 2   | 2 | 2        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGB 3302             | Communication Skills I                            | 1   | 1 | 3        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGB 3352             | Communication Skills II                           | 1   | 1 | 3        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGE 3402             | Persuasive Communication                          | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGE 2302             | Public Speaking                                   | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGE 3404             | Argumentation and Debate                          | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   | 異文化理解           |                               | EGL 3456             | △異文化間コミュニケーション                                    | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGL 3459             | イギリスの社会と文化                                        | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGE 3553             | Comparative Culture                               | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGL 3250             | Global Literature Workshop                        | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGE 2502             | △Intercultural Communication and<br>Acculturation | 2   | 2 | 2・3・4    |                |  |
|                              | 教科及び教科の指導法<br>に関する科目における<br>複数の事項を合わせた<br>内容に係る科目 |                 |                               |                      |                                                   |     |   |          |                |  |
|                              | 各教科の指導法(情報通<br>信技術の活用を含む。)                        |                 |                               | EGR 2200             | ○英語科教育法Ⅰ                                          | 2   | 2 | 2        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGR 2250             | ○英語科教育法Ⅱ                                          | 2   | 2 | 2        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGR 3200             | ○英語科教育法Ⅲ                                          | 2   | 2 | 3        |                |  |
|                              |                                                   |                 |                               | EGR 3250             | ○英語科教育法Ⅳ                                          | 2   | 2 | 3        |                |  |

注) (1) ○印は免許状取得の必修科目。△印は免許状取得の選択必修科目。



※2024年度以降入学者用

国 語 (中学一種・高校一種共通)

【国際日本文化学科】

教科及び教職に関する科目 (教科及び教科の指導法に関する科目に限る。)

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等 |                   |                                       | 最低修得<br>単位数<br>(本学の最低単位数) | 左の科目区分等に対応する本学開設授業科目 |                |          |          |          | 備 考                                              |   |  |
|----------------------|-------------------|---------------------------------------|---------------------------|----------------------|----------------|----------|----------|----------|--------------------------------------------------|---|--|
| 科目区分                 | 各科目に含めることが必要な事項   |                                       |                           | コース<br>ナンバー          | 授業科目           | 単位数      |          | 配当<br>学年 |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           |                      |                | 中        | 高        |          |                                                  |   |  |
| 教科及び教科の指導法に関する科目     | 教科に関する専門的事項       | 国語学<br>(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)         | 中28(28)<br>高24(24)        | CSA 1201             | ○国語学概論         | 2        | 2        | 1・2      | 音声言語を含む。<br><br>文章表現を含む。<br>文章表現を含む。<br>文章表現を含む。 |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSA 2406             | 日本語の朗読         | 2        | 2        | 2・3・4    |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSB 1500             | ○日本語コミュニケーションⅠ | 2        | 2        | 1        |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSB 1550             | ○日本語コミュニケーションⅡ | 2        | 2        | 1        |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSB 2500             | ○日本語コミュニケーションⅢ | 2        | 2        | 2        |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSA 2352             | 日本語文法          | 2        | 2        | 2・3・4    |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSA 2353             | 日本語研究          | 2        | 2        | 2・3・4    |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSA 2561             | 識字活動と子どもの権利    | 2        | 2        | 2・3・4    |                                                  |   |  |
|                      |                   | 国文学<br>(国文学史を含む。)                     |                           | CSA 1200             | ○国文学概論         | 2        | 2        | 1・2      | 国文学史を含む。                                         |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSA 2250             | ○日本古典文学講読      | 2        | 2        | 2・3・4    |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSA 3251             | 日本近代文学講読       | 2        | 2        | 2・3・4    |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | CSA 3254             | 日本文学特講         | 2        | 2        | 2・3・4    |                                                  |   |  |
|                      | 漢文学               | CSA 2260                              |                           | 子どもの読書とメディア          | 2              | 2        | 2・3・4    |          |                                                  |   |  |
|                      |                   | CSA 2219                              |                           | 言語文化概論               | 2              | 2        | 1・2      | 漢字文化史    |                                                  |   |  |
|                      |                   | CSA 2265                              |                           | 漢文学特講                | 2              | 2        | 2・3・4    |          |                                                  |   |  |
|                      |                   | CSA 2220                              |                           | ○漢文学入門               | 2              | 2        | 1・2      |          |                                                  |   |  |
|                      | 書道<br>(書写を中心とする。) | CSA 2201                              |                           | ○書写研究                | 2              | －        | 2・3・4    |          |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           |                      |                |          |          |          |                                                  |   |  |
|                      |                   | 教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 |                           |                      |                |          |          |          |                                                  |   |  |
|                      |                   | 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)                |                           |                      |                |          |          |          |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           |                      |                | TEA 2810 | ○国語科教育法Ⅰ | 2        | 2                                                | 2 |  |
|                      |                   |                                       |                           |                      |                | TEA 2860 | ○国語科教育法Ⅱ | 2        | 2                                                | 2 |  |
|                      |                   |                                       |                           | TEA 3810             | ○国語科教育法Ⅲ       | 2        | 2        | 3        |                                                  |   |  |
|                      |                   |                                       |                           | TEA 3860             | ○国語科教育法Ⅳ       | 2        | 2        | 3        |                                                  |   |  |

注) (1) ○印は免許状取得の必修科目。△印は免許状取得の選択必修科目。

12・免許・資格

13・留学・海外研修等

14・欠席の取扱い・試験実施要領等

15・学生納入金(学費)・経済的支援

16・各部署等の案内

17・科目名英訳対照表等

18・学則・規程等

19・校舎・教室等配置図

※2024年度以降入学者用

家庭 (中学一種・高校一種共通)

【生活環境学科】

教科及び教職に関する科目 (教科及び教科の指導法に関する科目に限る。)

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等         |                                |                                                   | 最低修得<br>単位数<br>(本学の最<br>低単位数) | 左の科目区分等に対応する本学開設授業科目                         |                                              |                  |                  |                  | 備 考 |
|------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|-----|
| 科目区分                         | 各科目に含めること<br>が必要な事項            |                                                   |                               | コース<br>ナンバー                                  | 授業科目                                         | 単位数              |                  | 配当<br>学年         |     |
|                              |                                |                                                   |                               |                                              |                                              | 中                | 高                |                  |     |
| 教科及び<br>教科の指<br>導法に関<br>する科目 | 教科に関<br>する専門<br>的事項            | 家庭経営学<br>(家族関係<br>学及び家庭<br>経済学を含<br>む。)           | 中28(30)<br>高24(30)            | SLB 1450<br>LDA 2406                         | ○現代社会と家庭経営<br>○家族関係                          | 2<br>2           | 2<br>2           | 1<br>2           |     |
|                              |                                | 被服学<br>(被服実習<br>を含む。)                             |                               | SLB 1200<br>LDA 2200<br>LDA 2400             | ○衣生活概論<br>○衣生活材料学<br>○アパレル造形学(実習を含む)         | 2<br>2<br>2      | 2<br>2<br>2      | 1<br>2<br>2      |     |
|                              |                                | 食物学<br>(栄養学、<br>食品学及<br>び調理実<br>習を含む。)            |                               | SLB 1250<br>LDA 2401<br>LDA 2403<br>LDA 3500 | ○食生活概論<br>○食品学<br>○栄養学<br>○調理学実習             | 2<br>2<br>2<br>2 | 2<br>2<br>2<br>2 | 1<br>2<br>2<br>3 |     |
|                              |                                | 住居学                                               |                               | SLB 1205<br>LDA 2408                         | ○住居学概論<br>住環境デザイン                            | 2<br>2           | 2<br>2           | 1<br>2           |     |
|                              |                                | 保育学                                               |                               | LDA 3656                                     | ○保育学                                         | 2                | 2                | 3                |     |
|                              |                                | 教科及び教科の指導法<br>に関する科目における<br>複数の事項を合わせた<br>内容に係る科目 |                               |                                              |                                              |                  |                  |                  |     |
|                              | 各教科の指導法(情報<br>通信技術の活用を含<br>む。) |                                                   |                               | LDA 2409<br>LDA 2351<br>LDA 3602<br>LDA 3655 | ○家庭科教育法Ⅰ<br>○家庭科教育法Ⅱ<br>○家庭科教育法Ⅲ<br>○家庭科教育法Ⅳ | 2<br>2<br>2<br>2 | 2<br>2<br>2<br>2 | 2<br>2<br>3<br>3 |     |

注) (1) ○印は免許状取得の必修科目。

※2024年度以降入学生用

情 報 (高校一種)

【社会情報学環】

教科及び教職に関する科目 (教科及び教科の指導法に関する科目に限る。)

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等         |                                                   |                                    | 最低修得<br>単位数<br>(本学の最<br>低単位数) | 左の科目区分等に対応する本学開設授業科目                |                  |                 |          | 備 考 |
|------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|------------------|-----------------|----------|-----|
| 科目区分                         | 各科目に含めること<br>が必要な事項                               |                                    |                               | コース<br>ナンバー                         | 授業科目             | 単位数             | 配当<br>学年 |     |
|                              |                                                   |                                    |                               |                                     |                  | 高               |          |     |
| 教科及び<br>教科の指<br>導法に関<br>する科目 | 教科に関<br>する専門<br>的事項                               | 情報社会(職<br>業に関する内<br>容を含む)・情<br>報倫理 | 高24(24)                       | INF 1200                            | ○社会情報概論          | 2               | 1        |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | GEI 1200                            | ○情報の科学と倫理        | 2               | 1        |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | INF 2250                            | ○ICTビジネス論        | 2               | 2・3      |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | CSA 2259                            | インターネット社会論       | 2               | 2・3・4    |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | GEI 1450                            | SNSコミュニケーションスキル  | 2               | 1        |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | CSA 2411                            | 情報・メディアの文化とリテラシー | 2               | 2・3・4    |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | INF 2603                            | 社会情報キャリア実習       | 2               | 2・3      |     |
|                              |                                                   | コンピュ<br>ータ・情報処<br>理                |                               | GEI 2451                            | ○AIとデータサイエンス入門   | 2               | 1・2      |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | INF 3401                            | ○AIとデータサイエンス     | 2               | 2        |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | GEI 2450                            | 情報処理             | 2               | 2        |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | 情報システ<br>ム                          | INF 2450         | ○プログラミング実践      | 2        | 2   |
|                              |                                                   | GEI 2200                           |                               |                                     | ○アルゴリズム基礎        | 2               | 2        |     |
|                              |                                                   | INF 2451                           |                               |                                     | プログラミング演習        | 2               | 1        |     |
|                              |                                                   | 情報通信<br>ネットワー<br>ク                 |                               | INF 3200                            | ○情報通信ネットワーク      | 2               | 3        |     |
|                              |                                                   |                                    |                               | マルチメ<br>ディア表<br>現・マルチ<br>メディア技<br>術 | INF 3601         | ○インタラクティブメディア演習 | 2        | 3   |
|                              | CSA 2305                                          |                                    |                               |                                     | プレゼンテーション概論      | 2               | 2・3・4    |     |
|                              | CSA 2457                                          | プレゼンテーション演習                        |                               |                                     | 2                | 2・3・4           |          |     |
|                              | INF 2402                                          | 情報メディアの活用                          |                               |                                     | 2                | 2・3・4           |          |     |
|                              | 教科及び教科の指導法に<br>関する科目における<br>複数の事項を合わせた<br>内容に係る科目 | CNS 2601                           |                               | 子供のネット安全教育の理論と実践                    | 2                | 2・3・4           |          |     |
|                              |                                                   | EDN 3402                           |                               | 情報教育                                | 2                | 3               |          |     |
|                              |                                                   | 各教科の指導法(情報<br>通信技術の活用を含<br>む。)     |                               | INF 3400                            | ○情報科教育法Ⅰ         | 2               | 3        |     |
|                              | INF 3650                                          |                                    |                               | ○情報科教育法Ⅱ                            | 2                | 3               |          |     |

注) (1) ○印は免許状取得の必修科目。

12・免許・資格

13・留学・海外研修等

14・欠席の取扱い・  
試験実施要領等

15・学生納入金(学費)・  
経済的支援

16・各部局等の案内

17・科目名英訳対照表等

18・学則・規程等

19・校舎・教室等  
配置図

※2024年度以降入学者用

外国語（英語） 国 語 家 庭 情 報 [英語英文学科・国際日本文化学科・生活環境学科・社会情報学環]

教科及び教職に関する科目（教科及び教科の指導法に関する科目を除く。）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等                |                                               | 最低修得単位数<br>(本学の最低単位数) | 左の科目区分等に対応する本学開設授業科目                                     |                                                   |                       |                       |                           | 共通開設     | 備 考                                          |                         |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------|----------|----------------------------------------------|-------------------------|
| 科目区分                                | 各科目に含めることが必要な事項                               |                       | コース<br>ナンバー                                              | 授業科目                                              | 単位数                   |                       | 配当<br>学年                  |          |                                              |                         |
|                                     |                                               |                       |                                                          |                                                   | 中                     | 高                     |                           |          |                                              |                         |
| 教育の基礎的理解に関する科目                      | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想                          | 10(12)                | GET 1200<br>TEA 2856                                     | ○教育原理<br>教育史                                      | 2<br>2                | 2<br>2                | 1<br>2                    | 初等<br>初等 | } 1科目選択必修                                    |                         |
|                                     | 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)            |                       | TEA 2805                                                 | ○教職論                                              | 2                     | 2                     | 2                         | 初等       |                                              |                         |
|                                     | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) |                       | GET 2250<br>TEA 2857                                     | 教育社会学<br>教育経営論                                    | 2<br>2                | 2<br>2                | 2<br>2                    | 初等<br>初等 |                                              |                         |
|                                     | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程                        |                       | GET 1400                                                 | ○教育心理学                                            | 2                     | 2                     | 1                         | 初等       |                                              |                         |
|                                     | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解                    |                       | GET 1250                                                 | ○特別支援教育                                           | 2                     | 2                     | 1                         | 初等       |                                              |                         |
|                                     | 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)             |                       | TEA 1851                                                 | ○教育課程論                                            | 2                     | 2                     | 1・2・3                     | 初等       |                                              |                         |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳の理論及び指導法*                                   | 中10(10)<br>高8(8)      | TEA 2807                                                 | ○道徳の指導法                                           | 2                     | —                     | 2・3                       | 初等       | } △から1科目<br>選択必修                             |                         |
|                                     | 総合的な学習の時間の指導法                                 |                       | TEA 2853                                                 | ○特別活動・総合的な学習の時間の指導法                               | 2                     | —                     | 2・3                       | 初等       |                                              |                         |
|                                     | 特別活動の指導法                                      |                       |                                                          |                                                   | —                     | 2                     |                           |          |                                              |                         |
|                                     | 総合的な探究の時間の指導法                                 |                       | TEA 3850<br>TEA 3851<br>EDN 3202<br>TEA 3852             | △教育の方法及び技術<br>△教育方法学<br>教育評価                      | 2<br>1                | 2<br>1                | 3<br>3                    | 初等<br>初等 |                                              |                         |
|                                     | 特別活動の指導法                                      |                       |                                                          |                                                   | 2                     | 2                     | 3                         | 初等       |                                              |                         |
|                                     | 教育の方法及び技術                                     |                       |                                                          |                                                   | 2                     | 2                     | 3                         | 初等       |                                              |                         |
|                                     | 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法                          |                       | TEA 3853<br>EDP 3403                                     | ○ICT活用教育                                          | 1                     | 1                     | 3                         | 初等       |                                              |                         |
|                                     | 生徒指導の理論及び方法                                   |                       | TEA 2855                                                 | ○生徒指導・進路指導の理論及び方法                                 | 2                     | 2                     | 2・3                       |          |                                              | 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む。 |
|                                     | 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法            |                       | TEA 2851                                                 | ○教育相談の理論及び方法                                      | 2                     | 2                     | 2・3                       | 初等       |                                              |                         |
|                                     | 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法                           |                       |                                                          |                                                   |                       |                       |                           |          |                                              |                         |
| 教育実践に関する科目                          | 教育実習                                          | 中5(5)<br>高3(3)        | TEA 4855<br>TEA 4856<br>TEA 4857                         | ○中等教育実習事前事後指導<br>○中等教育実習Ⅰ<br>中等教育実習Ⅱ              | 1<br>2<br>2           | 1<br>2<br>2           | 4<br>4<br>4               |          | 中学校免許に必修                                     |                         |
|                                     | 学校体験活動                                        |                       |                                                          |                                                   |                       |                       |                           |          |                                              |                         |
|                                     | 教職実践演習                                        | 2(2)                  | TEA 4851                                                 | ○教職実践演習                                           | 2                     | 2                     | 4                         | 初等       |                                              |                         |
| 大学が独自に設定する科目                        |                                               | 中4(2)<br>高12(10)      | TEA 2807<br>TEA 2861<br>LDA 1251<br>EDN 3401<br>EDN 4500 | 道徳の指導法<br>介護等体験<br>暮らしと電気・エネルギー<br>環境教育<br>国際理解教育 | —<br>1<br>2<br>—<br>— | 2<br>1<br>2<br>2<br>2 | 2・3<br>2・3<br>1<br>3<br>4 | 初等       | 高等学校免許のみ。<br>中学校免許必修<br>家庭のみ<br>情報のみ<br>情報のみ |                         |
|                                     |                                               |                       | (大学が独自に設定する科目以外の科目の余剰単位)                                 |                                                   |                       |                       |                           |          |                                              |                         |

注 (1) ○印は必修科目。\*は中免のみの事項。

(2) 「英語科教育法Ⅲ・Ⅳ」「国語科教育法Ⅲ・Ⅳ」(3年次配当)は、それぞれ「英語科教育法Ⅰ・Ⅱ」「国語科教育法Ⅰ・Ⅱ」(2年次配当)の合格者に限り履修できる(2年次で留学した者及び3年次編入生は同時履修可)。

(3) 「英語科教育法Ⅲ・Ⅳ」の履修に際しては、英語英文学科から一定の成績基準に基づいて履修を制限されることがある。

(4) 「中等教育実習事前事後指導」(1単位)と「中等教育実習Ⅰ・Ⅱ」(各2単位、Ⅱは中免必修)は1つのセットとなっているもの(計5単位、高免のみの場合は3単位)であり、いずれかが合格又は不合格ということはない。

(5) 「教職実践演習」(2単位)は、4年次生前期の履修登録時点において免許取得に係る科目の単位を全て修得見込みであること(中学校又は高等学校のいずれか)、及び「教職実践演習」開始時まで教育実習を問題なく終えていることを履修要件とする。

※2024年度以後入学者用

小 学 校

幼 稚 園

【こども教育学科】

教科及び教職に関する科目（領域及び保育内容の指導法に関する科目、教科及び教科の指導法に関する科目に限る。）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等               |                                                         |                | 最低修得<br>単位数<br>(本学の最<br>低単位数) | 左の科目区分等に対応する本学開設授業科目                                                 |                                                                                 |                            |                            |                            | 備 考 |
|------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|-----|
| 科目区分                               | 各科目に含めること<br>が必要な事項                                     |                |                               | コース<br>ナンバー                                                          | 授業科目                                                                            | 単位数                        |                            | 配当<br>学年                   |     |
|                                    |                                                         |                |                               |                                                                      |                                                                                 | 幼                          | 小                          |                            |     |
| 領域及び<br>保育内容<br>の指導法<br>に関する<br>科目 | 領域に関<br>する専門<br>的事項                                     | 健康             | 幼16 (16)                      | EDI 2205                                                             | 幼児と健康                                                                           | 1                          | －                          | 2                          |     |
|                                    |                                                         | 人間関係           |                               | EDI 2206                                                             | 幼児と人間関係                                                                         | 1                          | －                          | 2                          |     |
|                                    |                                                         | 環境             |                               | EDI 2207                                                             | 幼児と環境                                                                           | 1                          | －                          | 2                          |     |
|                                    |                                                         | 言葉             |                               | EDI 2208                                                             | 幼児と言葉                                                                           | 1                          | －                          | 2                          |     |
|                                    |                                                         | 表現             |                               | EDI 2212                                                             | 幼児と表現                                                                           | 1                          | －                          | 2                          |     |
|                                    | 領域及び保育内容の<br>指導法に関する科目<br>における複数の事項<br>を合わせた内容に係<br>る科目 |                |                               |                                                                      |                                                                                 |                            |                            |                            |     |
|                                    | 保育内容の指導法 (情<br>報機器及び教材の活<br>用を含む)                       |                |                               | EDI 1450<br>EDI 2400<br>EDI 2401<br>EDI 2402<br>EDI 2450<br>EDI 2454 | ○保育内容総論<br>○保育内容 (健康)<br>○保育内容 (人間関係)<br>○保育内容 (環境)<br>○保育内容 (言葉)<br>○保育内容 (表現) | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2 | －<br>－<br>－<br>－<br>－<br>－ | 1<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2 |     |
|                                    |                                                         |                |                               |                                                                      |                                                                                 |                            |                            |                            |     |
| 教科及び<br>教科の指<br>導法に関<br>する科目       | 教科に関<br>する専門<br>的事項                                     | 国語(書写<br>を含む。) | 小30 (30)                      | EDP 1252<br>EDP 2250                                                 | 国語<br>書写                                                                        | －<br>－                     | 2<br>1                     | 1<br>2                     |     |
|                                    |                                                         | 社会             |                               | EDP 1250                                                             | 社会                                                                              | －                          | 2                          | 1                          |     |
|                                    |                                                         | 算数             |                               | EDP 1253                                                             | 算数                                                                              | －                          | 2                          | 1                          |     |
|                                    |                                                         | 理科             |                               | EDP 1251                                                             | 理科                                                                              | －                          | 2                          | 1                          |     |
|                                    |                                                         | 生活             |                               | EDP 1254                                                             | 生活                                                                              | －                          | 2                          | 1                          |     |
|                                    |                                                         | 音楽             |                               | EDP 2202                                                             | 音楽                                                                              | －                          | 2                          | 2                          |     |
|                                    |                                                         | 図工             |                               | EDP 2203                                                             | 図工                                                                              | －                          | 2                          | 2                          |     |
|                                    |                                                         | 家庭             |                               | EDP 2200                                                             | 家庭                                                                              | －                          | 2                          | 2                          |     |
|                                    |                                                         | 体育             |                               | EDP 2204                                                             | 体育                                                                              | －                          | 2                          | 2                          |     |
|                                    |                                                         | 外国語<br>(英語)    |                               | EDP 2201                                                             | 外国語 (英語)                                                                        | －                          | 2                          | 2                          |     |
|                                    | 各教科の指導法 (情報<br>機器及び教材の活用<br>を含む。)                       |                | EDP 2400                      | ○国語科指導法                                                              | －                                                                               | 2                          | 2                          |                            |     |
|                                    |                                                         |                | EDP 2401                      | ○社会科指導法                                                              | －                                                                               | 2                          | 2                          |                            |     |
|                                    |                                                         |                | EDP 2402                      | ○算数科指導法                                                              | －                                                                               | 2                          | 2                          |                            |     |
|                                    |                                                         |                | EDP 2403                      | ○理科指導法                                                               | －                                                                               | 2                          | 2                          |                            |     |
|                                    |                                                         |                | EDP 2404                      | ○生活科指導法                                                              | －                                                                               | 2                          | 2                          |                            |     |
|                                    |                                                         |                | EDP 2450                      | ○音楽科指導法                                                              | －                                                                               | 2                          | 2                          |                            |     |
|                                    |                                                         |                | EDP 2451                      | ○図工科指導法                                                              | －                                                                               | 2                          | 2                          |                            |     |
| EDP 2452                           | ○家庭科指導法                                                 | －              | 2                             | 2                                                                    |                                                                                 |                            |                            |                            |     |
| EDP 2453                           | ○体育科指導法                                                 | －              | 2                             | 2                                                                    |                                                                                 |                            |                            |                            |     |
| EDP 2454                           | ○外国語 (英語) 指導法                                           | －              | 2                             | 2                                                                    |                                                                                 |                            |                            |                            |     |

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等  
配置図

※2024年度以後入学者用

小 学 校

幼 稚 園

【こども教育学科】

教科及び教職に関する科目（領域及び保育内容の指導法に関する科目、教科及び教科の指導法に関する科目を除く。）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等            |                                               | 最低修得<br>単位数<br>(本学の最<br>低単位数) | 左の科目区分等に対応する本学開設授業科目                                                 |                                                               |                            |                            |                              | 共通<br>開設             | 備 考                                 |
|---------------------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------------------|----------------------|-------------------------------------|
| 科目区分                            | 各科目に含めること<br>が必要な事項                           |                               | コース<br>ナンバー                                                          | 授業科目                                                          | 単位数                        |                            | 配当<br>学年                     |                      |                                     |
|                                 |                                               |                               |                                                                      |                                                               | 幼                          | 小                          |                              |                      |                                     |
| 教育の基礎的理解に関する科目                  | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想                          | 10 (12)                       | EDB 1201<br>EDN 2255                                                 | ○教育原理<br>教育史                                                  | 2<br>2                     | 2<br>2                     | 1<br>2                       | 中等<br>中等             | 1 科目選択必修                            |
|                                 | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）            |                               | ED I 1251<br>EDB 1100                                                | 保育者論<br>教職論                                                   | 2<br>2                     | —<br>2                     | 1<br>1                       | 中等                   |                                     |
|                                 | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） |                               | EDN 2501<br>EDN 2254                                                 | 教育社会学<br>教育経営論                                                | 2<br>2                     | 2<br>2                     | 2<br>2                       | 中等<br>中等             | 1 科目選択必修                            |
|                                 | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程                        |                               | EDB 1401                                                             | ○教育心理学                                                        | 2                          | 2                          | 1                            | 中等                   |                                     |
|                                 | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解                    |                               | EDB 1251                                                             | ○特別支援教育                                                       | 2                          | 2                          | 1                            | 中等                   |                                     |
|                                 | 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）             |                               | ED I 3205<br>EDN 2250                                                | ○保育・教育課程論<br>○教育課程論                                           | 2<br>—                     | —<br>2                     | 3<br>2                       | 中等                   |                                     |
| 道徳、総合的な学習の時間等及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳の理論及び指導法                                    | 幼4 (5)<br>小10 (10)            | EDP 3200                                                             | ○道徳の指導法                                                       | —                          | 2                          | 3                            | 中等                   | △から1科目<br>選択必修                      |
|                                 | 総合的な学習の時間の指導法                                 |                               | EDP 3402                                                             | ○特別活動・総合的な学習の時間の指導法                                           | —                          | 2                          | 2・3                          | 中等                   |                                     |
|                                 | 特別活動の指導法                                      |                               |                                                                      |                                                               |                            |                            |                              |                      |                                     |
|                                 | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）                    |                               | EDN 3202<br>EDN 3252<br>EDN 3250<br>EDP 3403                         | △教育方法学<br>△教育の方法及び技術<br>教育評価<br>ICT活用教育                       | 1<br>2<br>2<br>1           | —<br>—<br>—<br>—           | 3<br>3<br>3<br>3             | 中等<br>中等<br>中等<br>中等 | △から1科目<br>選択必修                      |
|                                 | 教育の方法及び技術                                     |                               | EDN 3202<br>EDN 3252<br>EDN 3250                                     | △教育方法学<br>△教育の方法及び技術<br>教育評価                                  | —<br>—<br>—                | 1<br>2<br>2                | 3<br>3<br>3                  | 中等<br>中等<br>中等       |                                     |
|                                 | 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法                          |                               | EDP 3403                                                             | ○ICT活用教育                                                      | —                          | 1                          | 3                            | 中等                   |                                     |
|                                 | 幼児理解の理論及び方法                                   |                               | ED I 1451                                                            | ○幼児理解の理論と方法                                                   | 2                          | —                          | 1                            |                      | 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む。             |
|                                 | 生徒指導の理論及び方法                                   |                               | EDP 3203                                                             | ○生徒指導・進路指導の理論及び方法                                             | —                          | 2                          | 3                            |                      |                                     |
|                                 | 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法            |                               | EDN 3403                                                             | ○教育相談の理論及び方法                                                  | 2                          | 2                          | 3                            | 中等                   |                                     |
|                                 | 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法                           |                               |                                                                      |                                                               |                            |                            |                              |                      |                                     |
| 教育実践に関する科目                      | 教育実習                                          | 5 (5)                         | EDN 3600<br>ED I 4601<br>ED I 4602<br>EDP 3600<br>EDP 3601           | ○教育実習事前事後指導<br>初等教育実習Ⅰa<br>△初等教育実習Ⅱa<br>初等教育実習Ⅰb<br>△初等教育実習Ⅱb | 1<br>2<br>2<br>2<br>2      | 1<br>2<br>2<br>2<br>2      | 3・4<br>4<br>4<br>3<br>3      |                      | 幼必修<br>小必修 } △から<br>2単位<br>選択必修     |
|                                 | 学校体験活動                                        |                               |                                                                      |                                                               |                            |                            |                              |                      |                                     |
|                                 | 教職実践演習                                        | 2 (2)                         | EDN 4651<br>ED I 4651                                                | 教職実践演習<br>保育・教職実践演習（幼）                                        | 2<br>2                     | 2<br>—                     | 4<br>4                       | 中等                   | 1 科目選択必修                            |
| 大学独自に設定する科目                     |                                               | 幼14 (11)<br>小2 (2)            | EDP 4200<br>EDN 3401<br>EDN 3402<br>EDN 3451<br>EDN 4500<br>EDR 3600 | 初等教材開発論<br>環境教育<br>情報教育<br>食と健康の教育<br>国際理解教育<br>介護等体験         | —<br>2<br>2<br>2<br>2<br>— | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>1 | 4<br>3<br>3<br>3<br>4<br>2・3 |                      | 小学校免許必修                             |
|                                 |                                               |                               | (大学が独自に設定する科目以外の科目の余剰単位)                                             |                                                               |                            |                            |                              |                      | 最低修得単位数<br>(幼37単位、小57単位)を超えて修得した単位数 |

注) (1) ○印は必修科目。

(2) 「教職実践演習」「保育・教職実践演習（幼）」は、4年次生前期の履修登録時点において免許取得に係る科目の単位を全て修得済みであること（幼稚園又は小学校のいずれか）、及び「教職実践演習」「保育・教職実践演習（幼）」開始時までに教育実習を問題なく終えていることを履修要件とする。



## 12-(2) 学校図書館司書教諭

### 1. 司書教諭資格を取得するには

#### (1) 資格取得の条件

「学校図書館法」(昭和28年法律 第185号、最終改正 平成27年法律第46号)に規定している、学校図書館において専門的職務に従事する司書教諭となるための資格は、小・中又は高等学校の教諭の免許状を取得し、かつ学校図書館学に関する一定の科目(「学校図書館司書教諭講習規程」で定める科目)を履修し、必要な単位を修得した者に対して与えられることとなっている。

#### (2) 必要な科目

高度情報社会・生涯学習社会を迎え、児童・生徒にも情報を適切に活用する能力や主体的に学習する能力が求められると同時に、学校教育における新しい教育・学習方法が模索されている今日、学校図書館が学校教育の中でその役割を十分に果たすには、専門職である司書教諭の存在が不可欠になってきている。そのため、1997年の「学校図書館法」改正により、2003年4月からは小規模校を除く全ての小・中・高等学校、盲・聾・養護学校(特別支援学校)に司書教諭を配置することが義務づけられ、それに伴って、「学校図書館司書教諭講習規程の一部を改正する省令(平成10年文部省令第1号)」により司書教諭資格取得のための科目も改正された。

現在は、それに基づく開講科目5科目10単位を履修し、かつこれらの校種の教諭の免許状を取得することにより司書教諭資格が与えられることとなっている。(次頁「5. 開講科目及び単位表」)

### 2. 留意事項

- (1) 司書教諭資格を取得しようとする者は、司書教諭課程の単位を修得するだけでなく、小・中又は高等学校の教諭の免許状を取得することが条件である(幼稚園のみの場合は資格取得できない)。
- (2) 文部科学省の学校図書館司書教諭講習等で修得した単位は下記3の申請時に使用することができる。

### 3. 資格の取得(申請と修了証書の授与)

- (1) 本学で全ての必要単位を修得した者は、文部科学大臣が指定大学に委嘱する「学校図書館司書教諭講習」を修了したものとみなされ、本学から指定大学に書類申請することにより修了証書が授与される。ただし、小・中又は高等学校の教諭の免許状を取得しなければ資格とならない。
- (2) 必要単位の修得を完了した者は、原則として次の年度に書類申請することができる。修了証書の交付は申請の翌年となる。申請については12月ごろに行われる申請手続き説明会で詳しく説明されるので、申請できる見込みの者は必ず出席すること。
- (3) 申請にかかる経費(2024年度実績)
  - 3年次生以下：在学・単位修得証明書 300円、書類送料(430円×2回分)
  - 4年次生：単位修得証明書 200円、教育職員免許状授与証明書 400円、書類送料(430円×2回分)

### 4. 学内の問合せ窓口

- 司書・司書教諭課程室(学事課)
- ・事務取扱時間：8:45～17:15
  - ・取扱事務：司書・司書教諭課程の学習に関すること

## 5. 開講科目及び単位表

| 学校図書館司書教諭<br>講習規程で定める科目 | 本学開講科目                    |              |    |    |       | 備考                                     |
|-------------------------|---------------------------|--------------|----|----|-------|----------------------------------------|
|                         | コース<br>ナンバー               | 科目名          | 単位 | 必修 | 配当学年  |                                        |
| 学校経営と学校図書館              | TLI 2800                  | 学校経営と学校図書館   | 2  | ○  | 2・3・4 | 司書に関する科目を兼ねる。<br>5科目のうち1番目に履修することが望ましい |
| 学校図書館メディアの構成            | TLI 2850                  | 学校図書館メディアの構成 | 2  | ○  | 2・3・4 |                                        |
| 学習指導と学校図書館              | TLI 2801                  | 学習指導と学校図書館   | 2  | ○  | 2・3・4 |                                        |
| 読書と豊かな人間性               | TLI 2851                  | 読書と豊かな人間性    | 2  | ○  | 2・3・4 |                                        |
| 情報メディアの活用               | TLI 2802<br>(社情 INF 2402) | 情報メディアの活用    | 2  | ○  | 2・3・4 |                                        |

・全科目必修。ただし、卒業要件単位とはならない。



## 12-(3) 司書

### 1. 司書資格を取得するには

- (1) 「図書館法」(昭和25年 法律第118号、最終改正 令和元年 法律第26号)に規定している図書館において、専門的職務に従事する司書となるための資格は、大学を卒業した者で大学で図書館に関する一定の科目(「図書館法施行規則」で定める科目)を履修し、必要な単位を修得した者に対して与えられることとなっている。

(2) 必要な科目

図書館法に規定する図書館に関する科目に基づく本学開講科目のうち、以下を修得することにより司書資格が与えられることとなる。

|               |                  |
|---------------|------------------|
| 甲群(必修) : 13科目 | 26単位             |
| 乙群(選択) : 2科目  | 2~4単位以上          |
| 計             | : 15科目 28~30単位以上 |

本学の開講科目については、次頁の「7. 開講科目及び単位表」を参照すること。

### 2. 1年次生対象オリエンテーション

例年4月にオリエンテーションを開催するので、図書館司書資格(司書課程履修)希望者は出席すること。2年次以降に司書に必要な科目の履修を開始する場合、上級生であってもオリエンテーションに出席すること。

司書資格の意義、カリキュラムの内容及び履修方法、学習方法、就職先などについてガイダンスを行う。

日程の詳細は学生ポータルサイト(UNIPA)等で周知するので、必ず確認すること。

### 3. 司書課程履修に要する費用

履修にあたって費用は発生しないが、製本技術講習会の受講時に実習費2,000円を納めなければならない。

「図書館実習」(選択科目)を履修する場合、実習費5,000円を納めなければならない。また、実習までに学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険代340円を学生課に納入すること。

### 4. 資格の取得(修了証書の交付)

司書資格に必要な科目を履修し、その単位を修得した者に対しては、本学学長名で「図書館司書課程修了証書」が卒業式終了後交付される。

### 5. 学内の問合せ窓口

司書・司書教諭課程室(学事課)

・事務取扱時間: 8:45~17:15

・取 扱 事 務: 司書・司書教諭課程の学習に関すること。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部局等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

## 6. 開講科目及び単位表

(2023年度以後入学者に適用)

| 群        | 法令で定める科目<br>(新課程科目) | 本学開講科目                      |             |    |                   |          | 備考                                                    |
|----------|---------------------|-----------------------------|-------------|----|-------------------|----------|-------------------------------------------------------|
|          |                     | コース<br>ナンバー                 | 科目名         | 単位 | 必修                | 配当<br>学年 |                                                       |
| 甲群       | 生涯学習概論              | LIB 2800                    | 生涯学習概論      | 2  | ○                 | 2・3・4    |                                                       |
|          | 図書館概論               | LIB 1800<br>(キャリアデWCD 1204) | 図書館概論       | 2  | ○                 | 1        |                                                       |
|          | 図書館制度・経営論           | LIB 3850                    | 図書館制度・経営論   | 2  | ○                 | 3・4      |                                                       |
|          | 図書館情報技術論            | LIB 2801<br>(国日CSA 2218)    | 図書館情報技術論    | 2  | ○                 | 2・3・4    |                                                       |
|          | 図書館サービス概論           | LIB 2802<br>(キャリアデWCD 2501) | 図書館サービス概論   | 2  | ○                 | 2・3・4    | 「図書館概論」履修者であること                                       |
|          | 情報サービス論             | LIB 2803                    | 情報サービス論     | 2  | ○                 | 2・3・4    |                                                       |
|          | 児童サービス論             | LIB 3800                    | 児童サービス論     | 2  | ○                 | 3・4      |                                                       |
|          | 情報サービス演習            | LIB 2850                    | 情報サービス演習Ⅰ   | 2  | ○                 | 2・3・4    | Ⅰ、Ⅱの履修の順序は問わない<br>(同時履修也可)                            |
|          |                     | LIB 2851                    | 情報サービス演習Ⅱ   | 2  | ○                 | 2・3・4    | 「情報サービス論」履修者であること<br>Ⅰ、Ⅱの履修の順序は問わない<br>(同時履修也可)       |
|          | 図書館情報資源概論           | LIB 1850                    | 図書館情報資源概論   | 2  | ○                 | 1・2      |                                                       |
|          | 情報資源組織論             | LIB 2804                    | 情報資源組織論     | 2  | ○                 | 2・3・4    | 「図書館概論」履修者であること                                       |
|          | 情報資源組織演習            | LIB 2852                    | 情報資源組織演習Ⅰ   | 2  | ○                 | 2・3・4    | 「図書館概論」「情報資源組織論」履修者であること<br>Ⅰ、Ⅱの履修の順序は問わない(同時履修が望ましい) |
| LIB 2853 |                     | 情報資源組織演習Ⅱ                   | 2           | ○  | 2・3・4             |          |                                                       |
| 乙群       | 図書館基礎特論             | LIB 2856<br>(国日CSA 1253)    | 現代出版事情      | 2  | 2科目<br>以上選<br>択必修 | 2・3・4    |                                                       |
|          | 図書館サービス特論*          | CSA 2260<br>(こどもEDR 2251)   | 子どもの読書とメディア | 2  |                   | 2・3・4    | 隔年開講2                                                 |
|          |                     | TLI 2800                    | 学校経営と学校図書館  | 2  |                   | 2・3・4    | 司書教諭課程履修者のみ履修可                                        |
|          | 図書館情報資源特論           | LIB 2807<br>(国日CSA 2203)    | 京都資料論       | 1  |                   | 2・3・4    | 7.5コマ                                                 |
|          | 図書・図書館史             | LIB 2806                    | 図書・図書館史     | 2  |                   | 2・3・4    |                                                       |
|          | 図書館施設論              | 本学不開講                       |             |    |                   |          |                                                       |
|          | 図書館総合演習             | LIB 2855                    | 図書館総合演習     | 1  |                   | 2・3・4    | 7.5コマ                                                 |
|          | 図書館実習               | LIB 4800                    | 図書館実習       | 1  |                   | 4        | 集中                                                    |

・甲群は必修なので全て履修すること。

・乙群は2科目以上選択して履修すること。

\*本学開講科目「子どもの読書とメディア」「学校経営と学校図書館」は、いずれを履修しても法令で定める科目「図書館サービス特論」(1科目)となり、両科目を履修しても、法令で定める科目「図書館サービス特論」1科目のみを履修したことになるので留意すること。

## 12- (4) 保育士

### 1. 保育士とは

保育士とは、児童福祉法第18条の18第1項の登録を受け、保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者をいう。(児童福祉法第18条の4)

保育士となる資格を有するものは、次のいずれかに該当する者とされている(「同法第18条の6」)。

- ① 都道府県知事の指定する保育士を養成する学校その他の施設(指定保育士養成施設)を卒業した者
- ② 保育士試験に合格した者

### 2. 本学の学生が保育士資格を取得するには

#### (1) 現代人間学部こども教育学科幼児教育コース保育士養成課程に所属する場合

本学では、現代人間学部こども教育学科幼児教育コース保育士養成課程に在籍し、必要な単位を修得して卒業すれば、保育士の資格を得ることができる(保育士試験は受験不要。また保育士登録の手続きは大学で一括して行う)。

履修コースの分属については53頁を参照すること。

#### (2) 保育士試験による取得

##### ア 国際言語文化学部、現代人間学部生活環境学科並びに心理学科及びこども教育学科初等教育コースに在籍し、幼稚園教諭免許取得を目指していない学生の場合

保育士試験(筆記試験・実技試験)に合格することが必要となり、主な受験資格は次のとおりである。

- ① 学校教育法による大学に2年以上在学して62単位以上修得した者(短期大学卒業者を含む)又は高等専門学校を卒業した者、その他その者に準ずる者として厚生労働大臣の定める者
- ② 学校教育法による大学に1年以上在学している者であって、年度中に62単位以上修得することが見込まれる者であると当該学校の長が認めた者

##### イ こども教育学科初等教育コースにおいて幼稚園教諭免許取得を目指している学生の場合

幼稚園教諭免許状所有者は、保育士試験において免除申請をすることにより受験科目が一部免除される。ただし、幼稚園教諭免許取得見込では適用されない(卒業(幼稚園教諭免許状取得)から約半年後に受験することができる)。

- (ア) 幼稚園教諭免許状所有者に対する科目免除  
保育士試験のうち、「教育原理」、「保育の心理学」の筆記試験科目及び「実技試験」が免除される。
- (イ) 対応科目の単位を修得した場合、科目免除の適用を受けるもの  
本学においては、こども家庭福祉、家族援助論を修得した場合、「子ども家庭福祉」の筆記試験科目が免除される。

### 3. 学内の問合せ窓口

学事課

12・免許・資格

13・留学・海外研修等

14・欠席の取扱い・試験実施要領等

15・学生納入金(学費)・経済的支援

16・各部局等の案内

17・科目名英訳対照表等

18・学則・規程等

19・校舎・教室等配置図

#### 4. 開講科目及び単位表

| 告示による教科目           |             | 本学での必要<br>単位数 | 本学開講科目      |             |           |     |    |   |          |    | 備考            |
|--------------------|-------------|---------------|-------------|-------------|-----------|-----|----|---|----------|----|---------------|
| 系列                 | 教科目         |               | コース<br>ナンバー | 科目名         | 授業<br>形態  | 単位数 |    |   | 配当<br>学年 | 期間 |               |
|                    |             |               |             |             |           | 必修  | 選択 | 計 |          |    |               |
| 教養科目               | 外国語、体育以外の科目 | 4以上           | GEI 1400    | 情報演習Ⅰ a     | 演習        |     | 1  | 1 | 1        | 半期 | 2単位以上<br>選択必修 |
|                    |             |               | GEI 1401    | 情報演習Ⅰ b     | 演習        |     | 1  | 1 | 1        | 半期 |               |
|                    |             |               | GEI 2400    | 情報演習Ⅱ       | 演習        |     | 1  | 1 | 1・2      | 半期 |               |
|                    |             |               | GEI 2450    | 情報処理        | 講義<br>演習  |     | 2  | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    |             |               | GCE 1104    | キリスト教学      | 講義        | 1   |    | 1 | 1        | 半期 | 7.5コマ         |
|                    |             |               | GCE 1105    | キリスト教音楽概論   | 講義        | 1   |    | 1 | 1        | 半期 | 7.5コマ         |
|                    | 外国語         | 2             | GBE 2309    | 日常の英会話      | 演習        |     | 1  | 1 | 1・2・3・4  | 半期 |               |
|                    |             |               | GBE 2310    | 旅行の英会話      | 演習        |     | 1  | 1 | 1・2・3・4  | 半期 |               |
|                    |             |               | GBE 3301    | 留学の英会話      | 演習        |     | 1  | 1 | 1・2・3・4  | 半期 |               |
|                    |             |               | GBE 3302    | おもてなしの英会話   | 演習        |     | 1  | 1 | 1・2・3・4  | 半期 |               |
|                    |             |               | GBE 3303    | ビジネス英会話     | 演習        |     | 1  | 1 | 1・2・3・4  | 半期 |               |
|                    |             |               | GBE 2306    | 英語実践(4技能)Ⅰ  | 演習        |     | 1  | 1 | 1・2・3・4  | 半期 | 集中            |
|                    |             |               | GBE 2356    | 英語実践(4技能)Ⅱ  | 演習        |     | 1  | 1 | 1・2・3・4  | 半期 | 集中            |
|                    | 体育          | 1             | GSW 1150    | 体育講義        | 講義        | 1   |    | 1 | 1        | 半期 | 前半7.5コマ       |
|                    |             | 1             | GSW 1100    | 体育実技        | 実技        | 1   |    | 1 | 1        | 半期 |               |
| 関する科目<br>保育の本質・目的に | 保育原理        | 2             | EDI 1250    | 保育原理        | 講義        | 2   |    | 2 | 1        | 半期 |               |
|                    | 教育原理        | 2             | EDB 1201    | 教育原理        | 講義        | 2   |    | 2 | 1        | 半期 |               |
|                    | 子ども家庭福祉     | 2             | EDI 2210    | こども家庭福祉     | 講義        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    | 社会福祉        | 2             | EDI 2211    | 現代社会と福祉     | 講義        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    | 子ども家庭支援論    | 2             | EDI 3500    | 家族援助論       | 講義        | 2   |    | 2 | 3        | 半期 |               |
|                    | 社会的養護Ⅰ      | 2             | EDI 2550    | 社会的養護       | 講義        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    | 保育者論        | 2             | EDI 1251    | 保育者論        | 講義        | 2   |    | 2 | 1        | 半期 |               |
| 関する科目<br>保育の対象の理解に | 保育の心理学      | 2             | EDB 1401    | 教育心理学       | 講義        | 2   |    | 2 | 1        | 半期 |               |
|                    | 子ども家庭支援の心理学 | 2             | EDI 2253    | こども家庭支援の心理学 | 講義        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    | 子どもの理解と援助   | 2             | EDI 1452    | 幼児理解の理論と方法  | 講義・<br>演習 | 2   |    | 2 | 1        | 半期 |               |
|                    | 子どもの保健      | 2             | EDI 2252    | こどもの保健      | 講義        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    | 子どもの食と栄養    | 2             | EDI 3202    | こどもの食と栄養    | 演習        | 2   |    | 2 | 3        | 半期 |               |
| 保育の内容・方法に関する科目     | 保育の計画と評価    | 2             | EDI 3205    | 保育・教育課程論    | 講義        | 2   |    | 2 | 3        | 半期 |               |
|                    | 保育内容総論      | 2             | EDI 1450    | 保育内容総論      | 演習        | 2   |    | 2 | 1        | 半期 |               |
|                    | 保育内容演習      | 10            | EDI 2400    | 保育内容(健康)    | 演習        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    |             |               | EDI 2401    | 保育内容(人間関係)  | 演習        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    |             |               | EDI 2402    | 保育内容(環境)    | 演習        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    |             |               | EDI 2450    | 保育内容(言葉)    | 演習        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    |             |               | EDI 2454    | 保育内容(表現)    | 演習        | 2   |    | 2 | 2        | 半期 |               |
|                    | 保育内容の理解と方法  | 4             | EDI 2202    | 保育音楽演習      | 演習        | 1   |    | 1 | 2        | 半期 |               |
|                    |             |               | EDR 1652    | ピアノ実技(幼保)   | 演習        | 1   |    | 1 | 1        | 半期 |               |
|                    |             |               | EDI 2203    | 保育造形演習      | 演習        | 1   |    | 1 | 2        | 半期 |               |
|                    |             |               | EDI 2204    | 保育体育演習      | 演習        | 1   |    | 1 | 2        | 半期 |               |
|                    | 乳児保育Ⅰ       | 2             | EDI 3204    | 乳児保育Ⅰ       | 講義        | 2   |    | 2 | 3        | 半期 |               |
|                    | 乳児保育Ⅱ       | 1             | EDI 3450    | 乳児保育Ⅱ       | 演習        | 1   |    | 1 | 3        | 半期 |               |
|                    | 子どもの健康と安全   | 1             | EDI 3251    | こどもの保健演習    | 演習        | 1   |    | 1 | 2        | 半期 |               |
|                    | 障害児保育       | 2             | EDI 3550    | 障害児保育       | 演習        | 2   |    | 2 | 3        | 半期 |               |
|                    | 社会的養護Ⅱ      | 1             | EDI 2551    | 社会的養護内容     | 演習        | 1   |    | 1 | 2        | 半期 |               |
|                    | 子育て支援       | 1             | EDI 3551    | 保育相談支援      | 演習        | 1   |    | 1 | 3        | 半期 |               |

| 告示による教科目       |                  | 本学での必要<br>単位数 | 本学開講科目           |              |          |     |    |        |          |        | 備考                                                                                       |
|----------------|------------------|---------------|------------------|--------------|----------|-----|----|--------|----------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 系列             | 教科目              |               | コース<br>ナンバー      | 科目名          | 授業<br>形態 | 単位数 |    |        | 配当<br>学年 | 期間     |                                                                                          |
|                |                  |               |                  |              |          | 必修  | 選択 | 計      |          |        |                                                                                          |
| 保育実習           | 保育実習Ⅰ            | 4             | EDI 2601         | 保育実習Ⅰ－1      | 実習       | 2   |    | 2      | 2        | 集中     | (注1)                                                                                     |
|                |                  |               | EDI 2602         | 保育実習Ⅰ－2      | 実習       | 2   |    | 2      | 2        | 集中     |                                                                                          |
|                | 保育実習指導Ⅰ          | 2             | EDI 2600         | 保育実習指導Ⅰ－1    | 演習       | 1   |    | 1      | 2        | 半期     |                                                                                          |
|                |                  |               | EDI 2650         | 保育実習指導Ⅰ－2    | 演習       | 1   |    | 1      | 2        | 半期     |                                                                                          |
| 総合演習           | 保育実践演習           | 2             | EDI 4651         | 保育・教職実践演習(幼) | 演習       | 2   |    | 2      | 4        | 半期     | 前提科目<br>(注2)                                                                             |
| 保育の本質・目的に関する科目 | 各指定保育士養成施設において設定 | 6単位以上         | EDN 2254         | 教育経営論        | 講義       |     | 2  | 2      | 2        | 半期     |                                                                                          |
|                |                  |               | EDI 3206         | コミュニティと福祉    | 講義       |     | 2  | 2      | 3        | 半期     |                                                                                          |
|                |                  |               | GES 1250         | 憲法と人権        | 講義       |     | 2  | 2      | 1・2・3・4  | 半期     |                                                                                          |
| EDN 2401       |                  |               | 障害者・障害児心理学       | 講義           |          | 2   | 2  | 2      | 半期       |        |                                                                                          |
| EDB 3450       |                  |               | 特別支援教育フィールド・スタディ | 講義           |          | 2   | 2  | 3      | 半期       |        |                                                                                          |
| EDN 3401       |                  |               | 環境教育             | 講義           |          | 2   | 2  | 3      | 半期       |        |                                                                                          |
| EDI 2205       |                  |               | 幼児と健康            | 講義           |          | 1   | 1  | 2      | 半期       | 全7.5コマ |                                                                                          |
| EDI 2206       |                  |               | 幼児と人間関係          | 講義           |          | 1   | 1  | 2      | 半期       | 全7.5コマ |                                                                                          |
| EDI 2207       |                  |               | 幼児と環境            | 講義           |          | 1   | 1  | 2      | 半期       | 全7.5コマ |                                                                                          |
| EDI 2208       |                  |               | 幼児と言葉            | 講義           |          | 1   | 1  | 2      | 半期       | 全7.5コマ |                                                                                          |
| EDI 2212       | 幼児と表現            | 講義            |                  | 1            | 1        | 2   | 半期 | 全7.5コマ |          |        |                                                                                          |
| EDI 3400       | 保育表現演習           | 演習            |                  | 1            | 1        | 3   | 半期 |        |          |        |                                                                                          |
| 保育実習           | 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ     | 2             | EDI 3655         | 保育実習Ⅱ        | 実習       | 2   |    | 2      | 3        | 集中     | 前提科目<br>「保育原理」<br>「保育者論」<br>「保育実習指導Ⅰ－1」<br>「保育実習指導Ⅰ－2」<br>「保育実習Ⅰ－1」<br>「保育実習Ⅰ－2」<br>(注1) |
|                | 保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ | 1             | EDI 3651         | 保育実習指導Ⅱ      | 演習       | 1   |    | 1      | 3        | 半期     |                                                                                          |

※上記配当年次は実際に履修する年次を表す。

(注1) 実習等に関する費用が別途必要。

(注2) 「保育・教職実践演習(幼)」は、4年次生前期の履修登録時点において資格取得に係る科目の単位を全て修得見込みであること、及び「保育・教職実践演習(幼)」開始時までに保育実習を問題なく終えていることを履修要件とする。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

## 12-1(5) 二級建築士（国家試験受験資格）

### 生活環境学科 対象

#### 1. 二級建築士の受験資格を取得するには

二級建築士は「建築士法」（昭和25年・法律第202号）によって制定された国家資格であり、本学においては、国土交通大臣により指定された住居に関する科目（「指定科目」）を履修し、必要な単位を修得することにより、二級建築士国家試験の受験資格が与えられる。

#### 2. [注意] 学年別の履修計画

受験資格を得ようとする者は「6. 開講科目及び単位表」にて履修した科目を確認の上、次年度以後において、必要な単位を修得できるよう履修計画を立てること。

建築資格に関する科目は、科目の履修に順序があります。表1にそって計画してください。また、抽選科目があるので3月初旬頃、科目登録に関する事務からの連絡に気を付けて対応してください。

#### 3. 留意事項

在学中に留学又は他大学等の単位互換で修得した科目及び単位は、本学の建築士受験資格取得科目として認められないので注意すること。

#### 4. 学内の問合せ窓口

学事課

履修計画などの相談：竹原（教員）

#### 5. 建築士関連の国家試験についての問合せ先

公益財団法人 建築技術教育普及センター本部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 紀尾井町パークビル

TEL (03)6261-3310

#### 6. 開講科目及び単位表

| 指定科目の分類              | 本学開講科目   |          |    |       |    |          | 備考                                 |
|----------------------|----------|----------|----|-------|----|----------|------------------------------------|
|                      | コースナンバー  | 科目名      | 単位 | 必修・選択 |    | 配当<br>学年 |                                    |
|                      |          |          |    | 必修    | 選択 |          |                                    |
| 建築設計製図               | LDA 2600 | 住居製図Ⅰ    | 1  | ○     |    | 2        | 定員16人                              |
|                      | LDA 2651 | 住居製図Ⅱ    | 1  | ○     |    | 2        | 定員16人                              |
|                      | LDR 3600 | 住計画演習Ⅰ   | 2  | ○     |    | 3        | 前提科目「住居製図Ⅰ」「住居製図Ⅱ」<br>週1.5コマ 定員16人 |
|                      | LDR 3650 | 住計画演習Ⅱ   | 2  | ○     |    | 3        | 前提科目「住計画演習Ⅰ」週1.5コマ<br>定員16人        |
| 建築計画、建築環境工<br>学、建築設備 | SLB 1205 | 住居学概論    | 2  | ○     |    | 1        |                                    |
|                      | LDA 2253 | 住居史      | 2  |       | ○  | 2        |                                    |
|                      | LDA 2408 | 住環境デザイン  | 2  | ○     |    | 2        |                                    |
|                      | LDA 2252 | 住環境学     | 2  | ○     |    | 2        |                                    |
| 建築一般構造・建築<br>材料      | LDA 2201 | 建築一般構造   | 2  | ○     |    | 2        |                                    |
|                      | LDA 3201 | 建築材料学    | 2  | ○     |    | 3        | 前提科目「建築一般構造」                       |
| 建築生産                 | LDR 3250 | 建築施工     | 2  | ○     |    | 3        | 前提科目「建築一般構造」                       |
| 建築法規                 | LDA 2452 | 建築法規     | 2  | ○     |    | 2        | 前提科目「建築一般構造」                       |
| その他                  | LDA 3251 | インテリア装備学 | 2  | ○     |    | 3        | 定員16人 前提科目「住居製図Ⅰ」                  |
|                      | LDR 3202 | 色彩学      | 2  | ○     |    | 2        | 定員30人                              |

※二級建築士受験資格を取得するには必修科目を全て履修すること。

表1 履修モデル：以下の時間割は予定で、変更の可能性があるので注意してください。

生活環境学科

【1年次】

| 前期 | 1 | 2 | 3     | 4 | 5 |
|----|---|---|-------|---|---|
| 月  |   |   |       |   |   |
| 火  |   |   | 住居学概論 |   |   |
| 水  |   |   |       |   |   |
| 木  |   |   |       |   |   |
| 金  |   |   |       |   |   |
| 後期 | 1 | 2 | 3     | 4 | 5 |
| 月  |   |   |       |   |   |
| 火  |   |   |       |   |   |
| 水  |   |   |       |   |   |
| 木  |   |   |       |   |   |
| 金  |   |   |       |   |   |

【2年次】

| 前期 | 1 | 2      | 3     | 4       | 5 |
|----|---|--------|-------|---------|---|
| 月  |   | 建築一般構造 |       |         |   |
| 火  |   | 住居製図Ⅰ  |       |         |   |
| 水  |   |        |       |         |   |
| 木  |   |        | 色彩学   | 住環境デザイン |   |
| 金  |   |        |       |         |   |
| 後期 | 1 | 2      | 3     | 4       | 5 |
| 月  |   | 建築法規   | 住居製図Ⅱ |         |   |
| 火  |   | 住環境学   |       |         |   |
| 水  |   |        |       |         |   |
| 木  |   |        | 住居史   |         |   |
| 金  |   |        |       |         |   |

【3年次】

| 前期 | 1 | 2        | 3     | 4 | 5 |
|----|---|----------|-------|---|---|
| 月  |   |          | 建築材料学 |   |   |
| 火  |   |          |       |   |   |
| 水  |   |          |       |   |   |
| 木  |   |          |       |   |   |
| 金  |   | 住計画演習Ⅰ   |       |   |   |
| 後期 | 1 | 2        | 3     | 4 | 5 |
| 月  |   |          |       |   |   |
| 火  |   |          |       |   |   |
| 水  |   |          |       |   |   |
| 木  |   | インテリア設備学 | 建築施工  |   |   |
| 金  |   | 住計画演習Ⅱ   |       |   |   |

(注意) 次の抽選科目は、3月初旬の科目登録に関する教務課、学事課の連絡をチェックすること。

- ・住居製図Ⅰ、Ⅱ
- ・色彩学
- ・インテリア設備学
- ・住計画演習Ⅰ、Ⅱ

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部局等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図



## 12-(6) フードスペシャリスト（受験資格）

### 生活環境学科 対象

### 1. フードスペシャリストとは

食品の開発製造から流通、販売、消費に至る過程で、食品の品質判定、食品の情報調査とその提供、食品知識の普及、販売促進とサービス、料理店における食空間のコーディネートや指導、食育活動などを行う専門職として、公益社団法人日本フードスペシャリスト協会が認定する資格である。フードスペシャリストは、その専門性を駆使して食関係の広範な分野での活躍が期待されている。

### 2. 資格を取得するには

資格を得ようとする者は、フードスペシャリスト資格に必要な科目の単位（7. 開講科目及び単位表参照）を全て修得し、資格認定試験（原則として毎年度12月の第3日曜日に実施）に合格しなければならない。

なお、資格認定試験の受験資格は、以下のとおりである。

- ① 所定の科目の単位の全てを修得（見込む）した4年次生
- ② 所定の科目の単位の全てを修得（見込む）した3年次生（ただし、試験に合格しても資格認定証の交付は卒業時となる。）
- ③ 平成16年度以後入学者で、卒業後科目等履修生として所定の科目の単位の全てを修得（見込む）した場合（ただし、講義科目以外は科目等履修できない。）

### 3. 認定試験と受験資格

(1) 試験申込期間は例年9月下旬～10月初旬となる。9月に行われる説明会に参加すること。

(2) 認定試験は、次の資格区分ごとに行われる。

- ① フードスペシャリスト資格（受験料5,500円）
- ② 専門フードスペシャリスト（食品開発）資格（受験料3,300円）
- ③ 専門フードスペシャリスト（食品流通・サービス）資格（受験料3,300円）

\* 資格認定料（①5,500円、②③3,300円）

(3) 認定試験の受験資格を有するのは、前記(2)の①の認定試験においては、下記一、二、三のとおりで、また前記(2)の②及び③の認定試験の受験資格を有するのは、①の認定試験を同時に受験する又はその認定試験に既に合格している場合である。

一 養成機関の最終年次に属する学生

二 4年制大学に置かれた養成機関の第3年次に属する学生で、第3年次中に所定の授業科目の単位の全てを修得すると認められる者

三 養成機関を卒業しており、かつ、養成機関において所定の授業科目の単位の全てを修得済み、あるいは修得見込みである者

(4) 受験資格の認定は、養成機関の在籍者にあつては、在籍養成機関の属する教育機関（以下「在籍教育機関」という。）が、養成機関を卒業した非在籍者にあつては、卒業養成機関の属する教育機関（以下「卒業教育機関」という。）が行うものとする。

(5) 認定試験の出題科目と出題数、試験時間は表1の通りである。



表1 認定試験の出題科目と出題数、試験時間

| 出題科目   |               | フードスペシャリスト<br>資格認定試験 | 専門フードスペシャリスト<br>資格認定試験 |             |
|--------|---------------|----------------------|------------------------|-------------|
|        |               |                      | 「食品開発」                 | 「食品流通・サービス」 |
| 共通科目   | フードスペシャリスト論   | 6 問                  | 6 問                    |             |
|        | 食品の官能評価・鑑別論   | 9                    | 9                      |             |
|        | 食品の安全性に関する科目  | 8                    | 8                      |             |
|        | 栄養と健康に関する科目   | 7                    | 7                      |             |
|        | 小 計           | 30                   | 30                     |             |
| 専門選択科目 | 食物学に関する科目     | 9                    | 25                     | —           |
|        | 調理学に関する科目     | 7                    | 5                      | 10          |
|        | 食品流通・消費に関する科目 | 7                    | —                      | 10          |
|        | フードコーディネート論   | 7                    | —                      | 10          |
|        | 小 計           | 30                   | 30                     | 30          |
| 合 計    |               | 60                   | 60                     | 60          |
| 試験時間   |               | 80分<br>9：30～10：50    | 80分<br>11：10～12：30     |             |

## 4. 受験教育機関

- (1) 養成機関の在籍者は、在籍教育機関で受験するものとする。
- (2) 養成機関を卒業した非在籍者は、卒業教育機関での受験を原則とするが、住所等の都合でこれによりがたい事情のある場合は、受験申請書に受験希望地を明記し、協会が斡旋する教育機関で受験するものとする。

## 5. 学内の問合せ窓口

学事課

## 6. 学外の間合せ先

公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会  
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-20-4 橋義ビル4階  
TEL (03)3940-3388 FAX (03)3940-3389  
<https://www.jafs.org> E-mail [info@jafs.org](mailto:info@jafs.org)

## 7. 開講科目及び単位表

| フードスペシャリスト資格規程に<br>定められた科目 | 本学開講科目      |                 |    |    |          | 備考    |
|----------------------------|-------------|-----------------|----|----|----------|-------|
|                            | コース<br>ナンバー | 科目名             | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 |       |
| フードスペシャリスト論                | LDR 2500    | フードスペシャリスト論     | 2  | ○  | 2        |       |
| 食品の官能評価・鑑別論                | LDA 2402    | 食品官能評価論         | 2  | ○  | 2        |       |
|                            | LDA 2500    | 食品官能評価演習（実験を含む） | 1  | ○  | 2        |       |
| 食物学に関する科目                  | LDA 2401    | 食品学             | 2  | ○  | 2        |       |
|                            | LDA 2550    | 食品加工学（実験を含む）    | 3  | ○  | 2        |       |
| 食品の安全性に関する科目               | LDR 2250    | 食品安全性学          | 2  | ○  | 2        |       |
| 調理学に関する科目                  | LDA 2451    | 調理学             | 2  | ○  | 2        |       |
|                            | LDA 3500    | 調理学実習           | 2  | ○  | 3        | 定員24人 |
| 栄養と健康に関する科目                | LDA 2403    | 栄養学             | 2  | ○  | 2        |       |
| 食品流通・消費に関する科目              | LDR 2251    | 食品流通論           | 2  | ○  | 1        |       |
| フードコーディネート論                | LDA 3650    | フードコーディネート論     | 2  | ○  | 3        |       |

## 12－(7) 公認心理師（国家試験受験資格）

### 心理学科 対象

#### 1. 公認心理師とは

公認心理師は「公認心理師法」（2017年9月15日に施行）により制定された国家資格である。

公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいう。

- (1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

#### 2. 公認心理師の受験資格を得るには

公認心理師の受験資格を得るには主に以下の2つの方法がある。

- (1) 大学および大学院で、心理学その他の公認心理師となるために必要な科目を修了した者、またはそれに準ずる者。
- (2) 大学で心理学その他の公認心理師となるために必要な科目を修めて卒業した者、またはそれに準ずる者で、一定の施設において心理に関する支援の業務に従事した者。

#### 3. 公認心理師受験資格を得るために必要な科目（大学）

公認心理師国家試験受験資格取得に要する科目は表1に示す。1年次から履修することとなるので、計画的に履修すること。

各科目の履修にあたり、前提科目や履修の要件が定められている場合がある。表1の備考欄を確認すること。

表1 公認心理師科目名及び本学開講科目（2018（平成30）年度以降入学者に適用）

| 文部科学省及び厚生労働省による<br>公認心理師指定科目 | 本学開講科目                 | 単位     | 配当学年   | 備考            |
|------------------------------|------------------------|--------|--------|---------------|
| 1 公認心理師の職責                   | 公認心理師の職責               | 2      | 3      |               |
| 2 心理学概論                      | 心理学概論                  | 2      | 1      |               |
| 3 臨床心理学概論                    | 臨床心理学概論                | 2      | 2      |               |
| 4 心理学研究法                     | 心理学研究法                 | 2      | 2      |               |
| 5 心理学統計法                     | 心理学統計法                 | 2      | 1      |               |
| 6 心理学実験                      | 心理学実験演習Ⅰ<br>心理学実験演習Ⅱ   | 2<br>2 | 1<br>2 | }いずれか1科目      |
| 7 知覚・認知心理学                   | 知覚・認知心理学               | 2      | 2・3    |               |
| 8 学習・言語心理学                   | 学習・言語心理学               | 2      | 2      |               |
| 9 感情・人格心理学                   | 感情・人格心理学               | 2      | 2・3    |               |
| 10 神経・生理心理学                  | 神経・生理心理学               | 2      | 3・4    |               |
| 11 社会・集団・家族心理学               | 社会・集団・家族心理学            | 2      | 1      |               |
| 12 発達心理学                     | 発達心理学概論                | 2      | 2・3    |               |
| 13 障害者・障害児心理学                | 障害者・障害児心理学             | 2      | 2・3    |               |
| 14 心理的アセスメント                 | 心理的アセスメント              | 2      | 2      | 前提科目「心理テスト演習」 |
| 15 心理学的支援法                   | 心理学的支援法                | 2      | 3・4    |               |
| 16 健康・医療心理学                  | 健康・医療心理学               | 2      | 2      |               |
| 17 福祉心理学                     | 福祉心理学                  | 2      | 3      |               |
| 18 教育・学校心理学                  | スクールカウンセリング論(教育・学校心理学) | 2      | 3・4    |               |
| 19 司法・犯罪心理学                  | 司法・犯罪心理学               | 2      | 3・4    |               |
| 20 産業・組織心理学                  | 産業・組織心理学               | 2      | 3      |               |
| 21 人体の構造と機能及び疾病              | 人体の構造と機能及び疾病           | 2      | 2      |               |
| 22 精神疾患とその治療                 | 精神疾患とその治療              | 2      | 3      |               |

（次頁に続く）

|    |              |               |   |   |                                                            |
|----|--------------|---------------|---|---|------------------------------------------------------------|
| 23 | 関係行政論        | 関係行政論         | 2 | 3 |                                                            |
| 24 | 心理演習         | 心理演習（心理支援の実際） | 2 | 3 | 履修制限を行う                                                    |
| 25 | 心理実習（80時間以上） | 心理実習          | 2 | 4 | 集中<br>学外実習80時間／選考合格者のみ履修可<br>「心理演習（心理支援の実際）」を履修していることが望ましい |

注）①1～25の指定科目を全て修得する。

## 4. 公認心理師実習科目等を受講するための選考について

「心理実習」を受講するためには選考を経る必要がある。

### ア 選考受験資格

- ・心理学科に所属する3年次生以上であること。
- ・卒業時に公認心理師資格受験資格取得が見込めること。
- ・公認心理師資格取得に関して意欲があること。
- ・成績が良好であること。

### イ 選考手続き（詳細な日程は掲示などで周知する）

- 3年次 後期：説明会・選考要項の配布  
 ：願書・必要書類等提出締切  
 ：選考結果の通知 → 「選考合格者」と認定される

### ウ 選考方法

- ・選考方法は、志願書等による書類審査とし、直前の学期までの履修状況及び成績並びに資格取得を希望する理由及びリーダー経験、ボランティア活動その他の活動実績等について、総合的に評価する。

## 5. 実習等に関する経費について

学外実習費が別途必要とされる。詳細は説明会等で提示する。

## 6. 学内の問合せ窓口

学事課

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金（学費）・経済的支援

16. 各部局等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

## 12－(8) 認定心理士・認定心理士（心理調査）

### 心理学科 対象

#### 1. 認定心理士資格

##### (1) 認定心理士とは

認定心理士とは心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と日本心理学会が認定した人のことである。

##### (2) 資格を取得するには

卒業後に個人申請することが本来の方針であるが、手続上・記入上の誤りが続出しているため、大学での一括申請が認められている。ただし、申請指導への参加の不十分さや手続進行の順序に遅れる者のために全体が遅れることとなるため、手続に遅れる者があれば、卒業後の個人申請に切り替える。各自このことをよく理解し、指導日時・作業内容を厳守すること。

- (1) 申請指導説明会（4年次） ※詳細な日時は掲示および学生手帳にて周知する。

1月中旬（申請方法、申請書の書き方等を説明）

##### (3) 資格を取得するために必要な科目及び単位

表1 認定心理士資格取得に必要な修得領域

| 区 別   | 認定心理士修得領域      | 必要単位                                                                                  |
|-------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ①基礎科目 | a. 心理学概論       | 基礎科目より <u>12単位以上</u><br>a領域は、 <u>4単位以上</u><br>b、c領域で <u>8単位以上</u><br>ただし、最低4単位はc領域の単位 |
|       | b. 心理学研究法      |                                                                                       |
|       | c. 心理学実験・実習    |                                                                                       |
| ②選択科目 | d. 知覚心理学・学習心理学 | 選択科目より <u>16単位以上</u><br>(d、f、g、hの3領域より各 <u>4単位以上</u> 、<br>計 <u>12単位以上</u> を含む)        |
|       | e. 生理心理学・比較心理学 |                                                                                       |
|       | f. 教育心理学・発達心理学 |                                                                                       |
|       | g. 臨床心理学・人格心理学 |                                                                                       |
|       | h. 社会心理学・産業心理学 |                                                                                       |
| ③その他  | i. 卒業研究        | 4単位まで認められる（ただし、実証科学的方法を用いた心理学の研究に限られるので、なるべくこの単位を換算せず単位を揃えることが望ましい）                   |

合計36単位以上

※資格取得のための具体的な科目については、本学Webサイト「教務課・学事課」の「資格単位修得確認」ページに記載している他、履修登録説明会やオリエンテーション等で配付するので確認すること。

##### (4) 申請に必要なもの（略称で示す）

申請書 履歴書 科目修得単位表 写真2枚 書類受領通知用ハガキ

成績証明書 卒業証明書（申請書を購入して学事課へ申込む）

審査料（11,000円 ※1）及び審査料払込振替用紙

※1 審査に不合格であっても返却されない。

その他 審査合格時の認定料 33,000円

##### (5) 認定証の発行

卒業後、各自の指定した場所（原則として実家）に送付される。

## 2. 認定心理士（心理調査）資格

### (1) 認定心理士（心理調査）とは

認定心理士（心理調査）は、「公益社団法人日本心理学会」が認定している資格であり、「心理調査に関連する専門科目を履修した認定心理士」という位置づけである。

### (2) 資格を取得するには

認定心理士（心理調査）の資格を取得するためには、以下の条件が必要である。

- ①学部（大学）を卒業していること。
- ②認定心理士に関する科目（前頁の表1）を履修・修得していること。
- ③心理調査に関する科目（以下の表2）を履修・修得していること。

### (3) 資格を取得するために必要な科目及び単位

表1に加え、表2の科目を履修すること。

表2 心理調査に関する科目

| 区 別   | 領 域          | 必要単位  |
|-------|--------------|-------|
| 1. 概論 | 心理調査概論・心理調査法 | 2単位以上 |
| 2. 統計 | 統計（心理学統計）    | 2単位以上 |
| 3. 実践 | 発展／展開研究（実習）  | 6単位以上 |

※資格取得のための具体的な科目については、本学Webサイト「教務課・学事課」の「資格単位修得確認」ページに記載している他、履修登録説明会やオリエンテーション等で配布するので確認すること。

### (4) 申請の手続きについて

- ・認定心理士（心理調査）の申請手続きについては、説明会を行う予定をしているので必ず参加すること（4年次1月中旬の予定）。
- ・申請は各自、卒業後にWeb上で行う（一部郵送あり）。
- ・表2の「3. 実践」に関する科目については、研究内容のサマリー（A4 1枚分・テンプレートあり）の提出が求められるため、在学中にサマリーの内容について資格担当者より指導を受けておくこと。
- ・認定心理士（心理調査）には、審査料（※2）が16,500円、審査合格後は、認定料が38,500円必要である。
- ※2 審査に不合格であっても返却されない。

### (5) 認定証の発行

申請から2～3か月後に、各自の指定した場所（原則として実家）に送付される。

## 12-(9) 社会調査士

### 心理学科 対象

### 1. 社会調査士とは

社会調査士は、「一般社団法人社会調査協会」が認定している資格である。「社会調査士」とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等を捉えることのできる能力を有する「調査の専門家」のことである。調査企画から報告書作成までの社会調査の全過程を学習することにより、基本的な調査方法や分析手法の妥当性、またその問題点を指摘できるようにすることを目指す。

### 2. 資格を取得するためには

社会調査士資格を取得するためには、以下の条件が必要である。

- ①学部（大学）を卒業していること。
- ②5. 開講科目及び単位表に示す、6つの領域（ABCDEG）に対応する全科目を履修・修得していること。
- ③社会調査の実習を行うゼミ（心理学演習）に所属すること。

### 3. 社会調査士（キャンディデイト）資格について

社会調査士資格を取得するには、2. に記載しているとおり、「学部（大学）を卒業していること」が条件の一つとなっているが、以下の条件を満たすことにより、大学在学中に、「社会調査士（キャンディデイト）」を取得することが可能である。

- ①大学在籍期間が2年以上であること。
- ②表1に挙げるカリキュラムについて、ABCDEGの所定科目のうち、申請時までに3科目以上の単位修得をしていること。
- ③②の単位修得済み科目と今年度履修中の科目を合計して、ABCDEGの所定科目のうち、5科目以上となること。

（注）社会調査士資格（キャンディデイト）を取得の後、社会調査士に必要な科目を全て修得したら、正規資格へと変更する手続きが必要となる。社会調査士資格（キャンディデイト）から正規資格への変更手続きが出来る有効期限は、「社会調査士資格（キャンディデイト）」を認定されてから3年以内である。

### 4. 申請の手続きについて

社会調査士（キャンディデイト）資格は3年生の5月に、社会調査士資格は4年生の1月に、申請手続きに関する説明会を行う予定をしている。

### 5. 開講科目及び単位表

| 社会調査士に関する<br>所定の科目     | 本学開講科目      |           |    |    |          | 備考                         |
|------------------------|-------------|-----------|----|----|----------|----------------------------|
|                        | コース<br>ナンバー | 科目名       | 単位 | 必修 | 配当<br>学年 |                            |
| 【A】社会調査の基本的事項に関する科目    | PSB 1401    | ▲現代社会調査入門 | 2  | ○  | 1        |                            |
| 【B】調査設計と実施方法に関する科目     | PSB 2404    | △質問紙調査法   | 2  | ○  | 2        |                            |
| 【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目 | PSB 1402    | ○心理学統計法   | 2  | ○  | 1        |                            |
| 【D】社会調査に必要な統計学に関する科目   | PSB 2402    | ○推測統計学Ⅰ   | 2  | ○  | 2        | クラス指定                      |
|                        | PSB 2450    | ▲推測統計学Ⅱ   | 2  | ○  | 2        | クラス指定                      |
| 【E】量的データ解析の方法に関する科目    | PSB 3400    | 心理学情報処理   | 2  | ○  | 3        | 前提科目「推測統計学Ⅰ」<br>クラス定員45人   |
| 【G】社会調査の実習を中心とする科目     | PSS 3600    | ○心理学演習    | 4  | ○  | 3        | 社会調査士の専門ゼミに入る<br>ことが要件となる。 |

1. 本学開講の科目名の前の印について、○はコース共通の必修科目、▲は社会・ビジネス心理コース必修科目、△は心理カウンセリングコース必修科目
2. 本学開講科目に記載がある科目（7科目／計16単位）を全て履修・修得する必要がある。

## 12-(10) 産業カウンセラー

### 心理学科 対象

### 1. 産業カウンセラーとは

産業カウンセラーとは、一般社団法人 日本産業カウンセラー協会（通称「JAICO」）が認定する心理専門職の資格である。産業カウンセラーは、メンタルヘルス対策、キャリア形成への支援、職場における人間関係開発・職場環境改善への支援などを行う。人と組織と協働し、グループファシリテーション能力の開発などの研修に加え、組織診断による職場環境改善の提案なども行う。

（＊）詳細は、履修指導等の機会に説明を行う。

### 2. 産業カウンセラー受験資格を得るには

産業カウンセラーは、協会が行う資格試験に合格することで取得できる。受験資格として、「協会が行う産業カウンセリングの学識及び技能を修得するための講座を修了した者」のほか、2022年度の試験より「4年制大学学部の卒業生【注1】であって、公認心理師法 別添「公認心理師法第7条第1号及び第2号に規定する公認心理師となるために必要な科目の確認について」の別表「大学における必要な科目」のうち、協会が指定する17科目【注2】について、所定の単位を取得した者（ただし、当該大学が公認心理師コースを開始した年度以降に履修した単位に限る【注3】）」も「学士」での受験資格を得られるようになった。

【注1】 4年制大学に2018年4月以降に1年次から入学し、2022年3月以降に卒業した者。

【注3】 本学心理学科においては、公認心理師コースを2018年度より開始している。

### 3. 産業カウンセラー受験資格を得るために本学科で取得する科目

上記【注2】の17科目を以下に示す。産業カウンセラー受験資格を得るためには、これら17科目（34単位）を全て履修・修得する必要がある。

- |               |                |                 |
|---------------|----------------|-----------------|
| ①「公認心理師の職責」   | ②「心理学概論」       | ③「臨床心理学概論」      |
| ④「知覚・認知心理学」   | ⑤「学習・言語心理学」    | ⑥「感情・人格心理学」     |
| ⑦「神経・生理心理学」   | ⑧「社会・集団・家族心理学」 | ⑨「発達心理学」        |
| ⑩「障害者・障害児心理学」 | ⑪「心理的アセスメント」   | ⑫「心理学的支援法」      |
| ⑬「健康・医療心理学」   | ⑭「産業・組織心理学」    | ⑮「人体の構造と機能及び疾病」 |
| ⑯「精神疾患とその治療」  | ⑰「関係行政論」       |                 |

### 4. 産業カウンセラー資格 受験について

本資格試験は、卒業後に受験でき、「学科試験」と「実技試験」からなる。

これまでは、例年、年2回試験（2024年度は、6～7月頃と1月頃）が実施されており、学科試験と実技試験は1～2週空けて別日に実施される。

試験手続きや日程の詳細等については、「一般社団法人 日本産業カウンセラー協会」のHP（<https://www.counselor.or.jp/>）を必ず確認のこと。



## 12－(11) 准学校心理士

心理学科 こども教育学科 対象

### 1. 准学校心理士とは

准学校心理士は、「学校心理士」を目指す人のための資格で、学校生活における様々な問題に対して子ども自身、子どもを取り巻く保護者や教師、学校に対して、心理教育的援助サービスを行う「学校心理士」に準ずる資格である。一般社団法人学校心理士認定運営機構より認定された大学において、所定の条件を満たすことで、卒業と同時に取得可能となる。

准学校心理士の資格有効期間は認定後3年であるが、専門的実務経験（＊）を3年積むことにより、学校心理士資格認定試験を受験することができる。准学校心理士の資格取得後は、学校心理士の資格取得を目指し、学校心理士向けの研修を受講することができる。

（＊）専門的実務経験に関する詳細は、資格説明会や履修指導等の機会に説明を行う。

### 2. 准学校心理士資格を得るには

#### 心理学科：Bタイプ

心理学科においては、「Bタイプ（相談支援機関専門職類型）」により資格取得が可能となる。資格取得にあたっては、文部科学省および厚生労働省が公認心理師資格カリキュラム対応と確認されている大学学部在籍し、以下の「准学校心理士を得るために必要な科目（心理学科）」（6科目12単位）を全て修得し、書類審査に合格する必要がある。

#### 准学校心理士資格を得るために必要な科目（心理学科：Bタイプ）

准学校心理士資格を得るためには、表1の科目（6科目12単位）を全て履修・修得し、合格する必要がある。

表1 准学校心理士資格を得るために必要な科目

| 准学校心理士<br>所定科目 | 本学心理学科における科目名                 | 単位 | 配当<br>学年 | 備考                |
|----------------|-------------------------------|----|----------|-------------------|
| 1. 教育・学校心理学    | 1. スクールカウンセリング論<br>（教育・学校心理学） | 2  | 3・4      |                   |
| 2. 発達心理学       | 2. 発達心理学概論                    | 2  | 2・3      |                   |
| 3. 障害者・障害児心理学  | 3. 障害者・障害児心理学                 | 2  | 2・3      |                   |
| 4. 福祉心理学       | 4. 福祉心理学                      | 2  | 3        |                   |
| 5. 心理的アセスメント   | 5. 心理的アセスメント                  | 2  | 2        | 前提科目<br>「心理テスト演習」 |
| 6. 心理学的支援法     | 6. 心理学的支援法                    | 2  | 3・4      |                   |



## こども教育学科：Aタイプ

こども教育学科においては、「Aタイプ（学校教員・保育士類型）」により資格取得が可能となる。資格取得にあたっては、学校教育法に基づく教員免許または保育士資格を取得（見込み）し、以下の「准学校心理士を得るために必要な科目（こども教育学科）」（3科目6単位）を修得し、書類審査に合格する必要がある。

## 准学校心理士資格を得るために必要な科目（こども教育学科：Aタイプ）

准学校心理士資格を得るためには、表2の科目（3科目6単位）を履修・修得し、合格する必要がある。

表2 准学校心理士資格を得るために必要な科目

| 准学校心理士<br>所定科目 | 本学こども教育学科における科目名 | 単位 | 配当<br>学年 | 備考 |
|----------------|------------------|----|----------|----|
| 教育心理学          | 教育心理学            | 2  | 1        |    |
| 発達心理学          |                  |    |          |    |
| 教育相談           | 教育相談の理論及び方法      | 2  | 3        |    |
| 特別支援教育         | 特別支援教育           | 2  | 1        |    |

## 3. 准学校心理士資格 申請の手続きについて

准学校心理士資格取得の説明会は、4年生の前期（6月頃）に開催する予定である。

＊申請スケジュールの概要

- ①申請者による「審査事務手数料（3,000円）」の納入と「申請書類」の提出（4年生の6～7月頃）
- ②申請者による「登録事務手数料(3,000円)」および「年会費（3年分 9,000円）」の納入と、確認書類（「登録事項確認書」「IDカード用写真」）の提出（4年生の10月頃）
- ③単位取得確認後、資格認定証およびIDカードが授与される（4年生の卒業時）

＊上記の金額は変更となる可能性がある

## 4. 学内の問合せ窓口

学事課

12・免許・資格

13・留学・海外研修等

14・欠席の取扱い・試験実施要領等

15・学生納入金（学費）・経済的支援

16・各部局等の案内

17・科目名英訳対照表等

18・学則・規程等

19・校舎・教室等配置図

## 12－(12) 社会福祉主事任用資格

### 全学対象

#### 1. 社会福祉主事

社会福祉主事は、都道府県、市、及び福祉事務所を置く町村で、福祉六法に定める援護又は育成等に関する事務をする者をいう。本来、社会福祉主事任用資格は、その仕事をするために任用される公務員に要求される資格であるが、社会福祉施設職員等の採用の資格に準用される場合もある。また、社会福祉の基礎的学習をしたことの目安ともされ、この資格を条件とした求人採用もある。厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を3科目以上修めて卒業した者であること等が条件となっている。

#### 2. 指定科目及び資格取得の方法

厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目は以下のとおりである。(平成12年4月1日から適用)

社会福祉概論、社会福祉事業史、社会福祉援助技術論、社会福祉調査論、社会福祉施設経営論、社会福祉行政論、社会保障論、公的扶助論、児童福祉論、家庭福祉論、保育理論、身体障害者福祉論、知的障害者福祉論、精神障害者保健福祉論、老人福祉論、医療社会事業論、地域福祉論、法学、民法、行政法、経済学、社会政策、経済政策、心理学、社会学、教育学、倫理学、公衆衛生学、医学一般、リハビリテーション論、看護学、介護概論、栄養学及び家政学のうち三科目以上

(上記以外の科目名であっても、読替え可能な場合がある。本学の科目との対応は次頁参照)

#### 3. 履修証明の発行

原則として卒業証明書と成績証明書の2点をもって各自で確認すること。

(厚生労働省WEBページ 社会福祉主事任用資格の取得方法の「よくある質問」を参照)

#### 4. 学内の問合せ窓口

学事課

\* 参照 社会福祉法第18条、19条

## 5. 開講科目及び単位表

| 厚生労働大臣の<br>指定する科目 | 本学開講科目    |             |              |    |          | 備考      |
|-------------------|-----------|-------------|--------------|----|----------|---------|
|                   | 学科等       | コース<br>ナンバー | 科目名          | 単位 | 配当<br>学年 |         |
| 社会福祉概論            | [生][心][こ] | ED I 2211   | 現代社会と福祉      | 2  | 2        |         |
| 社会福祉事業史           |           |             |              |    |          |         |
| 社会福祉援助技術論         |           |             |              |    |          |         |
| 社会福祉調査論           |           |             |              |    |          |         |
| 社会福祉施設経営論         |           |             |              |    |          |         |
| 社会福祉行政論           |           |             |              |    |          |         |
| 社会保障論             |           |             |              |    |          |         |
| 公的扶助論             |           |             |              |    |          |         |
| 児童福祉論             | [こ][生]    | ED I 2210   | こども家庭福祉      | 2  | 2        |         |
| 家庭福祉論             | [こ][生]    | ED I 3500   | 家族援助論        | 2  | 3        |         |
| 保育理論              | [こ]       | ED I 1250   | 保育原理         | 2  | 1        | いずれか1科目 |
|                   | [生]       | LDA 3656    | 保育学          | 2  | 3        |         |
| 身体障害者福祉論          |           |             |              |    |          |         |
| 知的障害者福祉論          |           |             |              |    |          |         |
| 精神障害者保健福祉論        |           |             |              |    |          |         |
| 老人福祉論             |           |             |              |    |          |         |
| 医療社会事業論           |           |             |              |    |          |         |
| 地域福祉論             |           |             |              |    |          |         |
| 法学                |           |             |              |    |          |         |
| 民法                |           |             |              |    |          |         |
| 行政法               |           |             |              |    |          |         |
| 経済学               |           |             |              |    |          |         |
| 社会政策              |           |             |              |    |          |         |
| 経済政策              |           |             |              |    |          |         |
| 心理学               | [心]       | PSB 1200    | 心理学概論        | 2  | 1        |         |
| 社会学               | [共]       | GES 1202    | 社会学概論        | 2  | 1        |         |
| 教育学               | [こ]       | EDB 1201    | 教育原理         | 2  | 1        |         |
|                   | [共]       | GET 1200    |              |    |          |         |
| 倫理学               |           |             |              |    |          |         |
| 公衆衛生学             |           |             |              |    |          |         |
| 医学一般              | [生][心]    | SWA2205     | 人体の構造と機能及び疾病 | 2  | 2        |         |
| リハビリテーション論        |           |             |              |    |          |         |
| 看護学               |           |             |              |    |          |         |
| 介護概論              |           |             |              |    |          |         |
| 栄養学               | [生]       | LDA 2403    | 栄養学          | 2  | 2        |         |
| 家政学               |           |             |              |    |          |         |

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等  
配置図

## 12-13 児童指導員・児童心理司・児童福祉司 任用資格

心理学科、こども教育学科※対象 ※児童心理司を除く。

### 1. 児童指導員（任用資格）について

#### (1) 児童指導員とは

児童指導員とは、児童福祉法に定められた児童養護施設や知的障害児通園（入園）施設、児童相談所等の児童福祉現場において、児童の自立促進や生活指導等の援助を行う職である。

#### (2) 児童指導員任用資格の取得について

心理学科または、こども教育学科を卒業することによって任用資格が得られる。任用資格のため、試験や資格証明書といったものが存在せず、大学の卒業証書・学位記をもって児童指導員任用資格証明とされる。

任用資格であることから、上記の施設や相談所に、児童指導員として登用されている期間にのみ、児童指導員を名乗ることができる。したがって、児童指導員になるためには、施設や相談所の採用試験に合格することが前提となる。

### 2. 児童心理司（任用資格）について

#### (1) 児童心理司とは

児童心理司は、児童相談所において心理学の専門的学識に基づく心理判定業務に携わる職員のこと、従来は心理判定員と呼ばれていた。かつては心理学専攻経験のない者でも心理判定業務に携わることができたが、現在は大学・大学院で心理学を専攻し、心理職として採用された者をその任に充てることが普通になっており、高度な専門性を求められている。

#### (2) 児童心理司任用資格の取得について

心理学科を卒業することによって任用資格が得られる。任用資格のため、試験や資格証明書といったものが存在せず、大学の卒業証書・学位記をもって児童指導員任用資格証明とされる。

任用資格であることから、児童相談所に、児童心理司として登用されている期間にのみ、児童心理司を名乗ることができる。したがって、児童心理司になるためには、児童相談所の採用試験に合格することが前提となる。

### 3. 児童福祉司（任用資格）について

#### (1) 児童福祉司とは

児童福祉司は児童相談所に置かなければならない職員であり、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行うケースワーカーの一種である。

#### (2) 児童福祉司任用資格の取得について

心理学科または、こども教育学科を卒業してから1年以上、厚生労働省令で定める施設において、児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導などに従事した者等から任用される。

任用資格であることから、児童相談所に、児童福祉司として登用されている期間にのみ、児童福祉司を名乗ることができる。

## 12-14 上級情報処理士

### 全学対象

### 1. 上級情報処理士とは

一般財団法人全国大学実務教育協会（以下「協会」という）が認定する資格である。

インターネット活用、データ管理及び統計分析などを行う総合的な実践力を習得し、高度な情報実務能力を発揮し、問題の発見と解決に貢献し、チームの機動力を強化できる人材であることが証明できる。

#### ◇上級情報処理士の教育目標

情報社会において、情報通信技術を使ってそれぞれの専門分野に関係する実務を行う者として、必要な情報科学の知識や技術を身につけている。コンピュータやネットワークのユーザとして技術を活用するだけでなく、新たな情報を作り出し、課題解決のため新しく技術適用の提案ができる力を求める。従来の情報通信技術に加えて、データサイエンスと人工知能(AI)の知識や活用方法を身につけ、それらが社会へ与える影響を理解した上で、応用できる。さらに、課題を発見・分析し、その解決に向けて主体的に調査し、解決策を検討し、実践できることを目指す。

### 2. 資格を取得するには

例年7月頃と11月頃に、大学から一括申請するが、申請時に必要書類（科目単位修得見込書類等）の作成・提出、申請費用が必要となる。

#### 〈資格申請について〉

各自が学事課で申請手続きをすること。（日程の詳細はUNIPAで前期6月・後期10月にお知らせがあるので確認すること。）

①【前期】6月中旬～7月上旬頃      認定証受渡し時期：9月下旬

〈申請できる人〉資格に必要な単位が揃っている方      または、前期までの授業で資格に必要な単位修得可能（見込）な方

②【後期】10月中旬～11月上旬頃

認定証受渡し時期：4年次生→卒業式      3年次生→4月

〈申請できる人〉資格に必要な単位が揃っている方      または、後期までの授業で資格に必要な単位修得可能（見込）な方

### 3. 資格取得に必要な科目及び単位

「7. 開講科目及び単位表」より、合計24単位以上を修得すること。

### 4. 資格取得に要する費用

申請費用    7,700円

### 5. その他

特に優秀な成績の申請者を会長賞受賞候補者として協会に推薦することがある。

「開講科目及び単位表」は便覧より科目が変更となる場合があるので、履修登録時または履修検討期間に、資格確認表を必ず確認すること。（教務課・学事課ウェブサイトまたは学事課窓口まで）

### 6. 学内の問合せ窓口

学事課

## 7. 開講科目及び単位表

2025年度入学者

| 種 類                                                      | 学 科               | コース<br>ナンバー | 授業科目名 (☆は他学科等開放科目) | 単位 | 必修   | 配当<br>学年 | 備考        |
|----------------------------------------------------------|-------------------|-------------|--------------------|----|------|----------|-----------|
| 領域 1                                                     | [共]<br>[社情]       | GEI 1200    | 情報の科学と倫理           | 2  | ○    | 1        | メディア利用    |
|                                                          | [共]<br>[社情]       | GEI 1400    | 情報演習 I a           | 1  |      | 1        | 各クラス定員40人 |
|                                                          | [共]<br>[社情]       | GEI 1401    | 情報演習 I b           | 1  |      | 1        | メディア利用    |
|                                                          | [共]<br>[社情]       | GEI 2400    | 情報演習 II            | 1  |      | 1・2      | 各クラス定員35人 |
|                                                          | [共]<br>[社情]       | GEI 2450    | 情報処理               | 2  |      | 2        | 各クラス定員35人 |
|                                                          | [共]<br>[社情]       | GEI 1450    | SNSコミュニケーションスキル    | 2  |      | 1        | メディア利用    |
|                                                          | [国日]<br>[社情]      | CSA 2259    | ☆インターネット社会論        | 2  |      | 2・3・4    |           |
|                                                          | [生][社情]<br>[キャリア] | LDR 3203    | ☆マーケティング論          | 2  |      | 3        |           |
|                                                          | [心]               | PSR 3203    |                    |    |      |          |           |
|                                                          | [こ]<br>[社情]       | CNS 2601    | ☆子供のネット安全教育の理論と実践  | 2  |      | 2・3・4    | 集中        |
| [こ]<br>[社情]                                              | EDN 3402          | ☆情報教育       | 2                  |    | 3    |          |           |
| 領域 2                                                     | [共]               | GEI 2451    | AIとデータサイエンス入門      | 2  | ○    | 1・2      |           |
|                                                          | [共]               | GEI 2250    | 情報技術リテラシー          | 2  | 選択必修 | 2        | 各クラス定員35人 |
|                                                          | [社情]              | INF 2252    |                    |    |      | 1        |           |
|                                                          | [共]               | GEI 2452    | プログラミング演習          | 2  |      | 2        | 定員35人     |
|                                                          | [社情]              | INF 2451    |                    | 1  |      |          |           |
| [共]<br>[社情]                                              | GEN 1450          | 暮らしの統計学     | 2                  |    |      | 1        |           |
| 領域 3                                                     | [英]               | EGS 3500    | 英語英文学演習 I          | 2  |      | 3        |           |
|                                                          | [英]               | EGS 3550    | 英語英文学演習 II         | 2  |      | 3        |           |
|                                                          | [国日]              | CSS 3600    | 専門演習 I             | 2  |      | 3        |           |
|                                                          | [国日]              | CSS 3650    | 専門演習 II            | 2  |      | 3        |           |
|                                                          | [生]               | SLS 3401    | 生活環境特論             | 4  |      | 3        |           |
|                                                          | [心]               | PSS 3600    | 心理学演習              | 4  |      | 3        |           |
|                                                          | [こ]               | EDS 3600    | こども教育演習            | 4  |      | 3        |           |
|                                                          | [社情]              | INF 3600    | 社会情報演習             | 4  |      | 3        |           |
|                                                          | [キャリア]            | WCD 3604    | 専門演習               | 4  |      | 3        |           |
|                                                          | [こ]               | EDI 4601    | 初等教育実習 I a         | 2  |      | 4        |           |
|                                                          | [こ]               | EDI 4602    | 初等教育実習 II a        | 2  |      | 4        |           |
|                                                          | [こ]               | EDP 3600    | 初等教育実習 I b         | 2  |      | 3        |           |
|                                                          | [こ]               | EDP 3601    | 初等教育実習 II b        | 2  |      | 3        |           |
|                                                          | [教]               | TEA 4856    | 中等教育実習 I           | 2  |      | 4        |           |
|                                                          | [教]               | TEA 4857    | 中等教育実習 II          | 2  |      | 4        |           |
|                                                          | [共]<br>[社情]       | GBL 2350    | アカデミック・ライティング      | 2  | 選択必修 | 2        |           |
|                                                          | [共]               | GCP 2500    | キャリア形成ゼミ           | 2  |      | 2        | 集中        |
|                                                          | [共]               | GCP 3502    | インターンシップ I         | 1  |      | 3・4      | 集中        |
|                                                          | [共]               | GCP 3503    | インターンシップ II        | 1  |      | 3・4      | 集中        |
|                                                          | [社情]              | INF 2603    | 社会情報キャリア実習         | 2  |      | 2・3      | 集中        |
| 合計24単位以上 (領域1 (必修2単位以上) + 領域2 (必修4単位以上) + 領域3 (必修2単位以上)) |                   |             |                    |    |      |          |           |

☆ 他学科等科目 (どの学部・学環・学科も履修できる科目)

## 12-(15) プレゼンテーション実務士

英語英文学科・国際日本文化学科・社会情報学環・女性キャリアデザイン学環 対象

### 1. プレゼンテーション実務士とは

一般財団法人全国大学実務教育協会（以下「協会」という）が認定する資格である。あらゆるビジネスシーンで必要とされるプレゼンテーション能力を身につけた人材であることが証明できる。

#### ◇プレゼンテーション実務士の教育目標

自分の伝えたいことを具体的にわかりやすく説明し、相手に正しく理解してもらうコミュニケーション能力、およびその目的のために情報ツールを活用する能力を養成する。

### 2. 資格取得に必要な単位

「7. 開講科目及び単位表」より、合計16単位以上修得すること。

(1) 必修科目 6単位

(2) 選択科目 10単位以上

※ 単位修得により資格認定されるので、所定単位を修得（見込を含む）すれば、認定申請が可能である。

### 3. 資格を取得するには

例年7月下旬頃と11月下旬頃に、大学から一括申請するが、申請時に必要書類（科目単位修得見込書類等）の作成・提出、申請費用が必要となる。

#### 〈資格申請について〉

各自が学事課で申請手続きをすること。（日程の詳細はUNIPAで前期6月・後期10月にお知らせがあるので、確認すること。）

#### ①【前期】6月中旬～7月上旬頃

認定証受渡し時期：9月下旬

〈申請できる人〉

資格に必要な単位が揃っている人 または、前期までの授業で資格に必要な単位修得可能（見込）な人

#### ②【後期】10月中旬～11月上旬頃

認定証受渡し時期：4年次生→卒業式 3年次生→4月

〈申請できる人〉

資格に必要な単位が揃っている人 または、後期までの授業で資格に必要な単位修得可能（見込）な人

### 4. 資格取得に要する費用

申請費用 5,500円

### 5. その他

特に優秀な成績の申請者を会長賞受賞候補者として協会に推薦することがある。

「開講科目及び単位表」は便覧より科目が変更となる場合があるので、履修登録時または履修検討期間に、資格確認表を必ず確認すること。（教務課・学事課ウェブサイトまたは学事課窓口まで）

### 6. 学内の問合せ窓口

学事課

12・免許・資格

13・留学・海外研修等

14・欠席の取扱い・試験実施要領等

15・学生納入金（学費）・経済的支援

16・各部局等の案内

17・科目名英訳対照表等

18・学則・規程等

19・校舎・教室等配置図

## 7. 開講科目及び単位表 (2025年度入学者)

|     | 学科等                           | コース<br>ナンバー      | 授業科目名                                            | 単位数 | 必修／<br>選択 | 配当学年  |                                   |
|-----|-------------------------------|------------------|--------------------------------------------------|-----|-----------|-------|-----------------------------------|
| 領域1 | [英]                           | EGF2202          | ☆コミュニケーション学概論<br>※英語英文学科の学生のみ                    | 2   | ●         | 1     |                                   |
|     | [国日]                          | CSB1650          | 基礎演習Ⅱ                                            | 2   |           | 1     |                                   |
|     | [社情]                          | INF1451          | 社会情報基礎演習Ⅱ                                        | 2   |           | 1     |                                   |
|     | [キャリア]                        | WCD1400          | 基礎演習Ⅱ                                            | 2   |           | 1     |                                   |
|     | [英]<br>[キャリア]                 | EGE3550          | Women in Leadership                              | 2   |           | 2・3・4 |                                   |
|     | [共]                           | GES1251          | 暮らしの経済学                                          | 2   |           | 1     |                                   |
|     | [共]                           | GES1202          | 社会学概論                                            | 2   |           | 1     |                                   |
|     | [英]<br>[キャリア]                 | EGR3500          | ☆旅行観光業研究                                         | 2   |           | 2・3・4 | 集中                                |
|     | [国日]<br>[社情]                  | CSA2218          | 図書館情報技術論                                         | 2   |           | 2・3・4 |                                   |
|     | [図]                           | LIB2850          | 情報サービス演習Ⅰ                                        | 2   |           | 2・3・4 |                                   |
|     | [英]<br>[キャリア]                 | EGE2502          | Intercultural Communication and<br>Acculturation | 2   |           | 2・3・4 | 「異文化間コミュニケーション」を<br>修得したものは履修できない |
|     | [英]<br>[キャリア]                 | EGE3402          | Persuasive Communication                         | 2   |           | 3・4   |                                   |
| 領域2 | [英]<br>[国日]<br>[社情]<br>[キャリア] | CSA2457          | ☆プレゼンテーション演習                                     | 2   | ●         | 2・3・4 |                                   |
|     | [英]<br>[国日]<br>[社情]<br>[キャリア] | CSA2305          | ☆プレゼンテーション概論                                     | 2   | ○         | 2・3・4 |                                   |
|     | [国日]<br>[社情]<br>[キャリア]        | CSA1257          | メディアコンテンツ表現法                                     | 2   | ○         | 2・3・4 |                                   |
|     | [英]<br>[キャリア]                 | EGE2302          | Public Speaking                                  | 2   | ○         | 2・3・4 |                                   |
|     | [英]<br>[キャリア]                 | EGL2400          | ☆ことばとコミュニケーション                                   | 2   | ○         | 2・3・4 |                                   |
|     | [英]<br>[キャリア]                 | EGL3403          | ☆対人コミュニケーション                                     | 2   | ○         | 2・3・4 |                                   |
|     | [英]                           | EGB3302          | Communication Skills I                           | 1   | ○         | 3     |                                   |
|     | [英]                           | EGB3352          | Communication Skills II                          | 1   | ○         | 3     |                                   |
| 領域3 | [英]                           | EGF1100          | 英語英文学基礎演習Ⅰ                                       | 2   | ●         | 1     |                                   |
|     | [国日]                          | CSB1600          | 基礎演習Ⅰ                                            | 2   |           | 1     |                                   |
|     | [社情]                          | INF1401          | 社会情報基礎演習Ⅰ                                        | 2   |           | 1     |                                   |
|     | [キャリア]                        | WCD1101～<br>1104 | フィールドワークⅠ<br>(Will・Can・Must・Refのいずれか1科目)         | 2   |           | 1     | 集中                                |
|     | [共]                           | GCP2500          | キャリア形成ゼミ                                         | 2   | ○         | 2     | 集中                                |
|     | [共]                           | GCP3502          | インターンシップⅠ                                        | 1   | ○         | 3・4   | 集中                                |
|     | [共]                           | GCP3503          | インターンシップⅡ                                        | 1   | ○         | 3・4   | 集中                                |

合計16単位以上 (●必修6単位+○選択科目10単位以上)



## 12-16 観光実務士

### 国際日本文化学科 対象

#### 1. 観光実務士とは

一般財団法人全国大学実務教育協会（以下「協会」という）が認定する資格である。  
観光業務で活かせる知識と実務能力を身につけた人材であることが証明できる。

##### ◇観光実務士の教育目標

旅行・ホテル・航空など関連観光業界で活躍するための、観光ビジネスの実務に関する基礎知識・専門知識に加え、それに必要とされる技術と実務実践能力を養成する。

#### 2. 資格を取得するには

例年7月頃と11月頃に、大学から一括申請するが、申請時に必要書類（科目単位修得見込書類等）の作成・提出、申請費用が必要となる。

##### 〈資格申請について〉

各自が学事課で申請手続きをしてください。（日程の詳細はUNIPAで前期6月・後期10月にお知らせがあるので確認すること。）

##### ①【前期】6月中旬～7月上旬頃

認定証受渡し時期：9月下旬

〈申請できる人〉

資格に必要な単位が揃っている方 または、前期までの授業で資格に必要な単位修得可能（見込）な方

##### ②【後期】10月中旬～11月上旬頃

認定証受渡し時期：4年次生→卒業式 3年次生→4月

〈申請できる人〉

資格に必要な単位が揃っている方 または、後期までの授業で資格に必要な単位修得可能（見込）な方

#### 3. 資格取得に必要な科目及び単位

「7. 開講科目及び単位表」より、合計20単位以上を修得すること。

#### 4. 資格取得に要する費用

申請費用 5,500円

#### 5. その他

「開講科目及び単位表」は便覧より科目が変更となる場合があるので、履修登録時または履修検討期間に、資格確認表を必ず確認してください。（教務課・学事課ウェブサイトまたは学事課窓口まで）

#### 6. 学内の問い合わせ窓口

学事課

|         | 学科 | 区分   | コース<br>ナンバー | 科目名            | 単 位 | 必修 | 配当学年  | 備考        |
|---------|----|------|-------------|----------------|-----|----|-------|-----------|
| 領域<br>1 | 必修 | 〔国日〕 | CSA 1254    | 国際日本文化論        | 2   | ○  | 1・2   |           |
|         |    | 〔国日〕 | CSA 1401    | 観光学概論          | 2   | ○  | 1・2   |           |
|         |    | 〔国日〕 | CSA 2550    | 観光文化論          | 2   | ○  | 1・2   |           |
|         | 選択 | 〔国日〕 | CSA 1256    | 日本の歴史と文化       | 2   |    | 1・2   |           |
|         |    | 〔国日〕 | CSA 2255    | ☆京都学           | 2   |    | 2・3・4 |           |
|         |    | 〔国日〕 | CSA 3550    | ☆クールジャパン論      | 2   |    | 2・3・4 |           |
|         |    | 〔国日〕 | CSA 3252    | ☆ヨーロッパ文化論      | 2   |    | 2・3・4 |           |
|         |    | 〔国日〕 | CSA 2274    | ☆アジア文化論        | 2   |    | 2・3・4 |           |
|         |    | 〔国日〕 | CSA 4217    | ☆アラブ・イスラーム文化論  | 2   |    | 2・3・4 | (隔年開講2)   |
|         |    | 〔英〕  | EGL 3456    | ☆異文化間コミュニケーション | 2   |    | 2・3・4 |           |
| 領域<br>2 | 必修 | 〔国日〕 | CSA 1450    | 観光ビジネス論        | 2   | ○  | 2・3・4 |           |
|         |    | 〔国日〕 | EGR 2101    | ☆ホスピタリティ・スキル演習 | 2   | ○  | 2・3・4 |           |
|         | 選択 | 〔英〕  | EGR 2350    | ☆接遇のための日本語     | 1   |    | 2・3・4 | 定員20人     |
|         |    | 〔英〕  | EGR 3550    | ☆ビジネスマナー演習     | 1   |    | 3・4   | 各クラス定員16人 |
|         |    | 〔国日〕 | CSA 2403    | ☆京都フィールドワーク研究  | 2   |    | 2・3・4 | 定員25人     |
|         |    | 〔国日〕 | CSA 3600    | フィールド実践演習      | 1   |    | 2・3・4 | 集中        |
| 領域<br>3 | 必修 | 〔国日〕 | CSA 3500    | 地域ツーリズム論       | 2   | ○  | 2・3・4 |           |
|         | 選択 | 〔英〕  | EGR 3500    | ☆旅行観光業研究       | 2   |    | 2・3・4 | 集中(隔年開講1) |
|         |    | 〔英〕  | EGR 4500    | ☆ホテルビジネス研究     | 2   |    | 2・3・4 | 集中(隔年開講2) |
|         |    | 〔共〕  | GCP 3501    | キャリア形成ゼミ       | 2   |    | 2     | 集中        |
|         |    | 〔共〕  | GCP 1501    | キャリア実習Ⅰ        | 1   |    | 1・2   | 集中        |
|         |    | 〔共〕  | GCP 1502    | キャリア実習Ⅱ        | 1   |    | 1・2   | 集中        |
|         |    | 〔共〕  | GCP 3502    | インターンシップⅠ      | 1   |    | 3・4   | 集中        |
|         |    | 〔共〕  | GCP 3503    | インターンシップⅡ      | 1   |    | 3・4   | 集中        |

合計20単位以上（領域1（必修6単位）＋領域2（必修4単位以上）＋領域3（必修2単位以上））

## 12-(17) 実践キャリア実務士

### 女性キャリアデザイン学環 対象

#### 1. 実践キャリア実務士とは

一般財団法人全国大学実務教育協会（以下「協会」という）が認定する資格である。

キャリアデザインやキャリアプランニング、それらにともなう能力開発についての知識・技能を習得し、刻々と変化する社会環境において、自らキャリアを開発していける人材であることが証明できる。

##### ◇実践キャリア実務士の教育目標

実社会における実践の場の課題解決につながる学修を通して、職業生活・社会生活に対する問題意識を高め、自己理解を深めて自らのキャリアを考える力を身につける。職業的・社会的に自立するために自らのキャリアを考える学修態度を備え、実務実践を通して学びを継続させ、自分の持ち前を発揮できる職業人を目指していく。本資格は、次世代の働き方を見据えた幅広い職業の実践キャリア学修分野を有する協会の特別資格として位置づけている。

#### 2. 資格を取得するには

例年7月頃と11月頃に、大学から一括申請するが、申請時に必要書類（科目単位修得見込書類等）の作成・提出、申請費用が必要となる。

##### 〈資格申請について〉

各自が学事課で申請手続きをしてください。（日程の詳細はUNIPAで前期6月・後期10月にお知らせがあるので確認すること。）

##### ①【前期】6月中旬～7月上旬頃

認定証受渡し時期：9月下旬

〈申請できる人〉資格に必要な単位が揃っている方 または、前期までの授業で資格に必要な単位修得可能（見込）な方

##### ②【後期】10月中旬～11月上旬頃

認定証受渡し時期：4年次生→卒業式 3年次生→4月

〈申請できる人〉資格に必要な単位が揃っている方 または、後期までの授業で資格に必要な単位修得可能（見込）な方

#### 3. 資格取得に必要な科目及び単位

「7. 開講科目及び単位表」より、合計16単位以上を修得すること。

#### 4. 資格取得に要する費用

申請費用 5,500円

#### 5. その他

「開講科目及び単位表」は便覧より科目が変更となる場合があるので、履修登録時または履修検討期間に、資格確認表を必ず確認してください。（教務課・学事課ウェブサイトまたは学事課窓口まで）

#### 6. 学内の問い合わせ窓口

学事課

## 7. 開講科目及び単位表 (2025年度入学者)

|                                      | 種 類 | 学科等     | コース<br>ナンバー | 授業科目名                            |           | 単位数     | 配当学年    | 備考      |
|--------------------------------------|-----|---------|-------------|----------------------------------|-----------|---------|---------|---------|
| 領域<br>1                              | 必修  | [キャリアデ] | WCD 1200    | ☆女性キャリアデザイン概論                    |           | 2       | 1       |         |
|                                      | 選択  | [キャリアデ] | WCD 1100    | 基礎演習Ⅰ                            |           | 2       | 1       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 1400    | 基礎演習Ⅱ                            |           | 2       | 1       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | GCP 2101    | 子育てとワークライフバランス                   |           | 1       | 1・2・3・4 | 7.5コマ   |
|                                      |     | [キャリアデ] | LDR 2201    | ☆ビジネスの基礎Ⅰ                        |           | 2       | 2       | 定員30人   |
|                                      |     | [キャリアデ] | GCP 1500    | ホスピタリティ入門                        |           | 2       | 1・2・3・4 |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | CSA 2305    | ☆プレゼンテーション概論                     |           | 2       | 2・3・4   |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | EGE 3550    | Woman Leadership                 |           | 2       | 2・3・4   |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | LDR 3203    | ☆マーケティング論                        |           | 2       | 3       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | LDR 3253    | ☆ソーシャルマーケティング論                   |           | 2       | 3       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | PSA 2203    | ☆消費者行動の心理学                       |           | 2       | 2・3     |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | EGR 3552    | ☆ホスピタリティ&キャリア                    |           | 1       | 3・4     | 定員16人   |
|                                      |     | [キャリアデ] | EDI 3206    | コミュニティと福祉                        |           | 2       | 3       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | PSA 1552    | 社会・集団・家族心理学                      |           | 2       | 1       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | CSA 2268    | 多文化理解                            |           | 2       | 1・2     | (隔年開講2) |
|                                      |     | [キャリアデ] | CSA 2406    | 日本語の朗読                           |           | 2       | 2・3・4   |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | EGR 2101    | ホスピタリティ・スキル演習                    |           | 2       | 2・3・4   |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | EGR 3550    | ビジネスマナー演習                        |           | 1       | 3・4     |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | CSA 2457    | プレゼンテーション演習                      |           | 2       | 2・3・4   |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | EGE 2503    | Study Abroad Preparation         |           | 1       | 2       | 集中      |
| 領域<br>2                              | 必修  | [キャリアデ] | WCD 2402    | 発展演習Ⅰ                            |           | 2       | 2       |         |
|                                      | 選択  | [キャリアデ] | GCP 1101    | 女性とライフキャリア                       |           | 2       | 1・2・3・4 |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 2600    | 発展演習Ⅱ                            |           | 2       | 2       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | LDR 2252    | ビジネスの基礎Ⅱ                         |           | 2       | 2       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | LDA 3502    | コミュニティ活動実践                       |           | 2       | 3       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | EGE 3652    | Global Career Skills Development |           | 2       | 2・3・4   |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3604    | 専門演習                             |           | 4       | 3       |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 1201    | ワークショップ (Will)                   | 3科目<br>のみ | 1・2・3・4 | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 1202    | ワークショップ (Can)                    |           | 1・2・3・4 | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 1203    | ワークショップ (Must)                   |           | 1・2・3・4 | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 2400    | ワークショップ (Ref)                    |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 1101    | フィードワークⅠ (Will)                  |           | 1       | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 1102    | フィードワークⅠ (Can)                   |           | 1       | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 1103    | フィードワークⅠ (Must)                  |           | 1       | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 1104    | フィードワークⅠ (Ref)                   |           | 1       | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3400    | フィードワークⅡ (Will)                  |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3401    | フィードワークⅡ (Can)                   |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3402    | フィードワークⅡ (Must)                  |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3403    | フィードワークⅡ (Ref)                   |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3500    | フィードワークⅢ (Will)                  |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3501    | フィードワークⅢ (Can)                   |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3502    | フィードワークⅢ (Must)                  |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3503    | フィードワークⅢ (Ref)                   |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3600    | フィードワークⅣ (Will)                  |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3601    | フィードワークⅣ (Can)                   |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3602    | フィードワークⅣ (Must)                  |           | 2・3・4   | 集中      |         |
|                                      |     | [キャリアデ] | WCD 3603    | フィードワークⅣ (Ref)                   |           | 2・3・4   | 集中      |         |
| 領域1 (必修2単位) + 領域2 (必修2単位) = 合計16単位以上 |     |         |             |                                  |           |         |         |         |

## 12-18 情報活用力プログラム

### 全学対象

### 1. 情報活用力プログラムとは

情報社会において必要な情報科学の知識・技能を身につけるとともに、それらが社会に与える影響を理解した上で、新たな情報を作り出し、課題を発見し、その解決に向けて主体的に解決策を検討し、実践できる人材の養成を目的とする。

なお、本プログラムの科目には上級情報処理士資格取得のために必要な科目も含んでいる。

情報活用力プログラムは、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」に認定されたプログラムである。

また、情報活用力プログラム（基礎）は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されたプログラムである。

ー 以下、文部科学省サイトより引用 ー

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」とは？

デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・AIに関する、大学（短期大学含む）・高等専門学校（以下、「大学等」という。）の正規の課程の教育プログラムのうち、一定の要件を満たした優れた教育プログラムを文部科学大臣が認定／選定することによって、大学等が数理・データサイエンス・AI教育に取り組むことを後押しする制度です。

応用基礎レベル

リテラシーレベルの教育を補完的・発展的に学び、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力、AIを活用し課題解決につなげる基礎能力を修得し、自らの専門分野に数理・データサイエンス・AIを応用するための大局的な視点を獲得することを目標としており、リテラシーレベルとエキスパートレベルの教育の橋渡しとなる教育として位置づけられております。

リテラシーレベル

データと社会との関係性を学ぶ「導入」、データを読み解き、扱うための基礎的な能力を学ぶ「基礎」、データやAIを利活用する際の倫理的・法的・社会的な留意点などを学ぶ「心得」などにより構成されており、大学等の全ての学生が身に付けておくべき素養として位置づけられております。

### 2. 修了証の授与

プログラムを修了した者には、学長名で「情報活用力プログラム修了証」を授与する。

なお、科目区分「基礎・基幹」の要件を満たして計16単位を修得した者は、「情報活用力プログラム（基礎）」を修了したものとし、申し出により所定の修了証を授与する。

### 3. 資格に関する学内管轄部署

教員：神月紀輔

事務取扱窓口：ND教育センター事務室

### 4. 開講科目表及び単位表（2025年度以降入学者）

- (1) 以下の科目の中から、必修の要件を満たして34単位以上を修得しなければならない。
- (2) 科目区分「基礎・基幹」の要件を満たして計16単位を修得した者は、「情報活用力プログラム（基礎）」を修了したものとし、申し出により所定の修了証を授与する。

| 区分       | 学科等                    | コース<br>ナンバー          | 授業科目名(☆は他学科等開放科目) | 単位 | 必修                | 配当<br>学年 | 備考        |
|----------|------------------------|----------------------|-------------------|----|-------------------|----------|-----------|
| 基礎<br>基幹 | [共]<br>[社情]            | GEI 1400             | 情報演習Ⅰa            | 1  | 1単位以上<br>選択必修     | 1        | 各クラス定員40人 |
|          | [共]<br>[社情]            | GEI 1401             | 情報演習Ⅰb            | 1  |                   | 1        | メディア利用    |
|          | [共]<br>[社情]            | GEI 2400             | 情報演習Ⅱ             | 1  |                   | 1・2      | 各クラス定員35人 |
|          | [共]<br>[社情]            | GEI 2250<br>INF 2252 | 情報技術リテラシー         | 2  | ○                 | 2<br>1   | 各クラス定員35人 |
|          | [共]<br>[社情]            | GEI 1200             | 情報の科学と倫理          | 2  | ○                 | 1        | メディア利用    |
|          | [共]                    | GEI 2451             | AIとデータサイエンス入門     | 2  | ○                 | 1・2      |           |
|          | [共]<br>[社情]            | GEI 1450             | SNSコミュニケーションスキル   | 2  | 8単位<br>以上選択<br>必修 | 1        | メディア利用    |
|          | [共]<br>[社情]            | GEI 2450             | 情報処理              | 2  |                   | 2        | 各クラス定員35人 |
|          | [共]<br>[社情]            | GEI 2452<br>INF 2451 | プログラミング演習         | 2  |                   | 2<br>1   | 定員35人     |
|          | [英]                    | EGF 1100             | 英語英文学基礎演習Ⅰ        | 2  |                   | 1        |           |
|          | [英]                    | EGF 1150             | 英語英文学基礎演習Ⅱ        | 2  |                   | 1        |           |
|          | [国日]                   | CSB 1600             | 基礎演習Ⅰ             | 2  |                   | 1        |           |
|          | [国日]                   | CSB 1650             | 基礎演習Ⅱ             | 2  |                   | 1        |           |
|          | [生]                    | SLF 1301             | 生活環境基礎演習Ⅰ         | 2  |                   | 1        |           |
|          | [生]                    | SLF 1251             | 生活環境基礎演習Ⅱ         | 2  |                   | 1        |           |
|          | [心]                    | PSB 1100             | 心理学基礎演習Ⅰ          | 2  |                   | 1        |           |
|          | [心]                    | PSB 1350             | 心理学基礎演習Ⅱ          | 2  |                   | 1        |           |
|          | [こ]                    | EDB 1203             | こども教育基礎演習         | 2  |                   | 1        |           |
|          | [こ]                    | EDB 1500             | こども教育フィールド研修      | 1  |                   | 1        | 集中        |
|          | [社情]                   | INF 1401             | 社会情報基礎演習Ⅰ         | 2  |                   | 1        |           |
|          | [社情]                   | INF 1451             | 社会情報基礎演習Ⅱ         | 2  |                   | 1        |           |
|          | [キャリアデ]                | WCD 1100             | 基礎演習Ⅰ             | 2  |                   | 1        |           |
|          | [キャリアデ]                | WCD 1400             | 基礎演習Ⅱ             | 2  |                   | 1        |           |
| 専門       | [英]                    | EGS 3500             | 英語英文学演習Ⅰ          | 2  | 4単位<br>以上選択<br>必修 | 3        |           |
|          | [英]                    | EGS 3550             | 英語英文学演習Ⅱ          | 2  |                   | 3        |           |
|          | [国日]                   | CSS 3600             | 専門演習Ⅰ             | 2  |                   | 3        |           |
|          | [国日]                   | CSS 3650             | 専門演習Ⅱ             | 2  |                   | 3        |           |
|          | [生]                    | SLS 3401             | 生活環境特論            | 4  |                   | 3        |           |
|          | [心]                    | PSS 3600             | 心理学演習             | 4  |                   | 3        |           |
|          | [こ]                    | EDS 3600             | こども教育演習           | 4  |                   | 3        |           |
|          | [社情]                   | INF 3600             | 社会情報演習            | 4  |                   | 3        |           |
|          | [キャリアデ]                | WCD 3604             | 専門演習              | 4  |                   | 3        |           |
|          | [国日]<br>[社情]           | CSA 2259             | ☆インターネット社会論       | 2  |                   | 2・3・4    |           |
|          | [生]<br>[社情]<br>[キャリアデ] | LDR 3203             | ☆マーケティング論         | 2  |                   | 3        |           |
|          | [心]                    | PSR 3203             |                   |    |                   |          |           |
|          | [こ]<br>[社情]            | EDN 3402             | ☆情報教育             | 2  |                   | 3        |           |
|          | [こ]<br>[社情]            | CNS 2601             | ☆子供のネット安全教育の理論と実践 | 2  |                   | 2・3・4    | 集中        |
|          | [こ]<br>[社情]            | EDP 3403             | ICT活用教育           | 1  |                   | 3        |           |
|          | [教]                    | TEA 3853             |                   |    |                   |          |           |
|          | [共]<br>[社情]            | GEI 2200             | アルゴリズム基礎          | 2  | ○                 | 2        |           |
|          | [共]<br>[社情]            | GEI 3400             | AIとデータサイエンス       | 2  | ○                 | 3        |           |
|          | [社情]                   | INF 3401             |                   |    |                   | 2        |           |

| 区分     | 学科等               | コース<br>ナンバー               | 授業科目名（☆は他学科等開放科目） | 単位 | 必修             | 配当<br>学年 | 備考                            |
|--------|-------------------|---------------------------|-------------------|----|----------------|----------|-------------------------------|
| 関連     | [共]               | GEI 1150                  | 生命倫理              | 2  | 10単位以上<br>選択必修 | 1・2・3・4  |                               |
|        | [共][社情]           | GEN 1450                  | 暮らしの統計学           | 2  |                | 1・2・3・4  |                               |
|        | [共][社情]           | GCP 2350                  | アカデミック・ライティング     | 2  |                | 1・2・3・4  |                               |
|        | [共]               | GCP 1501                  | キャリア実習Ⅰ           | 1  |                | 1・2      | 集中                            |
|        | [共]               | GCP 1502                  | キャリア実習Ⅱ           | 1  |                | 1・2      | 集中                            |
|        | [共]               | GCP 2500                  | キャリア形成ゼミ          | 2  |                | 2        | 集中                            |
|        | [共]               | GCP 3502                  | インターンシップⅠ         | 1  |                | 3・4      | 集中                            |
|        | [共]               | GCP 3503                  | インターンシップⅡ         | 1  |                | 3・4      | 集中                            |
|        | [共]               | GEN 1250                  | 暮らしと電気・エネルギー      | 2  |                | 1        | 集中                            |
|        | [生][社情]           | LDA 1251                  |                   |    |                |          |                               |
|        | [英]               | EGL 2453                  | ☆ことばのしくみ          | 2  |                | 2・3・4    |                               |
|        | [英]<br>[心][キャリア]  | EGL 3403                  | ☆対人コミュニケーション      | 2  |                | 2・3・4    |                               |
|        | [英]               | EGL 3406                  | ☆ことばの音と形態         | 2  |                | 2・3・4    |                               |
|        | [英]               | EGL 3455                  | ☆ことばと社会           | 2  |                | 2・3・4    | 「言語学概論」又は「英語の歴史」の<br>履修者であること |
|        | [英]               | EGL 3458                  | ☆ことばと意味           | 2  |                | 2・3・4    |                               |
|        | [生][社情]<br>[キャリア] | LDR 2201                  | ☆ビジネスの基礎Ⅰ         | 2  |                | 2        | 定員30人                         |
|        | [心]               | PSR 2201                  |                   |    |                |          |                               |
|        | [生][社情]<br>[キャリア] | LDR 2252                  | ☆ビジネスの基礎Ⅱ         | 2  |                | 2        | 前提科目「ビジネスの基礎Ⅰ」<br>定員20人       |
|        | [生][社情]<br>[キャリア] | LDR 3253                  | ☆ソーシャルマーケティング論    | 2  |                | 3        |                               |
|        | [生][社情]<br>[キャリア] | LDR 3254                  | ☆女性起業論            | 2  |                | 3        |                               |
|        | [心]               | PSR 3254                  |                   |    |                |          |                               |
|        | [心][社情]<br>[キャリア] | PSA 2203                  | ☆消費者行動の心理学        | 2  |                | 2・3      |                               |
|        | [心][社情]           | PSA 2205                  | ☆知覚・認知心理学         | 2  |                | 2・3      |                               |
|        | [心][社情]           | PSA 2254                  | ☆学習・言語心理学         | 2  |                | 2        |                               |
|        | [こ]               | EDN 2253                  |                   |    |                |          |                               |
|        | [こ]               | EDI 4601                  | 初等教育実習Ⅰa          | 2  |                | 4        | 集中                            |
|        | [こ]               | EDI 4602                  | 初等教育実習Ⅱa          | 2  |                | 4        | 集中                            |
|        | [こ]               | EDP 3600                  | 初等教育実習Ⅰb          | 2  |                | 3        | 集中                            |
|        | [こ]               | EDP 3601                  | 初等教育実習Ⅱb          | 2  |                | 3        | 集中                            |
|        | [社情]<br>[キャリア]    | INF 2250                  | ☆ICTビジネス論         | 2  |                | 2・3      |                               |
|        | [教]               | TEA 4856                  | 中等教育実習Ⅰ           | 2  |                | 4        | 集中                            |
|        | [教]               | TEA 4857                  | 中等教育実習Ⅱ           | 2  |                | 4        | 集中                            |
|        | [英]               | EGS 4600                  | 卒業研究(※)           | 8  |                | 4        |                               |
|        | [国日]              | CSS 4600                  |                   |    |                |          |                               |
|        | [生]               | SLS 4600                  |                   |    |                |          |                               |
|        | [心]               | PSS 4602                  |                   |    |                |          |                               |
| [こ]    | EDS 4601          |                           |                   |    |                |          |                               |
| [社情]   | INF 4600          |                           |                   |    |                |          |                               |
| [キャリア] | WCD 4600          |                           |                   |    |                |          |                               |
|        |                   | 各学科専門教育科目のうち情報分野<br>を含むもの | 4単位<br>以内         |    |                |          |                               |

☆ 他学科等科目 (どの学部・学科も履修できる科目)

※ 「卒業研究」「各学科専門教育科目のうち情報分野を含む科目」は、ND教育センターで情報分野を含むことを確認した場合に限り認定される。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

## 12-19 エアラインプログラム

### 全学対象

#### 1. エアラインプログラムとは

このプログラムは、ANA（全日本空輸）の客室乗務員経験者が直接指導する科目を中心に展開し、社会人として必要な基礎的な知識・技能、ホスピタリティの在り方等を実践的に身につけ、航空業界はもちろんのこと、幅広くビジネスで率先力たろうとする人財の養成を目的とする。

#### 2. 履修するには

4月にオンデマンドで実施するオリエンテーションを視聴し、「エアラインプログラム履修申請書」を提出すること。2年次以降で履修希望の場合は、学事課に申し出ること。

「エアラインプログラム履修申請書」提出締切：4月末（学事課窓口）

#### 3. 修了証の授与

プログラムを修了した者には、学長名で「エアラインプログラム修了証」を卒業時に授与する。

#### 4. 実践区分科目の履修について

実践区分科目の履修にあたっては、「ホスピタリティ入門」を履修済みであることが望ましい。

#### 5. その他費用について

科目によっては、実習費・交通費等が必要な場合がある。詳しくは、シラバスで確認すること。

#### 6. 学内の問い合わせ窓口

学事課

#### 7. 開講科目表及び単位表（2025年度入学者）

- (1) 以下の科目の中から、必修の要件を満たして26単位以上修得しなければならない。
- (2) 学士の学位を有すること。

| 区分 | 学科等           | コース<br>ナンバー | 授業科目名（☆は他学科開放科目） | 単位 | 必修                | 配当<br>学年 | 備考          |
|----|---------------|-------------|------------------|----|-------------------|----------|-------------|
| 基礎 | [共]<br>[キャリア] | GCP 1500    | ホスピタリティ入門        | 2  | ○                 | 1        |             |
|    | [英]<br>[キャリア] | EGR 1500    | ☆エアライン・サービス論     | 2  | ○                 | 1        |             |
|    | [英]<br>[キャリア] | EGR 2550    | ☆エアライン・ビジネス論     | 2  | ○                 | 2        |             |
| 実践 | [英]<br>[キャリア] | EGR 3552    | ☆ホスピタリティ&キャリア    | 1  | ○                 | 3・4      | 定員16人       |
|    | [英]<br>[キャリア] | EGR 2101    | ☆ホスピタリティ・スキル演習   | 2  | 2単位<br>以上選択<br>必修 | 2・3・4    | 定員16人       |
|    | [国日]          | CSA 2101    |                  |    |                   |          |             |
|    | [英]<br>[キャリア] | EGR 3550    | ☆ビジネスマナー演習       | 1  |                   | 3・4      | 定員16人       |
|    | [国日]          | CSA 3551    |                  |    |                   |          |             |
|    | [英]<br>[キャリア] | EGR 3505    | ☆エアポート研修         | 1  |                   | 2・3      | 定員20人<br>集中 |



| 区分              | 学科等                          | コース<br>ナンバー | 授業科目名 (☆は他学科開放科目) | 単位 | 必修                | 配当<br>学年 | 備考                      |
|-----------------|------------------------------|-------------|-------------------|----|-------------------|----------|-------------------------|
| 観光<br>領域        | [英]<br>[キャリア]                | EGR 3500    | ☆旅行観光業研究          | 2  | 2単位<br>以上選択<br>必修 | 2・3・4    | (隔年開講1)<br>集中           |
|                 | [英]<br>[キャリア]                | EGR 4500    | ☆ホテルビジネス研究        | 2  |                   | 2・3・4    | (隔年開講2)<br>集中           |
|                 | [国日]                         | CSA 1401    | ☆観光学概論            | 2  |                   | 1・2      |                         |
|                 | [国日]                         | CSA 2550    | ☆観光文化論            | 2  |                   | 1・2      |                         |
|                 | [国日]                         | CSA 1450    | ☆観光ビジネス論          | 2  |                   | 2・3・4    |                         |
|                 | [国日]                         | CSA 3500    | ☆地域ツーリズム論         | 2  |                   | 2・3・4    |                         |
| コミュニケーション<br>領域 | [英][心]<br>[キャリア]             | EGL 3403    | ☆対人コミュニケーション      | 2  | 2単位<br>以上選択<br>必修 | 2・3・4    |                         |
|                 | [英][心]<br>[キャリア]             | EGL 3456    | ☆異文化間コミュニケーション    | 2  |                   | 2・3・4    |                         |
|                 | [英][国日]<br>[心][社情]<br>[キャリア] | CSA 2305    | ☆プレゼンテーション概論      | 2  |                   | 2・3・4    | 定員35人                   |
|                 | [英][国日]<br>[社情]<br>[キャリア]    | CSA 2457    | ☆プレゼンテーション演習      | 2  |                   | 2・3・4    | 定員30人                   |
| キャリア・ビジネス<br>領域 | [生][社情]<br>[キャリア]            | LDA 2201    | ☆ビジネスの基礎Ⅰ         | 2  | 4単位<br>以上選択<br>必修 | 2        | 定員30人                   |
|                 | [心]                          | PSR 2201    |                   |    |                   |          |                         |
|                 | [生][社情]<br>[キャリア]            | LDA 2252    | ☆ビジネスの基礎Ⅱ         | 2  |                   | 2        | 前提科目「ビジネスの基礎Ⅰ」<br>定員20人 |
|                 | [共]<br>[キャリア]                | GCP 1101    | 女性とライフキャリア        | 2  |                   | 1・2・3・4  |                         |
|                 | [共]<br>[キャリア]                | GCP 2101    | 子育てとワークライフバランス    | 1  |                   | 2・3・4    | 7.5コマ                   |
|                 | [共]                          | GCP 3504    | 社会とキャリア           | 2  |                   | 3        |                         |
|                 | [共]                          | GCP 2500    | キャリア形成ゼミ          | 2  |                   | 2        | 集中                      |
|                 | [共]                          | GCP 1501    | キャリア実習Ⅰ           | 1  |                   | 1・2      | 集中                      |
|                 | [共]                          | GCP 1502    | キャリア実習Ⅱ           | 1  |                   | 1・2      | 集中                      |
|                 | [共]                          | GCP 3502    | インターンシップⅠ         | 1  |                   | 3・4      | 集中                      |
|                 | [共]                          | GCP 3503    | インターンシップⅡ         | 1  |                   | 3・4      | 集中                      |
| 国際・文化<br>領域     | [共]                          | GCP 2551    | 海外キャリア実習          | 2  |                   | 2・3・4    | 集中                      |
|                 | [共]                          | GES 1201    | 国際関係論入門           | 2  | 4単位<br>以上選択<br>必修 | 1・2・3・4  |                         |
|                 | [共]                          | GEH 1253    | 文化人類学             | 2  |                   | 1・2・3・4  |                         |
|                 | [国日]<br>[社情]                 | CSA 1254    | ☆国際日本文化論          | 2  |                   | 1・2      |                         |
|                 | [国日]<br>[キャリア]               | CSA 1203    | 比較文化概論            | 2  |                   | 1・2      |                         |
|                 | [国日]<br>[社情]<br>[キャリア]       | CSA 1204    | ☆国際関係論            | 2  |                   | 1・2      |                         |
|                 | [国日]<br>[キャリア]               | CSA 2268    | 多文化理解             | 2  |                   | 1・2      | (隔年開講2)                 |
|                 | [国日][心]                      | CSA 3550    | ☆クールジャパン論         | 2  |                   | 2・3・4    |                         |
|                 | [国日]                         | CSA 3252    | ☆ヨーロッパ文化論         | 2  |                   | 2・3・4    |                         |
|                 | [国日]                         | CSA 2274    | ☆アジア文化論           | 2  |                   | 2・3・4    |                         |
|                 | [国日]                         | CSA 1255    | ☆中東文化論            | 2  |                   | 2・3・4    | (隔年開講1)                 |
|                 | [国日]                         | CSA 4217    | ☆アラブ・イスラーム文化論     | 2  |                   | 2・3・4    | (隔年開講2)                 |
|                 | [英]                          | EGL 3459    | ☆イギリスの社会と文化       | 2  |                   | 2・3・4    |                         |
|                 | [英]                          | EGL 3453    | ☆アメリカの社会と文化       | 2  |                   | 2・3・4    |                         |

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等  
配置図

| 区分  | 学科等 | コース<br>ナンバー | 授業科目名 (☆は他学科開放科目) | 単位 | 必修                                                       | 配当<br>学年 | 備考               |
|-----|-----|-------------|-------------------|----|----------------------------------------------------------|----------|------------------|
| 外国語 | [共] | GBE 2313    | △TOEIC I          | 2  | △から<br>2単位<br>以上選択<br>必修<br><br>全体で<br>4単位<br>以上選択<br>必修 | 1・2・3・4  |                  |
|     | [英] | EGB 1305    |                   |    |                                                          | 1        |                  |
|     | [共] | GBE 2358    | △TOEIC II         | 2  |                                                          | 1・2・3・4  |                  |
|     | [英] | EGB 1355    |                   |    |                                                          | 1        |                  |
|     | [共] | GBE 3304    | △TOEIC III        | 2  |                                                          | 1・2・3・4  |                  |
|     | [英] | EGB 2305    |                   |    |                                                          | 2        |                  |
|     | [共] | GBE 3352    | △TOEIC IV         | 2  |                                                          | 1・2・3・4  |                  |
|     | [英] | EGB 2355    |                   |    |                                                          | 2        |                  |
|     | [共] | GBE 2314    | △留学英語 I           | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 英語英文学科の学生は履修できない |
|     | [共] | GBE 2359    | △留学英語 II          | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 英語英文学科の学生は履修できない |
|     | [英] | EGB 1306    | △TOEFL I          | 2  |                                                          | 1        |                  |
|     | [英] | EGB 1356    | △TOEFL II         | 2  |                                                          | 1        |                  |
|     | [共] | GBE 2309    | 日常の英会話            | 1  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員25人            |
|     | [共] | GBE 2310    | 旅行の英会話            | 1  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員25人            |
|     | [共] | GBE 3301    | 留学の英会話            | 1  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員25人            |
|     | [共] | GBE 3302    | おもてなしの英会話         | 1  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員25人            |
|     | [共] | GBE 3303    | ビジネス英会話           | 1  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員30人            |
|     | [共] | GBE 2306    | 英語実践 (4技能) I      | 1  |                                                          | 1・2・3・4  | 集中               |
|     | [共] | GBE 2356    | 英語実践 (4技能) II     | 1  |                                                          | 1・2・3・4  | 集中               |
|     | [共] | GBF 1300    | ドイツ語              | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員40人            |
|     | [共] | GBF 1350    | フランス語             | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員40人            |
|     | [共] | GBF 1301    | スペイン語             | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員40人            |
|     | [共] | GBF 1351    | アラビア語             | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員40人            |
|     | [共] | GBF 1302    | 中国語Ⅰ              | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員40人            |
|     | [共] | GBF 1352    | 中国語Ⅱ              | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員40人            |
|     | [共] | GBF 2300    | 中国語Ⅲ              | 2  |                                                          | 2・3・4    |                  |
|     | [共] | GBF 1303    | コリア語Ⅰ             | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員40人            |
|     | [共] | GBF 1353    | コリア語Ⅱ             | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 定員40人            |
|     | [共] | GBF 2301    | コリア語Ⅲ             | 2  |                                                          | 2・3・4    |                  |
|     | [共] | GBF 1354    | 海外研修 (語学)Ⅰ        | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 集中               |
|     | [共] | GBE 1355    | 海外研修 (語学)Ⅱ a      | 2  |                                                          | 1・2・3    | 集中               |
|     | [共] | GBE 1356    | 海外研修 (語学)Ⅱ b      | 2  |                                                          | 1・2・3・4  | 集中               |
|     | [共] | GBJ 1300    | 日本語講読Ⅰ            | 1  |                                                          | 1        |                  |
|     | [共] | GBJ 1350    | 日本語講読Ⅱ            | 1  |                                                          | 1        |                  |
|     | [共] | GBJ 1301    | 日本語表現Ⅰ            | 1  |                                                          | 1        |                  |
|     | [共] | GBJ 1351    | 日本語表現Ⅱ            | 1  |                                                          | 1        |                  |
|     | [共] | GBJ 2300    | 日本語特講Ⅰ            | 1  |                                                          | 2        |                  |
|     | [共] | GBJ 2350    | 日本語特講Ⅱ            | 1  |                                                          | 2        |                  |

## 12—(20) 日本語教員養成課程

全学対象 定員30名

### 1. 日本語教員養成課程とは

日本語教員養成課程（以下「本養成課程」）は、国家資格である登録日本語教員を目指す者に対して、「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」（令和5年法律第41号）に規定する、登録日本語教員資格取得のための日本語教員試験の基礎試験免除資格を得させることを目的とする。

### 2. 登録日本語教員について

#### (1) 登録日本語教員とは

登録日本語教員とは、日本語を学ぶ外国人それぞれが必要とする日本語能力が身に付けられるよう、日本語教育を行うために必要な知識及び技能を有し、文部科学大臣認定の認定日本語教育機関で日本語を指導することができる国家資格である。

#### (2) 登録日本語教員になるためには

基礎試験と応用試験からなる日本語教員試験に合格し、かつ登録実践研修機関での実践研修を修了しなければならない。本養成課程は、「1. 日本語教員養成課程とは」で記すように、日本語教員試験の基礎試験免除資格を得させることを目的とするものである。そのため、本養成課程修了者が登録日本語教員になるためには、別途、応用試験の合格と登録実践研修機関で実践研修の修了が必要になる。

登録日本語教員の詳細は試験の案内は、以下のサイトで確認すること。

「日本語教育機関認定法ポータル」 <https://www.nihongokyokuiku.mext.go.jp/top>

### 3. 履修について

#### (1) オリエンテーション

4月と1月に実施するオリエンテーションに参加すること。※

#### (2) 選考と履修許可について

1年次の学年末に以下の方法で選考を行い、総合的に評価を行ったうえで履修を許可する。詳細については、オリエンテーション時に説明する。※

- ア 申請書
- イ 面接
- ウ 1年次成績

#### (3) 履修科目について

「8. 開講科目表及び単位表（2025年度入学者）」を確認し、履修計画を立てておくこと。

なお、1年次から受講可能な「日本語教育論Ⅰ」と「日本語教育論Ⅱ」については、上述の「(2) 選考と履修許可について」によらず履修しておくこと。

#### (4) 「日本語教育実践Ⅰ」・「日本語教育実践Ⅱ」の前提・受講資格について

「日本語教育実践Ⅰ」・「日本語教育実践Ⅱ」に参加し得る者は、以下の事項を行って初めて履修できる。

- ア 「日本語教育論Ⅰ」及び「日本語教育論Ⅱ」を修得済みであること。
- イ 「日本語教授法」及び「日本語研究」を修得済み又は履修中であること。

※転学部等、転入学若しくは編入学又は2年次進級以外の時期に履修開始を希望する学生は、ND教育センター事務室で相談すること。

12・免許・資格

13・留学・海外研修等

14・欠席の取扱い・試験実施要領等

15・学生納入金（学費）・経済的支援

16・各部局等の案内

17・科目名英訳対照表等

18・学則・規程等

19・校舎・教室等配置図

## 4. 登録実践研修機関での研修について

(1) 研修の要件

登録実践研修機関で実践研修を行うためには、以下の要件を満たした本養成課程の修了見込みが必要である。実践研修前に要件確認を行い、要件を満たした場合は修了見込みである旨の証明書を交付する。

「開講科目表及び単位表（2025年度入学者）」

- ・必修（領域1）の8単位を全て修得済みであること。
- ・選択必修（領域2～領域8）については、以下の17単位以上を修得済み又は履修中であること。

- (1) 領域2～領域7から各2単位以上、領域8について1単位以上。
- (2) 領域3～領域7から4単位以上。

(2) 研修先について

登録実践研修機関での実践研修にあたっては、近隣の研修先を本学から紹介する予定である。

なお、本養成課程を修了または修了見込みであれば、自身で実践研修先（帰省先などにある登録実践研修機関）を探し、実践研修を行ってもかまわない。（本学卒業後に研修を行う場合も同様）

## 5. 修了証書の授与

本養成課程を修了した者には、「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律施行規則」（令和5年文部科学省令第39号）の定めるところにより修了証書を授与する。

## 6. その他費用について

科目によっては資料代・交通費等が必要な場合がある。詳しくはシラバスで確認すること。

## 7. 学内の問い合わせ窓口

学事課、ND教育センター事務室

## 8. 開講科目表及び単位表（2025年度入学者）

- ・以下の科目の中から、必修の要件を満たして25単位以上を修得しなければならない。
  - ・必修（領域1）については、8単位修得すること。
  - ・選択必修（領域2～領域8）については、以下のすべての要件を満たし、17単位以上修得すること。
- (1) 領域2～領域7から各2単位以上、領域8について1単位以上。
  - (2) 領域3～領域7から4単位以上。

| 区分      | 学科等  | コース<br>ナンバー | 授業科目名（☆は他学科開放科目） | 単位 | 必修                | 配当<br>学年 | 備考     |
|---------|------|-------------|------------------|----|-------------------|----------|--------|
| 領域<br>1 | 〔国日〕 | CSA 1300    | ☆日本語教育論Ⅰ         | 2  | ○                 | 1        |        |
|         | 〔国日〕 | CSA 1350    | ☆日本語教育論Ⅱ         | 2  | ○                 | 1        |        |
|         | 〔日〕  | JLT 2850    | 日本語教授法           | 2  | ○                 | 2・3      |        |
|         | 〔国日〕 | CSA 2353    | ☆日本語研究           | 2  | ○                 | 2・3・4    |        |
| 領域<br>2 | 〔日〕  | JLT 3801    | 日本語教育実践Ⅰ         | 2  | 2単位<br>以上選択<br>必修 | 3        | 集中     |
|         | 〔日〕  | JLT 3851    | 日本語教育実践Ⅱ         | 2  |                   | 3        | 集中     |
| 領域<br>3 | 〔国日〕 | CSA 1201    | 国語学概論            | 2  | 2単位<br>以上選択<br>必修 | 1・2      | 音声言語含む |
|         | 〔国日〕 | CSA 2352    | ☆日本語文法           | 2  |                   | 2・3・4    |        |
|         | 〔英〕  | EGR 3202    | ☆外国語としての日本語      | 2  |                   | 2・3・4    | 定員30人  |
|         | 〔国日〕 | CSA 3202    |                  |    |                   |          |        |

| 区分      | 学科等                | コース<br>ナンバー | 授業科目名 (☆は他学科開放科目) | 単位 | 必修                | 配当<br>学年 | 備考        |
|---------|--------------------|-------------|-------------------|----|-------------------|----------|-----------|
| 領域<br>4 | [心]<br>[社情]        | PSA 2201    | ☆発達心理学概論          | 2  | 2単位<br>以上選択<br>必修 | 2・3      |           |
|         | [心]<br>[社情]        | PSA 2254    | ☆学習・言語心理学         | 2  |                   | 2        |           |
|         | [こ]                | EDN 2253    |                   |    |                   |          |           |
|         | [心]<br>[社情]        | PSA 1250    | ☆教育心理学概論          | 2  |                   | 1・2      |           |
|         | [こ]                | EDB 1401    | 教育心理学             | 2  |                   | 1        |           |
|         | [共]                | GET 1400    |                   |    |                   |          |           |
| 領域<br>5 | [英]                | EGL 3455    | ☆ことばと社会           | 2  | 2単位<br>以上選択<br>必修 | 2・3・4    |           |
|         | [英][心]<br>[キャリア]   | EGL 3456    | ☆異文化間コミュニケーション    | 2  |                   | 2・3・4    |           |
|         | [英][心]<br>[キャリア]   | EGL 3403    | ☆対人コミュニケーション      | 2  |                   | 2・3・4    |           |
| 領域<br>6 | [共]                | GES 1201    | 国際関係論入門           | 2  | 2単位<br>以上選択<br>必修 | 1・2・3・4  |           |
|         | [国日][社情]<br>[キャリア] | CSA 1204    | ☆国際関係論            | 2  |                   | 1・2      |           |
|         | [国日]<br>[キャリア]     | CSA 1203    | 比較文化概論            | 2  |                   | 1・2      |           |
|         | [国日][社情]           | CSA 1254    | ☆国際日本文化論          | 2  |                   | 1・2      |           |
|         | [こ][社情]            | EDN 4500    | ☆国際理解教育           | 2  |                   | 4        | メディア利用    |
| 領域<br>7 | [共]                | GEH 1201    | 日本近現代史            | 2  | 2単位<br>以上選択<br>必修 | 1・2・3・4  |           |
|         | [共]                | GEH 1202    | 東アジア近現代史          | 2  |                   | 1・2・3・4  |           |
|         | [共]                | GEH 1252    | ヨーロッパ近現代史         | 2  |                   | 1・2・3・4  |           |
|         | [共]                | GEH 1253    | 文化人類学             | 2  |                   | 1・2・3・4  |           |
|         | [国日]<br>[キャリア]     | CSA 2268    | 多文化理解             | 2  |                   | 1・2      | (隔年開講2)   |
|         | [共]                | GEH 1255    | 日本の歴史と文化          | 2  |                   | 1・2・3・4  |           |
|         | [国日]               | CSA 1256    |                   |    |                   | 1・2      |           |
| 領域<br>8 | [共]<br>[社情]        | GEI 1400    | 情報演習 I a          | 1  | 1単位<br>以上選択<br>必修 | 1        | 各クラス定員40人 |
|         | [共]<br>[社情]        | GEI 1401    | 情報演習 I b          | 1  |                   | 1        | メディア利用    |
|         | [共]<br>[社情]        | GEI 2400    | 情報演習 II           | 1  |                   | 1・2      | 各クラス定員35人 |
|         | [こ]<br>[社情]        | EDN 3402    | ☆情報教育             | 2  |                   | 3        |           |

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等  
配置図



## 13. 留学・海外研修等

- (1) 米国姉妹大学留学制度
- (2) 学生申請留学制度
- (3) 韓国カトリック大学交換留学制度（派遣）
- (4) ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学  
交換留学制度（派遣）
- (5) セメスター認定留学制度
- (6) 海外研修・海外キャリア実習





## 13-(1) 米国姉妹大学留学制度

本学では米国の2大学と交換留学協定を締結している。(以下「米国姉妹大学」という。)

この協定による留学で留学期間中に修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学において修得した単位として認定する。

### 1. 米国姉妹大学

- (1) Mount Mary University (マウントメリー大学)  
(2900 North Menomonee River Parkway, Milwaukee, Wisconsin 53222-4597)
- (2) Notre Dame of Maryland University (メリーランド・ノートルダム大学)  
(4701 North Charles Street, Baltimore, Maryland 21210-2476)

### 2. 留学期間

- (1) 2年次後期からの半年又は1年
  - (2) 3年次後期からの半年又は1年
- ただし、半年の留学期間が選択できるのは、メリーランド・ノートルダム大学のみ

### 3. 留学した場合の卒業年次

- (1) 2年次後期から留学した場合  
2年次後期から半年又は1年、米国姉妹大学に留学した場合、4年間で卒業することが可能である(ただし、学科との相談による)。(「11. 帰国後の本学授業科目の履修」参照)
- (2) 3年次後期から留学した場合  
英語英文学科の学生が、3年次後期から半年又は1年米国姉妹大学へ留学した場合、4年次終了時点で全ての卒業条件が満たされていれば卒業が認められる(その他の学科については学科との相談による)。ただし、留学から帰国後の4年次において、通年科目を後期から半年のみ履修した場合、その単位は修得したものと認められない。

### 4. 留学決定の手順

- (1) 留学希望者は、毎年5月中旬に開催される留学説明会に出席すること(掲示にて詳しい内容をお知らせします)。
- (2) 留学希望者は、TOEFL ITP又はTOEFL iBTを受験し、国際教育課で留学に関する相談を行うこと。
- (3) 留学希望者は、必ずTOEFL iBTを受験しなければならない。TOEFL iBTは、指定のテストセンターで個別に受験する仕組みになっているため各自で数回受験すること。
- (4) 米国姉妹大学への留学を希望する者は、毎年1月下旬の申請締切までにTOEFL iBTの成績を添付して国際教育課へ所定の留学願を提出すること。  
各大学の申請に必要なTOEFL iBTの点数は次のとおり。
  - ・マウントメリー大学：61点
  - ・メリーランド・ノートルダム大学：61点
- (5) 留学生は、TOEFL iBTの成績及び本学での成績等を審査して決定される。

## 5. 留学に要する費用等

学費等の概算（2024年9月2日現在）

\$ 1 = ¥ 150 で計算した場合（概算）

|     |       | Mount Mary University<br>1年 | Notre Dame of Maryland University |           | 備 考              |
|-----|-------|-----------------------------|-----------------------------------|-----------|------------------|
|     |       |                             | 1年                                | 半年        |                  |
| 授業料 | \$    | 23,127                      | 27,900                            | 13,950    | 姉妹大学の奨学金相当分を引いた額 |
|     | ¥（概算） | 3,469,000                   | 4,185,000                         | 2,092,500 |                  |
| 寮 費 | \$    | 10,520                      | 14,000                            | 7,000,00  | 休暇を除く額食費を含む      |
|     | ¥（概算） | 1,578,000                   | 2,100,000                         | 1,050,000 |                  |
| 計   | \$    | 33,647                      | 41,900                            | 20,950    |                  |
|     | ¥（概算） | 5,047,000                   | 6,285,000                         | 3,142,500 |                  |

（注1） 上記の費用には、申込金、手続き料、学生費、教材費、渡航費、保険料等は含まない。

（注2） 留学費用は、あくまでも目安である。留学費用は毎年変更されるとともに為替レートにより変動するため、各自の希望する留学時期にあわせて最新の費用を確認すること。

※上記の額は留学期間中にかかる費用の概算。授業料及び寮費は毎年変更されるため、各自で該当の大学のウェブサイト参照すること。

## 6. 留学期間中の本学学費等

留学期間中の本学学費等は、学則別表2に定めるとおり全額納付しなければならないが、次項による奨学金等の制度が適用される。

## 7. 奨学金等

- (1) 京都ノートルダム女子大学中長期海外留学奨学金、もしくは京都ノートルダム女子大学米国姉妹大学奨学金のどちらかが支給される。ただし、その2つの奨学金の併給は不可。
- (2) 修学支援制度、外国人留学生授業料減免・外国人留学生奨学金（第1種・第2種）との併給は不可。その他の奨学金については個別に相談すること。

## 8. 留学期間中の単位認定

- (1) 留学期間中に修得した科目・単位は、留学先大学の成績証明書に基づき、それに相当する本学の科目・単位としてみなし、60単位を超えない範囲で帰国後の年次に認定される。
- (2) ただし、学則第16条、第17条及び第17条の2に定めるとおり、入学前に修得した単位及び大学コンソーシアム京都の単位互換科目（他大学・短期大学の開講科目）等の履修やTOEIC等の成果により認定された単位も、この60単位から差引かれるので注意すること。

## 9. 資格取得に関する科目の取扱い

- (1) 教職、学校図書館司書教諭、図書館司書等、免許・資格取得に関する科目については、留学によって修得した単位は認められない。
- (2) 教職課程を履修している場合、教育実習等の履修計画により4年間で教職課程を修了することができない場合がある。
- (3) 留学と教職課程又は司書課程を同時に履修することは困難であり、教職科目又は司書科目を履修する場合は、登録決定以前に必ず教務課、学事課（司書課程事務室）・ND教育センターに申出て相談すること。

## 10. 出国届と帰国届

留学のために渡航するときは所定の「出国届」を提出し、留学を終了して帰国したときは所定の「帰国届」と「留学報告書」を国際教育課に提出すること。

## 11. 帰国後の本学授業科目の履修

- (1) 留学前に登録済みの後期開講科目は、帰国後の後期に履修する。
- (2) 帰国後は、通年開講科目は新規に登録し、履修することができる。その場合は、帰国後すぐに出席すること。
- (3) 後期開講科目は、新規に登録し履修することができる（定員を満たしている定員設定科目を除く）。その場合は、教務課と学事課に相談すること。
- (4) 帰国時期が遅くなった場合は、実質的に通年開講科目や資格取得に関する科目を履修することができない場合がある。そのため留学期間終了後、可能な限り早く（遅くとも5月末までに）帰国すること。

## 12. 米国姉妹大学での指導助言等

- (1) 本学と米国姉妹大学との協定に基づき、米国姉妹大学の教員アドバイザーにより適切な指導助言が得られる。
- (2) 各米国姉妹大学では大学の学生寮に入居し、できる限りアメリカ人のルームメイトと同室になるよう配慮される。

## 13. 留学の取消し

留学決定後又は留学中の者が次の各号の一に該当すると認められる場合、留学を取消し、帰国させることがある。

- (1) 派遣先大学において成業の見込みがないと判断された場合
- (2) 本学の学費等の納付を怠った場合
- (3) 派遣留学生としてふさわしくない行為があった場合
- (4) その他、上記以外の事項又は本人の事情、健康上の理由などにより、留学を継続することが困難になったと判断された場合

## 13-② 学生申請留学制度

学生個人が本学協定大学以外の外国大学（学部課程）に出願し、その大学より受講が認められたとき、学生から本学に所定の留学申請を行うものとする。本学が教育上有益と認めるときは「学生申請留学」として許可し、留学期間中に修得した単位は、60単位を超えない範囲で本学において修得した単位として認定される。

### 1. 申請資格

留学する時点で本学に1年以上在学していること。

### 2. 留学期間

- (1) 本学として取扱う留学期間は、原則として6か月以上1年未満とする。
- (2) 留学期間の延長を希望するときは、許可を得て1年を限度として延長することができる。
- (3) 留学の期間は、在学の期間に算入する。

### 3. 留学した場合の卒業年次

- (1) 2年次後期から留学した場合  
学生申請留学において、2年次後期から3年次前期の間留学した場合、4年間で卒業することが可能である（ただし、学科との相談による）。(「10. 帰国後の本学授業科目の履修」参照)
- (2) 3年次後期から留学した場合  
英語英文学科の学生が、3年次後期から申請留学先大学へ留学し、4年次前期に帰国した場合、4年次終了時点で全ての卒業条件が満たされていれば卒業が認められる（その他の学科については学環・学科との相談による）。ただし、留学から帰国後の4年次において、通年科目を後期から半年のみ履修した場合、その単位は修得したものと認められない。

## 4. 留学申請の手続

留学を希望する者は、留学渡航の2ヵ月前までに次の書類を国際教育課に提出し、学長の許可を受けること。

- (1) 留 学 願
- (2) 留学計画書
- (3) 留学先大学の入学許可書の写し
- (4) その他本学が必要と認めた書類

## 5. 留学期間中の本学学費等

- (1) 留学期間中の本学学費等は、学則別表に定めるとおり全額納付すること。
- (2) 学費等の納付がなければ本学の単位に認定されない。ただし、次項による教育充実費に関して減免の制度がある。

## 6. 教育充実費の減免

- (1) 教育充実費の年額の12分の1額に留学期間月数を乗じて得た額が減免される。ただし、出国、帰国の月は留学月数に算入しない（修学支援制度との重複減免はできない）。
- (2) 既に納付された諸費については、帰国後精算される。

## 7. 留学期間中の単位認定

- (1) 留学期間中に修得した科目・単位は、留学先大学の成績証明書に基づき、それに相当する本学の科目・単位としてみなし、60単位を超えない範囲で帰国後の年次に認定される。
- (2) ただし、学則第16条、第17条及び第17条の2に定めるとおり、入学前に修得した単位及び大学コンソーシアム京都の単位互換科目（他大学・短期大学の開講科目）等の履修やTOEIC等の成果により認定された単位も、この60単位から差引かれるので注意すること。

## 8. 資格取得に関する科目の取扱い

- (1) 教職、学校図書館司書教諭、図書館司書等、免許・資格取得に関する科目については、留学によって修得した単位は認められない。
- (2) 教職課程を履修している場合、教育実習等の履修計画により4年間で教職課程を修了することができない場合がある。
- (3) 留学と教職課程又は司書課程を同時に履修することは困難であり、教職科目又は司書科目を履修する場合は、登録決定以前に必ず教務課、学事課（司書課程事務室）・ND教育センターに申出て相談をすること。

## 9. 出国届と帰国届

留学のために渡航するときは所定の「出国届」を提出し、留学を終了して帰国したときは所定の「帰国届」と「留学報告書」を国際教育課に提出すること。

## 10. 帰国後の本学授業科目の履修

- (1) 留学前に登録済みの後期開講科目は、帰国後の後期に履修する。
- (2) 帰国後は、通年開講科目は新規に登録し、履修することができる。その場合は、帰国後すぐに出席すること。
- (3) 後期開講科目は新規に登録し履修することができる（定員を満たしている定員設定科目を除く）。その場合は、教務課と学事課に相談すること。
- (4) 帰国時期が遅くなった場合は、実質的に通年開講科目や資格取得に関する科目（前期開講科目）を履修することができない場合がある。そのため留学期間終了後、可能な限り早く（遅くとも5月末までに）帰国すること。

## 11. その他

既に休学して留学している者で、学生申請留学を希望するときは、所定の「復学願」を提出し、学長の許可を受けなければならない。

## 13-(3) 韓国カトリック大学交換留学制度（派遣）

韓国カトリック大学との教育交流協定に基づき、本学から韓国カトリック大学へ交換留学生を派遣することに関し必要な事項を定める。

### 1. 協定大学

韓国カトリック大学・聖心キャンパス（The Catholic University of Korea, Songsim Campus）

（所在地 〒420-743 韓国京畿道富川市遠美区駅谷2洞山43-1）

### 2. 交換留学生の定義

交換留学生とは、本学が韓国カトリック大学との学生交流に関する協定に基づいて、本学に在籍しながら、原則として1年以内の期間派遣する留学生をいう。

### 3. 申請資格及び条件

交換留学生は、留学の意志が強く心身ともに健康で以下の条件を満たさなければならない。

#### (1) 学部生の場合

- ① 留学以前に本学において1学年以上の履修を修了し、留学する前々学期までの成績がGPA2.0以上であること。
- ② 所属学部・学環より交換留学生として応募することが許可されること。
- ③ 留学以前に本学で「コリア語（Ⅰ・Ⅱ）」を修得（又は修得見込み）していること、あるいはそれと同等以上のコリア語（韓国語）の知識があると認められること。
- ④ 英語で行われる授業を受けることができる十分な英語の能力を有すること。

#### (2) 大学院生の場合

- ① 留学以前に本学大学院において最低1学期（半年）の履修を修了していること。
- ② 韓国語、英語の双方で授業を受けることができる語学力を有すること。

### 4. 派遣人数

年間2名以内とする。

### 5. 留学期間

留学期間は、1年間又は1学期間（半年）とし、留学期間は在学期間に算入される。

- (1) 1年間留学する場合（2月下旬～12月中旬）
- (2) 半年間留学する場合（2月下旬～6月下旬）

### 6. 留学した場合の卒業年次

#### (1) 学部2年次又は3年次で留学する場合

留学前の単位修得状況に基づいて所属学部・学環の許可を得た場合に留学が認められる。留学期間中に修得した単位は、各所属学部・学環の認定を受けたものについて、本学の要卒単位として認めるため、4年間で卒業することが可能である。ただし、各自の留学先大学での履修内容、本学での単位修得状況、所属学部・学環の互換認定状況によっては、4年間で卒業することができない場合がある。

#### (2) 学部4年次で留学する場合

学部4年次生で留学する場合は、留学前の単位修得状況等に基づいて所属学部の許可を得た場合のみ、半年間の留学が認められる。留学期間中に修得した単位は、各所属学部・学環の互換認定を受けたものについて、本学の要卒単位として

認めるため、留学から帰国後、4年次終了時点で全ての卒業条件が満たされていれば卒業が認められる。4年次生で1年間の留学を希望する場合は、4年間で卒業することができない。

(3) 大学院生の場合

留学期間は在学期間に算入され、留学期間中に修得した単位のうち、各所属研究科の互換認定を受けたものについて8単位を限度として本学大学院の修了に必要な単位として認定される。交換留学を希望する者は、各専攻と事前協議を行うこと。

## 7. 申請書類

- (1) 留学願（所定用紙・和文）
- (2) 留学中の学修計画書（所定用紙・和文）
- (3) 本学の成績を証明する書類（和文）
- (4) 語学力を証明する書類〔以下の①又は②、2ヵ国語とも提出できる場合は①と②の両方を提出すること。〕（①英語の場合＝TOEFL又はTOEICの成績通知書、②韓国語の場合＝次のいずれかを選択。韓国語能力試験の成績通知書、ハングル能力検定試験の成績通知書、韓国語能力評価試験の成績通知書、指導教員の推薦書）
- (5) 健康に関する質問事項

## 8. 申請手続

- (1) 交換留学を申請する者は、申請書類を提出期日までに国際教育課へ提出する。
- (2) 候補者の選考は、書類審査、面接審査により行う。
- (3) 交換留学生の候補者の決定は、教務委員会、教授会の議を経て学長が行う。
- (4) 交換留学生の候補者として決定した者は、本学から韓国カトリック大学へ推薦し、その後韓国カトリック大学から入学許可があったとき、派遣留学生として決定する。

## 9. 留学費用

- (1) 交換留学生は、韓国カトリック大学との学費の相互免除協定に基づいて、本学への学生納付金（授業料、教育充実費）を学則別表に定めるとおり全額納付することにより、派遣大学での学費が全額免除される。ただし、韓国カトリック大学韓国語教育センターで韓国語を学ぶ場合は、本学への納付金のほかに、同センターが発行する請求書に基づき学費を支払う必要がある。
- (2) 渡航費、滞在費（寮費、食費など）、保険料、教科書代等、学費以外の留学費用は全て個人負担となる。

## 10. 留学中の履修科目と単位認定

京都ノートルダム女子大学他大学等において修得した単位等の取り扱いに関する規程（以下「単位取扱い規程」という。）第3条第1項ただし書きの規程により別に定める単位認定方法は、以下のとおりとする。

- (1) 韓国カトリック大学で履修する授業科目は、原則として学部課程の科目を履修し修得した単位は、韓国カトリック大学の成績証明書に基づき、それに相当する本学科目の単位を修得したものとみなす。
- (2) 韓国語のレベルによっては、韓国カトリック大学韓国語教育センターで開講される韓国語授業を履修する。外国語科目に相当する授業は30時間について、本学における1単位相当としてみなす。
- (3) 大学院生の場合は、留学先で修得した単位の認定は最大8単位を限度とする。
- (4) 交換留学制度で認定する単位数は60単位を上限とする。ただし、学則第16条、第17条および第17条の2に定めるとおり、入学前に修得した単位及び大学コンソーシアム京都の単位互換科目（他大学・短期大学の開講科目）等の履修やTOEIC等の成果により認定された単位もこの60単位から差し引かれるので注意すること。

## 11. 出国届と帰国届

留学のため渡航するときは所定の「出国届」を提出し、留学を終了して帰国したときは、所定の「帰国届」と「留学報告書」を国際教育課へ提出すること。

## 12. 留学中の指導助言

本学との協定に基づき、韓国カトリック大学では教員アドバイザーにより適切な指導助言が得られる。

## 13. 帰国後の本学授業科目の履修

- (1) 3年次で留学する場合（1年間又は半年）
  - ① 1年間の留学から帰国後は、3年次必修科目を4年次で履修する。
  - ② 前期のみから半年間留学した場合は、留学前に履修登録した後期開講科目を履修する。3年次通年開講科目については指導担当教員との相談により履修方法を決定する。
- (2) 4年次生で留学する場合（前期のみ）
  - ① 留学前に履修登録した後期開講科目を履修する。
  - ② 4年次通年開講科目については、指導担当教員との相談により履修方法を決定する。

## 14. 資格取得に関する科目の取扱い

- (1) 教職、学校図書館司書教諭、図書館司書等、免許・資格取得に関する科目については、本学の履修科目以外は認められない。
- (2) 教職課程を履修している場合、教育実習等の履修計画により4年間で教職課程を修了することができない場合がある。
- (3) 留学と資格取得に関する課程を同時に履修することは困難であり、それらの課程を履修していて留学する場合は、留学前の履修登録決定以前に必ず教務課・学事課（司書課程事務局）・ND教育センターへ申出て相談をすること。

## 15. 留学の取消し

留学決定後又は留学中の者が次の各号の一に該当すると認められる場合、留学を取消し、帰国させることがある。

- (1) 派遣先大学において成業の見込みがないと判断された場合
- (2) 本学の学費等の納付を怠った場合
- (3) 交換留学生としてふさわしくない行為があった場合
- (4) その他、上記以外の事項又は本人の事情、健康上の理由などにより、留学を継続することが困難になったと判断された場合

### 13-（4）ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学 交換留学制度（派遣）

ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学（以下、「人文社会科学大学」という。）との教育交流協定に基づき、本学から人文社会科学大学へ交換留学生を派遣することに関し必要な事項を定める。

#### 1. 協定大学

ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学

(Vietnam National University - Ho Chi Minh City, University of Social Sciences and Humanities)

(所在地 10-12 Dinh Tien Hoang, Ben Nghe Ward, District 1, Ho Chi Minh City, Vietnam)

#### 2. 交換留学生の定義

「交換留学生」とは、本学が人文社会科学大学との学生交流に関する協定に基づいて、本学に在籍しながら、原則として1年以内の期間派遣する留学生をいう。交換留学生が学部生の場合は、本学の「京都ノートルダム女子大学セメスター認定留学制度」に準じて派遣する。

### 3. 教育内容

- (1) 英語英文学部 (Faculty of English Linguistics and Literature)
- (2) 国際関係学部 (Faculty of International Relationship)
- (3) ベトナム研究学部ベトナム語プログラム  
(Faculty of Vietnamese Studies, Vietnamese Language Programs)

### 4. 申請資格及び条件

交換留学生は、留学の意志が強く心身ともに健康で以下の条件を満たさなければならない。

- ① 留学以前に本学において1学年以上の履修を修了し、留学する前々学期までの成績がGPA2.5以上であること。
- ② 所属学部・学環より交換留学生として応募することが許可されること。
- ③ 本学の授業科目の出席状況が良好で、所属学科の必修科目に不合格点がないこと。
- ④ 申請以前にベトナム語初級程度以上の学習歴があることを証明できること。
- ⑤ 英語英文学部または国際関係学部に入学的場合は、申請までにTOEFL iBTにおいて85点以上、もしくはIELTSにおいて6.5点以上の成績を有すること。

### 5. 派遣人数

年間1名以内とする。

### 6. 留学期間

留学期間は、1年間又は1学期間（半年）とし、留学期間は在学期間に算入される。

- (1) 1年間留学する場合（9月～6月）
- (2) 半年間留学する場合（9月～12月）

### 7. 申請方法

交換留学生として出願する者は、次項の申請書類を提出期日までに国際教育課へ提出する。

### 8. 申請書類

- (1) 留学願（所定用紙・和文）
- (2) 留学中の学修計画書（所定用紙・和文）
- (3) 本学の成績を証明する書類（和文）
- (4) ベトナム語の学習歴を証明する書類
- (5) TOEFL iBT85点以上もしくはIELTS6.5点以上の成績証明書（英語英文学部または国際関係学部への出願者のみ）

### 9. 留学の許可

- (1) 国際教育課より、出願者のあった学科へ出願書類を添えて連絡する。
- (2) 当該出願者が所属する学部で選考を行う。
- (3) 教務委員会及び教授会の議を経て学長が行う。

### 10. 留学中の履修方法

- ① 人文社会科学大学において履修する授業科目は、原則として語学又は所属学科の専門科目の内容に相当する科目とする。
- ② 人文社会科学大学において履修する授業時間数は、1週あたり平均20時間以上を原則とする。
- ③ その他、留学中の履修については、京都ノートルダム女子大学セメスター認定留学制度に準じる。

### 11. 単位認定の方法

京都ノートルダム女子大学セメスター認定留学制度に準じる。



## 12. 本学授業科目の履修方法

京都ノートルダム女子大学セメスター認定留学制度に準じる。

## 13. 留学費用と留学中の本学学費

- (1) 交換留学生は、本学への学生納付金（授業料、教育充実費）を学則別表に定めるとおり全額納付することにより、派遣先大学の授業料が全額免除される。ただし、学部授業と同時にベトナム研究学部ベトナム語プログラムを履修する場合は、本学への納付金のほかに、ベトナム語プログラムに対する学費を支払う必要がある。
- (2) 渡航費、滞在費（宿舍、食費）、保険料、教科書代等は全て個人負担とする。

## 14. 出国届と帰国届

留学のため渡航するときは所定の「出国届」を提出し、留学を終了して帰国したときは、所定の「帰国届」と「留学報告書」を国際教育課へ提出すること。

## 15. 留学の取消し

留学決定後又は留学中の者が次の各号の一に該当すると認められる場合、留学を取消し、帰国させることがある。

- (1) 派遣先大学において成業の見込みがないと判断された場合
- (2) 本学の学費等の納付を怠った場合
- (3) 交換留学生としてふさわしくない行為があった場合
- (4) その他、上記以外の事項又は本人の事情、健康上の理由などにより、留学を継続することが困難になったと判断された場合

## 13ー(5) セメスター認定留学制度

### 1. セメスター認定留学制度の定義

セメスター認定留学制度とは、本学との間に協定を締結している外国の大学又はこれに相当する当該大学附属教育機関、又は教授会が認定した外国の大学等（以下「協定大学」という）へ、セメスター（半年）単位で留学し、当該協定大学で履修した授業時間数を、帰国後に本学の単位として認定する制度をいう。

### 2. 協定大学

- (1) 協定大学の範囲は、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有する大学又はこれに相当する機関で、本学が協定を締結する機関とする。
- (2) 協定大学
  - ① リーズ大学（イギリス）
  - ② アイルランド国立大学ダブリン校（アイルランド）
  - ③ レジャイナ大学（カナダ）
  - ④ トロント大学（カナダ）
  - ⑤ マッコリー大学（オーストラリア）
  - ⑥ オークランド大学（ニュージーランド）
  - ⑦ ビクトリア大学（ニュージーランド）
  - ⑧ リンカーン大学（ニュージーランド）
  - ⑨ カリフォルニア大学デイビス校（アメリカ）
  - ⑩ ハワイ大学マノア校（アメリカ）
  - ⑪ ウェスタンミシガン大学（アメリカ）
  - ⑫ レーン・コミュニティカレッジ（アメリカ）

### 3. 留学時期と留学期間

- (1) セメスター認定留学は、原則として半年単位で留学するものとし、留学期間は1年未満とする。
- (2) セメスター認定留学による留学期間は修業年限に算入し、学則第31条に規定する留学の扱いとする。
- (3) 留学時期は、2年次前期～3年次後期までの半年又は1年間とする。

### 4. 申請条件

- (1) 留学する時点で本学に1年以上在学していること。
- (2) 所属学部・学環より、セメスター認定留学生として応募することが許可されること。
- (3) 本学の授業科目の出席状況が良好で、所属学科の必修科目に不合格点がないこと。
- (4) 前期に留学する場合は前年度前期まで、後期に留学する場合は前年度後期までの通算GPAが2.5以上であること。

## 5. 申請手続き

- (1) 申請締切（募集要項を参照）
  - ① 前期から留学する場合：10月下旬
  - ② 後期から留学する場合：1月下旬
- (2) 申請書類
  - ① 留学願
  - ② 留学計画書
  - ③ 成績を証明する書類（和文）
  - ④ 健康に関する質問事項
  - ⑤ その他本学が必要と認めた書類
- (3) 申請方法  
申請書類を指定期日までに国際教育課へ提出する。

## 6. 留学の許可

留学の許可は、教授会、教務委員会の議を経て学長が行う。

## 7. 留学中の履修方法

- (1) 協定大学において履修する授業科目は、共通教育科目の外国語科目及び所属学科の専門教育科目の内容に相当する科目とする。
- (2) 協定大学において履修する授業時間数は、1週あたり平均20時間以上を原則とする。

## 8. 単位認定の方法

京都ノートルダム女子大学他大学等において修得した単位等の取り扱いに関する規程（以下「単位取扱い規程」という。）第3条第1項ただし書きの規程により別に定める単位認定方法は、以下のとおりとする。

- (1) 留学生は、帰国後以下の書類を国際教育課へ提出する。
  - ① 単位認定申請書
  - ② 協定大学において履修した授業科目又は学修の内容を示す書類
  - ③ 協定大学の成績通知書又は、学修成果を示す書類
  - ④ 留学報告書
  - ⑤ その他本学が必要と認めた書類
- (2) 学部課程授業科目を履修し修得した単位は、協定大学の成績証明書に基づき、それに相当する本学の科目の単位を修得したものとみなす。外国語科目に相当する授業は授業時間数30時間につき、本学における1単位の学修とみなす。帰国後、本学の科目へ認定する場合の方法は以下のいずれかとする。
  - ① 所属学部・学環・学科の専門科目等に読替え可能な場合は、当該専門科目に互換認定する。
  - ② 共通教育科目の外国語科目（英語関連科目）に読替えが可能な場合は、当該共通教育科目に互換認定する。
  - ③ 「海外留学Ⅰa～b」（1単位）、「海外留学Ⅱa～b」（2単位）、「海外留学Ⅲa～f」（4単位）として認定する。
  - ④ 前号①～③の組合せにより認定する。
- (3) セメスター認定留学で認定する単位数は60単位を上限とする。ただし、学則第16条、第17条及び第17条の2に定めとおり、入学前に修得した単位及び大学コンソーシアム京都の単位互換科目（他大学・短期大学の開講科目）等の履修やTOEIC等の成果により認定された単位は、この60単位から差し引かれるので注意すること。
- (4) 成績原簿の記載は、認定後の「単位数」のみを記載し、評価点数は記載せず「認定」と表記する。

## 9. 本学授業科目の履修方法

- (1) 留学期間中に本学の開講科目（通年を含む。）を履修することはできない。
- (2) 前期から半年間留学する場合は、留学前に当該年度の後期開講科目の履修登録を行う。
- (3) 後期から半年間留学する場合は、前期開講科目のみ履修登録を行う。
- (4) 後期に終了する留学の場合は、次年度の履修登録のため3月末までに必ず帰国しなければならない。
- (5) 3・4年次に必修の通年開講科目については、指導担当教員との相談により履修方法を決定する。

## 10. 資格取得に関する科目の取扱い

- (1) 教職、学校図書館司書教諭、図書館司書等、免許・資格取得に関する科目については、本学の履修科目以外は認められない。
- (2) 教職課程を履修している場合、教育実習等の履修計画により4年間で教職課程を修了することができない場合がある。
- (3) 留学と資格取得に関する課程を同時に履修することは困難であり、これらの課程を履修しながら留学する場合は、留学前の履修登録決定以前に必ず教務課・学事課（司書課程事務局）・ND教育センターへ申出て相談をすること。

## 11. 留学費用と留学中の本学学費

- (1) 協定大学の学費、滞在費、渡航費、保険料等は個人負担とする。
- (2) 留学期間中の本学学費は、半年ごとに学則別表に定めるとおり全額納付しなければならないが、次項による授業料減免制度が適用される。
- (3) セメスター認定留学により留学する者に対しては、留学する学期の授業料（半年授業料）の2分の1に相当する額が減免される。
- (4) 教育充実費年額の12分の1額に留学期間月数を乗じて得た額が免除される。ただし、出国、帰国の月は留学月数に算入しない。すでに納付された教育充実費については、帰国後に精算する。
- (5) 京都ノートルダム女子大学中長期海外留学奨学金の対象者には奨学金が支給される。なお、奨学金受給者は留学期間中の本学学費等を、学則別表2に定めるとおり全額納付しなければならない。
- (6) 修学支援制度、外国人留学生授業料減免・外国人留学生奨学金（第1種・第2種）との併給はできない。

## 12. 留学の取消し

留学決定後又は留学中の者が次の各号の一に該当すると認められる場合、留学を取消し、帰国させることがある。

- (1) 留学先の協定大学において成業の見込みがないと判断された場合
- (2) 本学の学費等の納付を怠った場合
- (3) 認定留学生としてふさわしくない行為があった場合
- (4) その他、上記以外の事項又は本人の事情により、留学を継続することが困難になったと判断された場合

## 13-(6) 海外研修・海外キャリア実習

海外の大学等における学習機会を提供し、特定の学習目的に沿ってより幅広い知識や国際性を養うことを目的として、海外研修・海外キャリア実習を実施する。開講する研修は、年度により異なるため、毎年シラバス又は国際教育課で配布する募集要項を参照すること。

### 1. 海外研修・海外キャリア実習

| コース<br>ナンバー | 科目名        | 種別                           | 研修国      | 開講時期  | 配当学年  | 単位  |
|-------------|------------|------------------------------|----------|-------|-------|-----|
| GBF1354     | 海外研修(語学)Ⅰ  | 韓国語研修                        | 韓国       | 夏期休暇中 | 1～4年次 | 2単位 |
| GBE1355     | 海外研修(語学)Ⅱa | 派遣国は年度により異なります               |          | 春期休暇中 | 1～3年次 | 2単位 |
|             |            | アメリカ英語研修(ハワイ大学)              | アメリカ     | 春期休暇中 | 1～3年次 | 2単位 |
| GBE1356     | 海外研修(語学)Ⅱb | イギリス英語研修(カンタベリー・クライストチャーチ大学) | イギリス     | 夏期休暇中 | 1～4年次 | 2単位 |
|             |            | カナダ英語研修(レジャイナ大学)             | カナダ      | 夏期休暇中 | 1～4年次 | 2単位 |
|             |            | カナダ英語研修(トロント大学)              | カナダ      | 夏期休暇中 | 1～4年次 | 2単位 |
|             |            | アメリカ英語研修(ワシントン大学)            | アメリカ     | 夏期休暇中 | 1～4年次 | 2単位 |
|             |            | ベトナム英語研修(FPT大学)              | ベトナム     | 夏期休暇中 | 1～4年次 | 2単位 |
| IDE1252     | 海外文化研修     | 実施時期・内容・国・配当学年は年度により異なります。   |          |       |       | 1単位 |
| GCP3650     | 海外キャリア実習   | 海外キャリア実習A                    | ニュージーランド | 夏期休暇中 | 2～4年次 | 2単位 |
|             |            |                              |          | 春期休暇中 | 2～3年次 | 2単位 |
|             |            | 海外キャリア実習B                    | オーストラリア  | 夏期休暇中 | 2～4年次 | 2単位 |
|             |            |                              |          | 春期休暇中 | 2～3年次 | 2単位 |
|             |            | 海外キャリア実習C                    | アメリカ     | 夏期休暇中 | 2～4年次 | 2単位 |
|             |            |                              |          | 春期休暇中 | 2～3年次 | 2単位 |
|             |            | 海外キャリア実習D                    | ベトナム     | 夏期休暇中 | 2～4年次 | 2単位 |
|             |            |                              |          | 春期休暇中 | 2～3年次 | 2単位 |

### 2. 履修資格

海外研修は、本学に在籍する1年次～4年次生で心身共に健康な者(全学部学科共通)。ただし、春期休暇中に開講する研修は4年次生のみ対象外とする。また、海外キャリア実習A～Dは、2年次～4年次生で心身共に健康な者(全学部学科共通)。

### 3. 履修登録

所定の申込書を提出後、教授会で参加が認められた場合、出発前の参加者名簿をもって登録とする(Web登録は行わない)。

### 4. 単位の認定

要卒単位として認定する。ただし、同一の研修科目を複数年に重複して履修しても、最初に履修した年度の単位しか認められない。

### 5. 認定方法

研修の科目により、以下のいずれかの方法で認定する。

- (1) 研修先大学等での授業参加度、授業態度、課題・発表、テスト等に基づき評価する。研修終了時に研修先大学等から授与される「修了証書」を基に、帰国後に担当者が単位を認定する。
- (2) 海外研修への参加はもとより、事前講義、事後指導を含む授業や海外キャリア実習への出席状況、学習態度、課題やレポートの提出などにより総合的に評価し、帰国後担当者が単位を認定する。
- (3) 上記(1)と(2)の組合せにより認定する。

### 6. 研修の詳細

研修先、研修期間、研修内容、スケジュール、参加費用、募集人員、募集時期等の詳細は、新学期の履修登録時又は海外研修募集説明会の際に知らせる。募集説明会の開催時間、教室については、別途掲示する。



## 14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

- (1) 授業・試験の欠席の取扱い
- (2) 試験の実施要領について
- (3) 暴風警報、暴風雪警報又は特別警報発令時、  
交通機関不通時の授業及び試験の取扱いについて





## 14-(1) 授業・試験の欠席の取扱い

### 1. 授業を欠席した場合

- (1) 授業を欠席した(する)時は、授業担当者から特に指示がある等の場合を除き、原則として大学への連絡は不要である。
- (2) 本学に公認欠席(公欠)制度はない。
- (3) 以下に該当するやむを得ない事由で欠席した(する)場合、教務課・学事課で「欠席連絡票」を受取り、記入して各授業担当者に提出することができる。欠席事由解消後、すみやかに(実習においては事前に)提出すること。また、事由を証明する診断書・会葬礼状・事故証明書等の提出を求められることがある。書類が必要かどうかは、各授業担当者に確認すること。
  - ① 本学が開設する授業による学外実習等(教育実習等) ※1
  - ② 教務委員会が特に認めるもの ※1
  - ③ 学校保健安全法に定められた感染症(以下「学校感染症」)(次頁に続く下表の第一種から第三種)にかかった場合 ※2
  - ④ 忌引
  - ⑤ 病気(③の感染症を除く。)
  - ⑥ 就職活動における採用試験・内定式 ※3
  - ⑦ 事故、交通機関の不通
  - ⑧ その他

※1 本学が開設する授業による学外実習等(教育実習等)、教務委員会が特に認めるもの

その実習等による欠席のために不利益とならないよう、欠席した授業の全部又は一部について、授業担当者の判断で補講等の代替措置を講じる等の配慮がなされる。授業担当者には教務課・学事課から該当期間等を連絡するが、補講等の代替措置の内容については授業担当者から直接指示があるため、実習前に「欠席連絡票」を提出すること。なお、実習の事前打合せ等で授業を欠席する場合については、教務課・学事課に申出て指示に従うこと。

※2 学校感染症(下表)への罹患

保健室にFormsで報告すること。



※3 就職活動における採用試験・内定式

「就職試験受験証明書」又は「内定式出席証明書」の呈示が必要。各証明書はキャリアセンター又はキャリアセンターwebページで「就職試験受験証明書発行願」又は「内定式出席証明書発行願」を入手し、必要事項を記入した上で企業採用試験時に持参して採用担当者に署名・捺印を願い出(捺印のないものは無効)、採用試験または内定式終了後、1週間以内にキャリアセンターに提出すると、発行願受け取りから3日後に発行される。「欠席連絡票」は提出しなくてもよい。

- (4) 入院等で欠席期間が長期に渡る場合は、教務課・学事課及び学生課に連絡し、以後の履修等について相談すること。

表「学校感染症の種類と出席停止期間の基準」

|         | 感染症の種類                                                                                                                            | 出席停止期間の基準 |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 第一種     | エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARSコロナウイルスであるもの)、中東呼吸器症候群(MERSコロナウイルスであるもの)、鳥インフルエンザ(H5N1) | 治癒するまで    |
| 第一種とみなす | 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条第7項から第9項までに規定する新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び新感染症                                               |           |

|     | 感染症の種類                                                     | 出席停止期間の基準                                   |                                             |
|-----|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 第二種 | インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）及び新型インフルエンザ等感染症を除く）                  | 発症日を0日として発症後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで          | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めた場合は、この限りでない。 |
|     | 新型コロナウイルス感染症                                               | 発症日を0日として発症後5日を経過し、かつ、症状軽快後1日を経過するまで        |                                             |
|     | 百日咳                                                        | 特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで     |                                             |
|     | 麻疹                                                         | 解熱後3日を経過するまで                                |                                             |
|     | 流行性耳下腺炎                                                    | 耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで |                                             |
| 第二種 | 風しん                                                        | 発しんが消失するまで                                  |                                             |
|     | 水痘                                                         | 全ての発しんが痂皮化するまで                              |                                             |
|     | 咽頭結膜熱                                                      | 主要症状消退後2日を経過するまで                            |                                             |
|     | 結核                                                         | 病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで           |                                             |
|     | 髄膜炎菌性髄膜炎                                                   |                                             |                                             |
| 第三種 | コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症※ |                                             |                                             |

※学長が学校医の意見を聞き、第三種の学校感染症としての措置を講じることができる。

## 2. 試験を欠席した場合

「14-(2)試験の実施要領について」を参照すること。

## 3. 災害に遭って登校できない場合

「緊急（事故・急病・大地震）時対応マニュアル」を参照すること。

災害時には避難安全を最優先し、安否（学籍番号・氏名・被災状況、状況によっては連絡先）を簡潔に大学に連絡して大学からの指示を待つこと。UNIPAでメッセージ送信・安否確認をする場合があるので、各自であらかじめ携帯電話等へのメッセージ転送設定をしておくこと。（学生課：075-706-3740）

なお、欠席時数が授業時数の3分の1を超える場合は、原則として単位を与えられない。

# 14-(2) 試験の実施要領について

## 1. 試験について

- (1) 試験には、平常試験、定期試験、追試験及び再試験がある。
- (2) 試験を受けることができる授業科目は、履修登録した科目に限る。また、ほとんどの科目は、原則として授業時数の3分の2以上の出席を成績評価の最低条件とするが、これ以外の基準による場合もあるので、授業担当者の指示やシラバスに注意すること。
- (3) 平常の授業中にレポートなどの提出を指示された場合、期限までに必ず提出しなければならない。平常の授業中に行われる確認テストやレポートは、学期末の定期試験とともに成績評価の対象となることがあるので、シラバスの「評価方法」や授業担当者の指示に留意すること。

## 2. 学期末の定期試験等

### (1) 定期試験

- ① 実施方法：筆記試験 試験時間：標準75分

※定期試験を受験する時には学生証を机上に置くこと。

- ② 定期試験期間（授業期間終了後の16回目）に実施する。病気や事故等でやむを得ず定期試験を欠席し、追試験を希望する場合は、全て教務委員会で審査され受験の可否が決定される。
- ③ 試験の時間表は実施約1か月前にmanaba等に掲示する。
- ④ 定期試験は通常授業とは異なる時間表を編成して実施する。
- ⑤ 定期試験に関する注意事項

- 1) 試験室では筆記用具及び指定されたもの以外は机の上に置かないこと。下敷・ペンケースは使用しないこと。
- 2) 授業担当者から特に指示のある場合を除き、持込自由の有無にかかわらず、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末など外部と通信のできる機器、ペル付き時計、計算・翻訳機能をもつ時計、電卓・記憶装置のある機器、その他の電子機器類は、電源を切り、鞆に入れるなど、手の届かない場所に置くこと。
- 3) 監督者の指示どおり着席すること。
- 4) 監督者の指示があるまで試験用紙は裏向きのままにし、触れないこと。
- 5) 試験開始の合図で解答を始める。印刷不鮮明等読みにくい文字があった時のみ監督者に質問ができる。
- 6) 時間を厳守し、遅刻しないようにすること。

試験開始後15分以内の遅刻のみ入室を許可されるが、終了時は他の学生と同じ時間で試験を打切ることを原則とし、延長は認められない。

- 7) 試験開始後に試験室外に出た場合、原則として再入室は認められない。また、追試験の対象とならない。
- 8) 試験開始後30分が経過したら退室してよい。ただし、試験によっては退室時間を変更することがある。

退室の時は、原則として答案用紙を教卓など指定された場所に提出し、静かに退室すること。

退室後、廊下その他試験室の近くで話をしないこと。

- 9) 試験の際は、学生証を机の上に置いて受験すること。学生証を忘れた場合は学生課で仮学生証の発行を受けること。

## (2) レポート

### 【レポート作成にあたっての注意事項】

他人の著作物を自分の著作物の中に取り込む場合、すなわち引用を行う場合、一般的には、以下の事項に注意すること。

- (1) 他人の著作物を引用する必然性があること。
- (2) かぎ括弧をつけるなど、自分の著作物と引用部分とが区別されていること。
- (3) 自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること（自分の著作物が主体）。
- (4) 出所の明示がなされていること。（第48条）

正しい「引用」ができていない場合、「盗用」「剽窃」として不正行為とみなされる。試験での不正行為と同様、原則としてその者の当該学期における履修科目の成績評価は全て無効、教育実習と教職実践演習は履修不可となるので、十分に注意すること。また、盗用・剽窃等により著作権を侵害した場合、刑事上の処罰（著作権、出版権、著作隣接権の侵害の場合→10年以下の懲役又は1000万円以下の罰金。著作者人格権、実演家人格権の侵害など→5年以下の懲役又は500万円以下の罰金）だけでなく、民事上の損害賠償請求をされることがある。

## (3) その他

授業時間中に行われる「確認テスト」や「まとめ」などは定期試験とは異なるため、次の点に注意すること。

- 1) 実施方法その他については、全て授業担当者の指示に従うこと。
- 2) 欠席した場合、追試験に相当する措置の有無、診断書・事故証明書等の必要書類その他の取扱いについては、全て授業担当者の判断に委ねられる。

## 3. 追試験

- (1) 病気や事故のため定期試験（定期試験期間に実施される試験）を欠席し、追試験の受験を希望する者は、以下の手順に従って手続きをすること。受験の可否は教務委員会で審査の上、決定する。試験時間の見誤りや思い違い、単なる遅刻、手続き不備などの場合は認められない。

### Step. 1

○原則として、試験当日中に欠席とその理由を教務課に連絡する。定期試験を受験できないことがあらかじめわかっている場合、試験日の2週間前までに教務課に「追試験伺」を提出すれば、1週間後に受験の可否を回答する。

○病気欠席の場合には、欠席した当日の日付の親族以外の医師による診断書を必要とし、事故による欠席の場合は公的な証明書類が必要である。診断書等のない場合は、追試験を受験できないことがある。

○後日すみやかに（4年次生の後期試験においては極力翌日に）教務課の窓口において追試験の手続きをとる。手続き

は本人が行うことを原則とするが、事情により代理人に依頼してもよい。

## Step. 2 手続きに必要なもの

### ○追試験願

追試験願・欠席の事由説明書（大学所定の用紙に欠席日時、科目名、担当教員名等を記入した上で、定期試験を欠席した理由と、追試験を希望する理由を、わかりやすい文章で具体的に記入し、末尾に本人が自筆署名する。）

### ○証明可能な書類

医師の診断書（原則として、試験欠席当日の日付のもので、親族以外の医師によるもの。）又は、事由を証明する公的な資料。上記の書類は原則として必要であるが、特別な理由によりどうしても取得できない場合は、その理由を事由説明書で詳しく述べた上で、末尾に保証人が自筆署名し、提出する。ただし診断書等の公的な資料の提出がない場合、追試は認められない場合がある。

### ○申請書

追試験料は1科目につき1,000円、5科目以上は一律5,000円とする。学生ロビー設置の証明書自動発行機から必要枚数（受験科目数）分入金のうえ出力すること。ただし、忌引・法定伝染病・教育実習等による欠席の場合は徴収しない。

なお、試験当日に郷里から大学に向かう途中など、通常の通学経路以外の交通機関の事故等による遅延は原則として考慮されない。

## Step. 3 受験を許可された者は、指定された日時に受験すること。

- (2) 追試験においては本試験と異なった方法（実技試験、レポートなど）で行われることがある。
- (3) 追試験の実施にあたっては、「2. 学期末の定期試験等」に準じる。
- (4) いかなる理由があっても追試験の追試はない。

## 4. 再試験

- (1) 卒業判定を受ける年度の成績において、卒業条件の不足と資格（二級建築士、公認心理師に限る）の取得条件の不足の合計が4単位以内である者には、卒業判定教授会の決定により、当該年度に不合格となった科目の中から、4単位を限度として再試験を実施することができる。ただし、卒業研究・論文の不合格及び「／（評価なし）」とされた科目は再試験の対象とならない。
- (2) 再試験の受験を許可された場合は、成績とともに通知する。
- (3) 再試験においては本試験と異なった方法（実技試験、レポートなど）で行われることがある。
- (4) 再試験の実施にあたっては「2. 学期末の定期試験等」に準じる。
- (5) いかなる理由があっても再試験の追試はない。
- (6) 再試験科目の成績の評点は最高60点とし、この得点を得た場合を合格とする。
- (7) 再試験料は1科目2,000円とする。

## 5. 不正行為

- (1) いわゆるカンニングや替え玉受験、論文・レポート等における盗用・剽窃などの不正行為を行った場合は、原則としてその者の当該学期における履修科目の成績評価は全て無効とする。
- (2) レポートに他人の著作物を無断で使用し、正しい引用がなされていない盗用・剽窃があった場合も不正行為とみなし(1)と同様に取り扱う。
- (3) レポートの内容等を他人に提供し、提供された側がそれを使用した場合、提供した側も不正行為を幫助したことになり、不正行為を行ったとみなし(1)と同様に取り扱う。
- (4) これらの科目は次学期以降に再履修することができる。ただし、学長が特に必要と認めた場合を除き、教育実習及び教職実践演習の履修は以後認めない。
- (5) 不正行為があった場合は、学内に公示する。また、学則第48条に定める懲戒の対象となることがある。

## 14-③ 暴風警報、暴風雪警報又は特別警報発令時、交通機関不通時の授業及び試験の取扱いについて

### 授業及び試験の中止

次の1～3のいずれかの状況が発生した場合は、授業及び試験を中止する。

#### 1. 気象警報の発令

京都府南部（京都・亀岡・南丹・京丹波・山城中部・山城南部のいずれかの地域）に暴風警報、暴風雪警報又は特別警報が発令された場合、次のとおり授業及び試験を中止する。

| 警報発令の状況          | 授業及び試験の中止                               |
|------------------|-----------------------------------------|
| 午前7時00分現在発令中の場合  | 1・2講時を中止<br>※午前10時30分までに解除された場合は3講時から実施 |
| 午前10時30分現在発令中の場合 | 全講時中止                                   |

警報が授業開始後に発令されたときは、原則としてその講時の授業は平常どおり実施し、次の講時以後を中止する。ただし、状況により、警報発令と同時に以後の授業を含めて中止することがある。

また、緊急一斉の退構が危険であると判断される場合は、学生の安全に十分配慮の上、構内にとどめる場合がある。

#### 2. 交通機関の不通

下記の(a)又は(b)のいずれかに該当する場合、(c)のとおりに授業及び試験を中止する。

(a) 京都市営バスと京都市営地下鉄が同時に全面不通の場合

(b) 下表の3つ以上の交通機関が同時に全面又は一部不通の場合

| 交通機関   | 対象区間        |
|--------|-------------|
| JR西日本  | 京都駅発着の在来線   |
| 阪急電鉄   | 梅田～河原町      |
| 京阪電気鉄道 | 中之島・淀屋橋～出町柳 |
| 近畿日本鉄道 | 西大寺～京都      |

(c) 不通の場合の授業及び試験の中止

| 不通の状況           | 授業及び試験の中止                                 |
|-----------------|-------------------------------------------|
| 午前7時00分現在不通の場合  | 1・2講時を中止<br>※午前10時30分までに運行再開された場合は3講時から実施 |
| 午前10時30分現在不通の場合 | 全講時中止                                     |

授業開始後に不通となったときは、原則としてその講時の授業及び試験は平常どおり実施し、次の講時以後を中止する。ただし、状況により、その講時から授業及び試験を中止することがある。

#### 3. その他

その他の状況において、授業及び試験を中止することが適切であると学長が認めた場合。

### ■その他の事項

- 中止となった授業の振替措置については、掲示等により連絡する。
- 試験期間中にこの措置が適用された場合、当該試験に関しては別途掲示により連絡する。
- 教育実習など、大学キャンパス以外で実習を実施している場合における暴風警報、暴風雪警報又は特別警報発令時、交通機関不通時の対応は、大学のキャンパスにおける取扱いに準拠することを基本とするが、具体的な対応については事前に教務課・学事課に相談すること。
- 各自の居住区域に係る暴風警報、暴風雪警報又は特別警報発令・災害等発生時、交通機関不通時は、各自の判断で安全確保に努めること。欠席については、教務課・学事課で「欠席連絡票」を受取り、記入して各授業担当者に提出することができる。

ただし、警報が解除された場合、交通機関の不通が解消した場合は、速やかに授業開始時間までに登校すること。

- 特に「特別警報」が発令された場合は、ただちに命を守る行動をとること。



## 15. 学生納入金（学費）・経済的支援について

- (1) 学生納入金（学費）
- (2) 奨学金制度





## 15-(1) 学生納入金（学費）

2021年度以降入学者の学生納入金（学費）等は以下の通り。ただし、2年次以降については変更する場合がある。

|         | 入学金      | 授業料      | 教育充実費    | 合 計        |
|---------|----------|----------|----------|------------|
| 1 年次    | 200,000円 | 840,000円 | 340,000円 | 1,380,000円 |
| 2・3・4年次 |          | 840,000円 | 340,000円 | 1,180,000円 |

入学金を除く納入金は、年額の2分の1ずつを前期（4月）及び後期（10月）の2期に分けて納入。（第1年次の前期分については、入学手続き時に納入。）

上記以外に、諸会費として、ND育友会費を毎年前期（第1年次のみ後期）に10,000円、学生会費を第1年次後期に8,000円、同窓会費を第4年次前期に30,000円、それぞれ各会より委託を受け、授業料等とともに代理徴収する。

上記以外に、在学中、授業科目により、実習費等を徴収する場合がある。

## 15-(2) 奨学金制度

奨学金には、「日本学生支援機構奨学金」並びに本学の「京都ノートルダム女子大学支給奨学金」「京都ノートルダム女子大学特待生奨学金」「京都ノートルダム女子大学ND育友会特別援助奨学金」「テレジアン課外活動給付奨学金」「京都ノートルダム女子大学同窓会マリアンスカラシップ（通称・マリアンスカラシップ）」「マザーテレサゲルハルディングー貸与奨学金（通称・テレジアンスカラシップ）」の他に、「都道府県等地方自治体奨学金」、民間の「育英奨学財団の奨学金」等があり、募集等の情報はmanaba「奨学金オンライン窓口」や学生課の掲示板に掲示する。

※奨学金の希望者は、学生課へ申出て出願すること。

※奨学金制度には、給付（返還不要）と貸与があり、貸与の場合は卒業後定められた年数内に返還の義務がある。

### 1. 日本学生支援機構奨学金 貸与

人物・学業ともに優秀かつ健康であって、学費支弁が困難と認められ、奨学金の返還義務を認識している者について、本人の願い出に基づき大学から推薦し、日本学生支援機構の選考を経て採用が決定した場合、奨学金の貸与を受けることができる。奨学金の貸与終了後は、毎月決められた金額を必ず返還しなければならない。

奨学生に採用されるためには、学業成績と家計状況に一定の基準があり、その基準に合致しなければならない。奨学金申込者の、人物・学力・家計について総合的に審査し、推薦基準を満たしている者の中から大学の選考委員会で選考し推薦する。

#### ① 奨学金の種類

- ・第一種（無利子）      ・第一種緊急採用（無利子）
- ・第二種（有利子※）      ・第二種応急採用（有利子※）      ※利率は年3%が上限

#### ② 奨学金の採用

採用の種類は、**第一種・第二種奨学金の「定期採用」、第一種奨学金の「緊急採用」、第二種奨学金の「応急採用」**がある。原則的に「定期採用」は4月に募集がある。

家計急変等のため緊急に奨学金が必要になった場合は、「緊急採用」・「応急採用」で年間を通じて出願することができる。（ただし、家計が急変してから12か月以内に申込む必要がある。）

#### ③ 貸与月額（貸与途中で月額に変更可能）

| 種 類                                     |       | 貸 与 月 額                                            |
|-----------------------------------------|-------|----------------------------------------------------|
| 第一種奨学金<br>（無利子）                         | 自宅通学  | 20,000円・30,000円・40,000円・54,000円（※最高月額）から選択         |
|                                         | 自宅外通学 | 20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・64,000円（※最高月額）から選択 |
| 第二種奨学金（有利子）                             |       | 20,000円～120,000円までの金額で1万円単位で選択可能                   |
| ※最高月額は、申込時における家計支持者の年収で選択可と判定された者のみ選択可能 |       |                                                    |

#### ④ 貸与期間

採用になった年から、卒業までの正規最短就学期間（卒業予定月まで）。ただし、毎年本人から継続願が提出されない場合は、奨学生の資格を失うことになる。また、奨学金が継続できるかどうかの可否は、日本学生支援機構の規程に基づき大学において判断する。

#### ⑤ 新入生に対する注意事項

○入学の前年度に第一種・第二種奨学生の「採用候補者」になった人は、入学と同時に「奨学生採用候補者決定通知」を学生課に提出すること。提出しない場合は、奨学金は貸与されない。給付型奨学金採用候補者になった人は、入学と同時に学生課に申し出ること。

○高校時代に奨学金の貸与を受けていた場合は、4月中に「在学届」を学生課に提出すること。この手続きをすると、大学の卒業まで奨学金の返還が猶予される。

#### ⑥ 返還

日本学生支援機構から貸与された奨学金は、「返還誓約書」を提出し卒業後に必ず返還する義務がある。奨学金は、卒業後6か月を経てから、最高20年以内に所定の方法（月賦又は月賦・半年賦）で必ず返さなければならない。

## 2. 高等教育の修学支援新制度

学業・家計（収入・資産）等に係る基準に合致している者の中で、本人の願い出に基づき大学から推薦し、日本学生支援機構の選考を経て採用が決定する。採用になった者は毎月一定額の奨学金が給付される給付奨学金（日本学生支援機構）と、授業料等減免（文部科学省）を受けることができる。詳しくは日本学生支援機構の「進学資金シミュレーター」を参照（URL：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>）のこと。

○申し込み時期：4月、10月

※在学採用説明会に出席し、手続きを確認すること。

※家計が急変した場合はいつでも出願することができるので学生課に申し出ること。

## 3. 本学独自の奨学金制度

### (1) 京都ノートルダム女子大学支給奨学金 **給付**

学業成績が優秀で家庭の経済的な理由により奨学金が特に必要と認められる学生に対して、学業の継続を援助するため年間授業料の半額以内を給付する。募集時期は毎年7月。（新入生は4月）

### (2) 京都ノートルダム女子大学特待生奨学金 **給付**

前年度の修得単位数が卒業要件科目の合計標準単位数（31単位）を修得し、前年度のGPAが3.0以上であり、学業成績・人物ともに優秀で他の学生の模範であると認められた学生を所属学部長が推薦し、修学意欲の向上を奨励するため10万円の奨学金を給付する。選考は毎年6月。

### (3) 京都ノートルダム女子大学ND育友会特別援助奨学金 **給付**

家計支持者の死亡、破産、失業、倒産などによる家計の急変のため、経済的に学業の継続が困難となった学生に対して、20万円を上限に給付し、学費の一部に充当することができる。家計の急変事由が発生した月から6か月以内に申請し、奨学金の給付は在学中に一回を原則とする。

### (4) テレジアン課外活動給付奨学金 **給付**

本学の公認団体に所属し、熱意をもって課外活動を行い成果をあげている2年次生以上の学生に対して、20万円を上限に給付し、学費の一部に充当することができる。奨学金の給付は在学中に一回を原則とする。募集時期は毎年9月。

### (5) マリアンスカラシップ **給付**

4年次生を対象とし、学業成績・人物ともに優秀な学生で、家庭の経済事情悪化のため、修学の熱意があるにもかかわらず修学困難となった学生に対して、学業の継続を援助するために、年間授業料の半額以内を給付する。募集時期は、毎年9月。

### (6) テレジアンズカラシップ **貸与（無利子）**

家庭の経済事情が悪化のため修学の熱意があるにもかかわらず修学困難になった学生に対して、学業の継続を援助するために年間学費の半額以内を貸与する。募集時期は、毎年9月。貸与された奨学金は、卒業後10年以内に年賦で必ず返さなければならない。

#### \* 短期貸付金

学生の生活維持のため緊急に経済的援助を必要とする場合は、面接し事情を聴いた上で、小口の資金（3万円を限度）を貸付ける。貸付金は3か月以内に返さなければならない。印鑑を持参して学生課に申し出ること。

## 4. 都道府県等地方自治体・民間育英団体等の奨学金

募集時期、選考内容、奨学金の額などについては、大学に募集があり次第そのつどmanaba「奨学金オンライン窓口」や

学生課の掲示板に掲示する。また、各団体が独自に募集する場合があるため、各都道府県・市区町村の教育委員会等に各自で問合せること。

5. 学内の問合せ窓口

学生課

|                     |
|---------------------|
| 12. 免許・資格           |
| 13. 留学・海外研修等        |
| 14. 欠席の取扱い・試験実施要領等  |
| 15. 学生納入金(学費)・経済的支援 |
| 16. 各部局等の案内         |
| 17. 科目名英訳対照表等       |
| 18. 学則・規程等          |
| 19. 校舎・教室等配置図       |



## 16. 各部局等の案内

- (1) ND教育センター
- (2) 国際教育センター
- (3) 図書館情報センター
- (4) キャリアセンター
- (5) 心理臨床センター
- (6) カトリック教育センター
- (7) 教 務 課
- (8) 学 事 課
- (9) 国際教育課
- (10) 学 生 課
- (11) 保健室・学生相談室
- (12) 財 務 課



## 16-(1) ND教育センター

開室時間 月～金 8:45～17:15

場 所 ソフィア館1階

連絡先 TEL: 075-706-3728 (内線3590) E-Mail: vsadmin@notredame.ac.jp

ND教育センターでは、全学共通教育科目のカリキュラムの整備や教育プログラムの開発、学習支援、教職課程支援、入学前の講座・講習を含む高大接続教育の企画・実施などに取り組んでいます。

### 【manaba・respon】

主体的な学修をサポートするため、授業支援システムmanaba（小テスト・アンケート・レポート提出・資料の公開など）とrespon（出席管理・授業内クイズなど）の積極的な活用を推進しています。各授業の連絡などにも使われますので、必ず確認するようにしてください。

### 【授業アンケート】

より質の高い教育のため、皆さんの声を聞き、今後の授業内容や方法の改善を目的に授業アンケートを実施しています。

### 【文章作成アドバイジング】

#### ・学習相談

文章作成の基礎に関する相談を、ND教育センター事務室で受け付けています。

#### ・オンライン講座「文章作成の基礎づくり」

manabaで「文章作成の基礎づくり」を行っています。センターが提供する文章作成に関する課題に学生が取り組むことにより、苦手意識を克服し、段階的に文章作成の基礎を身につけていきます。

### 【教職課程支援】

介護等体験や教育実習、学生ボランティアや教師塾（教師力養成講座）などの相談や情報を提供し、教職を目指す学生を支援しています。教員採用試験のサポートも行っています。

### 【教職ルーム・学習アドバイジングルーム】

教職課程・採用試験に関する情報をまとめています。

教職に限らず、大学での学びの基礎づくりにも力を入れているので、本学の学生・卒業生・修了生が利用できるスペースになっています。

また教職課程履修者に対して、各教科の教科書・参考書等を貸し出しています。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部局等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

## 16－(2) 国際教育センター

開室時間 月～金 10：30～15：30

場 所 ユーヅニア館2階

連絡先 TEL：075-706-3771（内線3206） E-Mail:kokusai@notredame.ac.jp

国際教育センターには英語嘱託講師が常駐しています。授業の質問を随時受け付けているほか、外国語学習に関する質問およびイマージョンスペースでの語学イベント実施を担当しています。

### 1. 主な業務

- ・外国語教育の計画及び実施に関すること
- ・外国語科目の運営に関すること
- ・セルフアクセス外国語学習環境の整備
- ・外国語学習者への学習相談
- ・外国語教育研究
- ・語学学習教材の貸し出し

### 2. 注意事項

英語嘱託講師の授業スケジュールにより、閉室となる時間帯があります。



## 16-(3) 図書館情報センター

- 図書館情報センターはユージニア館地下1階から2階に位置し、図書・雑誌、マルチメディア資料及びデータベースなど多様なメディアを本学学生・教職員に対し総合的に提供するとともに、ICTを活用した授業・実習の支援、情報関連設備及びネットワーク環境の整備などにより、本学の研究・教育を支えることを目的としています。
- これらの目的を達成するために以下のようなサービスを提供します。

| 窓口・連絡先                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 主なサービス内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |            |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|---------------------------------|--------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-----|-----|--------|------------|----|--------|---------|----------------------|---------|
| <div>● 図書館事務室</div> <div>窓口：図書館情報センター1階総合カウンター</div> <div>Tel：075-706-3751（内線3101）</div> <div>Fax：075-706-3752</div> <div>E-mail：library@notredame.ac.jp</div> <div>開館日 月～土曜日</div> <div>開館時間</div> <div>ウェブページや掲示などで確認して下さい。</div>                                                                                                                                                                                                                         | <div>● 学習・研究に資する資料を収集、整理、保存し学内外の利用に供しています。</div> <div>● 現在約25万冊の図書、5,200タイトルの雑誌を所蔵する他、オンライン・データベースや電子ジャーナルなど電子資料の提供も行っています。（所蔵資料は、ウェブ上で検索ができます。）</div> <div>● 図書館情報センター総合カウンターや、ラーニング・サポートでは、資料の探し方や事項調査の相談など学習・研究に関する質問を随時受け付けています。</div> <div>● 本学に所蔵のない資料は、コピーの取り寄せ（有料）や訪問利用の紹介により他大学・機関の図書館資料の利用をサポートします。</div> <div>● 図書館内では静かに学習できる一人用機のほか、議論しながら利用できるオープンスペースのラーニング・コモンズと個室のグループワークスペース（予約制）も利用できます。</div> |            |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |
| <div>● システム管理課</div> <div>窓口：図書館情報センター1階総合カウンター</div> <div>Tel：075-706-3762（内線3103）</div> <div>E-mail：its@notredame.ac.jp</div> <div>受付時間</div> <table><tr><td>月～金曜日</td><td>8：45～17：15</td></tr></table> <div>● 情報サポート</div> <div>窓口：ユージニア館2階</div> <div>Tel：内線3209</div> <div>E-mail：its@notredame.ac.jp</div> <div>受付時間</div> <table><tr><td>月～金曜日</td><td>8：50～18：15<br/>※17:30以降はシステム管理課へ</td></tr><tr><td>授業のない日</td><td>9：00～16：45</td></tr></table> | 月～金曜日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 8：45～17：15 | 月～金曜日 | 8：50～18：15<br>※17:30以降はシステム管理課へ | 授業のない日 | 9：00～16：45 | <div>● コンピュータと周辺機器を備えた情報演習室を整備し、授業での使用のほか、学生の自主的な利用に供しています。</div> <div>● コンピュータ利用に関するさまざまなサポートを行います。</div> <div>● ノートパソコンほか、ICT機器を管理し、授業での利用に供しています。貸出可能な機器の種類や貸出方法は、大学公式サイトで確認できます。</div> <div>● 各教室、研究室などの機器を管理するとともに、学生の研究学習活動をサポートします。</div> <div>● 演習室の開室時間</div> <table><tr><th></th><th>平 日</th><th>土曜日</th></tr><tr><td>情報演習室1</td><td rowspan="2">8：50～21：00</td><td rowspan="4">閉室</td></tr><tr><td>情報演習室2</td></tr><tr><td>編 集 工 房</td><td rowspan="2">授業のない日<br/>8：50～17：00</td></tr><tr><td>E 3 0 5</td></tr></table> <div>※ 演習室のコンピュータに関するトラブル等の相談は、情報サポートまでお越しください。情報サポートの受付時間に注意してください。</div> |  | 平 日 | 土曜日 | 情報演習室1 | 8：50～21：00 | 閉室 | 情報演習室2 | 編 集 工 房 | 授業のない日<br>8：50～17：00 | E 3 0 5 |
| 月～金曜日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 8：45～17：15                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |
| 月～金曜日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 8：50～18：15<br>※17:30以降はシステム管理課へ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |            |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |
| 授業のない日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 9：00～16：45                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 平 日                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 土曜日        |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |
| 情報演習室1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 8：50～21：00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 閉室         |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |
| 情報演習室2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |            |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |
| 編 集 工 房                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 授業のない日<br>8：50～17：00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |            |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |
| E 3 0 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |            |       |                                 |        |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |     |     |        |            |    |        |         |                      |         |

- 利用上のルールとマナー
  - ※利用時は学生証を携帯しましょう。
  - ※施設の資料・機器を大切に扱しましょう。
  - ※施設内では他の利用者の迷惑にならないよう注意しましょう。
  - ※施設内ではふた付容器の飲料以外の飲食はできません。
  - ※施設内でのスマートフォン・携帯電話の通話を禁止します。
  - ※このほか、各施設の利用規則を守りましょう。
- 詳細は大学公式サイトをご覧ください。開室、開館日や時間は行事等の都合により変更になることがあるので、随時確認してください。

## 16ー(4) キャリアセンター

開室時間 月～金 8:45～18:15 (授業のない日は8:45～17:15)

場 所 ソフィア館1階

連絡先 TEL: 075-706-3744 (内線3522) E-Mail: shushoku@notredame.ac.jp

### 1. 主な業務

- (1) キャリア教育科目における授業科目の提供、キャリア形成に関する指導・相談。
- (2) 職業安定法33条2に基づいて行う、学生の就職指導、進路相談、求人情報の提供、就職・キャリアガイダンス、就職先の新規開拓などの就業支援。
- (3) 就職に関する各種証明書類の発行。
- (4) 就職に関する情報やお知らせを掲載するキャリア支援システム「Career Navi」やUNIPA、メールでの情報提供。

### 2. キャリア形成科目(正課科目)について

#### ・「キャリア実習」(1・2年次)、「インターンシップ」(3・4年次)

就業体験を通して、自己の職業適性や将来設計について考え、主体的に行動する力を身につけます。履修者は、本学協定型または「大学コンソーシアム京都」の産学連携教育プログラムの就業体験に参加します。参加を希望する学生は、4月に開催される説明会に参加してください。実習先選択や事前・事後指導については、キャリアセンターの指示に従ってください。本学協定型、「大学コンソーシアム京都」以外の就業体験は、一定の条件を満たす場合に限り単位が認定されます。

#### ・「キャリア形成ゼミ」(2～4年次)(正課科目)

「キャリア形成ゼミ」を受講する学生は、5月に開催される「キャリア形成ゼミ募集説明会」に参加する必要があります。この説明会では、各ゼミの活動内容や担当者が紹介されます。ゼミ配属後の活動は、各ゼミにより異なるので担当者の指示に従ってください。

### 3. 進路(就職)支援について

#### ・進路相談

進路に関わる相談は、キャリアセンターで行っています。進路・就職等に関する相談のみならず、本学卒業生の進路状況、内定後の相談等にも応じています。学年に関わらずどなたでも利用できます。

#### ・キャリアガイダンス、就活講座、就職試験対策講座

キャリアガイダンスは1年次生から年間を通して行っています。進路・就職に関するあらゆる情報を提供しています。5月開催の3年次向けキャリアガイダンスは進学や公務員を志望する人も含めた3年次生全員を対象とした内容となっています。企業就職希望でない場合も必ず出席してください。

キャリアガイダンスや各種講座の開催スケジュールは、UNIPA、ユージニア館掲示板やメール等でお知らせします。

また、就職試験対策のための講座を適宜実施するので、上記の掲示やメールなどのお知らせに注意してください。

## 4. 各種証明書の発行

### ・成績証明書、卒業見込証明書、健康診断証明書、推薦書

学生ロビー（ソフィア館1階）に設置されている「証明書自動発行機」で即時発行できます。上記証明書類は5月初旬発行予定です。それまでに提出を求められた場合は、先方にその旨を伝えてください。

また、「推薦書」の発行についてはキャリアセンターに申出てください。

### ・就職試験受験証明書

就職活動において、授業と採用試験が重なりやむを得ず授業を欠席する場合は、下記手続きによりキャリアセンターから発行する「就職試験受験証明書」を授業担当教員に提出できます。授業担当者の判断により授業参加度や平常点等の評価に関して不利益とならない配慮がなされますが、欠席を出席として扱うものではありません。

①事前に「就職試験受験証明書発行願」をキャリアセンター又は大学ウェブページで入手し、必要事項を記入する。

②「就職試験受験証明書発行願」を採用試験時に持参し、採用担当者に署名・捺印いただく。

③②の用紙を採用試験終了後、1週間以内にキャリアセンターに提出する。

④提出の翌日以降に、キャリアセンターより「就職試験受験証明書」が発行される。教員に提示し授業を欠席した理由を報告すること。ただし、報告した内容について考慮するか否かは授業担当教員に委ねられる。

### ・内定式出席証明書

内定式が授業と重なる場合、「内定式出席証明書」をキャリアセンターより発行します。申請手続きの流れ及び扱いは「就職試験受験証明書」の発行と同じです。

## 5. 就職に関する情報

### ・キャリア支援システム「Career Navi」

URL： <https://uc-student.jp/notredame/>

キャリア相談・キャリアガイダンス等の予約、本学に届いた求人情報、インターンシップ情報・企業情報、卒業生の就職活動報告の閲覧や進路希望届、進路決定届の入力ができます。

### ・キャリアセンターウェブページ

キャリアセンターの利用案内や内定者メッセージ等最新情報を提供しています。また、就職関連の証明書発行願のダウンロードも可能です。

## 6. その他

### ・進路（就職）登録手続き

登録されたデータは、進路相談、進路状況諸統計等、キャリアセンターでのキャリア支援のために使用します。Career Naviには全員必ず登録してください。登録はキャリアガイダンス時に案内しますので必要事項を入力し、指定された期日までに完了してください。登録は、職業安定法に基づく手続きを兼ねており、未登録の学生には求人票の紹介、アドバイザーによる就職相談、就職に関する各証明書や推薦書の発行はできません。

### ・その他

キャリアセンターでは、パソコン、「就職四季報」、本学過去5年間の卒業生就職先一覧、就職及び進路に関わる書籍・雑誌（2冊まで1週間貸出可）、求人に関する情報、説明会情報、web面談ブース等が利用できます。

## ◎学生の皆さんへ

卒業後の人生の中で「なりたい自分」を実現するため、在学中に自ら考え、切り拓いていく力を養ってください。

自分で見て、聞いて、感じて、考えることを通して、社会で必要となる力が身につくよう、授業・ガイダンス・セミナーなどが提供されていますので、活用して自分なりの進む道を見つけましょう。

## 16ー(5) 心理臨床センター

京都ノートルダム女子大学心理臨床センターでは、地域にお住まいの方々を対象に、心理相談・発達相談を行っています。  
また、当センターは、心理学研究科臨床心理学専攻大学院生の実習・研修施設を兼ねています。

### 【 活動内容 】

不登校やひきこもりといった行動上の問題や、家庭、学校、職場の人間関係上の悩みは、ストレス社会に住む私たちにより大きな負担を強います。また、辛い体験のあとに、不安や緊張が続いたり、抑うつ的になったり、時にパニックを起こすなどして、ふだんの生活が送れないことに悩むこともあります。心理相談では、臨床心理士や公認心理師を目指す大学院生相談員、臨床心理士、公認心理師が、来談者の抱えるテーマに合った個別のカウンセリング、プレイセラピーなどの心理療法を行い、こころの問題を軽くするためのお手伝いをしたり、幼児期～児童生徒期の発達、修学上の問題及び保護者の子育てに関する相談をお受けしています。

また、発達や性格についての心理検査を行い、自己理解に役立てるとともに日常の困りごとへの対応の仕方を考えます。

### 【 相談の申込みについて 】

本学卒業生及び法人設置校在籍中の児童・生徒・職員とその家族、ならびに一般の方々を対象としています。

完全予約制となりますので、初めての方は、お電話でお問合せ、ご予約ください。

電話番号：075-706-3722（直通）

受付時間：月～金曜日 10：00～ 17：00

### 【 開室時間 】

月・金曜日 9：00～17：30、火・水・木曜日 9：00～19：00

### 【 料金について 】

相談等は有料

（本学卒業生は半額。法人設置校在籍中の児童・生徒・教職員とその家族は、面接・コンサルテーションは無料、心理検査は半額。）

※詳細は、大学HPの当センターのサイトを参照のこと。



## 16ー(6) カトリック教育センター

場 所 ユージニア館3階

連絡先 TEL：075-706-3764（内線3311） E-Mail：cece@notredame.ac.jp

カトリック教育センター（以下「センター」という）は、本学の建学の理念に基づき、大学の諸活動にカトリック精神を生かすとともに、キリスト教文化に関する研究を行い、学生、教職員及び市民に対する啓発を図ることを目的として、設立されています。

センターは、上記の目的を達成するため、次の事業及び活動を行っています。

- (1) キリスト教文化に関する研究活動
- (2) 学生のための司牧活動
- (3) 研究会の開催
- (4) 学内宗教行事の企画
- (5) カトリック精神に基づく他大学等との連携
- (6) 学内及び学外向け講演会、市民講座などの開催
- (7) 文献、資料等の蒐集活動
- (8) 出版物の刊行
- (9) 音楽個人レッスンの実施

### 【キャンパス・ミニストリー室】

場 所 キャロライン館1階

開室時間 火～金 12:00～17:30 ※休室日：月・土・日・祝・その他

連絡先 TEL：075-706-3654（内線2240） E-Mail：cece@notredame.ac.jp

本学の建学の精神であるキリスト教になじみ、体験できる場を提供しています。自由に、気軽に訪ねてください。

- \*個人的に、又はグループで聖書を読んだり、人生の諸問題について話しあう機会の提供。
- \*ボランティア活動を通して共に生きるということを学び、より広い世界に目を向け、関わっていく活動の紹介。
- \*祈りの会、黙想会など、教会や教区の情報提供。
- \*その他、学内のキリスト教活動の促進。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金（学費）・経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

## 16ー(7) 教務課

開室時間 月～金 8:45～18:15 (授業のない日は8:45～17:15)

場 所 ソフィア館1階

連絡先 TEL: 075-706-3745 (内線3556) E-Mail: kyomu@notredame.ac.jp

### 1. 授業科目の履修登録に関すること

履修登録とは毎年学年始めにその年度に履修する全ての授業科目を教務課に届出る手続きのことです。「4. 履修登録にあたって」を参照してください。また、手続の詳細は各年度に発行される「履修登録の手引き」を参照してください。

### 2. 休講・補講に関すること (教員からの届出・学生への掲出)

休講・補講に関する通知は、学生ポータルサイト (UNIPA) を参照してください。

### 3. 授業・試験の欠席に関すること

「14-(1) 授業・試験の欠席の取扱い」を参照してください。

### 4. 試験・成績に関すること

#### ■試験について

「14-(2) 試験の実施要領について」を参照してください。

#### ■成績通知書の送付

履修した科目の修得単位・成績評価は、前期科目については9月に、学年末には全ての科目について、学生ポータルサイト (UNIPA) で本人及び保証人に通知します。

### 5. 免許・資格課程、各種プログラム

免許・資格取得に必要な単位、費用等の詳細は「12. 免許・資格課程、各種プログラム」を参照してください。

また、免許・資格取得に関する情報は随時掲示します。学生ポータルサイト (UNIPA) や教務課・学事課・ND教育センター及び各学部等の掲示板等を常に確認してください。

#### ■教職課程に関すること

教職課程に関する業務のうち、下記の業務に関しては教務課で扱っています。

##### ●免許状の一括申請業務・収入証紙代納入

なお、教育職員免許状は卒業後に京都府教育委員会から授与されます。免許状取得見込者は、卒業年度の12月に実施される説明会に出席して免許状授与の一括申請手続きを行い、卒業式終了後に教務課へ印鑑を持参してください。

#### ■司書等の修了証書に関すること

「16-(8) 学事課」を参照して下さい。

資格取得見込証明書については必要が生じたときに、教務課窓口で申込んでください。

#### ■学校図書館司書教諭に関すること

学校図書館司書教諭については、「学校図書館司書教諭講習」に書類申請した年の翌年に交付されます。詳細については12月に説明会を実施するので、申請希望者は必ず出席してください。

プログラム等の修了証は、卒業式終了後に交付します。

## 6. 卒業見込証明書・成績証明書等の発行に関する事

●発行されるまでの日数（申込日を除く、土曜・休日を除く）

| 証明書の種類         | 教務課窓口(※2) |    | 自動発行機<br>(学生ロビーに設置) | 手数料                                                           |
|----------------|-----------|----|---------------------|---------------------------------------------------------------|
|                | 和文        | 英文 |                     |                                                               |
| ①卒業見込証明書・成績証明書 | 3日        | 7日 | 即時発行                | 卒業・卒業見込<br>資格取得見込 } ..... 200円                                |
| ②資格取得見込証明書     |           |    | —                   | 資格取得見込 ..... 400円<br>(指定科目履修証明書、<br>公認心理師など)<br>成績 ..... 200円 |

①成績証明書は全学年、卒業見込証明書は4年次生のみ発行する。提出先から開封無効指示がある場合は、証明書自動発行機で証明書を出力の上、教務課へお持ち下さい。

②教務課窓口で申込む証明書は、証明書自動発行機で申請書を購入し、窓口へ提出すること。

卒業後に証明書が必要になった場合は、教務課まで問い合わせてください。

## 7. 大学コンソーシアム京都及び他大学との単位互換に関する事

### ■大学コンソーシアム京都の単位互換

3月に大学コンソーシアム京都のWEBサイトに募集ガイドが公開されます。履修希望者は期限までに申願手続きを行ってください。履修の可否については、後日科目開設大学から申願時に登録したメールアドレスに通知されます。なお、履修可能な期間は2年次前期から4年次（卒業年次）前期までです。

詳細は、「11. 他大学等科目の履修について」を参照してください。

### ■放送大学の単位互換

1月（7月）に放送大学特別聴講学生申願について、掲示されます。履修希望者は期限までに申願手続きを行ってください。放送大学の開設科目のうち、本学開設科目に相当しないものについては申願が認められません。なお、履修可能な期間は2年次から4年次（卒業年次）前期までです。

### ■他大学・短期大学との単位互換

詳細は教務課・学事課に問合せてください。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

## 16-(8) 学 事 課

開室時間 月～金 8：45～18：15（授業のない日は8：45～17：15）

場 所 ソフィア館1階

連絡先 TEL：075-706-3661（内線3552） E-Mail：gakuji@notredame.ac.jp

### 1. 学部・学科（ゼミ分属、卒業研究等）に関すること

ゼミ分属、卒業研究等をはじめとする学部・学科関係の連絡や最新情報は、学生ポータルサイト（UNIPA）、manabaまたは掲示板に掲載します。

### 2. 授業科目の履修登録に関すること

履修登録（16-(7) 教務課の1を参照）に関する質問は、教務課とともに学事課でも対応しています。

### 3. 資格（教育職員免許状関係除く）に関すること

各種資格（教育職員免許状関係を除く）に関する情報は学生ポータルサイト（UNIPA）、manabaまたは掲示板に掲載します。なお、資格取得に必要な単位、費用等の詳細は「12. 免許・資格課程、各種プログラム」を参照してください。

#### ■図書館司書修了証書の交付について

図書館司書修了証書は卒業式終了後に交付します。

### 4. 大学院に関すること

大学院科目、修士論文・博士論文の受付、大学院生スタディールームに関することを取り扱っています。

### 5. 地域連携、産官学連携、大学間連携に関すること

自分の学んだことを生かして社会の課題解決に積極的に取り組むことができる人材を育成するため、地域社会、産業界及び協定締結大学の協力を得て、学内プログラムやイベント等の立ち上げをサポートしています。

学事課連携推進室 X (<https://x.com/NDrenkei>)

Instagram (<https://www.instagram.com/kndurenkei/>)

上記に関する情報は、学生ポータルサイト（UNIPA）、manabaまたは掲示板で掲示・連絡します。最新情報をすみやかに確認するよう心がけてください。

## 16-（9） 国際教育課

開室時間 月～金 8：45～18：15（授業のない日は8：45～17：15）

場 所 ソフィア館1階

連絡先 TEL：075-706-3746（内線3571） E-Mail：kokusai@notredame.ac.jp

国際教育課では、海外留学や海外研修の派遣、外国人留学生の受入れ、ならびに海外大学等との交換協定、学術交流、教員交流等に関する業務を行っています。また、外国人留学生のための各種支援制度の案内や生活相談をはじめ、海外留学に関する相談や情報提供も随時行っていますので、気軽に訪ねてください。

### 1. 主な業務

| 担当業務         | 取扱内容                                                                                                                                                     |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 海外留学・海外研修の派遣 | 海外留学に関する説明会の実施、海外大学に関する情報提供<br>海外留学・海外研修の申込受付、渡航手配、海外留学保険付保<br>海外留学関連相談業務<br>留学関係諸届<br>留学中の連絡管理、相談、留学サポート業務<br>留学帰国後の単位認定事務<br>渡航前オリエンテーション、海外危機管理セミナー実施 |
| 外国人留学生の受入れ   | 外国人留学生の募集広報、入学試験要項の配布<br>外国人留学生の出入国・在留管理に関する取次申請事務<br>外国人留学生の奨学金制度・授業料減免制度等支援事務<br>外国人留学生の生活相談、資格外活動関係<br>外国人留学生関係諸届<br>外国人留学生関係行事の運営管理                  |
| 大学間協定・国際交流業務 | 海外大学との交流協定関係業務<br>海外大学との学術交流、教員交流、学生交流                                                                                                                   |
| 語学関連業務       | TOEFL-ITPテスト、TOEIC-IPテストの申込受付及び実施<br>TOEIC公開テストの団体受付<br>語学学習関連教材の貸出                                                                                      |

### 2. 海外留学・海外研修に関すること

各留学制度の説明会を毎年開催しています。詳細はUNIPA・掲示板等で確認してください。

(1) **米国姉妹大学留学**

「13-(1) 米国姉妹大学留学制度」を参照してください。

(2) **韓国カトリック大学交換留学**

「13-(3) 韓国カトリック大学交換留学制度（派遣）」を参照してください。

(3) **ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学交換留学**

「13-(4) ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学交換留学制度（派遣）」を参照してください。

(4) **セメスター認定留学**

「13-(5) セメスター認定留学制度」を参照してください。

(5) **海外研修・海外キャリア実習**

「13-(6) 海外研修・海外キャリア実習」を参照してください。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金（学費）・経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

### 3. TOEIC、TOEFL等語学テストに関すること

#### (1) TOEIC®テストの実施

英語によるコミュニケーションの必要性がますます高まるなか、普段の学習の成果を客観的に測る手段としてTOEIC®テストの受験は非常に効果的です。また、一定スコアを獲得すれば単位として認定される制度もあります。

そこで、初めて受験する方は気軽に挑戦できるように、また経験者の方には何度も受験してもらえるように、以下のサービスを行っています。

##### ●TOEIC®公開テストの団体受付

団体として国際教育課から申込みますので、一般申込みと比べて受験料が割安になります。ただし、申込者10名に満たない場合は、団体としての申込みができません。

##### ●TOEIC®IPテストの実施

学内で行うTOEIC®テストです。公開テストよりは安価で、簡易版成績表が発行されます（スコアの有効性は公開テストと変わりありません）。ただし、申込者10名に満たない場合は、実施できません。

上記のテストは、実施日毎に受付期間が決まっています。詳細はUNIPA・掲示板等で確認してください。

#### (2) TOEFL ITP（団体向けテスト）の実施

TOEFL iBT（正規試験）の受験とは別に、留学に必要な英語力の目安を測ることができるTOEFL ITP（団体向けテスト）を学内で実施します。ただし、申込者10名に満たない場合は、実施できません。

試験実施日、申込期間はUNIPA・掲示板等で確認してください。

### 4. 外国人留学生に関すること

#### (1) 出入国在留管理局取次申請

国際教育課では、外国人留学生のために在留資格認定証明書交付申請など、出入国在留管理局への取次申請を行います。

#### (2) 学資支援制度

授業料減免制度、奨学金制度（第1種、第2種）の申請手続きをはじめ、学外奨学金の案内や相談を受け付けています。詳細については、UNIPA・掲示板等で確認してください。

##### ① 授業料減免制度

本学に在籍する私費外国人留学生の本学での教育推進と経済的負担の軽減のために授業料減免制度があります。

- ・申請資格：本学学部正規課程に在籍する私費外国人留学生で、在留資格「留学」を有する者\*。
- ・減免金額：授業料年額の30%に相当する額を半期ごとに分けて減免する。
- ・減免期間：1か年。引き続き減免を希望する場合は、再度申請し決定を受けなければならない。
- ・申請手続：所定の申請書及び振込口座届を指定の期日までに国際教育課へ提出すること。

※経済的に恵まれていると認められる者、第三国へ留学する者、出席日数不足、学業不振、留年した者、休学中の者は減免対象としません。

##### ② 奨学金制度（第1種・第2種）

本学に在籍する私費外国人留学生で、学業が優秀であり、修学の熱意があるにもかかわらず、学資の支弁が困難な者に対して、経済的負担の軽減および学業継続を援助することを目的とし、第1種奨学金、第2種奨学金を設けています。

・給付内容：

| 区分     | 給付金額        | 給付方法       | 種 類             |
|--------|-------------|------------|-----------------|
| 第1種奨学金 | 年額 300,000円 | 半年ごとに分けて支給 | 学費奨学金           |
| 第2種奨学金 | 年額 180,000円 | 半年ごとに分けて支給 | 松ヶ崎学生館<br>寮費奨学金 |

・給付期間：1か年。ただし、修学年限（4年間）を限度として、毎年継続申請することができる。

・申請手続：所定の申請書及び振込口座届を指定の期日までに国際教育課へ提出すること。受給資格等についてはUNIPA・掲示板等で別途お知らせしますので確認してください。



## 16-10 学 生 課

開室時間 月～金 8:45～18:15 (授業のない日は8:45～17:15)

場 所 ソフィア館1階

連絡先 TEL: 075-706-3740 (内線3562) E-Mail: student@notredame.ac.jp

### 1. 主 な 事 務

- ・学生証、在学証明書、学割証、通学証明書の発行に関すること
- ・諸届け出、願い出(住所・保証人変更・合宿など)の受付に関すること
- ・学籍異動(休学、復学、退学、除籍)に関すること
- ・奨学金制度に係る奨学生の選考及び推薦などに関すること
- ・学生活動に係る学内行事に関すること
- ・学生ロッカーの貸与に関すること
- ・課外活動に関すること
- ・学生活動に係る施設・設備備品の利用に関すること
- ・学生の学内掲示物に関すること
- ・アルバイト及び下宿に関すること
- ・拾得物に関すること
- ・学生教育研究災害傷害保険に関すること
- ・キャンパスサポートに関すること
- ・学生寮に関すること

### 2. 一般的注意事項

- (1) 自家用自動車による通学は、全面禁止です。
- (2) 自転車・バイク(125cc以下)の通学は、学生課へ「通学届」を提出し、所定の手続きをした者のみ認められます。  
自転車・バイクの使用にあたっては、交通法規を厳守し、指定された場所に駐輪してください。構内の走行は禁止します。規則に違反した場合は登録を取消します。
- (3) 構内での喫煙及び飲酒は禁止。
- (4) 建物内の土足厳禁の場所(教室)では、上履きに履替えてください。
- (5) 学生への伝達は、原則として掲示やmanaba、UNIPAを通じて行います。
- (6) 学外からの電話の呼出しには応じませんが、家族の急病や事故等については、臨機に応急措置をとります。
- (7) 建物内では指定された場所(食堂、スタディールーム、ユニソン会館ホワイエ、トレーニングルーム前ロビー、アセンブリホール、ユージニア館内の指定された場所)以外での飲食を禁止しています。
- (8) 食堂・ラウンジなどの使用時間

| 施 設 名           | 使 用 時 間                          |
|-----------------|----------------------------------|
| 食 堂             | 8:30 ～ 20:00 (食事 月～金11:00～15:00) |
| 丸善キャンパスショップ     | 10:00 ～ 17:00 (月～金)              |
| ブ ッ ク シ ョ ッ プ   | 10:00 ～ 17:00 (月～金)              |
| ス タ デ ィ ル ー ム   | 8:30 ～ 20:00                     |
| ア セ ン ブ リ ホ ー ル | 8:30 ～ 20:00                     |

※休暇期間中は、時間を変更することがありますので、掲示板等で確認してください。

### 3. ロッカーについての注意事項

- (1) 希望者にはロッカー(鍵付)を貸与します(希望者多数の場合は抽選)。申込方法については別途掲示します。  
ロッカーの貸与は年度ごと5月～3月末まで。
- (2) 貸与されたロッカーは、各自が責任を持って管理してください。返却時にはロッカーの中を清掃し、空にしてください。

- (3) 鍵を忘れた時は、学生課で1日のみ合鍵を貸出します（学生証の呈示が必要）。鍵を紛失した場合は、至急学生課へ届出てください。
- (4) ロッカーの上やまわりに物を置くことを禁止します。
- (5) 鍵のかけ忘れ、抜き忘れに注意し、ロッカーの中に貴重品は入れないでください。万一、盗難事故があっても本学は責任を負いません。必ず施錠してください。
- (6) ロッカーは1人につき1つ貸与します。他人との共有は禁止しています。

## 4. 学生証及び証明書の発行

### (1) 学生証

「学生証」は、本学の学生であることを証明するもので常に携帯し、本学の教職員の請求があった場合、授業、定期試験、学割証や各種証明書の交付、図書館の利用、パソコンの貸出等には学生証を呈示しなければなりません。学生証の他人への貸与や譲渡、偽造は、懲戒処分の対象となります。

学生証の氏名など記載事項に変更が生じた時は、ただちに学生課まで届出てください。また、学籍が異動（退学・除籍）した時は必ず返却しなければなりません。

### (2) 在学証明書

和文の在学証明書は、証明書自動発行機で「学生証」を使用し、即時発行ができます。

英文の在学証明書は、証明書自動発行機で「学生証」を使用し、手数料を支払い、申請書を購入の上、学生課窓口で申込んでください。

### (3) 学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）

学割証は、帰省・課外活動等で100キロを超えてJR等を利用する場合に、割引乗車券を購入することができます。証明書自動発行機で「学生証」を使用し、即時発行ができます。（年間20枚まで）

学割証を使用する場合は、必ず「学生証」を携帯してください。不正使用が明らかになった場合は、本人が処分を受けるだけでなく、本学全体の学割証が発行停止処分を受けることがあるので、決められた規則を守り正しく使用してください。

### (4) 通学証明書・在学確認証（通学定期券購入のために必要）

通学定期券の購入は、現住所から大学への通学目的のみに認められます。学生課窓口の所定の「通学証明書」に必要事項を記入し学生課へ提出してください。京都市営バス・地下鉄、大阪メトロの定期券を購入するためには、通学証明書は不要ですが、「在学確認証」を学生課窓口で受取る必要があります。そして「通学証明書」又は「在学確認証」と「学生証」を持って通学定期券を購入してください。

なお、教育実習のために通学定期券を使用する場合は、申請に期間を要するため実習1か月前までに学生課で手続きをしてください。

### (5) 発行手数料

下記の取扱いについては、電話や郵便による申込みは受け付けません。

| 種 類                                 | 手 数 料          | 発 行 に 要 す る 日 数 ・ 備 考                                       |
|-------------------------------------|----------------|-------------------------------------------------------------|
| 学割証(学生旅客運賃割引証)<br>在 学 証 明 書 ( 和 文 ) | 無 料<br>100円    | } 証明書自動発行機で即時発行<br>取扱時間 平日8:45~18:15<br>授業のない日は平日8:45~17:15 |
| 在 学 証 明 書 ( 英 文 )<br>学 生 証 の 再 交 付  | 500円<br>1,000円 |                                                             |
|                                     |                | 1週間※<br>3日※                                                 |

※学生課窓口で申込む場合は、証明書自動発行機で「申請書」を購入して申込んでください。

## 5. 諸届け

### (1) 自転車、バイク通学届の提出

通学届を提出し登録した学生は、自転車及びバイク（125cc以下）の通学が認められます。

通学届の申請書は証明書自動発行機で発行できます（無料）。

### (2) 姓名等の変更

姓名、住所、電話番号、保証人に変更が生じた場合は、1週間以内に学生課に届出てください。

本人住所等はUNIPAの学籍情報変更申請から可能です。

### (3) ポスターの掲示

学生がポスターなどを掲示する場合は、学生課へ届出て「学生課印」を得た後、所定の掲示板に掲示してください。

### (4) 学生のクラブ等団体が次のことを行うときは、必ず所定の用紙で学生課に届出てください。

- 本学の施設・備品類の使用    ○ 外来者の訪問    ○ 大学内外での活動  
○ 大学内外の催し物    ○ 大学内外での合宿

### (5) 施設利用等については、所定の用紙に必要事項を記入し学生課へ届出てください。

| 届出の内容                | 届出書の種類      | 提出の要領         | 備 考                                       |
|----------------------|-------------|---------------|-------------------------------------------|
| ・ 休日の活動<br>・ 外来者の訪問等 | ク ラ ブ 活 動 届 | 実 施 日 1 週 間 前 |                                           |
| ・ 教室の使用              | 施 設 使 用 願   | 実 施 日 1 週 間 前 |                                           |
| ・ 備品の使用              | 行 事 準 備 依 頼 | 実 施 日 1 週 間 前 |                                           |
| ・ 催し物の実施             | 課 外 活 動 届   | 実 施 日 2 週 間 前 | 実施後は課外活動報告書を提出                            |
| ・ 合宿                 | 合 宿 許 可 願   | 実 施 日 2 週 間 前 | 参加者は5名以上で、顧問又は担当教員の許可が必要                  |
|                      | 合 宿 承 諾 書   | 実 施 日 3 日 前   | 参加者の保証人（保護者）自署が必要（自署が認められない場合は、合宿参加を認めない） |

## 6. 課 外 活 動

### (1) 学内でクラブ活動ができる場所と時間

| 場 所                                       | 平 日                        | 土・日・休日     | 備 考  |
|-------------------------------------------|----------------------------|------------|------|
| ユニソン会館大ホール<br>ユニソン会館地階<br>グラウンド<br>テニスコート | 9:00～20:00<br>※9:00～17:00  | 9:00～17:00 | 時間厳守 |
| ユージニア館<br>ヘルストレーニングルーム<br>その他の施設          | 16:40～20:00<br>※9:00～17:00 |            |      |

※ 授業のない日

### (2) クラブ等団体の定期的な活動及び施設の利用は、総クラブ会がまとめて調整します。臨時の活動や個人の使用については、「届出の内容」に従って学生課に届出書を提出してください。届出がない場合は使用することはできません。

## 7. ユニソン会館大ホール・ユニソン会館地階の使用

- 開館時間は上表のとおりですが、休日使用の届出がない場合は、土・日・祝日は使用できません。また、その他休日及び一斉休業日の一定期間は閉館します。
- 各部室の鍵は、学生課で「鍵貸出簿」に記名して借用し、使用後は必ず施錠して学生課に返却してください。
- 各部室には管理責任者を定めて、次の事項に注意してください。
  - 火災の防止
  - 盗難及び事故の防止
  - 部屋内外の清掃・整理整頓
- 各部室の備品類については備品台帳を作成し、私物との区別を明確にしてください。必要の際は学生課に提出してください。
- 外来者は必ず守衛所に申出て、所定のバッジを着け入館してください。ただし、クラブ部室内での活動は禁止します。
- ユニソン会館地階の合宿室で合宿する場合は、「合宿許可願」を提出した上で、次のことを守って利用してください。
  - 宿泊の場所は、合宿室に限る。
  - 合宿は本学の学生に限り、5名以上の参加者が必要。期間は3泊以内とする。
  - 活動は22時には全て終え、消灯時間は23時とする。（時間厳守）
  - 浴室の準備は入浴の1時間前に行い、使用後は掃除をする。浴室の使用は21時までとする。
  - 所要の寝具類は合宿責任者の申出により、学生課をとおして業者から借受ける。（費用は各自の負担）
  - 合宿終了後、合宿室及び全ての活動施設の掃除を行い、学生課に報告し点検を受けること。
- 本学の教職員が、部室などの使用状態（清掃、整頓、防火等）を点検することがあります。
- 以上の事項に反し、重大な事故などが発生した場合には、当該クラブ等団体の活動停止などの処分を行います。

## 8. 学 籍 異 動（学則第9章を参照）

### (1) 休学・退学

休学・退学を希望する場合は、各学期が始まるまでに学生課窓口へ申出る必要があります。次に、指導教員及び所属学部・学科の担当教員と面談し承認を得た後、学生課窓口で願出の用紙を受取り期日までに提出してください。

※願出の締切日は、前期（9月30日）又は後期（3月31日）の最終日で、当該学期までの学費を納入していることが条件となります。

|                | 願出締切日     |
|----------------|-----------|
| 前 期 休 学        | 前年度の3月31日 |
| 後 期 休 学        | 当年度の9月30日 |
| 3 月 31 日 付 退 学 | 当年度の3月31日 |
| 9 月 30 日 付 退 学 | 当年度の9月30日 |

### (2) 復学

休学中の者が復学する場合は、学期の開始前までに指導教員及び所属学部・学科の担当教員と面談後、復学願いを学生課に提出する必要があります。

### (3) 除籍

学費納入期日（前期 4月30日、後期 10月31日）までに、学費の納入が完了しない者は除籍となります。

## 9. 学 費 の 納 入

学費は、**納入締切日（前期は4月30日、後期は10月31日）**までに納入してください。どうしても学費を納入できない場合は、財務課窓口で学費の延納・分納の申請手続きをする必要があります。

## 10. 奨学金制度

奨学金には、「日本学生支援機構奨学金」「都道府県等地方自治体育英奨学金」、並びに本学の「京都ノートルダム女子大学支給奨学金」「京都ノートルダム女子大学特待生奨学金」「京都ノートルダム女子大学ND育友会特別援助奨学金」「テレジアン課外活動給付奨学金」「京都ノートルダム女子大学同窓会マリアンスカラシップ（通称・マリアンスカラシップ）」「マザーテレサゲルハルディングー貸与奨学金（通称・テレジアンスカラシップ）」の他に、地方自治体や民間育英団体等の奨学金があり、募集等の情報はmanaba「奨学金オンライン窓口」又は学生課の掲示板に掲載します。

※奨学金の希望者は、学生課へ申出て出願してください。

※奨学金制度には、給付（返還不要）と貸与があり、貸与の場合は卒業後定められた年数内に返還の義務があります。

各奨学金の詳細については、「14-(2) 奨学金制度」を参照してください。

## 11. 学生の傷病に対する医療費の取扱い

### (1) 学生教育研究災害傷害保険（略称：「学研災」）

本学は、教育研究活動中の不慮の災害事故の補償のための「**学生教育研究災害傷害保険**」の賛助会員大学であり、学生の傷病に対する医療費は、「学研災」の約款に基づいて次の方法で支払われる。

入学時に4年間の保険料を大学が一括負担で支払い、卒業年次の3月31日まで（4年間）保険は有効であるが、それ以後は、各自が任意加入しなければならない。

#### ① 保険金が支払われる場合（保険約款第1条、第2条参照）

本学の教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合。

（注1）教育研究活動中とは、次の場合をいう。

○正課中：医師の治療を受けた日数が1日以上

正課中とは、講義、実験・実習、演習又は実技による授業を受けている間

○学校行事中：医師の治療を受けた日数が1日以上

大学の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間

○課外活動中：医師の治療を受けた日数が14日以上

大学が教育活動のために所有、使用又は管理している学校施設内において、課外活動を行っている間

(ただし、学生寮にいる間、大学が禁じた行為を行っている間を除く)

(注2) この保険において「課外活動」とは、次の場合をいう。

大学の規則に則った所定の手続きにより、大学の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動又は体育活動

② 事故や怪我が発生した場合

すぐに、学生課へ事故や怪我の報告をする。学研災アプリをインストールし、事故通知、保険金請求の手続を行う。

③ その他手続きの詳細については、学生課に問合せること。

(2) 通学中等傷害危険担保特約（通学特約）

大学の授業等、学校行事又は課外活動（クラブ活動）への参加の目的をもって、合理的な経路及び方法により、住居と学校施設等との間を往復する間、もしくは、大学が管理している施設、授業、学校行事、課外活動の行われる場所の間を移動している間に生じた事故によって、その身体に被った傷害に対して支払われる。

通学中又は学校施設等相互間の移動中に事故が発生した場合は、すぐに学生課へ事故の報告をすること。

(3) 学研災付帯賠償責任保険（略称：「付帯賠償」）

学生が正課、学校行事、ボランティア等での課外活動中及びその往復で他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことによる損害賠償を保障する「学研災付帯賠償責任保険」については任意加入とする。教育実習、介護等体験、保育実習、インターンシップ等の授業を履修する場合は、実習等の期間に入る前に、必ず各自が学生課で所定の手続きをしなければならない。

(4) 学研災付帯学生生活総合保険（略称：「付帯学総」）

「学研災」及び「付帯賠償」では保障が不足と思われる場合に、「学研災」に加えて任意に加入できる保険で、入学時に予定修学年数を一括加入する。

「学研災付帯学生生活総合保険」の手続き、事故の報告及び保険金の請求等は、直接本人が取扱代理店と行う。「付帯学総」に加入している場合は、「付帯賠償」の加入手続きをする必要はありません。

## 12. キャンパスサポート

令和6年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が改正され、私立大学においても合理的配慮の提供が義務化となりました。

本学では、すべての学生が等しい条件のもとで、学生生活を送ることができることを目的に、配慮を必要とする学生を対象として授業保障・情報保障を中心に修学支援を行う「キャンパスサポート」というしくみを設けています。

提供する配慮の内容は、大学（学部・学環・学科・キャンパスサポート推進室・学生相談室・各事務室など）と本人（及び保証人等）が十分な合意形成・共通理解を図った上で、実施可能な範囲で決定します。

### 配慮を希望される方へ

1. 配慮の相談、申請（学生課075-706-3740 保健室075-706-3741）

2. 出願書類の提出

3. キャンパスサポート会議（スタッフ会議）の実施

4. 配慮内容（合理的配慮の決定）

配慮にあたっては障がい者手帳や診断書もしくは主治医からの意見書の提出をお願いしています

5. 配慮の実施（履修科目担当者へ配慮文書を配布）

所属学部・学環・学科、関係部署で連携し配慮を行います

6. 前期、後期終了時に面談を実施し配慮内容の見直しとフォローアップを行います

### 問い合わせ先

教育支援部 学生課 TEL：075-706-3740 保健室 TEL：075-706-3741

## 13. 学生寮

キャロライン寮の運営に関する業務を学生課及び学生寮事務室で担当しています。

## 14. なんでも相談窓口

学生生活に関するさまざまな悩み（生活上の相談（家庭、経済）・課外活動（サークル活動））に関する相談・対人関係に関する相談・健康に関する相談など、その他なんでも気軽に相談してください。



## 16-11) 保健室・学生相談室

学生の身体的健康管理及び精神衛生のために保健室と学生相談室があります。健康上の問題や、学生生活を送る上での困りごとがある場合には、まず保健室を訪れてください。ひとりひとりの学生にあった対応をしていきます。

### 【保健室】

取扱時間 月～金 8:45～17:15

場 所 ソフィア館1階

連絡先 TEL: 075-706-3741 (内線3510) E-Mail: health@notredame.ac.jp

保健室では、次の業務を行っています。

- 1) 健康管理、健康相談
- 2) 急病、負傷時の応急処置や医療機関の紹介・受診の手配
  - ①頭痛・腹痛のような症状の対応や軽度のすり傷・虫刺され・やけどなどの応急処置を行います。保健室で対応できない病気や外傷などについては、近隣の医療機関を紹介します。
  - ②医師が常駐していませんので、**薬の処方できません**。痛み止めなどの常備薬は、各自で携帯しておいてください。
- 3) 定期健康診断、健康診断証明書の発行に関すること

| 種 類              | 手 数 料 | 発 行 に 要 す る 日 数 ・ 備 考                                                                                                       |
|------------------|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康診断証明書(性別の記載あり) | 200円  | 証明書自動発行機で即時発行 (平日8:45～18:15)<br>※(授業のない日は平日8:45～17:15)<br>学内健康診断で当該年度、胸部レントゲン検査受診者のみ発行できます。また、要精密検査の場合、再検査の結果がでるまでは発行できません。 |

※性別の記載のない証明書をご希望の場合は、保健室での発行となります。保健室窓口で申込む場合は、証明書自動発行機で「申請書(健康診断証明書②)」を購入して申込んでください。

- 4) 専門家による健康相談(予約制です。日時等の詳細は毎月変更になるため各館・保健室前の掲示板等でお知らせします。)
 

内科: 月2回      婦人科: 月1回      精神科: 月2回
- 5) キャンパスサポート
- 6) 学生相談室の予約

### 【学生相談室】

長い学生生活の間には、いろいろなことで思い悩むときがあるものです。自分の悩みを誰かに相談したいとき、どうしていいかわからないとき、ひとりで抱えこまず、気軽に学生相談室をご利用ください。相談には、学生相談室専属の専門相談員があたります。なお、相談室はプライバシーを守りますので、安心してご相談ください。

相談内容: 学生生活全般に関する相談や、あらゆる心理的・身体的な相談、心身の症状については、校医とも連携をとり、対応しています。

- 自分自身の性格・考え方・将来のことなどについて
  - 家族・友人・恋人・クラブ内でのトラブルについて
  - 不安感・恐怖感・不眠などの精神症状で困ったとき
  - 食事にまつわる困りごと(拒食・過食)などについて
- 人づきあいや対人関係全般について
  - 勉強や単位のことについて
  - 過度の緊張があってもリラックスできないとき

学生相談室利用方法

1. 相談は予約制ですので、まず予約をとってください。
2. 予約の方法
  - ➡直接窓口にくるか、電話、メール、Formsのいずれかで予約をとってください。(保健室の窓口でも予約できます。)
  - ・開室時間: 月曜～金曜 8:45～17:15
  - 電話: 075-706-3717 E-mail: yoyaku-gakuso@notredame.ac.jp
  - Forms: <https://forms.office.com/r/tJSW6DckRd>



(予約のQRコード)

## 16-12) 財 務 課

取扱時間 月～金 8:45～17:15

場 所 ソフィア館2階

連絡先 TEL : 075-706-3703 (内線3616) E-Mail : accounting@notredame.ac.jp

### 主 な 事 務

1. 学費、学生寮費等の徴収事務。
2. 教育実習費、その他の実習費、その他の納入金の徴収事務。
3. 学費の延納及び分納に関する手続。
4. アルバイト代等の受け渡し。

### 納入金について（原則—銀行振込制）

1. 学費、学生寮費等及び教育実習費、その他の実習費等の納入金はそれぞれ所定の用紙に必要事項を記入の上、納入期限までに納入してください。
2. 個人レッスンについて  
ピアノ、ヴァイオリン、声楽等の個人レッスンを希望するときは各自で申し込んでください。レッスン料、使用料は当課にて前期・後期単位で学期始めに納入してください。
3. 学費の延納及び分納を希望する場合は、所定の期日までに所定の願出用紙を提出してください。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部局等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図





## 17. 科目名英訳対照表等

- (1) ローマ字表記の指定 (ヘボン式)
- (2) 科目名の英訳対照表 (共通教育科目)
- (3) 科目名の英訳対照表 (国際言語文化学部)
- (4) 科目名の英訳対照表 (現代人間学部)
- (5) 科目名の英訳対照表 (社会情報学環)
- (6) 科目名の英訳対照表 (女性キャリアデザイン学環)
- (7) 科目名の英訳対照表 (資格関係)



## 17-(1) ローマ字表記の指定（ヘボン式）

本学で使用する公式書類（卒業証書など）のローマ字表記です。

各書類や、氏名のローマ字フリガナは必ずこの形式で綴ってください。

外国人留学生についてのローマ字表記は、パスポート記載のとおりとする。

|           |          |           |            |           |
|-----------|----------|-----------|------------|-----------|
| A<br>あ    | I<br>い   | U<br>う    | E<br>え     | O<br>お    |
| KA<br>か   | KI<br>き  | KU<br>く   | KE<br>け    | KO<br>こ   |
| SA<br>さ   | SHI<br>し | SU<br>す   | SE<br>せ    | SO<br>そ   |
| TA<br>た   | CHI<br>ち | TSU<br>つ  | TE<br>て    | TO<br>と   |
| NA<br>な   | NI<br>に  | NU<br>ぬ   | NE<br>ね    | NO<br>の   |
| HA<br>は   | HI<br>ひ  | FU<br>ふ   | HE<br>へ    | HO<br>ほ   |
| MA<br>ま   | MI<br>み  | MU<br>む   | ME<br>め    | MO<br>も   |
| YA<br>や   | I<br>い   | YU<br>ゆ   | E<br>え     | YO<br>よ   |
| RA<br>ら   | RI<br>り  | RU<br>る   | RE<br>れ    | RO<br>ろ   |
| WA<br>わ   |          |           | N (M)<br>ん |           |
| GA<br>が   | GI<br>ぎ  | GU<br>ぐ   | GE<br>げ    | GO<br>ご   |
| ZA<br>ざ   | JI<br>じ  | ZU<br>ず   | ZE<br>ぜ    | ZO<br>ぞ   |
| DA<br>だ   | JI<br>ぢ  | ZU<br>づ   | DE<br>で    | DO<br>ど   |
| BA<br>ば   | BI<br>び  | BU<br>ぶ   | BE<br>べ    | BO<br>ぼ   |
| PA<br>ぱ   | PI<br>び  | PU<br>ぷ   | PE<br>ぺ    | PO<br>ぽ   |
| KYA<br>きゃ |          | KYU<br>きゅ |            | KYO<br>きょ |
| SHA<br>しゃ |          | SHU<br>しゅ |            | SHO<br>しょ |
| CHA<br>ちゃ |          | CHU<br>ちゅ |            | CHO<br>ちょ |
| NYA<br>にゃ |          | NYU<br>にゅ |            | NYO<br>にょ |
| HYA<br>ひゃ |          | HYU<br>ひゅ |            | HYO<br>ひょ |
| MYA<br>みゃ |          | MYU<br>みゅ |            | MYO<br>みょ |
| RYA<br>りゃ |          | RYU<br>りゅ |            | RYO<br>りょ |
| GYA<br>ぎゃ |          | GYU<br>ぎゅ |            | GYO<br>ぎょ |
| JA<br>じゃ  |          | JU<br>じゅ  |            | JO<br>じょ  |
| BYA<br>びゃ |          | BYU<br>びゅ |            | BYO<br>びょ |
| PYA<br>ぴゃ |          | PYU<br>ぴゅ |            | PYO<br>ぴょ |

(注) 1. このローマ字表は外務省が規定しているものです。

2. b, m, pの前では, nはmとなる (Kambe 神戸, Homma 本間)。

3. 小野は Ono, 大野は Ōno, 大小野は Ōono, 井伊は Ii, 飯田は Iida。

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

17-1(2) 科目名の英訳対照表 (共通教育科目・学際教育科目)  
SUBJECT TITLES : GENERAL EDUCATION SUBJECTS

| 区             | 分             | 科                       | 目 | 名                                     | 英 | 訳 |
|---------------|---------------|-------------------------|---|---------------------------------------|---|---|
| 教 養 科 目       | 人 間 と 文 化     | 日 本 文 学                 | 学 | Japanese Literature                   |   |   |
|               |               | 外 国 文 学                 | 学 | Foreign Literature                    |   |   |
|               |               | 日 本 近 代 史               | 学 | Modern History of Japan               |   |   |
|               |               | 東 洋 近 代 史               | 学 | Modern History of East Asian          |   |   |
| 人 間 と 社 会     | 人 間 と 社 会     | 三 民 義 史                 | 学 | Modern History of Europe              |   |   |
|               |               | 歴 史 学                   | 学 | Women in History                      |   |   |
|               |               | 哲 学                     | 学 | Cultural Anthropology                 |   |   |
|               |               | 日 本 史                   | 学 | Introduction to Philosophy            |   |   |
| 人 間 と 自 然     | 人 間 と 自 然     | 書 法                     | 学 | History and Culture of Japan          |   |   |
|               |               | 憲 法                     | 学 | Law for Life                          |   |   |
|               |               | 書 法                     | 学 | Constitution and Human Rights         |   |   |
|               |               | 国 際 関 係                 | 学 | Economics for Life                    |   |   |
| 人 間 と 情 報     | 人 間 と 情 報     | 社 会 学                   | 学 | Introduction to International Studies |   |   |
|               |               | ジ ン タ ー 概 論             | 学 | Introduction to Sociology             |   |   |
|               |               | ボ ン テ イ ア 概 論           | 学 | Gender Issues                         |   |   |
|               |               | 身 心 学                   | 学 | Introduction to Volunteerism          |   |   |
| 人 間 と 基 礎 教 育 | 人 間 と 基 礎 教 育 | 生 命 倫 理                 | 学 | Basic of Natural Science              |   |   |
|               |               | 暮 ら し の 電 気 ・ エ ネ ル ギ ー | 学 | Statistics for Daily Use              |   |   |
|               |               | 日 常 の 中 の 数 学           | 学 | Bioethics                             |   |   |
|               |               | 自 然 災 害 から の 防 災 ・ 減 災  | 学 | Electricity and Energy for Daily Life |   |   |
| 人 間 と 情 報     | 人 間 と 情 報     | 情 報 演 習 I a             | 学 | Mathematics for Daily Use             |   |   |
|               |               | 情 報 演 習 I b             | 学 | Disaster Prevention and Mitigation    |   |   |
|               |               | 情 報 演 習 II              | 学 | Applied Information Studies I a       |   |   |
|               |               | 情 報 の 科 学 と 倫 理         | 学 | Applied Information Studies I b       |   |   |
| 人 間 と 基 礎 教 育 | 人 間 と 基 礎 教 育 | SNS コミュニケーションスキル        | 学 | Applied Information Studies II        |   |   |
|               |               | AI と データサイエンス入門         | 学 | Information Processing                |   |   |
|               |               | AI と データサイエンス基礎         | 学 | Computer Science and Ethics           |   |   |
|               |               | アルゴリズム基礎                | 学 | Communication Skills for SNS          |   |   |
| 人 間 と 基 礎 教 育 | 人 間 と 基 礎 教 育 | 情報技術リテラシー演習             | 学 | Introduction to AI and Data Science   |   |   |
|               |               | プログラミング演習               | 学 | AI and Data Science                   |   |   |
|               |               | 教育社会学                   | 学 | Algorithm Basics                      |   |   |
|               |               | 基礎教育                    | 学 | Literacy for Informing Technology     |   |   |

| 区         | 分         | 科         | 目       | 名                                                      | 英 | 訳 |
|-----------|-----------|-----------|---------|--------------------------------------------------------|---|---|
| 基 礎 科 目   | カトリック教育科目 | 特 教       | 育 心 理 学 | Education for Students with Special Needs              |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | 学 論     | Education Psychology                                   |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | 概 論     | Introduction to Christianity                           |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Introduction to Christian Music                        |   |   |
| 自 己 の 形 成 | 自 己 の 形 成 | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | The Bible and Christianity                             |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Christianity and Japanese Culture                      |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Christian Thought                                      |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Christian Art                                          |   |   |
| 自 己 の 形 成 | 自 己 の 形 成 | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Christian Music                                        |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Religion and Art                                       |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Life Career for Women                                  |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Child-rearing and Work-life Balance                    |   |   |
| 自 己 の 形 成 | 自 己 の 形 成 | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Introduction to Hospitality Studies                    |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Japanese for Academic Purposes                         |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Career Planning                                        |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Career Guidance Seminar                                |   |   |
| 自 己 の 形 成 | 自 己 の 形 成 | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Work Experience I                                      |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Work Experience II                                     |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Internship I                                           |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Internship II                                          |   |   |
| 自 己 の 形 成 | 自 己 の 形 成 | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Internship Abroad                                      |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | English Comprehension I                                |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | English Expression I                                   |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | English Comprehension II                               |   |   |
| 自 己 の 形 成 | 自 己 の 形 成 | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | English Expression II                                  |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Daily Communication in English                         |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | English Communication for Traveling Abroad             |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | English Communication for Studying Abroad              |   |   |
| 自 己 の 形 成 | 自 己 の 形 成 | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | English Conversation for "Omotenashi" (Warm Welcoming) |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Business Conversation                                  |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Learning English with Singing and Listening to Music   |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Learning English with Literature                       |   |   |
| 自 己 の 形 成 | 自 己 の 形 成 | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Listening Skills                                       |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Basics for Daily Communication                         |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Grammar for Daily Communication I                      |   |   |
|           |           | キ リ ス ト 教 | ト 本 文 化 | Grammar for Daily Communication II                     |   |   |

# 17－(3) 科目名の英訳対照表 (国際言語文化学部)

| 区         | 分科        | 科目 | 名称             | 英              | 訳              |
|-----------|-----------|----|----------------|----------------|----------------|
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC I        | TOEIC I        | TOEIC I        |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC II       | TOEIC II       | TOEIC II       |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC III      | TOEIC III      | TOEIC III      |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC IV       | TOEIC IV       | TOEIC IV       |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC V        | TOEIC V        | TOEIC V        |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC VI       | TOEIC VI       | TOEIC VI       |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC VII      | TOEIC VII      | TOEIC VII      |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC VIII     | TOEIC VIII     | TOEIC VIII     |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC IX       | TOEIC IX       | TOEIC IX       |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC X        | TOEIC X        | TOEIC X        |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XI       | TOEIC XI       | TOEIC XI       |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XII      | TOEIC XII      | TOEIC XII      |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XIII     | TOEIC XIII     | TOEIC XIII     |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XIV      | TOEIC XIV      | TOEIC XIV      |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XV       | TOEIC XV       | TOEIC XV       |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XVI      | TOEIC XVI      | TOEIC XVI      |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XVII     | TOEIC XVII     | TOEIC XVII     |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XVIII    | TOEIC XVIII    | TOEIC XVIII    |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XIX      | TOEIC XIX      | TOEIC XIX      |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XX       | TOEIC XX       | TOEIC XX       |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXI      | TOEIC XXI      | TOEIC XXI      |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXII     | TOEIC XXII     | TOEIC XXII     |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXIII    | TOEIC XXIII    | TOEIC XXIII    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXIV     | TOEIC XXIV     | TOEIC XXIV     |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXV      | TOEIC XXV      | TOEIC XXV      |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXVI     | TOEIC XXVI     | TOEIC XXVI     |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXVII    | TOEIC XXVII    | TOEIC XXVII    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXVIII   | TOEIC XXVIII   | TOEIC XXVIII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXIX     | TOEIC XXIX     | TOEIC XXIX     |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXX      | TOEIC XXX      | TOEIC XXX      |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXI     | TOEIC XXXI     | TOEIC XXXI     |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXII    | TOEIC XXXII    | TOEIC XXXII    |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXIII   | TOEIC XXXIII   | TOEIC XXXIII   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXIV    | TOEIC XXXIV    | TOEIC XXXIV    |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXV     | TOEIC XXXV     | TOEIC XXXV     |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXVI    | TOEIC XXXVI    | TOEIC XXXVI    |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXVII   | TOEIC XXXVII   | TOEIC XXXVII   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXVIII  | TOEIC XXXVIII  | TOEIC XXXVIII  |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXIX    | TOEIC XXXIX    | TOEIC XXXIX    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXX     | TOEIC XXXX     | TOEIC XXXX     |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    | TOEIC XXXXX    |
| 英語実践(4技能) | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    | TOEIC XXXXI    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   | TOEIC XXXXII   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  | TOEIC XXXXIII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   | TOEIC XXXXIV   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    | TOEIC XXXXV    |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   | TOEIC XXXXVI   |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  | TOEIC XXXXVII  |
|           | 英語実践(4技能) | II | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII | TOEIC XXXXVIII |
|           | 英語実践(4技能) | I  | TOEIC XXXXIX   | TOEIC XXXXIX   |                |



| 区                               | 分 | 科                                | 目 | 名 | 英                                               | 訳 |
|---------------------------------|---|----------------------------------|---|---|-------------------------------------------------|---|
| 専 門 基 幹 科 目                     |   | TOEIC IV                         |   |   | TOEIC IV                                        |   |
|                                 |   | TOEFL I                          |   |   | TOEFL I                                         |   |
|                                 |   | TOEFL II                         |   |   | TOEFL II                                        |   |
|                                 |   | 海外留學 I                           |   | a | Study Abroad I a                                |   |
|                                 |   | 海外留學 I                           |   | b | Study Abroad I b                                |   |
|                                 |   | 海外留學 II                          |   | a | Study Abroad II a                               |   |
|                                 |   | 海外留學 II                          |   | b | Study Abroad II b                               |   |
|                                 |   | 海外留學 III                         |   | a | Study Abroad III a                              |   |
|                                 |   | 海外留學 III                         |   | b | Study Abroad III b                              |   |
|                                 |   | 海外留學 III                         |   | c | Study Abroad III c                              |   |
|                                 |   | 海外留學 III                         |   | d | Study Abroad III d                              |   |
|                                 |   | 海外留學 III                         |   | e | Study Abroad III e                              |   |
|                                 |   | 海外留學 III                         |   | f | Study Abroad III f                              |   |
|                                 |   | 英語英文学基礎演習 I                      |   |   | Freshman Seminar I                              |   |
|                                 |   | 英語英文学基礎演習 II                     |   |   | Freshman Seminar II                             |   |
|                                 |   | 英米文学概論                           |   |   | Introduction to British and American Literature |   |
| 専 門 展 開 科 目<br>グローバルコミュニケーション領域 |   | 言語学概論                            |   |   | Introduction to Linguistics                     |   |
|                                 |   | コミュニケーション学概論                     |   |   | Introduction to Communication                   |   |
|                                 |   | 専門講読（英文学）                        |   |   | Specialized Reading (English Literature)        |   |
|                                 |   | 専門講読（米文学）                        |   |   | Specialized Reading (American Literature)       |   |
|                                 |   | 研究方法論（コミュニケーション学）                |   |   | Research Methods in Communication Studies       |   |
|                                 |   | 研究方法論（英語教育学）                     |   |   | Research Methods in English Education           |   |
|                                 |   | 研究方法論（言語学）                       |   |   | Research Methods in Linguistics                 |   |
|                                 |   | Comparative Culture              |   |   | Comparative Culture                             |   |
|                                 |   | Global Japan Studies             |   |   | Global Japan Studies                            |   |
|                                 |   | Women in Leadership              |   |   | Women in Leadership                             |   |
| 英語文化領域                          |   | Popular Culture                  |   |   | Popular Culture                                 |   |
|                                 |   | Persuasive Communication         |   |   | Persuasive Communication                        |   |
|                                 |   | Public Speaking                  |   |   | Public Speaking                                 |   |
|                                 |   | Argumentation and Debate         |   |   | Argumentation and Debate                        |   |
|                                 |   | Global Career Skills Development |   |   | Global Career Skills Development                |   |

| 区                | 分 | 科                                             | 目                          | 名                                                        | 英                                                     | 訳                                                     |
|------------------|---|-----------------------------------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 英語文化領域           |   | Intercultural Communication and Acculturation |                            | Intercultural Communication and Study Abroad Preparation | Intercultural Communication and Acculturation         | Intercultural Communication and Acculturation         |
|                  |   |                                               |                            | Study Abroad Preparation                                 | Study Abroad Preparation                              | Study Abroad Preparation                              |
|                  |   | 英文学の歴史                                        | 英文学の歴史                     | History of British Literature                            | History of British Literature                         | History of British Literature                         |
|                  |   |                                               | 英文学の歴史                     | History of American Literature                           | History of American Literature                        | History of American Literature                        |
|                  |   |                                               | 英文学の歴史                     | English Literature Studies                               | English Literature Studies                            | English Literature Studies                            |
|                  |   |                                               | 英文学の歴史                     | American Literature Studies                              | American Literature Studies                           | American Literature Studies                           |
|                  |   | 映画の社会と文化                                      | 映画の社会と文化                   | Film Studies                                             | Film Studies                                          | Film Studies                                          |
|                  |   |                                               | 映画の社会と文化                   | British Society and Culture                              | British Society and Culture                           | British Society and Culture                           |
|                  |   |                                               | 映画の社会と文化                   | American Society and Culture                             | American Society and Culture                          | American Society and Culture                          |
|                  |   |                                               | 映画の社会と文化                   | Global Literature Workshop                               | Global Literature Workshop                            | Global Literature Workshop                            |
|                  |   | アメリカの社会と文化                                    | アメリカの社会と文化                 | History of the English Language                          | History of the English Language                       | History of the English Language                       |
|                  |   |                                               | アメリカの社会と文化                 | Structure of Language                                    | Structure of Language                                 | Structure of Language                                 |
|                  |   |                                               | アメリカの社会と文化                 | Language and Meaning                                     | Language and Meaning                                  | Language and Meaning                                  |
|                  |   |                                               | アメリカの社会と文化                 | Language and Society                                     | Language and Society                                  | Language and Society                                  |
|                  |   | Global Literature Workshop                    | Global Literature Workshop | Sounds and Forms of Language                             | Sounds and Forms of Language                          | Sounds and Forms of Language                          |
|                  |   |                                               | Global Literature Workshop | Interpersonal Communication                              | Interpersonal Communication                           | Interpersonal Communication                           |
|                  |   |                                               | Global Literature Workshop | Intercultural Communication                              | Intercultural Communication                           | Intercultural Communication                           |
|                  |   |                                               | Global Literature Workshop | Language and Communication                               | Language and Communication                            | Language and Communication                            |
| 専門関連科目<br>英語教育領域 |   | 英語科教育法 I                                      | 英語科教育法 I                   | Teaching Methods (English) I                             | Teaching Methods (English) I                          | Teaching Methods (English) I                          |
|                  |   |                                               | 英語科教育法 II                  | Teaching Methods (English) II                            | Teaching Methods (English) II                         | Teaching Methods (English) II                         |
|                  |   |                                               | 英語科教育法 III                 | Teaching Methods (English) III                           | Teaching Methods (English) III                        | Teaching Methods (English) III                        |
|                  |   |                                               | 英語科教育法 IV                  | Teaching Methods (English) IV                            | Teaching Methods (English) IV                         | Teaching Methods (English) IV                         |
|                  |   | こども英語指導法（理論編）                                 | こども英語指導法（理論編）              | Teaching English to Young Learners (Theory)              | Teaching English to Young Learners (Theory)           | Teaching English to Young Learners (Theory)           |
|                  |   |                                               | こども英語指導法（実践編）              | Teaching English to Young Learners                       | Teaching English to Young Learners                    | Teaching English to Young Learners                    |
|                  |   |                                               | こども英語指導法（実践編）              | Applied Linguistics                                      | Applied Linguistics                                   | Applied Linguistics                                   |
|                  |   |                                               | こども英語指導法（実践編）              | Seminar in Materials Development for English Learners    | Seminar in Materials Development for English Learners | Seminar in Materials Development for English Learners |
|                  |   | 応用言語学                                         | 応用言語学                      | Japanese as a Second Language                            | Japanese as a Second Language                         | Japanese as a Second Language                         |
|                  |   |                                               | 英語教材作成演習                   | Airline Business Foundations                             | Airline Business Foundations                          | Airline Business Foundations                          |
|                  |   |                                               | 外国語としての日本語                 | Customer Service for the Airline Industry                | Customer Service for the Airline Industry             | Customer Service for the Airline Industry             |
|                  |   |                                               | エアライン・ビジネス論                | Travel and Tourism                                       | Travel and Tourism                                    | Travel and Tourism                                    |
|                  |   | エアラインプログラム科目                                  | エアラインプログラム科目               | Hotel Business                                           | Hotel Business                                        | Hotel Business                                        |
|                  |   |                                               | エアラインプログラム科目               | Hospitality Studies Workshop                             | Hospitality Studies Workshop                          | Hospitality Studies Workshop                          |
|                  |   |                                               | エアラインプログラム科目               |                                                          |                                                       |                                                       |
|                  |   |                                               | エアラインプログラム科目               |                                                          |                                                       |                                                       |

| 区                   | 分           | 科         | 目            | 英                                                         | 訳 |
|---------------------|-------------|-----------|--------------|-----------------------------------------------------------|---|
| 医療サポート英語<br>プログラム科目 | 接遇のため       | 日本語       | 日本のための日本語    | Japanese Language Skills for the Hospitality Industry     |   |
|                     |             |           |              | Business Manners                                          |   |
|                     |             |           |              | Hospitality and Career                                    |   |
|                     |             |           |              | Airport Practicum                                         |   |
|                     |             |           |              | Medical Support English I                                 |   |
| プレゼンテーション<br>実務士科目  | 医療サポート英語Ⅱ   | 英語        | 英語           | Medical Support English II                                |   |
|                     |             |           |              | Clinical Medicine / Hospital Training                     |   |
| 専門演習・卒業研究           | プレゼンテーション概論 | 英語        | プレゼンテーション概論  | Introduction to Presentation                              |   |
|                     |             | 英語        | プレゼンテーション演習Ⅰ | Essential Presentation Skills                             |   |
| 国際日本文化<br>専門教育科目    | 卒業          | 英語        | 英語           | Seminar in English Language and Literature I              |   |
|                     |             |           |              | Seminar in English Language and Literature II             |   |
|                     |             |           |              | Graduation Study                                          |   |
|                     |             |           |              | DEPARTMENT OF JAPANESE AND GLOBAL CULTURES MAJOR SUBJECTS |   |
|                     |             |           |              | Freshman Seminar I                                        |   |
| 基礎科目                | 基礎          | 日本語       | 基礎           | Freshman Seminar II                                       |   |
|                     |             |           |              | Communication in Japanese I                               |   |
|                     |             |           |              | Communication in Japanese II                              |   |
|                     |             |           |              | Communication in Japanese III                             |   |
|                     |             |           |              | Introduction to Language and Culture                      |   |
| 展開科目<br>学科共通選択科目    | 言語文化概論      | 国際        | 国際           | Japanese and Global Cultures                              |   |
|                     |             |           |              | Introduction to Tourism                                   |   |
|                     |             |           |              | Tourism Culture                                           |   |
|                     |             |           |              | Tourism Business                                          |   |
|                     |             |           |              | Regional Tourism                                          |   |
| 日本語日本文化領域           | プレゼンテーション概論 | プレゼンテーション | プレゼンテーション    | Introduction to Presentation                              |   |
|                     |             |           |              | Essential Presentation Skills                             |   |
|                     |             |           |              | Fieldwork Practicum                                       |   |
|                     |             |           |              | Hospitality Studies Workshop                              |   |
|                     |             |           |              | Business Manners                                          |   |
| 日本語日本文化領域           | プレゼンテーション概論 | プレゼンテーション | プレゼンテーション    | Introduction to Japanese Literature                       |   |

| 区             | 分             | 科             | 目             | 名             | 英             | 訳                                                    |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|------------------------------------------------------|
| 漢文            | 漢文            | 漢文            | 漢文            | 漢文            | 漢文            | Introduction to Japanese Linguistics                 |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本古典文学        | 日本古典文学        | 日本古典文学        | 日本古典文学        | 日本古典文学        | 日本古典文学        | Introduction to Chinese Classical Literature         |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本近代文学        | 日本近代文学        | 日本近代文学        | 日本近代文学        | 日本近代文学        | 日本近代文学        | Special Lecture on Chinese Classical Literature      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本語教育         | 日本語教育         | 日本語教育         | 日本語教育         | 日本語教育         | 日本語教育         | Reading of Japanese Classical Literature             |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本語教育Ⅱ        | 日本語教育Ⅱ        | 日本語教育Ⅱ        | 日本語教育Ⅱ        | 日本語教育Ⅱ        | 日本語教育Ⅱ        | Reading of Japanese Modern Literature                |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本語の朗読        | 日本語の朗読        | 日本語の朗読        | 日本語の朗読        | 日本語の朗読        | 日本語の朗読        | Japanese Grammar                                     |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 外国語としての日本語    | 外国語としての日本語    | 外国語としての日本語    | 外国語としての日本語    | 外国語としての日本語    | 外国語としての日本語    | Outline of Japanese Language                         |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本語学特講        | 日本語学特講        | 日本語学特講        | 日本語学特講        | 日本語学特講        | 日本語学特講        | Theory of Teaching Japanese as a Second Language I   |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本伝統文化論       | 日本伝統文化論       | 日本伝統文化論       | 日本伝統文化論       | 日本伝統文化論       | 日本伝統文化論       | Theory of Teaching Japanese as a Second Language II  |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本年中行事        | 日本年中行事        | 日本年中行事        | 日本年中行事        | 日本年中行事        | 日本年中行事        | Art of Oral Reading in Japanese                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 京都府フィールドワーク研究 | 京都府フィールドワーク研究 | 京都府フィールドワーク研究 | 京都府フィールドワーク研究 | 京都府フィールドワーク研究 | 京都府フィールドワーク研究 | Japanese as a Second Language Studies in Calligraphy |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 京都資源書読解       | 京都資源書読解       | 京都資源書読解       | 京都資源書読解       | 京都資源書読解       | 京都資源書読解       | Special Lecture on Japanese Literature               |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 古文書読解         | 古文書読解         | 古文書読解         | 古文書読解         | 古文書読解         | 古文書読解         | Traditional Japanese Culture                         |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 子どもの読書とメディア   | 子どもの読書とメディア   | 子どもの読書とメディア   | 子どもの読書とメディア   | 子どもの読書とメディア   | 子どもの読書とメディア   | Annual Events in Japan                               |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 現代出版事情        | 現代出版事情        | 現代出版事情        | 現代出版事情        | 現代出版事情        | 現代出版事情        | Studies in Kyoto                                     |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 現代ジャーナリズム入門   | 現代ジャーナリズム入門   | 現代ジャーナリズム入門   | 現代ジャーナリズム入門   | 現代ジャーナリズム入門   | 現代ジャーナリズム入門   | Field Working in Kyoto                               |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本の歴史と文化      | 日本の歴史と文化      | 日本の歴史と文化      | 日本の歴史と文化      | 日本の歴史と文化      | 日本の歴史と文化      | Resources for Kyoto Studies                          |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本本思想史        | 日本本思想史        | 日本本思想史        | 日本本思想史        | 日本本思想史        | 日本本思想史        | Instruction for Reading Historical Documents         |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 日本美術特講        | 日本美術特講        | 日本美術特講        | 日本美術特講        | 日本美術特講        | 日本美術特講        | Children's Reading and the Media                     |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 異界・妖怪学        | 異界・妖怪学        | 異界・妖怪学        | 異界・妖怪学        | 異界・妖怪学        | 異界・妖怪学        | Modern Publication                                   |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 異物比較論         | 異物比較論         | 異物比較論         | 異物比較論         | 異物比較論         | 異物比較論         | The Basics of Contemporary Journalism                |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
| 国際文化領域        | 国際文化領域        | 国際文化領域        | 国際文化領域        | 国際文化領域        | 国際文化領域        | History and Culture of Japan                         |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |
|               |               |               |               |               |               |                                                      |

12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部局等の案内

17. 科目英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等  
配置図

17-4 科目名の英訳対照表 (現代人間学部)

| 区         | 分科            | 科目                                         | 名                                                    | 英訳 |
|-----------|---------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------|----|
| 専門演習・卒業研究 | 文学部           | 多文化理解論                                     | Understanding of Multi-Culturalism                   |    |
|           |               | クール・ジャパン文化論                                | Cool Japan : Japanese Popular Culture                |    |
|           |               | ヨーロッパ文化論                                   | European Culture                                     |    |
|           |               | アジア文化論                                     | Asian Culture                                        |    |
|           |               | 中国文化論                                      | Middle Eastern Culture                               |    |
|           |               | アラブ・イスラーム文化論                               | Arab Islamic Culture                                 |    |
|           |               | アラビア語の世界論                                  | The World of the Arabic Language                     |    |
|           |               | 日中近代語彙比較論                                  | Comparative Studies on Modern-Terms of Japanese      |    |
|           |               | 比較文学講読                                     | Readings in Comparative Literature                   |    |
|           |               | 西洋美術史Ⅰ                                     | History of Western Art 1                             |    |
|           | 音楽部           | 西洋美術史Ⅱ                                     | History of Western Art 2                             |    |
|           |               | 西洋美術史特講                                    | Special Lectures on Western Fine Arts                |    |
|           |               | 音楽文化概論                                     | Introduction to Culture of Music                     |    |
|           |               | キリスト教音楽特講                                  | Special Lecture for Christian Music                  |    |
|           |               | 音楽表現学                                      | Music Expression                                     |    |
|           |               | 現代音楽思想史                                    | Current Issues in Music                              |    |
|           |               | 西リスト教と文化                                   | History of Western Thought Christianity and Language |    |
|           |               | キリスト教文化                                    | Christian Culture                                    |    |
|           |               | 哲学とキリスト教                                   | Philosophy and Christianity                          |    |
|           |               | 情報・メディアの文化とデジタルシー                          | Media and Information Literacy                       |    |
| 図書館部      | インターネット社会論    | Understanding of Internet Society          |                                                      |    |
|           | 図書館情報技術論      | Introduction to Library Service Technology |                                                      |    |
|           | メディア・コンテンツ表現法 | Media Contents Expression                  |                                                      |    |
|           | 識字活動と子どもの権利   | Literacy and the Right of Children         |                                                      |    |
|           | 発展演習Ⅰ         | Sophomore Seminar I                        |                                                      |    |
|           | 発展演習Ⅱ         | Sophomore Seminar II                       |                                                      |    |
|           | 専門演習Ⅰ         | Junior Seminar I                           |                                                      |    |
|           | 専門演習Ⅱ         | Junior Seminar II                          |                                                      |    |
|           | 卒業研究          | Graduation Study                           |                                                      |    |

| 区 | 現代人間学部        | 分科 | 目                                                                    | 名                                      | 英訳                                    |
|---|---------------|----|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------|
| 現 | 生活環境学         | 部  | 生活環境基礎演習Ⅰ                                                            | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境基礎演習Ⅱ     |    | Seminar in Human Life Environments I                                 |                                        |                                       |
|   | 生活環境キャリアデザインⅠ |    | Seminar in Human Life Environments II                                |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境キャリアデザインⅡ                                                        | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境キャリアデザインⅡ |    | Life Environment Career Design I                                     |                                        |                                       |
|   | 生活環境キャリアデザインⅡ |    | Life Environment Career Design II                                    |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境概論                                                               | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境概論        |    | Introduction to Human Life Environments                              |                                        |                                       |
|   | 生活環境概論        |    | Introduction to Clothing Life                                        |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境概論                                                               | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境概論        |    | Introduction to Dietary Life                                         |                                        |                                       |
|   | 生活環境概論        |    | Introduction to Dwelling Science                                     |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境概論                                                               | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境概論        |    | Home Management in Modern Society                                    |                                        |                                       |
|   | 生活環境概論        |    | Life and Welfare                                                     |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境概論                                                               | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境概論        |    | Material studies in Clothing Life                                    |                                        |                                       |
|   | 生活環境概論        |    | Apparel and Plastic Arts (Including Production Practice)             |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境概論                                                               | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境概論        |    | Social and Psychological Study of Human Behavior Related to Clothing |                                        |                                       |
|   | 生活環境概論        |    | Clothing Care and Maintenance                                        |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境概論                                                               | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境概論        |    | Dyeing Science                                                       |                                        |                                       |
|   | 生活環境概論        |    | Clothing Life Experiment                                             |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境概論                                                               | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境概論        |    | Apparel Design                                                       |                                        |                                       |
|   | 生活環境概論        |    | Practice in Apparel Design                                           |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境概論                                                               | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境概論        |    | Food Marketing                                                       |                                        |                                       |
|   | 生活環境概論        |    | Food Science                                                         |                                        |                                       |
| 展 | 生活環境学         | 部  | 生活環境概論                                                               | FACULTY OF CONTEMPORARY HUMAN SCIENCES | DEPARTMENT OF HUMAN LIFE ENVIRONMENTS |
|   | 生活環境概論        |    | Food Sensory Evaluation                                              |                                        |                                       |
|   | 生活環境概論        |    | Nutritional Science                                                  |                                        |                                       |

| 区           | 分 科 | 目 名                 | 英 記 録                                                                                     |
|-------------|-----|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 住 生 活 領 域   | フー  | ードスベシヤリスト論          | Introduction to Food Specialist Seminar in Food Sensory Evaluation (Including Processing) |
|             | 食品  | 加工学（実験を含む）          | Food Processing (Including Processing Practice)                                           |
|             | 食   | 品 安 全 性 学           | Food Safety                                                                               |
|             | 調   | 理 デ ィ ネ ー ト 学       | Cookery Science                                                                           |
|             | フー  | ードコ ー デ ィ ネ ー ト 論   | Food Coordination                                                                         |
|             | 調   | 理 学 実 習             | Basic Practice in Cooking                                                                 |
|             | 発   | 展 調 理 学 実 習         | Advanced Practice in Cooking                                                              |
|             | 建   | 築 一 般 構 造           | Introduction to Architectural Structure                                                   |
|             | 住   | 環境 デ ザ イ ン          | Housing Environment Design                                                                |
|             | 住   | 居 環 境 図 学           | Introduction to Architectural Drawing I                                                   |
|             | 住   | 居 環 境 図 学           | Dwelling Environment                                                                      |
|             | 住   | 居 環 境 図 学           | History of Domestic Architecture                                                          |
|             | 建   | 築 法 規 Ⅱ 学           | Building Law                                                                              |
| 生 活 経 営 領 域 | 住   | 居 環 境 図 学           | Introduction to Architectural Drawing II                                                  |
|             | 建   | 築 材 料 学             | Materials of Architecture                                                                 |
|             | 住   | 居 環 境 図 学           | Practice in House Design & Planning I                                                     |
|             | 住   | 居 環 境 図 学           | Interior Design                                                                           |
|             | 住   | 居 環 境 図 学           | Practice in House Design & Planning II                                                    |
|             | 建   | 築 法 規 Ⅱ 学           | Building Construction                                                                     |
|             | 消   | 費 生 活 学             | Consumer Life                                                                             |
|             | 生   | 活 経 済 学             | Life Economics                                                                            |
|             | 家   | 族 関 係 Ⅰ             | Family Relations                                                                          |
|             | ビ   | ジ ネ ス の 基 礎 Ⅰ       | Basic Business I                                                                          |
|             | ビ   | ジ ネ ス の 基 礎 Ⅱ       | Basic Business II                                                                         |
|             | ラ   | イ フ ブ ラ ン ニ ン グ 論   | Life Planning                                                                             |
|             | マ   | ー ケ テ ィ ン グ 論       | Marketing                                                                                 |
| 福 祉 領 域     | コ   | ミュ ニ テ ィ 活 動 実 践    | Practice of Community Activity                                                            |
|             | ラ   | イ フ ブ ラ ン ニ ン グ 実 習 | Field Study in Life Planning                                                              |
|             | 家   | 族 社 会 学             | Sociology of Family                                                                       |
|             | ソ ー | シャル マ ー ケ テ ィ ン グ 論 | Social Marketing                                                                          |
|             | 女   | 性 起 業 論             | Female Business Promotion                                                                 |
|             | 生   | 活 と 社 会 保 障         | Social Security                                                                           |
|             | 高   | 齢 者 と 福 祉           | Welfare for the Aged                                                                      |
|             | コ   | ミュ ニ テ ィ と 福 祉      | Community Welfare                                                                         |
|             | 介   | 護 と 福 祉             | Care Work Skills                                                                          |

| 区             | 分 科 | 目 名                    | 英 記 録                                                   |
|---------------|-----|------------------------|---------------------------------------------------------|
| 家 庭 科 教 育 領 域 | こ 障 | こ 害 者 と 福 祉            | Mental Health Welfare for the Persons with Disabilities |
|               | 家   | 庭 科 教 育 法 Ⅰ            | Teaching Methods (Home-making) I                        |
|               | 家   | 庭 科 教 育 法 Ⅱ            | Teaching Methods (Home-making) II                       |
|               | 家   | 庭 科 教 育 法 Ⅲ            | Teaching Methods (Home-making) III                      |
|               | 家   | 庭 科 教 育 法 Ⅳ            | Teaching Methods (Home-making) IV                       |
|               | 現   | 代 社 会 と 福 祉            | Welfare in Modern Society                               |
|               | 暮   | らし と 電 気 ・ エ ネ ル ギ ー   | Electricity and Energy for Daily Life                   |
|               | 生   | 活 デ ザ イ ン 学            | Aesthetic Life Design                                   |
|               | 色   | 彩 家 庭 福 祉              | Color Science                                           |
|               | こ   | ども の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病 | Child Welfare                                           |
|               | 人   | 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病  | Human Body Structure, Function and Diseases             |
|               | 精   | 神 疾 患 と そ の 治 療        | Psychiatric Disorders and Treatments                    |
|               | 家   | 保 障 学                  | Family Support                                          |
| 専 門 基 礎 科 目   | 生   | 活 環 境 特 論              | Child Care                                              |
|               | 卒   | 業 研 究                  | Special Study in Human Life Environments                |
|               | 心   | 理 学 基 礎 概 論            | Senior Thesis                                           |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅰ          | DEPARTMENT OF PSYCHOLOGY MAJOR SUBJECTS                 |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅱ          | Introduction to Psychology                              |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅲ          | Psychological Statistics                                |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅳ          | Freshman Seminar in Psychology I                        |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅴ          | Freshman Seminar in Psychology II                       |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅵ          | Psychological Experiments I                             |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅶ          | Psychological Experiments II                            |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅷ          | Introduction to Psychological Testing                   |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅸ          | Methods of Psychological Research                       |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅹ          | Inferential Statistics for Psychology I                 |
| 専 門 基 礎 科 目   | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅺ          | Inferential Statistics for Psychology II                |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅻ          | Seminar in Psychological Testing                        |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅼ          | Questionnaire and Survey                                |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅽ          | Psychological English                                   |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅾ          | Psychology application experiment                       |
|               | 心   | 理 学 基 礎 演 習 Ⅿ          | Information Processing for Psychology                   |

19. 校舎・教室等  
配置図

18. 学則・規程等

17. 科目表・教科書目録等

16. 各部局等の案内

15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等

13. 留学・海外研修等

12. 免許・資格

| 区                     | 分科                                                                                                                              | 目           | 名                                                          | 英 訳                                                |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 展 開 科 目<br>基礎・発達心理学領域 | 知覚・認知心理学<br>学習・言語心理学<br>神経・生理心理学<br>教育心理学概論<br>発達心理学概論<br>現代青年の心理学<br>高齢者心理学                                                    |             | 学                                                          | Psychology of Perception and Cognition             |
|                       |                                                                                                                                 |             | 学                                                          | Psychology of Learning and Language                |
|                       |                                                                                                                                 |             | 学                                                          | Neuro-and Physiological Psychology                 |
|                       |                                                                                                                                 |             | 論                                                          | Educational Psychology                             |
|                       |                                                                                                                                 |             | 論                                                          | Developmental Psychology                           |
|                       |                                                                                                                                 |             | 学                                                          | Psychology of Adolescence                          |
|                       |                                                                                                                                 |             | 学                                                          | Psychology of Aging                                |
|                       | 社会・産業心理学領域                                                                                                                      | 社会・集団・家族心理学 | 学                                                          | Social, Group and Family Psychology                |
|                       |                                                                                                                                 | 現代社会調査入門    | 学                                                          | Introduction to Social Research                    |
|                       |                                                                                                                                 | 対人関係論       | 論                                                          | Interpersonal Relationship                         |
| 消費者行動の心理学             |                                                                                                                                 | 学           | Psychology of Consumer Behavior                            |                                                    |
| 社会・ビジネス心理フィールド研修      |                                                                                                                                 | 学           | Fieldwork in Social and Business Psychology                |                                                    |
| 臨 床 心 理 学 領 域         | 服 産 業                                                                                                                           | 服飾心理学       | 学                                                          | Fashion Psychology                                 |
|                       |                                                                                                                                 | 産業組織心理学     | 学                                                          | Industrial and Organizational Psychology           |
|                       | 心理カウンセリング概論                                                                                                                     |             | 論                                                          | Introduction to Psychological Counseling           |
|                       |                                                                                                                                 | 臨床心理学概論     | 論                                                          | Clinical Psychology                                |
|                       |                                                                                                                                 | 感情・人格心理学    | 学                                                          | Psychology of Emotion and Personality              |
|                       |                                                                                                                                 | 障害者・障害児心理学  | 学                                                          | Psychology for Adults & Children with Disabilities |
|                       | 家族臨床心理学<br>心的アセスメント<br>スクールカウンセリング<br>論（教育・学校心理学）<br>心理学的支援法<br>関係行政論<br>精神疾患とその治療<br>司法・犯罪心理学<br>認知行動療法概論<br>心理カウンセリング実践（面接技法） |             | 学                                                          | Family Clinical Psychology                         |
|                       |                                                                                                                                 |             | 学                                                          | Psychological Assessment                           |
|                       |                                                                                                                                 |             | 学                                                          | Educational and School Psychology                  |
|                       |                                                                                                                                 |             | 学                                                          | Methods of Psychological Support                   |
|                       |                                                                                                                                 | 論           | Legal and Administrative Systems                           |                                                    |
|                       |                                                                                                                                 | 学           | Psychiatric Disorders and Treatments                       |                                                    |
| 公 認 心 理 師 の 職 責       | 認知行動療法概論                                                                                                                        | 論           | Forensic and Criminal Psychology                           |                                                    |
|                       | 心理カウンセリング実践（面接技法）                                                                                                               | 論           | Cognitive Behavioral Therapy                               |                                                    |
|                       | 心理演習（心理支援の実際）                                                                                                                   | 論           | Practical of Psychological Counseling(Interview Technique) |                                                    |
|                       | 心理演習（心理支援の実際）                                                                                                                   | 論           | Seminar in Psychology                                      |                                                    |
|                       | 公認心理師の職責                                                                                                                        | 責           | Professionalism of LicensedPsychologists                   |                                                    |

| 区                    | 分科                                              | 目                | 名                            | 英 訳                                                                                                |
|----------------------|-------------------------------------------------|------------------|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関 連 科 目<br>社会・ビジネス領域 | 福祉心理学<br>健康・医療心理学<br>心理実習                       | 福祉心理学            | 心理学                          | Psychology for Social Welfare<br>Health and Medical Psychology<br>Practical Training in Psychology |
|                      |                                                 | 現代ジャーナリズム入門      | 現代ジャーナリズム入門                  | The Basics of Contemporary Journalism                                                              |
|                      |                                                 | 住環境デザイン論         | 住環境デザイン論                     | Housing Environment Design                                                                         |
|                      |                                                 | 消費生活の基礎          | 消費生活の基礎                      | Food Marketing<br>Consumer Life                                                                    |
|                      |                                                 | ビジネスの経済学         | ビジネスの経済学                     | Basic Business<br>Life Economics                                                                   |
|                      | 福祉領域                                            | マーケティング論         | マーケティング論                     | Marketing                                                                                          |
|                      |                                                 | 女性起業論            | 女性起業論                        | Female Business Promotion                                                                          |
|                      |                                                 | 現代社会と福祉          | 現代社会と福祉                      | Welfare in Modern Society                                                                          |
|                      |                                                 | こころの健康           | こころの健康                       | Mental Health                                                                                      |
|                      |                                                 | コミュニティと福祉        | コミュニティと福祉                    | Community Welfare                                                                                  |
| メディア・コミュニケーション領域     | 生活と社会保健<br>障害者と福祉<br>こども家庭福祉<br>こども家庭支援の心理学     | 人体の構造と機能及び疾病     | 人体の構造と機能及び疾病                 | Human Body Structure, Function and Diseases                                                        |
|                      |                                                 | 生活と社会保健          | 生活と社会保健                      | Social Security                                                                                    |
|                      |                                                 | 障害者と福祉           | 障害者と福祉                       | Welfare for the Persons with Disabilities                                                          |
|                      |                                                 | こども家庭福祉          | こども家庭福祉                      | Child Welfare                                                                                      |
|                      |                                                 | こども家庭支援の心理学      | こども家庭支援の心理学                  | Psychology for Children's Family Support                                                           |
|                      | メディア・コミュニケーション領域                                | ことばとコミュニケーション    | ことばとコミュニケーション                | Language and Communication                                                                         |
|                      |                                                 | 対人コミュニケーション      | 対人コミュニケーション                  | Interpersonal Communication                                                                        |
|                      |                                                 | 異文化間コミュニケーション    | 異文化間コミュニケーション                | Intercultural Communication                                                                        |
|                      |                                                 | 情報・メディアの文化とリテラシー | 情報・メディアの文化とリテラシー             | Media and Information Literacy                                                                     |
|                      |                                                 | クールジャパン論         | クールジャパン論                     | Cool Japan : Japanese Popular Culture                                                              |
| 専門演習・卒業研究            | プレゼンテーション概論                                     | プレゼンテーション概論      | Introduction to Presentation |                                                                                                    |
|                      | アパレルデザイン学                                       | アパレルデザイン学        | Apparel Design               |                                                                                                    |
|                      | 色彩学                                             | 色彩学              | Color Science                |                                                                                                    |
| こども教育学科<br>基礎科目      | 心理実習                                            | 心理実習             | Seminar in Psychology        |                                                                                                    |
|                      | 卒業論文                                            | 卒業論文             | Graduation Study             |                                                                                                    |
|                      | DEPARTMENT OF CHILD EDUCATION<br>MAJOR SUBJECTS |                  |                              |                                                                                                    |

| 区           | 分                | 科        | 目        | 英                                                          | 訳                                                          |
|-------------|------------------|----------|----------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 展 開 保 育 科 目 | こ ども 教 育 基 礎 演 習 | こ ども 教 育 | こ ども 教 育 | Introduction to Childhood Education                        | Introduction to Childhood Education                        |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Basic Practices of Childhood Education                     | Basic Practices of Childhood Education                     |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Fieldwork in Childhood Education                           | Fieldwork in Childhood Education                           |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Teaching Profession                                        | Teaching Profession                                        |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Teaching Principles                                        | Teaching Principles                                        |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Educational Psychology                                     | Educational Psychology                                     |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Education for Students with Special Needs                  | Education for Students with Special Needs                  |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Theory of Education for Intellectual Disabled Persons      | Theory of Education for Intellectual Disabled Persons      |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Theory of Education for Disabled Persons                   | Theory of Education for Disabled Persons                   |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Theory of Education for Invalids                           | Theory of Education for Invalids                           |
| 展 開 保 育 科 目 | こ ども 教 育         | こ ども 教 育 | こ ども 教 育 | Field Studies of Education for Students with Special Needs | Field Studies of Education for Students with Special Needs |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Child Care Music Exercises                                 | Child Care Music Exercises                                 |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Child Care Modeling Exercise                               | Child Care Modeling Exercise                               |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Child Care Physical Education Exercise                     | Child Care Physical Education Exercise                     |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Infant Care I                                              | Infant Care I                                              |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Infant Care II                                             | Infant Care II                                             |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Child Care for Challenging Children                        | Child Care for Challenging Children                        |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Children's Health                                          | Children's Health                                          |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Practices of Children's Health                             | Practices of Children's Health                             |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Food and Nutrition for Children                            | Food and Nutrition for Children                            |
| 展 開 保 育 科 目 | こ ども 教 育         | こ ども 教 育 | こ ども 教 育 | Family Support                                             | Family Support                                             |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Counseling and Support in Child Care                       | Counseling and Support in Child Care                       |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Psychology for Children's Family Support                   | Psychology for Children's Family Support                   |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Principles of Child Care                                   | Principles of Child Care                                   |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Theory of Child Care-giver                                 | Theory of Child Care-giver                                 |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Guidance to Child Care Field Study I-1                     | Guidance to Child Care Field Study I-1                     |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Guidance to Child Care Field Study I-2                     | Guidance to Child Care Field Study I-2                     |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Guidance to Child Care Field Study II                      | Guidance to Child Care Field Study II                      |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Field Study in Child Care I-1                              | Field Study in Child Care I-1                              |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Field Study in Child Care I-2                              | Field Study in Child Care I-2                              |
| 展 開 保 育 科 目 | こ ども 教 育         | こ ども 教 育 | こ ども 教 育 | Field Study in Child Care II                               | Field Study in Child Care II                               |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Child Welfare                                              | Child Welfare                                              |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Welfare in Modern Society                                  | Welfare in Modern Society                                  |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Community Welfare                                          | Community Welfare                                          |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Social Care                                                | Social Care                                                |
|             |                  |          | こ ども 教 育 | Contents of Social Care                                    | Contents of Social Care                                    |
|             |                  |          | こ ども 教 育 |                                                            |                                                            |
|             |                  |          | こ ども 教 育 |                                                            |                                                            |
|             |                  |          | こ ども 教 育 |                                                            |                                                            |
|             |                  |          | こ ども 教 育 |                                                            |                                                            |

| 区           | 分       | 科       | 目       | 英                                                                   | 訳                                                                   |
|-------------|---------|---------|---------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 幼 保 共 通 科 目 | 保 育     | 保 育     | 保 育     | Theory of Curriculum for Child Care and Education                   | Theory of Curriculum for Child Care and Education                   |
|             |         |         | 保 育     | Introduction to Child Care and Education                            | Introduction to Child Care and Education                            |
|             |         |         | 保 育     | Infants and Health                                                  | Infants and Health                                                  |
|             |         |         | 保 育     | Infants and Human Relationships                                     | Infants and Human Relationships                                     |
|             |         |         | 保 育     | Infants and Environment                                             | Infants and Environment                                             |
|             |         |         | 保 育     | Infants and Language                                                | Infants and Language                                                |
|             |         |         | 保 育     | Infants and Expression                                              | Infants and Expression                                              |
|             |         |         | 保 育     | Theory and Techniques for Understanding Infants                     | Theory and Techniques for Understanding Infants                     |
|             |         |         | 保 育     | Practices of Child Care for Expression                              | Practices of Child Care for Expression                              |
|             |         |         | 保 育     | Practical Education for Early Child Care                            | Practical Education for Early Child Care                            |
| 幼 稚 園 科 目   | 保 育     | 保 育     | 保 育     | Study of Contents for Child Care and Education (Health)             | Study of Contents for Child Care and Education (Health)             |
|             |         |         | 保 育     | Study of Contents for Child Care and Education (Social Interaction) | Study of Contents for Child Care and Education (Social Interaction) |
|             |         |         | 保 育     | Study of Contents for Child Care and Education (Environment)        | Study of Contents for Child Care and Education (Environment)        |
|             |         |         | 保 育     | Study of Contents for Child Care and Education (Speech)             | Study of Contents for Child Care and Education (Speech)             |
|             |         |         | 保 育     | Study of Contents for Child Care and Education (Expression)         | Study of Contents for Child Care and Education (Expression)         |
|             |         |         | 保 育     | Primary Education Practices I a                                     | Primary Education Practices I a                                     |
|             |         |         | 保 育     | Primary Education Practices II a                                    | Primary Education Practices II a                                    |
|             |         |         | 保 育     | Society and Education                                               | Society and Education                                               |
|             |         |         | 保 育     | Educational Administration and Management                           | Educational Administration and Management                           |
|             |         |         | 保 育     | History of Education                                                | History of Education                                                |
| 幼 小 共 通 科 目 | 初 等 教 育 | 初 等 教 育 | 初 等 教 育 | Theory of Curriculum                                                | Theory of Curriculum                                                |
|             |         |         | 初 等 教 育 | Principles in Teaching                                              | Principles in Teaching                                              |
|             |         |         | 初 等 教 育 | Educational Evaluation                                              | Educational Evaluation                                              |
|             |         |         | 初 等 教 育 | Study of Educational Methods                                        | Study of Educational Methods                                        |
|             |         |         | 初 等 教 育 | Educational Counseling and Technical Skills                         | Educational Counseling and Technical Skills                         |
|             |         |         | 初 等 教 育 | Pre- and Post-Guidance for Teaching Practice                        | Pre- and Post-Guidance for Teaching Practice                        |
|             |         |         | 初 等 教 育 | Practical Education                                                 | Practical Education                                                 |
|             |         |         | 初 等 教 育 | Psychology for Adults & Children with Disabilities                  | Psychology for Adults & Children with Disabilities                  |
|             |         |         | 初 等 教 育 | Psychology of Learning and Language                                 | Psychology of Learning and Language                                 |
|             |         |         | 初 等 教 育 | Educational and School Psychology                                   | Educational and School Psychology                                   |

19. 校舎・教室等  
配置図

18. 学則・規程等

17. 科目・英語対照表等

16. 各部署等の案内

15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等

13. 留学・海外研修等

12. 免許・資格



| 区         | 分                                                               | 科               | 目                        | 名                        | 英                                                                                                                                    | 訳 |
|-----------|-----------------------------------------------------------------|-----------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 小 学 校 科 目 | 環 境 報 告 と 健 康 理 国                                               | 教 育 教 育 教 育     | 教 育 教 育 教 育              | 育 育 育 育                  | Environmental Education<br>Information Education<br>Eating Behavior and Health Education<br>International Understanding<br>Education |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Primary Education Practices I b<br>Primary Education Practices II b                                                                  |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Japanese Language<br>Arithmetic                                                                                                      |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Living Environmental Studies<br>Music                                                                                                |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Arts and Crafts<br>Physical Education Method                                                                                         |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Social Studies<br>Science                                                                                                            |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Handwriting Education<br>Homemaking Studies                                                                                          |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Foreign language (English)<br>Japanese Language Education<br>Method of Instruction                                                   |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Social-studies Method of Instruction<br>Arithmetic Method of Instruction<br>General Science Education Method of<br>Instruction       |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Life Environment Studies Method of<br>Instruction                                                                                    |   |
|           | 初 等 教 育 初 等 教 育 国 算 生 活 音 楽 図 画 体 育 社 会 理 書 家 外 国 語 国 語 社 会 算 理 | 実 習 I<br>実 習 II | 指 導<br>指 導<br>指 導<br>指 導 | 指 導<br>指 導<br>指 導<br>指 導 | Music Education Method of<br>Instruction                                                                                             |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Arts and Handcrafts Education<br>Method of Instruction                                                                               |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Homemaking Course Education<br>Method of Instruction                                                                                 |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Physical Education Method of<br>Instruction                                                                                          |   |
|           |                                                                 | 指 導             | 指 導                      | 指 導                      | Foreign language (English) Education<br>Method of Instruction                                                                        |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Guidance for Teaching (Moral<br>Education)                                                                                           |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Guidance for Teaching (Extracurricular Activities and the Period for<br>Integrated Studies)                                          |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | Study of ICT Literacy for Education                                                                                                  |   |
|           |                                                                 | I C T 活 用 教 育   | 指 導                      | 指 導                      | Theory and Methods for School and<br>Career Guidance                                                                                 |   |
|           |                                                                 |                 |                          |                          | 生徒指導・進路指導の理解及び方法                                                                                                                     |   |

| 区       | 分                | 科                 | 目                   | 名     | 英                                                                                                                                                                                                          | 訳 |
|---------|------------------|-------------------|---------------------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 関 連 科 目 | 初 等 教 育 消 介      | 費 護 等 体 験         | 開 発 生 体 験           | 論 活 験 | Development of Teaching Materials<br>for Primary Education<br>Consumer Life<br>Care Work Experience                                                                                                        |   |
|         |                  |                   |                     |       | Piano Technique<br>Piano Technique for Infants<br>Piano Technique for Elementary<br>School Students Education                                                                                              |   |
|         |                  |                   |                     |       | Music Ensemble Exercise<br>Children's Reading and the Media<br>Introduction to School Librarianship<br>Managing School Library Media<br>Resources                                                          |   |
|         |                  |                   |                     |       | Education and School Library<br>Services                                                                                                                                                                   |   |
|         | 読 書 と 豊 かな 人 間 性 | 情 報 メ デ ィ ア の 活 用 | 学 習 指 導 と 学 校 図 書 館 | 性 活 用 | Theories of Reading and Personal<br>Development in Schools<br>Using Multimedia Information<br>Resources                                                                                                    |   |
|         |                  |                   |                     |       | Theory and Practice of Network Safety<br>for Elementary School Students                                                                                                                                    |   |
|         |                  |                   |                     |       | Practice for Child Education<br>Graduation Research                                                                                                                                                        |   |
|         |                  |                   |                     |       | Theory of Teacher's Profession<br>History of Education<br>Educational Administration and<br>Management                                                                                                     |   |
|         | こ ぞ も 教 育 研 究    | 職 業 研 究           | 演 習 研 究             | 論 史 論 | Theory of Curriculum<br>Teaching Methods (Japanese) I<br>Teaching Methods (Japanese) II<br>Teaching Methods (Japanese) III<br>Teaching Methods (Japanese) IV<br>Guidance for Teaching (Moral<br>Education) |   |
|         |                  |                   |                     |       | Guidance for Teaching (Extracurricular Activities and the Period for<br>Integrated Studies)                                                                                                                |   |
|         |                  |                   |                     |       | Principles in Teaching                                                                                                                                                                                     |   |
|         |                  |                   |                     |       | Principles in Teaching                                                                                                                                                                                     |   |



| 区               | 分           | 科           | 目           | 名                 | 英 訳                                                                             |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 司 関 書 教 育 論 科 目 | 教 育 学 部     | 教 育 学       | 方 法 論       | 学 術 研 究 方 法       | Study Educational Methods                                                       |
|                 |             |             |             | 価 値 観 念 育 成       | Educational Evaluation                                                          |
|                 |             |             |             | ICT 活 用 教 育       | Study of ICT Literacy for Education                                             |
|                 |             |             |             | 生徒指導・進路指導の理論及び方法  | Theory and Methods for School and Career Guidance                               |
|                 |             |             |             | 教育相談の理論及び方法       | Theory and Methods for Educational Guidance                                     |
|                 |             |             |             | 中等教育実習事後指導        | Pre- and Post-Guidance for Teaching Practice in Secondary                       |
|                 |             |             |             | 中等教育実習Ⅰ           | Teaching Practice in Secondary Education I                                      |
|                 |             |             |             | 中等教育実習Ⅱ           | Teaching Practice in Secondary Education II                                     |
|                 |             |             |             | 職業実践等体験           | Practical Education<br>Care Work Experience                                     |
|                 |             |             |             | 学校経営と学校図書館メディアの構成 | Introduction to School Librarianship<br>Managing School Library Media Resources |
| 司 関 書 科 目       | 学 校 図 書 館 学 | 学 校 図 書 館 学 | 学 校 図 書 館 学 | 学 校 図 書 館 学       | Education and School Library Services                                           |
|                 |             |             |             | 読書と豊かな人間性         | Theories of Reading and Personal Development in Schools                         |
|                 |             |             |             | 情報メディアの活用         | Using Multimedia Information Resources                                          |
|                 |             |             |             | 生涯学習概論            | Introduction to Lifelong Learning                                               |
|                 |             |             |             | 図書館概論             | Introduction to Librarianship                                                   |
|                 |             |             |             | 図書館制度・経営          | Introduction to Library Administration and Management                           |
|                 |             |             |             | 図書館情報技術           | Introduction to Library Service Technology                                      |
|                 |             |             |             | 図書館サービス概論         | Introduction to Library Services                                                |
|                 |             |             |             | 情報サービス概論          | Introduction to Information Services                                            |
|                 |             |             |             | 児童サービス概論          | Library Service for Children                                                    |
| 司 関 書 科 目       | 学 校 図 書 館 学 | 学 校 図 書 館 学 | 学 校 図 書 館 学 | 情報サービスⅠ           | Practicum of Information Retrieval                                              |
|                 |             |             |             | 情報サービスⅡ           | Practicum of Information Services II                                            |
|                 |             |             |             | 図書館情報資源概論         | Introduction to Library and Information Resources                               |
|                 |             |             |             | 情報資源組織            | Introduction to Library Material Organization                                   |
|                 |             |             |             | 生涯学習概論            | Introduction to Lifelong Learning                                               |
|                 |             |             |             | 図書館概論             | Introduction to Librarianship                                                   |
|                 |             |             |             | 図書館制度・経営          | Introduction to Library Administration and Management                           |
|                 |             |             |             | 図書館情報技術           | Introduction to Library Service Technology                                      |
|                 |             |             |             | 図書館サービス概論         | Introduction to Library Services                                                |
|                 |             |             |             | 情報サービス概論          | Introduction to Information Services                                            |

| 区         | 分           | 科           | 目           | 名           | 英 訳                                                                                                            |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 司 関 書 科 目 | 学 校 図 書 館 学 | 学 校 図 書 館 学 | 学 校 図 書 館 学 | 学 校 図 書 館 学 | Practicum of Library Material Organization I                                                                   |
|           |             |             |             | 学 校 図 書 館 学 | Practicum of Library Material Organization II                                                                  |
|           |             |             |             | 現代出版事情      | Modern publication                                                                                             |
|           |             |             |             | 子どもの読書とメディア | Children's Reading and The Media                                                                               |
|           |             |             |             | 京都市図書館      | Resources for Kyoto Studies                                                                                    |
|           |             |             |             | 図書館総合演習     | History of Book and Libraries<br>Comprehensive Studies in Library and Information Science<br>Library Practicum |

19. 校舎・教室等  
配置図

18. 学則・規程等

17. 科目英訳対照表等

16. 各部局等の案内

15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等

13. 留学・海外研修等

12. 免許・資格

# 17－(5) 科目名の英訳対照表（社会情報学環）

| 区                     | 分                     | 科                | 目               | 名                                          | 英 | 訳 |
|-----------------------|-----------------------|------------------|-----------------|--------------------------------------------|---|---|
| 社<br>会<br>専<br>門<br>基 | 情<br>報<br>学<br>科<br>目 | 基<br>礎           | 社会情報学環          | SCHOOL OF SOCIAL INFORMATICS               |   |   |
|                       |                       |                  | 社会情報基礎演習Ⅰ       | Introduction to Social Informatics         |   |   |
|                       |                       |                  | 社会情報基礎演習Ⅱ       | Freshman Seminar in Social Informatics I   |   |   |
|                       |                       |                  | 社会情報基礎演習Ⅲ       | Freshman Seminar in Social Informatics II  |   |   |
|                       |                       |                  | 社会情報発展演習Ⅰ       | Sophomore Seminar in Social Informatics I  |   |   |
|                       |                       |                  | 社会情報発展演習Ⅱ       | Sophomore Seminar in Social Informatics II |   |   |
|                       |                       |                  | 情報の科学と倫理        | Computer Science and Ethics                |   |   |
|                       |                       |                  | インターネット社会論      | Introduction to Philosophy                 |   |   |
|                       |                       |                  | ICTビジネス統計学      | Understanding of Internet Society          |   |   |
|                       |                       |                  | 暮らしの統計学         | Theory of ICT Business                     |   |   |
| 実<br>践<br>科<br>目      | 実<br>践<br>科<br>目      | 実<br>践<br>科<br>目 | AIとデータサイエンス     | Statistics for Daily Use                   |   |   |
|                       |                       |                  | 情報技術リテラシー       | Introduction to AI and Data Science        |   |   |
|                       |                       |                  | プログラミング演習       | Literacy for Information Technology        |   |   |
|                       |                       |                  | アルゴリズム基礎        | Web Programming Seminar                    |   |   |
|                       |                       |                  | 情報処理            | Algorithm Basics                           |   |   |
|                       |                       |                  | SNSコミュニケーションスキル | Information Processing                     |   |   |
|                       |                       |                  | プレゼンテーション概論     | Communication Skills for SNS               |   |   |
|                       |                       |                  | アカデミック・ライティング   | Introduction to Presentation               |   |   |
|                       |                       |                  | 情報演習Ⅰa          | Japanese for Academic Purposes             |   |   |
|                       |                       |                  | 情報演習Ⅰb          | Applied Information Studies I a            |   |   |
| 実<br>践<br>科<br>目      | 実<br>践<br>科<br>目      | 実<br>践<br>科<br>目 | 情報演習Ⅱ           | Applied Information Studies I b            |   |   |
|                       |                       |                  | プログラミング実践       | Applied Information Studies II             |   |   |
|                       |                       |                  | プレゼンテーション実践     | Programming practices                      |   |   |
|                       |                       |                  | 社会情報フェイワード研修    | Essential Presentation Skills              |   |   |
|                       |                       |                  | 社会情報キャリア実習      | Fieldwork in Social Informatics            |   |   |
|                       |                       |                  | 社会情報海外キャリア実習    | Social Informatics Work Experience         |   |   |
|                       |                       |                  |                 | Social Informatics Work Experience         |   |   |
|                       |                       |                  |                 | Abroad                                     |   |   |
|                       |                       |                  |                 |                                            |   |   |
|                       |                       |                  |                 |                                            |   |   |

| 区                | 分        | 科          | 目                | 名                                                                    | 英 | 訳 |
|------------------|----------|------------|------------------|----------------------------------------------------------------------|---|---|
| 展<br>開<br>科<br>目 | 国際日本文化領域 | 情報通信ネットワーク | 国際日本文化論          | Information and Communication Network                                |   |   |
|                  |          |            | インタラクティブメディア演習   | Interactive Media Seminar                                            |   |   |
|                  |          |            | 子供のネット安全教育の理論と実践 | Theory and Practice of Network Safety for Elementary School Students |   |   |
|                  |          |            | 国際関係論            | Japanese and Global Cultures                                         |   |   |
|                  |          |            | 哲学とキリスト教入門       | Principles of International Relations                                |   |   |
|                  |          |            | 現代ジャーナリズム入門      | Philosophy and Christianity                                          |   |   |
|                  |          |            | 情報・メディアの文化とリテラシー | The Basics of Contemporary Journalism                                |   |   |
|                  |          |            | 図書館情報技術論         | Media and Information Literacy                                       |   |   |
|                  |          |            | 子どもの読書とメディア      | Introduction to Library Service Technology                           |   |   |
|                  |          |            | メディアコンテンツ表現法     | Children's Reading and the Media                                     |   |   |
| 生活環境領域           | 生活環境領域   | 生活環境領域     | 現代社会と家庭経営学       | Media Contents Expression                                            |   |   |
|                  |          |            | 家族社会学            | Life Economics                                                       |   |   |
|                  |          |            | 消費生活論            | Home Management in Modern Society                                    |   |   |
|                  |          |            | ライフプランニングⅠ       | Sociology of Family                                                  |   |   |
|                  |          |            | ビジネスの基礎Ⅰ         | Consumer Life                                                        |   |   |
|                  |          |            | ビジネスの基礎Ⅱ         | Life Planning                                                        |   |   |
|                  |          |            | マーケティング論         | Basic Business I                                                     |   |   |
|                  |          |            | ソーシャルマーケティング論    | Basic Business II                                                    |   |   |
|                  |          |            | 女性性起業論           | Marketing                                                            |   |   |
|                  |          |            | 暮らしと電気・エネルギー     | Social Marketing                                                     |   |   |
| 心理領域             | 心理領域     | 心理領域       | 住環境デザイン概論        | Female Business Promotion                                            |   |   |
|                  |          |            | 教育心理学概論          | Electricity and Energy for Daily Life                                |   |   |
|                  |          |            | 発達心理学概論          | Social and Psychological Study of Human Behavior Related to Clothing |   |   |
|                  |          |            | 現代青年の心理学         | Housing Environment Design                                           |   |   |
|                  |          |            | 高齢者の心理学          | Educational Psychology                                               |   |   |
|                  |          |            | 障害者・障害児心理学       | Developmental Psychology                                             |   |   |
|                  |          |            | 知覚・認知心理学         | Psychology of Adolescence                                            |   |   |
|                  |          |            | 学習・言語心理学         | Psychology of Aging                                                  |   |   |
|                  |          |            | 対人関係論            | Psychology for Adults & Children with Disabilities                   |   |   |
|                  |          |            |                  | Psychology of Perception and Cognition                               |   |   |

| 区        | 分           | 科      | 目    | 英                                         | 訳  |
|----------|-------------|--------|------|-------------------------------------------|----|
| 教育・こども領域 | 【専門演習・卒業研究】 | 家族心理学  | 臨床心理 | Family Clinical Psychology                | 学論 |
|          |             | 消費者行動  | 心理   | Introduction to Psychological Counseling  | 概  |
|          |             | 教育     | 育    | Psychology of Consumer Behavior           | 学  |
|          |             | 教育     | 育    | Principle of Education                    | 理  |
|          |             | ICT活用  | 方法   | History of Education                      | 史  |
|          |             | 情報環境   | 教育   | Study of Educational Methods              | 学  |
|          |             | 国際理解   | 教育   | Study of ICT Literacy for Education       | 育  |
|          |             | 算数     | 教育   | Information Education                     | 育  |
|          |             | 教育     | 教育   | Environmental Education                   | 育  |
|          |             | 特別支援   | 教育   | International Understanding Education     | 育  |
|          |             | 情報メディア | 活用   | Arithmetic                                | 数  |
|          |             | 情報科    | 教育   | Sociology of Education                    | 学  |
|          |             | 情報科    | 教育   | Education for Students with Special Needs | 育  |
|          |             | 社会情報   | 研究   | Using Multimedia Information Resources    | 用  |
|          |             | 卒業     | 研究   | Teaching Methods (Informatics) I          | I  |
|          |             |        |      | Teaching Methods (Informatics) II         | II |

## 17ー(6) 科目名の英訳対照表 (女性キャリアデザイン学環)

| 区分                             | 科目名                 | 英訳                                                  |
|--------------------------------|---------------------|-----------------------------------------------------|
| 女性キャリアデザイン学環<br>専門教育科目<br>基礎科目 | 女性キャリアデザイン概論        | SCHOOL OF WOMEN'S CAREER DEVELOPMENT MAJOR SUBJECTS |
|                                | 基礎演習Ⅰ               | Introduction to Women's Career Development          |
|                                | 基礎演習Ⅱ               | Basic Seminar I                                     |
|                                | 女性とライフキャリア          | Basic Seminar II                                    |
|                                | 子育てとワークライフバランス      | Life Career for Women                               |
|                                | ライフプランニング論          | Child-rearing and Work-life Balance Life Planning   |
|                                | ビジネスの基礎Ⅰ            | Basic Business I                                    |
|                                | ビジネスの基礎Ⅱ            | Basic Business II                                   |
|                                | ホスピタリティ入門           | Introduction to Hospitality Studies                 |
|                                | プレゼンテーション概論         | Introduction to Presentation                        |
|                                | Women in Leadership | Women in Leadership                                 |
| 展開科目                           | 現代社会と家庭経営           | Home Management in Modern Society                   |
|                                | 消費生活学               | Consumer Life                                       |
|                                | 家族社会学               | Life Economics                                      |
|                                | 生涯学習概論              | Sociology of Family                                 |
|                                | マーケティング論            | Introduction to Lifelong Learning Marketing         |
|                                | ソーシャルマーケティング論       | Social Marketing                                    |
|                                | 女性起業論               | Female Business Promotion                           |
|                                | ICTビジネス論            | Theory of ICT Business                              |
|                                | 消費者行動の心理学           | Psychology of Consumer Behavior                     |
|                                | 産業・組織心理学            | Industrial and Organizational Psychology            |
|                                | ホスピタリティ&キャリア        | Hospitality and Career                              |
|                                | 旅行観光業研究             | Travel and Tourism                                  |
|                                | ホテルビジネス研究           | Hotel Business                                      |
|                                | エアライン・サービス論         | Customer Service for the Airline Industry           |
|                                | エアライン・ビジネス論         | Airline Business Foundations                        |
|                                | 現代ジャーナリズム入門         | The Basics of Contemporary Journalism               |
|                                | 現代出版事情              | Modern Publication                                  |

19. 校舎・教室等  
配置図

18. 学則・規程等

17. 科目名英訳対照表等

16. 各部局等の案内

15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等

13. 留学・海外研修等

12. 免許・資格

| 区 分           | 科 目 名                                         | 英 記 録                                                 |
|---------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 実 践 ・ 統 合 科 目 | メディアコンテンツ表現法                                  | Media Contents Expression                             |
|               | 京都資料学                                         | Resources for Kyoto Studies                           |
|               | 京都市立総合資料館                                     | Studies in Kyoto                                      |
|               | 図書館サービス概論                                     | Introduction to Librarianship                         |
|               | 図書の読書とメディア                                    | Introduction to Library Services                      |
|               | 子どもと福祉                                        | Children's Reading and the Media                      |
|               | コミュニティと福祉                                     | Community Welfare                                     |
|               | 社会・集団・家族心理学                                   | Social, Group and Family Psychology                   |
|               | 国際関係論                                         | Principles of International Relations                 |
|               | 比較文化概論                                        | Introduction to Comparative Culture                   |
|               | 多文化理解                                         | Understanding of Multi-Culturalism                    |
|               | 識字活動と子どもの権利                                   | Literacy and the Right of Children                    |
|               | Popular Culture                               | Popular Culture                                       |
|               | Global Issues                                 | Global Issues                                         |
|               | ことばとコミュニケーション                                 | Language and Communication                            |
|               | 異文化間コミュニケーション                                 | Intercultural Communication                           |
|               | 対人コミュニケーション                                   | Interpersonal Communication                           |
|               | 日本語の朗読                                        | The Art of Oral Reading in Japanese                   |
|               | 接遇のための日本語                                     | Japanese Language Skills for the Hospitality Industry |
|               | ライフプランニング実習                                   | Field Studies in Life Planning                        |
|               | ホスピタリティ・スキル演習                                 | Hospitality Studies Workshop                          |
|               | ビジネスマナー演習                                     | Business Manners                                      |
|               | エアポート研修                                       | Airport Practicum                                     |
|               | 京都フィールドワーク研究                                  | Field Working in Kyoto                                |
|               | コミュニティ活動実践                                    | Practice of Community Activity                        |
|               | 海外キャリア実習                                      | Internship Abroad                                     |
|               | 海外文化研究                                        | Cultural Studies Abroad                               |
|               | 海外ボランティア実践                                    | Overseas Volunteer Program                            |
|               | プレゼンテーション演習                                   | Essential Presentation Skills                         |
|               | Study Abroad Preparation                      | Study Abroad Preparation                              |
|               | Global Career Skills Development              | Global Career Skills Development                      |
|               | Intercultural Communication and Acculturation | Intercultural Communication and Acculturation         |
|               | Argumentation and Debate                      | Argumentation and Debate                              |
|               | Public Speaking                               | Public Speaking                                       |
|               | Persuasive Communication                      | Persuasive Communication                              |
|               | ワークショップ (Will)                                | Career Workshop (Will)                                |
|               | ワークショップ (Can)                                 | Career Workshop (Can)                                 |
|               | ワークショップ (Must)                                | Career Workshop (Must)                                |
|               | ワークショップ (Ref)                                 | Career Workshop (Ref)                                 |

| 区 分       | 科 目 名               | 英 記 録                       |
|-----------|---------------------|-----------------------------|
| 専門演習・卒業研究 | フィールドワーク I (Will)   | Career Fieldwork I (Will)   |
|           | フィールドワーク I (Can)    | Career Fieldwork I (Can)    |
|           | フィールドワーク I (Must)   | Career Fieldwork I (Must)   |
|           | フィールドワーク I (Ref)    | Career Fieldwork I (Ref)    |
|           | フィールドワーク II (Will)  | Career Fieldwork II (Will)  |
|           | フィールドワーク II (Can)   | Career Fieldwork II (Can)   |
|           | フィールドワーク II (Must)  | Career Fieldwork II (Must)  |
|           | フィールドワーク II (Ref)   | Career Fieldwork II (Ref)   |
|           | フィールドワーク III (Will) | Career Fieldwork III (Will) |
|           | フィールドワーク III (Can)  | Career Fieldwork III (Can)  |
|           | フィールドワーク III (Must) | Career Fieldwork III (Must) |
|           | フィールドワーク III (Ref)  | Career Fieldwork III (Ref)  |
|           | フィールドワーク IV (Will)  | Career Fieldwork IV (Will)  |
|           | フィールドワーク IV (Can)   | Career Fieldwork IV (Can)   |
|           | フィールドワーク IV (Must)  | Career Fieldwork IV (Must)  |
|           | フィールドワーク IV (Ref)   | Career Fieldwork IV (Ref)   |
|           | 発展演習 I              | Advanced Seminar I          |
|           | 発展演習 II             | Advanced Seminar II         |
|           | 専門演習                | Junior Seminar              |
|           | 卒業研究                | Graduation Research         |

# 17-(7) 科目名の英訳対照表（資格関係）

| 区分                                     | 科目名                         | 英訳                                                                                                                                    |
|----------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教職に関する科目<br>教科及び教職に<br>関する科目           | 教職論                         | SUBJECTS FOR TEACHER'S<br>CERTIFICATE<br>Theory of Teacher's Profession                                                               |
|                                        | 教育史                         | History of Education                                                                                                                  |
|                                        | 教育経営論                       | Educational Administration and<br>Management                                                                                          |
|                                        | 教育課程論                       | Theory of Curriculum                                                                                                                  |
|                                        | 国語科教育法Ⅰ                     | Teaching Methods (Japanese) I                                                                                                         |
|                                        | 国語科教育法Ⅱ                     | Teaching Methods (Japanese) II                                                                                                        |
|                                        | 国語科教育法Ⅲ                     | Teaching Methods (Japanese) III                                                                                                       |
|                                        | 国語科教育法Ⅳ                     | Teaching Methods (Japanese) IV                                                                                                        |
|                                        | 道徳の指導法                      | Guidance for Teaching (Moral<br>Education)                                                                                            |
|                                        | 特別活動・総合的な<br>学習の時間          | Guidance for Teaching<br>(Extracurricular Activities and the<br>Period for Integrated Studies)                                        |
|                                        | 教育の方法及び技術                   | Principles in Teaching                                                                                                                |
|                                        | 教育方法の評価                     | Study of Educational Methods<br>Educational Evaluation                                                                                |
|                                        | ICT活用教育<br>生徒指導・進路指導の理論及び方法 | Study of ICT Literacy for Education<br>Theory and Methods for School and<br>Career Guidance                                           |
| 教科・教職に<br>関する科目<br>学校図書館司書教<br>諭に関する科目 | 教育相談の理論及び方法                 | Theory and Methods for Educational<br>Guidance                                                                                        |
|                                        | 中等教育実習事後指導                  | Pre- and Post-Guidance for Teaching<br>Practice in Secondary Education                                                                |
|                                        | 中等教育実習Ⅰ                     | Teaching Practice in Secondary<br>Education I                                                                                         |
|                                        | 中等教育実習Ⅱ                     | Teaching Practice in Secondary<br>Education II                                                                                        |
|                                        | 教職実践等体験                     | Practical Education<br>Care Work Experience                                                                                           |
|                                        | 学校経営と学校図書館<br>の構成           | SUBJECTS FOR TEACHER<br>LIBRARIAN'S CERTIFICATE<br>Introduction to School Librarianship<br>Managing School Library Media<br>Resources |
|                                        | 学校図書館メディアの構成                |                                                                                                                                       |
|                                        |                             |                                                                                                                                       |
|                                        |                             |                                                                                                                                       |
|                                        |                             |                                                                                                                                       |

| 区分                  | 科目名        | 英訳                                                                                          |
|---------------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 図書館司書に<br>関する科目     | 学習指導と学校図書館 | Education and School Library<br>Services                                                    |
|                     | 読書と豊かな人間性  | Theories of Reading and Personal<br>Development in Schools                                  |
|                     | 情報メディアの活用  | Using Multimedia Information<br>Resources                                                   |
|                     |            | UBJECTS FOR LIBRARIAN'S<br>CERTIFICATE                                                      |
|                     | 生涯学習概論     | Introduction to Lifelong Learning                                                           |
|                     | 図書館概論      | Introduction to Librarianship                                                               |
|                     | 図書館制度・経営論  | Introduction to Library Administration<br>and Management                                    |
|                     | 図書館情報技術論   | Introduction to Library Service<br>Technology                                               |
|                     | 図書館サービス概論  | Introduction to Library Services                                                            |
|                     | 情報サービスⅠ    | Introduction to Information Services                                                        |
|                     | 情報サービスⅡ    | Library Service for Children                                                                |
|                     | 情報サービスⅠ    | Practicum of Information Retrieval                                                          |
|                     | 情報サービスⅡ    | Practicum of Information Services II                                                        |
| 日本語教員養成課程に<br>関する科目 | 京都府資源組織論   | Resources for Kyoto Studies                                                                 |
|                     | 情報資源組織論    | Introduction to Library Material<br>Organization                                            |
|                     | 情報資源組織演習Ⅰ  | Practicum of Library Material<br>Organization I                                             |
|                     | 情報資源組織演習Ⅱ  | Practicum of Library Material<br>Organization II                                            |
|                     | 図書館基礎特論    | Fundamentals of Library and<br>Information Science                                          |
|                     | 図書館情報資源概論  | Special Lecture on Library Services<br>Introduction to Library and Information<br>Resources |
|                     | 図書・図書館史    | History of Book and Libraries                                                               |
|                     | 図書館総合演習    | Comprehensive Studies in Library and<br>Information Science                                 |
|                     | 図書館実習      | Library Practicum                                                                           |
|                     | 日本語教授法     | Teaching Methods<br>(Japanese as a Second Language)                                         |
|                     | 日本語教育実践Ⅰ   | Teaching Practice<br>(Japanese as a Second Language) I                                      |
|                     | 日本語教育実践Ⅱ   | Teaching Practice<br>(Japanese as a Second Language) II                                     |

19. 校舎・教室等  
配置図

18. 学則・規程等

17. 科目英訳対照表等

16. 各部局等の案内

15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等

13. 留学・海外研修等

12. 免許・資格



12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・  
試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・  
経済的支援

16. 各部署等の案内

17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等  
配置図

## 18. 京都ノートルダム女子大学学則・規程等





(目的)

第 1 条 京都ノートルダム女子大学 (以下「本学」という。) は、教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、深く専門の学芸を教授研究するとともに、カトリック精神及び日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成して我が国文化の推進に寄与することを目的とする。

2 本学は、その目的の実現のため、教育、研究活動を通じて社会との連携を深めるとともに、社会の発展に寄与するものとする。

(自己点検・評価)

第 1 条の 2 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動の状況について自己点検及び評価を実施し、その改善・充実に努める。

2 自己点検及び評価の実施体制並びに方法については、別に規程で定める。

(学部)

第 2 条 本学に国際言語文化学部及び現代人間学部を置く。

(1) 国際言語文化学部は、言語・歴史・文学・思想・芸術・倫理・宗教など、人々の生活形成の様式と内容の総体である「文化」という視点から、「人間」存在の意味やその営為のありさまを学際的に学び、文化の多様性を理解し、異文化に対する寛容な国際感覚を身につけ、幅広く社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

(2) 現代人間学部は、人間やその生活、社会、自然に対する総合的な理解に基づき実践的な能力を身につけた人材を養成するため、学際的な学びを深め、専門知識の向上に相乗効果を発揮させた総合的な教育研究を行うことを目的とする。

(学環)

第 2 条の 2 本学に大学設置基準 (昭和 31 年文部省令第 28 号) に定める学部等連係課程実施基本組織として、社会情報学環及び女性キャリアデザイン学環を置く。

(1) 社会情報学環は、社会における情報の意味とその働きを理解し、情報を科学的に取り扱うための基礎的な知識・技能と態度を身につけるとともに、自ら問いを立て、主体的に解決をめざせる能力を身につけることを目的とし、社会学、心理学、教育学など関連する人文・社会諸科学による学際的な教育研究を行う。

(2) 女性キャリアデザイン学環は、多様な文化を理解し、異文化に対する態度、プレゼンテーション力や ICT 活用力を養うと同時に、海外留学等による実践的な学びと、生涯を通して人が成長し、社会性を獲得し、周囲を巻き込んで課題解決する力をつける一連の営みに関する理論的な学びとを往還しながらライフキャリア形成のあり方を考究し、文学、社会学、心理学、教育学など関連する人文諸科学による学際的・総合的な教育研究を行う。

(学科)

第 3 条 国際言語文化学部は英語英文学科、国際日本文化学科の 2 学科を置き、現代人間学部は生活環境学科、心理学科及びこども教育学科の 3 学科を置く。

2 現代人間学部こども教育学科に保育士養成課程 (指定保育士養成施設) を置き、保育士養成課程に関し必要な事項は、別に規程で定める。

(修業年限)

第 4 条 本学の修業年限は、4 年とする。ただし、3 年次編入学生の修業年限は 2 年とする。

(在学期間)

第 5 条 在学期間は、8 年を超えることはできない。ただし、転入学生及び編入学生の在学期間は、修業年限の 2 倍までとする。

(学生定員)

第 6 条 本学の学生定員は、次のとおりとする。

| 学部・学環        | 学 科      | 入学定員       | 収容定員         |
|--------------|----------|------------|--------------|
| 国際言語文化学部     | 英語英文学科   | 55 《25》人   | 220 《100》人   |
|              | 国際日本文化学科 | 35 【 5】    | 140 【20】     |
| 生活環境学科       | 生活環境学科   | 70 【12】《5》 | 280 【48】《20》 |
|              | 心理学科     | 100 【 7】   | 400 【28】     |
| 現代人間学部       | こども教育学科  | 70 【 6】    | 280 【24】     |
| 社会情報学環       |          | 30         | 120          |
| 女性キャリアデザイン学環 |          | 30         | 120          |

備考 社会情報学環及び女性キャリアデザイン学環の入学定員及び収容定員は、国際言語文化学部及び現代人間学部の内数とし、社会情報学環は

【 1】、女性キャリアデザイン学環は《 》において、各学科に係る内数を示す。

(学年)

第 7 条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(学期)

第 8 条 学年を分けて、次の 2 学期とする。

前 期 4 月 1 日から 9 月 30 日まで  
後 期 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

(休業日)

第 9 条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律 (昭和 23 年法律第 178 号) に定める休日
- (3) 創立記念日 (12 月 8 日)
- (4) 春期休業日 (3 月 21 日から 4 月 7 日まで)
- (5) 夏期休業日 (8 月 1 日から 9 月 30 日まで)
- (6) 冬期休業日 (12 月 24 日から翌年 1 月 7 日まで)

2 学長は、必要により、臨時に休業し、又は、休業日に授業を課すことがある。

第5章 教育課程、授業科目及び単位

(教育課程、授業科目及び単位)

第10条 教育課程、授業科目及び単位に關することは、別に規程で定める。

第11条 (削除)

(授業期間)

第12条 1年間の授業を行う期間は、35週を原則とする。

(授業の方法)

第13条 授業は、講義、演習、実験、実習及び実技により行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

4 第21条第2項に定める卒業の要件として修得すべき単位のうち、第2項の授業の方法により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

(単位の授与)

第14条 授業科目の履修は、単位制とし、履修した授業科目に対しては、試験その他の大学が定める適切な方法により学修の結果を評価して、単位を与えるものとする。ただし、第18条第2項の授業科目については、別に定める基準により単位を与えることができる。

2 成績評点は、100点を満点とし、60点以上を合格とする。ただし、100点を満点とする評価を行うことが難しい授業科目については、別に定める方法によることができる。

第15条 (削除)

(入学前の既修単位等の認定)

第16条 教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位 (科目等履修生として修得したものを含む) を、入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 教育上有益と認めるときは、学生が入学前に行った第17条の2に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなすことができる単位数又は与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについて、合わせて60単位を超えないものとする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第17条 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協定に基づき、当該大学等の授業科目を履修させ、修得した単位のうち60単位を超えない範囲で本学の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、第31条の規定による留学の場合に準用する。この場合において、本学の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる単位数は、前条及び前項の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第17条の2 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校専攻科における学修その他の文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。この場合において、与えることができる単位は、前二条の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(単位算定の基準)

第18条 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位

(3) 1の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して別に定める時間の授業をもって1単位

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

(履修登録単位数の制限)

第18条の2 各次にわたって適切に授業科目を履修するため、1年間及び1学期間に履修登録することができる単位数を制限する。

2 履修登録単位数の制限及びその取り扱いについては、別に規程で定める。

(教育職員免許状の取得)

第19条 教育職員免許状取得のための所要資格を得ようとする者は、教育職員免許法の定めるところに従って必要な単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる免許状の種類は、次のとおりとする。

| 国際言語文化学部 | 英語英文学科   | 中学校教諭一種免許状<br>高等学校教諭一種免許状 | 外国語<br>(英語) |
|----------|----------|---------------------------|-------------|
|          | 国際日本文化学科 | 中学校教諭一種免許状<br>高等学校教諭一種免許状 | 国語          |
| 現代人間学部   | 生活環境学科   | 中学校教諭一種免許状<br>高等学校教諭一種免許状 | 家庭          |
|          | こども教育学科  | 幼稚園教諭一種免許状<br>小学校教諭一種免許状  |             |
| 社会情報学環   |          | 高等学校教諭一種免許状               | 情報          |

(司書資格の取得)

第20条 司書となる資格を得ようとする者は、図書館法の定めるところに従って本学所定の必要な単位を修得しなければならない。

第20条の2 (削除)

(司書教諭資格の取得)

第20条の3 司書教諭となる資格を得ようとする者は、第19条に定める科目を履修するほか学校図書館法の定めるところに従って本学所定の必要な単位を修得しなければならない。

(保育士資格の取得)

第20条の4 現代人間学部こども教育学科において、保育士となる資格を得ようとする者は、児童福祉法施行令及び児童福祉法施行規則の定めるところにより、第10条に定める科目の単

位を修得しなければならない。

第20条の5 (削除)

第20条の6 (削除)

(公認心理師受験資格の取得)

第20条の7 現代人間学部心理学科において、公認心理師受験資格を得ようとする者は、公認心理師法の定めるところにより、本学が別に定める科目の単位を修得しなければならない。

(登録日本語教員資格取得のための日本語教員試験の基礎試験免除資格の取得)

第20条の8 登録日本語教員資格取得のための日本語教員試験の基礎試験免除資格を得ようとする者は、日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律の定めるところにより、本学が別に定める科目の単位を修得しなければならない。

## 第6章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位)

第21条 本学に在学し、所定の授業科目を履修して、その単位を修得した学生には卒業証書を授与する。

2 卒業の要件となる単位の修得については、別に定める。

3 卒業の時期は、学年の終わり又は学期の終わりとする。

4 本学を卒業した者に、次の学士の学位を授与する。

|              |               |
|--------------|---------------|
| 国際言語文化学部     | 学士 (文学)       |
| 英語英文学科       | 学士 (人間文化)     |
| 国際日本文化学科     |               |
| 現代人間学部       | 学士 (生活環境)     |
| 生活環境学科       | 学士 (心理学)      |
| 心理学科         | 学士 (こども教育)    |
| こども教育学科      | 学士 (社会情報)     |
| 社会情報学環       | 学士 (キャリアデザイン) |
| 女性キャリアデザイン学環 |               |

(卒業延期)

第21条の2 卒業の要件を満たした者が卒業時期の延期を希望するときは、これを許可することができる。

2 卒業延期について必要な事項は、別に定める。

## 第7章 入 学

(入学時期)

第22条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、外国人留学生の入学の時期は、別に定める。

(入学資格)

第23条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する女子とする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常課程による12年の学校教育を修了した者 (通常課程以外の課程により、これに相

当する学校教育を修了した者を含む。)

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者

(7) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者

(入学願)

第24条 本学に入学を志願する者は、所定の期日までに入学願書の提出その他の必要な手続きをしなければならない。

(入学許可)

第25条 学長は、学科試験その他の成績により選考の上、入学を許可する。

(入学手続)

第26条 入学を許可された者は、所定の期日までに在学誓書及び在学保証書の提出及びその他の必要な入学手続きをしなければならない。

2 入学を許可された者が前項の手続きをしないときは、入学許可を取り消すことができる。

(保証人)

第27条 保証人は、父母又はこれに代わるべき者で、独立の生計を営み、保証人としての責務を確実に果たし得る者でなければならない。

2 父母又はこれに代わるべき者の許から直接通学できない者は、副保証人を必要とする。

3 副保証人は、京都市内又はその附近に在住する成年者で本学が適当と認めた者とする。ただし、外国人留学生にあつては、別に定める。

4 保証人は、その学生の在学中における一切のことについて連帯の責任を負わなければならない。

5 保証人が死亡し、又はその他の理由によって資格を失ったときは、新たに保証人を定めて届け出るものとする。

## 第8章 転入学、編入学、転学部、転学科、留学、休学、退学、除籍及び再入学

(転入学)

第28条 他の大学から、本学に転入学しようとする者は、転入学願を提出しなければならない。

2 学長は審査の上、転入学を許可する。

3 転入学願には、現に在学する大学の学長の承諾書を添付しなければならない。

(編入学)

第29条 本学に編入学しようとする者は、編入学願を提出しなければならない。

2 学長は、3年次の学科の学年定員を超えない範囲で、3年次に編入学を許可する。

3 前項の規定にかかわらず、2年次の学科の学年定員を超えない範囲で、2年次に編入学により学生を受け入れることがある。この場合の修業年限は3年とする。

4 前2項の規定により本学に編入学を志願できる者は、次のとおりとする。

- (1) 3年次編入にあつては、大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し、卒業要件となる単位を62単位以上修得した者又は修得見込みの者とし、2年次編入にあつては、大学を卒

業した者又は大学に1年以上在学し、卒業要件となる単位を31単位以上修得した者又は修得見込みの者とする。

(2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立工業技術教員養成所を卒業した者(卒業見込みの者を含む。)

(3) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又は修了見込みの者。ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有するものに限る。

(4) 高等学校等の専攻科のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又は修了見込みの者。

5 前4項に定めるほか、編入学に関し必要な事項は、別に規程で定める。

(転出)

第30条 本学から他の大学に転学しようとする者は、その事由を具して学長に願ひ出て許可を受けなければならない。

(転学部等)

第30条の2 本学の学生で転学部及び転学科(学環に係る異動を含む。以下「転学部等」という。)を希望する者があるときは、学年の始めに限り選考の上、これを許可することがある。

2 前項の規定にかかわらず、学長が教育上特に必要と認める場合には、学期の始めに転学部等を許可することができる。

3 転学部等に関し必要な事項は、別に規程で定める。

(留学)

第31条 外国の大学で学修しようとする者は、留学願を提出しなければならない。

2 学長は、留学の期間が1年を超えない期間の範囲で留学を許可する。ただし、特別の事情があるときは、さらに1年以内に限り延長の許可をすることがある。

3 留学の期間は、在学の期間に算入する。

(休学及び復学)

第32条 疾病その他やむを得ない事由により引き続き3ヵ月以上休学しようとする者又は休学の事由が止み復学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。なお、疾病の場合は医師の診断書の提出を要する。

(休学の期間)

第32条の2 休学の期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の事由があるときは、学長の許可を得て、さらに1年以内に限り休学することができる。

2 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学の期間は、在学の期間に算入しない。

(退学)

第33条 退学しようとする者は、その事由を具して、保証人連署の上、学長に願ひ出て許可を受けなければならない。

(除籍)

第33条の2 学生が次の各号の一に該当するときは、除籍することができる。

(1) 第5条に掲げる在学期間を超えたとき。

(2) 第32条の2に規定する休学期間を超えてもなお復学できないとき。

(3) 病氣その他の事由により成業の見込みがないと認められるとき。

(4) 授業料及び教育充実費又は在籍料の納入を怠り、督促を受けてもなお納入しないとき。

(5) 死亡したとき。

(6) 長期にわたり行方不明となったとき。

2 前項第4号により除籍された者が、別に定める期間内に未納の額を納入し、復籍を願ひ出たときは、除籍を取り消すことがある。

(再入学)

第34条 本学を退学し再度入学を希望する者があるときは、審査の上、これを許可することがある。

2 再入学に関し必要な事項は、別に規程で定める。

## 第9章 学生納入金

(入学検定料、入学金及び授業料等)

第35条 入学検定料、入学金、授業料及び教育充実費は、別表に定めるとおりとする。

2 前項の費用のほか、実習費等を徴収する場合がある。

3 既納の入学検定料、入学金、授業料及び教育充実費料は、返還しない。

(納入期)

第36条 入学検定料及び入学金は、指定する期日までに納めなければならない。

2 授業料及び教育充実費は、年額の2分の1相当額を次の納入期に納めなければならない。ただし、新入学生にあっては、別に納入期日を設ける。期日までに納入がないときは、入学の許可を取り消すことがある。

| 学期 | 納入期             |
|----|-----------------|
| 前期 | 4月1日から4月30日まで   |
| 後期 | 10月1日から10月31日まで |

第36条 (削除)

第37条 (削除)

(授業料等の延納及び分納)

第38条 授業料及び教育充実費の全部又は一部を指定する期日までに納入できない事由があるときは、遅滞なく願ひ出て延納又は分納の許可を受けなければならない。

2 前項の延納及び分納に関し必要な事項は、別に規程で定める。

(休学中の在籍料)

第39条 学年又は学期を通して休学を許可された場合は、別表に定める在籍料を指定する期日までに納めなければならない。

2 既納の在籍料は、返還しない。

(入学検定料、入学金及び授業料等の減免)

第40条 成績優秀にして、学資の支弁が極めて困難な者、その他本学が定める条件を満たす者には、入学検定料、入学金、授業料及び教育充実費を減免することがある。

2 前項の減免に関し必要な事項は、別に規程で定める。

(奨学金)

第41条 成績優秀な者又は経済的理由により修学困難な者には、選考の上、奨学金を支給又は貸与することができる。

2 奨学生及び奨学金に関し必要な事項は、別に規程で定める。

#### 第10章 科目等履修生、単位互換履修生、聴講生、外国人留学生及び外国人研究員

(科目等履修生・単位互換履修生)

第42条 本学の学生以外の者で、本学の授業科目のうち、1又は複数の授業科目の履修を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考の上、科目等履修生として許可することができる。

2 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）の学生で、大学間の協定に基づき、特定の授業科目を定め履修を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限り、選考の上、単位互換履修生として許可することができる。

3 科目等履修生及び単位互換履修生に対する単位の授与については第14条の規定を準用する。

4 科目等履修生及び単位互換履修生に関し必要な事項は、別に規程で定める。

(聴講生)

第43条 本学の学生以外の者で、本学の授業科目のうち、1又は複数の授業科目の聴講を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考の上、聴講生として許可することができる。

2 聴講生に関し必要な事項は、別に規程で定める。

(外国人留学生)

第44条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する女子及び外国の大学との協定に基づき、本学に留学を希望する女子があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に規程で定める。

(外国人研究員)

第45条 外国の大学との協定に基づき、本学において研究を希望する者があるときは、選考の上、外国人研究員として受け入れることがある。

#### 第11章 公開講座

(公開講座)

第46条 本学は、随時に公開講座を開設することがある。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第12章 賞 罰

(表彰)

第47条 学生として品行方正で学業優秀な者、又は他の学生の範とすべき篤行ある者には、表彰することがある。

(懲戒)

第48条 学則その他本学の定める諸規程に違反し、学生の本分に反する行為のあったときは、学長は懲戒を行う。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号に該当する学生に対してのみ行う。

- (1) 品行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の理由なくして出席常でない者
- (4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

#### 第13章 職員組織

(職員)

第49条 本学に学長、教授、准教授、講師及び助教並びに事務職員その他職員を置く。

2 本学に副学長を置くことがある。副学長は学長を助け、学長の命を受け校務をつかさどる。

3 学部に学部長を置く。学部長は学部を統括し、校務をつかさどる。

4 学環に学環長を置く。学環長は学環を統括し、校務をつかさどる。

5 学科に学科主任を置く。学科主任は学科の業務を掌理する。

(教授会)

第50条 学部及び学環に学校教育法第93条第1項に規定する教授会を置く。

(教授会の審議事項)

第51条 教授会の審議事項は、別に規程で定める。

#### 第14章 教育研究センター

(教育研究センター)

第52条 本学に次の教育研究センターを置く。

- (1) 教育センター
- (2) キャリアセンター
- (3) カトリック教育センター
- (4) 国際教育センター

2 教育研究センターに関する必要な事項は、別に規程で定める。

#### 第15章 図書館情報センター

(図書館情報センター)

第53条 本学に図書館情報センターを置く。

2 図書館情報センターに関する必要な事項は、別に規程で定める。

#### 第16章 附属施設

(附属施設)

第54条 本学に次の附属施設を置く。

- (1) 心理臨床センター
  - (2) 学生寮
- 2 附属施設に関し必要な事項は、別に規程で定める。

#### 第17章 補 則

(細則)

第55条 この学則の実施に際し必要な事項は、別に細則で定める。

(学則の改正)  
 第56条 この学則の改正には、大学評議会の議を経て、学校法人ノートルダム女学院理事会の承認を得るものとする。

附 則  
 この学則は、昭和36年4月1日から施行する。

附 則 (昭和41年3月22日改正)  
 この改正は、昭和41年4月1日から施行する。

附 則 (昭和42年3月20日改正)  
 この改正は、昭和42年4月1日から施行する。但し、昭和42年3月31日以前の入学者の授業料については、従前の例による。

附 則 (昭和43年3月20日改正)  
 この改正は、昭和43年4月1日から施行する。

附 則 (昭和44年3月20日改正)  
 この改正は、昭和44年4月1日から施行する。但し、昭和44年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和46年3月20日改正)  
 この改正は、昭和46年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は、同年1月1日から適用する。なお、昭和46年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。但し、第10条別表の改正は、この限りでない。

附 則 (昭和47年3月20日改正)  
 この改正は、昭和47年4月1日から施行する。但し、昭和47年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和48年3月20日改正)  
 この改正は、昭和48年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は、同年1月1日から適用する。

附 則 (昭和49年3月20日改正)  
 この改正は、昭和49年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は、同年1月1日から適用する。なお昭和49年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和50年3月20日改正)  
 この改正は、昭和50年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は、同年1月1日から適用する。なお昭和50年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和51年3月20日改正)  
 この改正は、昭和51年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は、同年1月1日から適用する。なお昭和51年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和52年3月22日改正)  
 この改正は、昭和52年4月1日から施行する。なお、昭和52年3月31日以前の入学者の授業

業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和53年3月20日改正)  
 この改正は、昭和53年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は、同年1月1日から適用する。なお昭和53年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和54年3月20日改正)  
 この改正は、昭和54年4月1日から施行する。但し、昭和54年3月31日以前の入学者の授業料および別表については、なお従前の例による。

附 則 (昭和55年3月21日改正)  
 この改正は、昭和55年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は昭和54年11月1日から適用する。なお昭和55年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和56年3月20日改正)  
 この改正は、昭和56年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は、昭和55年11月1日から適用する。なお昭和56年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和57年3月20日改正)  
 この改正は、昭和57年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は、昭和56年11月1日から適用する。なお昭和57年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和58年3月15日改正)  
 この改正は、昭和58年4月1日から施行する。但し、昭和58年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和59年3月15日改正)  
 この改正は、昭和59年4月1日から施行する。但し、昭和59年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和60年3月15日改正)  
 この改正は、昭和60年4月1日から施行する。但し、昭和60年3月31日以前の入学者の授業料については、なお従前の例による。

附 則 (昭和61年3月15日改正)  
 この改正は、昭和61年4月1日から施行する。但し、昭和61年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則 (昭和62年3月16日改正)  
 この改正は、昭和62年4月1日から施行する。但し、第32条の改正は、昭和61年11月1日から適用する。なお昭和62年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則 (昭和63年3月16日改正)  
 この改正は、昭和63年4月1日から施行する。但し、昭和63年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。



附 則 (平成元年3月16日改正)  
この改正は、平成元年4月1日から施行する。但し、平成元年3月31日以前の入学者にについては、なお従前の例による。

附 則 (平成2年3月20日改正)  
この改正は、平成2年4月1日から施行する。但し、第33条第1項の改正は、平成元年11月1日から適用する。なお、平成2年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則 (平成3年3月6日改正)  
この改正は、平成3年4月1日から施行する。但し、平成3年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則 (平成4年1月22日改正)  
この改正は、平成4年4月1日から施行する。但し、第33条第1項の改正は、平成3年11月1日から適用し、第7章の改正は、平成4年3月1日から適用する。なお、平成4年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則 (平成5年1月20日改正)  
この改正は、平成4年から施行する。但し、第32条の改正は、平成4年10月1日から適用する。なお、平成5年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則 (平成6年3月11日改正)  
この改正は、平成6年4月1日から施行する。ただし、第35条第1項の改正は、平成5年10月1日から適用する。なお、平成6年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則 (平成7年1月17日改正)  
この改正は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第36条の改正は、平成6年10月1日から適用する。なお、平成7年3月31日以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則 (平成8年1月16日改正)  
この改正は、平成8年4月1日から施行する。ただし、第36条の改正は、平成7年10月1日から適用する。なお、平成8年3月31日以前の入学者については、第11条別表の生活文化学科専門教育科目のうち平成7年度以前入学者にも適用する3科目及び特定目的海外研修科目を除き、なお従前の例による。

附 則 (平成9年1月14日改正)  
1 この改正は、平成9年4月1日から施行する。ただし、第36条の改正は、平成8年10月1日から適用する。なお、平成9年3月31日以前の入学者については、第11条別表の英語英文学科専門教育科目のうち平成8年度以前入学者にも適用する3科目及び特定目的海外研修科目を除き、なお従前の例による。  
2 第11条別表の司書に関する科目は、図書館法施行規則の一部改正(平成8年8月28日省令第27号)に伴い平成9年4月1日に改正し、平成10年4月1日から施行する。ただし、旧規程と新規規程の経過措置として旧規程の科目を平成10年3月31日まで存続させ、平成8年度以前入学者については、平成12年3月31日までの間、旧規程で修得した科目の単位を新規規程の相当する科目の単位とみなす。

附 則 (平成10年1月20日改正)  
1 この改正は、平成10年4月1日から施行する。  
2 第15条、第16条の改正、及び別表(第11条関係)の改正における教養共通科目総合科

目「コンピュターの基礎」については、平成10年度以後の入学者に適用する。  
3 第34条及び第36条の改正は、平成9年10月1日から適用する。ただし、平成9年度以前前の入学者に係る授業料の年額については、改正後の第36条の規定にかかわらず、なお従前の例による。  
4 平成9年度以前において、本学との協定に基づき、本学の授業科目を履修した他大学(外国の大学を含む。)の学生については、改正後の第42条の規定により履修したものとす。  
5 別表(第11条関係)の英語英文学科専門教育科目「同時通訳法」の改正に係る経過措置については、当該学科の定めるところによる。

附 則 (平成10年12月18日改正)  
1 この改正は、平成11年4月1日から施行する。  
2 第36条の2は、平成10年10月1日から適用する。ただし、平成10年度以前の入学者に係る授業料の年額については、第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。  
3 第40条の改正は、平成10年10月1日から適用する。ただし、平成10年度以前の入学者に係る休学中の授業料については、改正後の第40条の規定にかかわらず、なお従前の例による。  
4 第49条及び第50条の改正は、平成11年1月1日から適用する。  
5 別表(第11条関係)の英語英文学科専門教育科目「同時通訳入門」「外国語としての日本語」に係る経過措置については、当該学科の定めるところによる。  
6 別表(第11条関係)の生活文化学科専門教育科目「住生活学」「住宅論」「住居史」「住宅構造学Ⅰ・Ⅱ」「住居材料学実習」「家庭教育」に係る経過措置については、当該学科の定めるところによる。

附 則 (平成11年12月22日改正)  
1 この改正は、平成12年4月1日から施行する。  
2 第2条、第3条、第6条、第10条、第11条、第15条、第19条及び第21条の改正は、平成12年度入学生から適用し、平成11年度以前の入学生については、なお従前の例による。  
3 改正後の第6条に定める英語英文学科及び生活文化学科の平成12年度から平成14年度までの収容定員に係る経過措置については、次のとおりとする。  
平成12年度 英語英文学科 収容定員 710名 生活文化学科 収容定員 240名  
平成13年度 " " 620名 " " 160名  
平成14年度 " " 530名 " " 80名

附 則 (平成12年12月21日改正)  
1 この改正は、平成13年4月1日から施行する。  
2 改正後の第6条に定める英語英文学科の平成13年度から平成14年度までの収容定員については、第6条の規定にかかわらず次のとおりとする。  
平成13年度 英語英文学科 収容定員 642名  
平成14年度 英語英文学科 収容定員 574名  
3 第11条(別表)(博物館学芸員に関する科目を除く)の改正は、平成13年度入学者から適用し、平成12年度以前の入学者については、なお従前の例による。  
4 第19条の改正は、平成13年度入学者から適用し、平成12年度以前の入学者については、なお従前の例による。  
5 第10条、第11条及び第20条の2の改正については、平成12年度以後入学者のうち人間文化学科入学者に適用し、平成11年度以前の入学者については、なお従前の例による。  
6 第30条の2の改正は、平成12年度入学者から適用し、平成11年度以前の入学者については、なお、従前の例による。

附 則 (平成13年12月12日改正)

14

この改正は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 14 年 3 月 12 日改正)

この改正は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 14 年 12 月 9 日改正)

この改正は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 15 年 3 月 15 日改正)

この改正は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 15 年 12 月 18 日改正)

1 第 3 4 条に関する改正は、平成 16 年 1 月 1 日から施行する。

2 第 5 4 条に関する改正は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

3 第 1 0 条、第 1 1 条、第 1 1 条 (別表) 及び第 1 5 条の改正は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

なお、この改正は、平成 16 年度入学者から適用し、平成 15 年度以前の入学者については従前の例による。

附 則 (平成 16 年 12 月 22 日改正)

1 この改正は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 2 条、第 3 条、第 6 条、第 1 0 条、第 1 1 条、第 1 1 条別表 (人間文化学部の「キリスト教音楽」「キャリア形成」「ことばの習得」「演劇法の基礎」「演劇法」「栄養学概論」「ライフステージと食生活」「食品官能評価論」及び「食品流通論」を除く。)、第 1 5 条、第 1 9 条及び第 2 1 条の改正は、平成 17 年度入学者から適用し、平成 16 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

3 改正後の第 6 条に定める人間文化学科及び生涯発達心理学科の平成 17 年度から平成 19 年度までの収容定員に係る経過措置については、次のとおりとする。

平成 17 年度 人間文化学科 収容定員 211 名 生涯発達心理学科 収容定員 389 名

平成 18 年度 人間文化学科 収容定員 226 名 生涯発達心理学科 収容定員 274 名

平成 19 年度 人間文化学科 収容定員 241 名 生涯発達心理学科 収容定員 137 名

附 則 (平成 17 年 3 月 9 日改正)

この改正は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 17 年 12 月 21 日改正)

1 この改正は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 1 1 条 (別表) の改正は、平成 18 年度入学者から適用し、平成 17 年度以前の入学者については、なお従前の例による。ただし、「インタナショナル」「英語で学ぶ日本文化」「日中文化交流史」「専門書講読Ⅰ」「専門書講読Ⅱ」及び「教育経営論」に係る改正は、平成 16 年度入学者から適用し、平成 15 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

3 第 1 9 条の改正は、平成 18 年度入学者から適用し、平成 17 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

附 則 (平成 18 年 3 月 31 日改正)

この改正は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

文学部生活文化学科は、平成 18 年 3 月 31 日をもって廃止する。

附 則 (平成 18 年 11 月 22 日改正)

1 この改正は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 2 条、第 3 条、第 6 条、第 1 5 条、第 1 9 条、第 2 0 条の 4、及び第 2 1 条の改正は、平成 19 年度入学者から適用し、平成 18 年度以前の入学生については、なお従前の例による。

3 改正後の第 6 条に定める人間文化学部生活福祉文化学科の平成 19 年度から平成 21 年度までの収容定員に係る経過措置については、次のとおりとする。

平成 19 年度 人間文化学部生活福祉文化学科収容定員 293 名

平成 20 年度 人間文化学部生活福祉文化学科収容定員 190 名

平成 21 年度 人間文化学部生活福祉文化学科収容定員 95 名

附 則 (平成 18 年 12 月 20 日改正)

1 この改正は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 1 1 条別表 (小学校教育実習及び幼稚園教育実習に係るものを除く。) の改正は、平成 19 年度入学者から適用し、平成 18 年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則 (平成 19 年 3 月 20 日改正)

この改正は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 6 月 27 日改正)

この改正は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 9 月 26 日改正)

この改正は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 19 年 12 月 19 日改正)

1 この改正は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 1 0 条、第 1 1 条及び第 1 1 条別表の改正は、平成 20 年度入学者から適用し、平成 19 年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則 (平成 20 年 1 月 30 日改正)

この改正は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 20 年 7 月 23 日改正)

この改正は、平成 20 年 7 月 24 日から施行する。ただし、別表 1 の改正は、平成 21 年度入学者から適用し、平成 20 年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則 (平成 20 年 12 月 24 日改正)

1 この改正は、平成 20 年 12 月 25 日から施行する。

2 第 1 5 条の人間文化学科に係る改正は、平成 20 年度入学者から適用し、平成 19 年度以前の入学生については、なお従前の例による。

3 別表 1 の改正は、平成 21 年度入学者から適用し、平成 20 年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附 則 (平成 21 年 1 月 28 日改正)

1 この改正は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の第 6 条に定める人間文化学部人間文化学科の平成 22 年度の収容定員に係る経過措置については、次のとおりとする。

平成 22 年度 人間文化学部人間文化学科 収容定員 248 名

附 則 (平成 21 年 3 月 18 日改正)

この改正は、平成 21 年 3 月 19 日から施行する。ただし英語Ⅲ・Ⅳ（リーディング&ライティング）及び生活福祉文化学部のノートルダム学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに係る改正は、平成 20 年度入学者から適用し、平成 19 年度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（平成 21 年 5 月 20 日改正）

この改正は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 21 年 10 月 28 日改正）

この改正は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 21 年 12 月 24 日改正）

この改正は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 22 年度入学生から適用し、平成 21 年度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（平成 22 年 1 月 27 日改正）

この改正は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 3 月 17 日改正）

この改正は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 5 月 28 日改正）

この改正は、平成 22 年 5 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 10 月 19 日改正）

この改正は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 23 年度入学生から適用し、平成 22 年度以前入学生については、なお従前の例による（ノートルダム学Ⅰ～Ⅲ及び基礎技能演習の単位数の記載に係るもの並びにウェブデザイン実務士に関する科目に係るものを除く。）。

附 則（平成 23 年 1 月 18 日改正）

1 この改正は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 19 条及び別表 1 の改正は、平成 23 年度入学者から適用し、平成 22 年度以前入学生については、なお従前の例による。

附 則（平成 23 年 3 月 29 日改正）

1 この改正は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

2 人間文化学部生活福祉文化学科及び生涯発達心理学科は、平成 23 年 3 月 31 日をもって廃止する。

附 則（平成 23 年 10 月 18 日改正）

1 この改正は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 6 条に係る改正は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。改正後の第 6 条に定める心理学部心理学科の平成 25 年度の収容定員に係る経過措置については、次のとおりとする。

|           |      |       |
|-----------|------|-------|
| 心理学部 心理学科 | 収容定員 | 670 名 |
| 発達心理専攻    | 収容定員 | 129 名 |
| 学校心理専攻    | 収容定員 | 210 名 |
| 臨床心理専攻    | 収容定員 | 331 名 |

3 第 20 条の 6 及び別表 1 に係る改正は、平成 24 年度入学者から適用し、平成 23 年度以前入学者については、なお従前の例による。ただし、平成 24 年度以後に編入学した者及び再入学した者については、入学時点の学年にかかわらず、改正後の規定によることができる。

附 則（平成 24 年 1 月 17 日改正）

1 この改正は、第 21 条の 2 に係るものについては改正の日から、それ以外については平成 24 年 4 月 1 日から、それぞれ施行する。ただし、第 10 条、第 11 条、第 15 条並びに別表 1 に定める授業科目の区分（異なる区分への授業科目の移動を含む。）、履修条件及び授業科目のうち次に掲げるものと並びに平成 23 年 10 月 18 日の改正に係る生活福祉文化学部専門教育科目に係る改正は、平成 24 年度以後の入学者に適用し、平成 23 年度以前入学者については、なお従前の例による。

ノートルダム学Ⅰ・Ⅱ、キリスト教音楽、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、学びの扉Ⅰ・文化学、学びの扉Ⅱ・京都学、学びの扉Ⅲ・芸術学、学びの扉Ⅳ・文学、学びの扉Ⅴ・ことば学、学びの扉Ⅵ・女性学

2 平成 23 年度以前入学者は、前項の規定にかかわらず、この改正（平成 23 年 10 月 18 日の改正を含む。）前の別表 1 の授業科目（以下「旧科目」という。）のうち 2 項に掲げるものを除く旧科目を履修することができる。ただし、各学部（共通教育科目にあっては教務委員会）が別に定める期間内に限る。

3 平成 23 年度以前入学者が、次の表に定める改正後の別表 1 の授業科目（以下「新科目」という。）を履修したときは、対応する旧科目に読替える。ただし、特に必要がある場合で、各学部（共通教育科目にあっては教務委員会）が適当と認めるときは、これ以外の科目の組合せについて読替えることができる。

| 新科目           | 旧科目          |
|---------------|--------------|
| キリスト教入門       | 人間と宗教        |
| 健康スポーツ演習      | 健康スポーツ実習     |
| アラビア語Ⅰ        | アラビア語とアラブ文化Ⅰ |
| アラビア語Ⅱ        | アラビア語とアラブ文化Ⅱ |
| 日本語コミュニケーションⅠ | 言語コミュニケーションⅠ |
| 日本語コミュニケーションⅡ | 言語コミュニケーションⅡ |
| 日本語コミュニケーションⅢ | 言語コミュニケーションⅢ |
| 発展演習Ⅰ         | 専門書講読Ⅰ       |
| 発展演習Ⅱ         | 専門書講読Ⅱ       |
| 心理学研究法        | 心理学研究法入門     |
| 心理検査法         | 心理検査法入門      |
| 心理統計Ⅰ及び心理統計Ⅱ  | 心理統計法        |
| 推測統計Ⅰ及び推測統計Ⅱ  | 推測統計学        |

4 次の表の旧科目の単位を既に修得した者は、対応する新科目を履修できない。

| 新科目      | 旧科目     |
|----------|---------|
| キャリア形成   | キャリア形成Ⅰ |
| キャリア形成   | キャリア形成Ⅱ |
| 英語応用 a   | 英語応用Ⅳ   |
| 英語応用 b   | 英語応用Ⅵ   |
| 英語応用 c   | 英語応用Ⅶ   |
| 英語応用 e   | 英語応用Ⅱ   |
| 英語応用 f   | 英語応用Ⅲ   |
| 英語応用 g   | 英語応用Ⅰ   |
| 英語応用 h   | 英語応用Ⅴ   |
| 英語応用 j   | 英語応用Ⅷ   |
| 日本古典文学講読 | 日本文学講読Ⅰ |
| 日本近代文学講読 | 日本文学講読Ⅱ |
| 日本文学特講   | 文学特講Ⅰ   |

|              |               |
|--------------|---------------|
| 職字活動と子どもの権利  | 職字活動と児童図書出版支援 |
| 昔話とストーリーテリング | 口承文化としての昔話・伝説 |
| 図書館情報技術論     | 情報機器論         |
| 日中近代語彙比較論    | 日中文化比較語彙論     |
| 漢文学入門        | 文学特講Ⅱ         |
| 漢文学特講        | 日中文化交流史       |
| 朝鮮文化論        | 朝鮮文学講読        |
| アラブ文学特講      | 文学特講Ⅲ         |
| 比較文学講読       | 比較文学講読Ⅰ       |
| 西洋美術史        | 西洋近代美術        |
| 音楽鑑賞法        | 音楽学概論         |
| 西洋思想史（古代・中世） | 西洋思想史（古代）     |
| キリスト教とラテン語Ⅰ  | 初歩のラテン語Ⅰ      |
| キリスト教とラテン語Ⅱ  | 初歩のラテン語Ⅱ      |
| 精神医学Ⅰ        | 精神保健学         |
| 図書館制度・経営論    | 図書館経営論        |
| 図書館サービス概論    | 図書館サービス論      |
| 情報サービス論      | 情報サービス概説      |
| ○情報サービス演習Ⅰ   | 情報検索演習        |
| 情報サービス演習Ⅱ    | レファレンスサービス演習  |
| 図書館情報資源概論    | 図書館資料論        |
| 情報資源組織論      | 資料組織概説        |
| 情報資源組織演習     | 資料組織演習        |
| 図書館情報資源特論    | 専門資料論         |
| 図書館サービス特論    | 資料特論          |
| ○図書・図書館史     | 図書及び図書館史      |
| 博物館情報・メディア論  | 視聴覚メディア論      |

（備考）

- 1 平成 23 年度以前の入学者が履修した新科目の単位は、相当する旧科目の属する科目区分（人間文化学科に入学者が○印を付した新科目を履修した場合にあっては専門教育科目及び司書に関する科目の両方の区分）に算入する。
- 2 視聴覚メディア論の単位を既に修得した者で、博物館情報・メディア論を履修していないものは、表の規定にかかわらず、博物館情報・メディア論を履修できる。ただし、卒業要件単位には算入しない。
- 3 司書に関する科目及び学芸員に関する科目の移行措置については、本学学則に定めるもののほか、関係法令の定めるところによる。

附 則（平成 24 年 3 月 27 日改正）

- 1 この改正は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 6 条、第 10 条、第 11 条、第 15 条及び別表 2 並びに別表 1 に定める授業科目の区分（異なる区分への授業科目の移動を含む。）、履修条件、必修科目及び次に掲げる授業科目に係る改正は、平成 25 年度以後の入学者に適用し、平成 24 年度以前の入学者については、なお従前の例による。  
現代社会調査演習Ⅰ、現代社会調査演習Ⅱ
- 2 平成 24 年度以前の入学者は、前項の規定にかかわらず、この改正前の別表 1 の授業科目（以下「旧科目」という。）のうち次に掲げるものを除く旧科目を履修することができる。  
ただし、心理学部が別に定める期間内に限る。
- 3 平成 24 年度以前の入学者が、次の表に定める改正後の別表 1 の授業科目（以下「新科目」という。）を履修したときは、対応する旧科目に読替える。

| 新科目        | 旧科目     |
|------------|---------|
| 心理テスト入門    | 心理検査法入門 |
| 心理テスト実習    | 心理検査法実習 |
| 新科目        | 旧科目     |
| 現代青年の心理学   | 青年心理学   |
| パーソナリティ心理学 | 人格心理学   |
| 現代社会の心理学   | 社会心理学   |
| 対人関係の心理学   | 人間関係論   |
| 心理療法概論     | 心理療技法論  |

（備考）

平成 24 年度以前の入学者が履修した新科目の単位は、相当する旧科目の属する科目区分に算入する。

附 則（平成 24 年 9 月 18 日改正）

- 1 この改正は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 24 年度以前の入学者は、前項の規定にかかわらず、この改正前の別表 1 の授業科目を履修することができる。ただし、生活福祉文化学部が別に定める期間内に限る。

附 則（平成 25 年 1 月 15 日改正）

- 1 この改正は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表 1 に定める授業科目の区分（異なる区分への授業科目の移動を含む。）、履修条件、必修科目及び次に掲げる授業科目に係る改正は、平成 25 年度以後の入学者に適用し、平成 24 年度以前の入学者については、なお従前の例による。  
現代社会調査演習Ⅰ、現代社会調査演習Ⅱ、発達検査論、老年期の心理学、教育学、道徳の指導法、特別活動の指導法
- 2 平成 24 年度以前の入学者は、前項の規定にかかわらず、この改正前の別表 1 の授業科目（以下「旧科目」という。）を履修することができる。ただし、各学部（共通教育科目にあっては教務委員会）が別に定める期間内に限る。
- 3 平成 24 年度以前の入学者が、次の表に定める改正後の別表 1 の授業科目（以下「新科目」という。）を履修したときは、対応する旧科目に読替える。

| 新科目     | 旧科目         |
|---------|-------------|
| 英語基礎Ⅰ   | 英語Ⅰ（リーディング） |
| 英語総合Ⅰ   | 英語Ⅰ（ライティング） |
| 英語基礎Ⅱ   | 英語Ⅱ（リーディング） |
| 英語総合Ⅱ   | 英語Ⅱ（ライティング） |
| 心理テスト入門 | 心理検査法入門     |
| 心理テスト実習 | 心理検査法実習     |

4 次の表の旧科目の単位を既に修得した者は、対応する新科目を履修できない。

| 新科目        | 旧科目    |
|------------|--------|
| 現代青年の心理学   | 青年心理学  |
| パーソナリティ心理学 | 人格心理学  |
| 現代社会の心理学   | 社会心理学  |
| 対人関係の心理学   | 人間関係論  |
| 心理療法概論     | 心理療技法論 |

（備考）

平成 24 年度以前の入学者が履修した新科目の単位は、相当する旧科目の属する科目区分に算入する。

5 平成 21 年度以前の入学生で、平成 24 年度までに総合演習の単位を修得していないものが、教育職員免許状の取得を希望するときは、取得を希望する校種に応じ、教職実践演習（中・高）又は教職実践演習（幼・小）の単位を修得しなければならない。

附 則（平成 25 年 2 月 19 日改正）  
この改正は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 3 月 26 日改正）  
この改正は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 4 月 24 日改正）  
この改正は、平成 25 年 5 月 1 日から施行する。

附 則（平成 26 年 1 月 21 日改正）

- この改正は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 10 条、第 11 条及び別表 1 に係る改正は、平成 26 年度以後の入学者に適用し、平成 25 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 平成 25 年度以前の入学生については、前項の規定にかかわらず、この改正後の別表 1 の授業科目の履修をもって改正前の別表 1 の授業科目を履修したものと認める等の移行措置を講じるものとする。この場合の履修方法等については別に定める。

附 則（平成 26 年 6 月 17 日改正）  
この改正は、平成 26 年 6 月 17 日から施行する。

附 則（平成 27 年 2 月 17 日改正）

- この改正は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 15 条中、心理学部に係る改正及び別表 1 のうち心理学部の専門教育科目に係る改正については、平成 27 年度以後の入学者に適用し、平成 26 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 第 15 条中、人間文化学部に係る改正については、前項の規定にかかわらず、平成 26 年度以後の入学者に適用し、平成 25 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 平成 26 年度以前の入学者は、第 1 項の規定にかかわらず、次に掲げる科目を履修することができ。ただし、国語学特講及びビジネスライティングについては、人間文化学部が別に定める期間内に限る。  
国語学特講、ビジネスライティング、心理学英文講読（応用）
- 平成 26 年度以前の入学者が、この改正後の別表 1 の授業科目（以下「新科目」という。）のうち心理学英文講読（応用）の単位を修得したときは、改正前の別表 1 の授業科目（以下「旧科目」という。）のうち心理学英文講読の単位を修得したものとみなす。
- 旧科目のビジネスライティングの単位を修得した者は、新科目のキャリアとコミュニケーションを履修できない。

附 則（平成 28 年 2 月 23 日改正）

- この改正は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 前項の規定にかかわらず、別表 1 のうち共通教育科目及び生活福祉文化学部専門教育科目（大学コンソーシアム京都提供専用科目を除く。）に係る改正については、平成 28 年度以後の入学者に適用し、平成 27 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 平成 27 年度以前の入学者で、老人福祉論Ⅰの単位を修得していないものは、前項の規定にかかわらず、改正後の別表 1 の授業科目のうち老人福祉論を履修することができる。この場合において、当該科目を履修したときは、老人福祉論Ⅰを履修したものと認める。
- 平成 27 年度以前の入学者で、西洋美術史の単位を既に修得した者は、西洋美術史Ⅱを履修

でない。

5 第 1 項の規定にかかわらず、別表 1 のうち司書に関する科目に係る改正については、平成 29 年度以後の入学者に適用し、平成 28 年度以前の入学者については、なお従前の例による。

6 平成 28 年度以前の入学者で、情報資源組織演習の単位を修得していないものは、前項の規定にかかわらず、改正後の別表 1 の授業科目のうち情報資源組織演習Ⅰ及び情報資源組織演習Ⅱを履修することができ。この場合において、当該 2 科目の単位を修得したときは、情報資源組織演習の単位を修得したものと認める。

附 則（平成 28 年 5 月 27 日改正）

この改正は、平成 28 年 5 月 27 日から施行する。

附 則（平成 28 年 6 月 21 日改正）

この改正は、平成 28 年 6 月 21 日から施行する。

附 則（平成 29 年 1 月 17 日改正）

- この改正は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 改正前の学則による生活福祉文化学部生活福祉文化学科及び心理学部心理学科は、改正後の学則の規定にかかわらず、当該学部学科に学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 第 2 条、第 3 条、第 6 条、第 10 条、第 11 条、第 13 条第 4 項、第 15 条、第 19 条第 2 項、第 20 条の 4、第 20 条の 5、第 20 条の 6、第 21 条第 4 項に係る改正は、平成 29 年度以降の入学者に適用し、平成 28 年度以前の入学者については、なお従前の例による。
- 改正後の学則に係る経過措置その他の必要な事項は、当該学部の教授会が定める。
- 改正後の学則第 6 条に定める学生の収容定員については、同条の規定にかかわらず、平成 29 年度から平成 31 年度までについては、次の表のとおりとする。

| 学部       | 学科         | 収容定員（人）  |          |          |  |
|----------|------------|----------|----------|----------|--|
|          |            | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |  |
| 人間文化学部   | 英語英文学科     | 420      | 390      | 360      |  |
|          | 人間文化学科     | 230      | 220      | 210      |  |
| 生活福祉文化学部 | 生活福祉文化学科   | 310      | 210      | 105      |  |
| 心理学部     | 心理学科       | 496      | 336      | 168      |  |
|          | 現代心理専攻     | 94       | 64       | 32       |  |
|          | 学校心理専攻     | 156      | 106      | 53       |  |
|          | 臨床心理専攻     | 246      | 166      | 83       |  |
| 現代人間学部   | 福祉生活デザイン学科 | 70       | 140      | 210      |  |
|          | 心理学科       | 100      | 200      | 300      |  |
|          | こども教育学科    | 70       | 140      | 210      |  |
| 計        |            | 1696     | 1636     | 1563     |  |

附 則（平成 29 年 7 月 25 日改正）

- この改正は、平成 29 年 7 月 25 日から施行する。
- 第 35 条別表の改正は、平成 30 年度入学生から適用する。

附 則（平成 30 年 3 月 20 日改正）

この改正は、平成 30 年 4 月 1 日から施行し、平成 30 年度以後入学者から適用する。ただし、

平成 29 年度以前に現代人間学部心理学科又は心理学部心理学科に入学した者については、公認心理師法の定める経過措置によることができる。

附 則 (平成 30 年 5 月 25 日改正)

- この改正は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 平成 29 年 1 月 17 日改正の附則第 5 項の表中、第 1 欄の「人間文化学部」は「国際言語文化学部」に、第 2 欄の「人間文化学科」は「国際日本文化学科」に読み替える。

附 則 (平成 31 年 2 月 26 日改正)

この改正は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (令和元年 9 月 24 日改正)

この改正は、令和元年 10 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 2 年 4 月 21 日改正)

- この改正は、令和 2 年 5 月 1 日から施行し、第 3 3 条の 2 第 1 項第 4 号、第 3 5 条、第 3 5 条の 2、第 3 8 条及び第 4 0 条の改正規定並びに別表の改正については、令和 3 年度入学生(転入学、編入学及び再入学を含む。)から適用するものとし、第 3 条第 1 項、第 6 条、第 1 9 条第 2 項、第 2 0 条の 5、第 2 0 条の 6 及び第 2 1 条第 4 項の改正規定は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 令和 2 年度以前の入学者に係る授業料その他の納入金(授業料、教育充実費、施設設備費、卒業費)については、なお従前のとおりとし、既納の授業料その他の納入金は返還しない。
- 令和 2 年度以前の現代人間学部福祉デザイン学科入学者は、改正後の規定にかかわらず改正前の第 3 条第 1 項、第 6 条、第 1 9 条第 2 項、第 2 0 条の 5、第 2 0 条の 6 及び第 2 1 条第 4 項の規定を引き続き適用する。

附 則 (令和 3 年 4 月 23 日改正)

- この改正は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 改正後の学則第 6 条に定める国際言語文化学部の学生定員は、同条の規定にかかわらず、令和 4 年度については、次の表のとおりとする。

| 学部       | 学科       | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員      |      |
|----------|----------|------|-------|-----------|------|
|          |          |      |       | 80 人 3 年次 | 2 人  |
| 国際言語文化学部 | 英語英文学科   | 50   | 3     | 280       | 【14】 |
|          | 国際日本文化学科 |      |       |           |      |

附 則 (令和 4 年 1 月 25 日改正)

- この改正は、令和 4 年 1 月 25 日から施行する。
- 第 5 2 条に係る改正は、令和 4 年 4 月 1 日から適用する。

附 則 (令和 4 年 4 月 26 日改正)

- この改正は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 改正後の学則第 6 条に定める現代人間学部及び社会情報課程の学生定員は、同条の規定にかかわらず、令和 5 年度から令和 7 年度までについては、次の表のとおりとする。

| 学部等    | 学科     | 収容定員 (人) |         |         |         |
|--------|--------|----------|---------|---------|---------|
|        |        | 令和 5 年度  | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | 令和 8 年度 |
| 現代人間学部 | 生活環境学科 | 280      | 【7】     | 280     | 【14】    |
|        | 心理学科   | 400      | 【7】     | 400     | 【14】    |

|        | こども教育学科                                             | 280 | 【6】 | 280 | 【12】 | 280 | 【18】 |
|--------|-----------------------------------------------------|-----|-----|-----|------|-----|------|
| 社会情報課程 |                                                     |     |     |     |      |     |      |
| 備考     | 社会情報課程の入学定員及び収容定員は、現代人間学部の定員の内数とし、【 】は、各学科に係る内数を示す。 | 20  | 40  | 60  |      |     |      |

附 則 (令和 5 年 3 月 24 日改正)

- この改正は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。
- 改正後の学則第 6 条に定める国際言語文化学部の学生定員は、同条の規定にかかわらず、令和 6 年度から令和 8 年度については、次の表のとおりとする。

| 学部       | 学 科      | 収容定員    |         |         |         |
|----------|----------|---------|---------|---------|---------|
|          |          | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | 令和 8 年度 | 令和 9 年度 |
| 国際言語文化学部 | 英語英文学科   | 297     | 270     | 245     |         |
|          | 国際日本文化学科 | 188     | 170     | 155     |         |

附 則 (令和 6 年 2 月 27 日改正)

この改正は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 1 9 条第 2 項及び第 2 0 条の 6 の改正規定については、令和 5 年度以前の入学者(令和 5 年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学した者を含む。)については、なお従前の例による。

附 則 (令和 6 年 3 月 22 日改正)

- この改正は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 前項の規定にかかわらず、第 2 5 条及び第 8 章に係る改正は、令和 6 年 4 月 1 日から適用する。
- 改正後の学則第 6 条に定める学部及び学環の学生定員は、同条の規定にかかわらず、令和 7 年度から令和 9 年度までについては、次の表のとおりとする。

| 学部・学環                                                                                                  |          | 学科  | 収容定員 (人) |         |         |          |      |     |      |      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----|----------|---------|---------|----------|------|-----|------|------|
|                                                                                                        |          |     | 令和 7 年度  | 令和 8 年度 | 令和 9 年度 | 令和 10 年度 |      |     |      |      |
| 国際言語文化学部                                                                                               | 英語英文学科   | 270 | 《25》     | 245     | 《50》    | 220      | 《75》 |     |      |      |
|                                                                                                        | 国際日本文化学科 | 170 | 【5】      | 155     | 【10】    | 140      | 【15】 |     |      |      |
| 現代人間学部                                                                                                 | 生活環境学科   | 280 | 【26】     | 《5》     | 280     | 【38】     | 《10》 | 280 | 【43】 | 《15》 |
|                                                                                                        | 心理学科     | 400 | 【21】     |         | 400     | 【28】     |      | 400 | 【28】 |      |
|                                                                                                        | こども教育学科  | 280 | 【18】     |         | 280     | 【24】     |      | 280 | 【24】 |      |
| 社会情報学環                                                                                                 |          |     | 70       |         | 100     |          | 110  |     |      |      |
| 女性キャリアデザイン学環                                                                                           |          |     | 30       |         | 60      |          | 90   |     |      |      |
| 備考 社会情報学環及び女性キャリアデザイン学環の入学定員及び収容定員は、国際言語文化学部及び現代人間学部の内数とし、社会情報学環は【1】、女性キャリアデザイン学環は《5》において、各学科に係る内数を示す。 |          |     |          |         |         |          |      |     |      |      |

附 則（令和 7 年 3 月 日改正）  
この改正は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 16 条、第 17 条、第 17 条の 2、第 20 条の 2 及び第 20 条の 8 の改正規定については、令和 6 年度以前の入学者（令和 6 年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。

別表（第 35 条及び第 39 条関係）

1 入学検定料（第 35 条関係）

| 区分 | 入 試 種 別                                                                                                                       | 入学検定料    |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ア  | イ、ウ以外の入学試験                                                                                                                    | 35,000 円 |
| イ  | 総合型入学試験<br>指定校推薦入学試験<br>ノートルダム女学院高等学校内部進学<br>推薦入学試験<br>学校推薦入学試験<br>一般入学試験<br>外国人留学生入学試験<br>外国人留学生指定校推薦入学試験<br>大学入学共通テスト利用入学試験 | 10,000 円 |
| ウ  | 大学入学共通テスト利用入学試験                                                                                                               | 5,000 円  |

ただし、学長が必要と認める場合は、入学検定料をこの表に関わらず決定することができる。

2 入学金、授業料及び教育充実費（第 35 条関係）

| 入 学 金     | 授業料(年額)   | 教育充実費(年額) |
|-----------|-----------|-----------|
| 200,000 円 | 840,000 円 | 340,000 円 |

ただし、卒業要件単位の不足により修業年限を超えて在籍する者及び第 21 条の 2 の規定により卒業の延期を許可された者の授業料は、以下に掲げるとおりとし、教育充実費を要しない。

① 不足単位が 4 単位以下の場合

| 授業料（学期）   |
|-----------|
| 210,000 円 |

（単位数の算出において、「卒業研究」及び通年科目は所定単位数の 2 分の 1 とする。以下同じ。）

② 不足単位が 4 単位を超える場合

| 授業料（学期）                                                  |
|----------------------------------------------------------|
| 210,000 円 + (20,000 円 × (不足単位数 - 4) )<br>(最高額 420,000 円) |

③ 卒業の延期を許可された場合

| 授業料（学期）                                                 |
|---------------------------------------------------------|
| 100,000 円 + (20,000 円 × 履修登録科目の総単位数)<br>(最高額 420,000 円) |

3 在籍料（第 39 条関係）

| 学 期      |
|----------|
| 60,000 円 |



京都ノーートルダム女子大学履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）学則第10条に定める教育課程、授業科目及び単位並びに第21条第2項に定める卒業の要件となる単位の修得並びに授業科目の履修方法に関して、必要な事項を定める。

(履修コース)

第2条 次の各学科に、履修コースを設ける。

(1) 現代人間学部 心理学科

心理カウンセリングコース 臨床心理学と関連した演習科目の履修により医療、教育、福祉の現場に役立つカウンセリングの理論とスキルを身につけた女性の育成を目的とする。

社会・ビジネス心理コース 社会調査を基軸に企業や公的機関等と連携した実践的な学びにより産業の現場で役立つスキルを身につけた女性の育成を目的とする。

(2) 現代人間学部 こども教育学科

幼児教育コース 幼児教育の振興の視点に立ち、幼稚園教諭一種免許状に加えて保育士資格も有した、心理学、対人援助の理論や技術、基礎的な英語力を持ち、特別な支援を要する幼児に対し、適切な配慮を行いながら、乳幼児の子育て・子育てを支援する保育者の育成を目的とする。

初等教育コース 「確かな学力」を身につけるため小学校の各教科・領域に関する知識と実践的指導力の基礎とともに、心理学、対人援助の理論や技術、基礎的な英語力をもち、特別な支援を要する児童に対し、適切な配慮を行いながら、人間形成力をはぐくむことのできる教員を育成することを目的とする。

2 前項に定める学科の学生は、いずれか1の履修コースに属しなければならない。

3 各履修コースの所属その他履修に関して必要な事項は、各学部等において定める。

(授業科目及び単位並びに履修方法)

第3条 授業科目は、共通教育科目、専門教育科目及び学際教育科目に分ける。

2 各授業科目は、必修科目、選択科目（選択必修科目を含む。）及び自由科目に分ける。

3 各学部は、必修科目以外の科目のうち、必ず履修登録するべき科目（以下「登録必修科目」という。）を定めることができる。登録必修科目は、当該学科主任が許可した場合に限り、履修しないことができる。

4 授業科目及びその単位数、本学学則第18条第1項第1号から第3号までの別に定める授業の時間、配当学年及び期間並びに履修方法、前提科目その他の履修条件等については、別表1のとおりとする。

5 前項に定める配当学年は、履修を推奨する学年とする。ただし、学長が教育上特に必要と認める場合を除き、配当学年より下の学年で履修することはできない。

6 学長が教育上特に必要と認めるときは、教授会又は教育センター会議の議を経て、第4項に定める授業の期間を変更して授業を行うことができる。

7 学長は、やむを得ない事情がある場合で、教育上支障がない場合に限り、教授会又は教育センター会議の議を経て、第4項別表1に定めるメディア利用科目（学則第13条第2項に定める、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる授業科目をいう。以下同じ。）以外の科目を、メディア利用科目に変更して授業を行うことができる。ただし、学生が本学学則第13条第4項に定める上限を超えて単位を修得することによる不利益が生じないよう周知その他の配慮を行うものとする。

(他学科等科目の履修)

第4条 学生は、所属学部・学環（以下「学部等」という。）・学科以外の学部等・学科が開設する授業科目のうち当該開設学部等・学科が他の学部等・学科に開放するもの（以下「他学科等科目」という。）を履修することができる。ただし、所属学部等が適当と認めるものに限る。

2 他学科等科目の履修により修得した単位は、前条第1項に定める学際教育科目の単位として算入する。

3 学生が、所属学部等・学科以外の学部等・学科が開設する授業科目のうち他学科等科目以外の授業科目の履修を希望するときは、所属学部等の長を通じて当該授業科目の属する学部等の長の許可を得た場合に限り履修することができる。ただし、当該授業科目の履修により修得した単位は、卒業に必要な単位に算入しない。

(卒業の要件)

第5条 本学の卒業の要件は、本学学則第4条に定める年数以上本学に在学し、次の区分により授業科目を履修して、合計124単位以上を修得することとする。

(1) 国際言語文化学部 英語英文学科

共通教育科目 24単位以上

専門教育科目 84単位以上

学際教育科目 0～16単位

(2) 国際言語文化学部 国際日本文化学科

共通教育科目 26単位以上

専門教育科目 72単位以上

学際教育科目 0～26単位

(3) 現代人間学部 生活環境学科

共通教育科目 24単位以上

専門教育科目 76単位以上

学際教育科目 0～2446単位

(4) 現代人間学部 心理学科

共通教育科目 24単位以上

専門教育科目 84単位以上

学際教育科目 0～16単位

(5) 現代人間学部 こども教育学科

共通教育科目 24単位以上

専門教育科目 84単位以上

学際教育科目 0～16単位

(6) 社会情報学環

共通教育科目 36単位以上

専門教育科目 68単位以上

学際教育科目 0～20単位

(7) 女性キャリアデザイン学環

共通教育科目 26単位以上

専門教育科目 68単位以上

学際教育科目 0～30単位

(開講科目の公示)

第6条 開講科目及び時間割は、学年又は学期の始めまでに学生に公示する。

(履修登録)

第7条 学生は、履修しようとする授業科目を、毎学年始めの所定の期間内に履修登録しなければならない。ただし、海外研修等通常の時期に履修登録できない授業科目については、当該期間と異なる期間及び方法により履修登録するものとする。

2 履修しようとする授業科目は、授業時間割の上で同一時間に重複して履修登録することはできない。ただし、隔週開講等により同一時間帯であっても重複しない授業科目については、この限りでない。

3 一度合格した授業科目は再履修できない。

4 1つの授業科目の単位を分割して修得することはできない。



- 5 履修登録後に授業科目を変更しようとする場合は、一部の科目を除き、学期ごとに定める履修検討期間内に登録修正を行うことができる。ただし、前期及び後期にわたり開講される授業科目（以下「通年科目」という。）を後期に変更することはできない。
- 6 休学、留学その他やむを得ない事情によって通年科目の一部を履修できない場合は、学部の承認を得て、次年度において履修を継続することができる。

#### （履修中止）

- 第8条 学生は、学期ごとに定める履修中止届出期間に限り、履修登録した授業科目について、履修の中止を届出ることができる。
- 2 学生が履修の中止を届出した授業科目は、当該年度末に成績原簿から削除するものとする。
- 3 履修中止した科目の単位数は、履修登録単位数から控除する。

#### （編入学生等の履修）

- 第9条 本学学期第28条又は第29条の規定により、本学に転入学又は編入学した学生（以下「編入学生等」という。）については、転入学又は編入学を受入れた学年と同じ入学年度の規定を適用する。
- 2 編入学生等の既修得単位については、3年次編入の場合は62単位、2年次編入の場合は31単位をそれぞれ上限として、本学の卒業に必要な単位として認定することができる。
- 3 編入学生等の履修にあたっては、学部が特に必要と認めた場合は、第12条に定める履修登録単位数の上限を変更して適用することができる。

#### （成績評価及び単位の授与）

- 第10条 授業科目の成績評価は、筆記・口述試験、論文、レポート、実験、実習、実技及び授業参加度を基に行う。
- 2 授業科目の成績評価は、学期末又は学年末に行う。ただし、春期休業期間中に実施する学外実習等の授業科目については、これによらないことができる。
- 3 成績評価は、次の基準により換算して成績原簿及び成績通知書（以下「成績原簿等」という。）に記載する。

| 成績評価等                                             | 評価 | 評価<br>(英語表記) |
|---------------------------------------------------|----|--------------|
| 90点以上                                             | 秀  | A            |
| 80点～89点                                           | 優  | B            |
| 70点～79点                                           | 良  | C            |
| 60点～69点                                           | 可  | D            |
| 本学学期第16条、第17条及び第17条の2の規定により、<br>本学以外での学修を認定した授業科目 | 認  | T            |
| 59点以下                                             | 不可 | F            |
| 評価なし（試験欠席、出席数不足等）                                 | ／  |              |

- 4 本学学期第14条第2項ただし書きの規定により100点を満点とする評価が難しいものとして別に定める授業科目については、「合格」（英語表記は「P」）又は「不可」と表記する。
- 5 学生が履修した成績評価及び修得単位は、学期末に本人及び保証人連名宛てに通知する。ただし、特段の事情がある場合を除き、通年科目及び夏期集中の授業科目については学年末に、第2項ただし書きに定める授業科目については翌学期末に通知する。

#### （GPA）

- 第11条 前条の規定による成績評価に応じ下表により算出する得点をG P（Grade Point）といい、その合計を、履修登録した授業科目の総単位数で除して算出する1単位当たりの平均値をG P A（Grade Point Average）という。G P Aは、小数点以下第3位を切り捨てる。

| 成績評価  | G P |
|-------|-----|
| 秀     | 4   |
| 優     | 3   |
| 良     | 2   |
| 可     | 1   |
| 不可及び／ | 0   |

$$\frac{4 \times \text{「秀」の修得単位数} + 3 \times \text{「優」の修得単位数} + 2 \times \text{「良」の修得単位数} + 1 \times \text{「可」の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数（「不可」「／」の単位数を含む。）}}$$

- 2 「認」及び「合格」の評価、卒業のために必要な単位とならない授業科目の評価並びに第8条の規定により履修中止を届出した授業科目の評価については、前項におけるG P A算出の対象としない。
- 3 再履修した授業科目については、最新の成績評価だけをG P A算出の対象とする。
- 4 G P Aは、成績原簿等に記載する。

#### （履修登録単位数の上限）

- 第12条 本学学期第18条の2に定める、履修登録単位数の上限（以下「上限単位数」という。）は、別表1に定められた開講期を基に下表のとおりとする。ただし、学部が別に定めるところにより所定の単位を優れた成績で修得した学生については、翌年度の上限単位数を、下表の各欄の単位数に4を加えた数とすることができる。

| 年次 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 前期 | 26  | 26  | 26  | 26  |
| 後期 | 26  | 26  | 26  | 26  |
| 年間 | 46  | 46  | 46  | 46  |

- 2 前期の単位数には、学期第17条及び第17条の2の規定により本学以外の学修を認定する単位、長期休業期間に実施される集中科目の単位及び第7条第1項ただし書きに定める授業科目の単位を含む。
- 3 教育上特に必要と認めるときは、学長は教授会の議を経て、当該学生の上限単位数を変更して適用することができる。

#### （授業時間）

- 第13条 本学の授業時間は、下表の時間帯に行うことを標準とする。

| 講時   | 授業時間        | 1講時を2分割する場合の授業時間 |             |
|------|-------------|------------------|-------------|
|      |             | 前半               | 後半          |
| 第1講時 | 9：00～10：30  | 9：00～9：45        | 9：45～10：30  |
| 第2講時 | 10：45～12：15 | 10：45～11：30      | 11：30～12：15 |
| 第3講時 | 13：10～14：40 | 13：10～13：55      | 13：55～14：40 |
| 第4講時 | 14：55～16：25 | 14：55～15：40      | 15：40～16：25 |
| 第5講時 | 16：35～17：05 | 16：35～17：20      | 17：20～18：05 |

- 2 授業時間の計算にあたっては、45分（0.5講時）をもって1時間とみなす。
- 3 学外実習等の場合においては、第1項の表によらずに授業を行うことがある。この場合における授業時間の計算は、前項の規定にかかわらず、実時間によるものとする。

#### （出席時間数）

- 第14条 出席時間数が授業時間数の3分の2に満たない者については、当該科目の単位を与えない。ただし、シラバスに記載する等の方法により学生に明示した場合で、学生の学修の状況等に鑑みて担当教員が適当と認めた場合は、これ以外の基準によることができる。

(試験)

- 第15条 試験を受けることができる授業科目は、履修登録した科目に限る。ただし、前条に規定する出席時間数の基準に満たない場合は、受験を許可しないことがある。
- 2 試験の種類は、定期試験及び定期試験以外の方法（授業時に行う平常試験、レポートその他第10条に定める評価方法）とする。
- 3 定期試験は、筆記試験とし、試験時間は75分を標準とする。
- 4 定期試験は、定期試験期間に、通常授業とは異なる時間表を編成して実施する。
- 5 定期試験を実施する授業科目及び時間表等は試験開始の1ヵ月前までに公示する。

(追試験)

- 第16条 病気、事故その他やむを得ない事由により定期試験を欠席した者については、本人の願い出により追試験を行うことがある。
- 2 前項による追試験を希望する者は、試験当日中に教務課へ連絡し、所定の期日までに本人が所定の書類により願い出なければならない。ただし、事情により代理人が願い出ることを認める。
- 3 追試験の受験の可否は、教務委員会で審査の上、決定する。
- 4 追試験を受験する者は、所定の追試験料を納付しなければならない。
- 5 追試験は、本試験と異なる方法で行うことがある。

(再試験)

- 第17条 卒業判定を受ける年度までに履修した授業科目の成績において、卒業要件単位の不足と資格（二級建築士及び公認心理師の受験資格に限る。）の取得条件単位の不足の合計が4単位以内である者には、卒業判定教授会で審議の上、当該年度に不合格となった授業科目の中から、4単位を限度として再試験を行うことがある。ただし、卒業研究及び卒業論文並びに「評価なし」とされた授業科目は、再試験の対象とならない。
- 2 再試験を受験する者は、所定の再試験料を納付しなければならない。
- 3 再試験は、本試験と異なる方法で行うことがある。
- 4 再試験科目の成績評点は60点を最高とし、この得点を得た場合を合格とする。

(不正行為)

- 第18条 試験において不正行為があった場合は、不正を行なった者が当該学期に履修した科目の成績評価を原則として全て無効とし、学内に公示する。
- 2 前項により無効になった科目は、次学期以降に再履修することができ。ただし、教育実習及び教職実践演習の履修は、学長が特に必要と認めた場合を除き、以後認めない。
- 3 不正を行なった者は、本学学則第48条により懲戒されることがある。

(免許・資格の取得)

- 第19条 本学学則第19条から第20条の3まで定める免許・資格の取得を希望する者は、別表2に定める方法により授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

附 則（平成29年1月17日制定）

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年度以後の入学者に適用し、平成28年度以前の入学 者（平成28年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学する者を含む。以下同じ。）については、なお従前の例による。
- 2 平成28年度以前の入学者に適用する授業科目については、前項の規定にかかわらず、本規程に定める授業科目の履修をもって改正前の学則に定める授業科目を履修したものと認替える等の移行措置を講じるものとする。移行措置については各学部において別に定める。

附 則（平成29年12月20日改正）

- 1 この改正は、平成30年4月1日から施行する。ただし、平成30年度以後の入学者に適用し、平成29年度以前の入学 者（平成29年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学する者を含む。以下同じ。）については、なお従前の例による。
- 2 以下に掲げる授業科目に係る改正及び別表1の改正のうち各学部の履修条件（共通教育科目に関するものに限る。）に係る改正については、前項の規定にかかわらず、平成29年度の入学 者（平成29年度の入学者に該当する学年に転入学又は編入学する者を含む。）に適用する。

言語学概論

外国語としての日本語

京都資料論

情報科学（現代人間学部に係る改正に限る。）

衣生活実験Ⅰ

衣生活実験Ⅱ

心理カウンセリングフィールド研修

心理実習Ⅱ

ビジネスの基礎

初等教育実習Ⅱ a

初等教育実習Ⅱ b

アクティブラーニング指導法

若者と自殺一命のリレー講座-

こどもの保健Ⅰ

こどもの保健Ⅱ

図書館情報資源特論

博物館実習Ⅰ

博物館実習Ⅱ

- 3 平成29年度以前の入学者に適用する授業科目については、第1項の規定にかかわらず、改正後の授業科目の履修をもって改正前の授業科目を履修したものと認替える等の移行措置を講じるものとする。移行措置については各学部において別に定める。

- 4 別表2の改正のうち以下に掲げる授業科目に係る改正については、第1項の規定にかかわらず、平成29年度の入学 者（平成29年度の入学者に該当する学年に転入学又は編入学する者を含む。）に適用することができ。
ことばの音と形態
専門講読（英文学）
専門講読（米文学）
Public Speaking
Debate
Comparative Culture
Comparative Culture Workshop
Intercultural Communication and Adjustment

- 5 平成28年度以前の入学 者（平成28年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学する者を含む。）にあつては、京都ノートルダム女子大学教職課程履修規程（平成28年3月31日制定）第2条別表について、前項の規定を準用する。

附 則（平成30年7月18日改正）

- 1 この改正は、平成31年4月1日から施行する。ただし、別表1及び別表2に係る改正（人間文化学部及び人間文化学科の名称変更に係るものを除く。）については、平成31年度以後の入学者に適用し、平成30年度以前の入学 者（平成30年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学した者を含む。以下同じ。）については、なお従前の例による。

2 別表2に係る改正については、前項の規定にかかわらず、平成31年度以後に編入学した者（四年制大学から編入学した者を含む。）に適用する。

3 別表1の改正のうち地域福祉論Iに係るものについては、第1項の規定にかかわらず、平成29及び30年度の入学（平成29及び30年度の入学に係る学年に編入学又は編入学する者を含む。）に適用する。

4 平成30年度以前の入学（第2項に規定する者を除く。）については、第1項の規定にかかわらず、改正前の別表1及び別表2に規定する下表第2欄の科目を、相当する第1欄の科目に改め、それぞれ第3欄の日から施行する。

| 第1欄                | 第2欄          | 第3欄       |
|--------------------|--------------|-----------|
| 保育・教育課程論           | 保育課程論        | 平成33年4月1日 |
| 保育・教職実践演習（幼）       | 保育・教職実践演習    | 平成34年4月1日 |
| 総合的な学習の時間の指導法      | 総合的な学習の指導法   | 平成33年4月1日 |
| 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 | 特別活動の指導法（中等） | 平成32年4月1日 |

附 則（平成30年12月19日改正）

1 この改正は、平成31年4月1日から施行する。ただし、人間文化学部及び人間文化学科の名称変更に係る改正を除き、平成31年度以後の入学（平成30年度以前の入学（平成30年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。）に適用する。

2 別表1の改正のうち英語実践（4技能）I、英語実践（4技能）II、応用プレゼンテーション演習（若者と自殺いのちのリレー講座-及び日本語教授法に係るものについては、前項の規定にかかわらず、平成29年度以後の入学（平成29年度以後の入学に係る学年に編入学又は編入学する者を含む。）に適用する。）に適用する。

3 別表1の改正のうち障害者・障害児の心理学及び健康・医療心理学に係るものについては、第1項の規定にかかわらず、平成30年度の入学（平成30年度の入学に係る学年に編入学又は編入学する者を含む。）に適用する。

附 則（令和2年1月22日改正）

1 この改正は、令和2年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、国際言語文化学部の専門教育科目に係る改正については、令和2年度以後の入学（令和2年度以前の入学（令和元年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。）に適用する。

3 第1項の規定にかかわらず、心理実習に係る改正については、平成30年度以後の入学（平成29年度以前の入学（平成29年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。）に適用する。

附 則（令和2年9月16日改正）

1 この改正は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第3条第6項、平成30年12月19日改正附則第2項及び別表1の短期インターンシップ、京都学並びにアラビア語の世界に係る改正を除き、令和3年度以後の入学（令和3年度以前の入学（令和2年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。）に適用する。

2 前項の規定にかかわらず、第17条第1項の公認心理師の受験資格に係る改正は、平成30年度以後の入学（平成29年度以前の入学（平成29年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。）に適用する。

3 第1項の規定にかかわらず、別表1の相談援助演習に係る改正については、平成31年度以降の入学（平成30年度以前の入学（平成30年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。）に適用する。

4 第1項の規定にかかわらず、別表2の英語実践（4技能）I及び同IIに係る改正については、改正の日から施行し、平成29年度以後の入学（平成29年度以後の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）に適用する。

5 別表2④の大学が独自に設定する科目欄のアクティブラーニングの指導法を削り、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目欄の教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）中、教育評価の下にアクティブラーニングの指導法を加え、第1項の規定にかかわらず、令和元年度及び令和2年度の入学（令和2年度の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）に適用する。

6 令和2年度以前の入学（令和2年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、各学部において別に定める。

附 則（令和2年12月16日改正）

この改正は、令和3年4月1日から施行する。ただし、令和2年度以前の入学（令和2年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月16日改正）

この改正は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和3年10月20日改正）

1 この改正は、令和4年4月1日から施行する。ただし、令和4年度以後の入学（令和3年度以前の入学（令和3年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。）に適用する。

2 前項の規定にかかわらず、文章作成法Iに係る改正は、改正の日から施行し、令和3年4月1日から適用する。ただし、令和3年度以後の入学（令和3年度以後の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）に適用する。

3 第1項の規定にかかわらず、令和2年9月16日改正附則第1項及び令和2年12月16日改正附則に係る改正は、改正の日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

附 則（令和4年1月19日改正）

1 この改正は、令和4年4月1日から施行する。ただし、令和3年度以前の入学（令和3年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。以下同じ。）については、なお従前の例による。

2 前項の規定にかかわらず、別表1の心理学入門、情報演習I a、情報演習I b、建築構造力学、デザイン論I、デザイン論II及びリハビリテーション論に係る改正は、令和3年度以後の入学（令和3年度以前の入学（令和3年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。以下同じ。）については、なお従前の例による。）に適用する。

3 第1項の規定にかかわらず、キリスト教美術に係る改正は、全学年に適用する。

4 第1項の規定にかかわらず、別表1及び別表2の特別活動・総合的な学習の時間の指導法、特別活動の指導法及び総合的な学習の時間の指導法に係る改正は、令和3年度以後の入学（令和3年度以前の入学（令和3年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。）に適用する。

5 第1項の規定にかかわらず、別表1の教育方法学及びICT活用教育に係る改正については、全ての学年の学生に適用する。ただし、令和2年度以前の入学（令和2年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）に適用する。ただし、令和2年度以前の入学（令和2年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）に適用する。これら2科目を必修科目とし、教育の方法と技術を選択科目とする。

6 第1項の規定にかかわらず、別表2の教育方法学及びICT活用教育に係る改正については、令和3年度以前の入学（令和3年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）に適用する。

(1) 幼稚園

教育の方法と技術又は教育方法学から1科目選択必修とする。

(2) 小学校

△教育の方法と技術、▲教育方法学及び▲ICT活用教育について、△又は▲のどちらから2単位を選択必修とする。

(3) 中学校及び高等学校

□教育の方法及び技術、■教育方法学及び■ICT活用教育について、□又は■のどちらから2単位を選択必修とする。

7 第1項の規定にかかわらず、別表2④のA1とデータサイエンス入門に係る改正については、令和3年度以後の入学（令和3年度以後の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）に適用する。

附 則（令和4年3月16日改正）

この改正は、令和4年4月1日から施行する。ただし、令和3年度以前の入学（令和3年度以前の入学に係る学年に編入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。

(趣旨)

第1条 この規程は、京都ノー トルダム女子大学（以下「本学」という。）学則第16条、第17条及び第17条の2の規定に基づき学生が他大学等において修得した単位等の取扱いに関し必要な事項を定める。

2 この規程は、本学大学院学則第33条及び第34条の規定に基づく単位の取扱いにおいて準用する。この場合において、第2条第1号及び第3号中、「大学又は短期大学」とあるのは「大学院学院」と、「本学」とあるのは「本学大学院」と、「学則第16条第1項」とあるのは「大学院学則第34条第1項」と、「学則第17条第1項」とあるのは「大学院学則第33条第1項」と読み替え、同条第2号、第4号及び第5号は適用しない。

(定義)

第2条 この規程中「他大学等において修得した単位等」とは、次の各号に掲げるものをいう。

- (1) 学生が入学前に大学又は短期大学で修得した単位（科目等履修生として修得したものを含む。）を本学の授業科目の履修により修得したものとみなした単位（学則第16条第1項関係）
- (2) 学生が入学前に行った短期大学又は高等専門学校学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修（学則第16条第2項関係）
- (3) 学生が本学在学中に本学と協定を結んだ他の大学又は短期大学で修得した単位を本学の授業科目の履修により修得したものとみなした単位（学則第17条第1項関係）
- (4) 学則第31条の規定による留学の場合において前号を準用してみなした単位（学則第17条第2項関係）
- (5) 学生が本学在学中に行う短期大学又は高等専門学校学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修（学則第17条の2関係）

(単位認定)

第3条 他大学等において修得した単位等は、教務委員会が審査の上、教授会の議を経て本学の単位として認定する。ただし、前条第2号及び第5号の文部科学大臣が定める学修に係る認定又は同条第3号及び第4号に係る認定については、教務委員会又は当該他の大学若しくは短期大学との協定において別に定める方法によることができる。

2 単位認定の審査にあたり、学生から第4条第1項の申請があったときは、学生の所属学環又は学科の教務委員が単位認定の原案を作成する。

(手続き)

第4条 学生が他大学等において修得した単位等の認定（前条第1項ただし書きの場合を除く。）を希望するときは、所定の期日までに、次の各号の書類を付して学長に申請しなければならない。ただし、単位を修得した大学が本学である場合は、第2号から第5号までの書類は省略することができる。

- (1) 既修得単位認定申請書（別記様式1-①又は②）
- (2) 当該他大学等が発行する成績証明書
- (3) 当該他大学等の授業概要が記載されたシラバスその他の書類の写し

附 則（令和4年3月31日改正）

この改正は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和5年1月18日改正）

- 1 この改正は、令和5年4月1日から施行する。ただし、令和4年度以前の入学者（令和4年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。
- 2 前項の規定にかかわらず、第3条、第8条及び第12条の改正は、全学年に適用する。
- 3 第1項の規定にかかわらず、別表1の哲学入門、司書課程科目の現代出版事情及び子どもと読書のメディアに係る改正並びに別表1及び別表2の科目共通開設に係る改正は全学年に適用する。

附 則（令和5年9月20日改正）

- 1 この改正は、令和6年4月1日から施行する。ただし、令和5年度以前の入学者（令和5年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学した者を含む。）については、なお従前の例による。
- 2 令和4年1月19日改正附則の改正は、令和5年9月20日から施行し、令和4年4月1日から適用する。
- 3 第1項の規定にかかわらず、国際理解教育に係る改正は、全学年に適用する。

附 則（令和6年1月24日改正）

- 1 この改正は、令和6年4月1日から施行する。ただし、令和5年度以前の入学者（令和5年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学した者を含む。以下についても同様に取り扱い扱う。）については、なお従前の例による。
- 2 前項の規定にかかわらず、別表1のキャリア実習Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱに係る改正は、全学年に適用する。
- 3 令和5年度以前入学者に係る保育学（実習及び家庭看護を含む）に係る改正については、第1項の規定にかかわらず、改正後の別表1に定める保育学の授業形態及び時間並びに備考を適用することができる。
- 4 別表2①の初等教職課程幼稚園一種のICT活用教育に係る改正は、第1項ただし書きの規定にかかわらず、全学年に適用する。
- 5 別表2②の中学校・高等学校一種家庭に係る改正については、第1項ただし書きの規定にかかわらず、令和6年度以後に編入学した者においても適用する。

附 則（令和7年1月22日）

- 1 この改正は、令和7年4月1日から施行する。ただし、令和6年度以前の入学者（令和6年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学した者を含む。以下についても同様に取り扱い扱う。）については、なお従前の例による。
- 2 前項の規定にかかわらず、別表1の共生プロジェクト実践に係る改正は、全学年に適用する。
- 3 第1項の規定にかかわらず、令和6年度以前の入学者に係るキリスト教音楽概論、キリスト教音楽入門、キリスト教数学及び文章作成法Ⅰについては、別表1の備考に、それぞれ「メディア利用（学則第13条第2項適用）」を加え、令和7年4月1日から適用する。

(4) 当該他大学等が発行する学力に関する証明書（教育職員免許状に係る単位の認定を希望する場合）

(5) 当該他大学等が発行する資格に関する指定科目の履修証明書（司書、学芸員、保育士、精神保健福祉士、公認心理師その他の国家資格等の養成課程で使用する単位の認定を希望する場合。ただし、成績証明書その他の書類により第5条第3項にいう課程に該当することが明らかである場合はこの限りでない。）

(6) その他必要に応じて学長が指定した書類

2 学生が他大学等において修得した単位等の認定（前条第1項ただし書きの場合に限る。）を希望する場合の申請手続きについては、教務委員会が別に定める方法による。

（審査）

第5条 単位認定の審査は、当該他大学等において修得した単位等について、本学が開設し本学の教員（非常勤講師を含む。）が行う授業科目に照らして内容及び単位数が同等以上であるかどうかについて次の各号の通り行うものとする。

必修科目 当該他大学等の授業科目と本学開設の授業科目の間に、内容・水準等について一対一の対応関係がある場合に限る認定

選択科目 本学開設の選択科目の特定の科目群の範囲内とみなせる程度の同等性がある場合には、内容・水準等について一対一の対応関係が無くても認定

自由科目 本学開設の選択科目の特定の科目群の範囲内とみなせる程度の同等性がある場合には、内容・水準等について一対一の対応関係が無くても認定

2 前項の選択科目及び自由科目の単位について、本学開設科目と個別に対応させることができる場合は、これらの単位を学際教育科目の単位として認定することができる。

3 教育職員免許状取得のための単位については、第1項によるほか、教育職員免許法その他関係法令の規定によるものとする。

4 司書、学芸員、保育士、精神保健福祉士、公認心理師その他の国家資格等に係る単位については、第1項によるほか、関係法令等の規定によるものとする。ただし、法令等に特段の定めがない場合は、他大学等に設置されている当該養成課程において修得した単位又はそれに相当すると認められる単位に限り認定することができる。

（通知）

第6条 学長は、第3条による単位認定の結果を、既修得単位認定通知書（別記様式2）により当該学生に通知するものとする。

（補則）

第7条 この規程に定めるもののほか、他大学等において修得した単位等に関し必要な事項は、教務委員会が別に定める。

附 則（平成26年6月18日制定）

この規程は制定の日から施行する。

附 則（平成28年5月25日改正）

この規程は改正の日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則（平成29年1月17日改正）

この改正は平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年度以後の入学者に適用し、平成28年度以前の入学者（平成28年度以前の入学者に該当する学年に転入学又は編入学する者を含む。）については、なお従前の例による。

附 則（令和5年2月15日改正）

この規程は改正の日から施行する。

附 則（令和7年2月10日改正）

この規程は改正の日から施行し、令和6年7月1日から適用する。

附 則（令和7年2月19日改正）

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

(目的)

第1条 京都ノーートルダム女子大学学則第30条の2に定める転学部及び転学科（学環に係る異動を含む。以下「転学部等」という。）の取扱いは、この規程の定めるところによるものとする。

(受け入れる学部の収容人員)

第2条 転学部等は、入学後1年以上を経過したうえで、受け入れる学部（学環への転学部等の場合はその内数を計上している連携協力学部。以下「収容学部」という。）の収容人員に余裕のある場合は、これを認めるものとする。

2 収容学部の収容人員は、5月1日現在の在籍学生数に基づくものとする。

(出願)

第3条 転学部等を希望する者は、12月20日（休日の場合はその前日とする。）までに、転学部等願を教務課に提出しなければならない。

2 前項の転学部等願の提出にあたっては、転学部等を受け入れる学部若しくは学環又は学科（以下「受入学部等」という。）が事前相談を実施するものとする。

3 事前相談の方法及び転学部等願の様式は、教務委員会で別に定める。

(選考及び許可)

第4条 受入学部等は、転学部等願の提出があったときは選考を行い、教授会の議を経て、学長が転学部等を許可する。

2 前項の選考の方法については、教務委員会で別に定める。

(既得単位の認定)

第5条 転学部等を許可された者が、従前の学部、学科及び学環で修得した単位は、その一部又は全部を受入学部等の卒業に必要な単位とみなすことができる。

2 転学部等を許可された者の履修すべき授業科目及び単位数については、受入学部等が定めるものとする。

(在学期間)

第6条 転学部等を許可された者の在学期間は、次のとおりとする。

- (1) 第2次へ転学部等をした場合は、3年以上7年以内
- (2) 第3次へ転学部等をした場合は、2年以上6年以内

附 則

この規程は平成13年4月1日から施行する。  
ただし、第2条の規程については、平成12年4月1日から適用する。

附 則

この規程は平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年9月20日改正)

この改正は、平成29年10月1日から施行する。

附 則 (令和5年7月19日改正)

この改正は、令和5年7月19日から施行する。

附 則 (令和7年2月19日改正)

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

(目的)

第1条 この規程は、京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）学則第21条の2に基づき、卒業の要件を満たす者が引き続き在学することを認める制度（以下「卒業延期制度」という。）に関し、必要な事項を定める。

(対象)

第2条 卒業延期制度の対象となる学生は、次の要件をすべて満たす者とする。

- (1) 本学学則に規定する卒業要件を満たし、かつ、引き続き在学することにより在学期間が学則第5条に規定する年数を超えないこと
- (2) 授業料等の学生納入金を滞納していないこと

(延長できる期間)

第3条 在学を延長することができる期間は、半年とする。ただし、卒業延期制度の適用を受け、た者が引き続き延長を希望するときは、2年を上限として再度許可することができる。

(手続き)

第4条 卒業延期制度の適用を希望する者（以下「卒業延期希望者」という。）は、本来卒業することとなる学期（既に卒業延期制度の適用を受けている者にあつては、延長後の在学期間が終了する学期。以下同じ。）の授業最終日までに卒業延期願を提出し、許可を受けなければならない。

2 教授会は、卒業延期希望者の卒業判定後、卒業延期制度の適用の可否を審議するものとする。

ただし、教授会が卒業不可の判定をしたときは、卒業延期願を無効とする。

3 卒業の延期を許可された者（以下「卒業延期者」という。）には、文書で通知する。

4 卒業延期者が許可の取消を希望するときは、所定の期日までに卒業延期許可取消願を提出した場合に限り、本来予定する時期の卒業を認めるものとする。

5 卒業延期者が、延長期間に係る納付すべき学費等を所定の期日までに納入しなかった場合は、卒業延期の許可を取り消し、本来卒業するべき時期の卒業とする。

(授業科目の履修)

第5条 卒業延期者は、授業科目を履修することができる。

(休学の取り扱い)

第6条 卒業延期期間中は、休学を認めない。

(留学の取り扱い)

第7条 卒業延期期間中は、本学の留学制度による留学を認める。

(学費等)

第8条 卒業延期者の納付すべき学費等の額は、学則別表2の定めるところによる。

2 履修開始後に履修中止した場合であっても、一旦納付した学費等は、返還しない。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て行う。

(その他)

第10条 この規程に定めるもののほか、卒業延期制度に関する必要な事項は、学長が定める。



この規程は、平成24年1月17日から施行する。

附 則（令和5年9月20日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

## 京都ノートルダム女子大学科目等履修生規程

（目的）

- 第1条 京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）学則第42条に定める科目等履修生（以下「履修生」という。）の取扱いは、この規程の定めるところによる。
- 2 履修生には、大学コンソーシアム京都の科目等履修制度による受講者（以下「コンソーシアム受講者」という。）を含むものとする。

（出願資格）

第2条 履修生の出願資格は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校卒業以上又はこれと同等以上の学力を有し、履修しようとする科目の履修学力を有すると認めた者
  - (2) 司書に関する科目及び学芸員に関する科目等の資格取得科目の履修生については、前号の規定にかかわらず、本学を卒業した者
  - (3) 教職に関する科目の履修生については、第1号の規定にかかわらず、本学を卒業した者又は教育職員免許法（昭和24年5月31日法律第147号。以下「免許法」という。）第6条に定める教育職員検定により免許状の授与を受けようとする者（以下「検定履修生」という。）
  - (4) 本学との協定に基づき高大連携事業を実施する高等学校の最終学年に在学する生徒等（以下「特別科目等履修生」という。）
- 2 特別科目等履修生の取扱い等については、別に定める。

（履修科目）

第3条 履修生の履修できる科目は、教務委員会の議を経て、毎年度の募集要項において定める。ただし、教職に関する科目については教職実践演習及び教育実習関係科目を、司書に関する科目、学芸員に関する科目及び日本語教員養成課程に関する科目については実習科目（学外で実施するもの）を履修することはできない。

2 本学を卒業した者は、前項ただし書きの規定にかかわらず、卒業後2年を超えない期間に開講される教職実践演習を履修することができる。ただし、履修する学期において免許状取得の見込みがある場合に限る。

（出願手続）

第4条 出願しようとする者は、所定の期日までに次の書類を提出し、検定料10,000円を納付しなければならぬ。ただし、コンソーシアム受講者については、検定料は徴収しないものとし、出願期限・出願手続き書類等は大学コンソーシアム京都の定めるところによる。

- (1) 科目等履修願（本学所定のもの）
  - (2) 履歴書
  - (3) 最終学校の卒業証明書（本学の卒業者及び退学者は提出免除）
  - (4) 検定履修生にあっては、免許法の規定により有することを必要とする免許状の写し
- 2 提出した出願書類及び検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。ただし、出願した科目が、本学の事情により不開講とした科目のみであった場合は、検定料を返還する。

（選考及び許可）

第5条 前条の出願があったときは、学環又は学科（専門教育科目を含まない場合は教育センター）において、書類審査によるほか、必要に応じて面接試験により選考を行い、教授会（専門教育科目を含まない場合は教育センター会議）の議を経て、学長が許可する。

2 学部長若しくは学環長又は教育センター長は、選考の結果を教務委員会に報告するものとする。

(履修手続)

第6条 科目等履修を許可された者は、許可の日から10日以内に、履修料として1単位につき20,000円を納入しなければならない。既納の履修料について、授業開始日以降は理由のいかんにかかわらず返還しない。

2 本学卒業者については、前項の規定にかかわらず、科目等履修料を1単位につき10,000円とする。

3 科目等履修を許可された者には、科目等履修許可証(身分証明書)を交付する。科目等履修許可証(身分証明書)は、学内において常時携帯し、求めに応じて提示しなければならない。

(施設の利用)

第7条 履修生は、本学の図書館情報センターその他の施設を利用することができる。

(履修期間)

第8条 履修期間は学則で定める学年又は学期とし、さらに科目等履修を希望する者は、改めて願い出るものとする。

2 再出願者(コンソーシアム受講者を除く。)は、第4条第1項第1号の書類のみを提出するものとし、検定料は不要とする。

(単位数)

第9条 履修生が履修し得る単位数は、1年間に20単位以内とする。ただし、コンソーシアム受講者については、大学コンソーシアム京都が発行する当該年度の「募集ガイド(履修要項)」に本学が提供科目として掲載する科目に限る。

(単位修得証明書)

第10条 単位を与えられた履修生は、科目等履修生単位修得証明書の交付を受けることができる。

(規定の遵守)

第11条 履修生は、本学の学生に準じ学則その他諸規程を遵守しなければならない。

2 履修生が本学の教育方針と秩序に違反する行為をした場合は、履修生の許可を取り消すことがある。

(大学院生の履修)

第12条 本学の大学院生が学部又は学環(以下「学部等」という。)の授業科目の履修を願い出るときは、学部等の学生の修学に支障のない場合、これを許可することがある。ただし、関係学環又は学科及び担当教員の了承を得なければならない。

2 本学の大学院生の履修にあたっては、第2条から第7条までの規定は適用しない。

3 長期履修学生の履修にあたっては、第9条の「10単位」を「20単位」と読み替える。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。  
ただし、第4条ただし書きの規定については、平成9年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

附 則 (平成13年12月12日改正)

この改正は、平成1年4月1日から施行する。

附 則 (平成14年12月9日改正)

この改正は、平成15年4月1日から施行する。ただし、第13条の規定については、平成14年4月1日から適用する。

附 則 (平成15年12月18日改正)

この改正は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年1月19日改正)

この改正は、改正の日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則 (平成17年11月16日改正)

この改正は、改正の日から施行する。

附 則 (平成18年12月13日改正)

この改正は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年12月24日改正)

この改正は、平成21年2月1日から施行する。

附 則 (平成21年7月22日改正)

この改正は、平成21年7月23日から施行する。

附 則 (平成22年12月22日改正)

この改正は、平成23年2月1日から施行する。

附 則 (平成24年12月26日改正)

この改正は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年11月30日改正)

この改正は、平成28年12月1日から施行する。

附 則 (平成30年1月24日改正)

この改正は、平成30年2月1日から施行する。

附 則 (令和元年9月24日改正)

この改正は、令和元年10月1日から施行する。

附 則 (令和5年10月18日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則 (令和7年2月19日改正)

この改正は、令和7年4月1日から適用する。



京都ノーートルダム女子大学特別科目等履修生に関する細則

(目的)

第1条 京都ノーートルダム女子大学科目等履修生規程第2条に定める特別科目等履修生(以下「特別履修生」という。)の取扱いは、この定めるところによる。

(出願資格)

第2条 特別履修生の出願資格は、次のとおりとする。

- (1) ノートルダム女学院高等学校又は本学との協定に基づき高大連携事業を実施する高等学校の最終学年に在学する生徒で、本学に入学予定のもの
- (2) その他、学長が特に認めた者

(履修科目)

第3条 特別履修生の履修できる科目は、京都ノーートルダム女子大学科目等履修生規程第3条に規定する当該年度の募集要項に定める科目のうち、教務委員会が適当と認めた科目とする。

(出願手続)

第4条 出願しようとする者は、所定の期日までに本学所定の特別科目等履修願を提出するものとする。

(選考)

第5条 前条の出願があったときは、学科(専門教育科目を含まない場合は教育センター)において書類審査により選考を行い、教授会(専門教育科目を含まない場合は教育センター一会議)の議を経て、学長が許可する。

2 学部長又は教育センター長は、選考の結果を教務委員会に報告するものとする。

(履修手続)

第6条 特別履修生として許可された者には、特別科目等履修許可証を交付する。科目等履修許可証は、学内において常時携帯し、求めに応じて提示しなければならない。

2 検定料、科目等履修料は徴収しない。ただし、教科書、教材等に係る費用は特別履修生の負担とする。

(施設の利用)

第7条 特別履修生は、本学の図書館情報センターその他の施設を利用することができる。

(履修期間)

第8条 履修期間は学則で定める学年又は学期とする。

(単位)

第9条 特別履修生が履修し得る科目の単位数は、1年間に6単位以内とする。

(単位修得証明書)

第10条 単位を与えられた特別履修生は、特別科目等履修生単位修得証明書の交付を受けることができる。

(規定の遵守)

第11条 特別履修生は、本学の学生に準じ学則その他諸規程を遵守しなければならない。

2 特別履修生が本学の教育方針と秩序に違反する行為をした場合は、特別履修生の許可を取り消すことがある。

附 則 (平成22年12月22日制定)

この規程は、平成23年2月1日から施行する。

附 則 (平成28年11月30日改正)

この規程は、平成28年12月1日から施行する。

附 則 (平成30年1月24日改正)

この改正は、平成30年2月1日から施行する。

附 則 (令和元年9月24日改正)

この改正は、令和元年10月1日から施行する。

附 則 (令和5年7月19日改正)

この改正は、令和5年7月19日から施行する。

## 京都ノートルダム女子大学聴講生規程

### (目的)

- 第1条 京都ノートルダム女子大学(以下「本学」という。)学則第43条に定める聴講生の取扱いは、この規程の定めるところによる。
- 2 聴講生には、大学コンソーシアム京都の聴講制度による受講者(以下「コンソーシアム受講者」という。)を含むものとする。

### (出願資格)

- 第2条 聴講生の出願資格は、高等学校卒業以上又はこれと同等以上の学力を有すると認めた者とする。

### (聴講科目)

- 第3条 聴講生の受講できる科目は、教務委員会の議を経て毎年度の募集要項において定める科目とし、1学期3科目以内とする。ただし、教職に関する科目、司書に関する科目及び学芸員に関する科目等の資格取得に関する科目を受講することはできない。
- 2 コンソーシアム受講者の受講できる科目は、大学コンソーシアム京都が発行する当該年度の「募集ガイド(履修要項)」に本学が提供科目として掲載する科目に限る。

### (出願手続)

- 第4条 出願しようとする者は、所定の期日までに次の書類を提出しなければならない。ただし、コンソーシアム受講者の出願期限及び出願手続きについては、大学コンソーシアム京都の定めるところによる。
- (1) 聴講願(本学所定のもの)
- (2) 履歴書
- (3) 最終学校の卒業証明書(本学の卒業者及び退学者は提出免除)
- 2 提出した出願書類は理由のいかんにかかわらず返還しない。ただし、出願した科目が、本学の事情により不開講とした科目のみであった場合は、検定科を返還する。

### (選考及び許可)

- 第5条 前条の出願があったときは、学環又は学科(専門教育科目を含まない場合は教育センター)において、書類審査により選考を行い、教授会(専門教育科目を含まない場合は教育センター会議)の議を経て、学長が許可する。
- 2 学部長若しくは学環長又は教育センター長は、選考の結果を教務委員会に報告するものとする。

### (聴講手続)

- 第6条 聴講を許可された者は、許可の日から10日以内に、聴講料として1単位につき10,000円を納入しなければならない。既納の聴講料については、授業開始日以降は理由のいかんにかかわらず返還しない。
- 2 本学卒業者については、聴講料を1単位につき5,000円とする。
- 3 聴講を許可された者には、聴講許可証(身分証明書)を交付する。聴講許可証(身分証明書)は、学内において常時携帯し、求めに応じて呈示するものとする。

### (施設の利用)

- 第7条 聴講生は、本学の図書館情報センターその他の施設を利用することができる。

### (聴講期間)

- 第8条 聴講期間は学則で定める学年又は学期とし、さらに聴講を希望する者は改めて願い出るものとする。

- 2 再出願者(コンソーシアム受講者を除く。)は、第4条第1項第1号の書類のみを提出するものとする。

### (聴講終了証明書)

- 第9条 聴講を終了した者は、聴講終了証明書の交付を受けることができる。ただし、単位修得証明書の交付を受けることはできない。

### (規程の遵守)

- 第10条 聴講生は、本学の学生に準じ学則その他諸規程を遵守しなければならない。
- 2 聴講生が本学の教育方針と秩序に違反する行為をした場合は、聴講生の許可を取り消すことがある。

### 附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

### 附 則 (平成13年12月12日改正)

この改正は、平成14年4月1日から施行する。

### 附 則 (平成17年1月19日改正)

この改正は、平成17年4月1日から施行する。ただし、第1条第1項の規定については、平成16年4月1日から適用する。

### 附 則 (平成17年11月16日改正)

この改正は、改正の日から施行する。

### 附 則 (平成18年12月13日改正)

この改正は、平成19年4月1日から施行する。

### 附 則 (平成20年12月24日改正)

この改正は、平成21年2月1日から施行する。

### 附 則 (平成24年12月26日改正)

この改正は、平成25年4月1日から施行する。

### 附 則 (平成28年11月30日改正)

この改正は、平成28年12月1日から施行する。

### 附 則 (平成30年1月24日改正)

この改正は、平成30年2月1日から施行する。

### 附 則 (令和元年9月24日改正)

この改正は、令和元年10月1日から施行する。

### 附 則 (令和5年10月18日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

京都ノーートルダム女子大学単位互換履修生規程

（目的）

第1条 京都ノーートルダム女子大学学則4-2条第2項に定める単位互換履修生（以下「履修生」という。）の取扱いは、この規程の定めるところによる。

（出願資格）

第2条 履修生の出願資格は、本学の単位互換協定を締結している大学又は短期大学に在学する者とする。

（履修科目等）

第3条 履修を許可する科目は、原則として講義とする。ただし、大学コンソーシアム京都の協定による履修生は、当該年度に本学が大学コンソーシアム京都に提供する科目に限る。

（出願手続）

第4条 履修を希望する者は、別に定める単位互換履修生出願票を所定の期日までに提出しなければならない。

（履修許可等）

第5条 履修希望者が多数の場合は、選考を行うことがある。

2 選考結果は、出願者が所属する大学又は、短期大学を通じて通知する。

（授業料等）

第6条 授業料は、協定において特に定めのない限り徴収しない。ただし、教材等の費用については、徴収することがある。

（履修期間）

第7条 履修期間は、履修を許可された科目の開講される年度又は学期とする。

（身分証明書）

第8条 履修生には、身分証明書を交付する。

2 身分証明書は学内において常時携帯し、求めに応じて提示しなければならない。

（施設の利用）

第9条 履修生は、本学の図書館情報センターその他の施設を利用することができる。

(規定の遵守)

- 第10条 履修生は、本学の学生に準じて学則その他諸規程を遵守しなければならない。  
2 履修生が前項に違反した場合は、履修の許可を取り消すことがある。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年1月19日改正)

この改正は、改正の日から施行し、平成16年4月1日から適用する。

附 則 (平成30年1月24日改正)

この改正は、平成30年2月1日から施行する。

(趣旨)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学学則（以下「学則」という。）第47条及び京都ノートルダム女子大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第49条の規定に基づき、京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）学生表彰について必要な事項を定める。

(表彰対象)

- 第2条 表彰を行う対象者は、学部学生、大学院生及び学生団体（学生が任意に組織したサークル等のグループを含む。以下同じ）とする。  
2 表彰対象事項は、学則及び大学院学則に規定する事項で、かつ学術、芸術、課外活動、社会活動等に関し、特に顕著な成果をあげ、本学の名誉を著しく高めたと認められたものとする。  
3 表彰は、「学長賞」と「学長奨励賞」とする。

(表彰の基準)

第3条 「学長賞」の表彰基準は、次の各号のいずれかに該当する場合とする。

- (1) 学術研究活動
  - ① 国際学会あるいは国内学会から賞を授与された場合、又はこれらの賞に準ずる高い評価を受けた場合。
  - (2) 課外活動
    - ① 国際的規模の競技会、展覧会又は公演会等に出場、出展又は出演した場合。
    - ② 国内において公式に認知された競技大会に出場し、優勝又は準優勝した者、若しくは、大規模の大会で入賞（これに準ずる賞を含む。）した場合。
    - (3) 社会活動
      - ① ボランティア活動等において、顕著な活動が認められ、公共団体等から表彰を受けた場合。
      - ② 人命救助、犯罪防止又は災害防止等で、国内外の公的機関等において表彰された場合。
      - (4) その他前各号に掲げる表彰基準と同等とみなす活動と認める場合。
      - (5) 本学の学生及び学生団体として、本学が行う行事等に積極的に貢献し、その結果、大学の教育活動及び運営に多大の寄与が認められた場合。
- 2 「学長奨励賞」は、前項各号に定める活動に準ずるものとし、その活動について、今後への期待や激励の意味を込めて授与するものとする。

(推薦)

- 第4条 学部長、学際長、研究科長、又は、課外活動の顧問等は、前条各号のいずれかに該当すると認められる学生又は学生団体を別添様式の推薦書により学長に推薦することができる。  
2 前項に定める推薦は、原則として毎年1月15日までに行うものとする。

(表彰者の決定)

第5条 学長は、前条第1項の推薦があった場合は、学生委員会に審査を付託し、学生委員会の審議報告を受けて、当該年度の表彰者を決定する。

(表彰等)

- 第6条 表彰は、学長が表彰状を授与することにより行う。  
2 前項の表彰には、表彰状に添えて副賞を授与することができる。  
3 副賞は、一年度、総額30万円以内で、以下のとおりとする。

学恩賞 団体1.0万円、個人3万円の奨学金。  
学長奨励賞 団体3万円、個人1万円の奨学金若しくは記念品とする。

(規程の改正)

第7条 この規程の改正は、学生委員会の発議により大学評議会の議を経て行うものとする。

(事務)

第8条 学生表彰に係る事務は、教育支援部学生課において処理する。

附 則

この規程は、平成16年2月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年1月1日から適用する。

附 則

(平成28年11月30日改正)

この改正は、平成28年12月1日から施行する。

附 則

(令和5年9月20日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則

(令和5年10月18日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則

(令和7年2月19日改正)

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

## 京都ノートルダム女子大学成績優秀者表彰規程

(趣旨)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学学則第47条の規定に基づき、学生として品行方正で学業優秀な者に対する表彰について、必要な事項を定める。

(表彰者の推薦)

第2条 学環又は学科（以下「学科等」という。）は、毎年度、卒業予定の学生の中から、原則として1名を表彰候補者として選考し推薦するものとする。

2 表彰候補者の選考方法等は、前条の趣旨に基づき、学科等において定めるものとする。

3 表彰候補者の推薦は、別に定める様式により行う。

(表彰者の決定)

第3条 学長は、前条の推薦及びさらに高い見地から総合的に判断し、表彰者を決定する。

(表彰)

第4条 表彰は、学長が表彰状を授与することにより行う。

2 授与する表彰状の様式は、別に定める。

(表彰の時期)

第5条 学長表彰の授与式は、当該年度内の適切な時期に行う。

(表彰の公表)

第6条 学長表彰を授与したときは、大学ホームページ、大学報及び学内掲示等により公表する。

(事務)

第7条 学長表彰に関する事務は、総務課及び学事課において処理する。

(その他)

第8条 この規程に定めるもののほか、学長表彰の実施に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則（平成27年3月18日制定）

この改正は、平成27年3月18日から施行し、平成27年1月1日から適用する。

附 則（令和5年10月18日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和7年2月19日改正）

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

京都ノーートルダム女子大学特待生奨学金規程

(目的)

第1条 この規程は、京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）が、成績および人物が極めて優秀で、他の学生の模範であると認められた者に、さらなる修学意欲の向上を奨励することを目的として給付する奨学金について、必要な事項を定めるものとする。

(名称)

第2条 この奨学金は、京都ノーートルダム女子大学特待生奨学金（以下「奨学金」という。）と称し、その給付を受けるものを京都ノーートルダム女子大学特待奨学生（以下「奨学生」という。）と称する。

(原資)

第3条 奨学金の原資は、京都ノーートルダム女子大学奨学基金とする。

(選考対象者)

第4条 奨学生の選考対象者は、本学に在学する2年次から4年次までの学生とする。ただし、本学学則第29条により編入した者で入学年次にあたる者、第30条により転学科した者で転学科年次にあたる者、及び第4条に定める修業年限4年を超えた者は、選考の対象としない。

2 次に挙げる各号の条件を満たす者を選考対象者とする。

- (1) 前年度の修得単位数（卒業に要する単位に限る）が31単位以上である者。ただし、当該前年度に本学学則第31条に定める留学の期間を含む場合は31単位を修得したものとみなす。
- (2) 前年度のGPAが3.0以上である者

(選考及び決定)

第5条 奨学生の選考は、各学部若しくは学環又は学科が定める規程により、所属学部長又は学環長が5月末日までに奨学生候補者を推薦し、学生委員会の議を経て、学長がこれを決定する。

2 学長は、前項の決定をしたときには、決定内容を奨学生採用者及びその保証人に通知するものとする。

(採用人数)

第6条 採用人数は、2年次から4年次までの各年次、各学科又は学環から1名とする。ただし、学長は、在籍学生の数を勘案し、採用人数について、これと異なる人数を決定することができる。

(給付金額)

第7条 奨学金の給付額は、10万円とする。

(採用期間)

第8条 奨学生として採用される期間は、当該年度限りとする。ただし、特に優れた学業成績を修めた者については、引き続き次年度も推薦することができる。

(手続)

第9条 奨学生として採用された者は、本学の定める所定の手続きを取り、学長に定められた様式の誓約書を提出しなければならない。

(取消)

第10条 採用期間中に奨学生が次の各号のいずれかに該当すると認められたときは、奨学金の給付資格を取り消すと同時に返還を求める。

- (1) 休学または学籍を失ったとき。
- (2) 本学学則による懲戒処分を受けたとき。

(3) 奨学生として不適当と認められるに至ったとき。

(事務の所管)

第11条 この規程に関する事務は、教育支援部学生課の所管とする。

(規程の改廃)

第12条 この規程の改廃は大学評議会の議を経て学長がこれを行う。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年3月19日改正)

この改正は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年5月21日改正)

この改正は、平成26年5月21日から施行する。

附 則 (平成28年4月20日改正)

この改正は、平成28年4月20日から施行する。

附 則 (平成28年11月30日改正)

この改正は、平成28年12月1日から施行する。

附 則 (平成30年9月19日改正)

この改正は、平成30年9月20日から施行する。

附 則 (令和5年9月20日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則 (令和5年10月18日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則 (令和7年2月19日改正)

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

# 京都ノーートルダム女子大学支給奨学金規程

## (目的)

第1条 この規程は、京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）が、学業が優秀で、学費の支弁が困難な本学に在籍する学生に対して、学業の継続を援助することを目的として学費の一部相当額を給付する奨学金について、必要な事項を定めるものとする。

## (名称)

第2条 この奨学金は、京都ノーートルダム女子大学支給奨学金（以下「奨学金」という。）と称する。

## (原資)

第3条 奨学金の原資は、京都ノーートルダム女子大学奨学金基金とする。

## (対象)

第4条 奨学金の対象者は本学に在学する学生で、次に挙げる各号に該当する者とする。ただし、外国人留学生奨学金規程第5条に該当する者については、支給の対象にしないものとする。

- (1) 入学時に出身高等学校の校長による推薦があり、本学への修学の意志が明確な者
- (2) 出身高等学校もしくは学部又は学環において、成績優秀と認められる者
- (3) 経済的な理由等により、特に必要があると認められる者

## (支給金額)

第5条 奨学金の一人当たり支給額は、当該年度授業料の半額以内とする。

## (支給期間)

第6条 支給期間は1ヵ年とする。ただし、前年度優れた学業成績をおさめた者については、本学学則第4条に定める修業年限を限度として、申請することができる。

## (申請)

第7条 奨学金の受給を希望する者は、所定の申請書類を指定期日までに学長に提出しなければならない。

2 申請書類の提出期限は、毎年度、別途定めるところによるものとする。

## (選考及び決定)

第8条 奨学金受給者の選考は、日本学生支援機構の基準を準用し、学生委員会の議を経て、学長がこれを決定する。

2 学長は、前項の決定をしたときには、決定内容を申請者及び保証人に通知するものとする。

## (奨学金の学費充当)

第9条 奨学金は、この奨学金の目的に鑑み、奨学金受給者の申出を受けて学費に充当することができるとができる。

## (取消)

第10条 奨学金受給者が、次の各号の一に該当する場合は奨学金の支給を取り消すと同時に返還を求める。

- (1) 虚偽の申告により申請したとき

(2) 学籍を失ったとき

(3) 奨学金受給者として不適当と認められるに至ったとき

(4) 本学学則に基づく懲戒処分を受けたとき

## (事務の所管)

第11条 この規程に関する事務は、教育支援部学生課の所管とする。

## (規程の改廃)

第12条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て学長が決定する。

附 則（平成11年10月20日教授会承認）

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成17年4月13日改正）

この改正は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成21年1月28日改正）

この改正は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月21日改正）

この改正は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成28年1月20日改正）

この改正は、平成28年1月21日より施行する。

附 則（平成28年11月30日改正）

この改正は、平成28年12月1日より施行する。

附 則（令和5年9月20日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和5年10月18日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和7年2月19日改正）

この改正は、令和7年4月1日から適用する。



京都ノーートルダム女子大学同窓会マリアンスカラシップ規程

(目的)

第1条 この規程は、京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）が、学業成績、人物とともに優秀な学部4年次生で、家庭の経済事情悪化のため修学の熱意があるにもかかわらず修学困難となった学生に対し、学業の継続を援助することを目的として給付する奨学金について、必要な事項を定めるものとする。

(名称)

第2条 この奨学金は、京都ノーートルダム女子大学同窓会マリアンスカラシップ（以下「奨学金」という。）と称し、その給付を受けるものを京都ノーートルダム女子大学同窓会マリアンスカラシップ奨学生（以下「奨学生」という。）と称する。

(原資)

第3条 奨学金の原資は、京都ノーートルダム女子大学同窓会から本学への寄付金とする。

(対象)

第4条 奨学金の給付対象者は、本学に在学する学生で、次に挙げる各号の条件を満たす者とする。

- (1) 卒業に要する科目の合計標準単位数以上を修得し、修業年限で学業を確実に修了できる見込みのある、学業成績、人物ともに優秀な4年次生
- (2) 日本学生支援機構奨学金またはその他貸与奨学金の奨学生で、経済的援助を必要としている者
- (3) 同窓会費を納めている者
- (4) 卒業後は同窓会の活動に積極的に参加する意志のある者
- 2 外国人留學生奨学金規程第5条に該当する者については、給付の対象とはならない。
- 3 京都ノーートルダム女子大学支給奨学金と併用受給はできない。

(給付金額)

第5条 奨学金の一人当たりの給付額は、当該年度授業料の半額以内とする。

(申請)

第6条 奨学金の受給を希望する者は、所定の申請書類を指定期日までに学長に提出しなければならない。

(1) 願書

(2) 収入に関する書類

2 申請書類の提出期限は、毎年度、別途定めるところによるものとする。

(選考及び決定)

第7条 奨学生の選考は、日本学生支援機構第一種奨学金の基準を準用し、学生委員会の議を経て学長が決定する。その後、同窓会会長に報告する。

2 学長は、前項の決定をしたときには、決定内容を申請者及び保証人に通知するものとする。

(奨学金の学費充当)

第8条 奨学金は、この奨学金の目的に鑑み、奨学生の申出を受けて学費に充当することができる。

(取消)

第9条 奨学生が次の各号の各の一に該当する場合は、奨学金の給付を取り消すと同時に返還を求める。

- (1) 虚偽の申告により、申請したとき。
- (2) 学籍を失ったとき。

(3) 奨学生として、不適当と認められるに至ったとき。

(4) 本学学則による懲戒処分を受けたとき。

(事務の所管)

第10条 この規程に関する事務は、教育支援部学生課の所管とする。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附 則（平成22年6月2日制定）

1 この規程は、平成22年6月2日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

2 この規程の制定により、昭和62年4月1日制定の京都ノーートルダム女子大学同窓会マリアン・スカラシップ貸与規程は廃止する。

附 則（平成28年4月20日改正）

この改正は、平成28年4月20日から施行する。

附 則（平成28年11月30日改正）

この改正は、平成28年12月1日から施行する。

附 則（平成30年7月18日改正）

この改正は、平成30年7月19日から施行する。

附 則（令和5年9月20日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

## 京都ノーートルダム女子大学NND育友会特別援助奨学金規程

### (目的)

第1条 この規程は、京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）が、家計支持者の死亡、破産、失業、倒産などによる家計の急変が原因で、修学の熟意があるにもかかわらず、経済的に学業の継続が困難となった学生に対して、一時的に援助することを目的として給付する奨学金について必要な事項を定めるものとする。

### (名称)

第2条 この奨学金は、京都ノーートルダム女子大学NND育友会特別援助奨学金（以下「奨学金」という。）と称し、その給付を受けるものを京都ノーートルダム女子大学NND育友会特別援助奨学金奨学生（以下「奨学生」という。）と称する。

### (原資)

第3条 奨学金の原資は、京都ノーートルダム女子大学NND育友会から本学への寄付金とする。なお、当該年度寄付金の余剰金は、奨学金の原資として次年度以降に繰り越すこととする。

### (対象)

第4条 奨学金の給付対象者は、本学に在学する学生で次に挙げる各号の条件を満たす者とする。ただし、奨学金の給付は在学中に1回を原則とする。

- (1) 家計支持者の死亡、破産、失業、倒産などによる家計の急変のため経済的支援が特に必要であると認められる者
- (2) 奨学金の申請は、家計の急変事由が発生した月から6ヵ月以内であること。
- (3) 本学在学生父母又はこれに代わるべき者が、NND育友会則の会費を納めており、今後も納めることができること。
- (4) 卒業に要する科目の合計標準単位数以上を修得し、修業年限以内に学業を確実に修了できる見込みがある者

### (給付金額)

第5条 奨学金の一人当たりの給付額は、20万円を上限とする。

### (採用期間)

第6条 奨学生としての採用期間は、採用された年度の1ヵ年とする。なお、奨学金の給付は、本学在学中1回を原則とする。

### (申請)

第7条 奨学金の受給を希望する者は、家計の急変事由が発生した月から6ヵ月以内に、所定の申請書類を学長に提出しなければならない。

- (1) 家計支持者の死亡、破産、失業、倒産などの証明書
- (2) 収入に関する書類
- (3) 願書

### (選考及び決定)

第8条 奨学生の選考は、日本学生支援機構奨学金の基準を準用し、学生委員会の議を経て学長が決定する。

2 学長は、前項の決定をしたときには、決定内容を申請者及び保証人に通知するものとする。

## (奨学金の学費充当)

第9条 奨学金は、この奨学金の目的に鑑み、奨学金受給者の申出を受けて学費に充当することができる。

### (取消)

第10条 奨学生が、次の各号の一に該当する場合は奨学金の給付を取り消すと同時に返還を求め。

- (1) 虚偽の申告により、申請したとき。
- (2) 学籍を失ったとき。
- (3) 奨学生として不適当と認められるに至ったとき。
- (4) 本学学則による懲戒処分を受けたとき。

### (事務の所管)

第11条 この規程に関する事務は、教育支援部学生課の所管とする。

### (規程の改廃)

第12条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

### 附 則

この規程は、平成19年6月30日に制定し、平成19年4月1日より施行する。

附 則（平成21年7月23日改正）

この改正は、平成21年7月23日から施行する。

附 則（平成22年6月2日改正）

この改正は、平成22年6月2日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成28年4月20日改正）

この改正は、平成28年4月20日から施行する。

附 則（平成28年11月30日改正）

この改正は、平成28年12月1日から施行する。

附 則（令和5年9月20日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和5年11月15日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

## テレジアン課外活動給付奨学金規程

### (目的)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）公認の課外活動団体に所属し、かつ経済的援助を必要としている学生に対し、学業の継続を援助するとともに課外活動への積極的な参加を促し、その活性化を図ることを目的として給付する奨学金について、必要な事項を定めるものとする。

### (名称)

第2条 この奨学金は、テレジアン課外活動給付奨学金（以下「奨学金」という。）と称し、その給付を受けるものをテレジアン課外活動給付奨学金受給学生（以下「受給学生」という。）と称する。

### (原資)

第3条 奨学金の原資は、ノートルダム教育修道女会から本学への寄付金とする。なお、当該年度寄付金の余剰金は、奨学金の原資として次年度以降に繰り越すこととする。

### (対象)

第4条 奨学金の給付対象者は、本学に在学する学生で、次に挙げる各号の条件を満たす者とする。ただし、奨学金の給付は在学中1回を原則とする。

- (1) 本学の総クラブ会を構成する公認団体に所属し、熱意をもって課外活動をおこなない成果をあげている2年次生以上の者
  - (2) 学生会費を納めている者
  - (3) 卒業に要する科目の合計標準単位数以上を修得し、修業年限で学業を確実に修了できる見込みのある者
  - (4) 家庭の経済的な理由により奨学金が特に必要であると認められる者
- 2 当該年度の京都ノートルダム女子大学支給奨学金と併用受給はできない。

### (給付金額)

第5条 奨学金の一人当たりの給付額は、20万円を上限とする。

### (採用期間)

第6条 奨学生としての採用期間は1カ年とする。なお、奨学金の給付は、本学在学中1回を原則とする。

### (申請)

第7条 奨学金の受給を希望する者は、所定の申請書類を指定期目までに学長に提出しなければならない。

- (1) 顧問による公認団体所属証明書
- (2) 課外活動成果報告書
- (3) 収入に関する書類
- (4) 願書

2 申請書類の提出期限は、毎年度、別途定めるところによるものとする。

### (選考及び決定)

第8条 奨学生の選考は、日本学生支援機構奨学金の基準を準用し、学生委員会の議を経て学

長がこれを決定する。

2 学長は、前項の決定をしたときには、決定内容を申請者及び保証人に通知するものとする。

### (奨学金の学費充当)

第9条 奨学金は、この奨学金の目的に鑑み、奨学金受給者の申出を受けて学費に充当することができ。

### (取消)

第10条 奨学生が、次の各号の一に該当する場合は、奨学金の給付を取り消すと同時に返還を求め。

- (1) 虚偽の申告により申請したとき。
- (2) 学籍を失ったとき。
- (3) 奨学生として不適当と認められるに至ったとき。
- (4) 本学規則による懲戒処分を受けたとき。

### (事務の所管)

第11条 この規程に関する事務は、教育支援部学生課の所管とする。

### (規程の改廃)

第12条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て学長が決定する。

### 附 則

この規程は、平成21年9月16日に制定し、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年6月30日改正）

この改正は、平成22年6月30日から施行する。

附 則（平成23年6月29日改正）

この改正は、平成23年6月29日から施行する。

附 則（平成24年3月21日改正）

この改正は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成28年4月20日改正）

この改正は、平成28年4月20日から施行する。

附 則（平成28年11月30日改正）

この改正は、平成28年12月1日から施行する。

附 則（令和5年9月20日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

# 京都ノートルダム女子大学海外研修奨励金規程

## (目的)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）の学生（学士課程在籍者に限る。）が海外において多様な文化や言語に直接触れる体験を奨励し、もって学生の成長に資するため、本学履修規程別表1に定める海外研修に係る科目、本学が主催する海外における課外の活動その他の海外派遣に係る経済的負担を軽減することを目的とした奨励金について、必要な事項を定める。

## (名称)

第2条 この奨励金は、京都ノートルダム女子大学海外研修奨励金（以下「研修奨励金」という。）と称する。

## (対象となる研修)

第3条 奨励金支給対象となる海外研修は、国際教育センター会議の議を経て学長が別に定める。

## (給付)

第4条 研修奨励金の給付金額は研修費用の半額とし、上限を40万円とする。

## (申請資格)

第5条 研修奨励金を申請する者は、次の各号の要件をすべて満たす者とする。

- (1) 申請時において大学等における修学の支援に関する法律施行規則（令和元年文部科学省令第6号）第10条第2項第1号及び第2号に該当するものであること。
- (2) 研修期間中、健康に支障がないと認められること。
- (3) 学生納入金を学期指定の期日までに納めていること（本学学則第38条に定める延納又は分納の許可を受けている場合を除く。）。
- (4) 研修を全うする意思があること。

## (申請)

第6条 研修奨励金の受給を希望する者は、本学が指定する期日までに所定の様式により学長に申請しなければならない。

## (選考及び決定)

第7条 研修奨励金の受給者の選考は、指導教員が面談を行い承認した上で、国際教育センター会議で選考し、学長が決定する。

## (給付の方法)

第8条 研修奨励金は研修を終え、課題等を提出後に支給する。

## (奨励金の不支給)

第9条 受給者が次の各号のいずれかに該当すると認められたときは、研修奨励金を支給しない。ただし、災害による場合その他真にやむを得ないと学長が認めた場合は、支給することができるとする。

- (1) 研修を辞退し、又は取り止めたとき。
  - (2) 研修先において成業の見込みがないと判断され帰国を命じられたとき。
  - (3) その他研修生として適格性を欠くと認められたとき。
  - (4) 研修後、期日までに課題等を提出しなかったとき。
  - (5) 学籍を失ったとき。
- 2 前項の手続きは、国際教育センター会議の議を経て、学長が決定する。

## (事務の所管)

第10条 この研修奨励金に関する事務は、教育支援部国際教育課が担当する。

## (規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則 （令和6年2月21日制定）

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

2024 年 2 月 21 日  
学長裁定

京都ノーートルダム女子大学海外研修奨励金規程第 3 条に定める海外研修は、下表のとおりとする。

| 区分（第 1 条関係）                             | 奨励金支給対象とする海外研修                             |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------|
| 京都ノーートルダム女子大学履修規程別表 1 に定める<br>海外研修に係る科目 | 海外研修（語学）Ⅰ                                  |
|                                         | 海外研修（語学）Ⅱ a                                |
|                                         | 海外研修（語学）Ⅱ b                                |
|                                         | 海外キャリア実習                                   |
|                                         | 社会情報海外キャリア実習                               |
| 本学が主催する海外における課外の活動<br>その他の海外派遣          | 海外文化研修                                     |
|                                         | 海外ボランティア<br>国際学生会議等への参加のうち、学<br>長が適当と認めたもの |

(目的)

第 1 条 この規程は、学費の支弁が困難な京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）に在学する学生に対し、学費一部相当額を貸与して、学業の継続を援助することを目的とする。

(貸与金額)

第 2 条 奨学金の 1 人当たり貸与額は、次の 2 種類とする。

- (1) 第 1 種奨学金当該年度の授業料並びに維持費、施設設備費の合算相当額とする。
- (2) 第 2 種奨学金当該年度の授業料ならびに維持費、施設設備費の合算相当額の半額とする。

(奨学生および採用人員)

第 3 条 この規程による奨学金の貸与を受ける者を、京都ノーートルダム女子大学奨学生（以下「奨学生」という。奨学生の採用人員は、学生委員会の議を経て学長が決定する。

(奨学生の資格)

第 4 条 奨学生は本学正規課程に在学する学生で、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 学費支弁が困難であって、修学の熱意があり、学業優秀な者。
- (2) 家計状況が急に悪化し、学費支弁が極めて困難となった修学の熱意のある者。

(貸与の期間)

第 5 条 奨学生の採用期間は 1 ヶ年とする。2 1 ヶ年を超えて貸与を希望する者については、各年度改めて選考の上決定とする。

(出願手続)

第 6 条 奨学金の貸与を出願する者は、所定の願書および書類を提出しなければならない。

2 願書および書類は、学生部学生課を通じて学長あてに提出するものとする。

(奨学生の選考および決定)

第 7 条 第 1 種奨学生および第 2 種奨学生の採用は、学生委員会において選考の上、学長がこれを決定する。

(手続)

第 8 条 奨学生として採用された時は、本人より連帯保証人 2 名連署の上、所定の様式の借用証書を学長あてに提出しなければならない。

(辞退手続)

第 9 条 奨学生は連帯保証人 2 名連署の上、奨学金貸与の辞退を願い出ることができる。

(貸与の取消)

第 10 条 奨学生が次の各号の一に該当すると認められた場合、奨学金貸与を取り消すことがある。

- (1) 成業の見込みがなくなったとき。
- (2) 学業が不良のとき。
- (3) 書類に虚偽の記載があったとき。
- (4) 貸与を必要としなくなったとき。
- (5) その他奨学生として適当でないとき。

(届出)

第 11 条 奨学生が次の各号の一に該当する場合は、その都度、直ちに教育支援部学生課に届けなければならない。

## ノートルダム教育修道女会創立者マザーテレサガールハルディンガー貸与奨学金規程

### (目的)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）に在学する学生で、修学の熱意があるにもかかわらず経済的理由により修学困難となった者に対し、学業の継続を援助することを目的として貸与する奨学金について、必要な事項を定めるものとする。

### (名称)

第2条 この奨学金は、ノートルダム教育修道女会創立者マザーテレサガールハルディンガー貸与奨学金（以下「奨学金」という。）と称し、その貸与を受けるものを、ノートルダム教育修道女会創立者マザーテレサガールハルディンガー貸与奨学金奨学生（以下「奨学生」という。）と称する。

### (原資)

第3条 奨学金の原資は、ノートルダム教育修道女会からの奨学金受入金、奨学金の返還金及びその他をもってこれに充てる。

### (対象)

第4条 奨学金の対象者は、本学に在学する学生で、次の各号に該当する者とする。

- (1) 経済的理由により修学に困難があると認められる者
  - (2) 学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込みがある者
  - 2 外国人留学生奨学金規程第5条に該当する者については、貸与の対象とはならない。
- (貸与金額)
- 第5条 奨学金の1人当たりの貸与額は、当該年度学費の半額以内とする。

### (採用期間)

第6条 奨学生としての採用期間は1ヵ年とする。ただし、本学学期に定める修業年限を限度として、各年度改めて申請することができる。

### (申請)

第7条 奨学金の貸与を希望する者は、所定の申請書類を指定期日までに学長に提出しなければならない。

2 申請書類の提出期限は、毎年度、別途定めるところによるものとする。

### (選考及び決定)

第8条 奨学生の選考は、日本学生支援機構の基準を準用し、学生委員会の議を経て、学長がこれを決定する。

2 学長は、前項の決定をしたときには、決定内容を申請者に通知するものとする。

### (手続)

第9条 奨学生に決定された者は、連帯保証人・保証人2名の連署ある所定の借用証書を提出しなければならない。

### (奨学金の学費充当)

第10条 奨学金は、この奨学金の目的に鑑み、奨学金受給者の申出を受けて学費に充当することができる。

### (取消)

第11条 奨学生が次の各号の一に該当すると認められた場合は、奨学金の貸与を取り消すと同時に返還を求める。

- (1) 学籍を失ったとき。

(1) 連帯保証人を変更したとき。

(2) 本人および連帯保証人の氏名、住所を変更したとき。

(3) その他奨学金の貸与に関し、重要な変更のあったとき。

### (返還手続)

第12条 奨学生が次の各号の一に該当する場合は直ちに、在学中貸与を受けた奨学金について「奨学金返還明細書」を提出しなければならない。

(1) 卒業するとき。

(2) 退学するとき。

(3) 除籍されたとき。

(4) 貸与を取り消されたとき。

(5) 貸与を辞退したとき。

### (返還)

第13条 奨学金の返還は10年以内に年賦で返還するものとする。

2 卒業による返還は卒業年の12月1日を始期とする。返還額は、貸与総額の10分の1以上とする。

3 卒業を除くその他の場合は、学生委員会の指定する期間内に全額を返還しなければならない。ただし、事情によって分割返還を求めることがある。

4 貸与金は無利子とする。

### (返還免除および猶予)

第14条 奨学生であった者が死亡したときは、連帯保証人の死亡届と願い出により、貸与金返還未決済額の全額または一部を免除することができる。

2 学生であった者が、相当の理由のため貸与金の返還に困難が生じたときは、願い出により学生委員会の議を経て返還を猶予するか減免する事ができる。

### (他の奨学金との併願)

第15条 日本学生支援機構またはその他の育英団体の奨学生も、この規程による奨学金の貸与を出願することができる。

2 京都ノートルダム女子大学外国人留学生奨学金の給付を受けている者は、この規程による奨学金の貸与を出願することはできない。

### (事務の所管)

第16条 この規程に関する事務、学生委員会に関する事務は教育支援部学生課において取り扱うものとする。

附 則（平成11年10月20日教授会承認）

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成21年1月28日改正）

この改正は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成28年11月30日改正）

この改正は、平成28年12月1日から施行する。

京都ノーートルダム女子大学短期貸付金規程

- (目的)
- 第1条 この規程は、京都ノーートルダム女子大学学生で、学生生活維持のため、緊急に経済的援助を必要とする者に対し、小口の資金を短期間貸付けることを目的とする。
- (基金)
- 第2条 京都ノーートルダム女子大学短期貸付金（以下「貸付金」という。）の基金は、京都ノーートルダム女子後援会等からの寄付金その他の収入をもってこれに充てる。
- (貸付額)
- 第3条 貸付金の貸与額は、30,000円以内とする。
- (貸付期間)
- 第4条 貸付期間は、貸し付け日から3ヶ月以内とする。
- (手続きならびに審査)
- 第5条 貸付金の貸与を希望する者は、所定の用紙に必要事項を記入し、学生部長に提出するものとする。
- 2 学生部長は前項の書類を審査し、貸与希望者に面接して事情を聴取の上、貸与金額および貸与期間を決定する。
- (返還)
- 第6条 貸付金は、所定の期日までに返還しなければならない。ただし、卒業する者は、卒業の前日までに、休退学者は、その手続きをするまでに返済しなければならない。
- 2 貸付金には、利子をつけない。
- (事務)
- 第7条 この規程に関する事務は、教育支援部学生課が所管する。

附 則  
この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則  
平成11年4月1日改正

附 則  
平成11年7月1日改正

附 則 (平成28年11月30日改正)  
この改正は、平成28年12月1日から施行する。

- (2) 書類に虚偽の記載があったとき。
- (3) 奨学生として、不適当と認められるに至ったとき。
- (4) 本学学則による懲戒処分を受けたとき。
- (届出)
- 第12条 奨学生が、次の各号に該当する場合は、その都度、直ちに教育支援部学生課に届け出なければならない。
- (1) 卒業、修了、退学又は除籍されたとき。
- (2) 連帯保証人・保証人を変更したとき。
- (3) 本人及び連帯保証人・保証人の氏名、住所が変更となったとき。
- (4) その他奨学金の貸与に関し、重要な変更のあったとき。
- (返還)
- 第13条 奨学生は、卒業、修了、退学又は除籍されたときから10年以内に年賦で返還しなければならない。返還額は、貸与総額の10分の1以上とする。ただし返還額及び返還期日を適宜繰り上げて返還することができる。
- 2 奨学生は、在学中に貸与を受けた奨学金について所定の返還書類を提出しなければならない。
- 3 奨学金は無利子貸与とする。
- (返還金の減免)
- 第14条 奨学生が死亡したときは、連帯保証人の願い出により、その返還未済額の全額又は一部を免除することができる。
- 2 奨学生が卒業、修了、退学又は除籍された後、奨学金を返還できない相当の理由が生じた場合は、願い出により委員会において審議のうえ返還を減免することができる。
- (返還猶予)
- 第15条 奨学生の罹災、傷害、罹病、その他、やむを得ない事由により返還が困難となったときは、願い出により、返還を猶予することができる。
- (事務の所管)
- 第16条 この規程に関する事務は、教育支援部学生課の所管とする。
- (規程の改廃)
- 第17条 この規程の改廃は、管理運営委員会の議を経て学長が決定する。

附 則  
この規程は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則  
この改正は、平成11年10月20日から改正する。

附 則 (平成21年1月28日改正)  
この改正は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年3月19日改正)  
この改正は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年4月20日改正)  
この改正は、平成28年4月20日から施行する。

附 則 (平成28年11月30日改正)  
この改正は、平成28年12月1日から施行する。

京都ノートルダム女子大学学費の延納及び分納に関する規程

(目的)

第1条 京都ノートルダム女子大学学則（以下「学則」という。）第38条第2項に基づき、授業料及び教育充実費（以下「学費」という。）の延納及び分納の取り扱いについて定める。

(延納及び分納の手続き)

第2条 学則第38条第1項に定める学費の延納又は分納の願い出は、次の各号に定める日まですとする。

(1) 前期学費については、4月30日

(2) 後期学費については、10月31日

2 前項各号に定める日を過ぎて願い出をしようとする場合は、遅延した理由を付して直ちに願い出るものとする。この場合において、当該願い出を受理できない場合がある。

3 前2項にかかわらず、学則第21条の2により卒業延期が許可された者は、学費を延納または分納することはできない。

(延納分納期限及び分納限度回数)

第3条 学費の延納期限及び分納期限（以下「延納分納期限」という。）及び分納限度回数は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 前期学費の延納分納期限は、当該年度の8月20日

(2) 後期学費の延納分納期限は、当該年度の2月20日、ただし、卒業年次生にあっては、1月31日

(3) 分納限度回数は、前期学費、後期学費ともに4回

(許可)

第4条 学長は、学費の延納又は分納の願い出があった場合は、所定の審査を経た上、許可するものとする。

2 前項の審査においては、本人または保証人に事情の聴取を行うことがある。

3 第1項により許可された者については、書面により本人及び保証人に通知する。

(特別な事情による延納分納期限等)

第5条 第3条の定めによる延納分納期限及び分納限度回数によれない特別な事情があると学長が認める場合には、大学が特に定めた最終の延納分納期限及び分納回数とする。

(準用)

第6条 京都ノートルダム女子大学大学院学則第51条の規定に基づき、大学院にかかる授業料及び教育充実費について、この規程第1条から第5条までを準用する。

2 その他、各団体より徴収委託を受けた代理徴収金については、この規程の定めを準用して運用する。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成15年12月15日改正）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月17日改正）

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成24年2月22日改正）

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月15日改正）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和3年2月3日改正）

この規程は、令和3年4月1日から施行する。ただし、令和3年度以後入学生に適用し、令和2年度以前入学生については、なお従前の例による。



京都ノートルダム女子大学学費等未納による学生の除籍に関する規程

(目的)

第1条 京都ノートルダム女子大学学則（以下「学則」という。）第33条の2第1項第4号に定める授業料、教育充実費（以下「学費」という。）及び在籍料の未納を事由とする学生の除籍に関することを定める。

(除籍の期日)

第2条 学費、在籍料未納による除籍の日は、次の各号に掲げるところによる。

- (1) 前期学費、在籍料未納者は、5月15日
- (2) 後期学費、在籍料未納者は、11月15日
- 2 前項の規定にかかわらず、学則第38条に基づき、学費の延納または分納の許可を得ている者の学費未納による除籍の日は、延納期限、分納期限である次の各号に掲げる日の翌日とする。
  - (1) 前期学費未納者は、当該年度の8月20日
  - (2) 後期学費未納者は、当該年度の2月20日、ただし、卒業年次生にあつては、1月31日

(学費等納入による復籍)

第3条 学費、在籍料未納により除籍になった者が除籍の日から4ヵ月以内に学費、在籍料を納入した場合は、除籍を取り消し復籍させることがある。

(除籍取消の在学期間等)

第4条 第3条の規定により、除籍を取り消し復籍した場合、当該、除籍の日から復籍の日までの期間は、次の各号の期間に含まれる。

- (1) 学費納入による除籍取消の場合は、学則第5条及び第21条の在学期間
- (2) 在籍料納入による除籍取消の場合は、学則第32条の2の休学期間

(学費等の返還)

第5条 復籍を認められなかった者については、学則第35条第3項、第39条第2項の規定にかかわらず、当該納付のあった学費、在籍料を返還する。

(雑用)

第6条 京都ノートルダム女子大学大学院学則第51条の規定に基づき、大学院にかかる授業料、教育充実費及び在籍料について、この規程第1条から第5条までを準用する。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則（平成15年12月15日改正）

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月15日改正）

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成31年2月26日改正）

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和3年2月3日改正）

この規程は、令和3年4月1日から施行する。ただし、令和3年度以後入学生に適用し、令和2年度以前入学生については、なお従前の例による。

## 京都ノートルダム女子大学外国人留学生規程

### 第1章 総 則

(趣旨)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学学則（以下「大学学則」という。）及び京都ノートルダム女子大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）に基づき、京都ノートルダム女子大学及び同大学院（以下「本学」という。）における外国人留学生の取扱いについて必要な事項を定める。

(定義)

第2条 外国人留学生とは、外国の国籍を有し、外国で教育を受けた者で大学及び大学院入学を目的として日本への入国許可を取得し、本学に入学した者（交換留学生、研究生を含む。）をいう。

### 第2章 外国人留学生の種類

(外国人留学生の種類)

第3条 本学における外国人留学生は、学部生、大学院生、交換留学生、研究生とする。

(学部生)

第4条 学部生とは、学士の学位を取得する目的を持つ者をいう。

(大学院生)

第5条 大学院生とは、本学において修士又は博士の学位を取得する目的をもって修学する者をいう。

(交換留学生)

第6条 交換留学生とは、交換留学の協定を締結した外国の大学から本学に派遣される者で、本学の特定の授業科目を履修する者をいう。

(研究生)

第7条 研究生とは、本学の専任教員の指導のもとに特定の研究を行うことを目的とする者をいう。

### 第3章 入 学

(入学資格)

第8条 外国人留学生として本学に入学できる者は、次の各号のいずれかに該当し、それぞれ本学学部又は大学院の教育課程を受講するに足る日本語能力を有することが望ましい。

(1) 学部生

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で18歳に達した者
- ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で18歳に達した者
- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で18歳に達した者

(2) 大学院（博士前期課程又は修士課程）

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又はこれに準ずる者

77

- ② 外国において、学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を履れた成績をもって修得したものと本学大学院研究科において認めた者
- ③ 日本において外国人留学生として大学を卒業した者

(3) 大学院生（博士後期課程）

- ① 外国において、修士の学位に相当する学位を修得した者
- ② 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位を取得した者

(4) 交換留学生

学生の交換留学に関する協定を締結した外国の大学の学部又は大学院に在学している者

(5) 研究生

外国の大学を卒業した者又はこれに準ずる者

(選考)

第9条 外国人留学生（第6条に規定する交換留学生を除く。以下本条において同じ。）として入学を志願する者に対しては、書類審査等により選考する。

- 2 選考に関する詳細については、別に定める。

(入学許可)

第10条 入学の許可は、教授会又は研究科会議の議を経て学長が決定する。

(入学時期)

第11条 入学の時期は、原則として学期の始めとする。

(入学手続)

第12条 入学を許可された者は、所定の期日までに必要な手続を完了しなければならない。

- 2 入学手続については、別に定める。

### 第4章 入学検定料及び学生納付金

(入学検定料)

第13条 入学に関する入学検定料については、大学学則別表2及び大学院学則別表2に定める額とする。

(学生納付金)

第14条 入学を許可された者の学生納付金については、大学学則別表2及び大学院学則別表2に定める額とする。ただし、本人の願い出により減免することがある。

- 2 前項ただし書の減免については、学長が決定する。

### 第5章 外国人留学生指導員

(外国人留学生指導員)

第15条 学部に在学する外国人留学生指導のため、学部の専任教員を指導担当として任命することができ。その数は、原則として2名以内とする。

- 2 外国人留学生指導員制度については、別に定める。

### 第6章 補 則

(事務の所管)

第16条 本規程に関する事務は、国際教育課が行う。

78

(学則等の準用)

第17条 この規程に定めのない事項については、大学学則、大学院学則及びその他の諸規程を準用する。

(規程の改正)

第18条 この規程の改正は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成11年4月1日から適用する。

附 則 (平成12年1月19日改正)

この改正は、平成12年1月19日から施行する。

附 則 (平成14年4月1日改正)

この改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年12月24日改正)

この改正は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年6月24日改正)

この改正は、平成21年6月25日から施行する。

附 則 (平成26年9月4日改正)

この改正は、平成26年9月4日から施行する。

附 則 (令和5年9月20日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

## 京都ノーートルダム女子大学外国人留学生授業料減免規程

(目的)

第1条 この規程は、外国人留学生規程に基づき、京都ノーートルダム女子大学及び同大学院（以下「本学」という。）に在籍する私費外国人留学生の本学での教育推進と経済的負担を軽減することを目的として、授業料の減免の取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

(対象)

第2条 授業料の減免（以下「減免」という。）は、本学の学部若しくは学職又は大学院の正規課程に在籍する私費外国人留学生（出入国管理及び難民認定法別表1に定める在留資格「留学」に該当する者で、国費外国人留学生及び外国政府の派遣する留学生以外の者。以下「留学生」という。）で経済的に修学困難な者を対象とする。

ただし、次に該当する者は、減免対象としない。

- (1) 仕送り（入学金、授業料等を除く。）が平均月額90,000円を超え、経済的に恵まれていると認められる者
- (2) 本学に在籍したまま、第三国へ留学する者（留学に出席する年度及び帰国する年度）
- (3) 出席日数を樹立し、学業修了の意志がないと認められる者
- (4) 学業成績が不振で、成業の見込みがないと認められる者
- (5) 留年した者（ただし、病氣その他やむを得ない事由によるものは除く。）
- (6) 休学中の者

(減免額)

第3条 減免額は、京都ノーートルダム女子大学学則（以下「大学学則」という。）別表2及び京都ノーートルダム女子大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）別表2に定める授業料の30%相当額とする。

(減免期間)

第4条 減免期間は1ヶ年とする。ただし、引き続き減免を希望する者は、再度申請し、決定を受けなければならない。

(申請手続)

第5条 減免を申請する留学生は、所定の授業料減免申請書を期日までに国際教育課に提出しなければならない。

(選考及び決定)

第6条 減免対象者の選考については、予め提出された申請書類をもとに、所属学部教授会若しくは所属学環教授会又は所属研究科の研究科会議の議を経て、学長がこれを決定する。

(決定の取消)

第7条 減免の決定を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、これを取り消すことができる。

- (1) 申請手続を確実に履行しなかった者
- (2) 申請書の記載事項に虚偽の申告を行った者
- (3) 大学学則又は大学院学則に基づき退学及び除籍の処分を受けた者
- (4) 第2条に定める対象でなくなった者

(授業料の追加納付)

第8条 前条の規定により減免の取扱いを取り消された者は、大学学則及び大学院学則に定める授業料を納めなければならない。

(事務の所管)

第9条 減免の申請および選考に係る事務は、国際教養課の所管とする。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日より施行する。

附 則 (平成14年4月17日改正)

この改正は、平成14年4月17日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

附 則 (平成20年12月24日改正)

この改正は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年9月17日改正)

この改正は、平成25年9月17日から施行する。

附 則 (平成26年9月17日改正)

この改正は、平成26年9月17日から施行する。

附 則 (令和5年9月20日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則 (令和5年10月18日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則 (令和7年2月19日改正)

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

## 京都ノートルダム女子大学外国人留学生奨学金規程

(目的)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）に在学する私費外国人留学生で、学業が優秀であり修学の熱意があるにもかかわらず学費の支弁が困難な者に対して、経済的負担を軽減し本学の学業継続を援助することを目的として、外国人留学生奨学金（以下「奨学金」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(奨学金の原資)

第2条 奨学金の原資は、京都ノートルダム女子大学国際交流基金の運用果実及び京都ノートルダム女子大学NID育友会、京都ノートルダム女子大学同窓会、ノートルダム教育修道女会等からの特定寄付金とする。なお、不足が生じた場合は、本学が別途充足するものとする。

(奨学金の種類)

第3条 この規程に基づく奨学金とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 第1種奨学金（学費奨学金）
- (2) 第2種奨学金（寮費奨学金）

(奨学金提供の態様)

第4条 奨学金は支給の形で提供される。

2 前条第2種奨学金は、第1種奨学金との併給を妨げない。

(対象)

第5条 第1種奨学金の支給対象は、本学の学部又は学環（以下「学部等」という。）の正規課程に在学する私費外国人留学生で、次に掲げる各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 本学の外国人留学生入学試験により入学した者で、修学の意志が明確な者
  - (2) 出身高等学校の成績もしくは、学部等における成績が優秀な者
  - (3) 学費支弁に困難がある等、経済的な理由により特に必要があると認められた者
- 2 第2種奨学金の支給対象は、本学の学部等の正規課程に在学する私費外国人留学生で、本学の学

生費に入寮し、次に掲げる各号のすべてに該当する者とする。

- (1) 本学に在学し、修学の意志が明確な者
- (2) 本学学生寮の規則を遵守する者
- (3) 生活費支弁に困難がある等、経済的な理由により特に必要があると認められた者

(支給金額)

第6条 奨学金の1人当たり支給額は次のとおりとする。

- (1) 第1種奨学金  
年額300,000円とする。
- (2) 第2種奨学金  
年額180,000円とする。

(支給期間)

第7条 給付期間は1カ年とする。ただし、前年度に優れた学業成績をおさめた者については、学則第4条に定める修業年限を限度として継続して申請することができる。

(申請手続)

第8条 奨学金の受給を希望する者は、原則として所定の申請書類を指定期日までに国際教育課に提出しなければならない。

(選考及び決定)

第9条 奨学金受給者の選考、取消及び返還の決定は、教授会の議を経て、学長が行う。

(受給資格の喪失)

第10条 本学に在籍したまま第三国へ留学する場合、留学に出席する年度及び帰国する年度は受給資格を失う。

(取消)

第11条 奨学金受給者が次の各号の一に該当する場合は、奨学金の支給を取り消す。

- (1) 本学への入学を辞退または取り消したとき
  - (2) 学籍を失ったとき
  - (3) 虚偽の申告により申請したことが判明したとき
  - (4) 奨学金を受ける者として不適当と認められるに至ったとき
- 2 奨学金受給者が次の各号の一に該当する場合は、奨学金の支給を取り消すことができる。
- (1) 休学したとき
  - (2) 本学学則第48条に基づく懲戒処分を受けたとき

(返還)

第12条 奨学金受給者が前条第1項第3号に該当する場合は、本学に在籍した期間に受給した奨学金の全額に相当する額を返還しなければならない。

2 奨学金受給者で、前条第1項第2号及び第4号、前条第2項のいずれかに該当する場合は、当該年度の奨学金全額または一部の返還を求めることができる。

(緊急特別措置)

第13条 出身国における諸情勢により経済的困難に立ち至り緊急援助が必要と認めるときは、申請により特別の奨学の方法その他の助成の措置を講ずることができる。

2 前項の助成措置の決定については、第9条を準用する。

(事務の所管)

第14条 この規程に関する事務は、国際教育課の所管とする。

(規程の改廃)

第15条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附 則 (平成11年6月23日制定)

この規程は、平成12年4月1日より施行する。

附 則 (平成14年4月17日改正)

この改正は、平成14年4月17日から施行し、平成14年4月1日から適用する。

附 則 (平成16年2月24日改正)

この改正は、平成16年4月1日から施行し、平成17年度入学者より適用する。

附 則 (平成23年6月29日改正)

この改正は、平成23年6月30日から施行する。

附 則 (平成24年6月27日改正)

この改正は、平成24年6月28日から施行する。  
但し、平成24年度以前入学生に対する第6条(2)第2種奨学金の金額については従前の例による。

附 則 (平成26年9月4日改正)

この改正は、平成26年9月4日から施行する。

附 則 (平成26年9月17日改正)

この改正は、平成26年9月17日から施行する。

附 則 (令和元年2月19日改正)

この改正は、令和2年4月1日から施行し、令和3年度入学者より適用する。令和2年度以前入学者に対する第6条第1号及び第2号の奨学金の金額については、なお従前の額とする。

附 則 (令和5年9月20日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則 (令和5年10月18日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則 (令和5年11月15日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則 (令和7年2月19日改正)

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

京都ノートルダム女子大学

外国人留學生の入学金の減免に係わる特例措置に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）の学部又は学環の正規課程へ入学する外国人留學生に対する入学金の減免に関する特例措置の取扱いについて定める。

第2条 この特例措置は、本学への入学を許可された外国人留學生で、学業が優秀であり修学の熟意があるにもかかわらず学資の支弁が極めて困難な者に対して、経済的負担を軽減し、入学の機会を享受させることを目的とする。

(特例措置)

第3条 前条の目的により、学長が特例措置と認める場合は、学則に規定する入学金を減免することができる。

2 本学への入学を許可された外国人留學生で、入学金の減免を受けようとする者は、入学金減免申請書（別紙様式）を学長へ提出しなければならない。

(所管)

第4条 この規程に関する事務取扱い又は国際教育課が行う。

附 則（平成12年1月7日制定）  
この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年4月1日改正）  
この改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成21年6月24日改正）  
この改正は、平成21年6月25日から施行する。

附 則（平成26年9月4日改正）  
この改正は、平成26年9月4日から施行する。

附 則（令和5年10月18日改正）  
この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和7年2月19日改正）  
この改正は、令和7年4月1日から適用する。

京都ノートルダム女子大学

外国人留學生の学校行事等参加費用の減免に係わる特例措置に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）の学部又は学環の正規課程に在籍する外国人留學生に対する学校行事等参加費用の減免に関する特例措置の取扱いについて定める。

第2条 この特例措置は、本学に在籍する外国人留學生で、学業が優秀であり修学の熟意があるにもかかわらず学資の支弁が極めて困難な者に対して、経済的負担を軽減し学校行事等への参加を援助することを目的とする。

(特例措置)

第3条 前条の目的により、学長が特例措置と認める場合は、学校行事等参加費用を減免することができる。

2 本学に在籍する外国人留學生で、前条の特例措置を受けようとする者は、申請理由書を添えて学校行事等参加費用減免申請書（別紙様式3）を学長へ提出しなければならない。

(所管)

第4条 この規程に関する事務取扱い又は国際教育課が行う。

附 則（平成12年1月7日制定）  
この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年4月1日改正）  
この改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成26年9月4日改正）  
この改正は、平成26年9月4日から施行する。

附 則（令和5年10月18日改正）  
この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和7年2月19日改正）  
この改正は、令和7年4月1日から適用する。

京都ノーートルダム女子大学外国人留学生学内アルバイト支援制度に関する規程

(名称)

第1条 京都ノーートルダム女子大学 (以下「本学」という。)に外国人留学生学内アルバイト支援制度を設ける。

(目的)

第2条 この制度は、本学の外国人留学生のうち経済的事由により修学が困難な者に対し、学内におけるアルバイトの機会を提供することによって、経済的負担の軽減と学業継続を支援することを目的とする。

(対象)

第3条 この制度は、本学の学部又は学環の正規課程に在籍する外国人留学生で、学業成績・人物とも良好であるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な者を対象とする。

(内容)

第4条 この制度により学内アルバイトを行う外国人留学生は、図書館等本学学内において本学が指定した業務に従事することができる。

(勤務時間)

第5条 勤務時間は、学業継続に支障のない曜日、時間帯に行うものとし、週実働28時間を超えてはならない。ただし、本学の長期休業期間にあたっては、1日について8時間以内とすることができる。

2 この制度により学内アルバイトに従事する外国人留学生は、入国管理局で資格外活動の許可を受けなければならない。

(支給内容)

第6条 この制度により学内アルバイトを行う者に対する報酬の支給金額、支給方法については別に定める。

(採用期間)

第7条 採用期間は1年とする。ただし、次年度以降も継続して申請することができる。

(採用人数)

第8条 採用人数は年度ごとに若干名とする。

(申請手続)

第9条 この制度の適用を受けようとする者は、所定の申請書類 (申請書、履歴書、在留カードの写し) を学長宛に提出しなければならない。

2 申請書類は、国際教育課を窓口として經由して教育支援部学生課へ提出する。

3 申請の時期は、毎年4月又は10月とする。

(選考及び採用)

第10条 この制度に申請する外国人留学生の選考、採用については別に定める。

(採用通知)

第11条 この制度による採用、職務内容及び給与等に関する本人への通知は採用通知書 (所定様式) により行うものとする。

(取消)

第12条 この制度の適用を受ける外国人留学生が次の各号の一に該当する場合は、採用の決定を取り消すことができる。

- (1) 学籍を失ったとき
- (2) 休学したとき
- (3) 学則に基づく懲戒処分を受けたとき
- (4) 第9条の申請書類に虚偽の記載があると判明したとき
- (5) 前年度の修得単位数が20単位(2セメスター制の場合)においては直近のセメスターの修得単位数が10単位) に満たないとき
- (6) 本学の学生としてふさわしくない行為があったと認められたとき
- (7) この制度の適用を受ける学生として不適当と認められるにいたったとき

(所管)

第13条 この規程に関する事務取扱いについては、教育支援部学生課及び管理運営部総務課が行う。

2 ただし、外国人留学生の資格外活動許可に係わる申請手続は国際教育課が行う。

附 則 (平成12年1月7日制定)

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 (平成14年4月1日改正)

この改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年9月4日改正)

この改正は、平成26年9月4日から施行する。

附 則 (平成28年11月30日改正)

この改正は、平成28年12月1日から施行する。

附 則 (令和5年10月18日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則 (令和7年2月19日改正)

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

## 京都ノーートルダム女子大学英語英文学科留学特待生規程

### (趣旨)

第1条 この規程は、京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）国際言語文化学部英語英文学科の学生が本学から留学特待生として奨学金を得て米国姉妹大学に留学する京都ノーートルダム女子大学英語英文学科留学特待生制度（以下「制度」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この規程における定義は、以下のとおりとする。

- (1) 本学からこの規程に基づき奨学金の給付を受ける学生を京都ノーートルダム女子大学英語英文学科留学特待生（以下「留学特待生」という。）という。
- (2) 本学がこの規程に基づき給付する奨学金を京都ノーートルダム女子大学英語英文学科留学特待生奨学金（以下「留学特待生奨学金」という。）という。

### (資格)

第3条 この制度による留学特待生として申請できる者は、英語英文学科に在籍し、心身ともに健康で、原則として次の各号すべてに該当する者とする。

- (1) 英語英文学科の学生で、極めて優秀な成績を修め、かつ人物が優れ、海外における勉学に具体的目的及び強い意欲がある者。
- (2) 京都ノーートルダム女子大学米国姉妹大学留学制度が定める TOEFL の基準点数を取得している者。
- (3) 申請時に英語英文学科1年次に在籍し、1年次の必修科目を所定の成績（A）以上で合格する見込みであり、かつ、要卒単位のうち1年次に合計40単位以上を修得する見込みである者。
- (4) 留学目的及び計画が明確で、留学を全うする意志が強く、留学による効果が期待できる者。
- (5) 本学が協定を結ぶ米国姉妹大学へ留学し、留学期間終了後、本学へ復学して学業を継続する者。
- (6) 他団体等から留学のための奨学金を受給しない者。

### (募集・選考及び決定)

第4条 留学特待生の募集は、留学前年度2月1日までに、英語英文学科で書類審査および面接選考を行う。留学特待生の決定は、国際言語文化学部教授会の議を経て学長が行う。

### (採用人数)

第5条 採用人数は3名を上限とする。

### (留学先および期間)

第6条 留学先および留学期間は、本学米国姉妹大学留学制度に準ずる。

### (単位認定)

第7条 留学先大学で修得した単位の認定は、本学米国姉妹大学留学制度に準ずる。

### (給付額)

第8条 留学特待生奨学金の額は、留学特待生1名につき100万円以下とする。

### (誓約書)

第9条 留学特待生として採用された者は、英語英文学科の定める所定の手続きを取り、学長に所定の誓約書を提出しなければならない。

### (留学特待生の義務)

第10条 留学特待生は、英語英文学科の推奨するカリキュラムに従って単位を履修することとする。

### (資格の取消)

第11条 留学特待生の採用決定から留学終了までの間に留学特待生が次の各号のいずれかに該当すると認められたときは、留学特待生の資格を取り消す。

- (1) 学籍を失ったとき
- (2) 本学学則による懲戒処分を受けたとき
- (3) 留学先大学の学則による懲戒処分を受けたとき
- (4) 第3条第2号に規定された資格を満たせなかったとき
- (5) 留学を辞退または取り止めたとき
- (6) 他団体等から留学のための奨学金の給付を受けた者
- (7) その他留学特待生として不適当と認められたとき

### (返還)

第12条 留学特待生奨学金を支給後、留学特待生が前条に掲げる各号のいずれかに該当する場合は、留学特待生奨学金の全額または一部を返還しなければならない。

### (事務)

第13条 留学特待生奨学金に関する事務は、学事課ならびに国際教育課において行う。

### (規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

### 附 則

この規程は、平成18年4月1日より施行し、平成18年度以後入学者に適用する。

附 則（平成26年9月4日改正）

この改正は、平成26年9月4日から施行する。

附 則（平成27年1月21日改正）

この改正は、平成27年1月21日から施行する。

附 則（平成31年2月20日改正）

この改正は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和5年9月20日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。



京都ノー トルダム女子大学中長期海外留学奨学金規程

(目的)

第1条 この規程は、京都ノー トルダム女子大学（以下「本学」という。）がグローバル人材の育成を図るため、本学の中長期海外留学プログラムにより留学する学生（学士課程在籍者）に対し、留学に係る経済的負担を軽減し留学中の学業を援助することを目的として給付する留学奨学金について必要な事項を定める。

(名称)

第2条 この奨学金は、京都ノー トルダム女子大学中長期海外留学奨学金（以下「留学奨学金」という。）と称する。

(申請資格)

第3条 留学奨学金を申請する者は、本学学部又は学環に在籍し、次の各号の要件をすべて満たす者とする。

- (1) 留学する時点で本学に1年以上在学していること。
- (2) 所属学部長又は学環長から、対象の留学に応募することが許可されること。
- (3) 本学の授業科目の出席状況が良好で、所属学環又は学科の必修科目に不合格点がないこと。
- (4) 前期に留学する場合は前年度前期まで、後期に留学する場合は前年度後期までの通算GPAが、次条の表の基準以上であること。
- (5) 留学の出願時までに、次条の表における英語力の基準以上のスコアを取得していること。
- (6) 留学を全うする意志が強く、留学期間終了後は直ちに本学へ復帰して学業を継続すること。
- (7) 本学の学費納付について、原則として、未納・滞納がない(留学期間中も含む)こと。

(給付)

第4条 留学奨学金の給付金額は、下表のとおりとする。

| 奨学金の種類    | 英語力の基準        |              | GPA | 給付金額  |
|-----------|---------------|--------------|-----|-------|
|           | TOEFL-iBT:61  | TOEIC:500    |     |       |
| セメスター認定1種 | TOEFL-iBT:52  | TOEFL-iBT:52 | 2.8 | 100万円 |
|           | TOEFL-ITP:470 |              |     |       |

|           |                                            |     |      |
|-----------|--------------------------------------------|-----|------|
| セメスター認定2種 | TOEIC:450<br>TOEFL-iBT:45<br>TOEFL-ITP:450 | 2.5 | 50万円 |
|-----------|--------------------------------------------|-----|------|

(申請)

第5条 留学奨学金の受給を希望する者は、指定の期日までに所定の申請書類を学長に提出しなければならない。

(選考及び決定)

第6条 留学奨学金の選考、取消及び返還の決定は、所属学部長又は学環長から意見を聴取の上、国際教育センター会議の議を経て、学長がこれを行う。

2 学長は、前項の決定をしたときは、決定内容を申請者に通知するものとする。

(給付方法)

第7条 留学奨学金は、特段の事情がある場合を除き、給付が決定した学生の金融機関口座に振り込むものとし、その口座は日本国内のものとする。

(奨学金の使途)

第8条 この留学奨学金は、留学先大学に支払う入学申請料、授業料、宿泊費（寮費又はホームステイ費）に充てるものとする。

(重複の制限)

第9条 この留学奨学金を受給する者は、京都ノー トルダム女子大学米国姉妹大学留学奨学金制度及び京都ノー トルダム女子大学英語英文学科留学特待生制度の奨学金を重複して受給することはできない。

2 この留学奨学金を受給する者に対しては、派遣留学生（セメスター認定留学等）授業料等減免制度を重複して適用することはできない。

(給付の取消)

第10条 留学奨学金受給の決定から留学期間終了までの期間に学生が次の各号のいずれかに該当すると認められたときは、留学奨学金の受給資格を取り消す。

- (1) 留学を辞退または取り止めたとき
- (2) 本学の学費等の納付を怠ったとき
- (3) 第3条で規定された資格を満たせなかったとき
- (4) 留学先大学において成業の見込みがないと判断され帰国を命じられたとき
- (5) 留学生としてふさわしくない行為があったと認められたとき

京都ノーートルダム女子大学海外指定校推薦入学奨学金規程

- (6) 学籍を失ったとき  
(7) 本学学則による懲戒処分を受けたとき  
(8) 留学先大学の規則による懲戒処分等を受けたとき  
(9) その他留学生として不適当と認められたとき

(返還)

第11条 留学奨学金の支給後、留学生が前条に掲げる各号のいずれかに該当する場合は、留学奨学金の全額又は一部を返還しなければならない。

(特例)

第12条 この規程により難い場合は、国際教育センター会議の議を経て、学長が別の取り扱いをすることができる。

(事務の所管)

第13条 この留学奨学金に関する事務は、国際教育課が担当する。

(規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則 (令和6年10月7日制定)

この規程は、令和7年4月1日から施行し、令和7年度入学生から適用する。

附 則 (令和7年2月19日改正)

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

(目的)

第1条 この規程は、京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）が、推薦入学に関する協定を締結した日本国外の高等学校から入学する外国人留学生に対して、経済的負担を軽減し学業を援助することを目的として、海外指定校推薦入学奨学金（以下、「奨学金」という。）について必要な事項を定めるものである。

(対象)

第2条 奨学金の給付対象者は、次に掲げる各号すべてに該当する者とする。

- (1) 推薦入学に関する協定を締結する日本国外の高等学校から、本学学部又は学環1年次に入学した私費外国人留学生で、修学の意志が明確な者  
(2) 入学前に、日本語能力試験 N2 合格以上又は日本留学試験（日本語・記述を含む）200点以上を取得している者

(給付額)

第3条 奨学金の給付額は、1人当たり、月額 30,000 円とする。

(給付期間)

第4条 給付期間は、第1年次の12ヶ月間とし、当該年度限りとする。

(申請手続)

第5条 奨学金を申請する者は、所定の申請書類を指定期日までに国際教育課に提出しなければならない。

(選考等決定)

第6条 奨学金受給者の選考及び取消の決定は、所属学部教授会又は学環教授会の議を経て、学長が行う。

(取消)

第7条 奨学金受給者が次の各号の一に該当する場合は、奨学金の支給を取り消す。

- (1) 本学への入学を辞退または取り消したとき  
(2) 奨学金適用期間中に休学または学籍を失ったとき  
(3) 虚偽の申告により申請したことが判明したとき  
(4) 学則による懲戒処分を受けたとき  
(5) 奨学金を受ける者として不適当と認められたとき

(事務の所管)

第8条 この規程に関する事務は、国際教育課の所管とする。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が決定する。

附 則 (平成25年12月24日制定)

この規程は、平成26年4月1日より施行する。

附 則 (令和5年9月20日改正)

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和5年10月18日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和7年2月19日改正）

この改正は、令和7年4月1日から適用する。

## 京都ノートルダム女子大学キャンパスサポート規程

### （定義）

第1条 キャンパスサポートとは、障がいのある学生が障がいのない学生と等しく授業又は学生生活において参加できる機会を確保するため、大学内の各組織間の連絡及び調整を図り、必要に応じて合理的配慮をおこなうことをいう。

障がいのある学生とは、身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）やその他の心身の機能の障がいがあり、障がい及び内部疾患、社会的障壁等により、継続的に日常生活又は社会生活に相応な制限を受ける状態にある学生をいう。

### （目的）

第2条 京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）は、障がいのある学生（以下「当該学生」という。）の教育・研究へのアクセシビリティを高め、京都ノートルダム女子大学障がいのある学生への支援の基本方針に示す基本原則に則り、支援の充実を図ることを目的として本規程を定めることとする。

### （申し込み）

第3条 キャンパスサポートを申し込みできる者は、次のとおりとする。

- (1) 本学に入学を希望する者及びその保証人で社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった者
- (2) 在学生及びその保証人で社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった者

### （設置）

第4条 当該学生を支援するために本学にキャンパスサポート推進室を設置する。

2 キャンパスサポート推進室は次の職員が担当する。

- (1) キャンパスサポート推進室長は学生課長が兼務する。ただし学長が必要と認めるときは他の者を任命することができる
- (2) 担当職員は医務室職員、学生課職員が兼任する

### （業務内容）

第5条 キャンパスサポート推進室では次の業務を行う。

- (1) キャンパスサポートの利用を希望する者への支援についての情報提供に関すること
- (2) キャンパスサポートの申し込みに関すること
- (3) 当該学生の修学及び学生生活上の支援計画を策定するための合意形成に関する

- 会議（「キャンパスサポート会議」という。）の実施
- (4) 担当者（科目担当教員や該当課）と協議の上大学の合理的配慮案を作成しキャンパスサポート推進委員会に諮ること
- (5) 決定した配慮内容を申込者に説明するとともに速やかに配慮提供が行われるようにすること
- (6) その他、キャンパスサポートの実施に関して必要なこと
- （キャンパスサポート会議）
- 第6条 支援への申し込みがあった場合、キャンパスサポート推進室長がキャンパスサポート会議を招集する。
- （キャンパスサポート会議の構成員）
- 第7条 構成員は次のとおりとし、第5条第3号の業務を担当する。
- (1) 当該学生の指導教員
  - (2) 当該学生が所属する学環若しくは学科の学生委員又は研究科（専攻）の担当教員
  - (3) 当該学生が所属する学環若しくは学科の教務委員又は研究科（専攻）の担当教員
  - (4) キャンパスサポート推進室長
  - (5) 学生相談室 専門相談員
  - (6) 教務課長
  - (7) 学事課長
  - (8) 学生課長
  - (9) 医務室職員
  - (10) 学生課職員
  - (11) その他、支援に関係する部署の教職員

#### （キャンパスサポート会議の実施）

#### 第8条

- (1) キャンパスサポート推進室長は会議の進行を担当する
- (2) 会議において、キャンパスサポートの利用を希望する者から提出された書類に基づき、支援を必要とする理由と希望する支援の内容を確認する。原則として「合理的配慮を検討するための主治医等からの意見書」の提出を求める
- (3) 授業等における合理的配慮や生活支援等について支援の提案を行う
- (4) キャンパスサポートの内容（合理的配慮等）の周知方法（配慮文の作成等）について合意形成を図る

（キャンパスサポートスタッフ会議の実施）

- 第9条
- (1) キャンパスサポート推進室長はキャンパスサポート会議の前後に構成員をスタッフ会議に招集し、キャンパスサポート利用の申し込みに対する合理的配慮や支援の原案を作成について検討し、決定する
  - (2) キャンパスサポート推進室職員は医療等の外部機関との連携窓口を担当するとともに、学生相談室長、専門相談員に必要に応じて助言や必要な連携を行う
  - (3) 学生委員等は学科会議等において、当該学生の状況や特別な支援の実施について報告し、学科会議等の構成員へ協力依頼を行う
  - (4) 教務委員等は学科会議等において、当該学生の修学支援における要望を報告し、合理的配慮について学科会議等の構成員へ情報の共有を図る

#### （配慮内容の確認）

第10条 学部長、学環長又は研究科長（以下「学部長等」という。）は前条第1号で合意形成が得られた配慮等について、配慮を行う授業担当者、事務担当課室その他の教職員（以下「担当者」という。）と協議し、必要に応じて当該学生と建設的な対話を行い、最終的な合理的配慮案を作成する。

（大学としての合理的配慮等の決定）

第11条 学部長等は、キャンパスサポート推進委員会の議を経て、提供する合理的配慮を決定する。

#### （提供する合理的配慮の通知）

#### 第12条

- (1) 学部長等は、決定された合理的配慮について、担当者に通知する
- (2) 学部長等は、決定された合理的配慮について、該当学生及び保証人等に通知する

（不服の申し立て）

第13条 当該学生が不当な差別的取扱いを受けていると考えた場合、また合理的配慮を含む支援の内容やその決定過程に対して不服がある場合は、以下の組織が本人からの不服申し立てを受理し、紛争解決のための調整を行う。

- (1) キャンパスサポート推進委員会
- (2) 学長が設置する組織

（個人情報の管理）

第14条 キャンパスサポートで取り扱った個人情報、保健室において個別に管理する。

## (その他)

第15条 その他本規程に定めない事項においては、キャンパスサポート推進委員会において定める。

## (事務処理)

第16条 この規程に関する事務は、教育支援部学生課（キャンパスサポート推進室）が所管する。

## (規程の改廃)

第17条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て行う。

附 則（平成30年5月16日制定）

本規程は、平成30年5月17日から施行する。なお、キャンパスサポート利用規程は廃止する。

附 則（平成31年3月20日改正）

この改正は、改正の日から施行し、平成31年2月7日より適用する。

附 則（令和4年4月20日改正）

この改正は、改正の日から施行し、令和4年5月1日より適用する。

附 則（令和5年9月20日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和5年10月18日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和5年11月15日改正）

この改正は、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和7年1月22日改正）

この改正は、令和7年1月23日から適用する。

## (目的)

第1条 京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）キャロライン寮（以下「学生寮」という。）は、本学の学部学生及び女子大学院生（以下「学生」という。）に対して、建学の精神に基づいた共同生活の場を提供することによって、自治と協同の精神を学び、また他者への思いやりの心を深めることにより人間形成に寄与することを目的とする。

## (出願手続)

第2条 入寮を希望する学生は、所定の入寮願書を所定の期日までに学長に提出しなければならない。

## (入寮許可)

第3条 学生の入寮は学長が許可する。

## (入寮手続)

第4条 入寮を許可された学生は、所定の期日までに入寮費及び寮諸費の納入をはじめ、所定の手続きを完了しなければならない。なお、入寮費・寮諸費の額については別に定める。

2 前項の手続きを所定の期日までに完了しない学生に対しては、入寮許可を取り消すことがある。

## (寮費の納入)

第5条 入寮費以外の寮諸費は、所定の年額を4月及び10月に分納することができる。

2 納入期日以後に入寮を許可された学生であっても入寮費及び寮諸費の全額を納入しなければならない。

## (入寮費及び寮諸費の返還)

第6条 既に納入した入寮費及び寮諸費は原則として返還しない。ただし、入寮手続き完了後、所定の期日までに文書で入寮辞退を申し出した場合は、入寮費を除いた寮諸費を返還する。

2 寮諸費は外泊、旅行あるいは一時帰省などの自己都合によって在寮しない期間についても免除または減額しない。

## (退寮及び復寮)

第7条 退寮する者は、所定の退寮手続きをしなければならない。

2 学籍を失ったとき及び休学を許可され、または停学を命ぜられたときは速やかに退寮しなければならない。

3 自己都合による年度途中の退寮は原則として認めない。ただし、やむを得ない特別の事由がある者には、学生寮委員会による面談等を経て、学長が退寮を許可する場合がある。

4 退寮期限は卒業式の翌日までとする。

5 第2項により退寮した者が、再入学及び復籍ならびに復学した場合は、寮の空室状況によって復寮が許可される場合がある。

(在寮期間)

第8条 在寮期間は、本学の修業年限内とする。

(閉寮)

第9条 大学の夏期及び年末年始の休業期間は閉寮する。ただし、閉寮期間であっても、特別の事由により入寮が必要になった者には、学長が一時的に入寮を許可する場合がある。

2 集団感染症等の特別の事由により、閉寮する場合がある。

(禁止事項)

第10条 寮内全域における以下の行為は厳重に禁止する。

- (1) 喫煙
- (2) 飲酒
- (3) 火気の使用
- (4) 動物の飼育や植物の栽培
- (5) その他、秩序を乱す行為

(退寮命令)

第11条 次の号のいずれかに該当する者は退寮を命ずるものとする。

- (1) 本規程ならびに学生寮生活細則に定められた重要な事項に違反した者
- (2) 心身の健康上、寮生活に適応が困難であると判断された者
- (3) 無断外泊した場合、または外泊願などの書類に故意に事実と反する記載をした者
- (4) 本規程第10条に定める禁止事項のうち、喫煙または飲酒をした者
- (5) 所定の期日までに寮諸費を納入しない者

(損害の弁償)

第12条 故意または重大な過失により寮の施設、設備、備品などを破損したり紛失したりした場合は、大学に対して損害を弁償しなければならない。

(細則)

第13条 必要に応じて、別に学生寮生活細則を定める。

附 則 (平成21年12月24日制定)

この規程は平成21年12月25日より施行する。なお、従来の「学生寮規則」は廃止する。

附 則 (平成23年2月23日改正)

この改正は平成23年2月24日より施行する。

附 則 (平成23年11月30日改正)

この改正は平成23年12月18日より施行する。

附 則 (平成25年1月30日改正)

この改正は平成25年1月31日より施行する。

附 則 (平成28年1月20日改正)

この改正は平成28年4月1日より施行する。

101

## 京都ノートルダム女子大学 在学生等の個人情報保護に関する規則

### 第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、京都ノートルダム女子大学(以下「本学」という。)における在学生等の個人情報の取り扱いに関する基本的事項を定めることにより、本学の業務を適正に行なうとともに、個人の権利・利益、プライバシーを保護することを目的とする。

(定義)

第2条 この規則において、「個人情報」とは本学の在学生、在学生の保証人、入学志願者、卒業生(以下「在学生等」という。)に関わる情報であって、当該情報に含まれる氏名・生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。)をいう。

2 この規則において「保有個人情報」とは、教職員が職務上作成又は取得した個人情報であって、教職員が組織的に利用するものとして、本学が保有しているものをいう。ただし、文書、電子式記録に記録されているものに限る。

3 この規則において「個人情報ファイル」とは、保有個人情報を含む情報の集合体であって、一定の事務の目的を達成するために、特定の保有個人情報をコンピュータを用いて検索できるように体系的に構成したもの、及び、氏名・生年月日その他の記述により特定の保有個人情報を容易に検索することができるように体系的に構成したものをいう。

4 この規則において、「情報主体」とは、個人情報によって識別される特定の個人(当該情報主体が未成年者である場合の法定代理人、保証人を含む。)をいう。

(一般的責務)

第3条 所属長は、個人情報の重要性を認識し、保有個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じるとともに、教職員が個人情報を適正に取り扱うように指導・監督し、それに関連する問題が生じた場合には迅速かつ適切に対処するものとする。

2 個人情報を取り扱う教職員は、本規則及び関係法令、並びに学校法人ノートルダム女学院及び本学が定める規則を遵守して、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

3 個人情報を取り扱う教職員は、その業務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに第三者に知らせ、または不当な目的に利用してはならない。

4 前3項の規則は、教職員がその職を退いた場合であっても、同様とする。

### 第2章 個人情報の取扱い

(利用目的の特定)

第4条 個人情報の保有は、本学の業務又は教育・研究活動を遂行するために必要な場合に限るものとし、収集及び保有にあたってはその利用目的をできる限り特定しなければならない。

2 利用目的の特定は、情報主体が自己の個人情報の利用範囲が合理的に予想できるように、できる限り具体的、個別的に特定しなければならない。

3 あらかじめ個人情報を第三者に提供することを想定している場合には、提供先の第三者を明らかにして、その旨を利用目的に特定しなければならない。

4 利用目的の変更は、変更前の利用目的と相当の関連性を有すると合理的に認められる範囲内に

102

においてのみ変更することができます。

(保有制限)

第5条 個人情報 は、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えて、これを収集・保有してはならない。

2 新たに個人情報を収集しようとするときは、適正な手段で、原則として情報主体から直接収集することとする。

3 新たに個人情報を収集しようとする教職員は、対象となる情報主体の範囲、収集しようとする個人情報の種類、利用目的、収集方法及び取得の必要性等を明らかにした上で、あらかじめ個人情報管理責任者の許可を得なければならない。

4 思想、信条及び宗教に関する個人情報収集についてはならない。

5 前3項の許可をした個人情報管理責任者は、その内容について所属長に報告しなければならない。

(利用目的の通知等)

第6条 個人情報を取得するときは、次にあげられる場合を除き、あらかじめ、当該情報主体に対してその利用目的を通知し、又は公表しなければならない。

(1) 利用目的を情報主体に明示することにより、当該情報主体又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがあるとき。

(2) 利用目的を情報主体に明示することにより、本学の権利又は正当な利益を害するおそれがあるとき。

(3) 国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を情報主体に明示することによって当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

(4) 取得の状況からみて、利用目的が明らかであると認められるとき。

2 利用目的を通知又は公表するにあたっては、情報主体は個人情報が利用された結果が合理的に想定できる程度に具体的・個別的に特定しなければならない。

(利用目的による制限)

第7条 保有個人情報は、利用目的以外の目的のために利用してはならない。

2 前項の規則にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、利用目的以外のために保有個人情報を利用することができる。ただし、利用目的以外の目的のために利用することにより、情報主体又は第三者の権利・利益を不当に侵害するおそれがあるとき、この限りではない。

(1) 情報主体の同意があるとき。

(2) 法令の規定に基づくとき。

(3) 人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合であって、情報主体の同意を得ることが困難であるとき。

(4) 公衆衛生の向上、又は在学生の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、情報主体の同意を得ることが困難であるとき。

(5) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けたものが法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、情報主体の同意を得ることにより当該事務

の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

(6) 本学が、調査・統計を取るために必要があるとき。

(7) 本学の業務又は教育・研究活動のため当該個人情報を利用することに相当の理由があるとき。

3 前項の規則に基づき、保有個人情報をその利用目的の利用以外の目的で利用しようとする教職員は、利用しようとする個人情報の種類、情報主体の範囲、新たな利用目的及び利用目的以外の目的での利用の必要性等を明らかにした上で、あらかじめ個人情報管理責任者の許可を得なければならない。

4 前項の許可をした個人情報管理責任者は、その内容について学長に報告しなければならない。

(個人情報の正確性の確保)

第8条 個人情報管理責任者は、個人情報を利用目的に及び、必要な範囲内において、正確かつ最新の状態で管理しなければならない。

(第三者提供の制限)

第9条 保有個人情報は、第三者に提供してはならない。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、第三者に提供することができる。ただし、第三者に提供することにより、情報主体又は第三者の権利・利益を不当に侵害するおそれがあるとき、この限りでない。

(1) 情報主体の同意があるとき。

(2) 法令の規定があるとき。

(3) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、情報主体の同意を得ることが困難であるとき。

(4) 公衆衛生の向上、又は在学生の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、情報主体の同意を得ることが困難であるとき。

(5) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、情報主体の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

(6) 本学が、調査・統計を取る必要があるとき。

(7) 本学の業務又は教育・研究活動のため当該個人情報を利用することに相当の理由があるとき。

3 保有個人情報は、本学の同窓会に対し、同窓会の利用目的の達成に必要な範囲内において提供することができる。

4 前2項の規定により、保有個人情報を第三者に提供する場合には、提供先の第三者に次の事項を遵守させなければならない。

(1) 提供した保有個人情報の取り扱いを通じて知り得た個人情報情報を漏らし、又は盗用してはならない。

(2) 提供した保有個人情報の再提供を行なうにあたっては、予め文書(様式 第5号)をもって本学の了承を得ること。

(3) 保管期間を明確化すること。

(4) 利用目的達成後の保有個人情報の返却又は提供先で適切かつ確実に廃棄若しくは削除すること。

(5) 提供先における保有個人情報の複写及び複製(安全管理上必要なバックアップを目的とするなど提供目的の範囲内のものを除く。)しないこと。

5 本条2項及び3項の規則に基づき、保有個人情報を第三者に提供しようとする教職員は、提供しようとする個人情報の種類、情報主体の範囲、第三者に提供すべき必要性等を明らかにした上で、あらかじめ個人情報管理責任者の許可を得なければならない。ただし、利用目的に第三者への提供が含まれている場合はこの限りでない。

6 前項の許可をした個人情報管理責任者は、その内容について学長に報告しなければならない。

7 個人情報管理責任者は、保有個人情報を第三者に提供する場合には、本条4項に定める事項を記載した誓約書を、提供先の第三者から徴収しなければならない。

(保有個人情報の委託)

第10条 保有個人情報の処理を委託するときは業務目的の達成に必要なもののみ提供し、かつ委託した情報が安全に管理され、その利用方法が適切であるか監督しなければならない。

2 各学校の個人情報管理責任者は、個人情報の安全管理について十分な措置を講じている者を委託先として選定した上、当該委託先と委託契約を交わすなどして、個人情報の改ざん、漏洩、毀損、紛失の防止に努めなければならない。

3 委託契約の締結にあたっては、委託契約期間を明記し、事故があった場合の責任分担を明確にするとともに、委託先に次の事項を遵守させなければならない。

(1) 委託契約上の利用目的以外の利用は行なってはならない。

(2) 業務上知りえた個人情報の業務以外に漏らし、又は盗用してはならない。

(3) 再委託を行う場合には、文書で報告しなければならない。

(4) 利用目的達成後の個人情報返却し、又は適切かつ確実な方法で委託先において破壊若しくは削除しなければならない。

(5) 個人情報を加工、改ざんしてはならない(但し、委託契約の範囲内のものを除く。)

(6) 個人情報を複写又は複製してはならない(安全管理上必要なバックアップを目的とする等委託契約の範囲内のものを除く。)

(7) 個人情報の漏洩等の事故が発生した場合には、直ちに報告しなければならない。

4 外部委託管理規則は上記の内容を含む書面(様式 第1号)で契約し、契約書の正本1通は学院、副本2通は各学校と委託業者で各1通ずつ保管する。

5 保有個人情報の処理を委託しようとする教職員は、委託しようとする個人情報の種類、情報主体の範囲、委託の必要性等を明らかにした上で、あらかじめ個人情報管理責任者の許可を得なければならない。

6 前項の許可をした個人情報管理責任者は、その内容について所属学校長に報告しなければならない。

### 第3章 保有個人情報の開示および訂正など

(開示請求及び訂正)

第11条 情報主体は、この規則の定めるところにより、本学の保有する自己に関する保有個人情報の開示を請求することができる。

2 個人情報管理責任者は、保有個人情報の開示、訂正、削除、利用停止、第三者提供の停止等の請求(以下「開示等」という。)に必要な手続きについて、窓口への書面の掲示若しくは備え付け、ホームページ上での掲載、パンフレット・広報誌などにおける明記その他の方法により、情報主体に

周知するとともに、開示等の請求に際して提出すべき書面を準備して窓口に備え置かなければならない。

3 前項の周知にあたっては、次の事項を明記しなければならない。

(1) 開示等の請求先。

(2) 開示等の請求に際して提出すべき書面の様式その他の開示等の請求の方式。

(3) 開示等の請求をするものが本人又は代理人であることの確認方法。

(4) 手数料の徴収方法。

4 本条1項の開示請求を行うようとする情報主体は、本人であることを明らかにした上で、女学院規則の書面(様式 第2号)を、個人情報管理責任者に提出しなければならない。

5 個人情報管理責任者は本条1項の請求を受けた時は、次項に定める場合を除いて、情報主体に対し、遅滞なく、当該保有個人情報を開示しなければならない。

6 個人情報管理責任者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、保有個人情報の全部又は一部を開示しないことができる。

(1) 情報主体又は第三者の生命、身体、財産その他の権利・利益を害するおそれがある場合。

(2) 本学の教育活動又は業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合。

(3) 法令に違反することとなる場合。

(4) 個人の指導、評価、診断、選考等に関する個人情報であって、開示することによって、本学の指導、評価、診断、選考等に支障を及ぼすおそれがある場合。

7 個人情報の開示・非開示を決定するにあたっては、次に掲げる事項に留意しなければならない。

(1) 情報主体から当該情報主体の成績の評価その他これに類する事項に関する個人情報の開示を求められた場合には、学校における教育活動に与える影響を勘案すること。

(2) 情報主体の法定代理人から当該情報主体に関する個人情報の開示を求められた場合には当該情報主体に対する児童虐待及び当該情報主体が同居する家庭における配偶者の暴力のおそれの有無を勘案すること。

8 個人情報管理責任者は保有個人情報の全部又は一部について開示しない旨の決定をしたときは、開示を請求した者に対して、遅滞なく、その旨を通知しなければならない。

9 個人情報管理責任者は、開示した保有個人情報の内容が事実ではないという理由で、情報主体又は保証人から訂正、追加又は削除(以下「訂正等」という。)を請求された場合には、遅滞なく必要な調査を行わなければならない。

10 個人情報管理責任者は、前項の調査に基づき、当該保有個人情報の訂正等を行なったとき、又は訂正等を行わないう旨の決定をしたときは、訂正等を請求した者に対して、遅滞なくその旨を通知しなければならない。

11 個人情報管理責任者は保有個人情報の開示等の請求に対し、開示等の決定をしたときは、遅滞なく、所属長に報告しなければならない。

(取り扱いの停止)

第12条 情報主体は、本学の保有する自己に関する保有個人情報、その利用目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱われていると認められる場合には、この規則の定めるところにより、当該保有個人情報の取り扱いの停止を請求することができる。

2 前項の取り扱いの停止を請求する情報主体は、本人であることを明らかにした上で、女学院規則の書面(様式 第2号)を、個人情報管理責任者に提出しなければならない。

3 個人情報管理責任者は、第1項の請求を受けたときは、遅滞なく必要な調査を実施しなければならない。



らない。

- 4 個人情報管理責任者は、前項の調査の結果、第1項の請求に理由があると判断したときは、遅滞なく、当該保有個人情報の取り扱いを停止しなければならない。ただし、当該保有個人情報の取り扱いの停止に多額の費用を要する場合、その他の理由により取り扱いを停止することが困難な場合にあって、情報主体の権利利益を保護するために必要な、代わるべき措置をとるときはこの限りではない。
- 5 個人情報管理責任者は、前項の規則に基づき、保有個人情報の全部又は一部について取り扱いを停止したとき、又は取り扱いの停止を行わない旨の決定したときは、取り扱いの停止を請求したものに對して、遅滞なくその旨を通知しなければならない。

#### (提供の停止)

- 第13条 情報主体は、本学の保有する自己に関する保有個人情報の、不当に第三者に提供されたいと認められる場合には、この規則の定めるところにより、当該保有個人情報の第三者への提供の停止を請求することができる。
- 2 前項の提供の停止を請求する情報主体は、本人であることを明らかにした上で、女学院規則の書面(様式 第3号)を、個人情報管理責任者に提出しなければならない。
- 3 個人情報管理責任者は、第1項の請求を受けたときは、遅滞なく必要な調査を実施しなければならない。
- 4 個人情報管理責任者は、前項の調査の結果、第1項の請求に理由があると判断したときは、遅滞なく、当該保有個人情報の第三者への提供を停止しなければならない。ただし、当該保有個人情報の第三者への提供の停止に多額の費用を要する場合、その他の理由により第三者への提供を停止することが困難な場合にあって、情報主体の権利利益を保護するために必要な、代わるべき措置をとるときはこの限りではない。
- 5 個人情報管理責任者は、前項の規則に基づき、保有個人情報の全部又は一部について第三者への提供を停止したとき、又は第三者への提供の停止を行わない旨の決定をしたときは、第三者への提供の停止を申請した者に対して、遅滞なくその旨を通知しなければならない。

#### 第4章 不服の申立て

##### (不服の申立て)

- 第14条 情報主体は、女学院及び各学校の保有する自己に関する保有個人情報の取り扱いに關して不服がある場合は、この規則に定めるところにより、不服を申し立てることができる。
- 2 個人情報管理責任者は、情報主体が自己の個人情報の取り扱いに關する不服申し立てをする場合に必要な手続きについて、窓口への書面の揭示若しくは備え付け、ホームページ上での掲載、パンフレット・広報紙などにおける明記その他の方法により、情報主体に周知しなければならない。
- 3 前項の周知にあたっては、次の事項を明記しなければならない。
  - (1) 不服の申し立て窓口。
  - (2) 不服の申し立てに際して提出すべき書面の様式その他の不服申し立ての方式。
  - (3) 不服申し立てをする者が本人又は代理人であることの確認方法。
- 4 前項の不服の申し立てをしようとする情報主体は、本人であることを明らかにした上で、女学院規則の書面(様式 第3号)を、個人情報管理責任者に提出しなければならない。
- 5 個人情報管理責任者は、情報主体の不服の申し立てがあれば速やかに当該保有個人情報の管理部署の教職員等その他関係者の出席を求め、意見主たる説明を聴く事ができる。

- 6 個人情報管理責任者は、前項に定める意見又は説明の聴取にあたっては、教職員等その他関係者に対して、当該不服申し立てに關係すると思われる書面、情報通信機器その他の物の提出を求めることができる。
- 7 教職員等は、個人情報管理責任者の調査に對して協力しなければならない。
- 8 個人情報管理責任者は情報主体の不服の申し立てが正当であると判断した場合は、当該個人情報と削除・訂正する等の必要な措置をとった上、その内容を、不服申し立てをした情報主体に文書で通告する。不服の申し立てに理由がないものと判断し、措置を取らなかった場合も、その旨を不服申し立てをした情報主体に文書で通告する。

#### 第5章 管理方法・管理体制

##### (保有個人情報の管理方法)

- 第15条 所屬長は、保有個人情報を取り扱う教職員及びその権限を明確にした上で、その業務を行わなければならない。
- 2 保有個人情報は、その取り扱いについての権限を与えられた教職員のみが、業務の遂行上、必要な限りにおいて取り扱いすることができる。
- 3 教職員等が与えられた権限を超えて保有個人情報を取り扱う場合には、取り扱うとする個人情報の種類、情報主体の範囲、その目的及び取り扱いの必要性等明らかにした上で、あらかじめ個人情報管理責任者の許可を得なければならない。
- 4 保有個人情報を取り扱う教職員は、情報の保護と正確性を維持するために次の事項を守らなければならない。
  - (1) 保有個人情報の改ざん、漏洩、紛失を防止すること。
  - (2) 利用目的のため必要な範囲内において保有個人情報を正確に保持すること。
  - (3) 保有する必要があるなくなった保有個人情報は、速やかに廃棄又は消去を行うこと。
- 5 教職員等は、次に定める場合のほか、保有個人情報のコピーを作成してはならない(安全管理上必要なバックアップを目的とする場合を除く。)
- 6 教職員等が、保有個人情報のコピーを作成する場合には、コピーしようとする個人情報の種類、情報主体の範囲、その目的及び持ち出しの必要性等を明らかにした上で、あらかじめ個人情報管理責任者の許可を得なければならない。
- 7 教職員等は、次に定める場合のほか、保有個人情報を学校外に持ち出してはならない。
- 8 教職員等が、保有個人情報を学校外に持ち出す場合には、持ち出そうとする個人情報の種類、情報主体の範囲、その目的及び持ち出しの必要性等を明らかにした上で、あらかじめ個人情報管理責任者の許可を得なければならない。

##### (個人情報管理責任者)

- 第16条 所屬長は、保有個人情報の取り扱いの管理に關する事項を行なわせるため、当該事項を行なうために必要な知識及び経験を有していると認められる教職員のうちから個人情報管理責任者を選任する。
- 2 個人情報管理責任者は、本規則各条項に定める事項のほか、保有個人情報の管理に關する事項を行なう。

##### (研修)

- 第17条 所屬長は、個人情報管理責任者及び保有個人情報を取り扱う教職員に對して、その責任の

- 重要性を認識させ、具体的な保有個人情報保護の保護措置に習熟させるため必要な教育及び研修を行なうものとする。
- 2 教職員等は、各学校の所属長が実施する個人情報の保護に関する研修を、少なくとも年一回は受けなければならない。

#### (報告・調査)

- 第18条 教職員等は、本規則に違反する行為があると判断したときは、その事項について速やかに個人情報管理責任者に報告しなければならない。
- 2 個人情報管理責任者は、個人情報の取り扱いが本規則に抵触するおそれがあると認識した場合は、直ちに学長に報告するとともに、当該事実について速やかに調査しなければならない。
- 3 個人情報管理責任者は、前項の調査の結果を所属長に報告しなければならない。
- 4 所属長は、個人情報管理責任者から前項の報告を受けたとき、あるいは、自ら個人情報に関連する問題が発生したと認めたときは、個人情報保護委員会委員長に報告しなければならない。
- 5 理事会は個人情報保護管理責任者とは別に独自の調査を行うことができる。

#### 第6章 個人情報保護委員会

##### (個人情報保護委員会の設置)

第19条 個人情報保護に関する重要事項を審議するため、本学に個人情報保護委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

- 2 委員会とは少なくとも年一回は学長に報告をしなければならない。

##### (委員会の構成)

第20条 委員会は次の5名の委員をもって構成する。

- (1) 委員長 学長
- (2) 副委員長 事務局長
- (3) 委員 管理運営部長
- (4) 委員 学生部長
- (5) 委員 個人情報管理責任者

2 委員会の事務局長は事務局長をもって充てる。

3 委員会は、必要があると認めるときには、委員以外の者も会議に出席させ意見を求めることができる。

##### (委員会の開催)

第21条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き議決することができない。ただし、出席できない委員が、予め書面により自己の意思を表示して他の委員に委任した場合には、これを出席者とみなす。

2 委員会の議事は、委員長を除く出席委員の過半数で決し、可否同数の時は委員長の決するところによる。

3 前各項に定めるもののほか、委員会の議事運営に関し必要な事項は、委員長がこれを定める。

##### (委員会の制限)

第22条 委員会は、本学における個人情報の保護を図るため、次に定める業務を行なう。

- (1) 個人情報の保護に関する基本的施策に関する事項を審議・決定すること。
- (2) 情報主体から保有個人情報の開示、訂正、利用停止、不服申立がなされた事項に関し、個人情報管理責任者から付議された事項について審議・決定すること。
- (3) 個人情報の保護のために必要な具体的な措置を管理運営会に提案する。
- (4) 各学校における個人情報の保護に関する事項の情報を交換すること。
- (5) 個人情報の管理業務が、本規則及び関係法令を遵守して適正に行なわれているかどうかを確認すること。
- (6) 保有個人情報の盗難、第三者への漏洩などの事故が発生した場合に対応すること。
- (7) 本規則各条項において委員会の権限とされている事項。
- (8) 上記各号のほか、個人情報の管理に関し重要な事項を審議・決定すること。

#### 第7章 個人情報事故に対する対応

##### (個人情報事故)

第23条 個人情報事故とは、学校の保有する保有個人情報の外部に漏洩、流出した場合をいう。

##### (報告義務)

第24条 教職員は個人情報事故のおそれのある事実を認知したときは、直ちに、個人情報管理責任者に報告しなければならない。

2 個人情報管理責任者は、前項の報告を受けたとき、又は、自ら個人情報事故のおそれのある事実を認知したときは、直ちに、所属長に報告しなければならない。

3 所属長は、前項の報告を受けたときは、直ちに、学長に報告しなければならない。

##### (事故状況の調査)

第25条 個人情報管理責任者は、個人情報事故のおそれがあると認めた場合には、速やかに次の事項について調査しなければならない。

- (1) 個人情報漏洩、流出した情報主体の範囲、氏名、人数。
- (2) 漏洩、流出した個人情報の内容。
- (3) 個人情報漏洩、流出した日時。
- (4) 個人情報漏洩、流出した経緯、原因。
- (5) 個人情報の流出先。

2 個人情報管理責任者は前項の調査をするために、職員その他の関係者の出席を求め、報告、説明及び意見を聴取するとともに、当該事故に関係すると思われる書面、情報通信機器その他の物の提出を求めることができる。

3 教職員は、個人情報管理責任者のする第1項の調査に協力しなければならない。

4 個人情報管理責任者は、調査の結果を所属長に報告しなければならない。

##### (流出先への対応)

第26条 個人情報の流出先に対しては、流失した情報を使用しないよう警告するとともに、流出した情報の返還を請求する。

##### (師末書)

第27条 個人情報事故の原因が、紛失等の教職員の不注意によるものであることが判明した場合に

は、当該教職員は、所属長宛に願末書を提出しなければならない。

(情報主体への説明・謝罪)

第28条 個人情報事故の発生が明らかとなった場合には、当該個人情報事故の対象となった情報主体に対して、次の事項を説明の上、謝罪する。

- (1) 個人情報事故が漏洩、流出した情報の範囲、内容。
- (2) 漏洩、流出先。
- (3) 漏洩、流出した日時、経緯。
- (4) 事故に対する対応。
- (5) 再発防止策。
- (6) その他必要事項。

(一般への公表)

第29条 個人情報事故の発生が明らかになった場合には、ホームページ上で次の事項を公表し、謝罪する。

- (1) 漏洩、流出した情報主体の人数。
- (2) 漏洩、流出した個人情報の範囲。
- (3) 漏洩、流出した日時。
- (4) 漏洩、流出した経緯、原因。

(再発防止策の検討)

第30条 個人情報管理責任者は、当該個人情報事故の発生原因を分析し、再発防止策を策定して、学長に提案しなければならない。

(個人情報保護委員会への報告)

第31条 所属長は、個人情報事故について個人情報管理責任者による調査結果の報告を受けたときは、調査結果及び再発防止策を学長及び個人情報保護委員会に報告しなければならない。ただし、再発防止策の検討に時間を要する場合には、調査結果のみを報告し、追って再発防止策を報告することができる。

2 所属長は、学長又は個人情報保護委員会の決定ないし指示にしたがい、次の措置をとる。

- (1) 警察への被害届出。
  - (2) 個人情報事故に関与した教職員に対する懲戒処分。
  - (3) 個人情報事故に関与した教職員に対する刑事告訴、刑事告発。
  - (4) 第24条の警告又は請求に、流出先が応じない場合の、裁判所への個人情報の使用禁止め並びに返還請求手続。
- 3 個人情報保護に関し、疑義のある事項については、個人情報保護委員会に諮り、その審議及び決定を受けることとする。

## 第8章 個人情報の保管・廃棄

(保管期間)

第32条 保有個人情報の保管期間は次のとおりとする。

- (1) 個人記録カード等個人カルテのうち重要なもの 卒業後 5年間。

- (2) 個人記録カード等個人カルテ 卒業後 3年間。
- (3) 志願票等入学時書類 卒業後 3年間。
- (4) 各校の電子記録媒体(FD、CD、DVD等。)も書類に準ずる。
- (5) 在学証明、卒業証明、成績証明等、卒業後も証明書類作成に必要な個人情報はこの限りではない。

(廃棄方法)

- 第33条 前条の保管期間を経過した保有個人情報、速やかに廃棄しなければならない。
- 2 個人情報を廃棄する場合は、シュレッダーにかけて読み取り不能にした上で廃棄する。シュレッダーにかけることが困難な場合は、信頼できる廃棄物処理業者に廃棄を委託する。
- 3 個人情報を記録したコンピュータ、記憶媒体を物理的に破壊してから廃棄する。
- 4 個人情報を記録したコンピュータを他に転用するときは、特別のソフトウェアを使用して個人情報を完全に消去してから転用する。
- 5 個人情報の廃棄作業は、個人情報管理責任者が行なう。

## 第9章 罰則

(罰則)

第34条 この規則に定めた義務に違反したものを懲戒処分とする場合は、本学の就業規則にもとづき行なう。

## 第10章 雑則

(規則の改廃)

第35条 この規則の改廃は、委員会で発議し、法人個人情報保護委員会に提出し、その承認を経て行なう。

(補則)

第36条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、別途細則として定める。

## 附 則

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(平成 28 年 11 月 30 日改正)

この改正は、平成 28 年 12 月 1 日から施行する。

附 則(令和 5 年 11 月 15 日改正)

この改正は、令和 5 年 4 月 1 日から適用する。

京都ノーートルダム女子大学成績評価の確認及び不服申立てに関する要項

令和元年 6 月 19 日  
教 務 委 員 会

(趣旨)

第 1 条 本要項は、京都ノーートルダム女子大学（以下「本学」という。）における学生（大学院生を含む。以下同じ。）の成績評価に対する確認及び不服申立ての手続について、必要な事項を定める。

(成績評価の確認事項)

第 2 条 学生は、成績評価について疑問があるときは、次の各号のいずれか 1 に該当する場合に限り、所属学部長又は研究科長（以下「学部長等」という。）に確認を求めることができる。

- (1) 成績の誤記入等、授業担当教員の誤りであると思われるもの
- (2) シラバス等により周知している成績評価の方法に沿っていないと思われるもの

(確認書の提出)

第 3 条 学生は、前条各号に定める事項について疑問があるときは、別に定める「成績評価に関する確認書」（以下「確認書」という。）を教務課に提出することができる。

2 確認書の提出を受け付ける期限は、成績通知後 3 週間以内の範囲で教務課が定める日とする。ただし、卒業又は修了の判定の対象者については、これにかかわらず、速やかに提出するものとする。

3 前項の期限後に学生が確認書の提出を希望したときは、特に考慮すべき事情があると教務委員会が認めた場合に限り、これを受理する。

(確認結果の回答)

第 4 条 教務課は、確認書を受理したときは、授業担当教員に回答を依頼する。

2 前項の依頼を受けた教員は、概ね 3 日以内に確認し、別に定める「成績評価に関する回答書」を教務課に提出するものとする。

3 授業担当教員は、確認結果に基づき成績を変更する必要があるときは、当該変更の内容及び理由を、別に定める「成績訂正報告書」により教務課に報告しなければならない。

4 教務課は、前 2 項の回答について所属学部長等に報告の上、当該学生に回答する。

(不服申立て)

第 5 条 前条の規定による確認結果に不服がある学生は、当該不服に関する明確な根拠がある場合に限り、別に定める「成績評価に対する不服申立書」（以下「申立書」という。）を、教務課を通じて学部長等宛てに提出することができる。

2 前項による不服申立ての受付期間は、原則として、当該学生が前条第 4 項の回答を受理した日の翌日から起算して 3 日以内とする。

(審査)

第 6 条 学部長等は、申立書を受理したときは、教務委員会の審査に付すものとする。

(審査結果の報告及び対応)

第 7 条 教務委員会は、前条の審査を速やかに行い、その結果を書面で学部長等に報告しなければならない。

2 前項の報告を受けた学部長等は、教務課を通じて、当該学生及び当該授業担当教員に当該結果を文書により通知する。通知にあたっては、学生の申立てを認める結果であった場合は、授業担当教員に成績を変更する措置を行わせるものとする。

3 学部長等は、前項の通知を行ったときは、教授会又は研究科会議に報告するものとする。

(雑則)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は教務委員会において別に定める。

附 則（令和元年 6 月 19 日制定）

この要項は、制定の日から施行する。



## 19. 校舎・教室等配置図

- (1) 校舎配置図
- (2) 教室等配置図

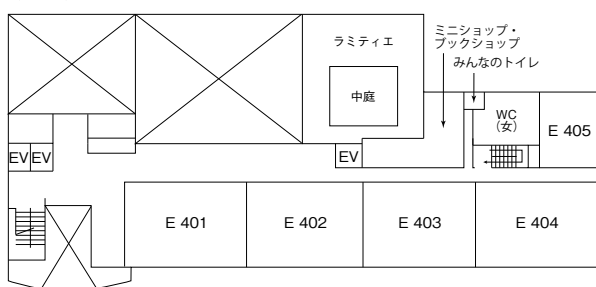




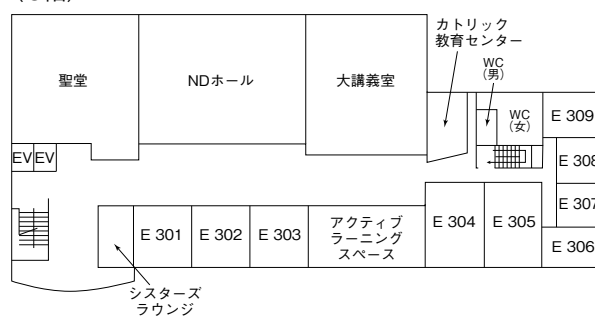


## 〔① ユージニア館〕

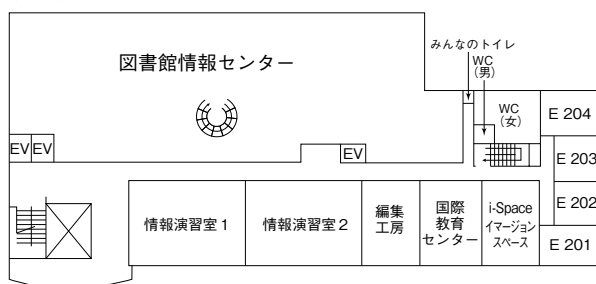
(4階)



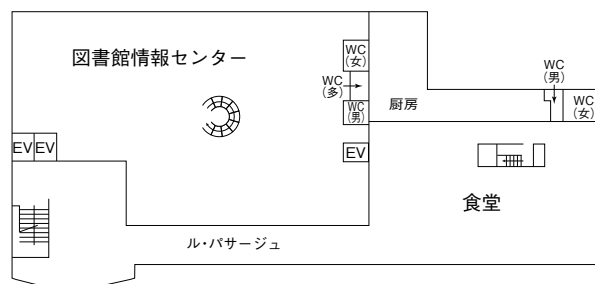
(3階)



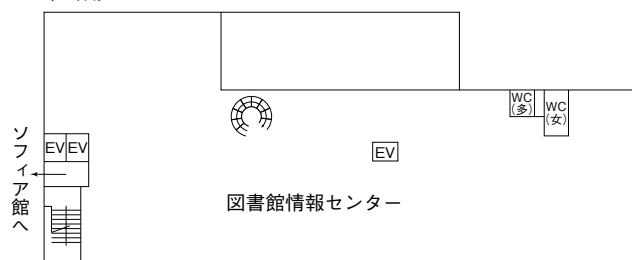
(2階)



(1階)

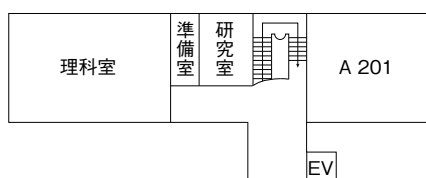


(地階)

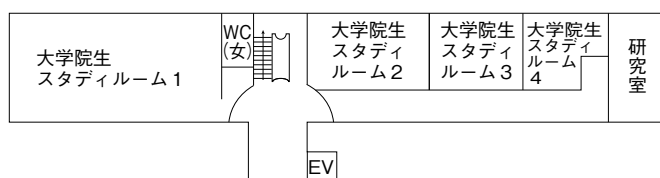


## 〔② ユージニア館別館〕

(2階)



(1階)

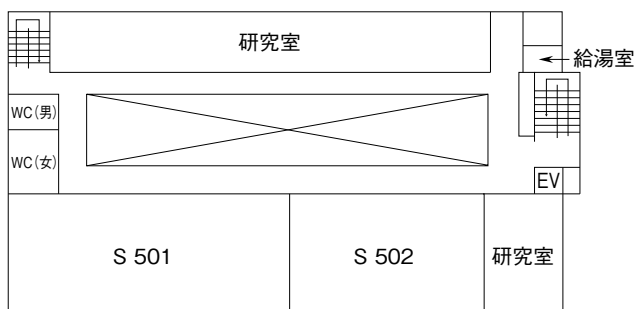


(地階)



〔③ ソフィア館〕

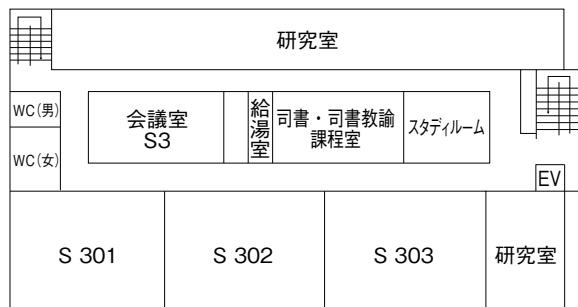
(5階)



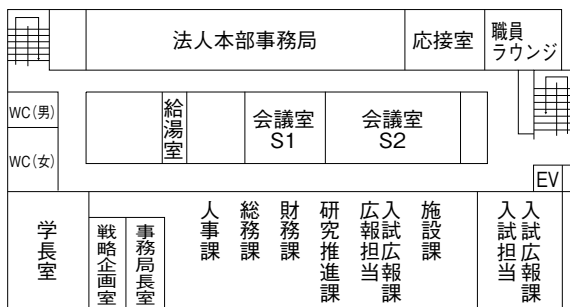
(4階)



(3階)



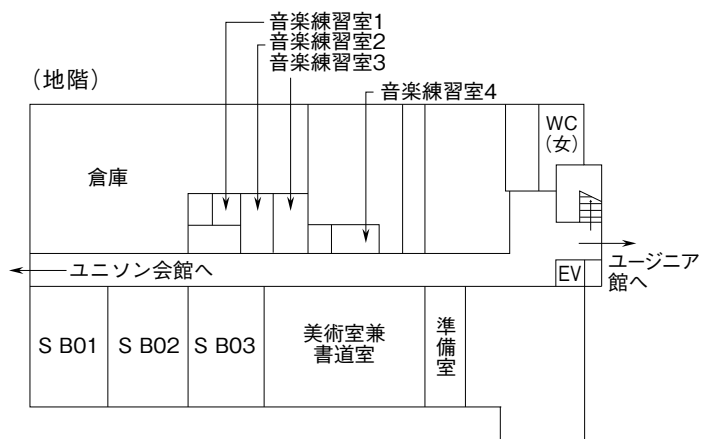
(2階)



(1階)



(地階)



12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部局等の案内

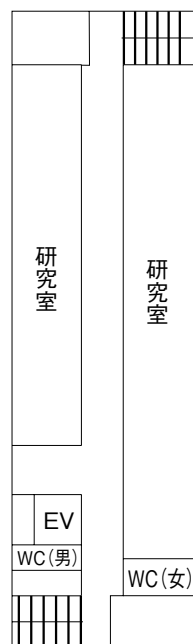
17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

19. 校舎・教室等配置図

〔④ テレジア館〕

(4階)



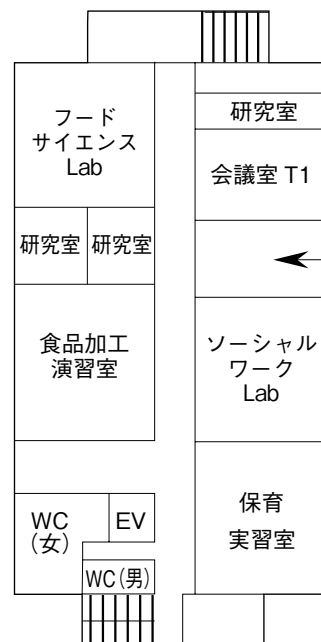
(3階)



(2階)



(1階)

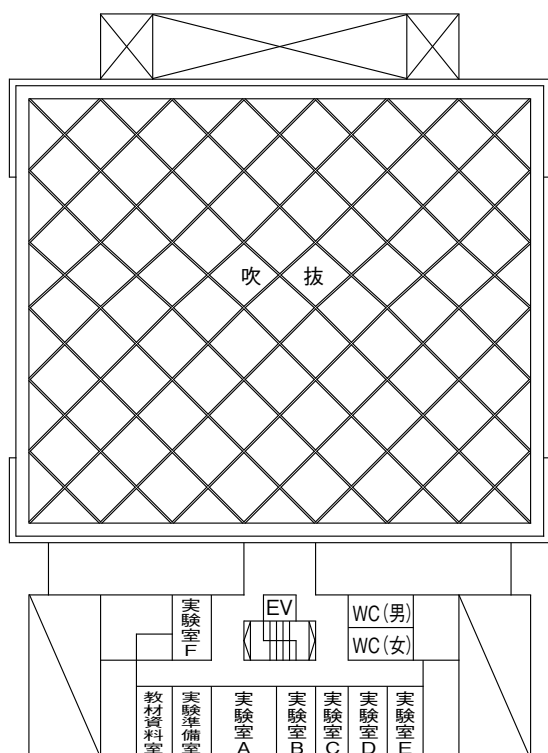


社会福祉相談室

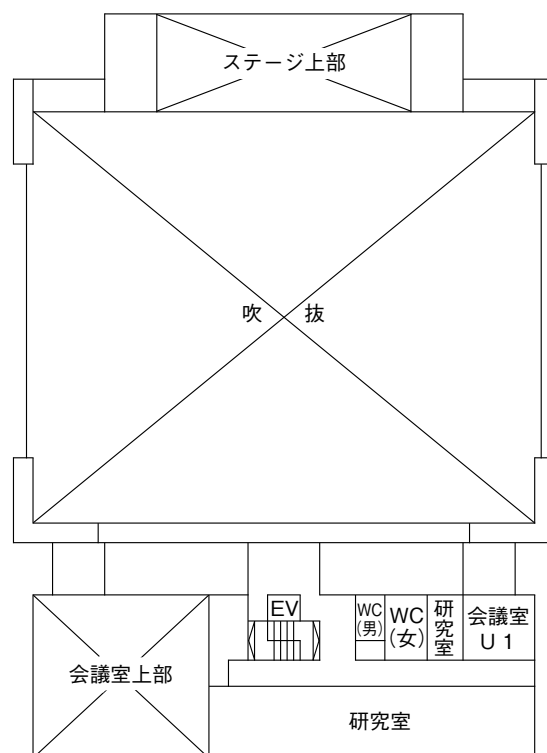


〔⑤ ユニソン会館〕

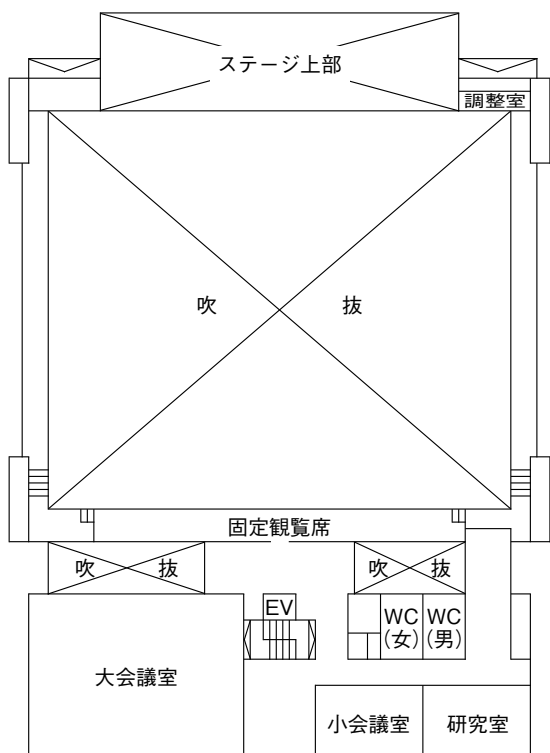
(5 階)



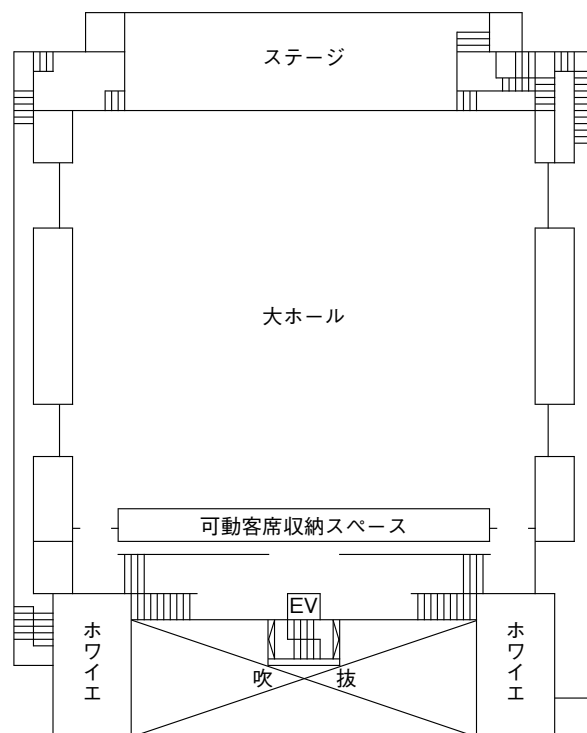
(4 階)



(3 階)



(2 階)



12. 免許・資格

13. 留学・海外研修等

14. 欠席の取扱い・試験実施要領等

15. 学生納入金(学費)・経済的支援

16. 各部署等の案内

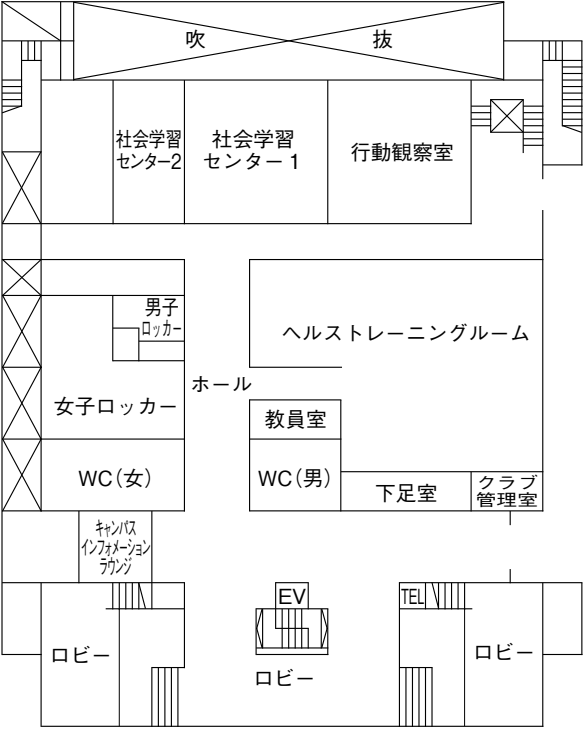
17. 科目名英訳対照表等

18. 学則・規程等

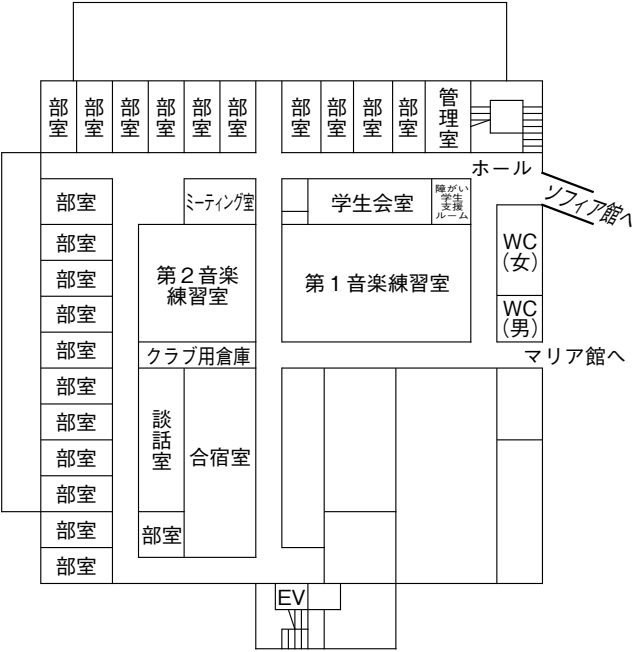
19. 校舎・教室等配置図

〔⑤ ユニソン会館〕

(1 階)



(地 階)

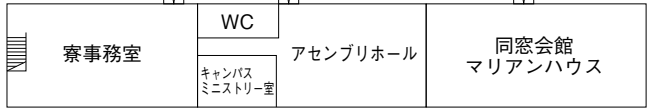


〔⑦ キャロライン館〕

(2～4階)



(1 階)



2025年度  
学 生 便 覧

2025年3月31日発行

発 行 京都ノートルダム女子大学  
〒606-0847

編 集 京都市左京区下鴨南野々神町 1  
京都ノートルダム女子大学教務課  
TEL. (075)706-3745 (教務課)  
FAX. (075)706-3790 (教務課)

印 刷 株式会社あおぞら印刷



京都ノートルダム女子大学

学籍番号

氏名

|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|